東海大学大学院 2019 年度博士論文

特撮ツーリズムの歴史と行動特性の類型化

指導　田中伸彦教授

東海大学大学院

文学研究科文明研究専攻

二重作　昌満

〈目次〉

要旨……6

第１章　研究の背景……9

第２章　先行研究……13
補註……16
２－１　知的財産研究……17
２－２　コンテンツツーリズム研究……19
２－３　特撮研究……27
補註……31
２－４　特撮ツーリズム研究……31
２－５　海外での研究……38
補註……43
２－６　先行研究のまとめ……43
補註……52

第３章　研究の目的･対象･方法……53
補註……78

第４章　「特撮」の定義……80
補註……86

第５章　特撮映像作品の歴史……88
補註……89
５－１　怪獣ブーム以前……89
補註……93
５－２　第一次怪獣ブーム……93
補註……98
５－３　第二次怪獣ブーム・変身ブーム……101
補註……108
５－４　リバイバルブーム……112
補註……116
５－５　レトロブーム……117
補註……122
５－６　平成ウルトラシリーズ誕生期……123
補註……126
５－７　平成仮面ライダーシリーズ誕生期……127
補註……133
５－８　世代共演頻出期……135
補註……144

5－9　特撮映像作品の歴史　総括……148

第6章　特撮ツーリズムの歴史……150
6－1　単発開催型形態（1955年～）……150
補註……152
6－2　常設施設型形態（1971年～）……154
補註……158
6－3　恒例開催型形態（1989年7月27日～）……159
補註……161
6－4　海外輸出型形態（1994年～）……162
補註……166
6－5　地域資源型形態（2000年7月20日～）……168
補註……171
6－6　新メディア導入型形態（2013年5月5日～）……172
補註……175

第7章　特撮ツーリズム　全19行動特性……177
7－1　接触系……202
7－1－1　ショー型……203
7－1－2　展示型……204
補註……205
7－1－3　交流型……205
7－1－4　教育型……206
7－1－5　宿泊型……206
補註……207

7－2　販売系……207
7－2－1　飲食型……208
7－2－2　限定商品型……208
補註……211
7－2－3　なりきり型……213
7－2－4　工作型……213
補注……214

7－3　遊戯系……214
7－3－1　アミューズメント型……215
補註……216
7－3－2　スポーツ観戦型……217
7－3－3　乗り物型……218
補註……219
7－3－4　園内風景型……220

補註……220

7－4　映像体験系……220
7－4－1　ロケ地訪問型……220
補註……223
7－4－2　ロケ参加型……224
補註……225
7－4－3　映像作品観賞型……225
補註……226

7－5　地域イメージ形成系……226
補注……227
7－5－1　スタンプ収集型……227
7－5－2　観光大使型……232
7－5－3　イメージキャラクター型……232

第8章　考察……234
8－1　世代の循環……235
8－2　特撮ツーリズム開催地の多様化……238
補註……241
8－3　ファンやコレクターを視野とした観光誘致策……242
補註……245

第9章　結論……246

引用文献・URL……250

付録……265

謝辞……302

映像制作会社の表記について

本論では、各映像制作会社の呼称を下記の表記で統一した。

円谷プロダクション：円谷プロ
東宝株式会社：東宝
東映株式会社：東映
大映株式会社：大映
角川映画株式会社：角川映画
日活株式会社：日活
松竹株式会社：松竹
ピー・プロダクション：ピー・プロ

要旨

本研究は、映像を誘致資源とした観光研究の一環として、着ぐるみやミニチュアといった「物品」を活用して、非現実的な光景を創作する映像表現である「特撮（特殊撮影の略称)」を誘致資源とした観光現象を「特撮ツーリズム」と呼称し、特撮ツーリズムを「円谷プロや東宝、東映等が展開してきたアナログ特撮を対象に、様々な形態として行う観光現象」と定義した上で、その歴史と行動特性に焦点を当てた調査検証を行なったものである。

本論は、全 9 章によって構成される。後述する各章の位置づけについては、図－1 で示すとおりである。

第 1 章では、我が国で、アニメや映画等を含んだ「コンテンツ」を活用した観光政策が期待されていることに触れ、特撮ツーリズムの研究を行なう社会背景について述べる。

第 2 章では、我が国で行われてきたコンテンツを活用した観光研究が、どこまでその実態を体系化しているのかについて、「1.知的財産」、「2.コンテンツツーリズム」、「3.特撮」、「4.特撮ツーリズム」、「5.海外での研究」、以上 5 つのジャンルの先行研究を通じて纏める。

第 3 章では、本研究の目的である「特撮ツーリズム」の歴史を調査し、その発展と推移を解明するために、「①資料調査」と「②現地調査」から成る調査方法と、調査対象の詳細について述べる。

第 4 章では、「特撮」を観光と結びつけた特撮ツーリズムの検証のために、観光研究における「特撮」の再定義を行なう。つまり、フランスで発明された「トリック映画」に端を発した撮影方法である「特撮」が、我が国で実践されるようになった歴史を概観しながら、大衆的な娯楽作品として「特撮」が如何に浸透してきたか、その経緯について述べる。さらに、これまで我が国で制作されてきたアナログ特撮作品の中から抽出した「特撮」を構成する 7 つの特徴的な要素について論述する。

第 5 章では、特撮ツーリズムが我が国で発生し、観光現象として持続してきた背景には、その誘致資源である特撮映像作品が現在まで発信されてきたことが背景にあると考え、我が国の特撮映像作品の歴史について概観する。本研究では、特撮映像作品の歴史を 8 つの時代に分類し、各時代について述べる。8 つの時代とは、戦前から戦後にかけて、映画やテレビを通じて特撮映像作品が発信された「怪獣ブーム以前」、怪獣を対象としたブームが国内ではじめて巻き起こった「第一次怪獣ブーム」、2 度目の怪獣ブームが特撮ヒーロー番組のヒットによって変質を遂げた「第二次怪獣ブーム・変身ブーム」、シリーズを休止した特撮ヒーロー番組が一時的な復活を遂げた「リバイバルブーム」、ビデオソフト等の普及に伴い、特撮映像作品を懐古する現象が発生するようになった。「レトロブーム」、元号が平成へと移行し、ウルトラシリーズの放送が再開された「平成ウルトラシリーズ誕生期」、同様に仮面ライダーシリーズの放送が再開された「平成仮面ライダーシリーズ誕生期」、親子三世代に向けた特撮映像作品が多発的に制作された「世代共演頻出期」として分類し、各時代について述べる。

第 6 章では、上述してきた特撮の歴史に対して、特撮ツーリズムの歴史について明らかにする。特撮ツーリズムは、1955 年に国内で最初の事例が確認されて以降、現在まで 60 年以上の歴史を有していた。さらに、特撮ツーリズムは時代の変遷の中で、6 つの特徴ある観光形態を創出しており、各形態は現在まで継続して実践されてきた。6 つの観光形態とは、単発的に特撮怪獣の着ぐるみの展示やショー等のイベントを開催する「単発開催型

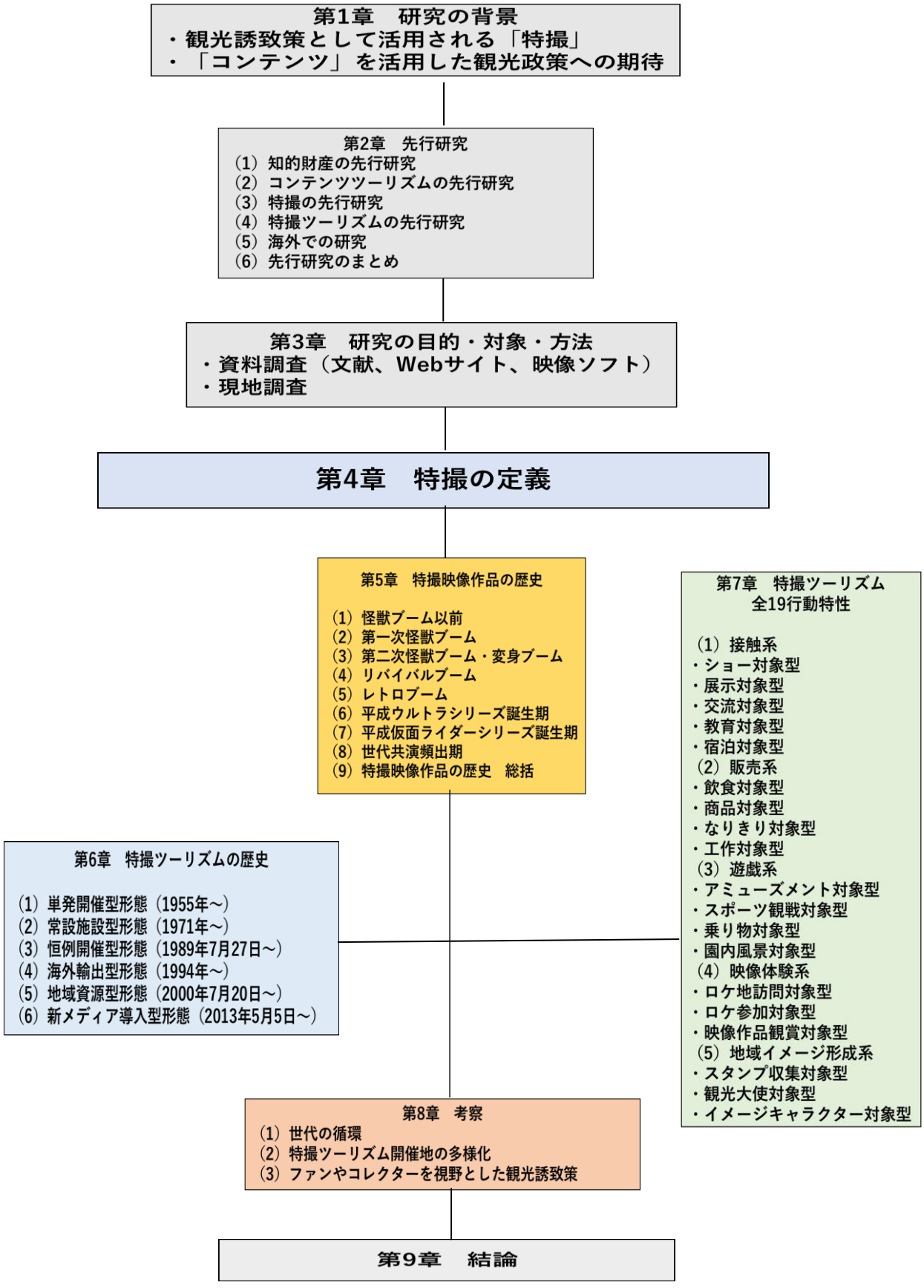
形態」、遊園地内にて、特撮ヒーロー番組のショーや展示を常設的に開催する「常設施設型形態」、夏季休暇期間等の一定期間において、毎年イベントを恒例開催する「恒例開催型形態」、米国のホテルやテーマパーク等にて、現地の居住者や日本人観光客を対象に、実演ショーや展覧会等を行なう「海外輸出型形態」、博物館の建設や道の整備等、特撮映像作品を活用してまちづくりを行なう「地域資源型形態」、インターネット上での仮想都市や SNS を通じたイベント開催地の告知をはじめ、AR や VR といった新技術を導入して、観光者を誘致する「新メディア導入型形態」であり、本章では各時代についての詳細を述べる。

第 7 章では、特撮ツーリズム開催地に来訪する観光者の行動が、他の観光現象と比較して固有の特徴があることに焦点を当てた。本章では、特撮ツーリズムでの観光者の行動特性を、類型化によって明らかにする。特撮ツーリズムでの観光者の行動特性は、機能ごとに全 19 種に類型化できた。さらに、各行動特性を比較することで、共通する属性ごとに 19 種の行動特性は、『1.接触系』、『2.販売系』、『3.遊戯系』、『4.映像体験系』、『5.地域イメージ形成系』の 5 つの属性に包括できた。まず、観光者が特撮ツーリズム開催地にて、特撮映像作品に登場する着ぐるみやミニチュアといった「現物」を目で直接見たり、直に触れたりする等、特撮と直接接触できる点が共通要素である行動特性を包括した『1.接触系』、観光者が特撮ツーリズム開催地にて販売されている商品を「購入」する性質が共通した行動特性を包括した『2.販売系』、特撮映像作品を活用したスポーツ会場や遊園地等に訪れて「遊戯」を行なう要素が共通した行動特性を包括した『3.遊戯系』、特撮映像作品が撮影されたロケ地の来訪や、映画祭での作品観賞等、「映像」作品を実体験する性質が共通した行動特性を包括した『4.映像体験系』、特撮映像作品に登場した出演者やキャラクターが観光対象地を PR することで、観光者が地域に対して何らかの印象を抱いて来訪する「地域イメージ化」が共通した行動特性を包括した『5.地域イメージ形成系』に纏め、これら 5 つの属性が含んでいる各行動特性について述べる。

第 8 章では、なぜ特撮ツーリズムが 60 年以上続く長期的な観光現象となり、さらに特徴ある 19 の行動特性をこれまで創出してきたかについて、「1.世代の循環」、「2.特撮ツーリズム開催地の多様化」、「3.大人の年齢層を視野とした観光誘致策」の 3 つに要因があると考察した。

第 9 章では、ここまで明らかにした特撮ツーリズムの歴史と行動特性の実態について纏めると共に、これらの要因として考察した 3 つの要因について改めて述べる。

本稿は、様々な特撮イベント等で撮影した、被写体となっている方々、着ぐるみや模型などのキャラクターに関する肖像権、著作権などを配慮し、掲載写真を割愛した要約版である。



図－1.　本研究における各章の位置づけ

第 1 章　研究の背景

我が国では、着ぐるみやミニチュア等の物品を活用して、非日常的な光景を撮影した映像作品である「特撮」作品が、映画やテレビ等の各映像メディアを通じて半世紀以上発信されてきた。「特撮」とは特殊撮影の略称であり[1)]、通常の映画やドラマ製作において撮影することのできない非日常的な光景を表現する映像撮影方法である。当撮影方法は戦記映画[註 1)]や忍者映画等[註 2)]で実践され、大衆娯楽作品として発信されてきたが、「特撮」作品の中には、巨大な怪獣の出現と、近代兵器を駆使してそれと対峙する人間達の姿を描写した特撮怪獣映画、そして人類の生存を脅かす怪獣や怪人といった巨悪に対し、人間が異形のヒーローに変身してこれに立ち向かう特撮ヒーロー番組がある。現在まで東宝制作の『ゴジラ（1954）』や大映の『ガメラ（1965）』等の特撮怪獣映画や、円谷プロ制作の『ウルトラマン（1966）』や東映の『仮面ライダー（1971）』等の特撮ヒーロー番組が、現在までシリーズとして、半世紀以上に渡り発信が継続されてきた。

我が国で制作された特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組の特徴は、着ぐるみやミニチュアといった物品を活用して、アナログ的な撮影を行うことにある。つまり、精巧につくられたミニチュア模型で市街地を表現し、怪獣を模した着ぐるみを着用した演者がそこで芝居を行なうことで、巨大な怪獣が市街地を襲撃する非日常的な光景が撮影できるのである。当撮影方法は、現在まで制作されている特撮怪獣映画、特撮ヒーロー番組に至るまで継続されており、「特撮」の中の一映像表現として定着していった。

このように、着ぐるみやミニチュア等の物品を活用して、アナログ的な撮影を行なう特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組（以降、アナログ特撮作品）は、映像作品の発信と並行しながら、撮影で使用された物品を再使用した国内各地での実演ショーや展覧会の開催や、各市町村での観光まちづくりの実践等、特撮を誘致資源とした観光現象も、国内各地で多様に確認することができる。

例えば実演ショーでは、東京都文京区にある遊園地「東京ドームシティアトラクションズ（旧称：後楽園ゆうえんち）」にて、東映が制作した『仮面ライダー（1971）』シリーズや、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』を筆頭とする「スーパー戦隊シリーズ」に登場する着ぐるみを使用した実演ショーを、1971 年から半世紀近くに渡って継続してきた。

一方、各市町村による観光まちづくりも国内各地で実践されている。例えば、福島県須賀川市では、東宝の『ゴジラ（1954）』シリーズをはじめ、円谷プロの『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』等、各社が制作した特撮怪獣映画・特撮ヒーロー番組で監修を務めた円谷英二の生誕地であることから、「すかがわ市 M78 光の町」と題して観光振興が行なわれている。他にも、東京都新宿区では怪獣ゴジラを「新宿観光大使」に任命し、区内には新名所として「ゴジラヘッド」が設置される等、都心でも観光振興事例を確認することができる。

上述してきたとおり、我が国では「特撮」が観光誘致策として機能しているといっても過言ではない。しかし、「特撮」のように映像作品を資源とした観光が、公的な立場から国内で認識されるようになったのは、2003 年に 4 月 24 日の「観光立国懇談会報告書」[2)]において、「観光立国」宣言が行われて以降のことである。当報告書では、「住んでよし、訪れてよしの国づくり」を提唱する「観光立国」の実現に向けて、我が国の観光をめぐるコンテンツ、コミュニケーションそしてインフラの整備を、国を挙げて取り組む体制を整える必要性が提唱された。その上で、21 世紀は、知力、文化力、情報力などのソフト・パワ

ーが、軍事力や生産力に代わって、他国に影響を与える時代へ変質を遂げており、映画や映像、アニメ等の産業も、観光産業として戦略的に展開していく必要性も提唱された[2)]。

元々、映画やアニメ産業が、対外的に我が国の魅力を発信する産業戦略としてはじめて提言されたのは、2002 年の「知的財産立国」[3)] 宣言であり、当宣言はものづくりに加えて、技術、デザイン、ブランドや音楽・映画等のコンテンツといった価値ある「情報づくり」、すなわち無形資産の創造を産業の基盤に据えることにより、我が国の経済・社会の再活性化を図るというビジョンに裏打ちされた国家戦略[3)]の下で、音楽や映画等は「コンテンツ」という一語に集約され、「知的財産」の中の 1 ジャンルとして掲げられた。

以降、2004 年 5 月に成立した「コンテンツの創造、保護及び活用の促進に関する法律」[4)] をはじめ、知的財産推進計画 2004[5)] 等が提唱される等、コンテンツや知的財産の創造や流通、普及を一層推進するための法整備や推進計画の策定等が行われる等、我が国では産業戦略としてコンテンツを推進していく動向が見られるようになった。その中で、映像作品等のコンテンツが、観光の誘致資源としても次第に認知されていくようになり、国土交通省総合政策局観光振興課ら（2004）は、コンテンツを要因に観光来訪者を観光地へと誘致する観光を「コンテンツツーリズム」とはじめて呼称した。その上で、コンテンツツーリズムは、「地域に関わるコンテンツ（映画、テレビドラマ、小説、漫画、ゲームなど）を活用して、観光と関連産業の振興を図ることを意図したツーリズム」[6)] として定義された。

「コンテンツツーリズム」の提唱後、これを対象とした調査検証は、アニメや漫画といった、個々のコンテンツを使用した観光誘致策の調査報告書が確認できるようになった。まず、国土交通省総合政策局（2007）による『日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による地域活性化調査報告書』[7)] では、アニメやマンガを活かした海外からの誘客や地域活性化に向けて継続的に取り組むための体制として、アニメやマンガ関係者、旅行・観光関係者による横断的な連絡協議の場の設置と、ミュージアム等を有する地域全体としての訪日外国人客の受け入れ・誘客体制の強化の重要性が提唱された。

続いて、知的財産戦略本部（2013）による「知的財産政策ビジョン」[8)] では、地域資源を活用して日本の多様な魅力を発信するために、映画（フィルム）の撮影地であることを誘致資源とした観光誘致策を挙げており、全国各地のフィルムコミッション等との連携やロケ地情報の集約・提供などを通して、地域でのロケ撮影の受入れ体制整備を推進する施策を挙げた。

上述してきたとおり、我が国では「コンテンツツーリズム」と称して、観光者がアニメやフィルム等の映像作品の舞台となった場所へ来訪し、作品を追体験する事象が国内各地で発生していることがこれまで指摘されてきた。これらアニメやフィルムを通じた観光現象の特徴には、両観光現象とも地域色が強いことが挙げられる。つまり、特定の地域を「物語」の舞台あるいは撮影地として作品を制作していることから、作品と地域の結びつきが強く、作品との縁のない地域ではこれらの観光現象は発生しにくいことが考えられる。

上記の事象に対して、アナログ特撮作品を誘致資源とした観光現象では、これらの作品と地域との結合性が低いため、どの地域でも違和感なく開催することが可能となることに特徴がある。アナログ特撮作品の場合、非日常的な光景を着ぐるみやミニチュア等の物品を使用して表現しているため、作品の舞台が東京等の場所であっても、該当地では実際に撮影されず、特撮専用の撮影スタジオで制作された映像である[註3)]。故に、地域色がアニメやフィルムと比較して低く、着ぐるみやミニチュア等の物品を、特定の場所（開催地）に

持ち込むだけでイベント開催が可能となる他、特撮怪獣映画や特撮ヒーローとは所縁のない地であっても、ショーや展覧会等のイベント開催が可能となるのである。

このようなアナログ特撮作品を誘致資源としたイベント開催地の特徴には、撮影で使用された着ぐるみやミニチュア等の物品を外部から開催地に持ち込んで、virtual（非日常的）な世界観を構築していることにある。そこに来訪する観光者は、その非日常的な世界観を認識した上で、自分の目的を Actualize（実現）するために行動を起こしているものと考えられる。

つまり、アナログ特撮作品を対象とした観光現象には、アニメやフィルムといった他の映像作品を活用した観光と比較して、独特な特徴があることが考えられる。しかし、こうしたアナログ特撮作品による観光現象については、国の調査報告書等でも主体的な調査を確認することができない現状にある。そこで本稿では、国内の各映像制作会社が、着ぐるみやミニチュア等を活用したアナログ撮影によって制作した特撮怪獣映画や、特撮ヒーロー番組を誘致資源とした観光現象に焦点を当て、その実態を調査する。

本研究では、上述したアナログ特撮作品を誘致資源とした観光現象を「特撮ツーリズム」と呼称し、当観光現象について「特撮ツーリズムは、円谷プロや東宝、東映等が展開してきたアナログ特撮を対象に、様々な形態として行う観光現象」と定義した。

アナログ特撮作品を誘致資源とした特撮ツーリズムの実証研究を行なうにあたり、今回は特撮ツーリズムがいつの時代に誕生し、どのような社会的背景を経ながら現在まで継続する観光現象として定着したかの「歴史」について調査をすると共に、本来は外部資源である「特撮」を導入することで、非日常的な世界観を構築する特撮ツーリズム開催地にて、観光者が自己の目的を達成するために行なう行動の特殊性、即ち「行動特性」に焦点を当て、その実態を明らかにする。

本稿では、アナログ特撮に特化した特撮ツーリズムの「歴史」と「行動特性」について後述していくが、本研究では明らかにできなかった課題もいくつか残る。

まず、特撮作品全ての観光現象について明らかにしたわけではない点である。今回明らかにした特撮ツーリズムは、着ぐるみやミニチュア等のアナログ的な撮影行なった「特撮」作品（特撮怪獣映画、特撮ヒーロー番組）を対象に調査した。つまり、国内外全ての特撮作品について言及したわけではなく、海外で製作されたフィクション映画を筆頭とする特撮作品についても、これらが観光現象化した事象について未だ明らかにできていない。よって、個別の特撮ツーリズムを対象とした研究事例を積み重ねていく必要がある。

続いて、アナログからデジタルへの技術向上による、観光現象の変質が挙げられる。特撮ツーリズムの素材となる「特撮」の技術は常に進歩しており、CG やモーションキャプチャー等のデジタル技術の向上によって、今後も新たな表現方法が構築されることが予期される。これに伴い、特撮ツーリズムもアナログからデジタル撮影によって制作された作品を誘致資源とした観光現象へと変質を遂げる可能性が考えられる。「特撮」の映像表現の変質は、後世の特撮ツーリズムにどのような変化をもたらすのか、より広義的な視点から明らかにしていくことが今後の課題といえる。

3 つ目に、特撮ツーリズムの行動特性は、ホスト（開催側）とゲスト（来場者）側によって、異なる結果が得られることが予測できる点である。本研究で明らかにする特撮ツーリズムの行動特性とは、ホスト側がゲストに提供している情報を基に類型化したものである。よって、今後はゲストに調査対象を移行し、異なる調査方法（アンケート調査、イ

ンタビュー調査等）を実践することにより、ホスト側とは違う調査結果を得られることが考えられる。調査対象を変えることによって新たな行動特性の創出が考えられる他、「行動特性」を通じたホスト側とゲスト側の比較研究も、今後は必要とされる。

最後に、特撮ツーリズムに関する数値的なデータがないことが挙げられる。今回は、観光現象として特撮ツーリズムを明らかにする。しかし、特撮ツーリズムの資料調査と現地調査を行なった際、各イベントの来場者数や、催事内容（入場料、物販等）等の数値的なデータを確認するまでに至っていない。よって、今後は数値的な観光データを収集することにより、観光現象ではなく、観光産業的な視点から、特撮ツーリズムの持続性について検証が可能となることが考えられる。

上述した研究の限界性については、今後の特撮ツーリズム研究において提起できる課題として挙げておく。

註 1）例えば、東宝は 1942 年に日本軍による真珠湾攻撃を題材とした映画『ハワイ・マレー沖海戦』を制作しており、当作品はミニチュアで製作された真珠湾を舞台に、戦闘機や戦艦の模型を配置､飛行させることによって戦地を表現する撮影方法が実践された。また、東宝は戦後も『ハワイ・ミッドウェイ大海空戦　太平洋の嵐（1960)』や、『日本のいちばん長い日（1967)』、『零戦燃ゆ（1984)』等、戦記映画を制作し続けてきた。

註 2)「忍者」を題材とした特撮作品は、これまで国内の各映像制作会社によって複数制作されている。代表的な映画には東映京都制作の『伊賀の影丸（1963)』等が挙げられ、テレビ番組には、東映が制作した『仮面の忍者　赤影（1967)』や、宣光社プロダクションによる『隠密剣士（1962)』等が放映された。

註 3）例えば、東京都港区芝公園にある東京タワーに怪獣が襲来する映像を撮影する際、怪獣の着ぐるみを該当地に持ち込んで撮影を行なうのではなく、着ぐるみやミニチュアを使用した映像を撮影する専用のスタジオの中で撮影を行ない、この映像を映画の中に組み込むことで、さも怪獣が当地に実際に出現しているように描写されている。東宝が制作した複数の特撮怪獣映画（『三大怪獣 地球最大の決戦（1964)』、『ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京 SOS（2003)』、『ゴジラ FINAL WARS（2004)』）でも怪獣達による東京タワーの破壊シーンがあるが、これらの映像は当地ではなく、東京都世田谷区成城にある東宝スタジオにて撮影された。

第 2 章　先行研究

本研究では、我が国で行われてきた特撮ツーリズム研究が、どこまでその実態を体系化しているのかについて、先行研究を通じて纏める作業を行なった。

本論では、全国の公共図書館や学術研究機関等が提供する資料を総合的に検索できるサイト「NDL ONLINE 国立国会図書館」[9)] にて先行研究の検索を行なうこととした。本研究の調査対象となる「特撮ツーリズム」と、その素体である「特撮」で検索を行なうと共に、特撮ツーリズムと他の観光現象との関連性を調査するため、今回は知的財産やコンテンツを使用した観光研究も併せて収集することとした。つまり、「知的財産」と「コンテンツツーリズム」のワードでも検索を行なった。

また、「コンテンツツーリズム」における「コンテンツ」とは、先述したようにアニメやフィルム等に留まらず、様々な要素が該当する言葉である。つまり、特撮ツーリズムもコンテンツツーリズムの一形態として機能していることが考えられ、アニメやフィルムといった他の映像作品を使用した観光現象と比較して、これらと酷似する性質や、異なる性質が存在していることも考えられる。故に、今回はコンテンツツーリズムの中から、映像作品を使用した観光現象である、「フィルムツーリズム」と「アニメツーリズム」に調査対象を絞り、その特徴を整理することによる、特撮ツーリズムとの比較を行なうこととした。

総括して、「知的財産」、「コンテンツツーリズム」、「フィルムツーリズム」、「アニメツーリズム」、「特撮」、「特撮ツーリズム」の、以上 6 つの用語で検索を行なった。2019 年 7 月 22 日時点で、各サイトの検索を行ったところ、下記表－1 の資料数が該当した。

表－1.「NDL」で該当するジャンル別資料数（2019 年 7 月 22 日時点）

検索ワード＼資料種別	図書	雑誌	雑誌記事	電子書籍・電子雑誌	電子資料	映像資料	録音資料	新聞	規格・テクニカルリポート類	博士論文
知的財産	5,029	1,972	21,056	1,261	152	23	11	3	1	92
コンテンツツーリズム	35	2	145	6	0	0	0	0	0	0
フィルムツーリズム	6	1	14	0	1	0	0	0	0	0
アニメツーリズム	2	1	22	0	0	0	0	0	0	0
特撮	474	306	153	0	0	617	263	0	0	0
特撮ツーリズム	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0

表－1 のとおり、各用語には複数の資料を確認することができる。しかし、「博士論文」は、掲載数 92 の「知的財産」を除いて発表されていない現状にあった。さらに、知的財産の「博士論文」は、知的財産を活用した観光現象を主体とした先行研究が、現状では確認することができなかった。また、「フィルムツーリズム」や「アニメツーリズム」に至っては、各文献数が 30 冊以下にある状況にあった。「フィルムツーリズム」と「アニメツーリズム」の資料数は表－2、表－3 のとおりである。

表－2.「NDL」よりフィルムツーリズム資料数一覧　全 22 冊（2019 年 7 月 22 日時点）

タイトル	著者	掲載誌	ページ	ジャンル	発行年
1.ドラマ『アイリス』秋田ロケによるフィルムツーリズムの発生とその構造	臺 純子, 韓 志昊, 崔 錦珍	観光研究 : 日本観光研究学会機関誌 27(1)	79-88pp	雑誌記事	2015年9月
2.地域情報 北から南から 四国におけるフィルムツーリズムの取組み	花房 真理子	日経研月報 (359)	193-202pp	雑誌記事	2015年
3.OCVB REPORT 沖縄観光コンベンションビューローの取り組みについて 沖縄フィルムオフィス : 映像を通した観光促進、フィルムツーリズム推進事業	表記無し	りゅうぎん調査 (560)	10-13pp	雑誌記事	2016年6月
4.フィルムツーリズムの多面的展開による地域振興 : 東京都あきる野市を事例として (日本レジャー・レクリエーション学会第45回学会大会)	田中 伸彦, 下田 佳奈	レジャー・レクリエーション研究 (77)	46-49pp	雑誌記事	2015年11月
5.映画のワンシーンに憧れる旅「フィルムツーリズム」に関光 (特集 激変! ニッポンの観光 : 復活、そして、キラリと光る観光地 話題の知事から住民参加型まで 観光立県に賭ける熱き戦い)	表記無し	週刊ダイヤモンド / ダイヤモンド社 [編] 95(29) (通号 4189)	95pp	雑誌記事	2007年7月28日
6.映画・テレビドラマの観光行動への影響 : フィルム・ツーリズムへの試み	中村 哲	敬愛大学総合地域研究 : 敬愛大学総合地域研究所紀要 / 『敬愛大学総合地域研究』編集委員会 編 (1)	43-58pp	雑誌記事	2011年3月
8.フィルム・ツーリズムに関する一考察--「観光地イメージ」の構築と観光経験をめぐって	中谷 哲弥	奈良県立大学研究季報 / 奈良県立大学 編 18(1・2)	41-56pp	雑誌記事	2007年10月10日
7.観光による地域活性化事例(第7回)フィルム・ツーリズムによる地域の観光活性化手法 : 北海道・道東&秋田県	鈴木 勝	地銀協月報 / 全国地方銀行協会 [編] (621)	38-43pp	雑誌記事	2012年3月
9.山梨におけるフィルム・ツーリズムの課題と展望 (やまなし学シリーズ(10)「やまなし学研究2012:『観光立県』の行方/甲斐の国人物伝」の記録)	前澤 哲爾	山梨学院生涯学習センター研究報告 30	31-40pp	雑誌記事	2017年3月
10.観光概念の革新によるブランディングビジネスモデルの創造 : 最終報告書	和歌山大学観光学部 編	観光概念の革新によるブランディングビジネスモデルの創造 : 最終報告書	249pp	図書	2013年3月
11.コンテンツ・ツーリズム研究の射程 : 国際研究の可能性と課題 (CATS叢書 ; 第8号)	山村高淑, ツーリスト・フィリップ, 国際広, 千住鎮次, 鹿水孝太	コンテンツ・ツーリズム研究の射程 : 国際研究の可能性と課題 (CATS叢書 ; 第8号)	253pp	図書	2016年3月
12.まちあるき文化学 : 交叉する〈都市〉と〈物語〉	渡辺裕	タイトルと同じ	350.23pp	図書	2019年3月
13.n次創作観光 : アニメ聖地巡礼/コンテンツツーリズム/観光社会学の可能	岡本健	n次創作観光 : アニメ聖地巡礼/コンテンツツーリズム/観光社会学の可能性	102pp	図書	2013年2月
14.秋田県の観光における「アイリス効果」とは?	臺 純子, 崔 錦珍, 韓 志昊	日本観光研究学会全国大会学術論文集 27	313-316pp	雑誌記事	2012年12月
15.ロケ地マップの機能と役割 : 日本におけるロケ地マップ発行の意義と可能性	木村 めぐみ	観光情報学会誌 7(1)=7	61-70pp	雑誌記事	2011年
16.映画『狙った恋の落とし方』による中国人の北海道道東観光の展開	金 玉実	地理学評論. [Series A] / 日本地理学会 編 88(5)	514-530pp	雑誌記事	2015年9月
17.コンテンツツーリズムの概念についての研究ノート	石田 もとな	コンテンツツーリズム学会論文集 = Contents tourism review 3	34-40pp	雑誌記事	2016年3月
18.日本におけるフィルムコミッションの展開に関する考察 : 韓国釜山市フィルムコミッションとの比較を通じて	藤谷 律代	日本観光研究学会全国大会学術論文集 Proceedings of JITR annual conference 33	37－40pp	雑誌記事	2018年12月
19.新修神戸市史 産業経済編 4 (総論)	新修神戸市史編集委員会 編	タイトルと同じ	23pp	図書	2014年3月
20.トランスナショナル時代のデジタル・コンテンツ (叢書21COE-CCC多文化世界における市民意識の動態 ; 19)	菅谷実, 宿南達志郎 編	トランスナショナル時代のデジタル・コンテンツ (叢書21COE-CCC多文化世界における市民意識の動態 ; 19)	262pp	図書	2007年3月
21.観光白書 平成13年版	国土交通省観光庁 編	タイトルと同じ	表記無し	雑誌	表記無し
22.フィルムツーリズムと地域との関わりに関する研究	山本園子 (筑波大学)	土木計画学研究・講演集 vol. 44	表記無し	電子資料	2011年11月

表－3.「NDL」よりアニメツーリズム資料数一覧　全 25 冊（2019 年 7 月 22 日時点）

資料タイトル	著者	掲載誌	ページ	ジャンル	発行年
1.アニメツーリズム白書	アニメツーリズム協会	タイトルと同じ	表記なし	雑誌	2018年
2.権利侵害を肯定しない旅行者たちのアニメツーリズム : 富山県南砺市を事例に	花房 真理子, 熊坂 賢次	文化政策研究 / 日本文化政策学会 編 (11)	41－62pp	雑誌記事	2017年
3.アニメツーリズムと地域振興	岡田 一郎	社会理論研究 / 社会理論学会 編 (15)	73-81pp	雑誌記事	2014年12月
4.地域観光とアニメ舞台めぐりが両立するアニメツーリズム推進モデルの研究 : 富山県南砺市の恋旅公式ツアー「南砺に恋する女子旅」を事例として	花房 真理子	地域活性研究/ 地域活性学会 編 6	193-202pp	雑誌記事	2015年
5.特集鼎談 アニメツーリズムは地域創生の武器になるか	善井 靖, 鈴木 則道, 数土 直志	Best partner / 浜銀総合研究所[編] 31(5)	4－14pp	雑誌記事	2019年5月
6.不動産の現場から 聖地巡礼(アニメツーリズム) : 不動産に生まれる見えない価値(下)	春日 康徳	不動産ソリューションbook: 不動産経営虎の巻 / ビル経営研究所 編 21	82-90pp	雑誌記事	2015年3月
7.アニメ聖地88Walker : アニメツーリズム協会公式2019 (ウォーカームック ; No.943)	表記無し	タイトルと同じ	97pp	図書	2019年3月
8.不動産の現場から 聖地巡礼(アニメツーリズム) : 不動産に生まれる見えない価値(上)	春日 康徳	不動産ソリューションbook : 不動産経営虎の巻 / ビル経営研究所 編 20	66-73pp	雑誌記事	2014年9月
9.アニメ聖地88Walker : アニメツーリズム協会公式 (ウォーカームック ; No.809)	表記無し	タイトルと同じ	95pp	図書	2018年3月
10.アニメツーリズムと地域社会の態度 : 「コミュニティへの愛着」という文化条件の作用	森 裕亮	比較文化研究 = Studies in comparative culture (124)	241-252pp	雑誌記事	2016年12月30日
11.「アニメツーリズム」による地域活性化の事例が急増 (特集 2014→2020総予測 : カルチャー 2014年に流行るもの この人たちの声を聞け!)	荻野 健一	週刊ダイヤモンド / ダイヤモンド社 [編] 102(1)=4513	137pp	雑誌記事	2013年12月28日・2014年1月4日
12.地域におけるアニメツーリズムの可能性 : 地域活性化事例の比較を中心に (課題先進地における地方創生への挑戦)	坂本 ひとみ	地域活性学会研究大会論文集 9	346-348pp	雑誌記事	2017年9月1日-3日
13.コンテンツによる地域振興の研究 : アニメツーリズムの成立条件と構造 (齋藤雄志教授・佐藤創教授 退職記念号 青木憲二教授 追悼号)	岩間 夫佐, 川口 峻, 瀧澤 勇樹 他	専修ネットワーク&インフォメーション / 専修ネットワーク&インフォメーション編集委員会 編 (21)	17-26pp	雑誌記事	2013年3月
14.関連インタビュー「エンターテインメント」×「地方活性化」 : タイトーが取り組む新しい魅力発信・にぎわい創出 (特集 地方に人を呼び込むアニメツーリズム)	鈴木 雅一	レジャー産業資料 50(2)=605	44-47pp	雑誌記事	2017年2月
15."アニメツーリズム"で地域に集客する (特集 売れる!集まる! キャラクタータイアップ販促 : 人が集まった商品が売れた! キャラクタータイアップ販促の舞台裏)	表記無し	Top promotions販促会議 (190)	26-29pp	雑誌記事	2014年2月
16.刑務所×君の名は。: 受け入れ体制をいち早く整備 作品のイメージを保ち、世界観を楽しめる聖地としての魅力を提供 (特集 地方に人を呼び込むアニメツーリズム)	表記無し	レジャー産業資料 50(2)=605	36-39pp	雑誌記事	2017年2月
17.大洗町×ガールズ&パンツァー : 地域の有志が中心となって現存の取組みを活かしながら、ファンとの交流を育む (特集 地方に人を呼び込むアニメツーリズム)	表記無し	レジャー産業資料 50(2)=605	32-35pp	雑誌記事	2017年2月
18.アニメ・ツーリズムの導入と課題	天野 宏司	駿河台大学論叢 / 『駿河台大学論叢』編集委員会 編 (51)	107-121pp	雑誌記事	2015年
19.地理資料 アニメ聖地巡礼(アニメ・ツーリズム)	山元 貴継	新地理/ 日本地理教育学会 [編] 63(2)	57-65pp	雑誌記事	2015年8月
20.岐阜県高山市におけるアニメ・ツーリズム : 質問紙を用いた「アニメ聖地巡礼」行動把握の試み	山元 貴継, 内山 佳次, 牧瀬 優也	都市地理学 = Urban geography / 日本都市地理学会 編 11	44-58pp	雑誌記事	2016年
21.中国における日本アニメの定着と浸透:「自分史」を用いた解析 (日本レジャー・レクリエーション学会第44回学会大会)	ショウ テイ, 田中 伸彦	レジャー・レクリエーション研究 (74)	36-39pp	雑誌記事	2014年12月
22.アニメ聖地巡礼に関する研究 : 既往文献の整理を通じて	金子 真幸	文学研究論集 / 明治大学大学院文学研究科 [編](46)	169-181pp	雑誌記事	2016年
23.アニメの舞台化が地域に及ぼすプロモーションとしての効果 : P.A.WORKS『花咲くいろは』と湯涌温泉「ぼんぼり祭り」を事例として	畠山 仁友	広告科学/ 日本広告学会 編 57	17-32pp	雑誌記事	2012年12月
24.アニメと鉄道のコラボによる社会貢献活動および観光と地域振興	野田 政成	JREA 59(1)	40,109-40,113pp	雑誌記事	2016年1月
25.新興コンテンツツーリズムの可能性 : 地方の事例研究 (アントレプレナー・エンジニアリング)	坂本 ひとみ, 坂本 大地	映像情報メディア学会技術報告 = ITE technical report 41(13)	1-3pp	雑誌記事	2017年3月

つまり、アニメやフィルム等を内包するコンテンツを誘致資源とした観光研究は、これまで複数が実践されてきたものの、総じて不足している現状にあることが明らかとなった。

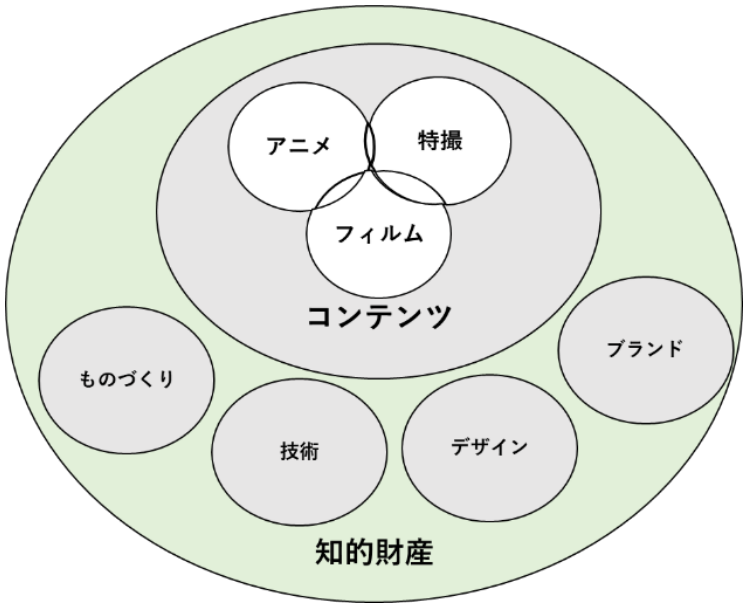
その上で、「特撮ツーリズム」の研究に焦点を当てると、当観光現象の先行研究は「雑誌記事」にて 6 件の先行研究が該当したが、全て本学位論文の土台となっている筆者らによる研究であった（表－4)。つまり、他のコンテンツツーリズム研究と比較しても、特撮ツーリズム研究は、少ない現状にあることが明らかとなった。

表－4. 「NDL」より特撮ツーリズム資料数一覧（2019 年 7 月 22 日時点）

タイトル	著者	掲載誌	ページ	ジャンル	発行年
1.「特撮ツーリズム」の誕生と変遷	二重作 昌満・田中伸彦	日本観光研究学会全国大会学術論文集 Proceedings of JITR annual conference 32	169－172pp	雑誌記事	2017年12月
2.「特撮ツーリズム」の持続と海外進出	二重作 昌満・田中伸彦	日本観光研究学会全国大会学術論文集 Proceedings of JITR annual conference 33	157-160pp	雑誌記事	2018年12月
3.50年の歴史に着目した『特撮ツーリズム』の形成と形態解明 (日本レジャー・レクリエーション学会第45回学会大会)	二重作 昌満・田中伸彦	レジャー・レクリエーション研究(77)	42-45pp	雑誌記事	2015年11月
4.特撮ツーリズム現象の歴史的な変遷：知的財産を用いた観光学研究の視点から (日本レジャー・レクリエーション学会第46回学会大会)	二重作 昌満・田中伸彦	レジャー・レクリエーション研究 (80)	88-91pp	雑誌記事	2016年11月
5.『特撮ツーリズム』が観光業にもたらす影響：ハワイでの「人造人間キカイダー」、「ウルトラハワイ」を事例に (日本レジャー・レクリエーション学会第44回学会大会)	二重作 昌満・田中伸彦	レジャー・レクリエーション研究 (74)	58-61pp	雑誌記事	2014年12月
6.「特撮ツーリズム」の発展と多様化に関する歴史的研究	二重作 昌満・田中伸彦	レジャー・レクリエーション研究 (82)	21-30pp	雑誌記事	2017年10月

上述してきた先行研究の現状を踏まえ、本研究では特撮ツーリズム研究の隣接分野として検索した 6 つの用語（「知的財産」、「コンテンツツーリズム」、「フィルムツーリズム」、「アニメツーリズム」、「特撮」、「特撮ツーリズム」）の関係性について検討、整理を行なった。

つまり、「知的財産」とは、先述した様に、ものづくりや技術、デザイン、ブランドと共に、音楽や映画等も内包した広義な言葉として定義されている [3)]。その中で、音楽や映画は、「知的財産」の中の 1 ジャンルである「コンテンツ」に所属するものとして扱われている [10)]。さらに「コンテンツ」には、映画に加えてテレビドラマ等の映像作品の他、小説、漫画、ゲーム等、様々な要素を内包するジャンルとして定義されている [6)]。上記の定義を総合すると、全体を包括するものが「知的財産」であって、その 1 ジャンルである「コンテンツ」には「アニメ」、「フィルム」、「特撮」といった個々の映像作品が包括されていると考えることができる。上述してきた「アニメ」、「フィルム」、「特撮」を含んだ「コンテンツ」、そしてこれを 1 ジャンルとして包括している「知的財産」、これらの関係性について下記図－2 のように表した。



図－2.知的財産とコンテンツ、特撮の関連図

「コンテンツ」の中に含まれている各要素（「アニメ」、「フィルム」、「特撮」）は、それぞれ映像作品としての固有の特徴を持っている。例えば「アニメ」は実写ではなく、手書き（二次元）や 3D 等の絵画技術を用いて制作された映像作品であるのに対し、「フィルム」は、演者が実景の中で実際に芝居を行なった映像を、映画やテレビドラマとして発信している。また「特撮」は実景の中の演者の芝居に加えて、着ぐるみやミニチュア等の物品を用いて非日常的な光景を創作する映像作品である等、個々の要素の特徴は枚挙にいとまが無い。しかし、各要素は完全に独立し、他の要素との関係を断ち切っているわけではない。各要素とも「映像作品である」という点や、観光の素材として映像作品が利用されている点、また当初「特撮」作品として制作されたものが、「アニメ」作品として制作されるようになった作品が存在する点等、要素同士で共通、交錯している性質も存在する（註 1）。

つまり「コンテンツ」が内包している「アニメ」、「フィルム」、「特撮」といった個々の要素が観光現象化したのが、アニメツーリズムやフィルムツーリズム、特撮ツーリズムであり、これらの観光現象は総合的に「コンテンツツーリズム」に所属しているといえる。

本論では、母体である「1.知的財産」の先行研究について述べた後、その 1 ジャンルが観光現象化した「2.コンテンツツーリズム」の中から、「フィルムツーリズム」と「アニメツーリズム」の先行研究の現状を纏める。さらに、映像作品としての「3.特撮」の研究について纏めた後、特撮が観光現象化した「4.特撮ツーリズム」の順に、各先行研究について後述していく。

補註

註 1：例えば、円谷プロの『ウルトラマン（1966）』シリーズは、特撮映像作品として制作されてきた傍ら、現在までアニメ作品も複数制作されている。1979 年 4 月 4 日から 1980 年 3 月 26 日にかけて放映されたアニメ作品『ザ☆ウルトラマン』以降、『ウルトラマンキッズのことわざ物語』、『ウルトラマンキッズ～母をたずねて 3000 万光年』等がテレビ番組として現在まで放映されてきた他、2019 年 4 月 1 日には 3DCG アニメ作品として『ULTRAMAN』

が動画配信サービス「NETFLIX」にて全 13 話の独占配信が行なわれた。

また、特撮映像作品ではなく、テレビドラマや映画においても、特撮ヒーロー番組や特撮怪獣映画に登場した着ぐるみの怪獣や怪人が出演した事例もある。東映の特撮ヒーロー番組『仮面ライダー（1971)』に登場したショッカー戦闘員は 2005 年 7 月 14 日に放映されたテレビドラマ『電車男』第 2 話「初デートへ向け大変身」にて登場した他、1984 年 12 月 28 日に公開された松竹映画『男はつらいよ　寅次郎真実一路』にて、怪獣ギララ（登場場面は松竹制作の特撮怪獣映画『宇宙大怪獣ギララ（1967)』の流用）が登場した。このように、アニメやフィルムにおいても「特撮」の性質が導入された事例も複数存在する。

2－1　知的財産研究

「1.知的財産」に関わる事象を調査した研究論文をレビューしたところ、知的財産を使用した観光について直接調査した研究を、現状では確認することが出来なかった。しかし知的財産そのものに焦点を当てた研究がこれまで行なわれていた。これらは「①我が国で知的財産を産業化した背景」、「②知的財産に関わる性質・法整備の問題点」の大きく 2 つに大別できた。

まず、「①我が国で知的財産を産業化した背景」について論じた研究が確認できた。知的財産とは元々、「発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの（発見又は解明がされた自然の法則又は現象であって、産業上の利用可能性があるものを含む。)、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報」[11] であり、個人から創造される無体の財産として定義されている。

青山（1998）は知的財産を、「無体財産の中心である研究開発をはじめとした各種知的活動の成果や、営業表示・商品表示に化体された営業活動上の信用であるとし、これを私的な財産権として、保護の対象としたものが知的財産権と定義している。その上で、知的財産権の商品化戦略には、特許だけでなく、ブランドやデザイン、ソフトウェア、映像、肖像、その他キャラクター商品も及んでいる」ことにも触れた [12]。

我が国の国政全体における知的財産の位置づけは、2002 年 2 月に提唱された知的財産政策を機に飛躍的に高まっており、同年 7 月には知的財産戦略大綱 [13]、2003 年 3 月に知的財産基本法 [11] が策定される等、知的財産政策が積極的に展開されることになった [14]。

小野（2011）は知的財産法制度にて掲げられている「知的財産権」について、「主に著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権があり、知的財産法は、民法より前から形成されてきたが、民法の特別法と位置づけられ、知的財産法に規定しない点は民法が適用されることを挙げた。その上で、知的財産権は、人の智能的産出物について与えられる権利であり、著作権、特許権、主としてフランスで発達した観念である」とした [15]。

さらに井上（1997）は知的財産権法制について、「公共財的性格を持つ『情報』である知的財産を、取引の対象となる法的な保護を加えることにより、排他性を機能する制度を形成していることに触れた。即ち、知的財産権法制とは、知的財産の『市場』を成立させるための大前提を整備する『制度』である」とした [16]。

上述してきた知的財産を巡る法整備や市場の形成について、荒井（2004）は、これまで我が国は、「欧米の先進的な技術を導入して製品を高度化する「ものづくり」システムを構築してきた」ことに触れた。しかし「1,990 年代にバブル経済が崩壊して以降、長期的な

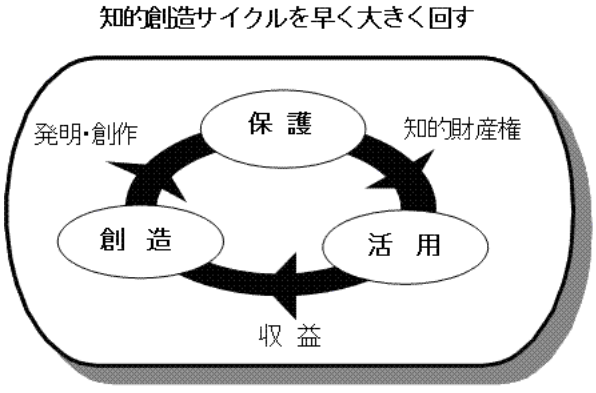
不況から日本が脱却できず、既に各国間の知的財産制度の競争が開始される状況にあることを指摘した。上記の世界情勢を受け、我が国では「知」を重視し、特許やノウハウ、映画・アニメなどのデジタル・コンテンツなどの知的財産を国富の源泉とする「知的財産立国」を早急に実現する必要性」を提唱した[17)]。

つまり知的財産とは、これまで我が国を牽引してきた製造業の衰退に代わる、新たな国富として産業化が期待されたものであり、既に他国間でも「知的財産」を巡る競争が行われていることから、対外政策としてその必要性が問われるようになった経緯が覗える。

さらに、他国間での「知的財産」を巡る競争の中には、著作者の権利を保護する国際条約が現在まで制定されてきたことも挙げられる。宮元（1995）は、「著作権に関係する代表的な国際条約として、文学的及び美術的著作物の著作者に対し、著作物の放送といった排他的権利を認める『文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約』、著作者の経済的な利益を保証する基本的な権利を保護する『万国著作権条約』、実演家とレコード製作者、放送事業者を保護するための規定である『ローマ条約』の、3 つの国際条約」を挙げた[18)]。

一方、李（1999）は「知的財産権の保護に関する国際共通のルールを構築することは、国別に利害が異なって難しいこと」を指摘した。「知的財産権の保護によって得られる利益と費用は、その国が所有している知的財産権の価値と密接な関係があるため、先進国と発展途上国との間で立場が異なる」ことに触れた[19)]。

このように、他国が国際条約を通じて「知的財産」政策を重視するようになったのは上述した通りであるが、中山（2015）は、「我が国での『知的財産立国』宣言の背景について、国際的競争力強化への高い関心と、知識経済化への対応という 2 つの側面」を指摘した他[20)]、岩田（2010）も「我が国の低迷する『モノづくり』産業に代わる経済戦略として、政府主導による国家的取り組みとして知的財産を活用し、他の経済先進国や新興国との経済競争に勝利する」ことを挙げた[21)]。「知的財産立国」の実現に向けて、「知的財産を有効に活用して国富を増大させる流れを確固するためには、知的財産を拡大再生産し、知的財産の創造、保護、活用の好循環である『知的創造サイクル』（図－3）の必要性」が「知的財産推進計画 2005」[22)] の中で挙げられたのに対し、玉井（2012）は、「知的財産立国に関する政府の財政・政策支援にも関わらず、知的創造サイクルは回っておらず、国民の知的財産に対する意識は依然低調なままである」ことを指摘した[23)]。



図－3.「知的創造サイクル」[22)]

ここまで、「①我が国で知的財産を産業化した背景」を調査した研究を概観してきた。一方で、知的財産を産業化させるにあたり、「②知的財産に関わる性質・法整備の問題点」を指摘した調査研究も併せて確認することができた。「知的財産権の商品化戦略が、特許だけでなくブランドやデザイン、ソフトウェア、映像、肖像、その他キャラクター商品と、多媒体に及ぶこと」は上述したとおりであるが [12]、門田（1998）は、「多額の費用、労力、および高度な技術を投入して開発されたソフトウェア（コンピュータプログラム）を対象に調査し、開発者の知的財産権が、常に侵害に脅かされている現状を挙げた。ソフトウェアを巡る知的財産権の侵害となる行為『海賊行為』について、『ソフトウェアのコピー』、『ソフトウェアの改変』、『部品の盗用』、『アイデアの盗用』の 4 つを挙げており、ソフトウェア業界に対し莫大な損害を与える」ことを挙げた [24]。

このように、知的財産とは様々な形態を持つ傍ら、侵害されるリスクも内包しており、産業化に至っては、後述する研究の中で、形態に応じた保護の必要性が指摘されていた。

神（1998）は、「知的財産は市場に供給され、取引される性質があると共に、様々な形態をとり、今後新たなタイプも出現することが考えられること」を指摘した。しかし、「公的な保護制度が従来のタイプの知的財産に対応できても、新たなタイプに対応できないため、結果として情報の開発者およびその販売者等の供給側が、これを抑止すべく私的に保護しようとするため、社会的に望ましくない場合が起こり得る」とした [25]。

さらに現行で施行されている、知的財産を巡る法整備の問題点も各研究の中で指摘されてきた。大塚（2003）は知的財産を、「映画の著作権法問題から論じた。現在の映画を巡る著作権法について、映画の著作権は、法定上、映画製作者に帰属しているが、映画の著作者が権利主体として正当に位置づけられていない問題」を指摘した [26]。また、梁瀬（2006）も知的財産について、「全国各地の名産品を対象に、地域ブランドに関する現行商標法での問題点」について指摘した [27]。

上述してきたように、我が国で知的財産が重視された背景には、衰退する製造業に代わる、新たな対外政策としてその必要性が提起されたからであった。しかし、知的財産を巡る政策や、法整備の問題等がこれまでの研究から指摘されている等、知的財産立国 [3] が提唱されてから 15 年以上が経過した現在でも、未だ課題もあることがわかった。

このように、「知的財産」に関わる事象を調査した研究論文には、観光について調査した研究は確認することができず、知的財産そのものに焦点を当てた研究がこれまで行なわれており、これらは「①我が国で知的財産を産業化した背景」、「②知的財産に関わる性質・法整備の問題点」の大きく 2 つに大別できるものであった。

2－2　コンテンツツーリズム研究

「2.コンテンツツーリズム」について調査した研究論文は複数確認することができる。

コンテンツとは本来、「中身。内容。特に、書籍の目次」とされており [27]、「情報の内容」を意味する言葉である [1]。コンテンツという言葉の曖昧性については、中川（2011）によって指摘されているが [29]、具体的に「コンテンツ」とは、「音楽、映像、画像、文章など、及び、これらを組み合わされたものを指すものであり、より具体的なものとして、映画、漫画、アニメ、音楽、ゲーム等」が挙げられている [28]。

さらに、内田（2007）もコンテンツという用語は「1990 年代後半以降盛んに利用されるようになり、映画、音楽、出版物、放送番組や、アニメーション、ゲーム、マンガ等を纏

めた総称と一般的に捉えられ、社会的なコンセンサスはほぼ一致している反面、用語の定義に関しての議論は多く明確に定まっているとは言えないことを指摘した。また、コンテンツは食品、衣料品、機械、原材料等の物財と同様に、経済的な財として取引されているが、これら物財の経済的な属性との差異についても充分に把握されていない」現状も挙げていた[30)]。

藤田（2009）は、「我が国では 2011 年に向けて地上波デジタル放送への移行が進み、コンテンツのデジタル化が進行している背景から、ブロードバンド・ネットワークを活用してデジタルコンテンツの配信サービスが開始されたことを挙げた。これにより、個人が自らのライフスタイルに合わせて、見たい時に見たいコンテンツを楽しむことが可能な環境が構築されつつある」ことについて触れた[31)]。

こうした配信という形でアニメや映画を利用者に向けて発信する事象が調査されてきた傍ら、田中（2011）はマンガ画像をデジタルコンテンツに自動変換する検証を行なっており、「画像のみならず音声や効果音をつけて臨場感を付ける」ことが課題であるとした[32)]。

つまり、「コンテンツ」とは、映画やアニメといった映像作品や文章等、視覚から入る情報をはじめ、音楽といった聴覚から入る情報等を包括した、全ての情報の総称であることが明らかにされている。そして、これらはテレビやインターネットといった様々な媒体を通じて発信されてきたことが、これまでの研究で述べられてきた。

よって、これら「コンテンツ」を対象とした観光、即ち「コンテンツツーリズム」とは、アニメや漫画等、特定の作品に偏向したものではなく、より広義な意味として展開できることが明らかとなった。増淵（2009）は、「コンテンツを用いたツーリズムは欧米でのフィルムツーリズムに端を発し、アニメをはじめとして、小説、音楽、テレビドラマなどあらゆる領域で行われるようになってきた」ことを挙げていた[33)]。

齋藤ら（2018）によると、「2005 年頃からコンテンツツーリズムは観光として注目され始め、特に映画やアニメのロケ地（アニメの場合は物語の背景や舞台）と観光との親和性が高く、全国各地でオリジナルコンテンツの制作・活用が行われてきた」ことに触れた。しかし、「持続的な効果をあげるための活用方法は必ずしも明確化されておらず、作品の知名度が高くなければ観光客は増えない」ことが指摘された[34)]。

また岡本（2011）も、コンテンツツーリズムとは、「映画やドラマ、アニメ、ゲーム、小説、漫画等の総称をコンテンツとし、それらを動機とした旅行行動やそれらを活用した地域振興」を指すと述べた[35)]。さらに金（2018）は、「映画やアニメ等に基づいたコンテンツツーリズムの需要などは, 中国人観光客の行動の自由化やニーズの多様化を促しており, 観光行動空間にも変化をもたらしている」ことを指摘した[36)]。

つまり、コンテンツツーリズムにおいて観光誘致資源として機能している「コンテンツ」とは、国内外の観光来訪者を観光地に誘客するに値するものとして機能していることが、上記の研究で既に明らかにされてきた。さらに、「コンテンツ」の特徴には、「地域の文化・歴史などと直接関係を持たない」ことにも触れられた[37)]。

中谷（2007）は、「テレビドラマ、映画、小説などは本来、観光を前提にした宣伝媒体ではないことを指摘した。映画やテレビドラマは、基本的に観光とは無縁に存在しているメディアであり、宣伝媒体とは異なるイメージ表象を創作している」ことに触れた。さらに、「これら作品中にて描写される現地イメージとは、必ずしも良いものとは限らず、ある都

市が犯罪都市として描写されていること。またロケは、映画等の主題となっている当該地ではなく、全く別の場所で撮影されている」ことに触れた[38)]。

つまり「コンテンツ」とは本来、観光とは無関係の存在であるが、既存の観光地に何らかの形でコンテンツが融合する。そのため、「コンテンツツーリズム」とは場所を問わず、どの観光地においても実践可能であることが覗える。しかし、「コンテンツツーリズム」は一時的な現象であり、その集客効果を持続させていくためには、地域の活動が必須であることを指摘した先行研究がある。

後藤（2018）は、コンテンツツーリズムにおける放映効果については、「テレビドラマの放映により誘発される放映地への波及効果は一時的なものであり、やがては消失するものと指摘した。その上で、地域の活動によって地域が有している地域資源と結びついた場合、その効果は持続して、その地域にとって重要な観光資源となりえる」ことを挙げた[39)]。

また、原（2018）は、「映画やアニメに描かれた地域への観光集客であるコンテンツツーリズムについて、地域のフィルムコミッションの活動は一定の成果をあげているが、そのプロジェクトの多くは東京で開発され、地域側は受け身である」ことを指摘した。よって「地域がプロジェクト初期の開発段階から関与していくことで、より深いストーリーが構築でき、また地域の要素を効果的に発信できる」ことに触れた[40)]。

このように、「コンテンツツーリズム」にて、誘客の対象となる「コンテンツ」には何が該当しているのか、また当観光現象の特徴とはなにかについて、これまでの研究で検証されているが、コンテンツツーリズムに関して「まとまった学術的な研究が少ない現状にある」ことも指摘された[41)]。その一方で、各コンテンツを使用した観光に焦点を当てた研究が散見できた。例えば、国内外で発信された映画やドラマの観光地を訪れる「①フィルムツーリズム」、またアニメ作品の舞台となった観光地へと訪れる「②アニメツーリズム」等の研究が、現在まで行われてきた。

まず、「①フィルムツーリズム」について、中谷（2007）は、フィルムツーリズムとは、「映画やテレビドラマなどの映像メディアの撮影地となったところを訪れ、映像の世界を追体験する観光」と定義しており[38)]、映画やドラマの「撮影地」が観光地となって、観光来訪者が当地を対象に訪れることに触れた。

これに対し、筒井（2013）は、まず「コンテンツツーリズム」を「文化・芸術にまつわる土地の旅行」であると定義した上で、「フィルムツーリズム（film induced tourism）」は映画の発達と共に出現した概念であることを述べた。その上で、「映画やテレビ番組の撮影場所は現代でも主要な目的地となっており、我が国でも尾道や富良野といった映画やテレビ番組の舞台となった地域は多くの観光客を集めている」ことを指摘した。さらに、「観光地化を視野に入れた自治体のロケ地誘致や映画の撮影地を名所として残すといった動きがあること」にも言及した[42)]。また片山（2017）も、「大衆映画の流行やテレビの普及を契機として，映像作品のロケ地を訪れる観光、即ち『フィルムツーリズム』が、20 世紀以降の日本ではメジャーな観光形態となっている」ことに言及した[43)]。

こうした映画やテレビドラマの「撮影地（ロケ地）」の定義について、木村（2010）は、「映画の場合はまさにそれが撮影された場所を意味するものであるが、映画の撮影が行われる場所は、スタジオ（撮影所）とそれ以外の場所であり、撮影所も当然「撮影場所」の 1 つとはなるが、『撮影地』には該当しない」ものとした。その上で、「『撮影地』とは、メディアを通じた観光地イメージの形成によって、『映画でみた世界を期待された撮影地か

ら映画、あるいはその他情報で見た世界であるべき撮影地』であるものとし、撮影地はそうした 情報と同じでなければならないことを述べた。元来、その場所が日常空間であったとしても、映画が撮影されることによって撮影地となり、その場所は日常空間や誰も気に止めないような場所には戻ることができない」ことに触れた[44]。

つまり、これまで単なる日常空間であったはずの場所が、映像作品が撮影されることによって「撮影地」となり、映像作品中でのその場所のイメージが、後より付随することで、人が訪れるに値する「観光地」となる、という段階的な変質を見ることが出来ることが、これまでの研究から明らかにされてきた。上述してきた「撮影地」を「観光地」にすることによって、現在まで実践されてきた「フィルムツーリズム」の研究には、下田ら（2015）が東京都あきる野市を事例とした研究がある。

下田ら（2015）は、あきる野市で実践されている「フィルムツーリズム（FT)」を、①映画祭、②自主制作映画、③FC（フィルムコミッション)、④劇場公開映画『五日市物語』の 4 つに分類した。その上で、「映画『五日市物語』は、市を PR する意図があると共に、作品を観賞する一般市民や他市町村に住む人々に対しても、あきる野市の美しい風景を活かした心にしみる本格的なシナリオの映画が制作されていた。また FT において、FC は非常に重要な役割を担っている」ことも挙げた。つまり「ロケ誘致が活発になる他、その対応もスムーズにできるため、ロケ地として使用される可能性が格段と上がり、知名度向上や地域活性化へと繋がるものである」ことを明らかにした。さらに、「あきる野市では地元の人々を意識した FT を多面的に展開し、観光産業を通じた地域活性化や知名度の向上、地域の誇りの醸成に成功していたこと、また市全体で FT に取り組んでいるため、住民との連携がきちんと取れていることもあきる野市の利点である」と纏めていた[45]。

このように下田ら（2015）の研究によって、「フィルムツーリズム」が体系化され、その性質が整理されているが、矢澤（2012）は映画祭を地域活性化の手段として捉える際、「①映画祭によってどれだけ経済活動が活発に行なわれるようになったのか」、「②映画祭によって地域外の人々がどれだけ当該地域を訪れるようになったのか」、「③映画祭によって、地域住民の満足度がどれだけ高まったのか」の 3 つの視点が、映画祭の可否を評価するための基準となることを挙げた[46]。

和田（2016）は、広島県尾道市における映画を活用したまちづくり方策について検証を行なった。尾道市が映画の撮影の受け入れや支援、フィルムコミッションの設立や映画資料館の整備といった「映画の町・尾道」を提唱するにあたり、発生した 2 つの変化について述べた。1 つ目は、行政だけでなく市民や NPO が映画まちづくりの担い手となってきたこと、 2 つ目は映画の消費・活用形態の変化であることを挙げた。つまり従来からの尾道ロケ映画の鑑賞とフィルムツーリズムに加え、「映画の町・尾道」で映像を学び、交流し、制作し、発信するという動きが胎動をみせていることを挙げた[47]。

さらに、ロケ地探訪では、山崎ら（2010）は、愛媛県松山市の“『坂の上の雲』をテーマとした地域おこし”を対象事例に、2009 年から 2011 年にかけて放映された、NHK 大河ドラマ「坂の上の雲」を使ったまちづくりや観光施策にて「物語」を用いた PR 手法について考察を行った。その結果、「『坂の上の雲』のまちづくりでは、既存の物語のテーマが、市長あるいは〈行政〉が松山という“商品”の魅力を発見・認識するトリガーであり、〈市民〉や〈観光客〉と松山の魅力を共有するためのある種のシンボルとして機能している」ことを述べた[48]。

中村（2014）は、観光政策では、「都道府県の政策と受入地である市町村の役割分担がある」とし、大河ドラマ「平清盛」の舞台となった広島県廿日市市（宮島）を調査対象に、同市の観光客の動向と観光政策の分析を行った。その結果、「2011 年度から 2013 年度の宮島を中心とした観光政策について、①おもてなしの向上、②繁忙期の集中期緩和、③観光資源のネットワーク化、④情報発信、以上 4 つが継続的に行われていることを挙げ、それぞれが互いに補完される施策であるとした。また、おもてなしを考える上で必要なことは、観光客が何にストレスを感じているかを把握することであるとした。また、観光客が同時期に同地区に集中する混雑や、接客の不十分さの解消のためには、時期と場所の分散化や受入対応の向上が必要である」とした [49)]。「平清盛」の放映や、宮島水族館のリニューアルオープンの効果等によって、廿日市市総観光客数及び宮島来島者数は、過去最多の観光客数 729 万人となっており [50)]、ドラマの放映によって観光客の集客は見込めるものの、単に映像作品の発信だけに留まらず、地域住民との連携や、必要な観光政策の補完が、フィルムツーリズムに必要な要素であることが触れられた [49)]。

このように、我が国でのフィルムツーリズムの性質が纏められてきた一方で、「フィルムツーリズム」とは国内だけに留まらず、海外で放映されているテレビドラマについても検証が行われてきた。

臺ら（2015）は、秋田県で撮影された韓国のテレビドラマ『IRIS（アイリス）』を事例に、秋田県でのフィルムツーリズムの発生と構造について調査した。その結果、「『IRIS』のフィルムツーリズムは、作品発表前にも関わらず、撮影中に出演俳優のファンがロケ地を訪れることが特徴であり、制作会社や出演者の事務所等から、制作・ロケ・出演に関する情報が発信され、ファンクラブやファン同士のネットワークの中で、その情報が拡散していくことによって発生したものである」ことに言及した。また、「コンテンツツーリズム研究においても、作品発表前から人が動いた事例は扱われていない」ことを指摘した上で、「撮影前からロケ地に関する情報が発信され、撮影中にファンが動くという現象も含めたフィルムツーリズム研究の枠組みの必要性」を挙げた [51)]。

ここまで、フィルムツーリズムとは国内だけの事例でないこと、またその誘致対象が、映像作品の視聴者だけに留まらず、作品を撮影する制作者側も対象であることが明らかにされてきた。こうした、市町村が映画のロケ撮影を受け入れ、外発的に地域活性化を模索する動きについて、鈴木（2010）は、「1990 年代以降の地方自治体の地域政策を特徴づける動きの 1 つであるが、映画やテレビを通じた観光誘客は、一時的な知名度の上昇には貢献しても、その後の継続的な観光誘客には結びつきにくい」ことを指摘している [52)]。

しかし藤谷ら（2015）は、観光研究において、「映画分析を行うことは、人々が都市に抱くイメージを把握するとともに、潜在的に込められている期待を発見することであるとした。また、そこから都市の新たな魅力創造につながる可能性がある」ことにも触れた [53)]。

つまり、「フィルムツーリズム」とは、テレビやドラマを通じた地域活性化や知名度の向上に貢献する一方で、一時的な観光現象となり得るリスクもまた抱えており、継続的な観光として維持していく必要性が求められることも明らかにされてきた。

上述してきた「①フィルムツーリズム」の研究では、映画やテレビドラマなど、画面にて芝居を行う人や実景を舞台に撮影された映像作品が、観光誘致資源として機能していることが指摘されていた。一方で、描線等の二次元あるいは 3D 等の CG 技術によって描写されるアニメ作品を素材とした「②アニメツーリズム」を調査した研究も複数確認できた。

「アニメツーリズム」とは、アニメ作品の舞台となった場所を対象に、観光者が当地へと訪れる観光現象である。またこの観光形態について長尾（2012）は「聖地巡礼」という言葉を用いて指摘しており、「フィルムツーリズムや聖地巡礼観光といった新たな観光形態の登場を挙げながら、観光に対するニーズは多種多様化している」ことを述べた[54)]。

天野（2013）は、「アニメツーリズムとは『個人的な興味関心に基づく観光』と称されるS.I.T（Special Interest Tourism）の一種であり、アニメーション（アニメ）に登場する舞台を作品のファンが訪問し、作品世界に身を侵潤させる行為、あるいはその体系的な利用を指し、巷間『聖地巡礼』と呼ばれ社会的認知を受けるようになってきた」ことを挙げている[55)]。その後、天野（2015）は、アニメツーリズムを、「小説・劇・映画・マンガ・アニメといった作品（コンテンツ）中に登場する舞台に、実際にファンが訪れるコンテンツツーリズムの一部であること」を指摘した。その上で、アニメツーリズムを「アニメーションの舞台やその世界観を反映した『場』を観光資源として活用しつつ実現されるもの」と定義した[56)]。しかし天野（2012）は、「アニメ作品を含めたコンテンツがいわば消費財でもあることにも触れており、永続的に活用し続けることは困難である」ことも述べていた[57)]。

岩間ら（2013）は、アニメツーリズムとは「特定の地域を題材にしたアニメ作品を活用して観光振興を含めたまちづくりを行なうことである」と定義した。その上で、「アニメツーリズム」とは作品がメディアを介して地域に付加価値を与え、地域・製作者・作品のファンが互いにイメージを共有し、協働する地域振興の形であり、地域の経済的・文化的発展をもたらす可能性があることに触れた。さらに、岩間らは「アニメツーリズム」を利用方法や目的の違いから振興策の特徴を見出し、自然発生型・地域主導型・内部高揚型の 3 つに類型化した[58)]。

まず「自然発生型」は、自発的に聖地巡礼を行なうファンの存在を地域が捉え、後から企業などが加わってアニメツーリズムが成立していく類型であり、これを導入する前の地域は経済効果のみを、導入した後は地域コミュニティの活発化、地域アイデンティティの醸成等も目的や期待される効果に加えられていったことを述べた。

続いて「地域主導型」とは、アニメ作品放送前から地域・企業が手を取り合い、地域社会の意向を反映させながらコンテンツ（アニメ）を製作し、メディア展開や PR 等を行なう振興策であり、ファンの主導であった自然発生型とは対照的な類型であると述べた。さらに、「地域主導型」は、従来のアニメ作品やファンありきのツーリズムではなく、地域の文脈を大事にし、地域と共に作品を作り上げ、知名度の向上・観光誘致に繋げることに主目的があることにも触れた。

最後に「内部高揚型」とは、上述した 2 つの類型から派生した新たな類型であり、アニメ作品を視聴したファンのツーリズム誘導だけが目的ではなく、地域内部のコミュニケーション活発化を主軸に置いていることに特徴があると述べた[58)]。

このように、アニメ作品を誘致資源とした「アニメツーリズム」についての研究には、上述した「舞台となった場所へと訪れる行為」を、「聖地巡礼」という言葉で統一し、検証を行った研究が散見できた。「聖地巡礼」について、増淵（2010）は、「ファンがコンテンツ作品に興味を抱いて、その舞台を巡るもの」と定義した[41)]。その一方で喜馬ら（2018）は、「聖地巡礼」とは「アニメや漫画の舞台となった場所をファンが訪問するコンテンツツーリズムの一形態」であるとした[59)]。

また岡本（2014）は、コンテンツツーリズムが注目を浴び始めた要因の一つとして、アニメ聖地巡礼を挙げながら、アニメ聖地巡礼を、「アニメに描かれた背景の元となった場所を探し出して訪れる行為」と定義した[60]。しかし、上田（2011）は、「聖地巡礼」を、「アニメ・漫画・ゲーム等の作品の中で背景として描かれている、実在する土地を訪ねること」とし、一般的に「舞台探訪」と呼ばれている行動も含め、全て「聖地巡礼」に該当するものと述べている[61]。また楠見ら（2018）も同様に、「聖地巡礼」とは、「アニメや映画などの舞台となった場所に、多くのファンが訪れる社会現象」として定義した[62]。

上記の研究を纏めると、「聖地巡礼」という言葉は、アニメツーリズムのみに適用される言葉ではなく、漫画やゲームといった他のコンテンツツーリズムにも適用できることが覗える。こうした「聖地巡礼」と称して、当該地域が注目されるようになった背景について、谷村（2011）は、アニメ作品のモデルとなった地域を訪れる「アニメ聖地巡礼」の事例から述べている[63]。

谷村はアニメーションのデジタル技術の発達を挙げた。「1990 年代後半にセルアニメのデジタル化が進められ、2000 年代に入ると様々なアニメ作品において、実際の景観を模写したような精緻な背景画が描写されるようになった。これに伴い、実際に存在する地域をモデルにした作品が増え始めるようになり、アニメ作品のファンはこのようなモデル地域を「聖地」と呼称するようになった。そしてモデル地域を訪れたファンは、作品中で用いられたアングル通りに写真を撮影する等の観光行動をとるようになり、これらの観光行動が「聖地」と対応する形で「聖地巡礼」と呼称されるようになった」ことを述べた[63]。

ここまで、「聖地巡礼」について述べてきたが、当現象に参加するファンが何を目的に目的地へと訪れ、その行動にどのような特徴があるのかについても、後述する複数の研究によって明らかにされてきた。

神田（2013）は、白川郷を舞台に製作されたアニメ作品「ひぐらしのなく頃に」のファンは、世界遺産としての白川郷を訪れる人々とは異なる特徴を持っていることを明らかにした。「白川郷に来訪するアニメ作品のファンとは、主として 2～3 名グループの若い男性であり、その多くがインターネットで情報を収集し，しばしば白川郷のガイドマップを改変して作成された雛見沢（アニメ作品中に登場する、白川郷をモデルとした架空の村）の地図を持参して、アニメ作品中に登場したと考えられる場所を見物することを目的としていたことに触れた。その上で、地元の観光協会は、上述した観光客の性質上積極的な宣伝を行わない方針をとっているが、一部で許容する声がある反面、アニメの内容やこうした観光客に対して嫌悪感を抱き、そのイメージが白川郷にふさわしくないと考える住民も存在する等、住民の反応は大きく異なっている」ことを指摘した[64]。

一方、佐藤ら（2018）は明治期より観光地として発展してきた茨城県東茨城郡大洗町を対象に、当地にて実践されている、アニメ作品『ガールズ&パンツァー』を誘致素材としたアニメツーリズムに訪れるファンの行動についてその特徴をまとめていた。「大洗町は、ファンが大洗駅やアウトレットモールである大洗シーサイドステーションを拠点としながら、『ガールズ&パンツァー』を商品展開の軸に据えた『ガルパンギャラリー』や『ガルパン喫茶』に加えて、商店街の店舗、磯前神社、その他観光施設を設置する等、ファン各々の目的に応じた多様な訪問が行える環境が整えられている」ことにも言及した。

さらに、大洗町に訪れるファンの特性について、「ファンは一般観光客に比べて行動範囲が広い上に宿泊を伴う来訪が多いことも明らかにした。初来訪のファンは多様な同行者と

共に、宿泊を伴って来訪する傾向が強い上、彼らは遠方に居住する若年層が主体であることも指摘した。来訪回数を重ねたリピーターである程、大洗町の近隣に住む事例が多い上にファンは自家用車や鉄道を利用しながら個人で観光を行う傾向が強いことも言及しながら、ファン同士や店主との交流のみに留まらず、それぞれの関心によって多様な観光行動を展開しながら、ファンを迎え入れる観光空間が大洗町に形成されていた」ことを挙げた[65)]。

また川添ら（2018）は大洗町を対象に、コンテンツツーリズムの成立による来訪者の変容に伴い、観光現象や観光地における施設や関連団体、行政などの各アクターにどのような変化が生じたかを検証した。その結果、「アニメ作品の舞台として地域が取り上げられたことにより、大洗町は多くのファンが訪れるようになった変化が見られた」と述べた。さらに、「当初は各アクターにおける対応は、多くの訪問客が訪れるにつれて様々な方策がとられるようになり、以前は観光地として認識されなかった商店街や駅などにも多くの観光来訪者が訪問するようになった変化が見られた」ことを指摘した。また、宿泊業においても、「アニメ作品が放映される以前までは家族連れや団体客が宿泊者の中心であったが、放映以降は 1 人客の割合が大きく増加するなどの変化が生じた」ことを明らかにした[66)]。

畠山（2012）はファンが舞台のモデルとなった地域を訪れる動機および目的は、物語の追体験であることを挙げた。その上で、動機づけ要因となるのは、「アニメの物語の質」であると述べた。これが「特定作品のアニメツーリストの最大数を決定するものである一方で、リピートの要因になるのは、『地域のおもてなし』である」ことに触れた。さらに「接客や情緒を含め、アニメで描かれた雰囲気を壊さない必要がある」ことに言及した[67)]。

こうしたアニメツーリズムにおけるファン行動の特性の先行研究は他にも、田中ら（2015）による研究がある。田中ら（2015）は観光行動を分析する手段として、情報ネットワークである「Twitter」の位置情報付きの投稿データを用いて、アニメやドラマの聖地と認められている地点（茨城県大洗町(アニメ『ガールズ&パンツァー』)、滋賀県豊郷町(アニメ『けいおん！』)、福島県会津若松市鶴ヶ城周辺(テレビドラマ『八重の桜』)）と、アニメファンが多く参加するイベント（日本最大規模の同人誌即売会である「コミックマーケット 85」）に注目して、アニメ聖地巡礼者の①発地と②訪問先を対象に分析を行なった。

その結果、「聖地と呼ばれる地域へどこから人が来ているかは明らかに出来る反面、それらの人々が聖地巡礼目的で来ているかはわからない」ことを挙げた。さらにイベント「コミックマーケット 85」参加者をアニメファンとみなすことで、「どのような地域が聖地となっているかはわかったが、分析に使用したのはアニメファンの巡礼行動のごく一部であり、全国的な代表性がない」ことも指摘した。その上で「制限はあるものの、把握困難な聖地巡 礼の空間的な広がりを検討することについて、位置情報付 SNS 投稿データは、貴重な情報源であり、観光研究および実務に生かすことができる」ことに言及した[68)]。

また田中ら（2016）は「Twitter」の位置情報付きの投稿データを用いて，アニメ聖地と認められている地域内で巡礼者がどのような地点を訪れているのかを、時系列に見る地域の施策の動きと聖地巡礼者の動きの関係性を分析する対象地として、先述した茨城県東茨城郡大洗町を挙げている。「大洗町は、2012 年 10 月に TV アニメ『ガールズ&パンツァー』が放映されて以降、アニメ聖地として多数の聖地巡礼者が来訪し，その光景を見た町内関係者が同アニメに関連した様々な取り組みを行っている」ことを指摘した[69)]。

ここまで、「①フィルムツーリズム」、「②アニメツーリズム」の先行研究を通じて、コン

テンツツーリズムの特徴について概観してきた。しかし、コンテンツツーリズムとは本来、観光とは無関係の存在である「コンテンツ」が既存の観光地に何らかの形で融合したことで成立する観光現象である。山村（2014）は、「アニメや漫画、映画などが、一般に地域外の制作者が当該地域を舞台に製作するコンテンツであり、キャラクター等の権利は製作者側にある」と述べている[70]。つまり、コンテンツツーリズムの成立には、観光地となる市町村や、訪れる観光者だけでは成立せず、映画やアニメ作品の著作側となる映像制作会社の存在も必要であることが指摘されている。つまり、映像作品自体は観光地固有の物ではなく、映像制作会社が作品の著作権を有しているため、コンテンツツーリズムは場所を問わず、どの観光地においても実践が可能であることが明らかになった。

2－3　特撮研究

「3.特撮」の調査研究は、「①特撮とはなにかを調査した研究」と、「②我が国での『特撮』技術の歴史について調査した研究」、「③特撮映像作品本編から時代背景を考察する研究」の 3 種類に大別することが出来た。

特撮とは、元々「特殊撮影」の略称であり、「映画・テレビで、ミニチュア撮影、高速度・微速度撮影、スクリーン・プロセス、二重露出、電子画像処理などの技術を駆使して、現実にはない情景を画面上に作り出すこと」と定義されており[1]、家屋やビルを精密に模した「ミニチュア」が表現手段として挙げられている。つまり特撮とは、通常の映像撮影では創作できない、非日常的な光景を描写する映像撮影方法の 1 つであることがわかる。

まず、「①特撮とはなにかを調査した研究」では、尾上ら（2013）は、特撮を「ヒーローや怪獣の着ぐるみの登場や、精巧なミニチュアを用いた、日常では撮影することのできない光景を描写する技術（アニメーション、CG も含む）を表す」[71]と定義している。この定義では、精巧な「ミニチュア」に加えて、空想の産物である怪獣やヒーローを表現する「着ぐるみ」が提唱されている。この定義では、ミニチュアを舞台に着ぐるみのヒーローや怪獣が対峙するものとして、特撮がより広く定義されている。

また田渕（2005）は、特撮を「通常のプラクティカル撮影では、表現不可能なショットをコンポジット（合成写真）テクニックを主体に精密模型やフィギュアを使用し、実在感を映像化する世界である。」と定義した。この定義では、CG 合成によって、背景と精密模型を「合成」する撮影手法が「特撮」であるとしている[72]。「ミニチュア」や「着ぐるみ」という言葉を使用せずに、航空機等を精密に再現した「模型」という要素を主体に、特撮を定義していることに特徴がある。

このように、特撮の言説定義は、それぞれ行われてきたが、特撮を構成する要素は、各定義によって異なっている。これらを総括すると、特撮が非日常的な光景を、航空機やミニチュア等の模型を使用した撮影方法であるという点は共通しているが、各定義での特撮が内包している要素は、着ぐるみやミニチュア、合成写真等と、その撮影方法は多種多様であり、統一されていないことがわかる。

上述してきた 3 つの定義に対し、筆者ら（2017）は、観光資源化することを前提とした特撮の再定義を行った。筆者らは、特撮映像作品の約 60 年の歴史を通して、「特撮」とは、下記表－5 の 7 つの要素を満たすことで成立していることを明らかにした[73]。

7 つの要素とは、「怪獣やヒーローといった、現実には存在しないキャラクターを模した着ぐるみを、演者が着用することによって表現される『1.着ぐるみキャラクター』、家やビ

ル等の建造物、木々が密集した山々、さらに自動車や飛行機といった乗り物等を小さな模型で製作し、これらの模型をステージ上に配置することで、巨大な怪獣やヒーローが立ち回りを行なうビル街や住宅街等が表現される『2.舞台』、怪獣と対峙する戦闘部隊の隊員が着用するコスチューム等の衣類をはじめ、光線を放射する銃や、ヒーローへの変身アイテム等の小道具を包括した『3.衣装』、巨大な怪獣やヒーローが対峙する舞台に配置するために製作された、家々等の建造物や、自動車や飛行機といった乗り物等を表現した『4.模型』、怪獣が口から放射する熱戦や、ヒーローが敵に放出する光線等を、撮影した映像の中で合成する『5.技術（SFX 等）』、ミニチュアを設置した舞台でのヒーローや怪獣の格闘や、映像の中での合成表現等、全ての特撮映像を監修する役職である『6.特技監督』、特撮映像作品に登場する顔出しの俳優をはじめ、着ぐるみの中に入って芝居を行なう演者等、特撮映像作品の総出演者を包括する『7.キャスティング』」、以上 7 つの要素によって、特撮映像作品は成り立つと定義した。

表－5.「特撮」の 7 要素　一覧

各要素名	要素の詳細
1.着ぐるみキャラクター	演者が着用する、怪獣やヒーロー等の架空のキャラクターを模したもの
2.舞台	精巧につくられたミニチュアの配置による、ヒーローと怪獣が立ち回りを行う場の創造
3.衣装	演者が使用する光線銃等の小道具や、隊員服等の服装
4.模型	小さなミニチュアによる舞台と縮尺が合うように造形された戦闘機等
5.技術（SFX等）	怪獣が放つ熱戦等を、撮影した映像に合成する技術
6.特技監督	特撮セットを使用した撮影現場の総監督
7.キャスティング	特撮映像作品の総出演者（スーツアクターを含む）

続いて、「②我が国での『特撮』技術の歴史について調査した研究」が挙げられる。

尾上ら（2013）は、我が国での特撮を囲む危機的現状を指摘した上で、「特撮」を 1 つの文化として保存、継承していく必要性について言及した。「1960 年以降、多くの特撮作品が製作された。中心視聴者である子ども達を始め、文化面、経済面に多大な影響を及ぼした特撮であるが、1990 年代後半に、デジタル映像の加工技術であるコンピュータグラフィックス（CG）の本格的な登場によって、それまで「実写では不可能なことを表現するにはミニチュアを使って撮影する」という「特撮」の固定概念を根底から覆すことになったと述べた。その結果、画像のデジタル加工技術が 2000 年頃よりミニチュアや着ぐるみは急激に CG に取って代わられた。これを機に、「特撮」の本質である「ミニチュア」と「着ぐるみ」の必然性が、この時期を境に急激に失われていったことを述べた。つまり、CG の登場による技術的表現の変化に伴う需要の減少によって、利用価値の薄くなったミニチュアや着ぐるみはその多くが廃棄処分される現状にあり、「特撮」を我が国独特の文化として認識し、貴重な遺産として保護する必要性」が提唱された[71)]。

尾上ら（2014）は以降、特撮映像作品を制作する際の着ぐるみやミニチュアを創作する技術について、制作者の聞き取り調査と文献調査を行い、「過去に特撮技術を体系的に網羅する技術書は存在しない」ことを指摘した[74)]。また、特撮映像作品の撮影に使用される現品（ミニチュア、撮影用特殊機材、デザイン、図面類）の保存現状についても、三池ら（2015）は「撮影関係者の高齢化・物故、記録メディアの急激な変化、市井コレクターの急逝による散逸、廃棄等、危機的な状況にある」ことを挙げていた[75)]。

最後に、特撮を対象とした先行研究は「③特撮映像作品本編を考察する研究」がある。

この研究には、東宝が制作した特撮怪獣映画、円谷プロや東映が制作した特撮ヒーロー番組等を題材に、「Ⅰ.各特撮作品を制作した脚本家に対するインタビュー調査」や、「Ⅱ.作品が制作された時代背景を分析した研究」が挙げられる。

「I.各特撮作品を制作した脚本家に対するインタビュー調査」では、花岡（2016）が、円谷プロ制作の特撮映像作品『ウルトラマン（1966)』、『ウルトラセブン（1967)』の 2 作品を対象に、戦後の日本人と戦争の「記憶」の距離感について考察した。花岡は、「ウルトラマン＝沖縄」の構図を破棄し、上原正三や田口成光といった 2 作品の脚本家にインタビュー調査を実施しながら、『ウルトラマン（1966)』と『ウルトラセブン（1967)』の内容や、本編にて展開される言説、脚本家らを取り囲む作品の制作過程を分析した。その結果、両作品について、「『ウルトラマン=金城哲夫=沖縄』の文脈で語ってしまう事が作品理解上適切ではないとした。また、『ウルトラマン（1966)』、『ウルトラセブン（1967)』の諸描写の大半が、金城の思想的変化や葛藤を反映したものでなく、番組制作上の必要に迫られた上での演出や路線変更であった」ことを挙げた[76)]。

続いて、「Ⅱ.各特撮作品が制作された時代背景を分析した研究」は、東宝の特撮怪獣映画『ゴジラ（1954)』シリーズや、円谷プロのウルトラシリーズ、東映のスーパー戦隊シリーズの作品研究がこれまで行なわれてきた。

田畑（2005）は、「『ゴジラ（1954)』を筆頭とする怪獣映画がなぜ日本においてこれほど制作され、そこにおいて、しばしば絶滅した恐竜の生き残りと説明される怪獣が、なぜこれほどに繰り返し現代都市を破壊するのかを検討することによって、日本人の都市観の特質」について考察を行なった。田畑によれば、『ゴジラ（1954)』の成立の一つのきっかけは「水爆実験への恐怖と危機感」であったことを挙げた。「昭和 29 年 3 月に第五福竜丸事件が発生し、同年 5 月からは日本各地で放射能雨が測定される等、1954 年当時の核の恐怖は切実な関心事であった」ことに触れた。この事態は、「戦時中の広島や長崎の被爆の記憶と結びついており、『ゴジラ（1954)』には、戦争の記憶、とりわけ被爆と空襲の記憶が濃厚に反映されている」ことに触れた。

つまり、「映画『ゴジラ（1954)』の中で、ゴジラが東京を襲撃する場面は、戦時中の大空襲の再現であり、繰り返される核実験と、第五福竜丸の事件が呼び起こした広島・長崎への原爆投下の恐怖の生々しい記憶と、戦争再来への切迫した危機感の表現であった」と述べた。さらに、「ゴジラを筆頭とする怪獣とは、西洋文明に対する攻撃的なアンチテーゼとして描写されており、日本が導入した西洋文明の象徴である高層ビルの林立する都市を繰り返し標的としている」ことを挙げた。つまり「怪獣映画における、怪獣の都市破壊のシーンとは、日本人の西洋文明への違和感の根深さを表わすもの」であり、「増加し続ける都市民たちにとって、都市破壊のシーンとは、抑圧的で単調な日常からの、束の間の虚構の解放感を与えるものである」と述べた[77)]。

このように、特撮作品が内包していたメッセージ性や、作品公開当時の社会背景を分析した研究が、東宝の特撮怪獣映画を題材に行なわれてはいた。特撮映像作品が含んでいたメッセージ性や社会背景を分析した研究は他にも、円谷プロが制作したウルトラシリーズを対象とした研究もいくつか確認することができる。

例えば、花岡（2018）は、「『ウルトラマン（1966)』や『ウルトラセブン（1967)』は、モータリゼーションの浸透[註 1)]や宅地造成による自然破壊[註 2)]、過剰な宇宙開発競争[註 3)]や軍拡[註 4)]、登場人物の帰属先の所在[註 5)]、社会的マイノリティへの差別問題[註 6)]や近代コミ

ュニティにおける街と人々の関係[註 7)]など、両作品のエピソードテーマは多岐に渡っている」ことを指摘した上で、「開発至上主義、科学至上主義の行き過ぎに対する疑問と警鐘が、作品の根底に横たわっていた」ことに触れていた[78)]。

続いて、小林（2005）は、1996 年に放送された『ウルトラマンティガ（1996）』を題材に、現代日本社会が持つ「情報化」の性質について検証を行なった。その結果、「『ウルトラマンティガ（1996）』は、上層には個人の自由な行動が謳歌される様相を持つ反面、下層には不気味さや恐怖といった情報による管理機構があるという「情報化」が持つ二重構造を明らかにした」ことを述べた。つまり「情報によって個々人が見守られているという安心感が存在する反面、自分は常に監視されているというプライバシーの侵害に発する不気味さや畏怖は決して拭われることはない」ことを挙げていた。その上で、「『ウルトラマンティガ（1996）』は情報化が持つ二重構造を暴き出していたと共に、とりわけ下層の部分を表出してみせたことに特徴がある」ことを述べた[79)]。

このように、ウルトラシリーズは、昭和と平成それぞれの時代に制作された作品の調査研究が行なわれてきたことは上述したとおりである。一方で、筆者らは、昭和から平成にかけて制作されたウルトラシリーズの描写が変遷を遂げていることに着目し、労働観と余暇観の観点から、円谷プロ特撮映像作品が内包していたメッセージ性の分析を行なった。

筆者ら（2013）は、1966 年から 2013 年までの円谷プロ特撮映像作品（全 23 作品、988 話）を対象に、同放映期間中の日本人の労働観と余暇観の変遷について、全作品視聴による悉皆調査を行った。その結果、「労働者が『労働』と『余暇』の見境をつけずに働き続ける状況を批判した、年代を超えて一貫性のあるメッセージと、女性の社会進出といった現代労働社会の変化に応じたメッセージによる、2 つの性質がある」ことを明らかにした[80)]。

その後、筆者らは（2018）、1966 年から 2016 年まで制作された円谷プロ特撮映像作品（全 78 作品、1,805 話）を対象に、文明社会からの逃避先である『楽園』に対する描写の変遷について、時系列的な調査を行なった。その結果、「『楽園』を求める人間を中心とした作品は全 8 作品と、少ない結果が得られたが、40 年間作品に登場する散発的なモチーフである」ことを明らかにした。さらに、「昭和から平成へと時代が変化したことに伴い、円谷プロ作品に登場する「楽園」の描写は 2 つの特徴的な変化を遂げている」ことも判明した。まず、楽園を求める人間の描写が「個人から集団へと拡大」したこと、2 つ目に、昭和の時代の作品では楽園が「幻想的な世界」として描写されていたのに対し、平成の作品では、現世に失望した人間達が辿り着く虚無の世界、即ち「地獄」として「楽園イメージの失墜」が描写されていたことが、半世紀に渡る円谷プロ特撮映像作品の中で確認できた[81)]。

ここまで円谷プロ制作のウルトラシリーズを対象とした作品研究を挙げてきた。しかし一方で、東映が制作した特撮ヒーロー番組の作品研究もいくつか散見することができた。

大平（2015）は、スーパー戦隊シリーズ第 33 作目『侍戦隊シンケンジャー（2009）』を題材に、本作が「大人と子どもが一緒に見ることを意識して制作されている」ことを挙げた。つまり、「特撮ヒーロー番組の商業的な成功を狙うためには、作品の第一の受け手である幼児・児童に限定せず、その他大勢にも受け容れられることが課題となっていることを指摘した。その上で、幼児・児童のスポンサーとしての親という存在も大きなターゲットとなっている」ことに触れた[82)]。

先述した『侍戦隊シンケンジャー（2009）』は国内で放送された作品研究であるのに対

し、東映の特撮ヒーロー番組は米国ハワイ州でも輸出されている。その結果、特撮ヒーロー番組の放映がハワイ州に与えた影響について調査した研究も行なわれてきた。勝野（2014）とジェフリー（2008）は、米国ハワイ州で放映された特撮ヒーロー番組『人造人間キカイダー（1972)』が米国ハワイ州に放映され、ブームとなった現象に焦点を当てた研究を行なった。

勝野（2014）は米国ハワイ州を調査対象地に設定し、2001 年 11 月に日本の特撮ヒーロー番組『人造人間キカイダー』が 26 年ぶりに巻き起こしたリバイバルブームに着目して、主に 30～40 歳代のファンが「ジェネレーション・キカイダー」という世代意識を形成してきたプロセスについて分析を行った。その結果、「キカイダーイベントへ積極的な協力を行うことが、ファンが幼少時代の感覚を一時的に取り戻す場になっていると捉え、現在と過去を繋ぐ境界空間を形成している」と述べた[83)]。

一方でジェフリー（2008）は、「ハワイ特有の」多文化を構築するのに大きく寄与したとされる東映制作の『人造人間キカイダー（1972)』、東宝制作の『愛の戦士レインボーマン（1975)』の 2 つの特撮ヒーロー番組を対象に、「日本で制作された両作品がハワイの多様性を象徴するもの」として、「多文化主義、多文化教育といったハワイの複合的な概念の意味」を明らかにしていた[84)]。

以上、「3.特撮」を対象とした研究には、「①特撮とはなにかについて調査した研究」、「②我が国での『特撮』技術の歴史について調査した研究」、「③特撮映像作品本編を考察する研究」から成る 3 種類に分類できるものであった。

補註

註 1：1966 年 11 月 27 日放映「ウルトラマン」第 20 話「恐怖のルート 87」
註 2：1967 年 2 月 19 日放映「ウルトラマン」第 32 話「果てしなき逆襲」
註 3：1966 年 10 月 30 日放映「ウルトラマン」第 16 話「科特隊宇宙へ」
註 4：1968 年 1 月 7 日放映「ウルトラセブン」第 14 話「ウルトラ警備隊　西へ（前編)」
1968 年 1 月 14 日放映「ウルトラセブン」第 15 話「ウルトラ警備隊　西へ（後編)」
1968 年 3 月 31 日放映「ウルトラセブン」第 26 話「超兵器Ｒ1 号」
註 5：1967 年 2 月 26 日放映「ウルトラマン」第 33 話「禁じられた言葉」
1968 年 7 月 21 日放映「ウルトラセブン」第 42 話「ノンマルトの使者」
註 6：1967 年 2 月 5 日放映「ウルトラマン」第 30 話「まぼろしの雪山」
註 7：1967 年 11 月 19 日放映「ウルトラセブン」第 8 話「狙われた街」

2－4　特撮ツーリズム研究

「特撮」を誘致資源とした観光現象である特撮ツーリズムの研究は、筆者ら以外の研究を現状では確認することが出来なかった（表－4)。先述したように、「NDL ONLINE 国立国会図書館」[9)] では 6 件の検索結果が該当したが、すべて筆者らが執筆した研究であるため、他者が執筆した特撮ツーリズムの先行研究が現状確認することができない。

そこで本稿では、内容自体は本学位論文の骨子となっていることを承知した上で、筆者らがこれまで行ってきた特撮ツーリズム研究を概要的にまとめた。筆者らは特撮ツーリズムの「歴史」と「行動特性」について焦点を当て、その歴史を明らかにすると共に、特撮ツーリズムに参加する観光者の行動特性を類型化する研究も併せて行ってきた。特撮ツー

リズムの「歴史」研究は、「1.特撮ツーリズムの歴史研究」、「2.特撮ツーリズム開催地と他のレジャー地との比較研究」にて詳述し、「行動特性」研究は「3.特撮ツーリズムの行動特性研究」において詳述する。

まず、「1.特撮ツーリズムの歴史研究」では、特撮ツーリズムがいつの時代に誕生し、どのような歴史を辿ってきたのか、またその現象はいかに国内外に拡大したのかを検証した。特撮ツーリズムの歴史検証を行なうにあたり、まず、特撮ツーリズムはどこで、誰を対象に開催されている観光現象なのかを定義することから開始した。つまり、国内だけの現象なのか、海外でも実施されている観光現象なのか、また誰を対象に誘致が行なわれているのかを検証することから調査を行なった。

筆者ら（2014）は、特撮映像作品に登場するヒーローや怪獣を用いて地域振興を行う観光現象を「特撮ツーリズム」と定義し、米国ハワイ州にて開催された『人造人間キカイダー（1972)』シリーズや『ウルトラマン（1966)』シリーズを誘致資源としたイベントに焦点を当て、現地調査による実態の解明を行なった。

ハワイ州では、東映制作の特撮ヒーロー番組『人造人間キカイダー（1972)』の爆発的ヒットに伴い、サイン会の開催や記念日の制定等、現地在住の人々を巻き込んで社会現象化した歴史を有していた傍ら、『ウルトラマン（1966)』シリーズを題材に、ハワイ州に訪れる日本人観光客を対象としたツアー商品も開発されていた。

それが、円谷プロとハワイ州観光局との共催企画『ウルトラハワイ』ツアーであり、筆者ら（2014）は、当ツアーの参加による現地調査を行った。その結果、「『ウルトラハワイ』ツアーの企画の中心は、ハワイ州にて体験できるアクティビティであり、特撮ヒーローや怪獣は、あくまで企画の PR 素材に過ぎなかった」ことを明らかにした[85)]。

上記の研究を通じて、特撮ツーリズムは国内だけの事象ではなく、海外市場でも実践されてきたことが明らかになった他、ハワイ州で開催された特撮ツーリズムは、現地在住者に向けても、さらにハワイ州に訪れる日本人観光客に向けても開催されていたことから、特撮ツーリズムは国際的な観光事象として既に機能していたことが明らかになった。

上述してきたように、『ウルトラハワイ』を通じて、海外での特撮ツーリズムの特性について明らかにしたが、これ以降は、国内の特撮ツーリズムにも焦点を当て、我が国での特撮ツーリズムの歴史に焦点を当てた検証を行った。

「我が国初の特撮ツーリズムの事例は、1965 年に都内松屋デパート屋上にて開催された怪獣ゴジラの実演ショーであった。これ以降、特撮ツーリズムは 50 年に渡ってその事例を増加させるようになっていった」ことを明らかにした。さらに、「特撮ツーリズムは 50 年の歴史の中で、着ぐるみを使用した実演ショーや握手会等のイベントを単発的に開催してきた一方で、遊園地内でのアトラクションショーの常設化や、毎年特定の時期に開催される恒例開催型のイベントも開催するようになる等、各時代を通じて様々な特徴を持った事例を産出しながら、観光現象を現在まで継続していた」ことが判明した。

筆者ら（2015）は、特撮ツーリズム 50 年の歴史を、特徴別に 5 つの時代に類型化した。各時代の特徴は、下記表－6 のとおりである。

表－6.特撮ツーリズムの歴史　分類表（2015 年時点）

番号	時代	特徴
①	1960年代	怪獣の着ぐるみを使ったショーや、展示中心の単発的なイベントを開催
②	1970年代	特撮ヒーロー番組のショーを行なうための常設施設を設置
③	1980年代-1990年代	特撮ヒーロー番組の毎年恒例イベントの開催や、ショーの常設施設化の継続
④	2000年代	特撮映像作品を用いた、国内での地域おこしが一斉に増加
⑤	2010年代	特撮ヒーロー番組を題材とした飲食店の開店等、新たな事例が継続的に増加

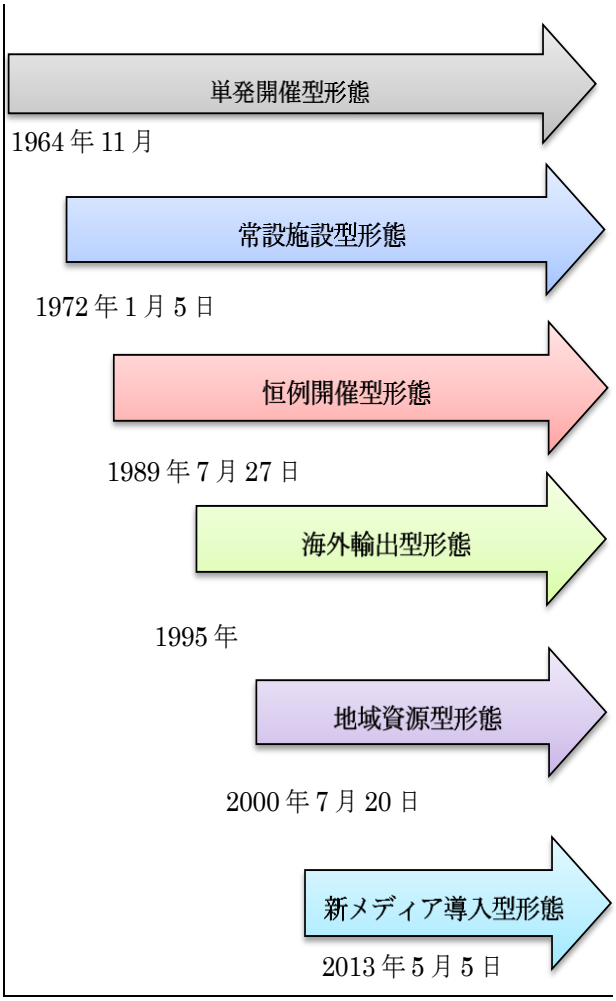
表－6 の時点では、各時代の特徴を概要的にまとめることができたが、まだ各時代の呼称は確定しておらず、特撮ツーリズムは 50 年の歴史と共に、多様性に富むようになっていったことを明らかにした[86]。筆者ら（2016）はその後、特撮ツーリズムの歴史の研究を継続した。各時代の名称を改称したと共に、各時代の特徴と変遷を概観した（表－7)。

表－7.特撮ツーリズムの歴史　分類表（2016 年時点）

番号	時代	名称	特徴
①	1960年代	特撮ツーリズム　草創期	展示型イベントの開催
②	1970年代	常設施設開放期	アトラクションショーの常設化
③	1980年代・1990年代	恒例イベント創造期	毎年恒例イベントの開催、期間限定商品の販売開始
④	2000年代	地域振興誕生期	「特撮」を観光資源としたまちづくりの活性化
⑤	2010年代	現象50年期	「特撮」と企業や地域観光局と提携による誘致

まず、怪獣ショーの初開催やサイン会、着ぐるみを展示するイベントを開催するようになった「1960 年代:特撮ツーリズム　草創期」。続いて、遊園地にて『仮面ライダー（1971）』を筆頭とする特撮ヒーロー番組のアトラクションショーを常時開催できる施設を常時設置するようになった「1970 年代：常設施設開放期」。「ウルトラマンフェスティバル」に代表される毎年恒例イベントの開催や、イベント会場限定商品販売が行われるようになった「1980・1990 年代：恒例イベント創造期」。国内各所にて、特撮映像作品を使用した地域振興を実践するようになった「2000 年代：地域振興誕生期」、特撮と企業や地域観光局との提携による誘致が活発に行われるようになった「2010 年代：現象 50 年期」と、特撮ツーリズムの歴史を 5 つの時代に分類した[87]。

上述してきたとおり、特撮ツーリズム 50 年の歴史とは特徴ごとに分類できるものであり、また各時代に誕生した特徴が、現在まで継続していることを明らかにした。筆者ら（2017）はその後、特撮ツーリズムの歴史検証にて、各時代に確認出来た特徴を、「観光形態」として纏め、より詳細な調査を行なった。その結果、特撮ツーリズムは 50 年の歴史の中で、6 つの特徴的な観光形態を、各時代に創出し、各観光形態が現在まで継続してきたことを明らかにした[73]。下記図－4 は、特撮ツーリズムの各形態が、いつ出現して現在にまで至ったかを纏めたものである。



図－4.特撮ツーリズム現象年代記

まず、単発的に着ぐるみの展示会やアトラクションショー等のイベントを開催する「単発開催型形態」、特定の場所を拠点に、特撮ヒーローのショーを観賞できる「常設施設型形態」、一定期間のみ展示やショーを開催できる場所を常設する「恒例開催型形態」、米国本土のテーマパーク等を舞台に、特撮ツーリズム現象が輸出された「海外輸出型形態」、特撮映像作品が地元の観光資源として活用され、地域振興と結びついた「地域資源型形態」、インターネットやSNS等の様々なメディアを介して、AR技術等の新技術を用いて情報発信を行った「新メディア導入型形態」の、以上6つの観光形態が確認出来た[73)]。これら6つの観光形態を概観することで、特撮ツーリズムは、現在まで長期的に継続してきた観光現象であることを、これまでの研究の中で包括的に明らかにしてきた。

ここまで上述してきた特撮ツーリズムの歴史研究において、特撮ツーリズムは「Ⅰ.60年以上の歴史を有していること」、「Ⅱ.6つの特徴ある観光形態を創出してきたこと」、「Ⅲ.海外市場にも輸出され、その実践が確認出来ること」、以上 3 つの歴史的特徴がこれまで明らかとなった。

続いて、「②特撮ツーリズム開催地と他のレジャー地との比較研究」では、特撮ツーリズムと同様に、演者が着ぐるみを着用した実演ショーである「キャラクターショー」によっ

て、誘致を行なう性質が共通した他のレジャー地と、特撮ツーリズム開催地を比較した研究を行なった。これまで、遊園地、テーマパーク、大型ショッピングセンターの 3 つのレジャー地を対象に、1 つのレジャー地にて「キャラクターショー」の定着の過程とその継続性について調査を行なってきた。つまり、各レジャー地にて行なわれているキャラクターショーの歴史的変遷を概観しながら、現在までいかにキャラクターショーが浸透、継続してきた経緯について、各レジャー地の調査、比較による検証を行なった。

まず、筆者ら（2017）は、キャラクターショーを「演者が、アニメや漫画、特撮映像作品に登場する着ぐるみを着用し、舞台をはじめとする特定の領域において、立ち回りやダンス等の実演を行なう見世物の総称」と定義して、経営規模の大きさから、現在もスーパー戦隊シリーズのショーを開催している、東京都文京区にある遊園地「後楽園ゆうえんち」（現・東京ドームシティアトラクションズ）と、千葉県浦安市にあるテーマパークである「東京ディズニーランド」の 2 つのレジャー地を対象に、各地がキャラクターショーを継続的に開催する特性を比較した調査を行った[88)]。

後楽園ゆうえんちは、これまでデパートや百貨店で、単発的な催しとして開催されていたキャラクターショーを、1 アトラクションとして園内に導入し、現在まで継続させていた国内唯一の遊園地であった。1971 年 4 月 3 日に、東映制作の特撮ヒーロー番組『仮面ライダー』が放映を開始したことを契機に、園内に設置された特設ステージ「後楽園ゆうえんち野外劇場」にて、同作品に登場するヒーローや怪人の着ぐるみを使用したキャラクターショーを開催するようになった。

『仮面ライダー（1971）』の放送終了後、次回作『仮面ライダーV3（1973）』の放映開始と共に、後楽園ゆうえんちは同作品を題材とした公演内容に変更して、ショーを継続的に開催するようになった。これ以降、後楽園ゆうえんちは、特撮ヒーロー番組が 1 年ごとに新シリーズが放送されるテレビ番組である特性を生かし、1 年周期で公演内容の入れ替えを行ないながら、現在までキャラクターショーを継続させてきた。

つまり、後楽園ゆうえんちで開催されるキャラクターショーの特徴とは、「テレビ番組と連携していること」にある。新番組の放送開始と共に、ショー内容を 1 年周期で変換する仕組みを実践しながら、キャラクターショーを現在まで継続させていた。

一方、遊園地とは性質の異なるレジャー施設である東京ディズニーランドでも、1983 年 4 月 15 日の開園以来、キャラクターショーを、現在まで継続的に開催してきた。後楽園ゆうえんちがテレビメディアと連携して、ショー内容の入れ替えを行なっているのに対して、東京ディズニーランドは、開園節目の年や、ハロウィンやクリスマス等の四季を題材としたショーやパレードを、定期的に開催することによって、パーク内でのキャラクターショーを現在まで継続させていた。現象が確認された当初は、単発的な開催であったキャラクターショーであるが、遊園地やテーマパークという「拠点」を開発したことによって、観光現象が継続する体系が構築された。さらに、定期的に公演内容を定期的に入れ替えることで、観光来訪者が再度訪れる動機付けを行うことが、キャラクターショーによる観光現象継続の条件であることを考察した[88)]。

筆者ら（2018）はその後、調査対象を拡大し、遊園地、テーマパーク、大型ショッピングセンターと、3 つの性質の異なるレジャー施設を対象に、「キャラクターショー」を長期的に継続する仕組みについて比較考察を行なった。調査対象としたレジャー地は、経営規模の大きさと、これまで筆者らが実践してきた先行研究に則り、後楽園ゆうえんち、東京

ディズニーランド、そして大型ショッピングセンターは「池袋サンシャインシティ」に設定した。池袋サンシャインシティは「ナンジャタウン」を筆頭に複数のキャラクター施設が常設されている上、夏季恒例催事として約 30 年に渡り、イベント「ウルトラマンフェステスティバル」を開催してきたことから、当施設を比較対象に設定した。その上で、これら 3 つのレジャー施設の歴史に着目して、各施設での「キャラクターショー」を継続する仕組みについて、比較による調査研究を行なった。

後楽園ゆうえんちと東京ディズニーランドの仕組みは上述したとおりであるが、池袋サンシャインシティの「ウルトラマンフェスティバル」は、上記 2 つの施設と比較して大きく異なる特徴があることを明らかにした。

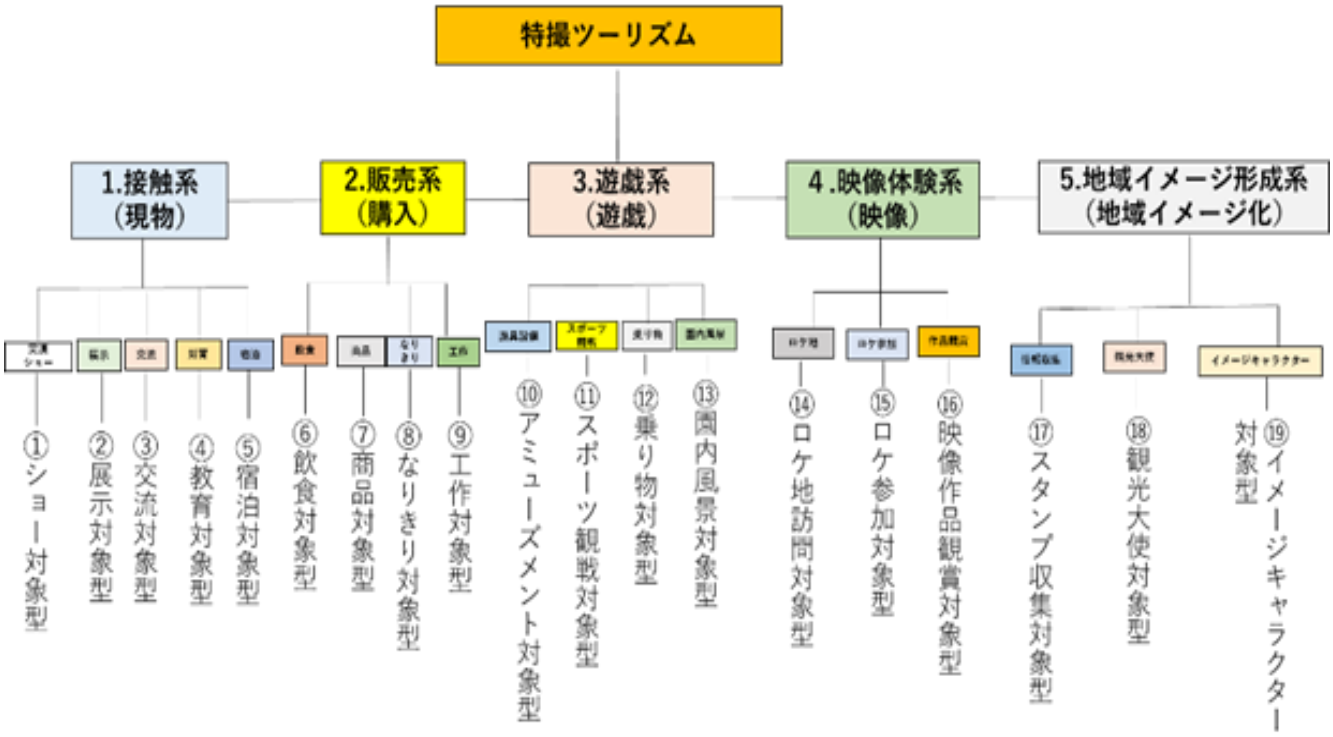
「ウルトラマンフェスティバル」は、池袋サンシャインシティの文化会館ビルにおいて、1989 年から現在まで、毎年夏季休暇期間（7 月下旬から 8 月下旬）に開催されてきた。開催当初、「ウルトラマンフェスティバル」はライブステージ（着ぐるみを使ったショー）、展示、物販の 3 本柱に開催された。しかし、開催当初ライブステージは重きが置かれておらず、ウルトラマンや怪獣等の造形物の展示が主力であった。やがてライブステージは 1995 年より「ウルトラライブステージ」と題して、大型ステージにて精力的に開催されるようになり、以降ウルトラマンフェスティバルの主力プログラムとして大々的に PR されるようになった。「ウルトラライブステージ」は、先述した後楽園ゆうえんち、東京ディズニーランドとは異なる 2 つの特徴があった。

まず、「Ⅰ.多媒体のメディア作品との提携」では、後楽園ゆうえんちが新番組の放映に併せてショー内容を入れ替えるのに対し、「ウルトラライブステージ」は、ショーをテレビ番組だけでなく、新作映画の公開や、新作ビデオの発売の PR を視野とした内容として、多くのメディア作品と提携する形で、毎年公演するショー内容の入れ替えを実践していた。

続いて、「Ⅱ.限定ソフビ人形の開発」がある。ウルトラマンフェスティバルは 1993 年より会場限定商品として、ショーに登場するヒーローや怪獣を模したソフトビニール人形の販売を開始した。限定ソフトビニール人形は、2003 年以降にショー内容との提携がより密接に行なわれるようになり、2016 年開催時には「ウルトラマンを応援するのに必要な人形」として、ショーと連動する演出が導入されるようになった。

多媒体メディアと、限定商品との連動という 2 つの特徴を生かして、継続的な集客を行なってきた「ウルトラマンフェスティバル」であるが、イベントの集客対象は、ウルトラシリーズを視聴している子ども達だけでなく、ソフトビニール人形の収集を目的とするコアな観光来訪者が会場へと訪れる固有の仕組みを活用していたことが明らかとなった [89)]。

最後に、「③特撮ツーリズムの行動特性研究」がある。筆者ら（2019）は、特撮ツーリズムが固有の特徴を有している背景には、特撮ツーリズムに参加する観光者の行動に特殊性があると考え、観光者の行動特性を類型化する研究を行なった。本研究では、2014 年度から 2018 年度にかけて、資料調査及び現地調査を実践して事例の収集を行なった後、特撮ツーリズムに参加する観光者の行動特性の抽出、名称の定義を行なった。その結果、特撮ツーリズムは全 19 の行動特性があった。さらに、これらの行動特性をより明瞭に体系化するために、「現物」、「購入」、「遊戯」、「映像」、「地域イメージ化」の 5 つの属性ごとに、各行動特性を配置する作業を行なったところ、図－5 のように体系化することができた。



図－5.特撮ツーリズム　全 19 の行動特性と 5 つの属性

はじめに、特撮映像作品の展示イベントや実演ショーを通じて、特撮と触れ合う「接触」行動が共通している『1.接触系』、続いて、来訪者が特撮映像作品の商品を観光地にて「購入」する行動が共通している『2.販売系』、3 つ目に、特撮映像作品と提携したスポーツ会場や遊園地にて、試合観戦や遊具への乗車といった「遊戯」を行う行動が共通している『3.遊戯系』、4 つ目は、特撮映像作品が製作された撮影ロケ地の見学や、映画祭での作品観賞等、特撮「映像」作品を実体験する行動が共通している『4.映像体験系』、最後に、特撮映像作品に登場した着ぐるみのキャラクターや俳優が、地域を象徴する存在として定着し、観光地を PR することで、観光地に対して特定の印象が形成される「地域イメージ化」が共通している『5.地域イメージ形成系』から成る 5 つの属性に包括することができた。

その上で、観光者の行動特性が 19 種に多様化した要因には、特撮ツーリズムの「開催地の多様化」と共に、その開催目的も併せて多様化したことにも要因があることが考察でき、今後も新たな行動特性が創出される可能性が、将来的に考えられることを挙げた [90]。

ここまで、筆者らが実践してきた特撮ツーリズム研究について、これまで「歴史」と「行動特性」に焦点を当てた研究を包括的に行ってきたことを上述してきた。特撮ツーリズムの「歴史」研究は「①特撮ツーリズムの歴史研究」、「②特撮ツーリズム開催地と他のレジャー地との比較研究」において実践し、特撮ツーリズムは約 60 年以上の歴史を有する長期的な観光現象であり、6 つの観光形態が各時代に出現し、現在まで継続してきたことを明らかにした。また、「行動特性」研究では、特撮ツーリズムに参加する観光者の行動に見られる特殊性に焦点を当てて、開催地での観光者の行動を分類したところ、観光者の行動特性は 19 種類に類型化できるものであった。

しかし、上述してきた研究で明らかにした事象は、あくまで概要的な内容に留まっている。つまり、なぜ特撮ツーリズムが我が国で誕生したのか、多様な変遷を遂げてきた要因にどのような時代背景があったのか、観光者が開催地に求めるニーズが変化したことによって、特撮ツーリズムが複数の行動特性を生み出すまでに至った因果関係等、特撮ツーリズムの歴史をより詳細に追及する必要があると同時に、行動特性の類型化もさらなる事例の収集を行うことでより深い考察が可能である点等、精密な研究を行うことが課題となる。そこで本研究では、先述した特撮ツーリズム研究で焦点を当てた「歴史」と「行動特性」について、より精密な研究を実践しながら、特撮ツーリズムの実態を明らかにすることにした。

2－5.海外での研究

ここまで、「2－1.知的財産」、「2－2.コンテンツツーリズム」、「2－3.特撮」、「2－4.特撮ツーリズム」の 4 種の先行研究について上述してきた。これらの研究は、我が国で制作された映画やテレビ番組、アニメ作品や特撮作品等、国産の映像作品を誘致資源とした観光現象を調査した先行研究である。各研究の関係性を纏めると、我が国の「知的財産」の一種である映像を活用した観光現象が「コンテンツツーリズム」であり、当観光現象は、アニメ、フィルム、特撮と各ジャンルを包括している。そして、各映像ジャンルを観光現象化したものが、フィルムツーリズムやアニメツーリズム、特撮ツーリズムであり、それぞれを対象とした観光研究が行なわれ、国内各地での事例を通じてその実態について明らかにされてきた。

先述したように、特撮ツーリズムは筆者ら以外の先行研究を確認することは現状できないが、特撮ツーリズムは国内だけでなく、海外でも実践されている観光現象であることを明らかにした。国産の映像作品が海外市場向けに輸出され、現地でのイベント開催や、ツアープログラムを開催した事例を確認できるなど、海外でも特撮ツーリズムが行なわれてきた。

しかし海外では「特撮」に限らず、“Jurassic Park（1993）”や“STAR WARS（1977）”シリーズ等、米国ハリウッドで制作された映画を誘致資源に、ロケ地を巡回するツアーや、作品を題材とした玩具イベントの開催など、我が国のコンテンツツーリズムに近い観光現象を同様に確認することができる。米国ハワイ州のクアロア牧場[91)]では、当地で撮影された“Jurassic Park（1993）”、“GODZILLA（1998）”“Pearl Harbor（2001）”等のハリウッド製映画のロケ地を周遊するツアーが開催されている他、“STAR WARS（1977）”シリーズは毎年新作映画の公開時期に併せ、グルーバルイベントとして各国の玩具取扱店（ToysRus 等）にて、着ぐるみのキャラクターのグリーティングや新作玩具の同時発売を行なうイベント“Force Friday”を開催する等[92)]、多様な事例を確認することができる。

我が国の研究でも米国ハワイ州[93)]やイタリア[94)]を舞台とした映画を上映したところ、当所が世界中から観光客が訪れる観光地として機能するようになったことを指摘した研究が確認できることから、海外でも、現地の著者によるコンテンツツーリズムを主体とした論文、あるいは関連論文がある可能性は十分考えられる。そこで先述した「2－1.知的財産」、「2－2.コンテンツツーリズム」、「2－3.特撮」、「2－4.特撮ツーリズム」の 4 種の先行研究に対応する観光現象の研究が海外で見られるのか、学術論文の検索のために“Google Scholar”[95)]を活用して、海外の著者による英語で発信された論文の確認を行なった。当

ホームページにて、“intellectual property”、“contents tourism”、“tokusatsu”、“tokusatsu tourism”の 4 つのワードを入力し、海外での「2－1.知的財産」、「2－3.特撮」、「2－4.特撮ツーリズム」に相応する観光現象の先行研究について調べたところ、現状では確認することはできなかった。そこで、先述した“Jurassic Park（1993）”や“STAR WARS（1977）”等の事例が、映画を題材とした観光現象であることから、“film tourism”のワードで検索を行なったところ、本稿の「2－2.コンテンツツーリズム」研究に酷似した研究を複数確認することができた。つまり、映画やテレビドラマなどの映像作品を誘致資源とした観光現象を、「コンテンツツーリズム」という言葉を用いず、「フィルムツーリズム」と呼称して調査した先行研究であった（註 1）。

先述したように「フィルムツーリズム」研究は“Google Scholar”[95]にて複数の研究が確認できるが、本稿ではニュージーランドで制作された映画“Lord of the Ring（2001）”シリーズや、米国制作の映画“Jurassic Park（1993）”、“Harry Potter（2001）”等、精密に製作された模型や衣装、恐竜や怪物等の実在しない存在を CG 技術等で表現し、我が国で制作されてきた特撮映像作品と同様に、非日常的な光景を創作するフィクション映画を誘致資源とした「フィルムツーリズム」研究を中心に収集を行なった。

海外で実践されている「フィルムツーリズム」について、David（2006）は、当観光現象が「世界的に拡大している」ことを指摘した他[96]、Mijalce ら（2012）も、フィルムツーリズムが「急速に成長している新たな観光のトレンドであり、映画によって観光地選択が直接的な刺激を受け、鼓舞されるものである」と述べている等[97]、世界的な観光事象として「フィルムツーリズム」が実践されてきたことが述べられている。また、Markus（2018）は「フィルムツーリズム」について、「映画を題材にした観光の目的や対象地は多様性に富む」ことを列挙しており[98]、「毎年 1 億 6 千万の観光者が、遠方にある映画やテレビドラマのロケ地を訪れている」ことを挙げた他[99]、「映画を題材としたテーマパークへの滞在[100]、映画祭への参加[101]、映画プレミアへの参加等」[102]を挙げていた[98]。このように、海外で実践されている「フィルムツーリズム」が、単に「ロケ地」を巡る事象だけが該当するのではなく、テーマパークへの来訪や、映画の観賞等、より広義的な事象を内包する観光現象として「フィルムツーリズム」が成立していることが指摘されてきた。

こうした映画の公開やテレビドラマの放映に端を発する、世界各地でのフィルムツーリズムの事例については、これまでいくつか研究が行なわれてきた。映画やテレビドラマのロケ地に観光者が訪れる事象について、SUE（2011）は、「フィルムツーリズムに関する研究の多くは、フィクション映画やテレビドラマに焦点を当てている」ことを指摘しており、ニュージーランドで制作された大ヒット映画“Lord of the Ring（2001）”シリーズを成功例として挙げていた[103]。ニュージーランドのワイカト地方にあるマタマタでは、映画“Lord of the Ring（2001～2003）”シリーズや“The Hobbit（2012～2014）”シリーズが撮影されたロケ地として、“Hobbiton Movie Set”が開設されている[104]。当地は現在も、世界中から観光客が来訪する観光地として機能しており、持続して運営されている。Kezban（2013）は、ニュージーランド観光当局が、「“Lord of the Ring（2001）”シリーズ 3 部作を基盤とした映画観光を後押しするために、キャンペーンを実施している」ことに言及した。キャンペーンには、ロケ地マップやスペシャルツアー、コスチューム試着、映画に登場する武器の観覧等が含まれていることを挙げていた[105]。

このように、ニュージーランドでは映画“Lord of the Ring（2001～2003）”シリーズの

ロケ地であることを誘致資源に、観光者に向けたツアープログラムが発信されてきたことが、先述してきた研究の中で指摘されてきた。しかし、ニュージーランドが映画を誘致資源に観光を行なうようになった歴史は古く、またその誘致対象も、映画を視聴した観光者だけでなく、映画を制作するスタッフを現地に呼び入れたことから始まったことが、他の研究にて指摘されていた。Anne（2010）によれば、「ニュージーランドは長編映画“Hinemoa”を 1914 年に制作して以来、1916 年の映画“A Maori Maid’s Love and The Mutiny on the Bounty”の制作と同時期に、外国の映画制作者らによって映画の制作地として利用されるようになった」ことを挙げた。現在、「同国で確認できるフィルムツーリズムが実践される契機となったのは 1993 年の“Jane Campion’s The Piano”が公開であり、本作が撮影された”KareKare Beach“には、国内外の観光者達による滞在が急速に行なわれるようになった。数年後に公開された“Lord of the Ring”シリーズの公開を機に、ニュージーランドのフィルムツーリズムは新たなる段階を迎えることとなり、“Whale Rider(2002)”や“The Last Samurai(2004)”、”The World’s Fastest Indian(2005)”、“King Kong(2005)”、“The Chronicle of Narnia: The Lion, The Witch and The Wardrobe(2005)”等の、フィクション映画を含めた多様な映画のロケ地として活用されたことに触れている。さらに、現在まで、ニュージーランドには 35 の旅行業者や旅行代理店があり、半日あるいは数日間で一箇所あるいは複数のロケ観光地に滞在するツアーを開催している他、これらのツアーは馬車や 4 輪駆動車、飛行機等が活用され、約 150 のロケ地が滞在先になっている」ことに言及した[106)]。

上述してきたニュージーランドに焦点を当てた研究によれば、「フィルムツーリズム」自体は戦前より実践されてきた観光現象であり、ニュージーランドでは実践から既に 100 年以上が経過していることが明らかにされた。その上、当地でのフィルムツーリズムは現在にかけて行われており、長期間に渡って現象として持続していた。

また、“Lord of the Ring（2001～2003）”シリーズのように、興行的な成功を収めたフィクション映画のロケ地であることを誘致資源とした観光地は他にも、Gökçe（2014）らによって米国ハワイ州カウアイ島が挙げられていた。当地では、ハリウッド映画“Jurassic Park（1993）”や“South Pacific（1958）”が撮影された場所であることから、10 箇所の撮影地を巡る Movie Tour が、現地の DMO によって編成され、観光者の誘致が行なわれていることが指摘された[107)]。

このように、特定の観光地をロケ地として対外的に発信することにより、訪問者数が増加し、経済面における利益も享受されることが Riley ら（1992）[108)] や Busby ら（2001）[109)] によって指摘されている。先述した「2－2.コンテンツツーリズム」において、我が国でも、映像作品が撮影されたロケ地を対象に、フィルムツーリズムが国内各地で実践されていることを述べたが、この性質は日本と世界各地で行なわれているフィルムツーリズムは同様の性質を有していることがわかる。

しかし、フィルムツーリズムは、先述したような観光者がロケ地にて映画を追体験する事象だけではなく、より広義的な活動を含んでいることに言及した研究が存在する。Tanskanen（2012）が英国の首都ロンドンを対象に、同国で開催されているフィルムツーリズムについて分析を行った。Tanskanen は、「ロンドン市内には観光者が体験できるデスティネーション地として、フィルムスタジオツアーやミュージアム、フィルムウォークや展示会、お土産ショップをはじめ、無数のロケ地が市内にある」ことに触れた。その上

で、「英国経済におけるフィルムの価値は認知されており、政府によるフィルム産業への援助は長い歴史がある」ことにも触れていた[110)]。

Tanskanen（2012）の研究で特筆すべき点は、フィルムツーリズムを、観光者が映像作品のロケ地に来訪する事象のみに限定しなかったことが挙げられる。先述した米国やニュージーランドで実践されたフィルムツーリズム研究は、映画あるいはテレビ番組等、映像作品のロケ地となった場所に観光者が来訪する現象としてフィルムツーリズムを挙げていたのに対し、Tanskanen（2012）はフィルムツーリズムを、観光者が映画の舞台となった屋外のロケ地を巡るだけでなく、「作品が撮影されたスタジオの見学」や、「作品に関連した展示会への来訪や商品の購入」など、その活動が多岐に渡っていることを指摘していた[110)]。つまり、フィルムツーリズムをより広義的な観光現象として採択していることに特徴があった。

先述した筆者ら（2019）の「2－4.特撮ツーリズム」研究では、特撮ツーリズム開催地に訪れる観光者の行動特性には、目的に応じて 19 種存在することを明らかにした。その中でも、撮影で使用された着ぐるみやその他小道具、作品資料等の展示物を観賞する「②展示対象型」、その施設やイベント会場でしか販売されていない限定商品を購入する「⑦商品対象型」、屋外地や特撮スタジオ等、観光者が特撮映像作品の撮影が行なわれた場所である「ロケ地」を対象に観光者が訪れる「⑭ロケ地訪問対象型」等を挙げたが[90)]、Tanskanen（2012）はそれ以前に、英国での観光者の行動を細分化していた。例えば、映画に対する消費活動の１つとして、商品を購入したり飾ったりすることを挙げており[110)]、Love（1998）もフィルムツーリズム開催地で購入あるいは収集した物品を「お土産（Souvenir）」と定義し、開催地で経験した有形かつ実体的な思い出となることを言及した[111)]。さらに Beeton（2005）も、お土産は様々な種類があることに触れ、写真や石、レプリカ製品、ガイドブックや食べ物といった地元の製品を挙げた[112)]。Tanskanen（2012）は上記の研究を概説した上で、お土産はその場所への来訪を成し遂げたことを証明するシンボルとして機能することを挙げた。

また Tanskanen（2012）はフィルムツーリズムの対象地として、撮影スタジオの存在が挙げられたことに言及したが[110)]、Beeton（2005）は、「映画が撮影されたフィルムスタジオや、有名な映画をベースに、人工創設された環境であるフィルムセットへ観光者が滞在する」ことを「オフロケーション」として定義した。さらに、オフロケーションは、「(1) フィルムスタジオツアー（film studio tours）（映画の撮影現場）」、「(2) フィルムテーマパーク（film theme park）（有名映画をベースとしたキャラクターや乗り物、娯楽）」の 2 種類に分類していることに特徴があり[112)]、この定義の中では、映画を題材とした装置産業であるテーマパークの存在が挙げられた。

まず「(1) フィルムスタジオツアー」とは、現存する撮影セットへ訪れたい観光者のために計画されたフィルムに関連したパッケージのことである。また一部のツアーでは、参加者が実際の撮影過程を見学することができ、ミュンヘンにあるバイエルンスタジオでは、撮影中のフィルムセットに参加者が案内されるツアーが行なわれていることが述べられた。続いて「(2) フィルムテーマパーク」は、アトラクションの設立を目的に、高度に発達した乗り物、アニマトロニクス、コンピューターアニメーション、バーチャルリアリティ（VR）を有しており、フィルムスタジオをベースに設立されていることが多いと指摘されている[112)]。上述してきた「(2) フィルムテーマパーク」には、米国[113)]やフランス[114)]、日本等

[115]、世界各国に点在する The Walt Disney Company[116] による Disney Theme park をはじめ、同じく各国に設置されている UNIVERSAL PICTURES[117] による Universal studio[118] 等が該当するが、これらのテーマパークに共通する点とは、各社が制作した映画を題材に建造されたパークであることである。

こうしたフィルムを題材としたテーマパークについて、Abby ら（2016）が、米国のフロリダ州オーランドにある巨大テーマパーク“Universal Studio Orland”内にある、J. K. Rowling 原作の映画“Harry Potter”シリーズを題材にしたエリアである“The Wizarding World of Harry Potter”について言及した。当エリアは「臨場感のある 3－D の乗り物だけでなく、映画に登場する Hogsmeade の村や、Hogwarts 魔法学校、Diagon 通りの商店街があり、各建築物やお店、レストランは、映画を題材とした製品やイメージに焦点が当てられている」ことを指摘した。さらに、「当エリアの成功は、“Universal Studio Osaka”及び“Universal Studio Hollywood”両パークでも同様のエリアが開設されたことに結びついた」ことを述べている。また、Abby らは米国の“Universal Studios”が総括的に、「“Jurassic Park”や“Marvel Super heroes”のような大ヒットした物語を題材に、乗り物や世界観をパーク内に導入する慣例を、先述した“The Wizarding World of Harry Potter”も踏襲している」ことを指摘していた[119]。

「オフロケーション」が内包している「(1) フィルムスタジオツアー」及び、「(2) フィルムテーマパーク」の研究を概観すると、これらの研究は映像作品の中で描写された作品の世界観を追体験するために、撮影スタジオやテーマパークへと訪れていることが指摘されている。しかし、両者の特性を比較するのであれば、「(1) フィルムスタジオツアー」の対象地となる撮影スタジオでは、撮影で実際に使用されている本物のセットに直に触れることが可能であるのに対し、「(2) フィルムテーマパーク」では映画に登場した世界観を表現するために、建造物を「再現」し、映画の小道具を模した乗り物に乗車する等、空間そのものは偽物である点など、映画を題材としていても、空間の特性そのものは異なっていることがわかる。

ここまで国際的な観光現象として、海外にて制作されたフィクション映画を題材としたフィルムツーリズムの調査研究を概観してきた。その結果、米国ハワイ州やニュージーランドを筆頭に、映像作品を通じて撮影ロケ地へと観光者を誘致する事象を調査した研究が存在した一方で、英国での撮影スタジオ見学ツアーの事例等を通じて、フィルムツーリズムがより広義的な観光現象であることを指摘した研究もあった。さらに、観光者が撮影スタジオに訪れる行為に「オフロケーション」を挙げる研究も存在し、対象地を「(1) フィルムスタジオツアー」と「(2) フィルムテーマパーク」に 2 分する研究を確認することができた。その上で両者を比較すると、「(1) フィルムスタジオツアー」が撮影で実際に使用されている本物のセットに直に触れることが可能であるのに対し、「(2) フィルムテーマパーク」では映画の世界観を再現した偽物である点など、同じ映画を題材とした観光地であっても、空間の特性そのものは異なっていることがわかった。

つまり、先述した「2－4.特撮ツーリズム」研究にて、特撮ツーリズムが、展覧会等のイベントの開催、撮影スタジオの見学ツアー等、特撮映像作品を題材に様々な内容で実施されてきたように、海外でのフィクション映画を題材としたフィルムツーリズム研究でも、ロケ地巡りや撮影スタジオへの誘致等、酷似した内容で実施されてきたことが、これまで指摘されていたことが明らかとなった。しかし、海外では Disney Theme park や Universal

studio に代表されるテーマパーク事例が豊富であるのに対し、特撮ツーリズムではテーマパークの継続事例が未だ数少ない状態にある点など、違いも併せて確認することができた。

補註

註 1）映像作品を誘致資源とした観光現象は、研究によって複数の呼称があることが指摘されている。Hudson ら（2006）は、動画の視聴によって起こる観光活動を「フィルムツーリズム」として定義し、この定義に該当する映像作品には、映画やテレビ、録画製品（ビデオ・DVD・ブルーレイ）を介して発信された作品が該当すると述べた [120]。また Connell（2015)は、フィルムツーリズムの呼称について、文化的・地理的な違いから‘movie tourism’あるいは‘film tourism’と、2 つの用語表現があると述べていた。どちらも観光研究では同義語とされており、’movie’とは、初期の米国の映画用語である‘moving image’を指すものであると述べた [121]。また用語表現については、Fernandez-Young ら（2008）が映画とテレビの両方のメディアを包括する‘the umbrella term screen tourism’を挙げている [122]。

2－6　先行研究のまとめ

ここまで、「1.知的財産」、「2.コンテンツツーリズム」、「3.特撮」、「4.特撮ツーリズム」「5.海外での研究」の 5 種の先行研究について上述してきた。

「1.知的財産」の先行研究はこれまで数多く行なわれており、「①我が国で知的財産を産業化した背景」、「②知的財産に関わる性質・法整備の問題点」の 2 つに大別できたが、知的財産を誘致資源とした観光現象の研究は、現状では確認することができなかった。

続いて「2.コンテンツツーリズム」では、本来観光地固有のものではなく、映像作品や誌面等を通じて発信されてきた「コンテンツ」が、既存の観光地に何らかの形で融合したことで「コンテンツツーリズム」が成立していることが、先の研究で明らかにされてきた。さらにコンテンツツーリズムは、映画やドラマの観光地を訪れる「①フィルムツーリズム」、またアニメ作品の舞台となった観光地へと訪れる「②アニメツーリズム」等、各映像作品を誘致資源とした事象が国内各地で発生しており、個々の事例に焦点を当てた研究も行なわれてきた。

「3.特撮」の研究は、これまで「①特撮とはなにかを調査した研究」と、「②我が国での『特撮』技術の歴史について調査した研究」、「③特撮映像作品本編から時代背景を考察する研究」の 3 種類に大別でき、特撮作品そのものに焦点を当てた研究が実践されてきた。しかし、特撮と観光を結びつけた研究は確認することができなかった。

先述した特撮が観光現象化した「4.特撮ツーリズム」の研究は、現在まで、筆者ら以外の研究が行なわれていない現状にあった。そこで、筆者らは「①特撮ツーリズムの歴史研究」、「②特撮ツーリズム開催地と他のレジャー地との比較研究」、「③特撮ツーリズムの行動特性研究」の 3 種類の視点から包括的研究をこれまで実践してきた。その結果、特撮ツーリズムは、60 年以上の歴史があり、19 種の行動特性を創出してきた、コンテンツツーリズムの 1 種であることを明らかにしてきた。

最後に、「5.海外での研究」では、海外でのフィクション映画を題材としたフィルムツーリズム研究に焦点を当て、その特徴を纏めた。その結果、米国やニュージーランド、英国にてロケ地巡りや撮影スタジオへの誘致等、我が国で実践された「2.コンテンツツーリズ

ム」や「4.特撮ツーリズム」と酷似した性質が各国で実施されていたことが確認できた。しかし、米国では映画を題材としたテーマパーク事例が豊富であるのに対し、特撮ツーリズムではテーマパークの継続事例が少ない状態にある点など、違いも併せて確認できた。

上述してきた 5 種の先行研究を通じて、「特撮ツーリズム」が、フィルムツーリズムやアニメツーリズム等の他のコンテンツツーリズムと異なる点として、「地域性のなさ」が挙げられる。つまり、アニメツーリズムやフィルムツーリズムは、元々アニメ作品やテレビドラマ、映画の舞台となった実在地を対象に、当地に観光者が来訪する事象を「聖地巡礼」という言葉で表現している。アニメ作品では、実在地がアニメーションの舞台として描写され、映画やテレビドラマでは、舞台として選定された地に演者や撮影スタッフが訪れ、映像が撮影されている。アニメもフィルムも、映像作品の発信が終了した後に、作品の舞台となったことを示す立像の設置や、記念館の設立等が行なわれている。

例えば、東京都葛飾区各所は、アニメとフィルム両作品の舞台として描写、撮影された地であり、映像作品の発信終了後は、立像の設置や記念館の設置等が行なわれている。

まず、アニメ作品では、葛飾区区亀有が 1996 年から 2004 年まで放映されたアニメ作品『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の作品舞台となったことから、2019 年現在まで亀有駅周辺に 15 体のキャラクター立像が設置されている。

また、フィルムの事例に着目すると、葛飾区柴又が 1969 年から 1997 年までシリーズが公開された映画『男はつらいよ』の舞台となっていたことから、同区柴又 6 丁目に「葛飾柴又　寅さん記念館」が開館し、現在まで営業している。

アニメやフィルム作品の特徴として、「地域性が強いこと」が挙げられる。つまり、作品と地域との結びつきが強く、その地域がなければ作品として成立しないことが考えられる。先述した葛飾区の事例に着目しても、アニメ作品『こちら葛飾区亀有公園前派出所』は、タイトル通り葛飾区亀有が舞台で、本作の主人公・両津勘吉が勤務する交番も亀有にあり、当所は JR 亀有駅北口に実在する。また、映画『男はつらいよ』は、車寅次郎が帰ってくる場所として柴又にある「本家とらや老舗（本家くるま菓子舗）」が毎作舞台として登場している。つまり、両作品の物語の土台として葛飾区が根付いており、葛飾区を作品から抜いてしまうと、作品として成立させることが極めて困難な状態となる。

上述してきたアニメやフィルム作品の特徴に対して、特撮映像作品の特徴は「地域性を持たないこと」が挙げられる。つまり、作品の舞台となった地に縛られず、着ぐるみやミニチュアといった「物品」を開催地に持ち込むことによって、特撮ツーリズムは様々な場所で開催することが可能となるのである。この性質の要因には、特撮ツーリズムが着ぐるみやミニチュアといった物品等を活用して、非日常的な光景を創作する撮影方法である「特殊撮影（特撮）」から派生した観光現象であることが考えられる。

つまり、観光者が特撮怪獣映画や、特撮ヒーロー番組の撮影で使用された「物品」を対象に、撮影で使用された着ぐるみ、あるいはミニチュアを使用した実演ショーや展覧会に訪れる性質がある。故に「物品」そのものが誘致資源として重要な要素となるため、この「物品」を各地に移動させることによって、様々な場所を開催地として機能させることが可能となるのである。こうした「物品」の存在を重要なものとして論じる理論潮流には、ブルーノ・ラトゥールらが提唱した「アクターネットワークセオリー」がある。この理論によれば、社会的、自然的世界のあらゆるもの（アクター）が、絶えず変化する作用（エージェンシー）のネットワークの結節点として掲げられているが、特撮ツーリズムの対象

となる「物品」についても、元は映像作品の撮影で使用するために制作された物であり、観光誘致資源のためにつくられたものではない。しかし、これらの「物品」が登場した特撮映像作品が、数年あるいは数十年の時間的な経過を経ることによって、一時代を築き上げた作品として人々に認知されるようになり、この作品で使用された着ぐるみやミニチュア等の「物品」が、数十年前の撮影で使用された貴重な物、わざわざ訪れて見るに値する物として昇華されて、観光者が来訪する誘致資源として機能するのである。

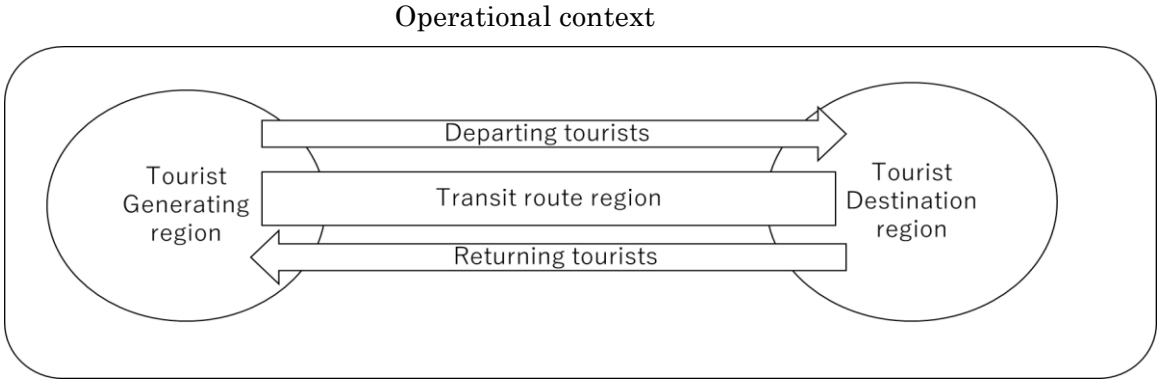
また他にも、特撮ツーリズムの特徴である「地域性のなさ」の一因には、特撮映像作品の撮影地に「特撮スタジオ」が存在することが挙げられる。「特撮スタジオ」は、市街地に出現する巨大な怪獣やヒーローの描写や、海を航行する怪獣の描写等、非日常的な描写を撮影する、特撮シーン専用のスタジオのことである。つまり、特撮映像作品の本編にて、怪獣が破壊する街として描写された東京都心は、もともとは特撮スタジオの中で、模型を配置したミニチュアとして表現されたものであり、そこに怪獣の着ぐるみを着用した演者が、これらのミニチュアを破壊する描写が撮影されている。即ち、現実に怪獣の着ぐるみが東京都心を訪れたわけではなく、精巧に製作された模型等の物品が、映画の中で「街」として表現された結果、その街に該当する場所を対象に、観光者が来訪しているわけである。

上述してきた特撮ツーリズム開催地の「地域性のなさ」は、アニメ作品の舞台となった地を誘致資源としたアニメツーリズムや、映画が撮影されたロケ地を誘致資源としたフィルムツーリズムとは異なり、特撮ツーリズムは両ツーリズム程に「物語」と地域の結合性が強くなく、また作品に登場する着ぐるみやミニチュア等の「物品」が重要な誘致資源として機能しているため、イベント開催地に制約が伴わず、様々な場所にて開催可能であることについて述べてきた。故に、特撮怪獣映画や、特撮ヒーロー番組を題材とした実演ショーや展示会を開催する際は、開催地にて着ぐるみや模型等の物品を持ち込むことによって、イベントが開催可能となる他、「地域性のなさ」という性質によって、これまで特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組の撮影が行なわれてない、「特撮」に縁のない地であっても、特撮ツーリズムを開催できるのである。

上述してきたとおり、アニメやフィルム、特撮等の観光現象は、映像作品を誘致資源としている点は共通しつつも、地域性の有無によって異なる特徴を有していることが考えられた。つまり、これらの観光現象を包括的な視点で見るならば、観光者が開催地に対して、作品の舞台・撮影地を訪れる、実演ショーや展覧会を見に行く等の、何らかの目的を抱いて対象地へ移動しているといえる。

上記のように、観光者が観光地へと訪れる事象としての Tourism について、Peter（2016）は Leiper の図を引用しながら、観光者と生活地、目的地の換気性について述べている。Leiper は下図－6 のように、「Tourist generating region（生活地）」と「Tourist destination region（目的地）」の 2 つの地を、「Tourists（観光者）」が行き来する構図（Tourism System）を用いて提唱している。つまり、「Tourists」が日常の生活圏である「Tourist generating region」を飛び出し、目的地である「Tourist destination region」へと訪れる。その後、「Tourists」は当地に滞在し続けることなく、生活圏である「Tourist generating region」へと戻っていく。このように、Leiper は「人がどこかへと訪れ、戻ってくる現象」として観光を挙げており、この現象は経済（politic）・社会的背景（socio-cultural）や政治的（political）、技術的（technological）、法的（legal）な環境価値（environment variables）

を背景に、発生すると提唱した[123)]。



図－6.The tourism system:a spatial construct[91)]

Leiper が Tourism について、「Tourists（観光者）」が「Tourist generating region(生活地)」と「Tourist destination region（目的地）」を往来する行為であることは先述したとおりであるが、世界観光機関 UNWTO による「ツーリズム部門会計;TSA RMS 2000; Tourism Satellitie Account:Recommended Methodological Framework2000」では、Tourism を「ツーリズムは継続して 1 年を超えない範囲でレジャーやビジネス、あるいはその他の目的をもって日常生活圏の外に旅行（travel）したり、滞在したりする人びとの活動をさす。それは訪問地で報酬を得ない活動である」と定義しており、この定義には①旅行者が日常生活圏を超えて移動するが居住地に戻る、②旅行の期間は 1 泊以上 12 カ月以内である、③興業や出稼ぎは含まないが商用目的の旅行は含まれることを意味していた。溝尾（2009）は、この定義はビジネスや友人・親戚などを訪問するツーリストを含んでいるため、フランス、米国、カナダ、英国などでは滞在期間や移動距離などを加味して独自に定義されていることを指摘した。つまり、国際間のツーリストの移動は説明できるものの、国内の移動は説明できていない節があった[124)]。

この Tourism の定義に対して、白坂（2019）は観光をビジネスのための移動を除いて人間が楽しむために移動することだけでなく、学習、療養、ボランティアなどの活動を含む広義な概念であると挙げた上で、その移動と移動距離を考慮しなければならないと述べた。その上で、「観光とは国内着を問わずに人々が報酬を得ることを目的としないで一時的には居住地を離れるが、そこに戻ることを前提として、ある期間のなかで行う行動/活動である。また、それによって惹起される文化的事象の総体である」と観光を定義しており、出稼ぎや工業などは含まないが、スポーツをするために、また観戦するために移動することなどは含まれるとしていた[124)]。

上述してきた現象としての Tourism と観光の定義を概観すると、人が何らかの目的をもって生活圏を飛び出し、目的地へと向かった後は生活圏へと帰還する点は共通している。しかし、その移動距離や目的については認識に差異がある状況にある。

しかし、筆者らは観光という現象について、先述した定義よりも広義な振り幅を持つ現

象として捉えている。つまり観光とは、観光者が目的を持って、目的地へと訪れるという点は基盤として堅持されつつも、その目的は極めて多様性に富んでおり、移動距離や滞在時間にも制限がない現象であると定義している。先述したLeiperによる、「人がどこかへと訪れ、戻ってくる現象」が成立していれば、観光としての必要最低限の条件は満たされており、観光者が隣町で開催されている催事に、日帰りで訪れることも観光として認識することが可能となる。他にも、観光者が自宅から徒歩で移動可能な距離にある住宅展示場にて、開催中の催事に参加することを視野とした来訪も観光として捉えることができる。

つまり、現象としての「観光」とは、文化遺産や自然景観を見に行く、現地の名産物を飲食する、ホテル等の宿泊施設に滞在するだけが観光の目的として機能するのではない。観光者が、自ら望むものを見たい、手に入れたい、満喫したい等の多様な目的によって、住まいを飛び出して望んだ目的地へと赴くことが、現象としての「観光」の基盤であり、その目的や移動距離は限定されるものではないと考えた。

そこで、筆者らは「観光とは、観光者が多様な目的を持って、住まい以外の場所を訪れ、最後は住まいへと帰還する現象である」と定義した。

では、なぜ観光者は観光地へと向かうのか。どのような目的を持ち、観光地にて何を行なってきたのかについて、我が国の観光の歴史を概観しながら、その推移について後述する。我が国の観光のはじまりは6世紀頃の古代国家の成立まで遡る（註1）。古代国家の成立と共に、律令制度が成立すると、その国家権力は民衆に対し、租税の献納や土木工事の使役のための旅を強制するようになった。さらに、7世紀末には辺境警備のために東国から徴発された多数の農民が、防人として北九州までの旅を強制された。律令制度が崩壊した10世紀以降も、荘園領主などの地域権力によって、民衆に旅が強制された。つまり、民衆が旅をする目的とは、権力者によって与えられた職務であり、楽しみを視野とした旅は行なわれていなかった。この時代に「楽しみのための旅行」が享受できたのは貴族だけであり、8世紀頃には、貴族が湯浴、風景探勝、神社仏閣参詣、巡礼を目的とした旅へ出るようになった[93)]。このように、中世以前は、旅とは貴族などの一部の階級に限定された時代であり、その目的とは宗教（参詣）と健康（湯治）等の時代であった。つまり、現在のように楽しみが伴う現象としての観光は誕生しておらず、旅も特定の階級にしか浸透していないものであったため、大勢の民衆が享受できるものではなかったことが覗える。

11世紀前後の藤原氏全盛期時代になると、摂政・関白による高野詣が行なわれたのに加え、平安時代中期以降、紀伊路と伊勢路をルートとした、和歌山県の紀伊半島での熊野詣が盛んに行なわれるようになった。法皇・上皇によって[125)]、熊野詣が行なわれるようになった背景には、阿弥陀信仰の隆盛が挙げられ、熊野が浄土と見なされたことからこの事象が発生するようになった[126)]。

やがて中世の時代に入ると、封建制の形成に伴い、武士が支配階級として台頭するようになった。鎌倉時代中期になると地方武士による熊野詣が隆盛を極めるようになり、東国武士の間で流行となった他[125)]、武士が配下の住人も旅に加える現象も見られるようになった[126)]。中世の後半である室町時代には、武士だけでなく、農民による熊野詣や伊勢参詣の旅が行なわれるようになった。参詣の旅が農民にも拡大した背景には、二毛作の普及に伴う農業生産力が向上したことに伴い、農民の社会的地位も向上したことが挙げられる。農民の旅の目的地は、やがて地理的利便性から、熊野山から伊勢神宮へと移行するようになった[125)]。このように中世は、参詣の旅が貴族や武士、農民へと拡大していった時代で

あり、旅の民衆化の兆候が出現しつつある時代であった。この旅の民衆化は、後述する江戸時代に加速していくことになる。

近世の時代になると、織豊時代に天下統一が実現したことで、戦乱といった旅の障害は排除され、江戸時代には民衆による信仰の旅が隆盛を極めるようになった[125]。江戸時代には五街道が整備され、旅籠や木賃宿などの宿場町も登場し、交通や宿泊施設といった旅のインフラが次第に整備されていくようになった。ただし、庶民が居住地を離れる際には、国内各地に設置された関所を通過する際に身分証明書となる「往来手形」を必要とする等、制約もあった。また、旅の目的も、まだ信仰を目的とした参詣の旅と有馬（兵庫県）や草津（群馬県）などへの病気治療を目的とした湯治の旅に限定されていたが、実際には庶民は信仰を目的に寺社詣に出かけ参詣を行なうだけでなく、東国の人は京都や大阪、西国の人は江戸や日光を目的地に見物の旅を行なうなど、楽しむことを視野とした参詣の旅も現れるようになった。その中でも、伊勢参りは年間数十万人、多い時は 100 万人から 300 万人以上の人が参詣した[126]。こうした群衆が大挙して伊勢参詣をめざす集団行動である「御陰参り」は、2、3 ヶ月から半年の間に、全国から数百万の民衆が伊勢神宮を訪れる現象が発生した[93]。先述してきたとおり、近世は参詣の旅の民衆化が加速の一途を辿った時代であった。また旅の目的も制限されてはいたものの、民衆による楽しむことを目的とした参詣の旅も出現するようになった時代でもあり、後述する近代国家の成立と共に、信仰の旅ではない娯楽としての観光が、現象として出現するようになる。

江戸幕府崩壊後の 1868 年に、明治政府が国家主導型の近代国家の成立に着手したことによって[125]、観光現象にも近代化の波が生じていくことになった。1869 年になると、明治政府により関所が廃止され、民衆が国内を自由に旅行できるようになった。1872 年に新橋と横浜間の鉄道が開通して以降、1889 年には東京と神戸間全線、1891 年には上野や青森間が開通するなど、全国的に鉄道網が拡大するようになった。大量に人を輸送できる交通インフラとして登場した鉄道の特性を生かし、旅行会社が主催する団体旅行も行なわれるようになった[126]。近代旅行業の先駆けとなった喜賓会は、1896 年の設立後、上流階級の外国人観光客の誘致を行なうようになった他、20 世紀以降になると欧米の国際観光ブームが中産階層へと拡大したのに併せ[93]、海外から来訪する観光者の誘致と便宜を図るため、後の JTB である「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」が設立された[126]。さらに、移動の自由や開国、関所の廃止や河川への架橋などの施策が明治政府によって実践されたことに伴い、個人による観光も拡大するようになった。大正時代末の 1920 年代頃より国内観光が急増するようになり、昭和時代初期の 1920 年代後半には、新婚旅行も民衆の中で定着した。戦前の 1936 年には、訪日外国人観光客数と日本人国内観光者数はピークを迎える等[125]、近代化に伴い、楽しむことを視野とした観光は民衆へと定着していくようになったが、第二次世界大戦の発生に伴い、娯楽としての観光は一時的に休眠することになった。

戦後、1964 年の東京オリンピック開催を契機に、東海道新幹線の開業や、名神・東名高速道路の整備、大型ホテルの建設と交通インフラの整備や宿泊施設の開業が進んだと共に、近畿日本ツーリストや東急観光（現・東武トップツアーズ）、阪急国際交通社（現・阪急交通社）が誕生した。これと共に、1964 年の海外旅行が自由化後の、1970 年にはジャンボジェット機が就航したことに伴い、海外旅行の大衆化が加速した[126]。

さらに海外旅行だけに留まらず、1970 年には大阪で日本万国博覧会が開催され、国内外

から 6400 万人の入場者を集めたほか、職場旅行や家族旅行も飛躍的に増加、高度経済成長下での国民の可処分所得と可処分時間の増加、マイカーの急増など、国内旅行も隆盛を極めた。万博終了後には日本国有鉄道（現・JR）による「ディスカバー・ジャパン・キャンペーン」が展開され、若い女性をターゲットに小グループでの個人旅行を増加させた。先述してきた 1964 年の東京オリンピックや、1970 年の日本万国博覧会の開催は、我が国での交通インフラの整備を加速させた他、移動手段の充実に伴う旅行目的の多様化にも拍車をかけることになった。

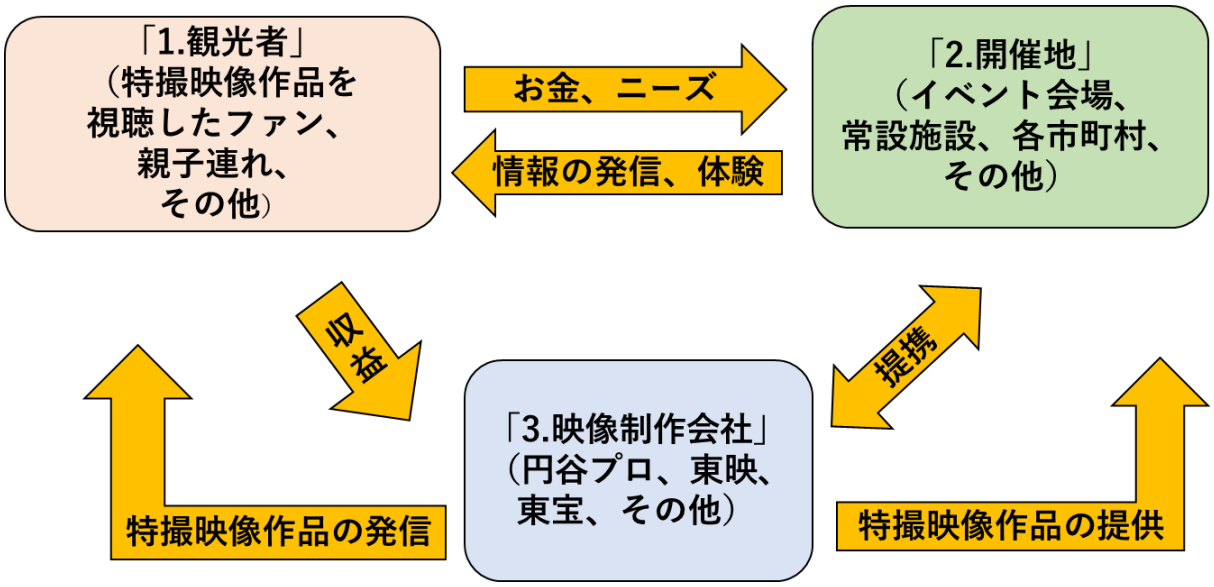
プラザ合意を機に円高の加速降、1987 年には、日本人海外旅行者数を 1,000 万人に倍増する「海外旅行倍増計画」が日本政府によって発表された。OL 等の女性観光者による海外ブランド品を求めるショッピングツアーがブームとなり、海外のブランド品店を目的地とした現象が見られた [126)]。つまり、観光目的地にて綺麗な景色を見に行く、地元の文化財を見学する、地元の名産物を食べるといった観光目的に加え、物品を購入する、即ち消費目的による観光が確認できるようになった時代であり、さらに我が国でも大型消費空間を創設することで、観光者に消費を促すレジャー施設が出現するようになった。1983 年に千葉県浦安市に開業した、巨大テーマパーク「東京ディズニーランド」では、日帰り客だけでなく、夜間に開催されるパレードや花火を目的とした宿泊客も増加させたことを契機に、原宿や六本木、お台場など東京をデスティネーション地とする都市観光が注目されるようになった [126)]。

1990 年代になると、上述してきた消費者の多様化・個性化が進んだことに伴い、従来のマス・ツーリズム型観光商品ではなく、テーマ性、参加・体験型、交流性、地域性といった消費者のニーズを満足させる旅行商品が求められるようになった。これらの地域の特性を生かした旅行商品は、従来の発地型観光では造成することが困難なため、着地型観光が台頭するようになった。具体的には、エコツーリズムやグリーン・ツーリズム、ヘルスツーリズム等のニューツーリズムが台頭するようになった [126)]。上述してきた観光目的の多様化は、アニメや小説・映画・ドラマの舞台となった観光地を訪れる行為も行なわれるようになり、これらは「コンテンツツーリズム」と総称され、20 世紀以降の我が国における一観光現象として定着するようになった [127)]。こうした「コンテンツツーリズム」の中でも、アニメ作品の舞台となった場所に訪れる行為を「聖地巡礼」として呼称するようになり、山村は「熱心なファンが、アニメ作品のロケ地またはその作品・作者に関連する土地を見つけ出し、それを聖地として位置づけ、実際に訪れる（巡礼する）という行為」と定義した。ここで使用されている「聖地」という言葉の元々の意味を辿るならば、「聖地」とは伝統的に、宗教によって管理される場であると考えられており、神仏への信仰を持ち、聖地への聖性を疑わない人々が濃厚な祈りや体験を求めて行なうのが巡礼であった。さらに、聖地巡礼のあり方や意味を決定していたのは、宗教の制度や組織であるため、近代以降の、楽しむことを目的に商品化された旅を消費する観光とは異なる領域であった [127)]。

上述してきたように、本来は宗教的な意味合いを有していた「聖地巡礼」の旅は、コンテンツツーリズムでは作品に関わりを持つ土地を対象に、観光者が訪れる現象として再定義されている [127)]。つまり宗教とは異なる文脈の中で、映像作品の制作の舞台となった聖地、ロケ地、あるいは作品制作者の生誕地としての観光地の形成が、アニメやフィルム、特撮などの各映像ジャンルを誘致資源として国内各地で行なわれており、この現象については、上述してきた各先行研究によって明らかにされてきた。

このように、我が国の観光史を概観すると、古代から中世にかけて、貴族など一部の特権階級のみの現象であった観光は、近世以降になると民衆へと浸透していくようになった。伊勢参りなど民衆による信仰の旅が隆盛を極めていたが、近代化の影響を受けて、楽しみのための観光が現象として我が国に浸透していくようになった。21 世紀に入ると、アニメヤフィルムなどの舞台となった土地を、観光者が訪れる行為が「コンテンツツーリズム」として総称されるようになり、本来宗教的な意味合いを有していた「聖地巡礼」も、「コンテンツツーリズム」の中では、楽しむことを目的とした旅として反映されていた。

本研究の対象となる特撮ツーリズムは、映像作品を誘致資源としているために、Leiper が提唱した、「Tourists（観光者）」と「Tourist destination region（目的地）」に加え、特撮映像作品の著作元である映像制作会社が加わっていることが考えられる。つまり、「1.観光者」、「2.開催地」、「3.映像制作会社」、以上 3 者の関係をまとめると、下記図－7 のとおりとなった。



図－7.特撮ツーリズムの三者構造

まず、「1.観光者」は、特撮ツーリズム開催地に目的を持ってやってくる来訪者のことを指す。この「1.観光者」には特撮映像作品を視聴したファンや、子どもが特撮映像作品を視聴していることから、子どもと共に親も来訪した親子連れ、また観光者の中には、特撮映像作品を意識せずに、興味本位や偶然に開催地へと訪れた者も考えられることから、その他の観光者も「1.観光者」の枠に表記した。つまり、特撮ツーリズム開催地に訪れる観光者は、各映像制作会社が発信している特撮作品を、テレビや映画等のメディアを通じて認知しており、特撮映像作品の世界観をショーや展示等で追体験するために、開催地へと向かい、消費活動を行なう。「1.観光者」は「2.開催地」に対して、着ぐるみショーが観たい、商品を購入したい等のニーズを求めながら、お金を落としていく関係性を表記した。

続いて「2.開催地」は、性質ごとに、『①イベント会場』、『②常設施設』、『③市町村』、『④その他』の 4 種類に大別できる。まず、『①イベント会場』とは、特定の期間に、一定の場所にてショーや展示会等を実施する開催地のことである。場所が特定されていない事

例が多く確認でき、デパートや遊園地、駅やホテル等、多様な場所で開催されている。また、場所が特定されている事例も併せて確認でき、先述した「ウルトラマンフェスティバル」のように、毎年決まった場所でイベントを開催する事例も確認できた。

続いて、『②常設施設』は、特撮映像作品のショーや展示等を常設的に開催する施設のことを指す。『②常設施設』は、先述した東映のスーパー戦隊シリーズのショーを常設開催している「後楽園ゆうえんち」のような装置産業の他（第 2 章にて後述）、各特撮映像作品に携わった制作者の功績や作品を常設展示した博物館、特撮映像作品を店内のテーマとして活用した飲食店等、数多くの事例を含んでいる。

『③市町村』は、特撮作品を誘致資源に、地域振興を行なっている市町村のことである。つまり、1 つの施設だけでなく、まち全体を挙げて観光者の誘致を行なっていることに特徴がある。具体的には、「特撮作品制作者の生誕地」や、「ゆかりのある地を謳った地域振興」がこれまで行なわれてきた（第 6 章にて後述）。

『④その他』では、上述してきた 3 つの開催地のいずれにもあてはまらない、特撮ツーリズム開催地を含んでいる。例えば、本来は特撮映像作品を制作するために使用する撮影スタジオ、即ち「特撮スタジオ」が挙げられる。特撮スタジオとは、街のミニチュアセットを舞台に、怪獣やヒーローの着ぐるみが立ち回りを行なう映像等を撮影する、特撮専用のスタジオである。先に述べてきたとおり、あくまで映像作品を撮影するために使用されるのが当スタジオの用途である。しかし、観光対象地としても機能した事例が存在しており、当事例については第 7 章にて後述する。

最後に、「3.映像制作会社」は、特撮作品を制作して、観光者にテレビや映画等の媒体に発信する会社である。つまり、観光資源となる特撮作品の著作側となる。映像制作会社が特撮作品を「2.開催地」へと提供することによって、特撮ツーリズム開催地が創作される。つまり、特定の場所にて特撮ツーリズムを開催するにあたり、映像制作会社から、特撮映像作品を借用することで、はじめて特撮ツーリズム開催地として機能するわけである。

また、「1.観光者」との関連についても、「3.映像制作会社」は彼らに向けて、テレビや映画、インターネット動画等で特撮映像作品を発信している他、「1.観光者」が特撮ツーリズム開催地にて、入場チケットや商品の購入等の消費活動によって伴う収益を得ている。

上述してきたとおり、「1.観光者」、「2.開催地」、「3.映像制作会社」から成立する、他の観光現象と特撮ツーリズムの構成について述べてきたが、やはり、特撮ツーリズムが他の観光現象と比較して異なる性質には、特撮映像作品に登場する「物品」を誘致資源として活用していることが挙げられる（註 2）。つまり、本来特撮映像作品は、役者や着ぐるみ、模型等の「物品」を使用して制作された映像作品であるために、観光者が特撮ツーリズムに参加する際、「物品」と触れ合うために来訪しているわけである。映像作品に登場した着ぐるみや模型等を、観光者が自分の好きな角度から観賞、撮影できる点に独自性があった（註 3）。

このように特撮ツーリズムは、様々な場所を舞台に開催されており、他のコンテンツツーリズムとの大きな違いには、特撮映像作品の撮影で使用された、着ぐるみやミニチュア等の「物品」であることについて述べてきた。これらの「物品」が導入されることによって、特撮映像作品に縁のない地であっても、その場所に非日常的（Virtual）な空間が形成され、観光者がそれぞれの目的（「物品」の観賞・接触、あるいはその他体験等）を実現（Actualize）するために、特撮ツーリズム開催地へと来訪していることが指摘できる。

Leiper を筆頭に上述してきたとおり、観光とはこれまで「移動」を伴うものとして提唱されてきたが、この「移動」についても、特撮ツーリズムでは異なる視点から言及することができる。例えば、まちづくりの一環として、特撮ツーリズムが 1 つの地域を舞台に開催された場合、遠方から来訪する観光者にとっては、その街へ訪れる事に「移動」が伴うが、地域の居住者にとっては、自分達の生活圏内に特撮映像作品が適合した状態となるため、「移動」を伴わない観光となる。また、こうした「移動」を伴わない観光は、自分の住んでいる土地の過去をリサーチするエコミュージアム的活動などに、広く光を当てる契機となるとともに、その鍵を握るファクターとして、特撮映像作品に登場した「物品」に注目する根拠となる。

さらに、近年はインターネットや SNS 等の通信技術の台頭によって、観光地に直接「移動」しなくても、擬似的に観光地を体験できるプログラムが普及するようになる等の現象が確認できるため（註 4）、こうした対象となる場所の仮想性についても、特撮ツーリズムを通じて明らかにすることにより、観光の概念の狭さや視点を拡大することが可能となる。

よって本研究では、アナログ特撮作品の制作で使用された、着ぐるみやミニチュア等の「物品」を誘致資源とした「特撮ツーリズム」を提案し、新たな観光としてその実態を明らかにすることによって、観光研究の射程を広げることに着手する。

補註

註 1：岡本（2010）によれば、日本の古代は、前 3 世紀頃の弥生時代から、平安時代末期までの時代であると述べていた。その上で、中世は鎌倉時代から戦国時代までを指すものとし、近世は 16 世紀後半の織豊時代から、19 世紀半ばまでの江戸時代の終りまでの時代であると述べている[125)]。

註 2：我が国では、アニメや漫画に登場するキャラクターの着ぐるみや造形物を使用して、ショーや展覧会といったイベントを開催した事例が数多く確認することができる。しかし、元々二次元の存在であったものを、観光者との接触のために新規制作された造形物であるため、それは作品に登場した実物ではないことが指摘できる。

註 3：各映像制作会社が発信した特撮映像作品の中には、着ぐるみを使用せずに CG 描写で怪獣やヒーローを創作した事例が、2010 年以降に多数確認できるようになった。2016 年 7 月 29 日に公開された、東宝制作の特撮怪獣映画『シン・ゴジラ』では、着ぐるみを演出に使用しない、シリーズ初のフル CG 表現によるゴジラが登場した。また、2019 年 3 月 8 日に公開された、円谷プロ制作の特撮ヒーロー映画『劇場版ウルトラマン R/B　セレクト！絆のクリスタル』でも、シリーズ初のフル CG 表現によるウルトラマン、ウルトラマングルーブが登場した。

註 4：通信技術の台頭に伴う、擬似的に観光地を体験できるプログラムの詳細は、第 6 章にて後述する。

第 3 章　研究の目的・対象・方法

本研究の目的は、映像作品等のコンテンツを使用した観光研究の一環として、「特撮」を誘致資源とした新たなツーリズム概念である特撮ツーリズムを提案することによって、観光という事象に対する認識の振り幅を拡大することにある。また、アナログ特撮作品を対象とした観光現象には、本来観光地固有の資源ではないアナログ特撮作品の撮影で使用された「物品」等を通じて、観光者が擬似的に観光地を体験する現象が確認できる。

つまり、「観光資源・観光現象」としての特異性が顕れており、こうした対象となる場所の仮想性も明らかにすることで、特撮を取り巻く様々なツーリズム研究で提唱された、ツーリズムの概念の狭さや視点を拡大できることに、研究の学術的意義がある。

そこで本稿は、アナログ特撮を誘致資源とした特撮ツーリズムが、いつの時代に出現して現在まで定着する観光現象として進展を遂げてきたかの「歴史」を明らかにすると共に、本来は外部資源である「特撮」を導入した特撮ツーリズム開催地にて、観光者が自己の目的を達成するために行なう「行動特性」を対象に調査を行なった。

特撮ツーリズムの実態調査を行なう上で、本研究では「『特撮ツーリズム』は、特撮映像作品の発信と共に継続された観光現象であり、観光者の行動には、アニメやフィルムといった、他のコンテンツツーリズムの参加者とは異なる特殊性がある」と仮説を設定し、過去の史料を分析、検証することによって、事象としての観光史を明らかにする歴史学的な観点から、調査検証を行なった。

上記の仮説を明らかにするために、本論では「①資料調査」と「②現地調査」による 2 つの調査方法を採用し、特撮ツーリズムの実態を検証することにした。

まず「①資料調査」では、これまで国内外で開催されてきた、特撮ツーリズムの歴史検証を行うこととした。資料調査による調査対象は、円谷プロや東宝、東映等の各映像制作会社によって発信された特撮映像作品を誘致資源とした、イベントや商業施設等が内包するアトラクションの情報を記録した資料を対象に収集、分析する作業を行なった。

また、本論文で頻出する「イベント」と「アトラクション」というワードについては、下記の用語の定義を行なった。まず、「イベント」については、「週末や祝日、夏季休暇期間等､長さを問わず一定の期間中に開催される､アナログ特撮作品を誘致資源とした催事」と定義した。さらに、「アトラクション」は、「特撮ツーリズム開催地に導入された、ショーや展示、物販、その他全てのプログラムを内包するもの」と定義した。上記の定義を行なった上で、各資料に記載されたイベント及びアトラクション情報の収集を行なった。

調査対象となる資料は 3 種類に大別できる。はじめに、特撮イベント開催当時の写真やその模様を文章として収録した「1.文献」、特撮映像作品を用いて地域振興を行っている地域やイベント施設、またこれら観光活動の促進のために、自社の作品を提供している特撮映像作品制作会社らが公式に開示している「2.Web サイト」、また特撮ツーリズムが開催された当時の模様を、映像として収録した「3.映像ソフト」である。

まず「1.文献」であるが、全国書店にて一般販売されている特撮映像作品を特集した書籍を可能な限り収集した。文献の収集方法は、まず「NDL ONLINE　国立国会図書館オンライン」[9] より、各社が制作した特撮映像作品のタイトルを入力する。つまり、「ゴジラ」や「ガメラ」といった特撮怪獣映画や、「ウルトラマン」や「仮面ライダー」、「スーパー戦隊」といった特撮ヒーロー番組といったキーワードを入力して検索を行なった。

例えば、「NDL ONLINE　国立国会図書館オンライン」[9] にて、「ゴジラ」、「ガメラ」、

「ウルトラマン」、「仮面ライダー」、「スーパー戦隊」の 5 つのキーワードで資料の検索をそれぞれ行なうと、下記の表－8 の資料数が該当した。

表－8.「NDL ONLINE」[9)]　検索結果（2019 年 1 月 12 日時点）

検索ワード＼資料種別	図書	雑誌	雑誌記事	電子書籍・電子雑誌	電子資料	映像資料	録音資料	新聞	規格・テクニカルリポート類	博士論文	文書・図像類
ゴジラ	661	746	402	1	5	118	252	0	0	2	0
ガメラ	395	274	419	2	0	33	49	0	0	6	0
ウルトラマン	1298	710	117	3	6	364	0	0	0	0	5
仮面ライダー	2024	466	48	0	23	489	643	0	0	0	0
スーパー戦隊	345	26	10	1	1	421	291	0	0	0	0

表－8 の通り、「NDL ONLINE　国立国会図書館オンライン」[9)] より検索できる特撮映像作品の全情報とは、文献や映像資料等を含めてその資料数が膨大であるため、全ての資料を把握することは極めて困難な状況にある。そこで収集する文献を厳選するために下記 3 つの内容を掲載した文献を分析の対象として活用することにした。

まず、「①過去に開催された特撮イベントの様子が、写真や文章を通じて記録されている文献」である。各文献に記録されている過去の特撮イベントの開催情報を調査し、それぞれ掲載されている情報を時代順に整理することによって、特撮ツーリズムがいつの時代から開催された現象であるのか、またどのような歴史的変遷を辿りながら現在まで至っているのかを時系列的に明らかにすることが可能となる。

続いて、「②特撮イベントの制作者や出演俳優等へのインタビューを掲載した文献」である。これは、特撮映像作品を題材とした実演ショーに出演した俳優ら（特撮映像作品主演俳優や、着ぐるみの中に入って芝居を行なうスーツアクター）へ、ショー出演に至るまでの経緯や、出演当時のイベント会場の様子や、観光者と接触した感想等のインタビュー等を掲載した文献を指す。

最後に、「③今後開催予定の特撮イベントを、写真や文章で告知した文献」である。これは、今後開催される特撮ツーリズムを把握することによって、特撮ツーリズムが将来的にも継続されつつある観光現象であることが明らかになる同時に、過去に開催されてきた特撮ツーリズムと比較してどのような進展を遂げつつあるのかを確認することが可能となる。

上述してきた 3 つの掲載内容を、1 つでも掲載した文献資料を収集したところ、全 181 冊の文献を確認することができた。よって本研究では、これらの文献を調査資料として活用することにした。調査対象となった全 181 冊の文献タイトル及び掲載ページは、表－9 のとおりである。また、各文献資料の各ページにて掲載された内容については、後ページ付録 1 のとおりである。

表－9.特撮ツーリズム文献資料（全 181 冊）

No.	文献タイトル	掲載ページ	発行日	発行所	調査基準
1	ウルトラマンベストブック	27pp	1993年9月5日	株式会社竹書房	①
2	ウルトラセブンベストブック	103,107pp	1993年11月8日	株式会社竹書房	①
3	ウルトラマン画報　上巻	27pp	2002年10月4日	株式会社竹書房	①
4	ウルトラマン画報　下巻	198pp	2003年5月9日	株式会社竹書房	①
5	円谷プロ画報　第1巻	53pp	2013年8月9日	株式会社竹書房	①
6	ゴジラ画報　第3巻	200,231pp	1999年12月24日	株式会社竹書房	①
7	～輝ける怪獣ブームの軌跡～甦れ！ウルトラ黄金時代　Q　マン　セブン！！	102-104pp	2006年3月7日	株式会社竹書房	①
8	仮面ライダーから牙狼へ　渡辺亮徳・日本キャラクタービジネスを築き上げた男	219,220,229,230,306-308,318pp	2014年7月17日	株式会社竹書房	①
9	ウルトラマンの飛翔	197-204pp	2016年12月25日	株式会社　双葉社	①
10	昭和特撮文化概論　ヒーローたちの戦いは報われたか	144,145,184,187,190-201pp	2015年6月30日	株式会社　集英社クリエイティブ	①
11	スーパー戦隊の常識　ド派手に行くぜ！　レジェンド戦隊篇	160-161pp	2012年4月22日	株式会社　双葉社	①
12	円谷プロ図録 ウルトラマンメカニック編	130-147pp	2013年	株式会社ネコ・パブリッシング	①
13	円谷プロ全怪獣図鑑	44,229-233,282,366,390,391pp	2013年3月11日	小学館	①
14	別冊宝島869　僕たちの好きなウルトラマン③　初代ウルトラマン＋ウルトラQ徹底解析編	20pp	2003年10月16日	株式会社宝島社	①
15	別冊宝島1456　僕たちの好きなウルトラマンメビウス　全50話完全ストーリー紹介	125pp	2007年8月21日	株式会社宝島社	①
16	別冊宝島1524　僕たちの好きなウルトラマン〔ウルトラマン・シリーズ誕生編〕	5,64,65,105pp	2008年5月21日	株式会社宝島社	①
17	怪獣酒場大図鑑	1,4-95pp	2016年3月15日	株式会社宝島社	①
18	ウルトラマン Waker	6-11,28,29,34-39,48-51,70-75,80-87,94-109,111pp	2013年1月29日	（株）キャラアニ	①
19	学年別学習雑誌で見る昭和子どもクロニクル1　ウルトラ博物館	136pp	2003年12月20日	小学館	①
20	学年誌ウルトラ伝説	100-101pp	2017年7月3日	株式会社　小学館	①
21	帰ってきたウルトラマン　完全復刻版	168pp	2004年7月30日	株式会社　小学館	③
22	ウルトラマンA　完全復刻版	108pp	2004年8月6日	株式会社　小学館	③
23	ウルトラマンタロウ　完全復刻版	266,285pp	2005年7月8日	株式会社　小学館	③
24	ザ・ウルトラマン	155pp	2007年11月21日	株式会社　小学館	③
25	セブン3　セブンきゅ～ぷ　(1)	1-180,182,183pp	2014年3月20日	三省堂印刷株式会社	①
26	セブン3　セブンきゅ～ぷ　(2)	5-190,192,193pp	2014年6月20日	三省堂印刷株式会社	①
27	セブン3　セブンきゅ～ぷ　(3)	5-201pp	2014年11月15日	三省堂印刷株式会社	①
28	ULTRAMAN　(7)	192,193pp	2016年1月29日	株式会社ヒーローズ	①
29	ULTRAMAN　(10)	192,193pp	2017年7月31日	株式会社ヒーローズ	①
30	酩酊!怪獣酒場（1）	1-144,148-151pp	2015年10月30日	株式会社ヒーローズ	①
31	酩酊!怪獣酒場（2）	1-144,149pp	2016年4月30日	株式会社ヒーローズ	①
32	酩酊!怪獣酒場（3）	1-168pp	2016年10月31日	株式会社ヒーローズ	①
33	酩酊!怪獣酒場（4）	1-208pp	2017年4月30日	株式会社ヒーローズ	①
34	酩酊!怪獣酒場2nd(1)	3-150,156,157pp	2017年9月30日	株式会社ヒーローズ	①
35	酩酊!怪獣酒場2nd(2)	1-158pp	2018年4月30日	株式会社ヒーローズ	①
36	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（2）	111-124pp	2016年9月1日	株式会社秋田書店	①
37	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（3）	31,33-41,73-80,83-91,103-110,149pp	2017年5月1日	株式会社秋田書店	①
38	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（4）	156-158pp	2018年1月1日	株式会社秋田書店	①
39	新仮面ライダーSPIRITS 15	166-193pp	2017年3月17日	講談社	①
40	pen with New Attitude No.363 2014	48,49,88,89pp	2014年7月15日	阪急コミュニケーションズ	①,③
41	宇宙船 1987 6月号 Vol.36	3-7,31,44-51pp	1987年6月1日	株式会社朝日ソノラマ	①,②
42	宇宙船 2003 9月号 Vol.108	18,29,76,77,90,116,117pp	2003年9月1日	株式会社朝日ソノラマ	①,③
43	HYPER　HOBBY　10月号	8,9,35,110,111pp	2003年10月1日	徳間書店	①
44	永久保存版　HYPER　HOBBY　7月号　SPECIAL VOLUME14	14,15pp	2005年6月1日	徳間書店	①,③
45	永久保存版　HYPER　HOBBY　10月号　SPECIAL VOLUME26	13pp	2006年9月1日	徳間書店	①
46	HYPER　HOBBY　7月号　2013	17,18,20,21,118,147,156,157pp	2013年7月1日	徳間書店	①,③
47	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.1	5-9,13,19-25,43,70,73,86-92,119,120,158pp	2015年6月1日	徳間書店	①,③
48	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.3	19,44,64-67,97,114,123-125,141pp	2015年10月10日	株式会社　徳間書店	①,③
49	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.4	77,109,110,119,128,129,156pp	2015年12月15日	株式会社　徳間書店	①,③
50	キャラクターランドSPECIAL ウルトラマンオーブ THE ORIGIN SAGA	81pp	2017年2月5日	徳間書店	③
51	HYPER MOOK 仮面ライダーアマゾンズ　コンプリートガイド　THE　公式！	91pp	2016年10月15日	徳間書店	①
52	ガンダムエース11月号増刊　Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ No.004	21,69,148pp	2002年11月1日	角川書店	①,②
53	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.008 SEPTEMBER 2003	67,166,167,175pp	2003年9月1日	角川書店	①,③
54	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ 9月号増刊　爆竜戦隊アバレンジャー　DELUXE ABARE BOOK	102pp	2003年9月1日	角川書店	①
55	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.012 2004　5月号	7,39,68,69,124,125pp	2004年5月1日	角川書店	①,③
56	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.016 2005　1月号	22,23,55,104,105,122,123pp	2005年1月1日	角川書店	①
57	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.019 2005　6月号	36,80,108-110,121,148-151pp	2005年7月1日	角川書店	①,③
58	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ　2005年7月号別冊付録〔ウルトラマン〕MAX REPORT	19pp	2005年7月1日	角川書店	③
59	フィギュア王　No.68	14,15,44,45,67pp	2003年8月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①
60	フィギュア王　No.69	18,19,27-30,32,33,43-45pp	2003年9月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①
61	フィギュア王　No.81	55,130,142,143pp	2004年10月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①,③
62	フィギュア王　No.92	52-53,55,58pp	2005年10月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①
63	フィギュア王　No.98	45,49,94-97,104,105pp	2006年4月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①,③
64	フィギュア王　No.103	25,31,36-41,57-59,61,63,92,93,116,117pp	2006年9月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①,③
65	フィギュア王　No.111	36-51,67,83,130,131pp	2007年5月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①,③
66	フィギュア王　No.118	160pp	2007年12月30日	株式会社ワールドフォトプレス	①
67	フィギュア王　プレミアムシリーズ　ウルトラソフビ超図鑑	68,74,79,89,95,106,111,116,119,121,125,126,132,136,137,143,145pp	2010年7月15日	株式会社ワールドフォトプレス	①
68	HOBBY JAPAN MOOK　シン・ゴジラ　GENERATION	74-79,81,85,86,97-111pp	2017年3月31日	株式会社ホビージャパン	①
69	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.1	39,108-111,114-119pp	2001年6月15日	辰巳出版株式会社	①
70	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.2	61-63,110,111,116-119pp	2001年9月5日	辰巳出版株式会社	①,③

71	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.3	102,103,112,113,117-119pp	2001年11月25日	辰巳出版株式会社	①,③
72	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.4	100,102,103,114-119pp	2002年2月20日	辰巳出版株式会社	①,③
73	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.5	62,63,86,106-109pp	2002年5月10日	辰巳出版株式会社	①,③
74	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.6	60,61,82-85,112,113pp	2002年8月10日	辰巳出版株式会社	①,③
75	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.7	46,47,49,50pp	2002年11月10日	辰巳出版株式会社	①,③
76	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.8	98,99,106-108pp	2003年2月20日	辰巳出版株式会社	①,③
77	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.9	62,63,67,118,119pp	2003年5月10日	辰巳出版株式会社	①,③
78	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.10	30-33,39-47,102,103,118,119pp	2003年8月10日	辰巳出版株式会社	①-③
79	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.11	23,30,36,37,98,99,104,105,114-118pp	2003年11月10日	辰巳出版株式会社	①-③
80	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.12	104,105,126,127pp	2004年2月20日	辰巳出版株式会社	①,③
81	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.13	6,7,106-108,122-125pp	2004年5月10日	辰巳出版株式会社	①-③
82	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.14	5,28,29,86,87,122,123,126pp	2004年8月10日	辰巳出版株式会社	①,③
83	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.1	11-15,34-37,66,78,79,96,97	2004年9月10日	小学館	①-③
84	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.2	11,21-23,66,70-72,74,75pp	2005年1月15日	小学館	①-③
85	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.3	18-21,24,25,51-53,65,74,75,84-89,96,97pp	2005年6月1日	小学館	①-③
86	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.4	22,84-87,94,95,106pp	2005年10月1日	小学館	①-③
87	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.5	17-21,74,76,84,85pp	2006年5月5日	小学館	①-③
88	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.1	16,17pp	2005年9月22日	株式会社　講談社	①
89	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.2	20,21pp	2005年10月7日	株式会社　講談社	①
90	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.5	12pp	2005年11月25日	株式会社　講談社	②
91	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.8	19,28,29pp	2006年1月10日	株式会社　講談社	①
92	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.10	22,23pp	2006年2月10日	株式会社　講談社	①
93	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.11	22,23,25pp	2006年2月24日	株式会社　講談社	①
94	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.1　仮面ライダー1号・2号（前編）	25pp	2016年1月9日	株式会社　講談社	②
95	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.2　仮面ライダー1号・2号（後編）	21pp	2016年4月9日	株式会社　講談社	②
96	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.3　仮面ライダーV3	17,33pp	2016年1月25日	株式会社　講談社	②
97	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.5　仮面ライダーアマゾン	13,31pp	2016年3月25日	株式会社　講談社	①,②
98	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.9　仮面ライダーＺＸ	4,5,30,31pp	2016年5月25日	株式会社　講談社	①,②
99	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.1　仮面ライダークウガ	33p	2014年10月25日	株式会社　講談社	②
100	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.4　仮面ライダー555	33p	2015年1月24日	株式会社　講談社	②
101	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.8　仮面ライダー電王	33p	2014年11月10日	株式会社　講談社	②
102	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.15　仮面ライダー鎧武	32-33p	2014年12月25日	株式会社　講談社	②
103	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 20世紀　1975　秘密戦隊ゴレンジャー	19pp	2018年3月24日	株式会社　講談社	②
104	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.1　百獣戦隊ガオレンジャー	15pp	2017年2月25日	株式会社　講談社	②
105	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.2　忍風戦隊ハリケンジャー	19pp	2017年6月9日	株式会社　講談社	②
106	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.4　特捜戦隊デカレンジャー	17,32pp	2017年4月25日	株式会社　講談社	②
107	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.5　魔法戦隊マジレンジャー	17,33pp	2017年7月10日	株式会社　講談社	②
108	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.6　轟轟戦隊ボウケンジャー	17pp	2017年8月9日	株式会社　講談社	②
109	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.7　獣拳戦隊ゲキレンジャー	15,32pp	2017年10月10日	株式会社　講談社	②
110	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.8　炎神戦隊ゴーオンジャー	30pp	2017年5月25日	株式会社　講談社	①
111	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.9　侍戦隊シンケンジャー	17pp	2017年3月10日	株式会社　講談社	②
112	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.10　天装戦隊ゴセイジャー	17pp	2017年9月25日	株式会社　講談社	②
113	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.11　海賊戦隊ゴーカイジャー	15pp	2017年4月10日	株式会社　講談社	②
114	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.12　海賊戦隊ゴーバスターズ	17pp	2017年7月25日	株式会社　講談社	②
115	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.13　獣電戦隊キョウリュウジャー	19pp	2017年5月10日	株式会社　講談社	②
116	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.14　烈車戦隊トッキュウジャー	17pp	2017年8月25日	株式会社　講談社	②
117	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.15　手裏剣戦隊ニンニンジャー	17pp	2017年9月5日	株式会社　講談社	②
118	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.16　動物戦隊ジュウオウジャー	17pp	2017年6月24日	株式会社　講談社	②
119	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.17　宇宙戦隊キュウレンジャー	32pp	2018年2月23日	株式会社　講談社	②
120	大人のウルトラマン大図鑑	6,7pp	2013年10月1日	株式会社マガジンハウス	①
121	大人のウルトラセブン大図鑑	86-89pp	2014年9月5日	株式会社マガジンハウス	①
122	大人のウルトラ怪獣大図鑑	83-87pp	2012年11月6日	マガジンハウス	①
123	大人のウルトラマンシリーズ大図鑑	28,118,119,126,127pp	2015年10月25日	株式会社マガジンハウス	①
124	CIRCUS別冊　語れ！ウルトラマン【永久保存版】	22-25,111-119pp	2012年9月27日	株式会社マガジンハウス	①
125	CIRCUS別冊　語れ！ウルトラマン　兄弟激闘編【永久保存版】	87,98-101pp	2013年10月31日	KKベストセラーズ	①
126	語れ！ウルトラ怪獣【永久保存版】	90,109pp	2014年4月23日	KKベストセラーズ	①
127	語れ！仮面ライダー【永久保存版】	28-30pp	2013年4月23日	KKベストセラーズ	②
128	特撮ゼロ Vol.01　創刊・冬の号	12,13,67pp	2015年1月1日	株式会社アオ・パブリッシング	①,②
129	特撮ゼロ Vol.02　春の号	44,63-75pp	2015年4月1日	株式会社アオ・パブリッシング	①,②
130	特撮ゼロ Vol.04　冬の号	10,11,17,19,23,63,64,70,71,73,75pp	2016年2月1日	株式会社アオ・パブリッシング	①,②
131	特撮ゼロ Vol.05　夏の号	42-45,80,81,86,87pp	2016年7月10日	株式会社アオ・パブリッシング	①,②
132	特撮ゼロ Vol.06　冬の号	6,7,9-19,97,98pp	2016年12月22日	株式会社アオ・パブリッシング	①,②
133	テレビマガジン特別編集　平成ウルトラ映画全集	75pp	2001年1月16日	株式会社　講談社	①
134	テレビマガジン特別編集　ウルトラマンコスモス	108,109pp	2003年9月8日	株式会社　講談社	①
135	講談社ヒットブックス　テレビマガジン特別編集スペシャル　ウルトラマン　空想特撮シリーズ	2pp	2006年12月26日	株式会社　講談社	①
136	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼアス超全集	44,58pp	1996年4月1日	小学館	①
137	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼアス2超全集	61pp	1997年5月10日	小学館	①
138	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス超全集	75pp	2007年5月22日	小学館	①
139	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス外伝　超銀河大戦　戦え！ウルトラ兄弟	18,19pp	2008年4月8日	小学館	①
140	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラギャラクシー大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY超全集	35-37pp	2009年5月2日	小学館	①

141	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス外伝　アーマードダークネス	9,10,12,13pp	2009年6月3日	小学館	①
142	てれびくんデラックス愛蔵版　大怪獣バトルウルトラ銀河伝説超全集	81pp	2009年12月23日	小学館	①
143	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼロ 超決戦！ベリアル銀河帝国超全集	79pp	2011年1月31日	小学館	①
144	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンサーガ超全集	88pp	2012年4月23日	小学館	①
145	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンギンガS超全集	66-69pp	2015年2月3日	小学館	①
146	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンX超全集	68-71pp	2016年3月16日	小学館	①
147	てれびくんデラックス愛蔵版 ウルトラマンオーブ超全集	134-136pp	2017年6月6日	小学館	①
148	てれびくんデラックス愛蔵版 ウルトラマン全戦士超ファイル〔増補改訂版〕	88,89pp	2017年12月5日	小学館	①
149	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンジード超全集	79,100-104pp	2018年3月5日	小学館	①
150	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダー555超全集　上巻	87pp	2003年8月10日	小学館	①
151	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダー鎧武超全集	128,130pp	2014年11月11日	小学館	①
152	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダードライブ超全集	98pp	2015年11月16日	小学館	①
153	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダーゴースト超全集	98pp	2016年12月15日	小学館	①
154	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダーエグゼイド超全集	98pp	2017年12月25日	小学館	①
155	てれびくんデラックス愛蔵版　百獣戦隊ガオレンジャー超全集	77pp	2002年3月10日	小学館	①
156	てれびくんデラックス愛蔵版　魔法戦隊マジレンジャー超全集　上巻	96pp	2005年11月20日	小学館	①
157	てれびくんデラックス愛蔵版　天装戦隊ゴセイジャー超全集	96pp	2011年	小学館	①
158	てれびくんデラックス愛蔵版　海賊戦隊ゴーカイジャー超全集	112,114pp	2012年	小学館	①
159	てれびくんデラックス愛蔵版　獣電戦隊キョウリュウジャー超全集	96,98pp	2014年6月25日	小学館	①
160	てれびくんデラックス愛蔵版　烈車戦隊トッキュウジャー超全集	96-98pp	2015年6月29日	小学館	①
161	てれびくんデラックス愛蔵版　手裏剣戦隊ニンニンジャー超全集	96,98pp	2016年6月27日	小学館	①
162	てれびくんデラックス愛蔵版　動物戦隊ジュウオウジャー超全集	96-98pp	2017年6月28日	小学館	①
163	別冊映画秘宝　新世紀特撮映画読本	121-126pp	2005年1月11日	株式会社洋泉社	②
164	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.1	20-23,97-103,120-129,166-171,226,227pp	2015年6月18日	株式会社洋泉社	①,②
165	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.2	28,30,31,176,203,205-208,231-235pp	2015年11月13日	株式会社洋泉社	①,②
166	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.3	18,83-86,160,161,164,165,172-174pp	2016年3月13日	株式会社洋泉社	①
167	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.4	26,27,146-151,176-178,219-221pp	2016年8月27日	株式会社洋泉社	①,②
168	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.5	32,250-252pp	2017年1月5日	株式会社洋泉社	①,②
169	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.6	190-193pp	2017年7月16日	株式会社洋泉社	①
170	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.7	6-7,16-20,48-54,56-57,220-223pp	2017年12月16日	株式会社洋泉社	①,②
171	劇場版仮面ライダー555　公式アルバム	66,67,72,73,78pp	2003年8月20日	株式会社角川書店	①,②
172	総天然色　ウルトラQ　公式ガイドブック	64,65,139-144	2012年1月26日	株式会社角川書店	①
173	ゴジラ東宝チャンピオンまつりパーフェクション	164-169pp	2014年11月29日	株式会社KADOKAWA	①
174	ハワイ州観光局公式トラベルガイド　ウルトラハワイ	2-66,68-111pp	2014年7月30日	ぴあ株式会社	①,②
175	ウルトラ怪獣　ビジュアルブック　ぴあMOOK	72-77pp	2017年11月10日	ぴあ株式会社	①,②
176	キャラクター大全　総天然色ウルトラQ　上巻	74,75pp	2011年7月27日	株式会社　講談社	①
177	講談社MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラマン全史　1963-2013	9,13,17pp	2013年7月10日	株式会社　講談社	①
178	講談社MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラ怪獣全史	11,55,59,67,80,81pp	2014年3月25日	株式会社　講談社	①
179	オールザット　ウルトラマンタロウ	76,77,178,179pp	2016年7月14日	株式会社ネコ・パブリッシング	①
180	電撃ムックシリーズ　後楽園ゆうえんち野外劇場　公式ガイド　スーパーヒーローショー大全集　完全保存版	4-78,80-89,92,93,95-114pp	1995年1月5日	メディアワークス	①,②
181	アニメ聖地88 Walker	68,86-88pp	2018年3月17日	株式会社　KADOKAWA	①

表－9 の通り、特撮映像作品の文献は、特撮映像作品に関する作品情報（作品に登場する各キャラクターの設定、物語の内容、作品の話数や放映日を記載した放映リスト等）と共に、上述した特撮ツーリズムに関する情報を掲載した文献も確認することができる。

代表的な文献資料には、小学館から発行されている書籍「超全集」（表－9 の 135 から 161）が挙げられる。「超全集」（註 1）とは、各特撮映像作品を 1 作品ずつ取り上げて単行本化した書籍で、毎年数冊ずつ発行されている。本書は作品中に登場するキャラクターの掲載や物語の解説といった、作品に関連する内容の掲載だけでなく、関連イベントの模様等が 1 冊に凝縮されている点から、数ある文献の中で資料性が高いと判断し、当研究ではこの小学館の「超全集」を文献資料調査の対象として使用した。

しかし「NDL ONLINE　国立国会図書館オンライン」[9] では検索できない文献も存在した。代表的なものには、イベント会場や、特撮映像作品が公開された映画館でのみ販売された「パンフレット」をはじめ、特撮映像作品を制作した映像制作会社のファンクラブ

に入会している会員にのみ、定期的に配布された「会報誌」、さらに、各イベント会場にて配布・販売され、特別号と題して特撮映像作品を全ページにて特集した「新聞」、上述したいずれの文献にもあてはまらず、特撮映像作品を収録した DVD-BOX に付属していた冊子といった「その他」が挙げられる。

これらの資料の例には、円谷プロの『ウルトラマン（1966)』シリーズの場合、「ウルトラマンフェスティバル」を筆頭とするイベント会場で販売されている公式パンフレットや、当シリーズの著作側である株式会社円谷プロの公式ファンクラブ「円谷プロファンクラブ（TFC)」の会報誌「TFC」（註 2）等がこれまで発行されてきたが、「NDL ONLINE　国立国会図書館オンライン」[9)] では、これらの資料を検索することはできない。

そこで、特撮ツーリズムの実態についてより詳細な調査を行なうために、これまで発行されてきたパンフレットや会報誌等も、可能な限り補足資料として活用することにした。調査対象となった補足資料全 80 冊と掲載ページは表－3 のとおりである。また、各補足資料の各ページにて掲載された内容については、後ページ付録 2 のとおりである。

表－10. 特撮ツーリズム補足資料その他（全 80 冊）

No.	文献タイトル	ジャンル	ページ	発行日	発行所
1	大ゴジラ特撮展	パンフレット	4,25-29,34pp	2014年	大ゴジラ特撮展実行委員会
2	大ゴジラ新聞	新聞	1-4面	2014年7月9日	大ゴジラ特撮展実行委員会
3	夕刊フジ特別版　夕刊ゴジラ	新聞	12,13,18,22面	2014年7月18日	夕刊フジ
4	スポーツ報知3D　ウルトラマンシリーズ45周年特別号	新聞	28,30面	2011年	報知新聞社
5	スポーツ報知　ウルトラセブン特別号	新聞	2,31面	2012年	報知新聞社
6	スポーツ報知　円谷プロ50周年特別号	新聞	25面	2013年	報知新聞社
7	スポーツ報知　ウルトラマン特別号	新聞	18-19,21-23面	2016年	報知新聞社
8	スポーツ報知　ウルトラセブン特別号	新聞	8-15面	2017年	報知新聞社
9	ウルトラマンティガ＆ウルトラマンダイナ　ウルトラマンガイア－超時空の大決戦－	パンフレット	20,21pp	1999年3月6日	株式会社　講談社
10	劇場用最新作ウルトラマンティガ　THE FINAL ODYSSEY	パンフレット	24pp	2000年3月11日	株式会社　講談社
11	劇場版ウルトラマンコスモス2 THE BLUE PLANET	パンフレット	1pp	2002年8月3日	松竹株式会社
12	ウルトラマンシリーズ誕生40周年記念作品 ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟	パンフレット	13,14pp	2006年9月16日	小学館『てれびくん』編集部
13	てれびくん特別編集　大決戦！超ウルトラ8兄弟	パンフレット	15,16pp	2008年9月13日	小学館『てれびくん』編集部
14	ウルトラマンゼロ THE MOVIE　超決戦！ベリアル銀河帝国	パンフレット	13pp	2010年12月23日	小学館『てれびくん』編集部
15	ウルトラマンギンガ劇場スペシャル　ウルトラ怪獣☆ヒーロー大決戦！	パンフレット	12pp	2014年3月15日	小学館『てれびくん』編集部
16	ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！	パンフレット	1－25pp	2001年	クリエイティブシャワー
17	ウルトラマンシンフォニーコンサート2013　with東京フィルハーモニー交響楽団	パンフレット	1－10pp	2013年	円谷プロ
18	ウルトラマンで科学する！－EXHIBITION ON SCIENCE OF ULTRAMAN－	パンフレット	15,18,19pp	2014年	株式会社あいうえお館
19	ウルトラマンシンフォニーコンサート2015	パンフレット	1－10pp	2015年	円谷プロ
20	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016	パンフレット	4－40pp	2016年	ぴあ（相羽康幸）
21	ZANDRIAS　Let's call ZANDRIAS back to Earth!	パンフレット	7-13pp	2017年4月22日	ポニーキャニオン株式会社
22	TFC　35	会報誌	1,3-8,10-14pp	2014年12月	円谷プロ
23	TFC　36	会報誌	3-5,7pp	2015年3月	円谷プロ
24	TFC　38	会報誌	1-8,11,14pp	2015年10月	円谷プロ
25	TFC　39	会報誌	4,6,8,11,14pp	2015年12月	円谷プロ
26	TFC　40	会報誌	3,4,6pp	2016年3月	円谷プロ
27	TFC　41	会報誌	3-5,7,9-11,13,14pp	2016年7月	円谷プロ
28	TFC　42	会報誌	2,5-8,11,13,14pp	2016年10月	円谷プロ
29	TFC　43	会報誌	9,11,14pp	2016年12月	円谷プロ
30	TFC　44	会報誌	5-8,13-15,18pp	2017年3月	円谷プロ
31	史上最大の決戦　ヒーローフェスティバル'96	パンフレット	11,12pp	1996年	ヒーローフェスティバル実行委員会
32	ウルトラマンフェスティバル	パンフレット	12pp	1999年	円谷プロ
33	ウルトラマンフェスティバル2000	パンフレット	11,12,22pp	2000年	円谷プロ
34	ウルトラマンフェスティバル2001	パンフレット	11,12pp	2001年	円谷プロ
35	ウルトラマンフェスティバル2002	パンフレット	9,10pp	2002年	円谷プロ
36	ウルトラマンフェスティバル2003	パンフレット	7-13pp	2003年	円谷プロ
37	ウルトラマンフェスティバル2004	パンフレット	1,8-11,14,17pp	2004年	円谷プロ
38	ウルトラマンフェスティバル2005	パンフレット	9,10,17,18pp	2005年	円谷プロ
39	ウルトラマンフェスティバル2006	パンフレット	5,6,8-16pp	2006年	円谷プロ
40	ウルトラマンフェスティバル2007	パンフレット	9,10,12,15-17pp	2007年	円谷プロ
41	ウルトラマンフェスティバル2008	パンフレット	3-6,8-10,15-18pp	2008年	円谷プロ
42	ウルトラマンフェスティバル2009	パンフレット	1,2,5-7,9,10,12-16pp	2009年	円谷プロ
43	ウルトラマンフェスティバル2010	パンフレット	5-7,9,10,12,15,16pp	2010年	円谷プロ
44	ウルトラマンフェスティバル2011	パンフレット	5-8pp	2011年	円谷プロ
45	ウルトラマンフェスティバル2012	パンフレット	7,8pp	2012年	円谷プロ
46	ウルトラマンフェスティバル2012 ウルトラセブン㊙データファイル	パンフレット	2-9pp	2012年	円谷プロ
47	ウルトラマンフェスティバル2013	パンフレット	7,8,9pp	2013年	円谷プロ
48	ウルトラマンフェスティバル2015	パンフレット	3,4,12-14,20,21pp	2015年	円谷プロ
49	ウルトラマンフェスティバル2016	パンフレット	3,8,9,12,13,19pp	2016年	円谷プロ
50	ウルトラマンフェスティバル2017	パンフレット	8-11pp	2017年	円谷プロ

51	ウルトラヒーローズEXPO2017　ニューイヤーフェスティバルIN東京ドームシティ　EXPOBO	パンフレット	1-13pp	2016年	円谷プロ
52	ウルトラマンの日 in 杉並公会堂	パンフレット	1-14pp	2016年	TBSテレビ・円谷プロ
53	仮面ライダーx仮面ライダー　W&ディケイド　MOVIE大戦2010	パンフレット	28pp	2009年	東映
54	仮面ライダーxスーパー戦隊　スーパーヒーロー大戦	パンフレット	40,45pp	2012年	東映
55	仮面ライダーx仮面ライダー　ウィザード&フォーゼ　MOVIE大戦アルティメイタム	パンフレット	36,44pp	2012年	東映
56	特命戦隊ゴーバスターズVS海賊戦隊ゴーカイジャー　THE MOVIE	パンフレット	26pp	2013年	東映
57	劇場版仮面ライダーウィザード IN MAGIC LAND	パンフレット	12-14pp	2013年	東映
58	仮面ライダーx仮面ライダー　鎧武&ウィザード　天下分け目の戦国MOVIE大合戦	パンフレット	37,40pp	2013年	東映
59	獣電戦隊キョウリュウジャーVSゴーバスターズ　恐竜大決戦　さらば永遠の友よ	パンフレット	28,29pp	2014年	東映
60	平成ライダー対昭和ライダー　仮面ライダー大戦　feat.スーパー大戦	パンフレット	46pp	2014年	東映
61	仮面ライダーx仮面ライダー　ドライブ&鎧武　MOVIEフルスロットル	パンフレット	35pp	2014年	東映
62	烈車戦隊トッキュウジャーVSキョウリュウジャー　THE MOVIE	パンフレット	24pp	2015年	東映
63	スーパーヒーロー大戦GP　仮面ライダー3号	パンフレット	41,42pp	2015年	東映
64	劇場版仮面ライダードライブ　SURPRISE FUTURE	パンフレット	14,35pp	2015年	東映
65	手裏剣戦隊ニンニンジャーVSトッキュウジャー　THE MOVIE 忍者　イン　ワンダーランド	パンフレット	26pp	2016年	東映
66	劇場版仮面ライダーゴースト　100の眼魂とゴースト運命の瞬間	パンフレット	11pp	2016年	東映
67	仮面ライダー生誕45周年記念　仮面ライダー平成ジェネレーションズ　Dr.パックマン対エグゼイド&ゴースト withレジェンドラ	パンフレット	38,42pp	2017年	東映
68	動物戦隊ジュウオウジャーVSニンニンジャー　未来からのメッセージfromスーパー戦隊	パンフレット	24pp	2017年	東映
69	仮面ライダーxスーパー戦隊　超スーパーヒーロー大戦	パンフレット	42pp	2017年	東映
70	劇場版仮面ライダーエグゼイド　トゥルーエンディング	パンフレット	39pp	2017年	東映
71	東映ヒーローワールド　公式　VOL.0	パンフレット	1,2pp	2013年	東映
72	手裏剣戦隊ニンニンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブッ	パンフレット	1-14pp	2015年	東映
73	手裏剣戦隊ニンニンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブッ	パンフレット	1-14pp	2015年	東映
74	動物戦隊ジュウオウジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブッ	パンフレット	1-14pp	2016年	東映
75	宇宙戦隊キュウレンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブッ	パンフレット	1-14pp	2016年	東映
76	宇宙戦隊キュウレンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック　新し	パンフレット	1-14pp	2016年	東映
77	27th Tokyo International Film Festival Program 第27回東京国際映画祭公式プログラム	パンフレット	136-140,168,207,209,210,213pp	2014年10月20日	公益財団法人ユニジャパン
78	29th Tokyo International Film Festival Program 第29回東京国際映画祭公式プログラム	パンフレット	140,150,185,233,235,237pp	2016年10月21日	公益財団法人ユニジャパン
79	ゴジラ　全映画DVDコレクターズBOX　VOL.4　復刻パンフレット	パンフレット	13pp	2016年	講談社
80	二子玉川園イベント回顧録～青空の下で見たヒーローたち～	図録	1-14pp	不明	DIGITAL ULTRA PROJECT

続いて「2.Web サイト」であるが、文献同様に資料が膨大となることを防ぐため、下記 3 つの選定基準を設定して、調査対象を厳選した。

まず、「①特撮映像作品を制作している各映像制作会社公式サイト」である。このサイトとは、特撮映像作品を制作・発信している映像制作会社が運営しているサイトのことである。例えば、円谷プロ公式サイト「円谷ステーション」[128)] では、特撮映像作品に関する情報（作品内容や放送時間、商品情報等）と並んで、作品を題材としたショーや展覧会等のイベントの告知（開催日や開催場所、イベント内容等）。開催後のイベントの様子の報告も行なわれている。また当サイトを経由することで、リンク先として後述する 2 種類のサイトにアクセスすることも可能であった。

続いて「②特撮ツーリズムを開催している施設のサイト」がある。これは特撮映像作品を題材としたイベントの開催地や、常設施設が運営しているサイトを指す。

つまり、「ウルトラマンフェスティバル」[129)] のような期間限定開催のイベントのサイトをはじめ、「ぐりんぱ　M78 ウルトラマンパーク」[130)] 等の常設施設、「怪獣酒場」[131)] 等の居酒屋等のサイトがこれに該当する。常設施設のサイトは、施設が運営されている限り、サイトは常時アクセスすることが可能である。しかし、期間限定開催のイベントは、開催

終了後にサイトが閉鎖されることがあるため、開催期間中にアクセスして分析を行なうことが必要である。

最後に、「③特撮ツーリズムを開催している市町村のサイト」である。これは、特撮映像作品を制作したスタジオがあることや、作品制作者の生誕の地であることを誘致資源に、観光まちづくりを行なっている市町村が開示する Web サイトを指す。例えば福島県須賀川市では、須賀川市公式ホームページとは別に、ウルトラマンの故郷である M78 星雲光の国をイメージとしたまちづくりサイト「すかがわ市 M78 光の町」[132)] を開示している。当サイトでは、須賀川市内の観光名所や催事、宿泊施設等の発信の他、ウルトラシリーズを題材としたイベント情報の発信も併せて行なっている。

上述してきた 3 つの選定基準の内、これを 1 つでも満たした Web サイトを調査対象に設定した。但し、これら「2.Web サイト」は信憑性の点から、観光現象の発信側である映像制作会社と、これと提携している各市町村が公式に発表しているものに厳選した。調査対象に設定した全 400 の Web サイトは下記表－11 のとおりである。

表－11. 特撮ツーリズム Web サイト（全 400 サイト）

No.	Webサイト名タイトル	URL	選定基準	閲覧日
1	『怪獣娘』バレンタインイベント	http://kaiju-gk.jp/event/20180115/post-165	①	2018年1月20日
2	怪獣娘～渋谷マルイ侵略計画～コラボストア	http://kaiju-gk.jp/event/20171221/post-153	①	2018年1月20日
3	ミニトークショー&お渡し会	http://kaiju-gk.jp/event/20180118/post-166	①	2018年1月20日
4	ULTRA HEROES&KAIJU GIRLS SPECIAL TALKLIVE in HONG KONG 2018	http://kaiju-gk.jp/event/20180110/post-162	①	2018年1月20日
5	ウルトラマンジードSPショー	https://www.kashiikaen.com/event/archives/24	②	2018年1月20日
6	ウルトラヒーローがやってくる！	http://www.marinoacity.com/event/ultramanorb201801/	②	2018年1月20日
7	ウルトラマンジード握手＆撮影会	http://benelic.com/information/information.php?id=1994	②	2018年1月20日
8	ウルトラマンジードショー	http://yamatokoriyama-aeonmall.com/news/event/1595	②	2018年1月20日
9	ULTRAMAN WORLD M78	https://www.loft.co.jp/shop_list/detail.php?shop_id=33	②	2018年1月20日
10	ウルトラセブンに会える！握手＆撮影会	https://www.loft.co.jp/shop_list/detail.php?shop_id=33	②	2018年1月20日
11	M78ウルトラマン握手＆撮影会	https://www.loft.co.jp/shop_list/detail.php?shop_id=33	②	2018年1月20日
12	ウルトラマンゼロ Another Battle～光と力～	https://www.pbsystems.co.jp/emosys-contents.html#contents19	②	2018年1月20日
13	おかえり！快獣ブースカ展	http://jungle-scs.co.jp/sale/?p=19002	②	2018年1月20日
14	快獣ブースカカフェ	http://jungle-scs.co.jp/sale/?p=19002	②	2018年1月20日
15	ブースカ2shot撮影会	http://jungle-scs.co.jp/sale/?p=19002	②	2018年1月20日
16	ウルトラマンゼロスペシャルステージ	http://www.ario-yao.jp/web/event/0c9a2dcf-aa7a-480b-ad56-e3b6e81dfeb6.html	②	2018年1月20日
17	「ウルトラマンレオ」恐怖の円盤生物スペシャル！	http://tdcast.exblog.jp/238095656/	②	2018年1月20日
18	ウルトラヒーロー握手撮影会	http://www.foleo.jp/otsu/event/index.asp#e724	②	2018年1月20日
19	ウルトラマンジードミュージアム　IN名古屋PARCO	http://tv-aichi.co.jp/geedmuseum/	②	2018年1月20日
20	「劇場版 ウルトラマンジード　つなぐぜ! 願い!!」公開記念　ウルトラマンジードと遊ぼう	http://nha.or.jp/ichinomiya/event/entry-2743.html	②	2018年1月20日
21	ウルトラマンジードとあそぼう！	http://www.chunichi-hc.ne.jp/kurokawa/event/2018/01/21/#ent007411	②	2018年1月20日
22	「劇場版ウルトラマンジード　つなぐぜ！願い！！」公開記念　朝倉リクがやってくる	http://35s.co.jp/sumaiclub/nishio/9974	②	2018年1月20日
23	こども広場（ウルトラマンバージョン）	http://35s.co.jp/sumaiclub/nishio/9974	②	2018年1月20日
24	ウルトラマンジードショー	http://35s.co.jp/sumaiclub/nishio/11419	②	2018年1月20日
25	ウルトラマンジードショー	http://35s.co.jp/sumaiclub/minato/10768	②	2018年1月20日
26	「劇場版ウルトラマンジード　つなぐぜ！願い！！」公開記念　朝倉リクがやってくる	http://35s.co.jp/sumaiclub/minato/11369	②	2018年1月20日
27	ウルトラマンティガがやってくる	http://www.aeontown.co.jp/chikusa/node/3257	②	2018年1月20日
28	ウルトラマンジードショー	http://housing.hicbc.com/kanie/event/	②	2018年1月20日
29	宇宙戦隊キュウレンジャーショー	http://housing.hicbc.com/kanie/event/	②	2018年1月20日
30	ウルトラマンCLUB名古屋店	http://www.namco.co.jp/kids/ultramanclub/	②	2018年1月20日
31	ウルトラマンジードスペシャルショー	http://www.namco.co.jp/kids/ultramanclub/NEWS/events/20171214.html	②	2018年1月20日
32	ウルトラチャレンジステージ	http://tedori.jp/infoultra_k1489486923.html	②	2018年1月20日
33	バラエティ－撮影会	http://tedori.jp/infoultra_k1489486927.html	②	2018年1月20日
34	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
35	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
36	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
37	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
38	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
39	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
40	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
41	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
42	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
43	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	①	2018年1月20日
44	「星人認定刻印プレート」プレゼントキャンペーン	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=283	②	2018年1月20日
45	バルタン星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=279	②	2018年1月20日
46	マグマ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=280	②	2018年1月20日
47	マグマ星人・ババルウ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=281	②	2018年1月20日
48	フック星人・ゴース星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=282	②	2018年1月20日
49	マグマ星人・バルキー星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=283	②	2018年1月20日
50	ピット星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=284	②	2018年1月20日

51	エースキラーがやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=285	②	2018年1月20日
52	ヒッポリト星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=279	②	2018年1月20日
53	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-6.html	②	2018年1月20日
54	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-7.html	②	2018年1月20日
55	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-8.html	②	2018年1月20日
56	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-9.html	②	2018年1月20日
57	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-10.html	②	2018年1月20日
58	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-11.html	②	2018年1月20日
59	コアチョコ映画祭	http://core-choco.com/grindhouse/	②	2018年1月20日
60	ウルトラマンニュージェネレーションワールドIN東京ソラマチ	https://m-78.jp/solamachi/2018/?n277	②	2018年1月20日
61	ウル松さん　GOOD SMILE×animate cafe	https://cafe.animate.co.jp/event/urumatsusan1800/	②	2018年1月20日
62	ウル松さん　GOOD SMILE×animate cafe	https://cafe.animate.co.jp/event/urumatsusan1801/	②	2018年1月20日
63	KAIJU MUSUME 6	http://k-j-m.jp/	②	2018年1月20日
64	メフィラス星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=34	②	2018年1月20日
65	バルタン星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=35	②	2018年1月20日
66	ザラブ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=36	②	2018年1月20日
67	ペガッサ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=37	②	2018年1月20日
68	イーアス高尾マンスリーイベント　ウルトラヒーロー握手・撮影会	http://takao.iias.jp/event/detail/index.asp?n=80	②	2018年1月20日
69	ウルトラマンジード アクロスマッシャーがやってくる！	http://koshigaya-laketown.com/	②	2018年1月20日
70	ウルトラマンジード ソリッドバーニングがやってくる！	http://www.saitama-tenjijo.com/housing/south/toda.html	②	2018年1月20日
71	ウルトラアスレチック　namcoアリオ仙台泉店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
72	ウルトラアスレチック　namcoイオンモール八千代緑が丘	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
73	ウルトラアスレチック　ｎａｍｃｏフジグラン宇部	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
74	ウルトラアスレチック　イオンモール八千代緑が丘	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
75	ウルトラマンがやってくる！	http://www.aeon.jp/sc/yachiyomidorigaoka/event/event_e46604.html	②	2018年1月20日
76	ウルトラアスレチック　namcoイトーヨーカドー木場	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
77	ウルトラアスレチック　namcoイオンタウン郡山店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
78	ウルトラアスレチック　ゆめタウン広島	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
79	ウルトラアスレチック　イオンモール成田	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
80	ウルトラマンタロウがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
81	ウルトラアスレチック　ゆめタウン徳島	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
82	ウルトラアスレチック　イオンモール新瑞橋	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
83	ウルトラマンギンガがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
84	ウルトラアスレチック　イオンモール高知	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
85	ウルトラマンガイア＆ウルトラマンアグルがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
86	ウルトラマンギンガ＆ウルトラマンビクトリーがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
87	ウルトラアスレチック　イオンモール堺北花田	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
88	ウルトラセブンがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
89	ウルトラアスレチック　アリオ倉敷店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
90	ウルトラアスレチック　イオン赤穂店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
91	ウルトラアスレチック　アピタ富山東店ゲームコーナー	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
92	ウルトラマンギンガ＆ビグモンがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
93	ウルトラアスレチック　サニーアクシス南国	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年1月20日
94	ウルトラファミリー大集合INすかがわ2018	http://m-78.jp/ulfami/2018/?n277	②	2018年1月20日
95	ウルトラアスレチック	http://www.namco.co.jp/game_center/loc/sendai-izumi/NEWS/urutora.html	②	2018年1月20日
96	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	②	2018年1月20日
97	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	②	2018年1月20日
98	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	②	2018年1月20日
99	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	②	2018年1月20日
100	ウル松さん×OIOI in 新宿マルイアネックス	https://www.0101.co.jp/005/store-info/fair.html?article_id=9951&from=01_pc_st005_store-news-fair_list	②	2018年1月20日

101	360度VR特撮作品『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』をプラネタリウム施設にて大迫力で楽しめる！羽田空港国際線ターミナル内で2018年6月30日(土)から上映決定！	https://m-78.jp/news/post-4830/	①	2018年6月25日
102	「ウルトラマンフェスティバル2018」内覧会に円谷倶楽部会員のお子様をご招待！【応募期間：7/9(月)10:00まで】	https://tsubu-c.jp/contents/180188	②	2018年6月29日
103	KAMEN RIDER THE DINNER	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/index.html	②	2018年7月2日
104	仮面ライダー ザ ダイナー　メニュー	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/menu.html	②	2018年7月2日
105	6/19(火) スタート　『仮面ライダー555』15周年コラボメニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/06/61915_16.html	②	2018年7月2日
106	5/19(土) スタート　『仮面ライダーアマゾンズ THE MOVIE 最後ノ審判』コラボメニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/05/519-movie.html	②	2018年7月2日
107	5/22（火）開催　劇場版アマゾンズ公開記念イベントチケット販売のお知らせ	http://rider-event.blogspot.com/2018/05/522.html	②	2018年7月2日
108	仮面ライダーアマゾンズシーズン1＆2復刻メニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/04/blog-post.html	②	2018年7月2日
109	仮面ライダーザダイナー7周年記念『仮面ライダービルド』メニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/04/7.html	②	2018年7月2日
110	3/30（金）より仮面ライダーW　コラボレーションメニュースタート	http://rider-event.blogspot.com/2018/03/330.html	②	2018年7月2日
111	3/3（土）よりゲンムVSレーザーメニュー＆ホワイトデーメニュー開催	http://rider-event.blogspot.com/2018/03/33vs.html	②	2018年7月2日
112	KAMEN RIDER THE DINNER　貸切パーティー	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/party.html	②	2018年7月2日
113	仮面ライダー ザ ダイナーの店内	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/space.html	②	2018年7月2日
114	スペシャルコースタープレゼント	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/coaster.html	②	2018年7月2日
115	限定ケーキ	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/cake.html	②	2018年7月2日
116	ウルトラアスレチック　namcoおのだサンパーク店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
117	ウルトラアスレチック　サニーアクシス南国アクシスキッズ	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
118	ウルトラアスレチック　イオンモール山形南店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
119	ウルトラマンタロウがやってくる！	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
120	ウルトラアスレチック　イオンモール佐久平店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
121	ウルトラアスレチック　イオン具志川ショッピングセンター	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
122	ウルトラアスレチック　namcoステラタウン店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
123	ウルトラアスレチック　イオンモールかほく	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
124	ウルトラアスレチック　イオンモール姫路リバーシティー	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
125	ウルトラアスレチック　くずはモール	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
126	ウルトラアスレチック　イオンモール八千代緑が丘	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
127	ウルトラアスレチック　フジグラン石井	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	②	2018年7月2日
128	モラージュ菖蒲マンスリーイベント　ウルトラヒーロー握手撮影会	http://www.mallage.com/shobu/event_list.php#470	②	2018年7月2日
129	【7/7(土)】ウルトラヒーローがやってくる	http://www.ario-ageo.jp/web/event/ca0ebfe1-a97f-4c84-a9bd-a511fda0c988.html	②	2018年7月2日
130	7月8日（日）　ウルトラヒーローがやってくる！2018 in アリオ蘇我	http://www.ario-soga.jp/web/event/5536dff9-eb18-451f-b2ef-1f8a93e0355b.html	②	2018年7月2日
131	TANABATA EVENT WEEK KAIJU MUSUME 6	http://six.k-j-m.jp/information/785/	②	2018年7月2日
132	ウルトラマンフェスティバル2018	https://www.ulfes.com/2018/	②	2018年7月10日
133	ウルトラライブステージ	https://www.ulfes.com/2018/livestage/	②	2018年7月10日
134	ウルトラP（平日限定公演）	https://www.ulfes.com/2018/livestage/	②	2018年7月10日
135	ウルトラショット	https://www.ulfes.com/2018/ultrashot/	②	2018年7月10日
136	ウルトラマンフェスティバル＆ウルトラマンショップ限定	https://www.ulfes.com/2018/depart/	②	2018年7月10日
137	8/1(水)「TAMASHII NATIONS presentsニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイト」	https://www.ulfes.com/2018/event/627/	②	2018年7月10日
138	7/26(木)ウルトラトークライブ「みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェスVol.2」	https://www.ulfes.com/2018/event/625/	②	2018年7月10日
139	7/25(水)「SSSS.GRIDMANスペシャルナイト」	https://www.ulfes.com/2018/event/614/	②	2018年7月10日
140	Stage　show	https://en.tsuburaya-prod.co.jp/business/events	②	2018年7月10日
141	Exhibition	https://en.tsuburaya-prod.co.jp/business/events	②	2018年7月10日
142	Meet & Greet	https://en.tsuburaya-prod.co.jp/business/events	②	2018年7月10日
143	THEATER　G-ROSSO　快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー　年間5シリーズ公演	https://at-raku.com/hero/	②	2018年7月10日
144	公演スケジュール	https://at-raku.com/hero/schedule/	②	2018年7月10日
145	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー　シリーズ第3弾　華麗なる新戦士！ルパンエックス・パトレンエックス！！	https://at-raku.com/hero/topics/_3/	②	2018年7月10日
146	お出迎え・撮影会登場キャラクタースケジュール	https://at-raku.com/hero/topics/_3/	②	2018年7月10日
147	握手会登場キャラクタースケジュール	https://at-raku.com/hero/topics/_3/	②	2018年7月10日
148	ルパンレンジャーVSパトレンジャー　おうえんたい　隊員募集中！	https://at-raku.com/hero/topics/cm/	②	2018年7月10日
149	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー　東京ドームシティのヒーローメニュー	https://www.tokyo-dome.co.jp/feature/hero-menu/	②	2018年7月10日
150	ヒーローグッズ	https://at-raku.com/hero/goods/	②	2018年7月10日

151	ヒーローショーアーカイブス　シアターGロッソ　激闘の歴史	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
152	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第1弾　宇宙戦隊キュウレンジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
153	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第2弾　究極の選択！天秤にかけられた友情！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
154	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第3弾　救世主覚醒！新たな伝説のはじまり！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
155	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第4弾　宇宙船Gロッソ号危機一髪！輝け！究極のシシレッド！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
156	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第5弾　キュウキョクギャラクシー！宇宙は俺たちがとりもどす！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
157	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第1弾　動物戦隊ジュウオウジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
158	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第2弾　友情パワー全開！5人の絆をなめるなよ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
159	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第3弾　真夏のアニマルフェスティバル！ジュウオウザワールド登場！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
160	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第4弾　伝説大解放！ジュウオウイーグル覚醒！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
161	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第5弾　ジュウオウファイナル！王者の絆をなめるなよ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
162	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第1弾　手裏剣戦隊ニンニンジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
163	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第2弾　あっしの出番！新戦士スターニンジャー参上！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
164	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第3弾　最強忍者が暴れるぜ！真夏のニンジャ祭り！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
165	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第4弾　負けられない戦い！ザ・超絶！忍術合戦！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
166	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第5弾　激アツ！これぞラストニンジャの戦いだ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
167	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第1弾　烈車戦隊トッキュウジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
168	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第2弾　出発進行！夢のGロッソ号！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
169	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第3弾　新戦士6号発進！炎の特急決戦！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
170	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第4弾　俺が烈車になる！ハイパートッキュウ1号 出発進行！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
171	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第5弾　最終烈車がやってくる！輝けレインボーライン！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
172	獣電戦隊キョウリュウジャー　第1弾　獣電戦隊キョウリュウジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
173	獣電戦隊キョウリュウジャー　第2弾　雷鳴の勇者　キョウリュウゴールド見参！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
174	獣電戦隊キョウリュウジャー　第3弾　荒れるぜ！真夏のキョウリュウ大決戦！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
175	獣電戦隊キョウリュウジャー　第4弾　メッチャ進化！Gロッソdeカーニバル！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
176	獣電戦隊キョウリュウジャー　第5弾　決めるぜ！史上最強のプレイブフィニッシュ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
177	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第1弾　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
178	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第2弾　緊急出動！ゴーバスターズエース発進!!	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
179	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第3弾　新戦士登場！ビート＆スタッグ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
180	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第4弾　最強海賊現る！出動せよ、ゴーバスターズ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
181	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第5弾　永遠のキズナ！ゴーバスターズラストミッション！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	②	2018年7月10日
182	ヒーローショーアーカイブス	https://at-raku.com/hero/archives/	②	2018年7月10日
183	仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2018	https://at-raku.com/w-hero/	②	2018年7月10日
184	仮面ライダースーパーステージ	https://at-raku.com/w-hero/stage/	②	2018年7月10日
185	縁日コーナー	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroEnnichi	②	2018年7月10日
186	**ヒーローグリーティング**	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroGreeting	②	2018年7月10日
187	ヒーロー写真館	https://at-raku.com/w-hero/guide/	②	2018年7月10日
188	ちり紙博士の爆笑ミニステージ	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroShop	②	2018年7月10日
189	Wヒーロー夏祭り2018限定グッズ	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroShop	②	2018年7月10日
190	【終了しました】融合！アイ、ゴー！ウルフェスへGO！8/1(水)『ウルトラマンジード』の朝倉リクが「ウルトラマンフェスティバル2018」にやってくる！	https://www.ulfes.com/2018/event/774/	②	2018年8月18日
191	【終了しました】8月15日(水)「ウルトラマン ダークヒーロー スペシャルナイト」	https://www.ulfes.com/2018/event/1216/	②	2018年8月18日
192	【終了しました】8/16(木)『ウルトラマンレオ』Blu-ray BOX発売記念プレミアムイベント スペシャルトークショー ～レオの映像特典公開収録！～	https://www.ulfes.com/2018/event/1226/	②	2018年8月18日
193	8/20(月)「怪獣娘～ウルトラ怪獣擬人化計画～」スペシャルイベント 光と闇の激突!?	https://www.ulfes.com/2018/event/1233/	②	2018年8月18日
194	8/23(木) ウルトラマンガイア放送20年記念　超時空のフェスティバル	https://www.ulfes.com/2018/event/1238/	②	2018年8月18日
195	8/25(土)『ウルトラマンR／B』の凍カツミ・イサミ兄弟がライブステージ第2部に特別出演！さらにメインキャストによるスペシャルトークショーも実施決定！	https://www.ulfes.com/2018/event/1790/	②	2018年8月18日
196	【急募！】8/12(日)『ウルトラマンR／B（ルーブ）』撮影エキストラ募集のお知らせ！	https://m-78.jp/news/post-4880/	①	2018年8月18日
197	TVアニメ『SSSS.GRIDMAN』新キャラクター＆キャスト発表！「ウルトラマンフェスティバル2018」特別イベントでは会場全体で「アクセス・フラッシュ！」	https://m-78.jp/news/post-4873/	①	2018年8月18日
198	生ワンホビTV　昼の部　15：00～15：40　TVアニメ「SSSS.GRIDMAN」ステージ	http://whl4u.jp/stagehiru/#gridman	②	2018年8月18日
199	イベント限定　『SSSS.GRIDMAN』STARTER BOOK	https://event.goodsmile.info/event/event-4283/	②	2018年8月18日
200	SSSS.GRIDMANTシャツ A	https://special.canime.jp/comiket/94/#gridman	②	2018年8月18日

201	SSSS.GRIDMANTシャツ B	https://special.canime.jp/comiket/94/#gridman	②	2018年8月18日
202	2018年冬に「ウルトラマンフェスティバル in ひらかたパーク2018-2019」開催決定！ ウルトラマンシリーズ最大級のイベントが今年も西日本にやってくる！	https://m-78.jp/news/post-4864/	②	2018年8月18日
203	スーパーフェスティバル78　特撮アーカイブ	https://artstorm.co.jp/sufes.html	②	2018年8月18日
204	「怪獣絵師 開田裕治のウルトラマンズ・ギャラリー」道の駅 富士川楽座にて7/21(土)より開催！	https://m-78.jp/news/post-4871/	②	2018年8月18日
205	石ノ森萬画館　石ノ森先生と石ノ森萬画館について	http://www.mangattan.jp/manga/about/	②	2018年8月18日
206	石ノ森萬画館　館内案内	http://www.mangattan.jp/manga/info/	②	2018年8月18日
207	石ノ森萬画館　観覧料	http://www.mangattan.jp/manga/ticket/	②	2018年8月18日
208	公認サポーター爆笑問題「巨大ジオラマは夢のよう！」明日7/20(金)より「ウルトラマンフェスティバル2018」ついに開幕！	https://m-78.jp/news/post-4865/	①	2018年8月18日
209	『ウルトラマンフェスティバル2018』ライブステージにさらなる豪華な声の出演決定！	https://m-78.jp/news/post-4853/	①	2018年8月18日
210	「ウルトラヒーローズEXPO 2019 ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ」開催決定！	https://m-78.jp/news/post-4862/	①	2018年8月18日
211	ダークヒーロー、レジェンド、豪華声優…そしてガイア20年アニバーサリー！『ウルフェス2018』スペシャルイベントは後半戦も見逃せない！	https://m-78.jp/news/post-4863/	①	2018年8月18日
212	融合！アイ、ゴー！ウルフェスへGO！8/1(水)『ウルトラマンジード』の朝倉リクが「ウルトラマンフェスティバル2018」にやってくる！	https://m-78.jp/news/post-4861/	①	2018年8月18日
213	7/22(日)川崎競馬場にて『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』を開催！	https://m-78.jp/news/post-4859/	①	2018年8月18日
214	「ウルトラマンフェスティバル2018 ウルトラヒーロー合体わざ写真コンテスト」の最優秀作品決定！『データカードダス ウルトラマンフュージョンファイト！』にも登場！	https://m-78.jp/news/post-4854/	①	2018年8月18日
215	7/28(土)～31(火)「沖縄ウルトラマン映画祭2018」開催決定！ 最新作『ウルトラマンR／B(ルーブ)』を映画館のスクリーンで観よう！	https://m-78.jp/news/post-4855/	①	2018年8月18日
216	【円谷倶楽部】「ウルトラマンフェスティバル2018」スマイル撮影会のお知らせ！	https://m-78.jp/news/post-4857/	①	2018年8月18日
217	『ウルトラマンゼロVR』が「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018」にて7/14(土)・15(日)招待上映！田口清隆＆押井守監督のトークイベントも開催！	https://m-78.jp/news/post-4847/	①	2018年8月18日
218	「ウルトラマンフェスティバル2018」限定ソフビにウルトラマンロッソ フレイム、スペシャル限定ルーブクリスタル付属 ウルトラマンタロウが登場！ ウルトラマンブル アクアは8月8日(水)からウルフェス会場でも発売！	https://m-78.jp/news/post-4846/	①	2018年8月18日
219	7/7(土)「ウルトラアスレチック ゆめタウン光の森店」がリニューアルオープン！九州で毎週ウルトラヒーローに会えるのはここだけ！！	https://m-78.jp/news/post-4848/	①	2018年8月18日
220	ウルトラヒーロー、豪華キャスト、特別ゲスト出演！『ウルトラマンフェスティバル2018』スペシャルイベントが続々開催決定！	https://m-78.jp/news/post-4845/	①	2018年8月18日
221	最新ヒーロー・ウルトラマンロッソ&ブル登場！豪華声優による声の出演も！『ウルトラマンフェスティバル 2018』ライブステージの最新情報を公開！	https://m-78.jp/news/post-4838/	①	2018年8月18日
222	HD Remaster2.0『ウルトラマンレオ Blu-ray BOX』12/21(金)発売決定！スペシャルトークショーほか、充実の特典も収録！	https://m-78.jp/news/post-4840/	①	2018年8月18日
223	223.期間限定のグッズショップ「ULTRAMAN キャラポップストア」7/7(土)新宿マルイ アネックスに登場！福岡、仙台、大阪、習志野にも順次オープン！	https://m-78.jp/news/post-4841/	①	2018年8月18日
			①	2018年8月18日
			①	2018年8月18日
			①	2018年8月18日
			①	2018年8月18日
224	360度VR特撮作品『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』をプラネタリウム施設にて大迫力で楽しめる！羽田空港国際線ターミナル内で2018年6月30日(土)から上映決定！	https://m-78.jp/news/post-4830/	①	2018年8月19日
225	「一生ジード、リクとして地球のみんなを守るために頑張りたい」『劇場版 ウルトラマンジード』グランドフィナーレ、リクとレイトからカツミとイサミに「つなぐぜ！願い！！」	https://m-78.jp/news/post-4835/	①	2018年8月19日
226	豪華ゲストのトークイベントも実施！『怪奇大作戦』放送開始50年記念 飯島敏宏監督×実相寺昭雄監督 特選作上映会が2018年8月19日(日)に開催！	https://m-78.jp/news/post-4828/	①	2018年8月19日
227	「ウルトラセブン落語＆トークライブ」9/16(日)開催！モロボシ・ダン役の森次晃嗣さんと、アンヌ役のひし美ゆり子さん登場！	https://m-78.jp/news/post-4826/	①	2018年8月19日
228	全国のアリオ、グランツリー武蔵小杉、ブライムツリー赤池でウルトラマンのプレミアムイベントが当たるチャンス！夏のキャンペーン「2018年夏のWoW」6/22(金)スタート！	https://m-78.jp/news/post-4820/	①	2018年8月19日
229	「ウルトラマンライブ 2018-2019」大阪・八尾公演6/10(日)よりチケット一般前売開始！【10/13(土)・14(日)開催】	https://m-78.jp/news/post-4823/	①	2018年8月19日
230	近畿日本鉄道にて10/13(土)、14(日)に「ウルトラマン列車」を運行！「ウルトラヒーローと行く“ウルトラマンライブ”ツアー」！	https://m-78.jp/news/post-4823/	①	2018年8月19日
			①	2018年8月19日
231	ニュージェネレーションヒーローズの活躍が集結！「ウルトラヒーローズEXPO ニュージェネレーションワールド IN 近鉄四日市」8/1(水)～14(火)近鉄百貨店 四日市店にて開催！	https://m-78.jp/news/post-4814/	①	2018年8月19日
232	『劇場版 ウルトラマンジード つなぐぜ！ 願い！！』6月23日(土)にグランドフィナーレ舞台挨拶＆応援上映決定！	https://m-78.jp/news/post-4809/	①	2018年8月19日
233	今年も福島県全域にウルトラヒーローや怪獣が出現！『大冒険！ウルトラマンARスタンプラリーinふくしま2018』が7月12日(木)より開催！新ヒーロー・ウルトラマンロッソとブルも登場	https://m-78.jp/news/post-4808/	①	2018年8月19日
234	『ウルトラマンゼロVR』が「カンヌ国際映画祭」(フランス)で絶賛！2018年6月には「ショートショートフィルムフェスティバル＆アジア」(東京)で上映！	https://m-78.jp/news/post-4806/	①	2018年8月19日
		https://m-78.jp/news/post-4806/	①	2018年8月19日
235	コンビそろってウルトラファン！爆笑問題(太田光、田中裕二)が「ウルトラマンフェスティバル2018」公式サポーターに就任！今年のテーマは「ウルトラ兄弟の絆」！	https://m-78.jp/news/post-4804/	①	2018年8月19日
236	今年のウルフェスの公式サポーターは一体誰？！5/12(土)「ウルトラマンフェスティバル2018 発表イベント」開催！（池袋・サンシャインシティ 噴水広場）	https://m-78.jp/news/post-4801/	①	2018年8月19日
237	「ウルトラマンライブ 2018-2019」八尾公演が10/13(土)・14(日)開催決定！ 5/3(木・祝)・4(金・祝)には先行発売イベントを実施。「ウルトラマン列車」の受付も5/3(木・祝)よりスタート！	https://m-78.jp/news/post-4799/	①	2018年8月19日
			①	2018年8月19日
			①	2018年8月19日
238	近畿日本鉄道にて10/13(土)、14(日)に「ウルトラマン列車」を運行！「ウルトラヒーローと行く“ウルトラマンライブ”ツアー」！		①	2018年8月19日
			①	2018年8月19日
239	「ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2018-2019」8/4(土)神奈川県民ホールにて開催！ 4/20(金)一般前売開始！	https://m-78.jp/news/post-4792/	①	2018年8月19日
240	ウルトラマンジードの世界へ飛び込もう！「ウルトラマンジードミュージアム IN せいせき」5/3(木・祝)～6(日)京王聖蹟桜ヶ丘SCにて開催！	https://m-78.jp/news/post-4790/	①	2018年8月19日
241	☆ウルトラマンジード スタンプラリー	https://m-78.jp/news/post-4790/	①	2018年8月19日
242	「福島県須賀川市」×「M78星雲 光の国」姉妹都市提携　年表～姉妹都市提携からの須賀川市とウルトラマンの歩み～	http://m78-sukagawa.jp/history/	③	2018年8月19日
243	すかがわ市M78光の町　光の町とは	http://m78-sukagawa.jp/aboutus/	③	2018年8月19日
244	すかがわ市M78光の町　住民登録（無料）	http://m78-sukagawa.jp/residents/	③	2018年8月19日
245	すかがわ市M78光の町　すかがわ市M78光の町サポーター	http://m78-sukagawa.jp/person/	③	2018年8月19日
246	すかがわ市M78光の町　姉妹都市提携2周年記念独占インタビュー 須賀川市 橋本克也市長（株）円谷プロダクション 大岡新一社長	http://m78-sukagawa.jp/interview/	③	2018年8月19日
247	すかがわ市M78光の町　町長メッセージ　ウルトラの父からごあいさつ	http://m78-sukagawa.jp/message/	③	2018年8月19日
248	すかがわ市M78光の町　須賀川市MAP	http://m78-sukagawa.jp/map/	③	2018年8月19日
249	すかがわ市M78光の町　観光名所	http://m78-sukagawa.jp/spot/	③	2018年8月19日
250	すかがわ市M78光の町　アクセス・宿泊施設	http://m78-sukagawa.jp/transit/	③	2018年8月19日
251	すかがわ市M78光の町　須賀川市PV	http://m78-sukagawa.jp/pv/	③	2018年8月19日

252	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201501#Feb	③	2018年8月19日
253	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201502	③	2018年8月19日
254	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201503	③	2018年8月19日
255	須賀川市のイベント　モニュメント除幕式	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00046	③	2018年8月19日
256	須賀川市のイベント　ウルトラマン空港フェスタ2015	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00049	③	2018年8月19日
257	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201504	③	2018年8月19日
258	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00045	③	2018年8月19日
259	ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ2015	https://m-78.jp/ulfami/2015/	③	2018年8月19日
260	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201505	③	2018年8月19日
261	須賀川市のイベント　姉妹都市提携2周年記念「ウルトラヒーローショー」	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00050	③	2018年8月19日
262	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201506	③	2018年8月19日
263	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201507	③	2018年8月19日
264	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201508	③	2018年8月19日
265	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201509	③	2018年8月19日
266	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201510	③	2018年8月19日
267	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201511	③	2018年8月19日
268	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201512	③	2018年8月19日
269	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201601	③	2018年8月19日
270	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201602	③	2018年8月19日
271	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201603	③	2018年8月19日
272	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201604	③	2018年8月19日
273	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00066	③	2018年8月19日
274	ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ2016	https://m-78.jp/ulfami/2016/	③	2018年8月19日
275	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201605	③	2018年8月19日
276	須賀川市のイベント　姉妹都市提携3周年記念「ウルトラヒーローショー」	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00069	③	2018年8月19日
277	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201606	③	2018年8月19日
278	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201607	③	2018年8月19日
279	須賀川市のイベント　大冒険！ウルトラマンＡＲスタンプラリーｉｎふくしま	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00072	③	2018年8月19日
280	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201608	③	2018年8月19日
281	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201609	③	2018年8月19日
282	須賀川市のイベント　ウルトラヒーローワールドｉｎあぶくま洞	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00073	③	2018年8月19日
283	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201610	③	2018年8月19日
284	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201611	③	2018年8月19日
285	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201612	③	2018年8月19日
286	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201701	③	2018年8月19日
287	光の町のイベント　ウルトラヒーローズEXPO 2017	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00074	③	2018年8月19日
288	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201702	③	2018年8月19日
289	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201703	③	2018年8月19日
290	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201704	③	2018年8月19日
291	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ2017	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00083	③	2018年8月19日
292	ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ2017	https://m-78.jp/ulfami/2017/	③	2018年8月19日
293	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201705	③	2018年8月19日
294	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201706	③	2018年8月19日
295	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201707	③	2018年8月19日
296	須賀川市のイベント　ウルトラマンARスタンプラリーin福島	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00095	③	2018年8月19日
297	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201708	③	2018年8月19日
298	須賀川市のイベント「ウルトラマン 光の物語」住民票発行ブース	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00093	③	2018年8月19日
299	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201709	③	2018年8月19日
300	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201710	③	2018年8月19日
301	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201711	③	2018年8月19日
302	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201712	③	2018年8月19日
303	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201801	③	2018年8月19日

304	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201802	③	2018年8月19日
305	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201803	③	2018年8月19日
306	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201804	③	2018年8月19日
307	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合INすかがわ2018	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00097	③	2018年8月19日
308	ウルトラファミリー大集合INすかがわ2018	https://m-78.jp/ulfami/2018/	③	2018年8月19日
309	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201805	③	2018年8月19日
310	須賀川市のイベント　光の町姉妹都市提携記念イベント	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00104	③	2018年8月19日
311	須賀川市のイベント　ウルトラマンニュージェネレーションワールド	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00105	③	2018年8月19日
312	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201806	③	2018年8月19日
313	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201807	③	2018年8月19日
314	須賀川市のイベント　大冒険！ウルトラマンＡＲスタンプラリーinふくしま2018	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh00109	③	2018年8月19日
315	大冒険！ウルトラマンＡＲスタンプラリーinふくしま2018	http://ultrafukushima.com/	③	2018年8月19日
316	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201808	③	2018年8月19日
317	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201809	③	2018年8月19日
318	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201810	③	2018年8月19日
319	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201811	③	2018年8月19日
320	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201812	③	2018年8月19日
321	すかがわ市M78光の町　須賀川市のイベント	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_list.php?town_cat=0	③	2018年8月19日
322	すかがわ市M78光の町　子どもも大人もウルトラマンを楽しもう一日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c004/	③	2018年8月19日
323	すかがわ市M78光の町　ウルトラマンご当地商品をＧＥＴしよう！半日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c003/	③	2018年8月19日
324	すかがわ市M78光の町　須賀川オリジナル風景印をそろえてみよう！半日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c002/	③	2018年8月19日
325	すかがわ市M78光の町　円谷英二監督のふるさとを訪れる！半日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c001/	③	2018年8月19日
326	すかがわ市M78光の町　ウルトラヒーローがいっぱい！？ウルトラマン関連施設めぐり♪（中心地のみ）	http://m78-sukagawa.jp/course/b003/	③	2018年8月19日
327	すかがわ市M78光の町　ウルトラヒーローがいっぱい？！ウルトラマン関連施設めぐり♪	http://m78-sukagawa.jp/course/b002/	③	2018年8月19日
328	すかがわ市M78光の町　ウルトラヒーロー風景印	http://m78-sukagawa.jp/postmark/	③	2018年8月19日
329	すかがわ市M78光の町　ウルトラマンフレーム切手		③	2018年8月19日
330	すかがわ市M78光の町　店舗情報	http://m78-sukagawa.jp/bussan/shop/	③	2018年8月19日
331	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋グッズご当地商品	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/goods-goods/	③	2018年8月19日
332	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋グッズご当地商品	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/goods-goods/page/2/	③	2018年8月19日
333	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋ご当地商品フード	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/	③	2018年8月19日
334	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋ご当地商品フード	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/goods-food/	③	2018年8月19日
335	「東京国際映画祭×円谷プロ創立50周年」スペシャルイベント開催！グリーンカーペットをウルトラ怪獣が大行進で大暴れ？！上映会＆トークショー、豪華ゲストによる「怪獣」シンポジウムなど	https://m-78.jp/news/n-2142/	①	2018年9月7日
336	ウルトラ怪獣がグリーンカーペットを大行進！「東京国際映画祭」が本日10/17(木)より開幕！10/18(金)『ウルトラマン』上映会＆トークショーのチケット残りわずか！	https://m-78.jp/news/n-2172/	①	2018年9月7日
337	地球外ゲストが国内外豪華ゲストと共にウォーキング！東京国際映画祭レッドカーペットにウルトラヒーローが大集結。『ウルトラセブン』上映＆トークイベントも決定！	https://m-78.jp/news/n-2731/	①	2018年9月7日
338	ウルトラヒーローが本日開幕の「第27回 東京国際映画祭」オープニング・レッドカーペットに大集結！HDリマスター2.0『ウルトラセブン』上映＆トークイベントを10/26(日)に実施！	https://m-78.jp/news/n-2757/	①	2018年9月7日
339	ぐりんぱ　M78ウルトラマンパーク	http://www.grinpa.com/m78/index.html	②	2018年9月7日
340	アトラクション一覧	http://www.grinpa.com/m78/attraction/index.html	②	2018年9月7日
341	ULTRAMAN★STAR SwingeR	http://www.grinpa.com/m78/attraction/starswinger.html	②	2018年9月7日
342	ウルトラセブンコースターマッハ7	http://www.grinpa.com/m78/attraction/mach.html	②	2018年9月7日
343	ウルトラマン・グランプリ	http://www.grinpa.com/m78/attraction/grand.html	②	2018年9月7日
344	フライングウルトラマン☆シュワッチ	http://www.grinpa.com/m78/attraction/flying.html	②	2018年9月7日
345	フワフワウルトラマン	http://www.grinpa.com/m78/attraction/fuwafuwaultraman.html	②	2018年9月7日
346	M78プラネットダイニング	http://www.grinpa.com/m78/restaurant.html	②	2018年9月7日
347	SHOT M78	http://www.grinpa.com/m78/shop.html	②	2018年9月7日
348	園内マップ	http://www.grinpa.com/map/	②	2018年9月7日
349	ウルトラマン常設展示　in 福島空港	http://www.fks-ab.co.jp/guide/ultraman.html	②	2018年9月13日
350	ウルトラマン商店街公式ホームページ	http://ultraman-shotengai.com/	③	2018年9月13日
351	そしがやどっとこむ　ウルトラマン商店街スタンプ　Ultraman Syoutengai Stamp	http://www.soshigaya.com/stamp/index.html	③	2018年9月13日
352	そしがやみなみ商店街　ウルトラマン商店街スタンプ加盟店	http://soshigaya-minami.jp/shop/stamp/	③	2018年9月13日
353	そしがやみなみ商店街　ウルトラマン商店街スタンプ加盟店	http://soshigaya-minami.jp/shop/stamp/page/2/	③	2018年9月13日

354	祖師谷昇進会商店街　うるしょう.com	http://www.ulsho.com/	③	2018年9月13日
355	ウルトラマン商店街ウルトラマンスタンプ加盟店ＭＡＰ	http://www.ulsho.com/ticket_handling_shop.html	③	2018年9月13日
356	ウルトラマン商店街とは・・・	http://www.ulsho.com/ultraman-shopping-district.html	③	2018年9月13日
357	祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…	http://www.ulsho.com/street-light-story-top.html	③	2018年9月13日
358	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅰ 祖師谷昇進会(うるしょう)街路灯建替え計画…	http://www.ulsho.com/street-light-story.html	③	2018年9月13日
359	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅱ 祖師谷昇進会(うるしょう)街路灯のひみつ？？	http://www.ulsho.com/street-light-secret.html	③	2018年9月13日
360	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅲ 祖師谷昇進会街路灯・ホームページ完成記念イベント	http://www.ulsho.com/event_cherryfestival2010.html	③	2018年9月13日
361	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅳ ウルトラサマーセール2010	http://www.ulsho.com/event_ultrasummerlsale2010.html	③	2018年9月13日
362	face book　The Official Power Morphicon Convention	https://www.facebook.com/The-Official-Power-Morphicon-Convention-226350690636/	②	2018年9月17日
363	Power Morphicon 2018	http://officialpowermorphicon.com/	②	2018年9月17日
364	Legacy Lord Drakkon Figure	http://officialpowermorphicon.com/power-morphicon-exclusive-lord-drakkon/	②	2018年9月17日
365	Guests	http://officialpowermorphicon.com/guests/	②	2018年9月17日
366	Friday Panels	http://officialpowermorphicon.com/friday-panels/	②	2018年9月17日
367	Saturday Panels	http://officialpowermorphicon.com/saturday-panels/	②	2018年9月17日
368	Sunday Panels	http://officialpowermorphicon.com/sunday-panels/	②	2018年9月17日
369	Power Morphicon Express Is Hitting the Road	http://officialpowermorphicon.com/	②	2018年9月17日
370	青木U平のマンガ「酩酊！怪獣酒場」記事一覧ページ	http://r.gnavi.co.jp/g-interview/archive/category/%E5%80%AA%E7%8D%A3%E9%85%92%E5%A0%B4	②	2018年9月21日
371	『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』が10/26(木)～11/3(金)「第30回東京国際映画祭」に出展！	https://m-78.jp/news/post-4587/	①	2018年9月22日
372	ホテルグレイスリー新宿　ゴジラルーム現る	https://gracery.com/shinjuku/page/godzilla.html	②	2018年10月26日
373	これで最終回 ウルトラブ フォーエバー 2.14 ウルトラの母が緊急来福！ JR博多シティバレンタイン企画でウルトラの母からバレンタインチョコがもらえる！	https://m-78.jp/news/n-3591/	①	2018年10月27日
374	愛は宇宙を救う。アミュプラザ博多"史上最大のモデル"ウルトラの母のフィナーレはウルトラブなバレンタイン！	https://m-78.jp/news/n-3565/	①	2018年10月27日
375	パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト	http://special.pacificleague.jp/oyako2014/	②	2018年11月20日
376	パ・リーグ6球団共同企画 パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト	http://special.pacificleague.jp/oyako2015/	②	2018年11月20日
377	パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト	http://special.pacificleague.jp/oyako2016/	②	2018年11月20日
378	(一部修正)"川崎競馬×帰ってきた怪獣酒場" 11/20(金)ウルトラ怪獣たちが競馬場をジャック!?『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』開催！	https://m-78.jp/news/n-3433/	①	2018年11月20日
379	7/22(日)川崎競馬場にて『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』を開催！	https://m-78.jp/news/post-4859/	①	2018年11月20日
380	川崎競馬×怪獣酒場コラボレーションレース第二弾！7/28(木)「怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！ Vol.2」詳細発表！	https://m-78.jp/news/n-4011/	①	2018年11月20日
381	ついにウルトラ怪獣もレースに出走!? 10/9(月・祝)川崎競馬×怪獣酒場『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』vol.3開催！開催記念スタンプラリー＆勝ち宇宙人・怪獣投票キャンペーンスタート！	https://m-78.jp/news/post-4516/	①	2018年11月20日
382	特別デザインの飛行機「ウルトラマンJET」が登場！ 日本トランスオーシャン航空にて10/30(火)運航開始	https://m-78.jp/news/post-4938/	①	2018年11月22日
383	史上最大のモデル「ウルトラの母」誕生！ JR博多シティ「アミュプラザ博多」リニューアルオープンでウルトラの母、バルタン星人、ダダ、ピグモンが初のファッションモデルに挑戦！	https://m-78.jp/news/n-2366/	①	2018年11月22日
384	史上最大のファッションモデル「ウルトラの母」たちがついにファッションショーでランウェイデビュー!!	https://m-78.jp/news/n-2431/	①	2018年11月22日
385	史上最大のモデル「ウルトラの母」が初水着を披露！アミュプラザ博多&鹿児島の夏バーゲンCM動画に登場！	https://m-78.jp/news/n-2565/	①	2018年11月22日
386	ウルトラの母が見返り美人に！「アミュプラザ」初売り・バーゲン広告にウルトラの母とM1号が登場！！	https://m-78.jp/news/n-2875/	①	2018年11月22日
387	ウルトラの母がルージュの伝言…母よ、どこへ!?「アミュプラザ博多」バーゲン広告でラストメッセージ!?	https://m-78.jp/news/n-2890/	①	2018年11月22日
388	ウルトラの母がパリジェンヌに！「史上最大のメンズモデル」も初登場!? ウルトラの母「アミュプラザ博多」アニバーサリー広告でパリに登場！	https://m-78.jp/news/n-2946/	①	2018年11月22日
389	ウルトラの母がミニスカート・ドレスで！ピグモンはマリンルックに挑戦！「ＪＲ博多シティ」サマー広告で夏らしいトレンドファッションに!!	https://m-78.jp/news/n-3097/	①	2018年11月22日
390	ウルトラの母が夏のヴァカンス！ 父のバックハグに思わずドキッ。「アミュプラザ博多・アミュエスト」バーゲン広告にウルトラモデルと怪獣たちが登場！	https://m-78.jp/news/n-3164/	①	2018年11月22日
391	ウルトラの母がクラシカルなスーツ姿に！ピグモンはレトロスタイルでネイルにも挑戦！？「ＪＲ博多シティ」オータム広告で秋のトレンドファッションを披露！	https://m-78.jp/news/n-3276/	①	2018年11月22日
392	ＪＲ博多シティクリスマス広告でウルトラの母がキュートなサンタクロースに！	https://m-78.jp/news/n-3435/	①	2018年11月22日
393	ウルトラの母が自由の女神に!?「アミュプラザ博多・アミュエスト」初売り広告でウルトラの父との華麗なダンスを披露！	https://m-78.jp/news/n-3519/	①	2018年11月22日
394	すかがわ市M78光の町	http://m78-sukagawa.jp/	③	2019年1月12日
395	円谷ステーション	https://m-78.jp/	①	2019年1月12日
396	怪獣酒場	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/	②	2019年1月12日
397	円谷プロダクションが世界中のファンに贈るファンイベント「TSUBURAYA CONVENTION 2019」が2019年末開催決定！	https://m-78.jp/news/post-4965/	①	2019年5月22日
398	ウルトラハワイ（@ultrahawaii）	https://www.facebook.com/ultrahawaii/?hc_ref=ARTRUKev_ROdagb0CuUfXqOiJmvFXJJ63mbaqNceFIdNSJ33lvZA2DxUVkEdnRXt2U	③	2019年6月11日
399	石ノ森萬画館　マンガンタンライナー各車両のご紹介	http://www.mangattan.jp/manga/liner/	③	2019年8月5日
400	Power Morphicon 2020	https://officialpowermorphicon.com/	②	2019年8月5日

最後に、特撮ツーリズムが開催された様子を、DVD や Blu-ray 等の媒体メディアに記録した「3.映像ソフト」である。本研究の調査対象となる映像ソフトとは、「NDL ONLINE 国立国会図書館」[9] にて検索が可能である、特撮映像作品のイベントで開催されたショーを DVD（あるいは Blu-ray）本編や特典映像として記録した映像ソフトがこれに該当する。

例えば円谷プロは、自社が企画制作を務めたイベントである「ウルトラマンフェスティバル」の会場内で開催された、ショーや展示の様子等を映像で収録した DVD 販売を、2003 年より毎年行なっている。これらの DVD は、「ウルトラマンフェスティバル」会場内で開催された実演ショーである「ウルトラライブステージ」を全編収録したものである。また本 DVD に収録されている映像は、展示物や物販等、イベント会場内の様子だけでなく、会場内で使用された円谷プロ作品のプロモーション映像も併せて収録されているものもある（表－5 の 1 から 18）。

円谷プロは「ウルトラマンフェスティバル」以外でも、ウルトラシリーズを題材としたイベントの様子を撮影した映像ソフト販売も行なっている他、東映も自社が制作した特撮ヒーロー番組（仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズ）を収録した DVD あるいは Blu-ray の特典映像として、各作品を題材とした着ぐるみの実演ショーを収録している映像ソフトが多数存在する（表－12 の 60、84、85、87 から 91、94、97、100 等）。これら映像ソフトは、特撮ツーリズム開催地の様子を収録した記録媒体として資料的価値が高いと考え、本研究の収集・分析対象として活用した。

「3.映像ソフト」を収集する際は下記 3 つの基準を設けた。

まず「①特撮映像作品のイベント開催の模様（キャラクターショー等）が映像ソフトの本編や特典映像に収録されているもの」という基準である。

これは、先述した「ウルトラマンフェスティバル」のように、特撮ツーリズムで開催された実演ショーや展示の様子を収録した映像ソフトが該当する。

次に「②特撮ツーリズムのイベント開催地が特撮映像作品のロケ地として使用されているもの」である。これは特撮映像作品本編の撮影が、特撮ツーリズム開催地にて行なわれた作品を収録した映像ソフトがこれに該当する。

具体的な事例には、東京都世田谷区玉川に存在していた遊園地である「二子玉川園」が挙げられる。「二子玉川園」は、1971 年よりウルトラシリーズや『ミラーマン（1971）』等の円谷プロが制作した特撮映像作品の実演ショーや展示を常設的に行なっていたと共に、円谷プロ作品（『ジャンボーグ A（1973）』（註 3）や『ウルトラマンレオ（1974）』（註 4））のロケ地としても活用されていた。二子玉川園で撮影されたこれら 2 作品は、後に DVD ソフトとして販売され、現在も視聴が可能である（表－12 の 32、34）。

最後に、「③特撮映像作品に登場するキャラクターが、特定の観光対象地を紹介しているもの」という基準である。これは、特撮映像作品に登場するキャラクターが国内の各観光対象地域を巡り、その地域の魅力を紹介するという内容を収録したものがあてはまる。

代表的なものには、コンテンツリーグより発売された DVD「ウルトラ怪獣散歩　空想特撮散歩シリーズ」が挙げられる。本 DVD は、2014 年よりフジテレビ ONE にて放映されたテレビ番組「ウルトラ怪獣散歩　空想特撮散歩シリーズ」を各話収録したものである（表－12 の 48 から 55）。

当番組は、特撮映像作品とはゆかりのない観光地（註 5）を、着ぐるみのウルトラ怪獣達が巡る「町ぶらり番組」として制作された番組である（図－17）。よって、当番組ではウ

ルトラ怪獣が地元の名産品の紹介や食レポ等も行う等、観光地の紹介に重きが置かれていることが特徴のひとつである[133)]。

また、『ウルトラ怪獣散歩』以外にも、怪獣の着ぐるみが観光地を紹介する内容で制作された映像は、これまで円谷プロによって度々制作されており、これらの映像は特撮映像作品の DVD や Blu-ray ソフトの特典映像として収録されている（表－12 の 29、30）。

本論では、これら 3 つの基準を 1 つでも満たした映像ソフトを調査対象とした。調査対象となった映像ソフト全 106 タイトルの該当基準は下記表－12 のとおりである。

表－12. 特撮ツーリズム映像ソフト（全 106 タイトル）

No.	映像ソフト タイトル	収録内容タイトル	映像ソフト販売元	調査基準
1	DVD「ウルトラマンフェスティバル ウルトラライブステージ6」	「真夏のウルトラ大作戦～未来へのモードチェンジ～」	TBS	①
2	DVD「ウルトラマンフェスティバル2004 ウルトラライブステージ7」	「激闘！第一の使者～ウルトラマンノア光誕～」	株式会社円谷プロダクション	①
3	DVD「ウルトラマンフェスティバル2005 ウルトラライブステージ8」	「『刻を継ぐ勇者』～ウルトラマンマックス登場～」	株式会社円谷プロダクション	①
		「トウマ・カイト隊員スペシャル映像」		①
4	DVD「ウルトラマンフェスティバル2006 ウルトラライブステージ9」	「ウルトラマン40th 集え 光の戦士たち！！」	株式会社円谷プロダクション	①
		「マグ美（マグマ星人）のウルフェス会場案内」		①
5	DVD「ウルトラマンフェスティバル2007 ウルトラライブステージ10」	「ウルトラセブン伝説～漆黒の悪魔VS光の戦士達～」	株式会社円谷プロダクション	①
		「ウルトラマンフェスティバル'95 ライブステージ1」		①
6	DVD「ウルトラマンフェスティバル2008 ウルトラライブステージ11」	「宇宙最大のピンチ！倒せ！悪魔の鎧」	株式会社円谷プロダクション	①
		「大公開！ウルトラマンフェスティバル2008！」		①
7	DVD「ウルトラマンフェスティバル2009 ウルトラライブステージ12」	「翔べ！僕らのキングジョー」	株式会社円谷プロダクション	①
		「怪獣人形劇 ウルトラP」		①
		「オリジナル・ロボット怪獣公募デザイン大賞受賞者表彰式」		①
8	DVD「ウルトラマンフェスティバル2010 ウルトラライブステージ13」	「親子の絆！灼熱のコンビネーション！！」	株式会社円谷プロダクション	①
		ウルトラライブステージ第二部「守れ！光の国～闇の戦士 大襲来！～」		①
		「ウルトラライブステージ ダイジェスト」		①
9	DVD「ウルトラマンフェスティバル2011 ウルトラライブステージ14」	「来たぞ！我らのウルトラマン！」	株式会社円谷プロダクション	①
		ウルトラライブステージ第二部「伝説の力！ウルトラパワー炸裂！」		①
		バトルステージ「すべてのひとたちのために」		①
10	DVD「ウルトラマンフェスティバル2012 ウルトラライブステージ15」	「ウルトラセブン 進め銀河の果てまでも！」	株式会社円谷プロダクション	①
		ウルトラライブステージ第二部「進め！ウルトラマンゼロ 輝け！希望の光」		①
		「ウルトラマンゼロ THE LIVE 超決戦！ウルトラバトルステージ いつかみた未来」		①
11	DVD「ウルトラマンフェスティバル2012 第2部 ウルトラマンゼロ切り開け俺たちの明日」	「ウルトラマンフェスティバル2012 第2部 ウルトラマンゼロ切り開け俺たちの明日」	株式会社TCエンタテインメント	①
12	DVD「ウルトラマンフェスティバル2013 ウルトラライブステージ16」	第1部「零地点突破！突き進め銀河へ！！」	株式会社円谷プロダクション	①
13	DVD「ウルトラマンフェスティバル2013 第2部「新たなるウルトラマン！その名はギンガ！！」	第2部「新たなるウルトラマン！その名はギンガ！！」	株式会社TCエンタテインメント	①
14	DVD「ウルトラマンフェスティバル2014 ウルトラライブステージ17」	第1部「新たなる銀河へ！～明日へのビクトリー～」	株式会社円谷プロダクション	①
15	DVD「ウルトラマンフェスティバル2014 第2部「つぎの時代へ ウルトラの星かがやくとき」	第2部「つぎの時代へ ウルトラの星かがやくとき」	株式会社TCエンタテインメント	①
16	DVD「ウルトラマンフェスティバル2015」スペシャルプライスセット	第1部「X ～a new possibility（新たなる可能性） ～」	株式会社TCエンタテインメント	①
		第2部「絆の鎧 x 信じる力！」		①
17	DVD「ウルトラマンフェスティバル2016」スペシャルプライスセット	第1部「新たなる光 バルタン星人の襲来！」	株式会社TCエンタテインメント	①
		第2部「ウルトラマン episode-Z ～脅威のゼットン軍団～」		①
18	DVD「ウルトラマンフェスティバル2017」スペシャルプライスセット	第1部「運命を切り開け˝光と闇の戦い˝」	株式会社TCエンタテインメント	①
		第2部「僕たちの翼! ウルトラホーク発進!」		①
19	DVD「ウルトラマン誕生40年の軌跡 ウルトラマン伝説展」	「ウルトラマン誕生40年の軌跡 ウルトラマン伝説展」	株式会社円谷プロダクション	①
20	DVD「ウルトラマンファンタジックライブ2007」	「ウルトラマンファンタジックライブ2007」	株式会社コロムビアミュージックエンタテインメント	①
21	DVD「ウルトラマンと科学のふしぎ サイエンスバトルステージ」	「ウルトラマンと科学のふしぎ サイエンスバトルステージ」	株式会社TCエンタテインメント	①
22	DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラマンバトルステージ2013 時を越える勇者」	「ウルトラマンバトルステージ2013 時を越える勇者」	株式会社TCエンタテインメント	①
23	DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラマンバトルステージ2014 あしたのきみへ」	「ウルトラマンバトルステージ2014 あしたのきみへ」	株式会社TCエンタテインメント	①
24	DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラマンバトルステージ2015 あたらしい未来 きりひらく勇気」	「ウルトラマンバトルステージ2015 あたらしい未来 きりひらく勇気」	株式会社TCエンタテインメント	①
25	DVD「ウルトラマン THE LIVE ウルトラヒーローズEXPO 2016バトルステージ「明日を切り開く力」	バトルステージ「明日を切り開く力」	株式会社TCエンタテインメント	①
26	DVD「ウルトラマンTHE LIVEウルトラヒーローズEXPO 2017 バトルステージ「決戦! 光を超えて闇を討つ」」	バトルステージ「決戦! 光を超えて闇を討つ」	株式会社TCエンタテインメント	①
27	DVD「ウルトラヒーローズ THE LIVEアクロバトルクロニクル2015」	ウルトラヒーローズ THE LIVEアクロバトルクロニクル	株式会社TCエンタテインメント	①
28	DVD「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトル クロニクル2016 ˝心の絆˝」	ウルトラヒーローズ THE LIVEアクロバトルクロニクル 2016	株式会社TCエンタテインメント	①
29	総天然色ウルトラQ Blu-ray BOX Ⅱ	Ⅰ.「総天然色ウルトラQ」の歩み（45周年プロモーションダイジェスト）	株式会社バンダイビジュアル	①
		Ⅲ.「ぶらりカネゴンの旅」		③
30	快獣ブースカ COMPLETR DVD-BOX	「ぶらりブースカの旅 ウルトラマンランド編」	株式会社バンダイビジュアル	①,②,③
		「ぶらりブースカの旅 巣鴨地蔵通り商店街 前篇」		③
		「ぶらりブースカの旅 巣鴨地蔵通り商店街 後篇」		③
31	DVD「ウルトラマンタロウ」vol.4	カラコレ版円谷プロCM 二子玉川園のイベント告知CM	株式会社デジタルウルトラプロジェクト	①
32	DVD「ウルトラマンレオ」vol.3	ウルトラマンレオ第9話「宇宙にかける友情の橋」	株式会社デジタルウルトラプロジェクト	①②
33	DVD「ミラーマン vol.10」	ミラーファイト2012第1話「ウルトラマンランドの決斗」	東映株式会社、東映ビデオ株式会社	①②
		ミラーファイト2012 番外篇		①②
34	DVD「ジャンボーグA」vol.8	ジャンボーグA第37話「出現！恐怖の怪鳥エレキバード」	東映株式会社、東映ビデオ株式会社	①②
35	DVD「ジャンボーグA」vol.10	「ウルティメイトパトロール～超時空的握手会～」	東映株式会社、東映ビデオ株式会社	①
		「TAC隊員奇跡の大集結！ウルトラマンA 40周年記念」		①
36	DVD「ウルトラマンマックス」vol.3	Making#2〈飛翔せよ！チームDASH〉	株式会社バンダイビジュアル	①
37	DVD「ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟」メモリアルボックス	ウルトラマン☆トレイン	株式会社バンダイビジュアル	①
38	DVD「ウルトラギャラクシー大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY」vol.1	メイキングⅠ新たなる旅立ち編	株式会社バンダイビジュアル	①
39	ウルトラマンサーガBlu-rayメモリアルボックス	イベント・完成披露・公開初日映像	株式会社バンダイビジュアル	①
40	ウルトラマン Blu-rayBOXⅠ	ウルトラマン誕生 ウルトラマン前夜祭	株式会社バンダイビジュアル	①
41	ウルトラマン Blu-rayBOXⅢ	「甦る銀色の巨人－半世紀を経て地球に舞い降りたウルトラマン-」	株式会社バンダイビジュアル	①
42	ウルトラセブン Blu-rayBOXⅠ	ウルトラマン創世紀展 森次晃嗣トークショー in浜松市美術館	株式会社バンダイビジュアル	①
43	ウルトラセブン Blu-rayBOXⅡ	東京国際映画祭『ウルトラセブン』特別上映会トークショー	株式会社バンダイビジュアル	①
44	ウルトラマンガイア Complete Blu-ray BOX	アスカ＆我夢・藤宮 スペシャルトークショー ダイジェスト	株式会社バンダイビジュアル	①
45	ウルトラマンギンガS Blu-rayBOXⅠ	メイキング第1話～第8話	株式会社バンダイビジュアル	②
46	ウルトラマンX Blu-rayBOXⅡ	6/18製作発表会・ダイジェスト映像！	株式会社バンダイビジュアル	②
47	ウルトラマンオーブ Blu-rayBOXⅠ	『ウルトラマンオーブ』in東京おもちゃショー製作発表・ロングバージョン！	株式会社バンダイビジュアル	②

48	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 東京下町ぶらり作戦」	「東京下町ぶらり作戦」	CONTENTS LEAGUE	③
		柴又 ハイカラ横丁(OA未公開)		③
		両国国技館通り(OA未公開)		③
		「ウルトラマンで科学する！」イベントレポート		①
49	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 鎌倉/江の島/京都編」	第1話「狙われた鎌倉」	CONTENTS LEAGUE	③
		第2話「2015年の挑戦～江の島～」		③
		第3話「ウルトラ怪獣散歩 西へ 京都・前編」		③
		第4話「ウルトラ怪獣散歩 西へ 京都・後編」		③
50	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 大阪/お台場/尾道・宮島編」	第5話「ウルトラ怪獣散歩 西へ 大阪編」	CONTENTS LEAGUE	③
		第6話「湾岸警備命令」		③
		第7話「尾道頂きます！」		③
		第8話「安芸の宮島頂きます！」		③
51	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 横浜/新潟編」	第9話「大爆竹五秒前～横浜中華街～」	CONTENTS LEAGUE	③
		第10話「盗まれたミナト・ミライ」		③
		第11話「ウルトラ怪獣散歩餅つき大作戦！～新潟～」		③
		第12話「さらばウルトラ怪獣散歩～新潟～」		③
52	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 伊豆/須賀川・会津若松編」	第13話「恐怖の伊豆スカイライン87」	CONTENTS LEAGUE	③
		第14話「逆転！ズーィ只今参上～伊豆～」		③
		第15話「ウルトラ怪獣散歩のおやじ～福島・須賀川～」		③
		第16話「会津総進撃」		③
53	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 上野/深川・月島/長崎編」	第17話「パンダを返して！～上野～」	CONTENTS LEAGUE	③
		第18話「ウルトラ怪獣散歩 月島に死す」		③
		第19話「死刑！カステラ5兄弟～長崎～」		③
		第20話「風力エネルギー源Xを倒せ～長崎～」		③
54	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 千葉/巣鴨・蒲田 編」	第21話「マックス号房総せよ」	CONTENTS LEAGUE	③
		第22話「日本名作民話シリーズ！うまいぞ！桃太郎！～千葉～」		③
		第23話「禁じられた赤パンツ ～巣鴨～」		③
		第24話「史上最大の羽根つき餃子 ～蒲田～」		③
55	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 都電荒川線沿線/福岡/佐賀 編」	第25話「プロジェクト・プラーリ途中下車"都電荒川線"」	CONTENTS LEAGUE	③
		第26話「都電兄弟 荒川兄弟 勝利の時」		③
		第27話「ウルトラ怪獣散歩 博多へ」		③
		第28話「夏の怪奇シリーズ まぼろしの佐賀女」		③
56	DVD「激闘バトル！ウルトラマンタカミー」	タカミーVSウルトラヒーロー(ライブ共演映像)	ユニバーサルミュージック合同会社	①
57	Blu-ray「三大怪獣地球最大の決戦【60周年記念版】」	メイキング8mmフィルム	東宝株式会社	①
58	Blu-ray「GODZILLA ゴジラ[2014] 完全数量限定生産5枚組」	怪獣プラネットゴジラ	東宝株式会社	①
59	Blu-ray「シン・ゴジラ Blu-ray特別版4K Ultra HD Blu-ray同梱4枚組」	「シン・ゴジラジェット」お披露目式	東宝株式会社	①
		ワールドプレミア レッドカーペットセレモニー		①
		公開直前イベント in 大阪		①
		初日舞台挨拶		①
		発生可能上映		①
		女性限定鑑賞会議		①
		全国一斉！発生可能上映		①
60	「仮面ライダー Blu-ray BOX vol.4」	仮面ライダー誕生20周年 東映テレビヒーロー・フィルム・フェスティバル'91 朝までヒーロー	東映株式会社	①
61	DVD「仮面ライダーSPECIAL」	「全員集合！7人の仮面ライダー！！」	東映株式会社	①②
62	仮面ライダー THE FIRST&THE NEXT Blu-ray	公開初日舞台挨拶 東京	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶 関西		①
		第18回東京国際映画祭		①
		ベイコム映画試写会		①
		HMVイベント		①
		スペシャルナイト(新宿バルト9 2007.10.19)		①
		ISSA×「仮面ライダーTHE NEXT」インストアイイベント(タワーレコード渋谷店 2007.10.21)		①
		初日舞台挨拶 関東(2007.10.27)		①
		初日舞台挨拶 関西(2007.11. 3～4)		①
		公開記念イベント(新宿ロフトプラスワン 2007.10.29)		①
63	DVD「劇場版仮面ライダーブレイド MISSING ACE」	初日舞台挨拶(丸の内)	東映株式会社	①
64	DVD「劇場版仮面ライダー電王&キバ クライマックス刑事」	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
65	DVD「劇場版仮面ライダーキバ 魔界城の王」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
66	Blu-ray「さらば仮面ライダー電王 ファイナル・カウントダウン」コレクターズパック	「特別先行上映」舞台挨拶 一夜限定運行	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶(T・ジョイ大泉/新宿バルト9)		①
67	Blu-ray「劇場版超仮面ライダー電王＆ディケイド 鬼ヶ島の戦艦」コレクターズパック	超仮面ライダー電王スペシャルステージ 2009年5月3日キャストトークショー	東映株式会社	①
		超仮面ライダー電王スペシャルステージ 2009年5月4日キャストトークショー イマジンLIVE♪「超CLIMAX JUMP」		①
		4.23完成披露試写会 舞台挨拶		①
		5.1公開初日 舞台挨拶		①
		5.2 公開2日目 舞台挨拶		①
68	ｰray「劇場版仮面ライダーディケイド オールライダー対大ショッカー」コレクターズパッ	大ショッカー党結党集会	東映株式会社	①
		完成披露試写会舞台挨拶		①
		公開初日舞台挨拶		①
69	Blu-ray「仮面ライダー仮面ライダー仮面ライダー超電王3」コレクターズボックス	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		EPISODE RED公開初日舞台挨拶		①
		EPISODE BLUE公開初日舞台挨拶		①
		EPISODE YELLOW公開初日舞台挨拶		①
		メトロデンライナー出発式		①

70	Blu-ray「劇場版仮面ライダーオーズ 将軍と21のコアメダル」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
71	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー オーズ&ダブル feat.スカル MOVIE大合戦CORE」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
72	Blu-ray「仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大戦」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
73	Blu-ray「劇場版仮面ライダーフォーゼ みんなで宇宙キターッ！」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
		大ヒット御礼舞台挨拶		①
74	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー ウィザード&フォーゼ MOVIE大戦アルティメイタム」パーフェクトパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
75	Blu-ray「劇場版 仮面ライダーウィザード イン マジックランド」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
76	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー ウィザード&鎧武 天下分け目のMOVIE大合戦」コレクターズパック	出陣式	東映株式会社	①
		完成披露上映会舞台挨拶		①
		公開初日舞台挨拶		①
77	Blu-ray「平成ライダー対昭和ライダー仮面ライダー大戦featスーパー戦隊」コレクターズパック	完成披露スペシャルイベント	東映株式会社	①
		完成披露試写会舞台挨拶		①
		公開初日舞台挨拶		①
78	Blu-ray「劇場版 仮面ライダー鎧武 サッカー大決戦! 黄金の果実争奪杯！」コレクターズパック	完成披露記者会見	東映株式会社	①
		完成披露プレミア上映会舞台挨拶		①
		公開初日舞台挨拶		①
79	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー ドライブ&鎧武 MOVIE大戦フルスロットル」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
80	Blu-ray「スーパーヒーロー大戦GP 仮面ライダー3号」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
81	Blu-ray「鎧武/ガイム外伝 仮面ライダー斬月/仮面ライダーバロン」ロックシード版	上映イベント舞台挨拶	東映株式会社	①
82	Blu-ray「仮面ライダー平成ジェネレーションズ Dr.パックマン対エグゼイド&ゴースト with レジェンドライダー」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
		大ヒット御礼舞台挨拶		①
83	Blu-ray「仮面ライダー×スーパー戦隊 超スーパーヒーロー大戦」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
84	DVD「爆竜戦隊アバレンジャー」vol.1	特別プレミア発表会	東映株式会社	①
85	特捜戦隊デカレンジャーコンプリートBlu-ray1	緊急プレミア発表会 特捜戦隊デカレンジャー出動！	東映株式会社	①
86	Blu-ray「特捜戦隊デカレンジャー 10YEARS AFTER」スペシャル版	製作記念舞台挨拶「魔法戦隊マジレンジャーVSデカレンジャー」上映会	東映株式会社	①
87	DVD「魔法戦隊マジレンジャー」vol.1	特別プレミア発表会 マジ誕生！魔法戦隊マジレンジャー	東映株式会社	①
88	DVD「轟轟戦隊ボウケンジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
89	侍戦隊シンケンジャーコンプリートBlu-ray1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
90	DVD「天装戦隊ゴセイジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
91	Blu-ray「海賊戦隊ゴーカイジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
92	Blu-ray「劇場版海賊戦隊ゴーカイジャーTHE MOVIE 空飛ぶ幽霊船」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開2日目舞台挨拶		①
		「宇宙帝国ザンギャックナイト」		①
		「海賊戦隊ゴーカイジャーナイト」		①
93	Blu-ray「劇場版海賊戦隊ゴーカイジャーVS宇宙刑事ギャバン THE MOVIE」コレクターズパック	完成披露試写会プレイベント	東映株式会社	①
		完成披露試写会舞台挨拶		①
		大葉健二VS串田アキラトークイベント		①
		公開初日舞台挨拶		①
94	Blu-ray「特命戦隊ゴーバスターズ」vol.1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
95	Blu-ray「劇場版特命戦隊ゴーバスターズ THE MOVIE 東京エネタワーを守れ！」コンプリートパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開2日目舞台挨拶		①
96	Blu-ray「劇場版特命戦隊ゴーバスターズVS海賊戦隊ゴーカイジャー THE MOVIE」コレクターズパック	完成披露試写会スペシャルイベント	東映株式会社	①
		完成披露試写会舞台挨拶		①
		公開初日舞台挨拶上映前		①
		公開初日舞台挨拶上映後		①
97	Blu-ray「獣電戦隊キョウリュウジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
98	Blu-ray「劇場版獣電戦隊キョウリュウジャー ガブリンチョOFミュージック」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開2日目舞台挨拶		①
99	Blu-ray「獣電戦隊キョウリュウジャーVSゴーバスターズ 恐竜大決戦！ さらば永遠の友よ」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶上映前		①
		公開初日舞台挨拶上映後		①
100	Blu-ray「烈車戦隊トッキュウジャー」VOL.1	新番組特別プレミア発表会	東映株式会社	①
		ドキュメント オブ プレミア発表会		②

101	Blu-ray「烈車戦隊トッキュウジャー THE MOVIE ギャラクシーラインSOS」コレクターズパック	完成披露プレミア上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開2日目舞台挨拶 上映前		①
		公開2日目舞台挨拶 上映後		①
		夏映画スペシャルイベント		①
102	Blu-ray「手裏剣戦隊ニンニンジャーVSトッキュウジャー THE MOVIE 忍者・イン・ワンダーランド」コレクターズパック	完成披露イベント	東映株式会社	①
		完成披露上映会舞台挨拶		①
		前夜祭舞台挨拶		①
103	Blu-ray「手裏剣戦隊ニンニンジャー THE MOVIE 恐竜殿さまアッパレ忍法帖!」コレクターズパック	完成披露スペシャルイベント	東映株式会社	①
		完成披露上映会舞台挨拶		①
		公開2日目舞台挨拶		①
104	Blu-ray「動物戦隊ジュウオウジャーVSニンニンジャー 未来からのメッセージfromスーパー戦隊」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	東映株式会社	①
		公開初日舞台挨拶		①
105	DVD「Mighty Morphin Power Rangers: The Complete Series」	Power Rangers Live: World Tour	Shout! Factory	①
106	DVD「Super Sentai Zyuranger」	"Power Progenitors:Super Sentai Zyuranger"Power Morphicon 2014 Panel	Shout! Factory	①

上述してきたとおり、「①資料調査」では「1 文献」、「2.web サイト」「3.映像ソフト」の 3 つのジャンルの調査資料を活用した。なぜ、「1 文献」や「3.映像ソフト」といった資料を「NDL ONLINE 国立国会図書館」[9)] から収集するのかについては、後述する 2 つの理由がある。

まず、「再現性を重視していること」が挙げられる。「NDL ONLINE 国立国会図書館」[9)] で検索できる資料を活用すれば、今後の他の研究者達が、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組を誘致資源とした「特撮ツーリズム」の調査を実施する際、同じ資料情報を共有することができる。よって、論文の再現性の実施が容易にできると考えた。

続いて、「信憑性が保証されていること」が挙げられる。「NDL ONLINE 国立国会図書館」[9)] で検索できる資料の多くは、特撮映像作品の制作側である、映像制作会社の許諾を得て、各メーカーから流通されている資料である。資料の信憑性を考慮し、今回は当サイトから資料の検索を行なった。

つまり、今回実践する「①資料調査」では、観光情報発信側の資料の収集に重きを置いている。しかし、特撮ツーリズムは現在も実施されている観光現象であり、資料調査だけでは、過去に開催された特撮ツーリズム、あるいは今後開催予定の未来の情報しか把握できない。また、資料調査だけでは、掲載・発信情報に限界があり、資料では把握できない情報を、開催地に実際に赴くことで獲得することが可能となる。そこで、現状での特撮ツーリズムの様子も調査するために、「①資料調査」と併せて「②現地調査」も実行した。

「②現地調査」は、2014 年 4 月 1 日から 2019 年 8 月 26 日までに国内外で開催されている全 177 の特撮ツーリズム開催地を調査対象に設定した。調査対象地となった全 177 の特撮イベント及び常設施設は表－13 のとおりである（註 6)。

表－13.特撮ツーリズム現地調査対象地（全 177 開催地）

No.	特撮ツーリズム 調査対象イベント及び施設	開催地及び所在地	開催期間及び開催日
1	円谷英二 特撮の軌跡展「ウルトラQ・ウルトラマン・ウルトラセブン」特撮の神様が遺した宝物	新宿高島屋11階催会場	2014年4月2日～4月14日
2	スペシャルイベント「毒蝮三太夫さん＆ひし美ゆり子さんトークショー」	新宿高島屋 ウェルカムゾーン2階 特設会場	2014年4月4日
3	東京おもちゃショー2014	東京国際展示場[東京ビックサイト] 西1－4ホール	2014年6月14日・6月15日
4	ウルトラマンタロウのサイン本お渡し＆握手会	文芸書林	2014年6月28日
5	怪獣絵師開田裕治と円谷特撮の世界	吉祥寺パルコ7階 特設会場	2014年7月3日～7月21日
6	G博 ゴジラ東京に現る	渋谷ヒカリエ9Fヒカリエホール ホールB	2014年7月20日～7月29日
7	ウルトラマンで科学する!-EXHIBITION ON ULTRAMAN-	松坂屋上野店 本館6階催事場	2014年7月23日～8月3日
8	ウルトラマンフェスティバル2014	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2014年7月25日～8月31日
9	ウルトラマンフェスティバル2014 レジェンド5光の国に大集結！！	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2014年7月30日
10	ウルトラマンフェスティバル2014 ウルトラヒロインとアフター6	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2014年8月5日
11	大ゴジラ特撮展 ゴジラ60年激闘伝説	サンシャインワールドインポートマートビル4F Aホール2・3	2014年8月2日～8月17日
12	「ウルトラハワイ」ツアー	米国ハワイ州オアフ島内各地	2014年8月23日～8月28日
13	ツーリズムEXPOジャパン	東京国際展示場[東京ビックサイト] 東展示棟1－6ホール	2014年9月27日・28日
14	TENQ×ウルトラマン企画展-宇宙怪獣から読み取るメッセージ	TENQ宇宙ミュージアム	2014年10月9日～2015年2月15日
15	ウルトラマンギンガワールド	東京ソラマチ5F スペース634	2014年10月3日～10月14日
16	ウルトラ秋の大作戦！～まるごと1日ウルトラマン～	東京ドームシティ ラクーアガーデンステージ	2014年10月11日
17	HD Remaster2.0『ウルトラセブン』～円谷特撮への誘い！～	TOHOシネマズ日本橋	2014年10月27日
18	ウルトラハワイファイナルツアー2014	米国ハワイ州オアフ島内各地	2014年12月18日～12月22日
19	お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！	東京ドームシティ プリズムホール	2014年12月26日～2015年1月7日
20	JR東日本 来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー	JR東日本各駅（全64駅）	2015年1月13日～2月27日
21	JR東日本 来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー オープニングセレモニー	秋葉原駅	2015年1月13日
22	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル	天王洲 銀河劇場	2015年3月25日～3月30日
23	第23弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	銀座8丁目 博品館劇場	2015年4月3日・4月4日・4月5日
24	ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ2015	須賀川市文化センター 大ホール	2015年4月11日・4月12日
25	スーパーフェスティバル68	科学技術館	2015年4月26日
26	東京おもちゃショー2015	東京国際展示場[東京ビックサイト] 西1－4ホール	2015年6月20日・6月21日
27	ウルトラマン商店街誕生10周年記念イベント	ウルトラマン商店街内	2015年7月5日
28	ウルトラマンフェスティバル2015	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年7月24日～8月30日
29	ウルトラマンフェスティバル2015 アスカ＆我夢・藤宮スペシャルトークショー	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月5日
30	ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2015･2016	神奈川県民ホール	2015年8月8日
31	ウルトラマンフェスティバル2015 杉浦太陽スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月8日
32	仮面ライダー×スーパー戦隊 Wヒーロー夏祭り2015	東京ドームシティ プリズムホール	2015年8月8日～8月23日
33	円谷プロダクションクリエイティブジャム50FINAL	Tokyo'sTokyo原宿店	2015年8月22日～8月30日
34	ボイジャーライブ inウルフェス2015	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月23日
35	ウルトラマンフェスティバル2015 特別イベント スペシャルレジェンドナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月28日
36	スーパーフェスティバル69	科学技術館	2015年9月27日
37	ウルトラマンXワールド IN東京ソラマチ	東京ソラマチ5F スペース634	2015年10月1日～10月12日
38	帰ってきたウルトラマンの世界	新宿高島屋11階催会場	2015年10月15日～10月20日
39	大黄金展	新宿高島屋11階催会場	2015年10月15日～10月20日
40	ウルトラマンシンフォニーコンサート2015	東京芸術劇場コンサートホール	2015年11月2日
41	第24弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	銀座8丁目 博品館劇場	2015年11月21日・11月22日・11月23日
42	ウルトラヒーローバトル劇場10周年特別企画 ナイス&ゼアスのトークバトル劇場！	銀座8丁目 博品館劇場	2015年11月22日
43	ウルトラヒーローズEXPO ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ	東京ドームシティ プリズムホール	2015年12月31日～2016年1月11日
44	スーパーフェスティバル70	科学技術館	2016年1月10日
45	JR東日本 帰って来たぞ！我らのウルトラマンスタンプラリー	JR東日本各駅（全65駅）	2016年1月12日～2月26日
46	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー シリーズ第5弾！激アツ！これぞラストニンジャの戦いだ！！	シアターGロッソ	2016年1月23日～3月6日までの土日祝日公演
47	スーパー戦隊シリーズ40作・新番組プレミア発表会 本能覚醒！動物戦隊ジュウオウジャー	東京ドームシティ プリズムホール	2016年1月23日・1月24日
48	ウルトラヒーローワールド in 浅草花やしき	浅草花やしき	2016年2月6日～2月29日
49	ウルトラマン 時を超える珠玉のストーリー展 ～未来へ繋ぐメッセージ～	放送ライブラリー イベントホール・映像ホール・情報サロン	2016年2月19日～4月3日
50	『劇場版ウルトラマンX』公開記念 ウルトラ上映祭	新宿ピカデリー	2016年3月3日
51	動物戦隊ジュウオウジャーショー シリーズ第1弾！シアターGロッソに現る！！	シアターGロッソ	2016年3月12日～4月17日までの土日祝日公演
52	ウルトラヒーローバトル劇場！第25弾！	銀座8丁目 博品館劇場	2016年4月1日・4月2日・4月3日
53	スーパーフェスティバル71	科学技術館	2016年4月24日
54	KAMEN RIDER 45th EXHIBITION SHOP「HENSIN」	パルコミュージアム 渋谷パルコ パート1/3F	2016年4月21日～5月9日
55	ウルトラマンフェスティバル2016記者発表イベント	池袋サンシャインシティ アルパB1F 噴水広場	2016年5月15日
56	ウルトラマン絵付けイベント	いしかわ百万石物語 江戸本店	2016年5月28日・5月29日
57	動物戦隊ジュウオウジャーショー シリーズ第2弾！友情パワー全開！5人の絆をなめるなよ！！	シアターGロッソ	2016年4月23日～6月12日までの土日祝日公演
58	東京スカイツリー(R) ウルトラ作戦第634号	東京スカイツリー天望回廊、天望デッキ他	2016年6月10日～7月21日
59	東京おもちゃショー2016	東京国際展示場[東京ビックサイト] 西1－4ホール	2016年6月11日・6月12日
60	ウルトラトークライブ「伝説と未来を繋ぐ―これがウルトラマンの世界だ」	杉並公会堂 小ホール	2016年7月9日
61	ウルトラトークライブ「ウルトラ・ディープトーク」	杉並公会堂 小ホール	2016年7月9日
62	ウルトラトークライブ「昭和のウルトラ・ファーストエピソード」	杉並公会堂 小ホール	2016年7月9日
63	ウルトラトークライブ「ウルトラ・マニアックトーク」	杉並公会堂 小ホール	2016年7月9日
64	ウルトラトークライブ「伝説の現場を撮ったカメラマン」	杉並公会堂 小ホール	2016年7月10日
65	ウルトラトークライブ「スペシウム光線を書いたレジェンド」	杉並公会堂 小ホール	2016年7月10日

66	ウルトラマンの日 in 杉並公会堂「THE LEGENDS 1966」	杉並公会堂 大ホール	2016年7月10日
67	バルタン星人 放送50年記念祭	シネマノヴェチェント	2016年7月16日・7月17日
68	ウルトラマンフェスティバル2016	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2016年7月22日～8月28日
69	シンゴジラ対ナンジャタウン－ゴジラ、ナンジャタウンに襲来！－	池袋サンシャインシティ ワールドインポートマートビル2F	2016年7月15日～9月25日
70	動物戦隊ジュウオウジャーショーシリーズ第3弾！真夏のアニマルフェスティバル！ ジュウオウザワールド登場！！	シアターGロッソ	2016年7月16日～18日、7月23日～8月28日は毎日公演
71	「ウルトラマンフェスティバル2016」特別イベント「ウルトラ怪獣大研究会」	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2016年7月24日
72	「ウルトラマンフェスティバル2016」 特別イベント 円谷特撮ヒーローシリーズ祭！	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2016年7月29日
73	チャリティーナイト 平成ウルトラヒーロー緊急集結！～本当の戦いは、これからだぜ！～	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2016年8月3日
74	ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2016-2017	神奈川県民ホール	2016年8月6日
75	仮面ライダー45th×スーパー戦隊40 Wヒーロー夏祭り2016	東京ドームシティ プリズムホール	2016年8月10日～8月25日
76	「ウルトラマンフェスティバル2016」特別イベントウルトラマン ソング フェスティバル 2016	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2016年8月20日
77	「ウルトラマンフェスティバル2016」 特別イベント レジェンドナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2016年8月26日
78	東京シティビューラウンジ特別企画 大都市に迫る空想脅威展	六本木ヒルズ展望台 東京ドームシティビュー	2016年9月24日～11月13日
79	スーパーフェスティバル72	科学技術館	2016年9月25日
80	動物戦隊ジュウオウジャーショーシリーズ第4弾！伝説大解放！ジュウオウイーグル覚醒！！	シアターGロッソ	2016年9月17日～2017年1月3日、12月23日～1月3日は毎日公演
81	ウルトラマンニュージェネレーションワールド	東京ソラマチ5F スペース634	2016年10月1日～10月11日
82	ウルトラマンゼロナイト	東京ソラマチ5F スペース634	2016年10月10日
83	ウルトラハロウィンパーティ	東京ドームシティ	2016年10月1日～10月31日
84	ウルトラマンオーブ ヒーローグリーティング	東京ドームシティ ミーツポートガーデン	2016年10月2日
85	東京国際映画祭 シン・ゴジラ	TOHOシネマズ六本木ヒルズ1	2016年10月30日
86	東京国際映画祭 キングコング対ゴジラ4Kデジタル	EX THEATER 六本木	2016年11月1日
87	TENQ×ウルトラセブン企画展 ウルトラアイからみた宇宙	TENQ宇宙ミュージアム	2016年11月10日～2017年3月5日
88	レッドマン 赤いあいつ展～Exhibition Of REDMAN～	中野ブロードウェイ3階 墓場の画廊	2016年11月17日～11月28日
89	「ウルトラヒーローズ EXPO 2017」開催直前イベント	東京ドームシティ ラクーアガーデンステージ	2016年12月4日
90	ウルトラヒーローズEXPO 2017 ニューイヤーズフェスティバル IN東京ドームシティ	東京ドームシティ プリズムホール	2016年12月29日～2017年1月9日
91	スーパーフェスティバル73	科学技術館	2017年1月8日
92	ウルトラマンディスカバリーズ～世界に降り立った光の巨人伝～	中野ブロードウェイ3階 墓場の画廊	2017年1月12日～1月30日
93	ゴジラ・ザ・リアル 4-D	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	2017年1月13日～6月25日
94	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016	AiiA 2.5 Theater Tokyo	2017年1月28日
95	動物戦隊ジュウオウジャーショーシリーズ第5弾！ジュウオウザファイナル！王者の絆をなめるなよ！！	シアターGロッソ	2017年1月28日～3月12日までの土日祝日公演
96	ウルトラマンゼロ握手撮影会	銀座8丁目 博品館店頭	2017年2月4日
97	ぼくたちのトクサツ！	調布市文化会館たづくり 1階展示室	2017年3月5日～3月12日
98	ウルトラマンオーブ ミュージアム	hmv museum (HMV&BOOKS TOKYO 6F)	2017年3月10日～4月2日
99	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第1弾 シアターGロッソに現る！！	シアターGロッソ	2017年3月18日～3月20日、3月25日～4月5日、4月8日・4月9日
100	第27弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	銀座8丁目 博品館劇場	2017年3月31日・4月1日・4月2日
101	ウルトラマン超闘士激伝祭	中野ブロードウェイ3階 墓場の画廊	2017年4月1日～4月24日
102	ウルトラマン80スタッフとの会食パーティー	ホテルオークラ東京 別館12階「メイフェア」	2017年4月22日
103	スーパーフェスティバル74	科学技術館	2017年4月23日
104	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第2弾 究極の選択！天秤にかけられた友情！！	シアターGロッソ	2017年4月29日～7月2日の土日祝日公演
105	ウルトラマンフェスティバル2017記者発表イベント	池袋サンシャインシティ アルパB1F 噴水広場	2017年5月13日
106	東京おもちゃショー2017	東京国際展示場(東京ビックサイト) 東1－3ホール	2017年6月3日・6月4日
107	ウルトラゾーン 墓場の大怪獣展	中野ブロードウェイ3階 墓場の画廊	2017年6月29日～7月18日
108	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第3弾 救世主覚醒！新たな伝説のはじまり！！	シアターGロッソ	2017年7月15日・7月16日・7月17日、7月22日から8月27日は毎日公演
109	ウルトラマンフェスティバル2017	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2017年7月21日～2017年8月28日(8月8日のみ休館)
110	ダイナ放送20年記念 スーパーGUTS大集結！	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2017年7月27日
111	仮面ライダー×スーパー戦隊 Wヒーロー夏祭り2017	東京ドームホテル地下1階 特設会場	2017年8月9日～8月18日
112	ウルトラトークライブ みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェス	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2017年8月10日
113	電光超人グリッドマン スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2017年8月23日
114	怪獣娘～ウルトラ怪獣擬人化計画～帰ってきたウルトラ怪獣大研究会	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2017年8月24日
115	ウルトラマンフェスティバル2017特別イベント「レジェンドナイト」	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2017年8月25日
116	スーパーフェスティバル75	科学技術館	2017年9月24日
117	ウルトラハロウィンパーティ	東京ドームシティ	2017年10月1日～10月31日
118	ウルトラハロウィンオリジナルショー	東京ドームシティ ラクーアガーデンステージ	2017年10月8日
119	第30回東京国際映画祭『ウルトラマンゼロVR 大都会の戦慄』	六本木ヒルズ ヒルズアリーナ	2017年10月26日～11月3日
120	第30回東京国際映画祭『ウルトラファイトVR 親子タッグ！ 激闘の荒野に花束を』	六本木ヒルズ ヒルズアリーナ	2017年10月26日～11月3日
121	第28弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	銀座8丁目 博品館劇場	2017年11月18日・11月19日
122	ボイジャーアコースティック ウルトラライブ2017	渋谷区文化総合センター大和田	2017年11月26日
123	ウルトラヒーローズEXPO2018 ニューイヤーズフェスティバル IN東京ドームシティ	東京ドームシティ プリズムホール	2017年12月29日～2018年1月8日
124	スーパーフェスティバル76	科学技術館	2018年1月7日
125	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第5弾 キュウキョクギャラクシー！宇宙は俺たちがとりもどす！！	シアターGロッソ	2018年1月27日～3月11日までの土日祝日公演
126	ウルトラマン ネオス展	中野ブロードウェイ3階 墓場の画廊	2018年3月1日～2018年3月18日
127	ジーッとしないで、応援しようぜ!『劇場版 ウルトラマンジード つなぐぜ! 願い!!』	新宿ピカデリー(東京都新宿区新宿3丁目15番15号)	2018年3月2日
128	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー シリーズ第1弾 シアターGロッソに現る！！	シアターGロッソ	2018年3月17日、3月18日、3月21日、3月24日～4月5日、4月7日、4月8日
129	ウルフェス2018開催記念 ウルトラヒーロースペシャルステージ	赤坂サカス「ママサカス2018」会場内ステージ	2018年3月18日
130	第29弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	銀座8丁目 博品館劇場	2018年3月30日～4月1日
131	ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ 2018	須賀川市文化センター 大ホール	2018年4月21日・4月22日

132	ウルトラマンフェスティバル2018記者発表イベント	池袋サンシャインシティ アルパB1F 噴水広場	2018年5月12日
133	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー シリーズ第2弾 快盗はギャングラー！？国際警察、実力を行使せよ！！	シアターGロッソ	2018年4月28日～6月17日の土日祝日公演
134	東京おもちゃショー2018	京国際展示場〔東京ビッグサイト〕　西1～4ホー	2018年6月9日・6月10日
135	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショーシリーズ第3弾 華麗なる新戦士！ルパンエックス・パトレンエックス！！	シアターGロッソ	7月14日・15日・16日・7月21日～8月26日は毎日公演
136	ウルトラマンフェスティバル2018	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年7月20日～8月27日
137	「SSSS.GRIDMAN」スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年7月25日
138	ウルトラトークライブ「みうらじゅんx山田五郎のオトナのウルフェスVol.2」	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年7月26日
139	TAMASHII NATIONS presentsニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイ	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年8月1日
140	ウルトラマン　ダークヒーロー　スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年8月15日
141	『ウルトラマンレオ』Blu-ray BOX発売記念プレミアムイベント スペシャルトークショー ～レオの映像特典公開収録！～	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年8月16日
142	「怪獣娘～ウルトラ怪獣擬人化計画～」スペシャルイベント 光と闇の激突!?	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年8月20日
143	ウルトラマンガイア放送20年記念　超時空のフェスティバル	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年8月23日
144	仮面ライダー45th×スーパー戦隊40 Wヒーロー夏祭り2018	東京ドームシティ プリズムホール	8月4日～8月23日
145	ウルトラマンルーブスペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2018年8月25日
146	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショーシリーズ第4弾 見せろ！2つの団結の力！ルパントリコロール・パトレン1号！！	シアターGロッソ	2018年9月15日～2019年1月6日までの土日祝日公演
147	スーパーフェスティバル78	科学技術館	2018年9月23日
148	DARKNESS HEELS WORLD	東京ソラマチ5F　スペース634	2018年10月18日～10月31日
149	TAMASHII NATION 2018	秋葉原UDX、ベルサール秋葉原、AKIBA SHOWROOM	2018 年10月26日～10月28日
150	TOKYO COMIC CON2018	幕張メッセ9・10・11ホール	2018年11月30日・12月1日・12月2日
151	特撮のDNA展	日本工学院専門学校「ギャラリー鴻」	2018年12月19日～1月27日
152	ウルトラマンティガ・ダイナ・ガイア in なぞともカフェ	なぞともカフェ 新宿店	2018年12月21日～2019年4月7日
153	SSSS.GRIDMAN SHOW01	お台場・TFTホール	2019年2月3日
154	NEW GENERATION ARTWORKS ウルトラマンゼロから10年	池袋マルイ	2019年3月1日～3月17日
155	アニメ「ULTRAMAN」ワールドプレミア上映会@丸の内ピカデリー	丸の内ピカデリー	2019年3月31日
156	騎士竜戦隊リュウソウジャー シリーズ第1弾 シアターGロッソに現る！！	シアターGロッソ	2019年3月16日～4月21日の土日祝日・3月23日～4月7日は毎日公演
157	ウルトラヒーローバトル劇場！スペシャル	銀座8丁目 博品館劇場	2019年4月5日～4月7日
158	ウルトラヒーローズEXPO 2019 in SUKAGAWA	須賀川市文化センター 大ホール	2019年4月20日・4月21日
159	ウルトラヒーローズEXPO ニュージェネレーションワールド in 光が丘IMA	光が丘IMA 1階 光の広場	2019年5月2日～5月6日
160	「ウルトラマンフェスティバル2019」発表イベント	池袋サンシャインシティ アルパB1F 噴水広場	2019年5月11日
161	ゴジラ対エヴァンゲリオン THE REAL 4D	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	2019年5月31日～8月25日
162	東京おもちゃショー2019	東京ビッグサイト西1～4ホール	2019年6月15日・6月16日
163	ウルトラマンフェスティバル2019	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2019年7月19日～8月6日、8月8日～8月26日
164	ウルトラマンネクサス スペシャルナイト 再会・リユニオン・	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2019年7月23日
165	S.H.Figuartsニュージェネレーション勢ぞろい記念スペシャルトークショー by TAMASHII NAT	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2019年7月25日
166	BD＆DVD発売記念！『劇場版ウルトラマンR／B セレクト！絆のクリスタル』スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2019年7月29日
167	DARKNESS HEELS スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2019年8月15日
168	東映ヒーローワールド	イオンモール幕張新都心ファミリーモール3階	2013年12月20日～2017年1月15日まで連日営業
169	ウルトラマンスタジアム	手取フィッシュランド JOYPARK 1・2階	2004年3月20日から2007年11月4日まで連日営業、2008年3月20日より連日営業
170	怪獣酒場	NOF川崎東口ビルB1階	2014年3月14日～2015年3月31日、2016年3月15日より連日営業
171	帰ってきた怪獣酒場	NOF川崎東口ビルB1階	2015年4月15日～2016年3月13日
172	元祖怪獣酒場	なんばグランド花月1階	2015年4月25日～2016年5月31日
173	怪獣酒場新橋蒸留所	京急ショッピングプラザ・ウイング新橋	2017年5月21日より連日営業
174	KAMEN RIDER THE DINER	パセラリゾーツ池袋本店4F	2011年4月27日より連日営業
175	ウルトラマン商店街	祖師谷みなみ商店街、祖師谷商店街振興組合、昇進会	2005年4月3日より連日営業
176	福島県須賀川市	福島県須賀川市	2013年5月5日より「M78星雲光の国」と姉妹都市提携
177	石ノ森萬画館	宮城県石巻市中瀬2－7	2013年3月23日にリニューアルオープン後、火曜日を除き連日営業

本研究では以上、「①資料調査」並びに「②現地調査」による 2 つの調査方法によって、特撮ツーリズムの歴史と行動特性について明らかにする。

補註

註 1)「超全集」の歴史は約 30 年前に遡る。1989 年に発行された「仮面ライダーBLACK　RX 超全集」であった（1992 年に本書の完全版も発行された）。本書は 1988 年に放映された東映制作の特撮ヒーロー番組『仮面ライダーBLACK　RX』を特集した内容であり、作品に登場したキャラクター（ヒーロー、怪人、その他登場人物）の紹介や物語紹介のみならず、巻末において作品制作側であるスタッフ取材を行っている等、作品の基礎資料を網羅した内容であった。その後、1990 年 12 月 1 日に発行された「スーパー戦隊超全集」より、東映

制作のスーパー戦隊シリーズの「超全集」も発行されるようになった。1992 年 2 月 20 日に発行された「鳥人戦隊ジェットマン超全集」以降は、1993 年 2 月 20 日発行の「恐竜戦隊ジュウレンジャー超全集」をはじめ毎年スーパー戦隊シリーズ各作品の「超全集」が、現在の作品に至るまで全て発行されるようになった（ただし、スーパー戦隊シリーズの「超全集」のみ 2010 年 6 月 20 日発行の「侍戦隊シンケンジャー超全集」以降は、東映ビデオから発売される DVD 等の映像ソフトの特典として付属する形で販売されるようになった）[134)]。

「超全集」は現在も、東映の仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズ、円谷プロのウルトラシリーズ等、各映像制作会社が発信した特撮映像作品を特集した「超全集」が毎年数冊ずつ発行され、書店で販売されている。

註 2）会報誌「TFC」は、円谷プロ監修の下、年間 4 冊発行されている。今後開催される円谷プロのイベント情報や、過去に開催されたイベント等が掲載されている。

註 3）1973 年 9 月 26 日『ジャンボーグ A』第 37 話「出現！恐怖の怪鳥エレキバード」

註 4）1974 年 6 月 7 日『ウルトラマンレオ』第 9 話「宇宙にかける友情の橋」

註 5）例外的な事例では、『ウルトラ怪獣散歩』第 15 話「ウルトラ怪獣散歩のおやじ～福島・須賀川～」にて、ウルトラ怪獣（メフィラス星人、M1 号、メシエ星雲人）が、現・円谷プロダクション創設者である特技監督・円谷英二の故郷、福島県須賀川市を訪れている。円谷英二ゆかりの名所や、地元名物の紹介も番組中にて行なわれた。

また、第 21 話「マックス号房総せよ」では、東宝特撮怪獣映画『シン・ゴジラ（2016）』のロケ地として活用された海ほたるを舞台に、番組の収録が行なわれている。番組内でも間接的に『シン・ゴジラ』の舞台となったことが言及されている。

註 6）現地調査対象地の内、「ウルトラマンフェスティバル」（表－13 の 8、28、68、109、136）のみ、イベント開催期間中に同所にて特別イベントが複数開催されている（表－13 の 9、10、29、31、35、71 から 73、76、77、110、112 から 115、137 から 143）。これは、「ウルトラマンフェスティバル」の会場を使用して、会場閉場後の夜間に異なるイベントを開催したものである。よって、「ウルトラマンフェスティバル」のチケットでは夜間イベントに来場することができず、夜間イベント専用のチケットを別に購入する入場システムとなっている。つまり、開催場所は同じでも、「ウルトラマンフェスティバル」とは独立したイベントとして開催されていた。

また、「ウルトラトークライブ」（表－13 の 60 から 65）も、各公演のチケットは別料金で販売されていたことから、それぞれ独立したイベントとして機能していた。

第 4 章　特撮の定義

特撮ツーリズムの素体となる「特撮」は、もともとは「特殊撮影」の略称であり、通常の映画やドラマ撮影では表現できない、非現実的な光景を描写した撮影方法である[1)]。

つまり、市街地を舞台に巨大な怪獣とヒーローが格闘を行なう描写の他、人の異形なヒーローや怪人へと変身、日常には存在しない未確認物体（UFO、特殊戦闘機等）が空を飛ぶ等、その描写の種類は多種多様であり、枚挙にいとまが無い。

現在、このような非現実的な光景を撮影する「特撮」作品は、国内だけに留まらず、米国で制作された『Jurassic Park（1993）』シリーズや、『STAR WARS（1977）』シリーズといった SF 映画や、『Avengers（2012）』シリーズに代表されるスーパーヒーロー映画、英国で制作された『Harry Potter（2001）』シリーズ等のファンタジー映画、米国・ニュージーランド制作の『The Lord of the Rings（2001）』シリーズのような冒険映画等、世界各国の様々な映画ジャンルを通じて制作されている。

これらの映画はどれも、通常の撮影では表現することのできない非現実的な光景を、着ぐるみやミニチュア、CG 等の技術を活用して表現されており、「物品」が使用されているという点では、我が国で制作された特撮映像作品と同様ではある。

尾上ら（2013）によると、「特撮」の起源は、フランスのジョルジュ・メリエスの発明した「トリック映画」であることに言及した。つまり、映画を撮影する際に、カメラの機械的故障という偶然によって、ショットの途中で数秒間停止したフィルムを現像したところ、乗合馬車が霊柩車に変化するという映像が撮影されたことを述べている。このメカニズムを恣意的な技術として応用したのが「トリック映画」の始まりであり、メリエスは 1902 年にトリック映画『月世界旅行』を発表した。メリエスのトリック映画は、それまで「ライブ・アクション」として「生きて動いている実物」を撮影するものと思われていた「映画」を、幻想的なイメージを創出させ得るツールとして進化させたものであった[71)]。

その後、我が国でも、1909 年よりトリック撮影が導入されるようになった。「日本映画の父」と称されるマキノ省三監督が映画の撮影中に、フィルムチェンジをする最中に役者の一人が席を外したことに気づかず、カメラを回し続けたところ、突然人間が消失する映像が偶然撮影された。この事故は「カットアウト」と呼ばれる技法として定着し、やがて「忍術映画」の量産に繋がるようになった。具体的には、忍者が忍術を用いて突然消失する等の演出を、多重露光や逆回転撮影など、カメラの中で処理をする技法が開発されたことで、通常の撮影では表現できなかった不可思議な現象を描写できるようになった[71)]。

つまり「特撮」とは、撮影された映像がカメラの中で意図せずに処理された「トリック撮影」を起源に持っており、「撮影された光景をありのまま映す」形で映像作品を制作するのではなく、「撮影された映像をカメラの中で編集する」という技術が 1900 年代初頭より我が国でも実践されるようになったといえる[71)]。

マキノ省三が 1921 年に「トリック映画」の制作から撤退した後、我が国では 1933 年に RKO 社映画配給による米国映画『キング・コング』が公開された。本作は、巨大な猿（キング・コング）の人形を用いて、パラパラ漫画のように、人形の関節を 1 コマずつ動かして撮影した映像を繋ぎ合わせるストップモーション・アニメーション映画として制作された[71)]（註 1）。『キング・コング』では、巨大なキング・コングがマンハッタンを舞台に暴れ回る内容が描写された。その際、コングと街は、猿を模した人形と市街地を精巧に再現したミニチュアを用いて表現された（註 2）。

一方、国産制作映画でも、ミニチュアを使用した映像表現が実践されるようになった。1941 年 12 月 8 日の真珠湾攻撃を契機とした太平洋戦争開戦を機に、我が国では国民啓発映画として、1942 年 12 月 3 日に戦記映画『ハワイ・マレー沖海戦』が公開された。日本軍によるハワイ真珠湾攻撃とマレー沖のイギリス艦隊撃滅を描写した本作の特徴は、この史実を「ミニチュア撮影」で表現したことにある。つまり、真珠湾攻撃の描写には、400 分の 1 スケールの真珠湾を模した巨大なオープンセットを舞台に、爆撃機や空母、戦艦等の模型（ミニチュア）を使用して撮影された [103)]。

『ハワイ・マレー沖海戦（1942)』は 4 班体制（A～D 班）で制作された。つまり、主演の俳優らが芝居を行なう映像を撮影する A 班・B 班、実在する戦闘機（実機）による空中撮影を担当した C 班と並び、オープンセットとミニチュアを駆使した「特撮」映像を撮影する D 班がそれぞれ撮影を行ない、各班が撮影した映像を一体に繋ぎ合わせることによって映画が完成した [103)]。この各班が撮影した映像を一本化して 1 つの作品にするという制作手法は、後に制作される特撮映像作品にも継承されることになった。

また、本作は映画制作を指揮する監督とは別に、精巧に制作されたミニチュア等を駆使した「特撮」を撮影する監督が役職として設定されている事に特徴がある（註 3)。しかし、『ハワイ・マレー沖海戦（1942)』制作当時は「特撮」という呼称が未だ存在しておらず、「特殊技術」として呼称されていた。この「特殊技術」の監督を務めたのが、現・円谷プロの創始者である円谷英二であった [135)]。

終戦後、円谷英二は、我が国初の特撮怪獣映画『ゴジラ（1954)』でも「特殊技術」監督を担当することになった [136)]。『ゴジラ（1954)』では、東京都内で暴れ回る空想上の生物（怪獣ゴジラ）の描写のため、前述した『キング・コング（1933)』のような人形を使って怪物の表現するのではなく、怪獣を模した「着ぐるみ」を着用した演者が芝居を行う方法で撮影された。「人形」ではなく、「着ぐるみ」が採用された背景として、映画公開までの制作時間を考慮したことが挙げられる [137)]。つまり、『キング・コング（1933)』と同様に人形を動かしながら撮影した映像を繋ぎ合わせる撮影方法を行なうと、制作時間が 7 年と膨大な時間を有することになり、できれば人形による「コマ撮り」を試すことを考えていた円谷英二も、最終的にはゴジラの表現に「着ぐるみ」を使用することになり、中に入る演者（スーツアクター）として、中島春雄が起用された [138)]。

円谷英二は、『ハワイ・マレー沖海戦（1942)』と同様に、市街地を模したミニチュアを並べたオープンセット（都内銀座）を舞台に、着ぐるみ（怪獣ゴジラ）がミニチュアセット（建造物や爆撃機）を破壊していく描写の監修の他、撮影された映像を加工する合成技術（ゴジラが吐く熱戦等）の監修も行う等、特殊技術を使用して撮影された映像を総監督する役割を担っていた。

さらに『ゴジラ（1954)』でも、班ごとに分かれて映像を撮影し、映像を一本化する制作手法が導入された。つまり、俳優達がカメラの前で芝居を行なう「ドラマパート」と、特殊技術を使用して映像を撮影する「特撮パート」に分かれて、各パートをそれぞれ別の監督（監督、特殊技術監督）が監修し、両パートを繋ぎ合わせて作品が完成された（註 4)。

まず「ドラマパート」とは、通常の映画撮影と同様に、顔出しの俳優陣がカメラの前で芝居を行い、監督が俳優の演技を指示するという体制によって撮影された [139)]。続いて、「特撮パート」とは、特撮映像を撮影する専用のスタジオ内にて、精巧に制作されたミニチュアセットを舞台に、「着ぐるみ」（怪獣ゴジラ）を着用した演者に指示を、特殊技術監

督が行う形で撮影された[136]。

監督と特殊技術監督から成る 2 人の監督が撮影した映像を一本化して制作された『ゴジラ（1954)』は以降も続編が量産されたが、先述した 2 人の監督がそれぞれのパートを担当して監修を行なう制作体制は継続された[138]。また、『ハワイ・マレー沖海戦（1942)』や『ゴジラ（1954)』では、「特撮パート」を監督する役職の呼称が確立されていなかったが、東宝は『ゴジラの逆襲（1955)』以降、「特撮パート」を監修する役職を「特技監督」として表記するようになった（註 5）[138]。

これ以降、『空の大怪獣ラドン（1956)』や『モスラ（1961)』等の東宝の特撮怪獣映画、円谷英二を創業者とする円谷プロが制作した『ウルトラマン（1966)』シリーズ等の特撮ヒーロー番組でも、「ドラマパート」と「特撮パート」に分けた撮影方法や、着ぐるみやミニチュアを使用した演出を特技監督が指示する体制が継承された他（註 6)、東映等の他社が制作した特撮映像作品でも当撮影手法は導入されるようになった（註 7)。

このように、我が国で発信されるようになった特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組の特徴は、着ぐるみやミニチュアといった「物品」を用いた、アナログ的な撮影方法によって制作されてきたことにある。またこの撮影方法は、東宝制作の『ゴジラ（1954)』や円谷プロ制作の『ウルトラマン（1966)』のように、シリーズを通じて継承されている。

筆者ら（2017）はこれまで、アニメや漫画とは異なる、一映像ジャンルとして、特撮映像作品固有の特徴を明らかにするために、自社作品を「空想特撮シリーズ」と称して、1966 年 1 月 2 日から 1968 年 9 月 8 日までの約 2 年半に渡りテレビ放映された『ウルトラ Q（1966)』などの、円谷プロ制作のウルトラシリーズ 3 作品（総話数 116 本、約 3,480 分）と、時代が平成に移行した後にテレビ放映された、『ウルトラマンティガ（1996)』を筆頭とする「平成 3 部作」（総話数 154 本、約 4,620 分）を調査対象に、「特撮映像作品が成立する要素とは何か」という観点から映像分析を実践し、その内容を検証する悉皆調査を行なった[73]。調査対象とした全 6 作品のタイトル及び放映期間等は下記表－14 の通りである。

表－14.空想特撮シリーズ及び平成 3 部作作品リスト

空想特撮シリーズ	作品名	放映期間	話数
1	ウルトラQ	1966年1月2日～1966年7月3日*1	28
2	ウルトラマン	1966年7月17日～1967年4月9日	39
3	ウルトラセブン	1967年10月1日～1968年9月8日	49
*1 第28話のみ1967年12月14日に放映			116
平成3部作	作品名	放映期間	話数
1	ウルトラマンティガ	1996年9月7日～1997年8月30日	52
2	ウルトラマンダイナ	1997年9月6日～1998年8月29日	51
3	ウルトラマンガイア	1998年9月5日～1999年8月28日	51
			154

これら全 6 作品の悉皆調査を行った後に、「約 30 年をまたぐ特撮映像作品において普遍的に見ることができた特徴的な要素」という基準から 7 つの要素を抜粋した[73]。

7 つの要素とは即ち、ヒーローや怪獣等に代表される「1.着ぐるみキャラクター」の存在、続いて精巧なミニチュア等を配置することでヒーローと怪獣が立ち回りを行う場を創出する「2.舞台」の製作、演者が使用する光線銃等の小道具や隊員服を指す「3.衣装」の使用、小さなミニチュアによる舞台と縮尺が合うように造型された戦闘機等を示す「4.模型」

の製作、ヒーローが放つ必殺光線等に代表される合成技術等を表す「5.技術（SFX 等）」の使用、円谷英二等に代表される特撮映像作品固有の役職である「6.特技監督」の存在、特撮映像作品の出演俳優（怪獣等の着ぐるみを着用する演者も含む）らを示す「7.キャスティング」から成る。これら「特撮」の 7 要素は下記表－15 のとおりである[73)]。

表－15.「特撮」の 7 要素[73)]　一覧

各要素名	要素の詳細
1.着ぐるみキャラクター	演者が着用する、怪獣やヒーロー等の架空のキャラクターを模したもの
2.舞台	精巧につくられたミニチュアの配置による、ヒーローと怪獣が立ち回りを行う場の創造
3.衣装	演者が使用する光線銃等の小道具や、隊員服等の服装
4.模型	小さなミニチュアによる舞台と縮尺が合うように造形された戦闘機等
5.技術（SFX等）	怪獣が放つ熱戦等を、撮影した映像に合成する技術
6.特技監督	特撮セットを使用した撮影現場の総監督
7.キャスティング	特撮映像作品の総出演者（スーツアクターを含む）

まず「1.着ぐるみキャラクター」とは、作品中に登場するヒーローや怪獣を着ぐるみで表現したものである。演者がこれを着用して芝居を行なうことによって、本来は架空の存在であるキャラクターが作品中にて描写されることが可能となる。特撮映像作品によっては、怪獣やヒーロー以外にも、怪人やロボットを模した着ぐるみのキャラクターも登場する。

続いて「2.舞台」とは、精巧に造型された建造物のミニチュアを配置することで、ヒーローと怪獣がその中で立ち回りを行なう場（セット）のことである。

ミニチュアによる「舞台」を創造することによって、怪獣とヒーローがいかに巨大であるかの対比を行なうことが可能となる。ミニチュアを配置することによって、舞台を創造する撮影手法は、東宝の『ゴジラ（1954）』シリーズや、円谷プロのウルトラシリーズだけでなく、東映の『仮面ライダー（1971）』シリーズや『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』等のスーパー戦隊シリーズでも導入されており、各社の特撮怪獣映画や、特撮ヒーロー番組においても共通して実践されている。

「3.衣装」は、特撮映像作品に演者が着用する隊員服をはじめ、その他の出演者が演じる役に応じて制作された衣服がこれに該当する。一見通常の私服や作業服に見える物でも、特撮映像作品に登場している衣服は、全てこれに該当する。

さらに、「3.衣装」では、隊員服等の衣服の他に、小道具も該当する。つまり小道具とは、「ウルトラマン（1966）」シリーズに登場する特捜チームの隊員が、怪獣を応戦する際に使用する光線銃等が挙げられる他、宇宙人が使用する兵器等の小道具等も該当する。

また小道具の事例には、物語に登場する一般市民が使用する日用品も、物語を演出する小道具として機能している事例を確認することが出来る。

「4.模型」は、特撮映像作品中に登場する建造物や車両等のミニチュアや、戦闘機や戦車等の機体や装甲車（メカニック）を模した物が該当する。模型は、先述した特撮映像作品を撮影する舞台にて配置されたものであり、ミニチュアで作成された建造物は、巨大な怪獣とヒーローを模した着ぐるみの存在感を演出する装飾として活用されている。

また戦闘機や戦車等の模型は、航空自衛隊が使用する零戦等の、実在する近代兵器をはじめ、現実には存在しない空想の戦闘機も併せて製作されてきた。

代表的な事例には、円谷プロの『ウルトラマン（1966）』シリーズに登場する特捜チーム

の戦闘機等が挙げられる。

これらの模型は、ピアノ線等のつり下げる演出によって躍動的に操演される等、特撮映像作品の中で多様に活用されている。さらに「4.模型」には、先述した建造物や戦闘機の他に、ヒーローの飛行人形等もある。『ウルトラマン（1966）』シリーズでは、上空を飛行するヒーローや怪獣の姿を撮影するために、飛行する姿を表現した人形を制作して、ピアノ線等でつり下げながら撮影を行い続けた事例が存在する。この人形を用いた飛行表現は、昭和の作品から平成の作品にかけて実施されてきた。

「5.技術（SFX 等）」とは、撮影用カメラで映像を撮影した後に、その映像を加工する技術のことである。特撮映像作品で活用される技術の代表例には、撮影された映像の中に存在しない事象を表現するために、その映像のフィルムに手書きで絵を合成する「光学作画」技術が挙げられる。この光学作画技術とは、オプチカルプリンター（既に現像したフィルムに別の画を合成する機械）を使用し、撮影されたフィルムに絵を描いた下画を合成する技術のことである。その実用例には、円谷プロの『ウルトラマン（1966）』にて描写された、ウルトラマンが怪獣に放つ必殺光線「スペシウム光線」の演出が挙げられる。

スペシウム光線を演出する際、まず撮影カメラの前で、ウルトラマンがスペシウム光線を放つ姿を撮影した後、その様子を映したフィルムと、手書きによる「スペシウム光線」を表現した下画を合成することによって（註 8）、ウルトラマンがまるでスペシウム光線を現実に放っているかのように描写する演出が行なわれた。しかし、合成技術も時代の変遷と共に、フィルムと下画を合成する技術から、コンピュータを使用して映像の中に絵を描き加える CG 技術へと変化していくようになった。

コンピュータ技術の導入によって誕生した概念には「SFX（special effects）」があり、コンピュータ技術の導入による映像効果のことを指す。SFX は、1977 年米国公開の SF 映画『STAR WARS』が、我が国に輸入されたことを契機に浸透するようになった。

SFX は撮影された映像を、フィルムではなくコンピュータで映像を加工する合成技術である。この技術の導入は、我が国の特撮映像作品にも影響を与え、円谷プロの『ウルトラマンティガ（1996）』等、我が国の特撮映像作品にも導入されるようになった（註 9）。

さらに、先述した「SFX（special effects）」に続いて、「VFX（Visual Effects）」の概念が、CG 等のデジタル映像技術が一般化した 1990 年代中盤以降に台頭するようになった。

尾上ら（2013）は、VFX とは「撮影素材をその種類によらずコンピュータ上に等価な被写体として乗せ、コンポジット （合成）が可能となったとき、その素材がミニチュアなのか CGI（Computer Generated Image：コンピュータが生成したイメージ）なのか、そうした差異がなくなったため、より包括的に扱う意味合いをこめた用語」と定義しており、この定義では、撮影された画面の中にある被写体が、合成技術の導入でミニチュアか CG であるかの境界線が払拭されたことを明記している [71]。つまり、これまで制作された特撮映像作品の中で、怪獣やヒーローが着ぐるみで表現されてきたのに対し、コンピュータ技術の先進によって CG で表現することが可能になったといえる。例えば、東宝の特撮怪獣映画『シン・ゴジラ（2016）』や、円谷プロの特撮ヒーロー映画『劇場版ウルトラマン R/B セレクト！絆のクリスタル（2018）』等、特撮映像作品の中には着ぐるみを使用せずに、CG で怪獣やヒーローを演出する撮影技法が既に構築されており、両作品とも実景（市街地の風景）に CG で制作されたゴジラやウルトラマンがそびえ立つ姿が描写された。

このように、特撮映像作品における合成技術は、コンピュータ技術の浸透や海外作品の

浸透等の影響を受けて変遷を遂げてきた。

「6.特技監督」は、特撮映像作品における「特撮パート」において、特撮セットの演出を総監督する役職のことを指す。特技監督は特撮セットを使用した演出の監修だけに留まらず、撮影した「特撮パート」の合成技術に対する指示も行なう等、「特撮パート」を総括して監修する役割を担っている。先述した様に、我が国で最初に特技監督の役職を務めたのは円谷英二であり、東宝の特撮怪獣映画『ゴジラ（1954）』で初めて同役職を務め、以降『ゴジラ・エビラ・モスラ　南海の大決闘（1966）』までの全 7 作の『ゴジラ（1954）』シリーズの特技監督として監修を行なった。

円谷英二没後も、特技監督の役職は『ゴジラ（1954）』シリーズや他の東宝特撮怪獣映画でも継続された。平成に制作されたゴジラシリーズの特技監督を務めたのは、川北紘一であった。川北紘一は、1989 年に公開された『ゴジラ VS ビオランテ』から『ゴジラ VS デストロイア（1995）』までの全 6 作のゴジラシリーズの映画において特技監督を務めた。

最後に「7.キャスティング」とは、特撮映像作品に出演する俳優達をはじめとする、全ての作品出演者がこれに該当する。素顔で出演した俳優だけに留まらず、声優として作品に参加した出演者も対象となる。

しかし、特撮映像作品固有のキャスティングとして特筆すべきなのは、「着ぐるみ」を着用して芝居をする俳優、即ち「スーツアクター」の存在である。スーツアクターは、東宝の『ゴジラ（1954）』において、中島春雄が起用されたのを起点に、怪獣の着ぐるみを着る俳優としてスーツアクターが、以降に製作された東宝特撮怪獣映画等でも起用されるようになった。『ゴジラ（1954）』から『ゴジラ FINAL WARS（2004）』までの半世紀の間、複数のスーツアクターがゴジラの着ぐるみを着用し、怪獣ゴジラを演じた（註 10）。

スーツアクターは東宝の特撮怪獣映画のみならず、円谷プロや東映等の他社が制作した特撮映像作品でも起用されており、現在の特撮映像作品でもスーツアクターがヒーローや怪獣を演じるという撮影技術は継承されている。

ここまで、我が国で制作された特撮怪獣映画と特撮ヒーロー番組において実用化された 7 つの要素から成る撮影方法について述べてきたが、これら 7 つの要素を活用したアナログ的な撮影方法は、現在まで制作されている特撮映像作品まで継続され、1 つの映像表現として定着してきた。

上述してきたように、非現実的な光景を撮影する「特撮」作品は、諸外国にて制作された SF 映画やスーパーヒーロー映画、ファンタジー映画、冒険映画等が制作されており、これらの作品は着ぐるみやミニチュア等、物品を用いた制作手法で発信された作品もある。しかし、以上 7 つの要素から成る国産のアナログ特撮に焦点を当てることによって、諸外国の同じような制作手法を用いた作品とは異なる「観光資源・観光現象」としての特異性が顕れており、それを指摘することをもって「観光研究の射程の広がり」に貢献できる。

そこで今回は、世界各国の様々な映画ジャンルを通じて制作される「特撮」映像作品の中から、国内の各映像製作会社が、着ぐるみやミニチュア等を活用したアナログ撮影によって制作した特撮怪獣映画や、特撮ヒーロー番組を誘致資源とした観光現象に焦点を当て、その実態を調査することとした（図－8）。



図－8.「特撮」作品全体図

本稿では、上述した 7 つの要素を内包したアナログ特撮作品を誘致資源とした観光現象を「特撮ツーリズム」と呼称し、「特撮ツーリズムは、円谷プロや東宝、東映等が展開してきたアナログ特撮を対象に、様々な形態として行う観光現象」と定義した上で、当観光現象の実態調査を行なった。

補註

註 1）当撮影方法は「コマ撮り」と呼称される[137]。

註 2）『キング・コング』は、米国の RKO 社の配給によって、1933 年 3 月に第一作が公開された後、同年 12 月には続編『コングの復讐』が公開された[140]。キング・コングはその後、我が国の特撮映像作品の中に輸入された。1962 年 8 月 11 日に東宝制作の特撮怪獣映画『キングコング対ゴジラ』において、着ぐるみで表現されたキングコングが登場した。このキングコングが我が国の特撮怪獣映画に登場した背景には、東宝の森専務が、円谷英二監督に提案をしたことが契機であった。森が米国 RKO 社の特許品であるキングコングが、歩き方、手の動かし方、手の動かし方、表情の一つ一つまで登録済みであり、類似品を創作することはまず不可能であると判断したことから、東宝が RKO 社に借り料を支払うライセンス契約を数万ドルの価格で締結したことにより、キングコングの東宝特撮怪獣映画への出演が可能となった[141]。キングコングはその後、東宝制作の特撮怪獣映画『キングコングの逆襲』の出演を経た後、再び米国で新作映画が度々公開される運びとなった。我が国で制作された作品と同様に、キングコングを着ぐるみで表現した『キングコング（1976)』、CG 技術でキングコングを表現した『キングコング（2005)』、キングコングとゴジラを再び対峙させることを視野に制作され、両者の激突を CG 技術で描写する『キングコング：髑髏島の巨神（2017)』、『ゴジラ VS コング（2020)』等が制作されており、キングコングも人形、着ぐるみ、CG と、日米間を往来しながら描写方法の変遷を経て、現在に至っている。

註 3）東宝制作の戦記映画『ハワイ・マレー・沖海戦』は、三村明が「撮影監督」としてドラマパートの撮影を監督した。一方で、円谷英二が「特殊技術監督」として、特撮パートの撮影を監督した。

註 4）『ゴジラ（1954)』は、本編監督を本多猪四郎、特殊技術監督を円谷英二が務めた。本多猪四郎はその後も、『空の大怪獣ラドン（1956)』、『地球防衛軍（1957)』、『美女と液体人間（1958)』、『キングコングの逆襲（1967)』等の東宝特撮映画で本編監督を務めた。

註 5）円谷英二は『ゴジラの逆襲（1955)』以降も、『キングコング対ゴジラ（1962)』、『モスラ対ゴジラ（1964)』、『三大怪獣　地球最大の決戦（1964)』、『怪獣大戦争（1965)』、『ゴ

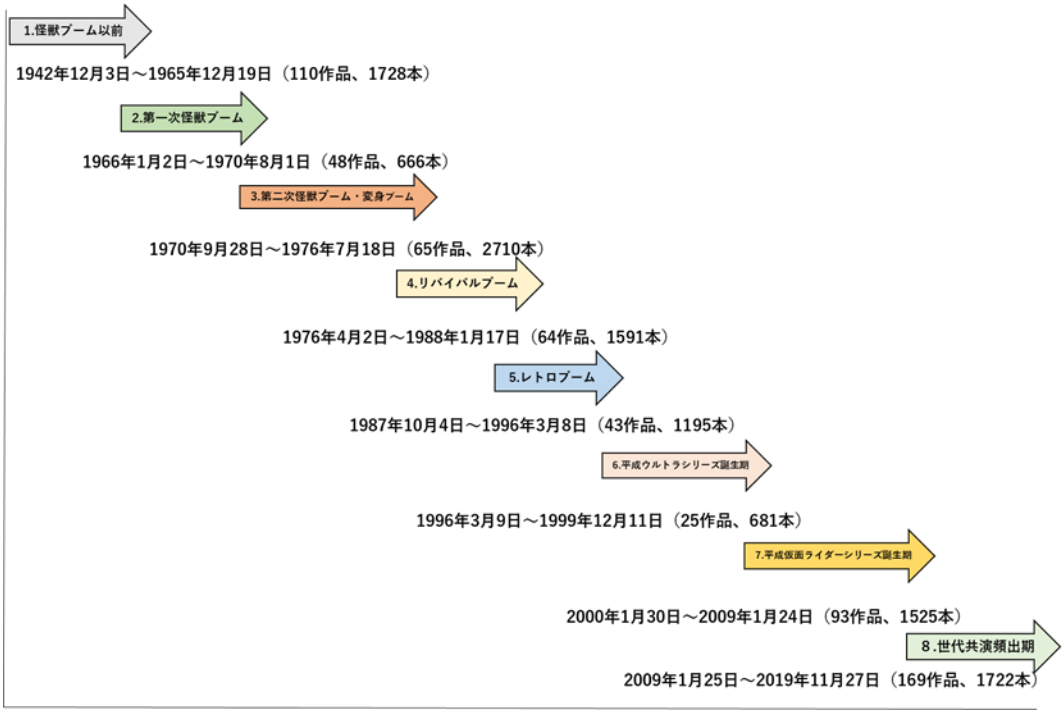
ジラ・エビラ・モスラ　南海の大決闘（1966)』まで、『ゴジラ（1954)』から全 7 作品のゴジラシリーズの特技監督を務めた。
註 6）円谷プロが制作したウルトラシリーズでは、「特技監督」に相当する役職は存在するものの、昭和から平成の作品にかけて呼称が統一されていなかった。「特技監督」の呼称が使用されたのは『ウルトラ Q（1966)』[142]、『ウルトラマンティガ（1996)』、『ウルトラマンダイナ（1997)』、『ウルトラマンガイア（1998)』[143] 等の作品であり、『帰ってきたウルトラマン（1971)』や『ウルトラマン A（1972)』、『ウルトラマンタロウ（1973)』[142] 等は「特殊技術」、『ウルトラマンレオ（1974)』[142] や『ウルトラマン 80（1980)』[143] 等では「特撮監督」としてクレジットされている状態にあった。
註 7）東宝や円谷プロ制作の特撮映像作品では「特技監督」を役職名として表記している一方、東映は、「仮面ライダー（1971)」シリーズで「特撮パート」を撮影する監督を「特撮監督」と呼称している。会社によって名称が異なっていることから、当研究では「特技監督」として統一した。
註 8)「光学作画」の技術は東宝や円谷プロ制作の特撮映像作品に導入されており、その代表者には、東宝制作の特撮映画『地球防衛軍(1957)』や、円谷プロの『ウルトラマン(1966)』、『ウルトラセブン（1967)』、『ウルトラマン X（2015)』において「光学作画」を担当した、飯塚定雄が挙げられる。
註 9）1996 年 9 月 7 日に放映を開始した『ウルトラマンティガ』は、放送第 1 話より SFX 技術が導入された。つまり、この技術の導入によってウルトラマンのタイプチェンジや、模型を使用しないウルトラマンの飛行描写等、過去のウルトラシリーズでは描写できなかった表現が可能になったことから、映像表現の振り幅が拡大していったといえる。
註 10)『ゴジラ（1954)』から『ゴジラ対ガイガン（1972)』までは中島春雄が演じた後も、『ゴジラ（1984)』から『ゴジラ VS デストロイア（1995)』までは薩摩剣八郎が、『ゴジラ 2000（1999)』から『ゴジラ　FINAL WARS（2004)』までを喜多川務が務めた。

第 5 章　特撮映像作品の歴史

本研究では、まず特撮ツーリズムの誘致資源となる特撮映像作品が、どのような社会的背景によって誕生､変質してきたかの歴史を時系列的に調査する作業に着手した｡つまり、本研究の対象となる特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組が、如何にして誕生し、またこれらの作品がどのような方法で視聴者に発信されてきたのかを明らかにした。

特撮ツーリズムが発生した背景には、アナログ特撮作品が、映画、テレビ等の映像媒体の中で、一時代を築くコンテンツとして普及したことが強く影響したことが考えられる。これを明らかにすることによって、我が国で実践されてきた特撮ツーリズムの歴史を理解する一助になる他、着ぐるみやミニチュアを使用して撮影されるアナログ特撮が、どんな視聴者に向けて発信され、どのような経緯で一時代を築く映像作品として定着するようになったのかを理解できると考えた。

その結果、我が国の特撮映像作品の歴史は、約 70 年に及んでおり、各時代に発生した異なる社会現象に応じながら、8 つの時代へと分類できるものであった。特撮の歴史の時代区分については、これまでに発行された各特撮作品の関連書籍において、時代ごとの「怪獣ブーム」の発生や「変身ブーム」[107] の発生等、各時代に発生した社会現象（ムーブメント）を象徴する名称を確認することができる。そのため、これらの書籍を取りまとめ、既存文献等によって共通の呼称名が与えられている時期については、その名称を用い、そうでない時期については新たに呼称名を付与することで、特撮の歴史を時系列的に纏める手法を行なった。特撮の 70 年の歴史は下記図－9 のように纏めることが出来た（註 1)。



図－9.特撮映像作品 8 つの時代　年代記

図－9 のように、8 つの時代に分類した我が国の特撮の歴史であるが、各時代を象徴する社会現象が発生した時期と、終焉した時期の日付を、正確に断定するのは困難である。

各時代の開始時期と終了時期については、「この作品の放送開始あるいは公開によって○○ブームが発生した」と開始時期を記述した文献はあるものの、終了時期を具体的に明記した文献は、現時点ではないため、次のブーム開始の契機となった 1 つ前の特撮怪獣映画あるいは特撮ヒーロー番組の発信期間までとした。

本稿では、これら 8 つの時代に発信された特撮映像作品の歴史を概略的に纏めた。その上で、各時代に発信された特撮作品の特徴（発信媒体や視聴環境、作品の内容等）を検証しながら、特撮ツーリズム発生の起源であるアナログ特撮が、我が国でどのような経緯で一時代を築く映像作品として定着するようになったかを調査した。

補註

註 1）2019 年 6 月 11 日までの発表時点

註 2）8 つの時代に分類した特撮の歴史の中には、同じ時代の中で、2 つの社会現象が同時発生していた時期もあった。

5－1　怪獣ブーム以前

我が国最古の特撮映像作品は、1942 年 12 月 3 日に公開された東宝制作の戦記映画『ハワイ・マレー沖海戦』であった。本作は、1941 年 12 月に日本軍によるハワイ真珠湾攻撃と、マレー沖のイギリス艦隊殲滅の戦果を映画化したものであり、制作日数 6 ヶ月と当時価格 77 万円（時価 3 億 8 千 500 万円）と、巨額の製作費が投じられた。その結果、封切 8 日間で 115 万円の興行成績を記録した[135)]。終戦後、特撮映像作品は 1949 年から東宝や大映、松竹等の各映像制作会社によって、怪獣映画や探偵映画、特撮ヒーロー映画など、映画を中心媒体に様々な作品が公開された。この時代に発信された、主な特撮映像作品全 71 作品 1728 本は表－16 の通りである。

表－16.怪獣ブーム以前（全 71 作品 1728 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.ハワイ・マレー沖海戦	1942年12月3日公開	1	劇場映画	東宝
2.かくて神風は吹く	1944年7月18日公開	1	劇場映画	大映
3.虹男	1949年7月18日公開	1	劇場映画	大映
4.幽霊列車	1949年8月14日公開	1	劇場映画	大映
5.透明人間現る	1949年9月25日公開	1	劇場映画	大映
6.氷柱の美女	1950年3月12日公開	1	劇場映画	大映
7.鉄の爪	1951年2月24日公開	1	劇場映画	大映
8.西遊記	1952年4月10日公開	1	劇場映画	大映
9.怪談佐賀屋敷	1953年9月8日公開	1	劇場映画	大映
10.ゴジラ	1954年11月3日公開	1	劇場映画	東宝
11.透明人間	1954年12月29日公開	1	劇場映画	東宝
12.怪人二十面相　第一部　人か魔か？	1954年公開	1	劇場映画	松竹
13.怪人二十面相　第二部　巨人対怪人	1954年公開	1	劇場映画	松竹
14.怪人二十面相　第三部　怪盗粉砕	1954年公開	1	劇場映画	松竹
15.名探偵明智小五郎シリーズ　青銅の魔人　第一部	1954年公開	1	劇場映画	松竹
16.ゴジラの逆襲	1955年4月24日公開	1	劇場映画	東宝
17.名探偵明智小五郎シリーズ　青銅の魔人　第二部	1955年4月24日公開	1	劇場映画	松竹
18.ブルーバ	1955年10月25日	1	劇場映画	大映
19.宇宙人東京に現る	1956年1月29日公開	1	劇場映画	大映
20.少年探偵団　第一部　妖怪博士	1956年公開	1	劇場映画	東映
21.少年探偵団　第二部　二十面相の悪魔	1956年公開	1	劇場映画	東映
22.空の大怪獣ラドン	1956年12月26日公開	1	劇場映画	東宝
23.少年探偵団　かぶと虫の妖奇	1957年公開	1	劇場映画	東映
24.少年探偵団　鉄塔の怪人	1957年公開	1	劇場映画	東映
25.少年探偵団　二十面相の復讐	1957年公開	1	劇場映画	東映
26.少年探偵団　夜光の魔人	1957年公開	1	劇場映画	東映
27.少年探偵団　透明怪人	1957年公開	1	劇場映画	東映
28.赤胴鈴之介　第一話「赤胴鈴之介」	1957年5月21日公開	1	劇場映画	大映
29.赤胴鈴之介　第二話「赤胴鈴之介　月夜の怪人」	1957年6月18日公開	1	劇場映画	大映
30.鋼鉄の巨人(スーパージャイアンツ)	1957年7月30日公開	1	劇場映画	新東宝
31.続鋼鉄の巨人(スーパージャイアンツ)	1957年8月13日公開	1	劇場映画	新東宝
32.赤胴鈴之介　第三話「赤胴鈴之介　鬼面党退治」	1957年8月13日公開	1	劇場映画	大映
33.赤胴鈴之介　第四話「赤胴鈴之介　飛鳥流真空斬り	1957年8月25日公開	1	劇場映画	大映
34.透明人間と蝿男	1957年8月27日公開	1	劇場映画	大映
35.赤胴鈴之介　第五話「赤胴鈴之介　新月塔の妖鬼」	1957年9月21日公開	1	劇場映画	大映
36.怪星人の魔城	1957年10月1日公開	1	劇場映画	新東宝
37.地球防衛軍	1957年12月28日公開	1	劇場映画	東宝
38.スーパージャイアンツ　人工衛星と人類の破滅	1957年12月28日公開	1	劇場映画	新東宝
39.地球滅亡寸前	1957年10月8日公開	1	劇場映画	新東宝
40.赤胴鈴之介　第六話「赤胴鈴之介　一本足の魔人」	1957年12月28日公開	1	劇場映画	大映
41.赤胴鈴之介　第七話「赤胴鈴之介　三つ目の鳥人」	1958年3月11日公開	1	劇場映画	大映
42.怪猫呪いの壁	1958年6月15日公開	1	劇場映画	大映
43.美女と液体人間	1958年6月24日公開	1	劇場映画	東宝
44.日蓮と蒙古大襲来	1958年10月1日公開	1	劇場映画	大映
45.大怪獣バラン	1958年10月14日公開	1	劇場映画	東宝
46.赤胴鈴之介　第八話「赤胴鈴之介　黒雲谷の雷人」	1958年11月15日公開	1	劇場映画	大映
47.少年探偵団　首なし男	1958年公開	1	劇場映画	東映
48.続スーパージャイアンツ　宇宙艇と人工衛星の激突	1958年1月3日公開	1	劇場映画	新東宝
49.月光仮面	1958年2月24日～1959年7月5日	130	テレビ	宣弘社プロダクション
50.スーパージャイアンツ　宇宙怪人出現	1958年4月28日公開	1	劇場映画	新東宝
51.遊星王子	1958年11月11日～1959年9月4日	49	テレビ	宣弘社プロダクション
52.怪人二十面相	1958年11月23日～1960年6月5日	81	テレビ	日本テレビ
53.赤胴鈴之介　第九話「赤胴鈴之介　どくろ団退治」	1958年12月21日公開	1	劇場映画	大映
54.少年探偵団　敵は原子力潜水艇	1959年公開	1	劇場映画	東映
55.風小僧	1959年3月3日～1959年12月29日	52	テレビ	東映
56.少年ジェット	1959年3月4日～1960年9月28日	83	テレビ	大映テレビ室
57.鉄腕アトム	1959年3月7日～1960年5月28日	65	テレビ	毎日放送
58.続スーパージャイアンツ　悪魔の化身	1959年3月27日公開	1	劇場映画	新東宝
59.まぼろし探偵	1959年4月1日～1960年3月27日	50	テレビ	折込広告社
60.続スーパージャイアンツ　毒蛾王国	1959年4月24日公開	1	劇場映画	新東宝
61.矢車剣之助	1959年5月6日～1961年2月3日	91	テレビ	日米映画
62.遊星王子	1959年5月19日公開	1	劇場映画	東映東京
63.遊星王子　恐怖の宇宙船	1959年5月25日公開	1	劇場映画	東映東京
64.七色仮面(新・七色仮面)	1959年6月3日～1960年6月30日	57	テレビ	東映
65.豹の目	1959年7月12日～1960年3月27日	38	テレビ	ラジオ東京テレビ
66.崑ちゃんのとんま天狗	1959年9月5日～1960年12月24日	69	テレビ	東宝テレビ部
67.日本誕生	1959年11月1日	1	劇場映画	東宝
68.宇宙大戦争	1959年12月26日	1	劇場映画	東宝
69.海底人8283	1960年1月3日～1960年6月28日	26	テレビ	大映テレビ室
70.白馬童子	1960年1月5日～1960年9月20日	38	テレビ	東映

71.鉄人28号	1960年2月1日～1960年4月25日	13	テレビ	松崎プロダクション
72.まぼろし探偵　地底人襲来	1960年2月14日公開	1	劇場映画	新東宝
73.白馬童子　南蛮寺の決斗	1960年3月29日公開	1	劇場映画	東映
74.怪獣マリンコング	1960年4月3日～1960年9月25日	26	テレビ	ニッサンプロダクション
75.快傑ハリマオ	1960年4月5日～1961年6月27日	65	テレビ	宣弘社プロダクション
76.電送人間	1960年4月10日公開	1	劇場映画	東宝
77.白馬童子　南蛮寺の決斗　完結篇	1960年4月12日公開	1	劇場映画	東映
78.大江山酒天童子	1960年4月27日公開	1	劇場映画	大映
79.CQ！ペット21	1960年6月8日～1961年3月1日	39	テレビ	日本テレビ
80.アラーの使者	1960年7月7日～1960年12月27日	26	テレビ	東映
81.ナショナルキッド	1960年8月4日～1961年4月27日	39	テレビ	東映
82.少年探偵団	1960年11月3日～1963年9月26日	152	テレビ	フジテレビ
83.まぼろし探偵　恐怖の宇宙人	1960年11月19日公開	1	劇場映画	新東宝
84.まぼろし探偵　幽霊塔の大魔術団	1960年12月3日公開	1	劇場映画	新東宝
85.琴姫七変化	1960年12月31日～1962年12月29日	105	テレビ	日本電波映画
86.少年ケニヤ	1961年5月4日～1962年2月8日	41	テレビ	東映
87.新少年ジェット	1961年7月2日～1962年4月1日	26	テレビ	大映テレビ室
88.恐怖のミイラ	1961年7月4日～1961年10月3日	14	テレビ	宣弘社プロダクション
89.宇宙快速船	1961年7月19日公開	1	劇場映画	東映
90.モスラ	1961年7月30日公開	1	劇場映画	東宝
91.世界大戦争	1961年10月8日公開	1	劇場映画	東宝
92.釈迦	1961年11月1日公開	1	劇場映画	大映
93.妖星ゴラス	1962年3月21日公開	1	劇場映画	東宝
94.鮫神	1962年7月15日公開	1	劇場映画	大映
95.キングコング対ゴジラ	**1962年8月11日公開**	1	劇場映画	東宝
96.隠密剣士	1962年10月7日～1965年3月28日	128	テレビ	宣弘社プロダクション
97.秦・始皇帝	1962年11月1日公開	1	劇場映画	大映
98.風速七十五米	1963年7月15日公開	1	劇場映画	大映
99.伊賀の影丸	1963年7月24日公開	1	劇場映画	東映京都
100.マタンゴ	1963年8月11日	1	劇場映画	東宝
101.宇宙Gメン	1963年8月20日～1963年10月8日	13	テレビ	日本電波映画
102.海底軍艦	1963年12月22日公開	1	劇場映画	東宝
103.忍者部隊月光	1964年1月3日～1966年10月2日	130	テレビ	国際放映
104.モスラ対ゴジラ	**1964年4月29日公開**	1	劇場映画	東宝
105.宇宙大怪獣ドゴラ	1964年8月11日	1	劇場映画	東宝
106.三大怪獣　地球最大の決戦	**1964年12月20日公開**	1	劇場映画	東宝
107.フランケンシュタイン対地底怪獣	1965年8月8日公開	1	劇場映画	東宝
108.009！大あばれ、とんま天狗	1965年10月2日～1966年6月25日	不明	テレビ	よみうりテレビ、東映京都
109.ガメラ	**1965年11月27日公開**	1	劇場映画	大映
110.怪獣大戦争	**1965年12月19日公開**	1	劇場映画	東宝

表－1 を概観すると、戦時中から特撮映像作品は制作されてきたことがわかる。戦後に入ると、大衆娯楽の対象として映画が隆盛を極めるようになった。1958 年には日本の映画人口は 11 億 2700 万人に達するなど [144]、映画が国民娯楽の殿堂として機能していく中、我が国初の特撮怪獣映画として制作されたのは、1954 年 11 月 3 日に東宝より公開された『ゴジラ』であった。

1954 年 3 月 1 日に米国が行ったビキニ環礁の水爆実験、また第五福竜丸事件（註 1）によって太古の恐竜（ゴジラ）が目覚め、東京を蹂躙するという内容で公開された。国内の観客動員数 960 万人を記録した『ゴジラ（1954）』は、作品タイトルを『Godzilla：King Of　Monsters』と改題して、海外市場にも輸出された。1956 年に米国のブロードウェイのロウズステイト劇場で公開された本作は、公開 4 日間で 1 万 7 千ドル（当時価格約 600 万円）を記録した [145]。

上述したように、国内公開だけでなく海外市場にも輸出された『ゴジラ（1954）』であるが、東宝制作の特撮怪獣映画の潮流が変わったのは、1956 年に発表された経済白書 [146] に

おいて「もはや戦後ではない」と発表されて以降のことであった。経済白書[147]の発表は、これまで核実験や被曝といった、戦後日本の風情を漂わせてきた『ゴジラ（1954）』と、その次回作『ゴジラの逆襲（1955）』を発表してきた東宝のゴジラシリーズに影響を与えた。これを機に、シリーズ 3 作目となる『キングコング対ゴジラ（1962）』以降は、明るい作風へとシリーズの内容が変化するようになった。出演者のコミカルな芝居や、ゴジラの戦力に頭を掻きながら敵前逃亡するキングコングの姿等、笑いを含めた娯楽性が強調された。その結果、『キングコング対ゴジラ（1962）』の観客動員数は、昭和に制作されたシリーズ最高の 1,255 万人を記録した[138]。

『キングコング対ゴジラ（1962）』のヒット以降、ゴジラやその他の怪獣達が出演する特撮怪獣映画が次々と発表され、東京オリンピック開催年の 1964 年にはピークを迎えた。

つまり、ゴジラと並ぶ東宝のスター怪獣であるモスラとの対決を描写した『モスラ対ゴジラ（1964）』、モスラの説得によってゴジラとラドンが団結し、宇宙からやってきたキングギドラから地球を防衛する『三大怪獣地球最大の決戦（1964）』、また新怪獣ドゴラが単独出演した『宇宙大怪獣ドゴラ（1964）』が公開される等、1964 年は、1 年に 3 本の特撮怪獣映画が公開される異例の年となった。

東京オリンピック閉幕後も、国内での特撮怪獣映画の躍進は留まることはなく、さらに東宝以外の映像制作会社からも、続々と特撮怪獣映画が発表された。

東宝はその後も、『怪獣大戦争（1965）』、『ゴジラ・エビラ・モスラ　南海の大決闘（1966）』等のゴジラシリーズを継続する傍ら、日米合作の『フランケンシュタイン対地底怪獣（バラゴン）（1965）』、『フランケンシュタインの怪獣サンダ対ガイラ（1966）』、『キングコングの逆襲（1967）』等の特撮怪獣映画を次々に発表していった。

また、東宝と並んで『羅生門（1950）』や『雨月物語（1953）』等の文学作品の映画化で、海外市場での成功を収めていた大映も特撮怪獣映画『ガメラ（1965）』の制作に着手した。

恐竜を模した二足歩行の怪獣ゴジラとは異なり、巨大な亀をモチーフに「子どもの味方」という設定が与えられた怪獣ガメラであるが、大映が『大怪獣ガメラ（1965）』の制作に至った背景には、テレビメディアの台頭による映画産業の斜陽化が挙げられる。

日本映画は 1958 年に劇場動員数 11 億人を記録したものの、1960 年代以降に家庭でのテレビ受像機普及により観客動員数が激減した。その煽りを受けて、興行成績不振に陥った大映は、打開策としてこれまで東宝が独占的に発信していた特撮怪獣映画の制作に着手し、大映特撮怪獣映画第一作として『大怪獣ガメラ（1965）』が誕生することとなった[147]。

一方、新たな映像メディアとして我が国で定着したテレビでは、1958 年 2 月 24 日に、川内康範の原作・脚本による『月光仮面』が放映を開始し、我が国初の特撮ヒーロー番組となった。『月光仮面（1958）』が制作された背景には、1958 年当時、テレビで放映する純国産のテレビ番組が不足していたことが挙げられる（註 2）。数多くの外国製（主に米国）のテレビドラマが輸入され、我が国のテレビを台頭していく状況の中、広告代理店の宣弘社の「アメリカ製のような面白いドラマが作れないものか」という考えと、外国産のテレビドラマの隆盛を苦々しく思っていた作家・川内康範の「外国ばかりに金を払ってけしからん。もっと日本人に金が回さなければ」という考えが一致し、我が国独自のスーパーヒーロー番組として『月光仮面（1958）』が誕生した[148]。「憎むな、殺すな、赦しましょう」の非戦闘を提唱し、悪の秘密組織と戦う月光仮面の姿を描写した本作は、当初 10 分の放映枠であったが、後に 30 分番組へと昇格するなどの社会現象的ヒットを記録した。番組

のヒットと共に予算も向上し、ミニチュアで製作された街を破壊する着ぐるみ怪獣が登場する回も発信される等、怪獣映画を踏襲した娯楽性が強化された（註 3)。悪の組織と、仮面を被ったヒーローとの対決、巨大な怪獣の登場等、様々な要素が番組に導入された『月光仮面（1958)』は、後の特撮映像作品の礎的な作品となり、上述した要素は後続の特撮映像作品に継承されてきた（註 4)。

『月光仮面（1958)』以降も、東宝制作の『遊星王子（1958)』、ラジオ東京製作の『まぼろし探偵（1959)』、東映制作の『七色仮面（1959)』等、各映像制作会社は次々と特撮映像作品の発信が精力的に行われるようになった。さらに、我が国初の特撮怪獣番組『怪獣マリンコング』が 1960 年 4 月 3 日に放映を開始したことにより、これまで映画を拠点としてきた特撮怪獣は、次第にテレビへと活躍の場を移行していくことになった。

総括してこの時代は、戦時中に公開された東宝制作の『ハワイ・マレー沖海戦』が我が国初の特撮映像作品として公開されて以降、戦後を経て特撮映像作品は量産されるようになった。さらに、東宝制作の『ゴジラ（1954)』シリーズや大映制作の『ガメラ（1965)』が公開される等、特撮怪獣映画が台頭していったが、やがて家庭用テレビの普及に伴い、宣弘社制作の『月光仮面（1958)』が放映を開始した。つまり、映画と共にテレビでも特撮映像作品の発信が開始された時代でもあった。

補註

註 1：第五福竜丸事件とは、1954 年 3 月 1 日に米国により太平洋ビキニ環礁にて行われた水爆実験により発生した、放射性物質「死の灰」が日本漁船「第五福竜丸」に被害を与え、乗船していた船員 23 名が被曝した事件である。当事件は、戦時中の広島、長崎に続く「第三の被曝」として社会的に認知され、反核運動のきっかけとなった。『ゴジラ（1954)』では、この水爆実験によって太古の恐竜が目覚め、東京を破壊するという内容で制作されており、核の恐怖を「怪獣」という形で表現した作品となっている。

註 2：1950 年代に国内で発信されたテレビ番組は、主に米国で制作されたテレビ番組が数多く発信されており、1955 年から 1960 年にかけては、『名犬リンチンチン（1956)』、『ハイウェイ・パトロール（1956)』、『スーパーマン（1956)』、『ララミー牧場（1960)』等が放映された。

註 3：『月光仮面』は 1958 年 2 月 24 日から 1959 年 7 月 5 日の放映期間中、全 5 部構成で 130 話が放映された。本作が月曜から土曜までの毎日午後 6 時から 10 分間の帯番組として開始された当初は、「第 1 部・どくろ仮面」が放映された。その後、毎週日曜日午後 6 時からの 30 分番組に昇格した後は「第 2 部・バラダイ王国の秘宝」が放映された。以降、怪獣マンモス・コングが登場した「第 3 部　マンモス・コング」、「第 4 部　幽霊党の逆襲」、「第 5 部　その復讐に手を出すな」が放映された。

註 4：『月光仮面（1959)』は、主に月光仮面と悪の秘密組織（どくろ仮面、サタンの爪、幽霊党）との戦いを描写しており、この「ヒーロー対悪の組織」で番組を成立させる構図は、本作の原作者である川内広範が後に手掛けた特撮ヒーロー番組『愛の戦士レインボーマン（1972)』や、『ダイヤモンド・アイ』の 2 作品（共に東宝制作）にも継承された。

5－2.第一次怪獣ブーム

この時代は、これまで「娯楽の王様」として国民生活の中で親しまれてきた映画産業が、

家庭用テレビの普及により斜陽となっていった結果、国民の娯楽対象が映画からテレビへと移行する形となり、各映像制作会社の特撮映像作品も、映画と並んでテレビでも発信されていくようになった。また、1966 年 1 月 2 日より円谷プロ制作の特撮怪獣番組『ウルトラ Q』の放映が開始されたことにより、特撮怪獣は映画からテレビへと活躍の場を拡大して精力的に発信されるようになった。『ウルトラ Q（1966)』がヒットしたことに伴い、国内では特撮怪獣を対象とした最初のムーブメントである「第一次怪獣ブーム」[149)] が、子ども達を中心に発生した。この時代に発信された、主な特撮映像作品全 48 作品 666 本の一覧は表－17 の通りである。

表－17.第一次怪獣ブーム（全 48 作品 666 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.ウルトラQ	1966年1月2日～1966年7月3日	28	テレビ	円谷プロ
2.大魔神	1966年4月17日公開	1	劇場映画	大映
3.大怪獣決闘 ガメラ対バルゴン	1966年4月17日公開	1	劇場映画	大映
4.マグマ大使	1966年7月4日～1967年9月25日	52	テレビ	ピー・プロ
5.ウルトラマン 空想特撮シリーズ	1966年7月17日～1967年4月9日	39	テレビ	円谷プロ
6.大忍術映画ワタリ	1966年7月21日公開	1	劇場映画	東映京都
7.フランケンシュタインの怪獣サンダ対ガイラ	1966年7月31日公開	1	劇場映画	東宝
8.わんぱく砦	1966年8月7日～1967年6月11日	不明	テレビ	朝日放送
9.大魔神怒る	1966年8月13日公開	1	劇場映画	大映
10.悪魔くん	1966年10月6日～1967年3月30日	26	テレビ	東映
11.快獣ブースカ	1966年11月9日～1967年9月27日	47	テレビ	円谷プロ
12.大魔神逆襲	1966年12月10日公開	1	劇場映画	大映
13.ゴジラ・エビラ・モスラ 南海の大決闘	1966年12月17日公開	1	劇場映画	東宝
14.黄金バット	1966年12月21日公開	1	劇場映画	東映
15.大怪獣空中戦 ガメラ対ギャオス	1967年3月15日公開	1	劇場映画	大映
16.宇宙大怪獣ギララ	1967年3月25日公開	1	劇場映画	松竹
17.仮面の忍者赤影	1967年4月5日～1968年3月27日	52	テレビ	関西テレビ、東映京都
18.キャプテンウルトラ	1967年4月16日～1967年9月24日	24	テレビ	東映
19.大巨獣ガッパ	1967年4月22日公開	1	劇場映画	日活
20.コメットさん	1967年7月3日～1968年12月30日	79	テレビ	国際放映
21.キングコングの逆襲	1967年7月22日	1	劇場映画	東宝
22.光速エスパー	1967年8月1日～1968年1月23日	26	テレビ	宣弘社
23.ウルトラセブン	1967年10月1日～1968年9月8日	49	テレビ	円谷プロ
24.怪獣王子	1967年10月2日～1968年3月25日	26	テレビ	東映東京
25.ジャイアントロボ	1967年10月11日～1968年4月1日	26	テレビ	東映東京
26.怪獣島の決戦 ゴジラの息子	1967年12月16日公開	1	劇場映画	東宝
27.アゴン	1968年1月2日～1968年1月5日	4	テレビ	日本電波映画
28.ガメラ対宇宙怪獣バイラス	1968年3月20日公開	1	劇場映画	大映
29.妖怪百物語	1968年3月21日公開	1	劇場映画	大映
30.マイティジャック	1968年4月6日～1968年6月29日	13	テレビ	円谷プロ
31.戦え！マイティジャック	1968年7月6日～1968年12月28日	26	テレビ	円谷プロ
32.怪獣総進撃	1968年8月1日公開	1	劇場映画	東宝
33.怪奇大作戦	1968年9月15日～1969年3月9日	26	テレビ	円谷プロ
34.河童の三平 妖怪大作戦	1968年10月4日～1969年3月28日	26	テレビ	東映
35.バンパイヤ	1968年10月5日～1969年3月29日	26	テレビ	虫プロ商事株式会社
36.妖怪大戦争	1968年12月14日公開	1	劇場映画	大映
37.蛇娘と白髪魔	1968年12f月14日公開	1	劇場映画	大映
38.魔神バンダー	1969年1月5日～1969年3月30日	13	テレビ	NMCプロ
39.無用ノ介	1969年3月1日～1969年9月20日	19	テレビ	国際放映
40.妖術武芸帳	1969年3月16日～1969年6月8日	13	テレビ	東映京都
41.ガメラ対大悪獣ギロン	1969年3月21日公開	1	劇場映画	大映
42.東海道お化け道中	1969年3月21日公開	1	劇場映画	大映
43.四谷怪談 お岩の亡霊	1969年6月28日公開	1	劇場映画	大映
44.緯度0大作戦	1969年7月26日公開	1	劇場映画	東宝
45.ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃	1969年12月20日公開	1	劇場映画	東宝
46.透明剣士	1970年3月15日公開	1	劇場映画	大映
47.ガメラ対大魔獣ジャイガー	1970年3月21日公開	1	劇場映画	大映
48.ゲゾラ・ガニメ・カメーバ 決戦！南海の大怪獣	1970年8月1日公開	1	劇場映画	東宝

第一次怪獣ブームの時代は、以上 48 の特撮映像作品が、テレビと映画を対象に発信されていた。表－17 を概観すると、第一次怪獣ブームの影響を受けて、各映像製作会社によって特撮怪獣番組または特撮怪獣映画が発信されてきたことがわかる。

第一次怪獣ブームの口火を切ったのは、1966 年 1 月 2 日より放映を開始した円谷プロ制作の『ウルトラ Q』であった。当番組は円谷プロと TBS の企画により、日曜日午後 7 時の 30 分番組として放映され、スポンサーはタケダアワーであった[150)]。『ウルトラ Q（1966）』は、これまで映画でしか視聴することのできなかった怪獣が、毎週定刻になるとお茶の間のテレビで視聴できるというのが、子ども達に対するセールスポイントであった[139)]。

本作は、「もしも、日常生活のバランスが崩れたら」という世界観（本作ではアンバランスゾーンと呼称される）に突入した地球を舞台に、万城目淳と一平、江戸川由利子の 3 名が次々に起こる怪現象に挑んでいくという内容で（註 1）、放映当初は計 27 話が放映された（註 2）。『ウルトラ Q（1966）』は、1 話分の制作費が 5000 万円、撮影期間が全 28 話、1 年 3 ヶ月で製作され、着ぐるみで造型された怪獣も多数作品に登場した[150)]。着ぐるみでは、古代怪獣ゴメス（註 3）のような巨大な怪獣をはじめ、等身大で活躍したコイン怪獣カネゴン（註 4）や人口生命 M1 号、海底から出現した海底原人ラゴン、宇宙から飛来した隕石怪獣ガラモン（註 5）等の多種多様な怪獣が描写された。現在に至るまでの数々の人気怪獣を輩出した『ウルトラ Q（1966）』は人気番組となり、平均視聴率 32.2%と驚異的な数字を打ち出した[150)]。

『ウルトラ Q（1966）』の爆発的ヒットは、国内初の特撮怪獣を対象としたムーブメントである「第一次怪獣ブーム」を巻き起こすこととなり、ソフトビニール製の玩具や生活用品を筆頭とする怪獣の商品化が精力的に行われるようになった。本作を契機とした第一次怪獣ブームの台頭によって、円谷プロ以外の各映像制作会社も特撮怪獣映画を制作し、作品の発信を行なっていった。

一方、『ガメラ（1965）』を制作した大映は、米国の AIP テレビの発注に応じて、東西撮影所で『ガメラ』と『大魔神』をシリーズ化して発信した。また日活の『大巨獣ガッパ（1967）』や松竹の『宇宙大怪獣ギララ（1967）』も米国からの要請で制作された[145)]。こうした各映像制作会社による特撮怪獣映画が量産された背景には、当時の日本政府が外貨獲得の手段の一環として、邦画の輸出奨励を行っていたことが挙げられ、財政投融資 20 億円という政治的背景があった[145)]。当時輸出が好調であった映画産業を支援することで、外貨を獲得することを目的に、各映像制作会社はこぞって融資を申し込んでいた[151)]。

上述した邦画の輸出奨励の影響を受けて、大映は『大怪獣決闘ガメラ対バルゴン（1966）』、『大怪獣空中戦ガメラ対ギャオス（1967）』と『ガメラ（1965）』のシリーズ化を行なった他、巨大な偶像が圧政に苦しむ人々の祈りに応えて蘇り、悪を懲らしめる勧善懲悪をテーマとした特撮映画『大魔神（1966）』も、『大魔神怒る（1966）』、『大魔神逆襲（1966）』と、1 年間で全 3 作品が公開された。

第一次怪獣ブームは、円谷プロの『ウルトラ Q（1966）』放映終了後も沈静化することはなく、テレビでの特撮怪獣番組の発信は継続的に行なわれていた。1966 年 7 月 4 日より国産初のカラー放映による連続テレビ映画シリーズとして、ピー・プロ制作の『マグマ大使』が放映を開始した[152)]。番組の内容は、金色のロケット人間であるマグマ大使が、地球の征服者を自称するゴア率いる怪獣達と戦うというものであった。

さらに、ブームの発起人である円谷プロも 1966 年 7 月 17 日より、空想特撮シリーズ

『ウルトラマン（1966）』の放映を開始した。カラー放送で発信された本作は、M78 星雲からやってきた不死身の宇宙人（ウルトラマン）が、特捜チーム・科学特捜隊と共に地球を守る内容であった。『ウルトラマン（1966）』は、陸海空、あるいは宇宙から出現する怪獣や宇宙人達の猛攻に、特捜チーム「科学特捜隊」が迎え撃つが、彼らの力が及ばなくなった時に、科学特捜隊のハヤタ・シン隊員が、変身アイテム「ベータカプセル」を点火して身長 40m、体重 3 万 5 千トンの巨大ヒーロー・ウルトラマンへと変身する。3 分間の死闘の末に、ウルトラマンはスペシウム光線をはじめとする必殺技で勝利する。戦いを終えるとウルトラマンは空を飛び、ハヤタ隊員の姿へと戻るが、他の隊員達はその事実を知らないという物語で毎週放送された。この物語編成は、後に制作されるウルトラシリーズの基盤として定着するようになった（註 6）。

前作『ウルトラ Q（1966）』に続き、『ウルトラマン（1966）』にも個性的な怪獣や宇宙人が、各話に登場した。故郷の星を失った放浪者である宇宙忍者バルタン星人（註 7）や、多々良島の怪獣チャンピオンであるどくろ怪獣レッドキング（註 8）、ウルトラマンを倒した宇宙恐竜ゼットン（註 9）等をはじめ、宇宙怪獣ベムラー（註 10）や、大阪城を破壊した古代怪獣ゴモラ（註 11）や、3 つの顔を持つ三面怪人ダダ（註 12）、紳士的な態度の悪質宇宙人メフィラス星人（註 13）等の、現在に至る人気怪獣や宇宙人を次々と輩出した。

こうした巨大なヒーローが怪獣に立ち向かう内容で毎週放映されてきた『ウルトラマン（1966）』は、平均視聴率 36.8%を記録し[153)]、本作の最高視聴率は 1967 年 3 月 26 日に放映された第 37 話「小さな英雄」にて 42.8%と驚異的な数値を記録した[153)]。大成功を収めた『ウルトラマン（1966）』は円谷プロの代表作となり、50 年以上に渡りシリーズ化された。さらに円谷プロは『ウルトラマン（1966）』と同時期に、人間と友達の「快獣」（註 14）ブースカが、子ども達と騒動を繰り広げる特撮怪獣番組『快獣ブースカ（1966）』の放映も開始した。

『ウルトラマン（1966）』の放映終了後、円谷プロは 1967 年 10 月 1 日に『ウルトラセブン』の放映を開始した。前作『ウルトラマン（1966）』が怪獣中心の物語であったのに対し、『ウルトラセブン（1967）』では地球をねらう侵略宇宙人と地球防衛軍（特捜チーム・ウルトラ警備隊（註 15））との戦闘が描写された。『ウルトラセブン（1967）』の物語は、M78 星雲より恒点観測員 340 号として派遣されたウルトラセブンが、地球を狙う宇宙人達との戦闘のために、ウルトラ警備隊のモロボシ・ダン隊員に変身して地球に留まり（註 16）、幾千の星からやって来る侵略宇宙人や宇宙怪獣達から地球を守る内容であった。また、本作では宇宙人故に苦悩するモロボシ・ダンの姿等（註 17）、特撮を使用した場面だけでなく、放送当時の国際情勢を反映させた作風も特徴であった。

また、『ウルトラセブン（1967）』でも、前作『ウルトラ Q（1966）』や『ウルトラマン（1966）』と同様、多数の人気怪獣や宇宙人が本作から輩出された。モロボシ・ダン隊員が変身不能に陥った際に、ウルトラセブンに代わって戦う 3 体のカプセル怪獣（註 18）をはじめ、変身怪人ピット星人が操る宇宙怪獣エレキング（註 19）や、人間同士の信頼関係を崩壊させ地球を侵略しようとした幻覚宇宙人メトロン星人（註 20）、ペダン星のスーパーロボットであるキングジョー（註 21）、ウルトラセブンに一度は勝利した分身宇宙人ガッツ星人（註 22）等が登場した。

ここまで上述してきた『ウルトラセブン（1967）』の最高視聴率は 33.8%、平均視聴率 26.5%を記録した[153)]。数字の面では『ウルトラマン（1966）』に及ばなかったものの、後

の続編の制作（註 23）や、1970 年代に制作されたウルトラシリーズにおける幾度に渡っての客演等（註 24)、後のウルトラシリーズにおける人気作品として定着した。

『ウルトラセブン（1967)』の放映終了後、円谷プロは巨大ヒーローが登場する特撮映像作品の制作を中断した。また円谷プロと共に、第一次怪獣ブームを牽引してきた東宝制作のゴジラシリーズも観客動員数が減少傾向にあり（註 25)、第一次怪獣ブームは次第に沈静化していった（註 26)。さらに、1970 年 1 月 25 日に円谷プロ創始者である円谷英二が逝去したことにより、第一次怪獣ブームは終焉を迎え、特撮映像作品の歴史は大きな転換点を迎えることとなった。

以上を総括すると、第一次怪獣ブームとは、1966 年 1 月 2 日に放映を開始した『ウルトラ Q』の爆発的なヒットにより、我が国初の特撮怪獣を対象としたムーブメントが発生した時代であった。円谷プロを筆頭とする各映像制作会社による特撮怪獣番組の放映が隆盛を極めていたが、『ウルトラセブン（1967)』の放映終了以降に沈静化した。さらに、円谷プロの創始者である円谷英二の逝去により、第一次怪獣ブームは終焉を迎えた。

補註

註 1：『ウルトラ Q』第 15 話「カネゴンの繭」では、本作で唯一、万城目と一平、由利子の主人公 3 名が登場していない。

註 2：『ウルトラ Q』第 28 話「あけてくれ！」のみ、本放送において放映されず、再放映時に初放映された。また、本放送時において 1966 年 7 月 10 日に放映予定だった「あけてくれ！」の放映枠は、翌週の 7 月 17 日から放映が開始される『ウルトラマン』を PR する番組内容である『ウルトラマン前夜祭』に差し替えられている。

註 3：古代怪獣ゴメスとは、1966 年 1 月 2 日に放映された『ウルトラ Q』第 1 話「ゴメスを倒せ！」にて初登場した。ゴメスの着ぐるみは東宝の特撮怪獣映画『モスラ対ゴジラ（1964)』に登場したゴジラ（「モスゴジ」と呼称される）の着ぐるみが改造されたものである。ゴメスは、『ウルトラマンサーガ（2012)』や『ウルトラマン X（2015)』といった 21 世紀以降のウルトラシリーズにて度々再登場を果たしていた。

註 4：コイン怪獣カネゴンは、1966 年 4 月 10 日放映の『ウルトラ Q』第 15 話「カネゴンの繭」で初登場した。お金が大好きな少年、加根田金男が不思議な繭に吸い込まれて変身した怪獣で、胸のカウンターが 0 になると死んでしまう。カネゴンは初登場後、以降のウルトラシリーズにおいて再登場を度々果たしており、映画作品では『ウルトラマンゼアス 2　超人大戦・光と影（1997)』では宇宙カード珍獣デジタルカネゴンが登場した他、テレビシリーズでは『ウルトラ Q～dark fantasy～』にて、コイン怪獣カネゴンヌが登場した。

註 5：隕石怪獣ガラモンは、1966 年 3 月 27 日放映『ウルトラ Q』第 13 話「ガラダマ」にて初登場した、チルソニア遊星出身の宇宙怪人セミ人間によって送り込まれた、ロボット怪獣として描写された。

註 6：『ウルトラマン（1966)』にて描写された、特捜チームに所属する主人公の正体がウルトラマンであり、他のチームメンバーはその事実を知らないというシステムは『ウルトラマンメビウス（2006)』までのウルトラシリーズを通じて毎作品継承されてきた（主人公がウルトラマンに変身しない『ウルトラマンネクサス（2004)』は除く）。

註 7：宇宙忍者バルタン星人は、1966 年 7 月 24 日放映の『ウルトラマン』第 2 話「侵略者を撃て」にて初登場した。『ウルトラマン（1966)』だけでもバルタン星人は 2 代目、3 代

目と、3 度に渡って登場した。バルタン星人はその後も『ウルトラファイト（1971)』や『帰ってきたウルトラマン（1972)』、『ザ☆ウルトラマン（1979)』、『ウルトラマン 80（1980)』などのテレビシリーズにも登場するなど、以降のウルトラシリーズに度々再登場する人気キャラクターとして定着した。元号が平成に入って以降に制作されたウルトラシリーズでも、『ウルトラマンパワード（1993)』や、『ウルトラマンコスモス（2001)』、『ウルトラマンマックス（2006)』などのテレビシリーズに出演した。

註 8：どくろ怪獣レッドキングは 1966 年 9 月 4 日放映の『ウルトラマン』第 8 話「怪獣無法地帯」にて友好珍獣ピグモンと共に初登場した。バルタン星人同様、両者はウルトラシリーズを通して幾度も再登場した。レッドキングは『ザ☆ウルトラマン（1979)』や、『ウルトラマン 80（1981)』、『ウルトラマンメビウス（2007)』、『ウルトラマンギンガ（2013)』、『ウルトラマン X（2015)』等のテレビシリーズに再登場した他、ピグモンと共に『ウルトラマンパワード（1994)』、『ウルトラマンマックス（2005)』にも再登場した。

註 9：宇宙恐竜ゼットンは 1967 年 4 月 9 日放映の『ウルトラマン』第 39 話「さらばウルトラマン」で初登場した、ウルトラマンを敗北に追い込んだ最強の怪獣である。ゼットンは、『帰ってきたウルトラマン（1972)』や『ウルトラマンパワード（1994)』、『ウルトラギャラクシー大怪獣バトル（2008)』の最終回において、物語の終幕を飾る最強の存在として登場した他、ゼットンの強化体であるハイパーゼットンが映画『ウルトラマンサーガ(2012)』やテレビシリーズの『ウルトラマンギンガ S（2014)』、『ウルトラマンオーブ（2016)』に登場した。

註 10：宇宙怪獣ベムラーは、1966 年 7 月 17 日に放映された『ウルトラマン』第 1 話「ウルトラ作戦第一号」で初登場した。ベムラーはその後のウルトラシリーズにも再登場し、映画『大怪獣バトル　ウルトラ銀河伝説（2009)』や、テレビシリーズでは『ウルトラマンギンガ S（2014)』、『ウルトラマン X（2015)』に登場した。

註 11：古代怪獣ゴモラは、1967 年 1 月 8 日に放映された『ウルトラマン』第 26 話「怪獣殿下　前篇」で初登場した。ゴモラはその後も『ウルトラマン 80（1980)』や『ウルトラマンパワード（1993)』、『ウルトラマンマックス（2005)』等、後のウルトラシリーズに度々出演した。また、2007 年 12 月 1 日より放映された『ウルトラギャラクシー　大怪獣バトル』では、主人公レイが操る正義の主役怪獣として登場した。

註 12：三面怪人ダダは 1967 年 1 月 22 日放映の『ウルトラマン』第 28 話「人間標本 5・6」で初登場した。ダダはその後、『ウルトラマンパワード（1993)』や『ウルトラギャラクシー大怪獣バトル　NEVER　ENDING　ODYSSEY（2008)』、『ウルトラマン X（2015)』等のテレビシリーズに再登場した。

註 13：悪質宇宙人メフィラス星人は、1967 年 2 月 26 日放映の『ウルトラマン』第 33 話「禁じられた言葉」にて初登場した。メフィラス星人も他の怪獣達と同様に、『ウルトラマンタロウ（1973)』、『ウルトラマンメビウス（2007)』、『ウルトラマンオーブ（2016)』等の以降のウルトラシリーズにて再登場した。

註 14：『快獣ブースカ（1966)』に登場する快獣ブースカは、屯田大作（とんだだいさく）少年によって創作された、人間と友達になれる怪獣、通称「快獣」である。本作では、ブースカ以外の「快獣」の登場や、複数の怪獣や宇宙人の登場が散見できたため、特撮怪獣番組として文中に呼称した。ブースカ以外の「快獣」の登場には、宇宙生命とリスが物体伝送構成装置によって融合して誕生した宇宙快獣チャメゴン（本作第 26 話「チャメゴン誕

生」で初登場）が登場した。また、本作第 9 話「ブースカの大冒険」には凶悪怪獣イモラ（着ぐるみは「ウルトラマン（1966）」に登場した赤色火炎怪獣バニラの改造）等が登場した他、宇宙人には、宇宙魔王カボチャ星人（本作 35 話「銀河へ行こう！」に登場）やチャメ星人（本作第 41 話「宇宙の王様」）等が登場し、ブースカらと騒動を繰り広げる存在として描写された。

註 15：「ウルトラ警備隊」とは、宇宙からやって来る侵略者達からの地球防衛を任とする、7 人の地球防衛軍極東基地の精鋭達として描写された。モロボシ・ダン（＝ウルトラセブン）が所属し、ウルトラホーク等の主力戦闘機や、パトロール車両のポインター、地底大型戦車マグマライザーや深海戦闘機のハイドランジャー等の戦闘兵器を配備している設定であるため、『ウルトラセブン（1967）』本編では、これらの模型を制作・描写した演出が多々確認できた。

註 16：『ウルトラマン（1966）』では M78 星雲からやってきたウルトラマンが、科学特捜隊のハヤタ・シン隊員と一心同体（乗り移り）となって地球に滞在する内容で物語が進行したが、『ウルトラセブン（1967）』では、ウルトラセブンが、地球の勇敢な青年・薩摩次郎の姿をモデルに、彼の姿をモデルに地球人に変身し、「モロボシ・ダン」を名乗って地球に滞在する内容で物語が展開された。

註 17：『ウルトラセブン（1967）』のモロボシ・ダンは、ウルトラセブンが地球人に変身した姿である故、地球人が宇宙で展開する核実験への反発や（1968 年 3 月 31 日放映「ウルトラセブン」第 26 話「超兵器 R1 号」）、地球上での民族差別に苦悩する展開等（1968 年 7 月 21 日放映『ウルトラセブン』第 42 話「ノンマルトの使者」）、モロボシ・ダンの宇宙人故の心理的葛藤が度々描写された。『ウルトラセブン（1967）』が放映されていた当時の国際情勢には、米国とソ連の東西冷戦やその代理戦争ともいえるベトナム戦争が行なわれていたことを背景に、『ウルトラセブン（1967）』本編でも「地球人」と「宇宙人」が掲げるそれぞれの正義や、異なる部族に対する人間のエゴイズム等を描写し、視聴者に問題提起する作風が含まれていた。

註 18：カプセル怪獣とは、普段はモロボシ・ダン（＝ウルトラセブン）が所有する小型ケースの中に収納されているカプセルの中で小型化されているが、モロボシ・ダンが何らかの原因によりウルトラセブンへの変身が不可能となった際に、怪獣や宇宙人と応戦するためにカプセルから巨大化して出現する 3 体の怪獣達のことである。メタル星出身でロボットのような外見が特徴的なカプセル怪獣ウインダム、バッファロー星出身の怪力の持ち主であるカプセル怪獣ミクラス、アニマル星出身で俊敏な動きが特徴的なカプセル怪獣アギラが登場した。

註 19：宇宙怪獣エレキングは 1967 年 10 月 15 日放映の『ウルトラセブン』第 3 話「湖のひみつ」で初登場した。エレキングは『ウルトラマンタロウ（1973）』や『ウルトラマンマックス（2005）』、『ウルトラマンギンガ S（2014）』等、後のウルトラシリーズにおいても、幾度も再登場した。

註 20：幻覚宇宙人メトロン星人は 1967 年 11 月 19 日放映の『ウルトラセブン』第 8 話「狙われた街」に初登場した。メトロン星人はその後も、『ウルトラマン A（1972）』や『ウルトラマンギンガ S（2014）』、『ウルトラマンオーブ（2016）』等のテレビシリーズにて度々再登場した。

註 21：宇宙ロボットキングジョーは 1968 年 1 月 7 日放映の『ウルトラセブン』第 14 話

「ウルトラ警備隊　西へ」にて初登場した。キングジョーは、『ウルトラマンマックス(2005)』や『ウルトラマンギンガ S（2014)』、『ウルトラマン X（2015)』等、その後のウルトラシリーズにて幾度も再登場した。

註 22：分身宇宙人ガッツ星人は 1968 年 6 月 30 日放映『ウルトラセブン』第 40 話「セブン暗殺計画」にて初登場した。ガッツ星人は平成以降に制作されたウルトラシリーズに度々再登場しており、ビデオ作品『ウルトラセブン生誕 30 周年記念 3 部作　ウルトラセブン（1998)』をはじめ、映画『ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟（2006)』やテレビシリーズ『ウルトラマンギンガ S（2014)』等、様々な映像媒体を通じて登場した。

註 23：『ウルトラセブン（1967)』は、1994 年 3 月 21 日に放映された「太陽エネルギー作戦」を機にシリーズの続編が制作されるようになった。以降、「平成ウルトラセブンシリーズ」と題して続編が、2002 年の『EVOLUTION　5 部作』まで継続的に制作された。

註 24：『ウルトラセブン（1967)』の放映終了後、ウルトラセブンは 1971 年 8 月 6 日放映『帰ってきたウルトラマン』第 18 話「ウルトラセブン参上」を機に、「ウルトラ兄弟」の一員として、『ウルトラマン A（1972)』や『ウルトラマンタロウ（1973)』等の 1970 年代のウルトラシリーズに客演するようになった。また『ウルトラマンレオ（1974)』においてはウルトラマンレオ（＝おおとりゲン）が所属する宇宙パトロール隊 MAC のモロボシ・ダン隊長として就任する等、1970 年代のウルトラシリーズでは、ウルトラ兄弟最高の客演数を誇っている。

註 25：東宝制作のゴジラシリーズは、第一次怪獣ブームがピークを迎えていた 1966 年 12 月 17 日公開『ゴジラ・エビラ・モスラ　南海の大決闘』（観客動員数 421 万人）以降、観客動員数は減少傾向にあった。『怪獣島の決戦　ゴジラの息子』（1967 年 12 月 16 日公開）では 309 万人、『怪獣総進撃』（1968 年 8 月 1 日公開）では 258 万人と、作品の公開ごとに観客動員数は下降していた[154)]。

註 26：怪獣ブームの沈静化という時代背景を受けて、円谷プロは特撮怪獣番組の制作から、『怪奇大作戦（1968)』や『マイティジャック（1968)』等の、特定の組織機関があらゆる怪事件の解決を目指す作品の制作にシフトしていった。

5－3.第二次怪獣ブーム・変身ブーム

この時代は、1970 年 9 月 28 日に放映を開始した円谷プロ制作の特撮怪獣番組『ウルトラファイト』、また翌年の 1 月 2 日からピー・プロ制作の特撮ヒーロー番組『スペクトルマン』が放映を開始したことを契機に、特撮怪獣を主役とした特撮映像作品が再びテレビ番組として発信されるようになった。その結果、両作品の発信は、国内で二度目の特撮怪獣を対象とした「第二次怪獣ブーム」を巻き起こした[142)]。

しかし、1971 年 4 月 2 日より東映制作の特撮ヒーロー番組『仮面ライダー』が放映を開始したことにより、子ども達の視聴作品の対象は巨大な特撮怪獣から、等身大の特撮変身ヒーローに移行していくようになった。上述した『仮面ライダー（1971)』のヒットにより、「第二次怪獣ブーム」は特撮ヒーローを対象とした「変身ブーム」へと変質を遂げた[142)]。この「変身ブーム」の台頭により、円谷プロや東映等の各映像制作会社は次々と特撮ヒーロー番組を発信した。このような特撮ヒーロー番組の乱立によって飽和状態となった「変身ブーム」の時代は、特撮ヒーロー番組同士の生存競争を余儀なくされた時代でもあった。

しかし、隆盛を極めていた「変身ブーム」も、1973 年にピークを迎えて以降、次第に終

息の一途を辿り、子ども達の次なる興味の対象となった巨大ロボットアニメ番組にブームの座を明け渡す形となった。この時代に放映された主な特撮作品全 65 作品、2710 本は表－18 のとおりである。

表－18.第二次怪獣ブーム・変身ブーム（全 65 作品、2710 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.ウルトラファイト	1970年9月28日～1971年9月24日	196	テレビ	円谷プロ
2.スペクトルマン	1971年1月2日～1972年3月25日	63	テレビ	ピー・プロ
3.帰ってきたウルトラマン	1971年4月2日～1972年3月31日	51	テレビ	円谷プロ
4.仮面ライダー	1971年4月3日～1973年2月10日	98	テレビ	東映
5.ガメラ対深海怪獣ジグラ	1971年7月17日公開	1	劇場映画	大映
6.ゴジラ対ヘドラ	1971年7月24日公開	1	劇場映画	東宝
7.好き！すき！！魔女先生	1971年10月3日～1972年3月26日	26	テレビ	東映
8.シルバー仮面	1971年11月28日～1972年5月21日	26	テレビ	宣弘社、日本現代企画
9.ミラーマン	1971年12月5日～1972年11月26日	51	テレビ	円谷プロ
10.地球攻撃命令 ゴジラ対ガイガン	1972年3月12日公開	1	劇場映画	東宝
11.劇場版仮面ライダー対ショッカー	1972年7月16日公開	1	劇場映画	東映
12.快傑ライオン丸	1972年4月1日～1973年4月7日	54	テレビ	ピー・プロ
13.超人バロム1	1972年4月2日～1972年11月26日	35	テレビ	東映
14.ウルトラマンA	1972年4月7日～1973年3月30日	52	テレビ	円谷プロ
15.変身忍者嵐	1972年4月7日～1973年2月23日	47	テレビ	東映
16.レッドマン	1972年4月24日～1972年10月3日	138	テレビ	円谷プロ
17. 緊急指令10－4・10－10	1972年7月3日～1972年12月25日	26	テレビ	円谷プロ
18.トリプルファイター	1972年7月3日～1972年12月29日	26	テレビ	円谷プロ
19.人造人間キカイダー	1972年7月8日～1973年5月5日	43	テレビ	東映
20.劇場版仮面ライダー対じごく大使	1972年7月16日公開	1	劇場映画	東映
21.サンダーマスク	1972年10月3日～1973年3月27日	26	テレビ	東洋エージェンシー
22.行け！ゴッドマン	1972年10月5日～1973年9月28日	260	テレビ	東宝企画
23.愛の戦士レインボーマン	1972年10月6日～1973年9月28日	52	テレビ	東宝
24.突撃！ヒューマン！！	1972年10月7日～1972年12月30日	13	テレビ	ユニオン企画
25.アイアンキング	1972年10月8日～1973年4月8日	26	テレビ	宣弘社
26.怪獣大奮戦 ダイゴロウ対ゴリアス	1972年12月17日公開	1	劇場映画	円谷プロ
27.ファイヤーマン	1973年1月7日～1973年7月31日	30	テレビ	円谷プロ
28.恐怖劇場アンバランス	1973年1月8日～1973年4月2日	13	テレビ	円谷プロ
29.魔人ハンターミツルギ	1973年1月8日～1973年3月26日	12	テレビ	国際放映
30.ジャンボーグA	1973年1月17日～1973年12月29日	50	テレビ	円谷プロ
31.仮面ライダーV3	1973年2月17日～1974年2月9日	52	テレビ	東映
32.ゴジラ対メガロ	1973年3月17日公開	1	劇場映画	東宝
33.流星人間ゾーン	1973年4月2日～1973年9月24日	26	テレビ	東宝
34.白獅子仮面	1973年4月4日～1973年6月27日	13	テレビ	大和企画
35.ロボット刑事	1973年4月5日～1973年9月27日	26	テレビ	東映
36.ウルトラマンタロウ	1973年4月6日～1974年4月5日	53	テレビ	円谷プロ
37.風雲ライオン丸	1973年4月14日～1973年9月29日	25	テレビ	ピー・プロ
38.キカイダー01	1973年5月12日～1974年3月30日	46	テレビ	東映
39.スーパーロボット レッドバロン	1973年7月4日～1974年3月27日	39	テレビ	宣弘社
40.劇場版仮面ライダーV3対デストロン怪人	1973年7月18日公開	1	劇場映画	東映
41.イナズマン	1973年10月2日～1974年3月26日	25	テレビ	東映
42.ダイヤモンド・アイ	1973年10月5日～1974年3月29日	26	テレビ	東宝
43.鉄人タイガーセブン	1973年10月6日～1974年3月30日	26	テレビ	ピー・プロ
44.行け！グリーンマン	1973年11月12日～1974年9月27日	156	テレビ	東宝企画
45.日本沈没	1973年12月29日公開	1	劇場映画	東宝
46.仮面ライダーX	1974年2月16日～1974年10月12日	35	テレビ	東映
47.ゴジラ対メカゴジラ	1974年3月21日公開	1	劇場映画	東宝
48.ミラーファイト	1974年4月1日～1974年6月28日	65	テレビ	円谷プロ
49.電人ザボーカー	1974年4月6日～1975年9月28日	52	テレビ	ピー・プロ
50.イナズマンF	1974年4月9日～1974年9月24日	23	テレビ	東映
51.ウルトラマンレオ	1974年4月12日～1975年3月28日	51	テレビ	円谷プロ
52.劇場版5人ライダー対キングダーク	1974年7月25日公開	1	劇場映画	東映
53.がんばれ！！ロボコン	1974年10月4日～1977年3月25日	118	テレビ	東映
54.猿の軍団	1974年10月6日～1975年3月30日	26	テレビ	円谷プロ
55.スーパーロボット マッハバロン	1974年10月7日～1975年3月31日	26	テレビ	日本現代企画
56.仮面ライダーアマゾン	1974年10月19日～1975年3月29日	24	テレビ	東映
57.行け！牛若小太郎	1974年11月12日～1975年4月25日	156	テレビ	東宝企画
58.エスパイ	1974年12月28日	1	劇場映画	東宝
59.メカゴジラの逆襲	1975年3月15日公開	1	劇場映画	東宝
60.コンドールマン	1975年3月31日～1975年9月22日	24	テレビ	東映
61.仮面ライダーストロンガー	1975年4月5日～1975年12月27日	39	テレビ	東映
62.秘密戦隊ゴレンジャー	1975年4月5日～1977年3月26日	84	テレビ	東映
63.アクマイザー3	1975年10月7日～1976年6月29日	38	テレビ	東映
64.全員集合！7人の仮面ライダー	1976年1月3日	1	テレビ	東映
65.秘密戦隊ゴレンジャー 爆弾ハリケーン	1976年7月18日公開	8	劇場映画	東映

円谷プロ制作の『ウルトラセブン（1967）』が放映を終了した後、第一次怪獣ブームの終焉と共に、ウルトラシリーズは暫くの休眠期間を経ていた。しかし、怪獣を中心とした特撮映像作品は、TBS 系での『ウルトラファイト（1970）』の放映開始により復活する。

『ウルトラファイト（1970）』の放映開始の背景には、子ども達のウルトラシリーズへのニーズが向上したことが挙げられる。『ウルトラセブン（1967）』放映終了後も、『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』再放送が繰り返し行なわれ、『ウルトラマン（1966）』の再放映の視聴率は 18%を記録していた[155)]。また絵本やレコード付き冊子の発売等[156)]、ウルトラシリーズを求める子ども達のニーズが反映されつつあった。

こうした背景から放映された『ウルトラファイト（1970）』は、1970 年 9 月 28 日から 1971 年 7 月 2 日にかけて毎週月曜日から金曜日の午後 5 時 30 分から 5 分間番組（本編約 2 分 40 秒）のみの放映という帯番組として発信された。番組内容は、放映開始当初は『ウルトラマン（1966）』と『ウルトラセブン（1967）』本編から戦闘シーン（ウルトラマンと怪獣との戦い等）を抜粋し、これに TBS アナウンサーの山田二郎がプロレス中継さながらのナレーションを加えて、ウルトラマンと怪獣との激闘を実況中継するものであった。

こうした過去の映像作品を「抜粋」する形で番組を成立させていた本作であるが、『ウルトラファイト』放映開始第 72 話「大峡谷の決闘！」（1970 年 11 月 2 日放映）以降は、ウルトラセブンと怪獣達との激闘を新規撮影で放映する番組内容へと変化させた（註 1）。

また『ウルトラファイト（1970）』の放映が開始された翌年の 1971 年 1 月 2 日から、ピー・プロ制作の『宇宙猿人ゴリ』（以降『スペクトルマン』）が放映を開始した（註 2）。宇宙猿人ゴリとその腹心のラーが送り込む怪獣達（註 3）を、人工遊星ネヴュラ 71 からやってきたサイボーグ、スペクトルマンが迎え撃つ内容で放映された。

上記の円谷プロ制作『ウルトラファイト（1970）』やピー・プロ制作『スペクトルマン』のヒットはやがて、国内二度目の特撮怪獣を対象としたムーブメントである「第二次怪獣ブーム」の原動力となり、やがて怪獣ブームの発起人である円谷プロが、「ウルトラマン」をテレビ番組として帰還させたことによって、その人気はピークを迎えた。

1971 年 4 月 2 日より放映を開始した「帰ってきたウルトラマン」は、地殻変動によって怪獣達が活動を再開した地球を舞台に、人類の自由と幸福を脅かすあらゆる敵と戦うためにウルトラマンが帰ってくるという内容であった。本作は、主人公（＝ウルトラマンジャック）の未熟さが描写されたことが特徴であり、ウルトラマンが特捜チーム MAT 隊員・郷秀樹と一体化して地球を守る任に着くが、ウルトラマンに変身できることへの傲慢さから MAT のチームワークを乱す描写（註 4）の他、怪獣との戦いに敗北し特訓を行なう描写（註 5）、恋人と恩師の惨殺により乱心し、宇宙人の策略に陥る描写（註 6）など、前作『ウルトラマン（1966）』で見られた超人的な存在ではなく、人間の未熟さや繊細さを臭わせる新ヒーローであった。また、『ウルトラマン（1966）』や『ウルトラセブン（1967）』が近未来の地球を舞台にしていたのに対し、本作では 1970 年代当時の日本という現代劇で展開され、ヘドロ怪獣の出現描写（註 7）や、光化学スモッグ（註 8）等、放映当時の社会問題が物語に導入されているのも特徴であった。

1971 年 4 月 2 日より、毎週金曜日の午後 7 時の枠で放映された『帰ってきたウルトラマン』第 1 話「怪獣総進撃」は 26.4%と高視聴率を記録した。しかし、第 4 話「必殺！流星キック」以降の視聴率は 17～19%で安定することとなり、ウルトラセブンが再登場した第 18 話「ウルトラセブン参上！」においても視聴率は 20%に至らなかった[155)]。しかし、

ウルトラマンを苦戦させる宇宙怪獣や、ウルトラマンが使用する新兵器の導入等（註 9）の番組内容の強化によって、第 23 話「暗黒怪獣星を吐け！」では視聴率が 20%に到達するようになり、これ以降は番組放映常時 24～25%を記録するようになった[155]。最終的に平均視聴率 22.7%、最高視聴率 29.5%[153]と人気番組となった。

こうしたウルトラシリーズの視聴率の推移や、娯楽面での強化の背景には、もはや『ウルトラマン（1966)』や『スペクトルマン（1971)』において構築された「巨大ヒーロー対巨大怪獣」のみでの番組内容だけでは、子ども達の興味を堅持することが困難となったことが覗える。しかし、特撮ヒーロー番組は巨大ヒーロー番組だけでなく、等身大のヒーローが活躍する番組も次第に隆盛を極めるようになった。

1971 年 4 月 3 日より放映を開始した『仮面ライダー』は、原作者に石ノ森章太郎（註 10)、プロデューサーに平山亨（註 11）を迎え、等身大特撮ヒーロー番組として発信された。『仮面ライダー（1971)』は、世界征服をたくらむ悪の秘密結社ショッカーによって拉致され、「改造人間」となった本郷猛が、人間の自由のために仮面ライダーとなってショッカーが製造した改造人間達と戦う物語であった本作は、人間の異形の姿への「変身」をキーワードに、等身大のままで超人的なパワーを発揮するヒーローと、特殊能力を持つ怪人が日常的な情景の中で激突する描写が作品中に導入された。

『仮面ライダー（1971)』では、街を破壊する巨大な怪獣達と異なり、身近に迫る恐怖として等身大の「怪人」の概念が設定された。怪奇色が全面に押し出された悪の秘密結社ショッカーの怪人達（註 12）であるが、彼らも主人公の仮面ライダーと同じく「改造人間」であると共に、元は普通の人間であり、脳改造を施されたためにショッカーの一員として暗躍するという宿命を背負っている設定であった。

放映当初怪奇色が強かった『仮面ライダー（1971)』の初回放送視聴率は関東圏では 8.1%、関西圏では 20.5%を記録した。しかし、仮面ライダー2 号が作品に登場し作風がやや快活となった第 14 話以降においては、徐々に成績を伸ばしはじめ、最高視聴率 30%を記録する人気番組へと成長した[157]。1971 年 7 月 3 日に放映された『仮面ライダー』第 14 話「魔人サボテグロンの襲来」において登場した一文字隼人こと仮面ライダー2 号は、はじめて「変身」の掛け声と共に特定の動きを行う変身パフォーマンスを初披露した。この変身パフォーマンスの発明は、後の 45 年以上にわたる仮面ライダーシリーズに継承されることにった。

仮面ライダー2 号の登場、また変身パフォーマンスの導入によって成功を納めた『仮面ライダー（1971)』は、当時隆盛を極めていた「第二次怪獣ブーム」を、等身大の特撮変身ヒーローを対象とした「変身ブーム」[142]へと変化させ、社会現象化した。

「変身ブーム」の原動力となった『仮面ライダー（1971)』は、本作第 40 話「死斗！怪人スノーマン対二人のライダー」において仮面ライダー1 号と仮面ライダー2 号の共闘が描かれるようになった。さらに、大幹部の登場（註 13)、ヒーローのパワーアップ（註 14)、作品中での新組織の登場（註 15）等様々な工夫を作品中に凝らして放映され、全 98 話で約 2 年に渡る放映期間を終えた。

東映の『仮面ライダー（1971)』をきっかけに全国を風靡した変身ブームの影響を受け、各映像制作会社も、自社の特撮ヒーロー番組の制作、他社の特撮ヒーロー番組との差別化を行う動きが精力的に行われていった。

円谷プロ作品と共に第一次怪獣ブームを牽引した東宝のゴジラシリーズは、「変身ブー

ム」の台頭により、これまで恐怖の象徴として描写されてきたゴジラを、1972 年 3 月 12 日公開の特撮怪獣映画『地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン』以降、人間の味方あるいは子ども達のヒーローとして描写されるようになった（註 16）。しかし、その試みは興行収入面の視点からは成功したとは言い難かった（註 17）。1975 年公開の『メカゴジラの逆襲』では観客動員数 97 万人とシリーズ最低の数値を記録し[154]、ゴジラシリーズは本作で一旦幕を閉じることとなった。

また、二度の怪獣ブームを国内で巻き起こしてきた円谷プロは、『ウルトラマン A（エース）（1972）』の放映を開始した。本作に登場する男女合体変身によるヒーローの登場をはじめ、怪獣より強い超獣の登場とそれを送り込む巨悪（註 18）、ウルトラマンエースを支援する「ウルトラ兄弟」（註 19）の登場、またそれを見守る父親（註 20）と多種多様な要素が作品に導入された。しかし、これら全ての要素がすべて成功したとは言い難く、番組中盤での合体変身の廃止や超獣を送り込む巨悪の途中退場（註 21）等、新要素の意欲的な導入の反面で、設定の途中排除等によって作品が迷走していた節があった。

しかし、『ウルトラマン A（1972）』で構築されたウルトラ兄弟は、以降のウルトラシリーズにて継続的に導入される設定として定着した。つまり、次回作の『ウルトラマンタロウ（1973）』では『ウルトラマン A（1972）』より継承された「兄弟」の設定に対し、新たに父母を加えた「家族」という要素が番組に導入された。『ウルトラマンタロウ（1973）』では、ウルトラの父とウルトラの母との実子であるウルトラマンタロウが登場した。作品を通してウルトラの母がウルトラマンタロウを見守る存在として描写され（註 22）、さらにウルトラマンタロウが「ウルトラ 6 兄弟」（註 23）の一員として兄達に叱咤激励を受けながら成長していく姿（註 24）が描写された。さらに、『ウルトラマンタロウ（1973）』では先述した「家族」を中心とした番組内容も然ることながら、明るい作風の下で、「超獣よりも強い怪獣」の登場（註 25）やウルトラ 6 兄弟を圧倒する強豪怪獣や宇宙人の登場（註 26）、またウルトラ 6 兄弟の故郷である M78 星雲「ウルトラの国」の登場（註 27）等、それ以外の娯楽面も強化された。

このように、円谷プロは東映の『仮面ライダー（1971）』が巻き起こした変身ブームの影響に対し、ウルトラシリーズの兄弟化や家族化といった視聴者により親しみやすい設定を作品中に導入することで、他社の特撮映像作品との差別化を行っていた。また、円谷プロはウルトラシリーズ以外にも、二次元人の父と地球人の母を持つ、鏡の戦士と宇宙からの侵略者・インベーダーとの戦いを描いた『ミラーマン（1971）』、3 人の等身大の兄妹ヒーローが合体して 1 人のヒーローに変身する『トリプルファイター（1972）』、怪獣特撮への原点回帰を目指し、地底からやってきた勇者が地球を守る『ファイヤーマン（1973）』、エメラルド星から地球人の青年に送られた宇宙サイボーグが地球を防衛する『ジャンボーグ A（1973）』といった新たな特撮ヒーロー番組の制作、発信が試みられた（註 28）。

こうした 1 つの映像制作会社が複数の特撮ヒーロー番組を量産するような時代に突入した結果、テレビは複数の特撮ヒーロー番組が乱立する状態となった。その上、1971 年から 1973 年にかけては、特撮ヒーロー番組の裏番組が特撮ヒーロー番組となる事態まで発生した（註 29）。つまり、各映像制作会社が発信した特撮ヒーロー番組の成功を巡る生存競争状態となり、ヒットに恵まれなかった作品は一年に満たない短期間での放映終了を余儀なくされ、単発的に消失する結果を辿ることとなった。

当ブームの発起人ともいえる東映は、『仮面ライダー（1971）』の次回作として『仮面ラ

イダーV3（1973）』を制作した。仮面ライダー3 号こと仮面ライダーV3 の登場、また機械と生物が融合した怪人の導入（註 30）、主人公を補佐するヒーローの登場等、様々な要素を番組に付加した『仮面ライダーV3（1973）』は高視聴率を記録した[158]。

また東映は仮面ライダーシリーズ以外にも、不完全な良心回路を備えた人造人間の戦いと苦悩を描写した『人造人間キカイダー（1972）』、その次回作の『キカイダー01（1973）』や、ヒーローの二段階に渡る変身（註 31）を披露した『イナズマン（1973）』、その次回作である『イナズマン F（1974）』等を発信した。

このように多種多様な特撮ヒーロー番組が乱立し、国内で隆盛を極めていった「変身ブーム」であるが、『仮面ライダーV3（1973）』が放映された 1973 年をピークに、ブームは次第に沈静化していくこととなった。東映は『仮面ライダーV3（1973）』の放映終了後、1974 年 2 月 16 日より『仮面ライダーX（1974）』の放映を開始した。本作では、主人公が「セタップ（セット・アップ）」のかけ声と共に、ヒーローへの段階的な装着変身を行なう描写が取り入れられた。その後、南米の秘境アマゾンからやってきた仮面ライダーアマゾンの活躍を描写した『仮面ライダーアマゾン（1974）』、親友を亡き者にされた仮面ライダーストロンガーの戦いを描いた『仮面ライダーストロンガー（1975）』が次々に制作された。しかし、「変身ブーム」の失速と共に、仮面ライダーシリーズは、『仮面ライダーストロンガー（1975）』で、『仮面ライダー（1971）』から始まった約 4 年 9 か月の放映期間を終了することとなった。

ブームを牽引してきた特撮ヒーロー番組終了の波は、円谷プロ制作のウルトラシリーズにも訪れることとなった。「変身ブーム」の失速の背景には、1973 年に発生した第一次オイルショック（註 32）による原油価格の高騰や、子ども達の視線が『グレートマジンガー（1974）』（註 33）といった巨大ロボットアニメ番組に移行したこと[159]、超能力者ユリ・ゲラーの来日（註 34）に伴う超能力ブーム、映画『燃えよドラゴン』（註 35）のヒットによる空手ブームといった複数のムーブメント[160]に世間の注目が集中するようになったことが挙げられる。

このような状況の中、1974 年 4 月 19 日より円谷プロは『ウルトラマンレオ（1974）』を放映した。本作の主人公・ウルトラマンレオは、獅子座 L77 星の出身であるという設定であるが、故郷を凶悪なマグマ星人（註 36）と双子怪獣（註 37）によって滅ぼされ、家族や友人を失っているという悲劇の主人公として描写された。通り魔のごとく民間人を殺傷していく宇宙人（註 38）相手に幾度も敗北し、ウルトラセブン（モロボシ・ダン）による過酷な特訓を課される主人公の姿や、特捜チームの全滅、家族同然の人々の死等（註 39）、本作では、全体的に緊迫感や焦燥感を描写する作風となっていた。その後、『ウルトラマンレオ（1974）』を最後に、ウルトラシリーズは一度幕を閉じることとなった。

上述してきたとおり、ウルトラシリーズや仮面ライダーシリーズ等、次々にブームを牽引してきた特撮映像作品が休眠に入る中、東映は仮面ライダーシリーズに代わって、石ノ森章太郎原作の特撮ヒーロー番組『秘密戦隊ゴレンジャー』の放映を 1975 年 4 月 5 日より開始した。本作の物語は、黒十字軍の襲撃により壊滅した国際防衛機構イーグル日本支部の 5 人の生き残りが江戸川権八総司令によって結集し、秘密戦隊ゴレンジャーとなって、黒十字軍が送り込む怪人達と戦うというものであった。極彩色の 5 人のヒーローが共通のコスチュームを身に纏い、協力しながら敵と戦うという番組構成は好評を博し、メイン視聴者である子ども達だけでなく、女性ファンの獲得に成功する[161]等、特撮映像作品の視

聴層の拡大に貢献した。色とりどりのコスチュームを身に纏った 5 人の戦士達が、各々の個性を結集させ 1 つのチームとして地球を守るという設定が好評を博した『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』は、1977 年 3 月 26 日までの約 2 年間に渡って全 84 話が放映された。

特撮ヒーロー番組はこの『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』の放映開始によって完全な消失は免れたものの、ブームを牽引してきた各社の特撮ヒーロー番組は次々に姿を消し、「変身ブーム」は終焉を迎えた。

総括してこの時代は、1970 年から 1971 年にかけての円谷プロ制作の『ウルトラファイト』、『帰ってきたウルトラマン』やピー・プロ制作の『スペクトルマン（1971)』を筆頭とする特撮怪獣番組の放映開始により第二次怪獣ブームが巻き起こるも、東映制作の『仮面ライダー（1971)』の放映開始及び作品のヒットによって、「第二次怪獣ブーム」は次第に「変身ブーム」へと移行した。その結果、国内で複数の特撮ヒーロー番組が量産され、生存競争状態となった。しかし、隆盛を極めた変身ブームも 1973 年を境に沈静化し、ブームの発起人であった円谷プロや東映の特撮映像作品は次々に幕を閉じることになった。

補註

註 1：新規撮影となった『ウルトラファイト（1970)』本編は、当初ウルトラセブンや怪獣達（ウー、バルタン、イカルス、エレキング等）が取っ組み合いの激闘を繰り広げるという簡素なものであったが、次第に何らかの要因（三度笠の取り合い、ゴミ捨て場の品々を巡る競り合い等)によって戦いが巻き起こるという物語性のある内容へと変化していった。

註 2：『宇宙猿人ゴリ（1971)』は、放映第 21 話より『宇宙猿人ゴリ対スペクトルマン』、第 40 話より『スペクトルマン』と、2 度に渡る番組タイトルの改題が行なわれている。

註 3：『宇宙猿人ゴリ（1971)』において、本作の悪役である宇宙猿人ゴリが送り込む怪獣達は当初、1971 年当時の国内問題であった「公害」を取り入れたものであった。第 1 話「ゴリ・地球を狙う！」に初登場した公害ヘドロ怪獣ヘドロンや、第 9 話「恐怖のネズバードン」に初登場したネズミとハト公害の合成怪獣ネズバードン等が登場したが、第 21 話「謎のズノウ星人対ギラギンド」以降は多様なデザインモチーフの怪獣達が増加した。例えば、第 23 話「交通事故怪獣クルマニクラス！！」に登場した交通事故怪獣クルマニクラスや、第 38 話「スフィンクス前進せよ！！」に登場した改造怪獣スフィンクス等が挙げられる。

註 4：1971 年 4 月 9 日放映『帰ってきたウルトラマン』第 2 話「タッコング大逆襲」

註 5：1971 年 4 月 23 日放映『帰ってきたウルトラマン』第 4 話「必殺！流星キック」

註 6：1971 年 12 月 17 日放映『帰ってきたウルトラマン』第 37 話「ウルトラマンタ日に死す」

註 7：1971 年 4 月 2 日放映の『帰ってきたウルトラマン』第 1 話「怪獣総進撃」では、ヘドロ怪獣ザザーンが登場した。

註 8：1971 年 10 月 15 日放映『帰ってきたウルトラマン』第 28 話「ウルトラ特攻大作戦」

註 9：『帰ってきたウルトラマン（1971)』は第 18 話「ウルトラセブン参上！」において新武器「ウルトラブレスレット」を獲得し、ブレスレットを様々な武器に変化させて怪獣達と戦闘を繰り広げる描写の他、宇宙大怪獣ベムスターや用心棒怪獣ブラックキング等のウルトラマンを一度は打ちのめす戦力を持った強豪怪獣の登場、前作のウルトラシリーズより初代ウルトラマンとウルトラセブンの客演、宇宙人と宇宙怪獣がタッグを組んでウルトラマンと戦う物語等、作品内容が次第に華々しくなっていった。

註 10：石ノ森章太郎は 1938 年 1 月 25 日に宮城県登米郡に生まれ、1964 年に『サイボーグ 007』の連載を開始して以降、『仮面ライダー（1971）』や『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』といった数多くの東映特撮ヒーロー番組の原作を手がけた。1998 年 1 月 28 日逝去。
註 11：平山亨は、1929 年 3 月 19 日に東京都にて生まれ、1954 年に東映に入社した、通称「泣き虫プロデューサー」と呼ばれ、『仮面ライダー（1971）』や『人造人間キカイダー（1972）』、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』、『快傑ズバット（1977）』等の数多くの特撮ヒーロー番組においてプロデューサーを務めた。
註 12：『仮面ライダー（1971）』本編では、等身大の怪人達が任務の遂行（もしくは人体実験等）で、罪のない一般市民を通り魔的に殺害していく描写が見られた。本作初期各話タイトルを概観してみると、第 1 話タイトルの「怪奇蜘蛛男」、第 2 話タイトルの「恐怖蝙蝠男」、第 4 話タイトルの「人喰いサラセニアン」、第 8 話タイトルの「怪異！蜂女」、第 12 話タイトルの「殺人ヤモゲラス」といった具合に、視聴者に恐怖感をあおる作品タイトルや描写が多々確認できた。
註 13：ショッカーの大幹部には、ショッカー中近東支部から赴任したゾル大佐（狼男）、スイス支部から死神博士（イカデビル）、東南アジア支部よりショッカー日本支部最後の大幹部となった地獄大使（ガラガランダ）がおり、ショッカー壊滅後に再結成された「ゲルショッカー」にはブラック将軍（ヒルカメレオン）の、計 4 人の大幹部が、『仮面ライダー（1971）』に登場した。
註 14：仮面ライダー1 号は仮面ライダー新 1 号として、仮面ライダー2 号は仮面ライダー新 2 号として作品中で強化改造を施された姿で、番組後半より登場した。
註 15：仮面ライダーの敵として作品中で描写されてきたショッカーであるが、第 79 話のショッカー日本支部最後の大幹部である地獄大使（＝ガラガランダ）が死亡したのを契機にショッカー日本支部が壊滅した。翌週の第 80 話以降は、アフリカのゲルダム団とショッカーが統合された新組織「ゲルショッカー」が、仮面ライダーの新たな敵として描写された。
註 16：『地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン（1972）』の主題歌「ゴジラマーチ」（作詞：関沢新一、福田純、作曲：宮内国郎　唄：石川進）の歌詞には「ガンバレ　ガンバレ　ぼくらのゴジラ」の歌詞が導入され、同じく主題歌である「ゆけ！ゆけ！ゴジラ」（作詞：関沢新一　作曲：萩原哲晶　唄：石川進）においても、ゴジラを「みんなの友だちだ」と礼賛する歌詞が導入されていることから、子ども達のヒーローという役割が、当時のゴジラには与えられていたことが覗える。
註 17：1972 年 3 月 12 日公開『地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン』の公開において、観客動員数が 178 万人を記録して以降、1973 年 3 月 17 日公開『ゴジラ対メガロ』（観客動員数 98 万人）、1974 年 3 月 21 日公開『ゴジラ対メカゴジラ』（観客動員数 133 万人）、1975 年 3 月 15 日公開『メカゴジラの逆襲』（観客動員数 97 万人）と観客動員数は上下するようになった[119]。
註 18：『ウルトラマン A（1972）』では異次元人ヤプールによって製造された「怪獣よりも強い生物兵器」として「超獣」という新たな怪獣の概念が確立された。本作第 1 話に登場して地球防衛軍を全滅させたミサイル超獣ベロクロン、対超獣防衛組織 TAC 基地を襲撃した一角超獣バキシム、巨大魚怪獣ムルチを力技で三枚おろしに引き裂き、絶命させた蛾超獣ドラゴリー、ウルトラ 4 兄弟（ゾフィー、ウルトラマン、ウルトラセブン、帰ってきた

ウルトラマン）の技が使用可能な異次元超人エースキラーなど、これまでの怪獣との強さの差が強調された。

註 19：「ウルトラ兄弟」とは、ウルトラマン達が所属する宇宙の平和を守る組織である宇宙警備隊に所属する隊員の中でも、特に優秀な隊員達に授与される「称号」として設定された。「ウルトラ兄弟」は、ゾフィーを長兄に、ウルトラマン、ウルトラセブン、ウルトラマンジャック（「帰ってきたウルトラマン（1971）」の別称）、ウルトラマンエース、ウルトラマンタロウ、ウルトラマンレオ、アストラ、ウルトラマン 80、ウルトラマンメビウス、ウルトラマンヒカリまでの 11 人（2019 年時点）で構成されている。

「ウルトラ兄弟」の呼称が映像作品中にて初めて言及されたのは 1972 年 3 月 31 日に放映された『帰ってきたウルトラマン』第 51 話「ウルトラ 5 つの誓い」が最初であり、次回作の『ウルトラマン A（1972）』以降のウルトラシリーズには、本設定が継続的に導入されるようになった。また「ウルトラ兄弟」は先述したように、「称号」という位置づけであるため、血縁関係のあるウルトラマンレオとアストラを除き本当の兄弟ではない。

註 20：『ウルトラマン A（1972）』では、ウルトラ兄弟を見守る父親として、ウルトラの父が登場した。ウルトラの父は、1972 年 10 月 6 日に放映された『ウルトラマン A』第 27 話「奇跡！ウルトラの父」にて初登場後、他のウルトラマン達から「父のように慕われる人物」として、後のウルトラシリーズに幾度も再登場した。

註 21：『ウルトラマン A（1972）』の巨悪であった異次元人ヤプールは、本作第 23 話「逆転！ゾフィ只今参上」にて排除された。さらに合体変身の設定も、1972 年 10 月 13 日放映の第 28 話「さようなら夕子よ、月の妹よ」にて消滅した。

註 22：ウルトラの母は 1973 年 4 月 6 日放映の『ウルトラマンタロウ』第 1 話「ウルトラの母は太陽のように」で初登場して以降、同年 4 月 13 日放映の第 2 話「その時ウルトラの母は」、同年 4 月 20 日放映の第 3 話「ウルトラの母はいつまでも」といったように作品中でウルトラマンタロウの保護者として度々出演している。

註 23：ウルトラ 6 兄弟とは、『ウルトラマン（1966）』から『ウルトラマンタロウ（1973）』までの地球で活躍した 6 人のウルトラマン（ゾフィー、ウルトラマン、ウルトラセブン、帰ってきたウルトラマン、ウルトラマン A、ウルトラマンタロウ）を指した総称である。

註 24：1973 年 11 月 16 日放映『ウルトラマンタロウ』第 33 話「ウルトラの国大爆発 5 秒前！」及び同年 11 月 23 日放映『ウルトラマンタロウ』第 34 話「ウルトラ 6 兄弟最後の日！」

註 25：1973 年 4 月 6 日に放映された『ウルトラマンタロウ』第 1 話「ウルトラの母は太陽のように」に登場したオイル超獣オイルドリンカーは、新たに出現した宇宙大怪獣アストロモンスに圧倒され、腹部のチグリスフラワーで捕食される描写が導入された。

註 26：強豪怪獣の代表的な事例には、1974 年 1 月 4 日放映『ウルトラマンタロウ』第 40 話「ウルトラ兄弟を超えてゆけ！」では、ゾフィーからウルトラマン A までの各ウルトラ兄弟を一騎打ちで敗北させた暴君怪獣タイラントが登場した。強豪宇宙人には、1973 年 11 月 16 日放映『ウルトラマンタロウ』第 33 話「ウルトラの国大爆発 5 秒前！」において、ウルトラマンタロウをはじめとするウルトラ 6 兄弟が力を結集して倒した極悪宇宙人テンペラー星人が初登場した。このように『ウルトラマンタロウ（1973）』では、作品の娯楽性を高めるために強豪怪獣や強豪宇宙人が度々登場していた。

註 27：1973 年 9 月 14 日放映『ウルトラマンタロウ』第 24 話「これがウルトラの国だ！」

及び 1973 年 9 月 21 日放映『ウルトラマンタロウ』第 25 話「燃えろ！ウルトラ 6 兄弟」。
註 28：円谷プロは他にも、1965 年から 1980 年にかけて日本テレビ系にて放映された子ども向け朝のバラエティー番組「おはよう！こどもショー」の 1 コーナーとして、1972 年 4 月 24 日から同年 10 月 3 日まで『レッドマン』を放映した。
註 29：1971 年から 1973 年にかけて、特撮ヒーロー番組の裏番組が特撮ヒーロー番組であった事例は 3 件確認できた。1971 年には円谷プロ制作の『ミラーマン』が毎週日曜夜 7 時からフジテレビ系での放映であったのに対し、宣弘社制作の『シルバー仮面』が TBS&ABC 系にて同時間枠で放映された。続いて 1972 年には東映制作の『仮面ライダー』が MBS&NET 系にて毎週土曜日夜 7 時半からの放映であったのに対し、ユニオン映画制作の『突撃！ヒューマン！！』が日本テレビ系にて同時間枠で放映された。また円谷プロ制作の「ウルトラマン A（1972）」が TBS&ABC 系にて毎週金曜日夜 7 時からの発信であったのに対し、東映製作の「変身忍者嵐（1972）」が MBS&NET 系にて同時間枠で放映される等、特撮ヒーロー番組同士の視聴者の獲得は混戦を極めていた。
註 30：『仮面ライダーV3（1973）』に登場した悪の秘密組織デストロンは、前作『仮面ライダー（1971）』に登場したショッカー怪人が単体の動植物がモチーフ（例：蜘蛛男、蝙蝠男等）であったのに対し、デストロン怪人は動植物に機械や武器の特性を融合した怪人が毎週登場した。例えば、1973 年 2 月 17 日放映の『仮面ライダーV3』第 1 話「ライダー3 号その名は V3！」において、亀とバズーカを融合させたカメバズーカや、ハサミとジャガーを融合させたハサミジャガーが登場した。
註 31：東映制作の『イナズマン（1973）』に登場するイナズマンは、主人公・渡五郎が「ゴーリキショーライ（剛力招来）！」のかけ声と共にまずサナギマンに変身し、続いて「チョーリキショーライ（超力招来）！」のかけ声と共にサナギマンがイナズマンへと変身する、「二段変身」のシステムが作品中にて採用されていた。
註 32:1973 年 10 月 6 日に発生した第四次中東戦争に伴い、原油価格が高騰した石油危機。
註 33：『グレートマジンガー（1974）』は、永井豪原作のロボットアニメ作品『マジンガーZ（1972）』後番組として、1974 年 9 月 8 日から 1975 年 9 月 28 日まで放映された、東映動画制作のロボットアニメ作品である。
註 34：1974 年 2 月 2 日の超能力者ユリ・ゲラー来日後、同年 3 月 7 日に日本テレビ系の木曜スペシャル「驚異の超能力！！世紀の念力男ユリ・ゲラーが奇蹟を起こす！！」の放映によってスプーン曲げが披露されたことを機に、国内で「超能力ブーム」が巻き起こった。
註 35：1973 年 12 月 22 日に日本で公開された、ブルース・リー主演のカンフーアクション映画。
註 36：サーベル暴君マグマ星人は 1974 年 4 月 12 日放映の『ウルトラマンレオ』第 1 話「セブンが死ぬ時！東京は沈没する！」で初登場し、ウルトラマンレオの宿敵として 1974 年 11 月 1 日放映の『ウルトラマンレオ』第 30 話「日本名作民話シリーズ！怪獣の恩返し」においても再登場した。またマグマ星人は、演者の口元の露出や人間に酷似した外見から、1975 年 1 月 3 日放映の『ウルトラマンレオ』第 39 話「レオ兄弟ウルトラ兄弟勝利の時」にて初登場した暗黒星人ババルウ星人と共に、「ウルトラマンフェスティバル」等、円谷プロ作品のイベント会場で MC を務めるなどして、現在も活躍している。
註 37：双子怪獣は、サーベル暴君マグマ星人と同じく 1974 年 4 月 12 日放映の『ウルトラ

マンレオ』第 1 話「セブンが死ぬ時！東京は沈没する！」で初登場したブラックギラス（兄）、レッドギラス（弟）から構成されるマグマ星人の使役する怪獣達のことである。両者が抱き合い高速回転によって攻撃を行う「ギラススピン」を得意技とし、ウルトラセブンを戦闘不能の状態にまで追い込んだ描写が行なわれた。

註 38：最初の事例である 1974 年 4 月 26 日に放映された『ウルトラマンレオ』第 3 話「涙よさよなら・・・」に初登場した奇怪宇宙人ツルク星人以降、等身大で暗躍し、民間人を無差別に殺傷していく宇宙人達が次々と登場するようになり、視聴者に身近に迫る宇宙人の恐怖を描写していた。

註 39：1975 年 1 月 10 日『ウルトラマンレオ』第 40 話「恐怖の円盤生物シリーズ！MAC 全滅！円盤は全滅だった！」において、ウルトラマンレオことおおとりゲンが所属する宇宙パトロール隊 MAC が円盤生物シルバーブルーメの襲撃により全滅する他、これまでゲンが身を寄せてきたレギュラー出演の登場人物も同様に一斉に死亡する展開が行われた。

5－4　リバイバルブーム

1975 年は、東宝や円谷プロ、東映が制作した特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組など、国内で社会現象を巻き起こした作品が次々に発信を終了する年となった。この背景には巨大ロボットアニメの台頭 [159] やスーパーカー・ブーム等により [162]、子どもたちの興味の対象がこれらに移行していったこと、またオイルショックによる特撮映像作品の制作費の高騰により、作品が発信しづらい環境に陥ったことが挙げられる [163]。

各社制作の特撮映像作品が次々に休眠期を迎えていく中、東映は『秘密戦隊ゴレンジャー』からスタートさせたスーパー戦隊シリーズの発信を継続していた。さらに、恐竜を対象としたムーブメントである「恐竜ブーム」[164] が国内で巻き起こったことで（註 1)、円谷プロは恐竜を題材とした作品群を制作する等（註 2)、映像ジャンルとしての「特撮」が完全な終焉を迎えたわけではなかった。

やがて、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組の復活の下地が一時的に整うようになった。この背景には、米国産 SF 映画が日本で公開されブームになったことや、幼少期に特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組を視聴していた世代が青年層になったことで、かつて視聴していた作品に自ら触れるムーブメントが国内で活発化したことが挙げられる。

つまり、米国産 SF 映画『STARWARS』（註 3）のヒットによって「SF 映画」を対象としたムーブメントである「SF ブーム」[165] が国内で巻き起こった他（註 4)、円谷プロのウルトラシリーズや宣弘社制作の『月光仮面（1958)』といった特撮作品のみならず、手塚治虫原作の『鉄腕アトム（1952)』（註 5）や、横山光輝原作の『鉄人 28 号（1956)』（註 6）など、過去に放映された漫画やアニメ作品等に着目したムーブメントである「リバイバルブーム」[162] が発生した。この背景には、新たな映像媒体として家庭用ビデオデッキの普及が始まったことが挙げられる [166]。過去に放映されたアニメ作品や特撮映像作品がビデオソフト化されたことにより、家庭内で好きな時間帯に好きな作品を視聴できる環境が整ったことも「リバイバルブーム」を発生させる一因となった [166]。

上述してきた「SF ブーム」や「リバイバルブーム」を受け、各映像制作会社は、特撮映像作品の発信を再開するようになった。つまり、これまでシリーズを休止していた特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組等が一時的に復活を遂げた時代であった。この時代に制作された主な特撮映像作品全 64 作品、1591 本は、表－19 の通りである。

表－19.リバイバルブーム（全 64 作品、1591 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.宇宙鉄人キョーダイン	1976年4月2日～1977年3月11日	48	テレビ	東映
2.ザ・カゲスター	1976年4月5日～1976年11月29日	34	テレビ	東映
3.忍者キャプター	1976年4月7日～1977年1月26日	43	テレビ	東映
4.超神ビュビューン	1976年7月6日～1977年3月29日	36	テレビ	東映
5.秘密戦隊ゴレンジャー　爆弾ハリケーン	1976年7月18日公開	1	劇場映画	東映
6.恐竜探検隊ボーンフリー	1976年10月1日～1077年3月25日	25	テレビ	円谷プロ
7.円盤戦争バンキッド	1976年10月3日～1977年3月27日	26	テレビ	東宝
8.バトルホーク	1976年10月4日～1977年3月28日	26	テレビ	東洋エージェンシー・ナック
9.プロレスの星アステカイザー	1976年10月7日～1977年3月31日	26	テレビ	円谷プロ、萬年社
10.快傑ズバット	1977年2月2日～1977年9月28日	32	テレビ	東映
11.極底探検船ポーラーボーラー	1977年2月11日（米国公開日）	1	劇場映画	円谷プロ、ランキン＝バス・プロダクション
12.大鉄人17	1977年3月18日～1977年11月11日	35	テレビ	東映
13.小さなスーパーマン　ガンバロン	1977年4月3日～1977年12月24日	38	テレビ	創英舎
14.ジャッカー電撃隊	1977年4月9日～1977年12月24日	35	テレビ	東映
15.恐竜大戦争アイゼンボーグ	1977年10月7日～1978年6月30日	39	テレビ	円谷プロ
惑星大戦争	1977年12月17日公開	1	劇場映画	東宝
16.ジャッカー電撃隊VSゴレンジャー	1978年3月18日公開	1	劇場映画	東映
17.スターウルフ	1978年4月2日～1978年9月24日	24	テレビ	円谷プロ
18.UFO大戦争　戦え！レッドタイガー	1978年4月8日～1978年12月28日	39	テレビ	創英舎
19.恐竜戦隊コセイドン	1978年7月7日～1979年6月29日	52	テレビ	円谷プロ
20.宇宙からのメッセージ　銀河大戦	1978年7月8日～1979年1月27日	27	テレビ	東映
21.バトルフィーバーJ	1979年2月3日～1980年1月26日	52	テレビ	東映
22.実相寺昭雄監督作品　ウルトラマン	1979年3月17日公開	1	劇場映画	円谷プロ
23.ウルトラ6兄弟VS怪獣軍団	1979年3月17日公開	1	劇場映画	円谷プロ、チャイヨー・プロダクション
25.メガロマン	1979年5月7日～1979年12月24日	31	テレビ	雁屋哲
26.バトルフィーバーJ	1979年7月21日公開	1	劇場映画	東映
27.ウルトラマン怪獣大決戦	1979年7月21日	1	劇場映画	円谷プロ
28.不滅の仮面ライダースペシャル	1979年9月8日	1	テレビ	東映
29.仮面ライダー（新）	1979年10月5日～1980年10月10日	54	テレビ	東映
30.電子戦隊デンジマン	1980年2月2日～1981年1月31日	51	テレビ	東映
31.劇場版8人ライダー対銀河王	1980年3月15日公開	1	劇場映画	東映
32.宇宙怪獣ガメラ	1980年3月20日公開	1	劇場映画	大映
33.ウルトラマン80	1980年4月2日～1981年3月25日	50	テレビ	円谷プロ
34.ぼくら野球探偵団	1980年4月22日～1980年9月22日	18	テレビ	円谷プロ
35.電子戦隊デンジマン	1980年7月12日公開	1	劇場映画	東映
36.仮面ライダースーパー1	1980年10月17日～1981年10月3日	48	テレビ	東映
37.太陽戦隊サンバルカン	1981年2月7日～1982年1月30日	50	テレビ	東映
38.劇場版仮面ライダースーパー1	1981年3月14日公開	1	劇場映画	東映
39.太陽戦隊サンバルカン	1981年7月18日公開	1	劇場映画	東映
40.大戦隊ゴーグルV	1982年2月6日～1983年1月29日	50	テレビ	東映
41.宇宙刑事ギャバン	1982年3月5日～1983年2月25日	44	テレビ	東映
42.大戦隊ゴーグルV	1982年3月13日公開	1	劇場映画	東映
43.科学戦隊ダイナマン	1983年2月5日～1984年1月28日	51	テレビ	東映
44.アンドロメロス	1983年2月28日～1983年4月29日	45	テレビ	円谷プロ
45.宇宙刑事シャリバン	1983年3月4日～1984年2月24日	51	テレビ	東映
46.仮面ライダースペシャル　10号誕生！仮面ライダー全員集合！！	1984年1月3日	1	テレビ	東映
47.超電子バイオマン	1984年2月4日～1985年1月26日	51	テレビ	東映
48.宇宙刑事シャイダー	1984年3月2日～1985年3月8日	49	テレビ	東映
49.ウルトラマンZOFFY	1984年3月17日公開	1	劇場映画	円谷プロ
50.ウルトラマン物語	1984年7月14日公開	1	劇場映画	円谷プロ
51.アニメちゃん	1984年7月14日公開	1	劇場映画	円谷プロ
52.超電子バイオマン	1984年7月14日公開	1	劇場映画	東映
53.ゴジラ	1984年12月15日公開	1	劇場映画	東宝
54.電撃戦隊チェンジマン	1985年2月2日～1986年2月22日	55	テレビ	東映
55.電撃戦隊チェンジマン	1985年3月6日公開	1	劇場映画	東映
56.巨獣特捜ジャスピオン	1985年3月15日～1986年3月24日	46	テレビ	東映
57.電撃戦隊チェンジマン シャトルベース！危機一髪！	1985年7月13日公開	1	劇場映画	東映
58.超新星フラッシュマン	1986年3月1日～1987年2月21日	50	テレビ	東映
59.超新星フラッシュマン	1986年3月15日公開	1	劇場映画	東映
60.時空戦士スピルバン	1986年4月7日～1987年3月9日	44	テレビ	東映
61.首都消失	1987年1月17日公開	1	劇場映画	大映
62.光戦隊マスクマン	1987年2月28日～1988年2月20日	51	テレビ	東映
63.光戦隊マスクマン	1987年7月18日公開	1	劇場映画	東映
64.超人機メタルダー	1987年3月16日～1988年1月17日	39	テレビ	東映

上述してきた「リバイバルブーム」において、シリーズ復活の先陣を切ったのは円谷プロのウルトラシリーズであった。しかし、これまで実写作品として制作されてきたウルトラシリーズをアニメ作品として復活させたものであった。それが、1979 年 4 月 4 日より放映開始のアニメ作品『ザ☆ウルトラマン』であった。本作に登場するウルトラマンジョーニアス（通称：ウルトラマンジョー）を主人公に、アニメーション表現によるヒーローや怪獣の登場（註 7)、ウルトラマンに変身する隊員の苦悩（註 8)、ウルトラマンを補助する巨大戦艦の登場(註 9)、ウルトラの星とヘラー軍団の宇宙を舞台とした大戦争等(註 10)、単にウルトラマンや怪獣をアニメーション化したものではなく、放映当時一世を風靡していた SF ブームの影響を受けたと思われる描写が作品中に導入された。

その後、アニメ作品として再開されたウルトラシリーズは、再び特撮映像作品として製作された。円谷プロは 1980 年 4 月 2 日より「ウルトラマン 80（エイティ)」を放映した。少年犯罪が社会問題化していた時代背景や（註 11)、当時流行していた学園ドラマの影響を受け（註 12)、本作では地球を守る任に就いたウルトラマン 80 が、普段は中学校教師である傍ら、特捜チーム UGM の隊員でもある設定が与えられた（註 13)。また、本作で登場する怪獣達は、人間の怒りや嫉妬といったマイナスの感情（マイナスエネルギー）によって生まれる設定が導入された（註 14)。放送当時の社会背景や、学園ドラマ等の試みが作品中にて描写された本作であるが、円谷プロは『ウルトラマン 80（1980)』を最後にウルトラシリーズのテレビ放送を再び中断することになった。

円谷プロのウルトラシリーズ再開と共に、東映も仮面ライダーシリーズの制作を一時的に再開した。1979 年 10 月 5 日に放映が開始された『仮面ライダー（スカイライダー)』は、バッタ型の改造人間（仮面ライダー）と悪の組織（ネオショッカー）の戦いの物語として展開された。仮面ライダーの飛行能力（註 15）や、前作『仮面ライダー（1971)』に登場した悪の秘密結社ショッカーの残党から結成されたネオショッカーの登場等(註 16)、単に『仮面ライダー（1971)』のリメイクにならない様、新たな設定を追加して発信された。

その後、東映は次回作『仮面ライダースーパー1』を 1980 年 10 月 17 日より放映し、当時流行していた SF ブームや歌謡界でのシンセイザー・ミュージック等の要素を作品中に導入し[162]、全 48 話を制作した。しかし円谷プロと同様、2 作品のみの発信という一時的な復活に留まり、仮面ライダーシリーズのテレビ放送は『仮面ライダースーパー1（1980)』で再び休眠期に突入することになった。

上述してきたように 1980 年代初頭にシリーズ再開の兆しを見せた、円谷プロと東映の特撮ヒーロー番組であるが、両シリーズとも約 2 年という僅かな放映期間で、再びテレビシリーズを休止することになった（註 17)。その一方で、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』から続いた東映のスーパー戦隊シリーズは、ほぼ毎年テレビ番組や映画を通じた作品の発信が継続された。『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』の放映終了後、同じくチーム編成の 4 人の極彩色のヒーローが活躍する『ジャッカー電撃隊』が 1977 年 4 月 9 日から放映を開始した。犯罪ドラマを彷彿とさせる暗い作風（註 18）で制作された本作であるが、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』程のヒットには至らなかった。新ヒーロー・行動隊長ビッグワンの登場等、暗い作風を打破する新展開が導入されるも、作品は 1977 年 12 月 24 日の全 35 話と短期間で終了することとなり、スーパー戦隊シリーズのテレビ放送は本作を最後に一時的に休眠した。

しかしスーパー戦隊シリーズは 1979 年 2 月 3 日にシリーズ 3 作目の『バトルフィーバーJ（1979)』の放映開始によって、わずか 1 年で休眠期を脱却した。本作は、世界各国のダンスをモチーフとした 5 人のスーパーヒーローが戦うという内容であり、1978 年 7 月 15 日に国内で公開された米国映画「サタデーナイトフィーバー」の大ヒットによる影響を受けていた[161)]。

『バトルフィーバーJ（1979)』以降、スーパー戦隊シリーズは約 1 年ごとに新番組を放送する体制となり、当時の流行や社会風潮を作品に導入する形で、シリーズが継続された。1980 年 2 月 2 日には、SF ブームの影響を受けた[167)]『電磁戦隊デンジマン（1980)』が放映された。さらに 1979 年 5 月 1 日の群馬サファリパークの開園や、1980 年 4 月 23 日の富士サファリパークが開園した影響を受け、1981 年 2 月 7 日には動物をモチーフとした『太陽戦隊サンバルカン（1981)』が放映された。

以降のスーパー戦隊シリーズは、メイン視聴者である子ども達にとって好意的な要素（動物、宇宙、恐竜、自動車等）を作品のテーマに置くことで、シリーズが継続された（註 19)。その結果、現在まで 40 作品以上が放映される特撮ヒーロー番組として成長した。

また東映は、上述してきたスーパー戦隊シリーズの継続と共に、新たな特撮ヒーロー番組として、『宇宙刑事ギャバン（1982)』の制作を開始した。1982 年 3 月 5 日に放映を開始した本作は、主人公の宇宙刑事・一条寺烈が、「蒸着」の掛け声と共に、銀のメタリックスーツ（作品中ではコンバットスーツと呼称される）に身を包み、宇宙刑事ギャバンとなって、宇宙犯罪組織マクーに立ち向かう内容であった。

「正義の変身ヒーロー対悪の組織」というこれまでの東映の特撮ヒーロー番組の作風は踏襲しつつも、メタリックスーツに身を包んで闘う刑事ヒーローという新たな設定を導入した『宇宙刑事ギャバン（1982)』は好評を得た。その結果、本作の後も『宇宙刑事シャリバン（1983)』や、『宇宙刑事シャイダー（1984)』と、「宇宙刑事」を謳った 2 作品が後続的に制作された。これにより『宇宙刑事ギャバン（1982)』から『宇宙刑事シャイダー（1984)』までの以上 3 作品は、「宇宙刑事シリーズ」として呼称されるようになった。

「宇宙刑事シリーズ」の放映終了後も、東映は新たな特撮ヒーロー番組の制作を継続した。先陣を切ったのが「巨獣特捜ジャスピオン（1985)」であり、銀河の野生児ジャスピオンがメタリックスーツを装着して、異星人軍団と対峙する内容であった。つまり、『宇宙刑事ギャバン（1982)』で好評を得た、主人公がメタリックスーツを纏い、悪の組織に立ち向かうという物語の構図は本作においても堅持されていた。

『巨獣特捜ジャスピオン（1985)』以降もメタリックスーツを着用した特撮ヒーロー作品の制作は継続され、『時空戦士スピルバン（1986)』、『超人機メタルダー（1987)』、『世界忍者戦ジライヤ（1988)』等、1 年周期で後続の作品が次々と制作された。これらメタリックスーツのスーパーヒーローが地球を守る作品は以降、「メタルヒーローシリーズ」として呼称されるようになった。東映の仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズに続く第 3 の特撮ヒーローブランドとして確立されたメタルヒーローシリーズは、以降も派生作品が継続して発信される人気シリーズとして、現在まで定着した。

上述してきたとおり、円谷プロや東映が製作する特撮ヒーロー番組の一時的な再開と、新たな特撮ヒーロー番組の放送開始と共に、特撮怪獣映画もまた制作が再開された。東宝の『ゴジラ（1984)』や大映の『宇宙怪獣ガメラ（1980)』公開されたが、両作品もかつてのように、毎年新作が公開されることはなく単発的に終了することになり、シリーズは再

び中断されることになった。

総括すると、「リバイバルブーム」の時代は、家庭用ビデオの普及等の新たな映像作品の視聴形態が整備された等の背景により、過去に放送された特撮映像作品のシリーズ再開の機運が高まった時代であった。円谷プロの『ウルトラマン 80（1980)』を筆頭に、東映や東宝などの各映像制作会社は、自社の特撮ヒーロー番組や特撮怪獣映画の制作を再開した。しかし、東映制作のスーパー戦隊シリーズとメタルヒーローシリーズを除き、ほとんどの作品が短い放映期間あるいは、単発的な映画の公開で、シリーズ展開を中断していた。

補註

註 1：1976 年に北海道三笠市において、白亜紀後期の肉食恐竜と思われる化石（エゾミカサリュウと呼称される海トカゲの一種）が発見されたことを発端に、恐竜を対象に巻き起こった国内最初の恐竜ブーム[164)]。

註 2：円谷プロは、1976 年 10 月 1 日より放映を開始した、特撮とアニメーションの合成によって制作された特撮映像作品『恐竜探検隊ボーンフリー』を皮切りに、『恐竜大戦争アイゼンボーグ（1977)』、『恐竜戦隊コセイドン（1978)』と 3 年連続で、東京 12 チャンネル（現・テレビ東京）で恐竜をテーマにした作品を放映した。

註 3：『STARWARS』は、ルーカス・フィルム制作の米国 SF 映画である。遠い昔の遥か彼方の銀河系を舞台に、ルーク・スカイウォーカーを主人公に、ダース・ベイダー率いる帝国軍と、レイア・オーガナ姫が指揮する反乱同盟軍との戦いを描いた。1977 年 5 月 25 日の第 1 作目の米国公開から、2005 年 5 月 19 日まで全 6 部作が公開された。

註 4：SF ブームとは、東映系で公開されたアニメ映画『さらば宇宙戦艦ヤマト　愛の戦士達（1977)』、米国 SF 映画『STARWARS(1977)』の公開に端を発した宇宙映画ブームを指す。

註 5：『鉄腕アトム』とは、1952 年に連載を開始した、手塚治虫原作の漫画作品である。

註 6：『鉄人 28 号』とは、1956 年に連載を開始した、横山光輝原作の漫画作品である。

註 7：1979 年 4 月 2 日に放映された本作第 1 話「新しいヒーローの誕生！！」に登場した冷凍怪獣シーグラ等の新怪獣をはじめ、1979 年 5 月 23 日に放映された『ザ☆ウルトラマン』第 8 話「ヒカリ隊員の秘密が盗まれた！？」では宇宙忍者バルタン星人が登場した。同年 10 月 3 日に放映された第 27 話「怪獣島浮上！！」では『ウルトラマン（1966)』からどくろ怪獣レッドキング、青色発砲怪獣アボラス、赤色火焔怪獣バニラ、『帰ってきたウルトラマン（1971)』から凶暴怪獣アーストロン、爆弾怪獣ゴーストロン、プラスチック怪獣ゴキネズラが、宇宙悪魔バラドン星人によって怪獣墓場から蘇った設定で再登場した。

註 8：1979 年 7 月 11 日放映『ザ☆ウルトラマン』第 15 話「君がウルトラマンだ」

註 9：1979 年 12 月 26 日放映『ザ☆ウルトラマン』第 38 話「ウルトラ大戦争！！巨大戦艦ウルトリア出撃！」

註 10：1980 年 3 月 26 日放映『ザ☆ウルトラマン』第 38 話「ウルトラの星へ！！完結編平和への勝利」

註 11：当時発生した少年犯罪には、1980 年の 11 月に川崎市で二浪していた予備校生が両親を金属バットで撲殺する事件であった「金属バット事件」がある。また、校内暴力という言葉も併せて流行化していた時期でもあった[168)]。ウルトラマン 80 の企画書によれば、「最近、小・中学生が友人を屋上から突き落としたり、幼稚園児を絞殺したり、つまらない理由で自殺したりと悲しく陰惨な事件が多発しています。こんな状態で子供たちが成長

していったのでは、日本は、世界は、いや地球はまさに滅亡の時がやって来るのは明らかです。」[169] と記述された。
註 12：代表作品には、1979 年 10 月 26 日から 1980 年 3 月 28 日まで TBS 系にて第 1 シーズンが放映された『３年 B 組金八先生』が挙げられる。
註 13：『ウルトラマン 80（1980）』放映当初は、ウルトラマン 80 は地球防衛の任務と共に、普段は桜ヶ丘中学校の 1 年 E 組の担当教員・矢的猛であり、また放課後と日曜日は特捜チーム UGM（Ultility Government Members）の隊員として活動するという、ウルトラマンの三重生活が描写された。しかし、1980 年 6 月 25 日に放映された第 13 話「必殺！フォーメーション・ヤマト」以降は、中学校教師としての矢的猛は一切描写されることはなく、特捜チームに所属する主人公がウルトラマンに変身して戦うという、従来のウルトラシリーズの物語の構図に戻っている。
註 14：1980 年 4 月 16 日放映『ウルトラマン 80』第 3 話「泣くな初恋怪獣」。本作に登場した硫酸怪獣ホーは、ウルトラマン 80（矢的猛）が担任を務める 1 年 E 組の生徒である真一の、失恋による怒りや悲しみといったマイナスエネルギーから誕生した。
註 15：本作の主人公、スカイライダーはベルトの重力低減装置によって空中を飛行する能力（セイリングジャンプ）を有していた。
註 16：ネオショッカーは、前作『仮面ライダー（1971）』に登場した秘密結社ショッカーと同様に世界征服を目的としているが、その実現のためにまず世界人口を現状の 3 分の 1 に減らし、選ばれた優秀な人間のみ残して世界を掌握するといった新たな方針を打ち出している等、物語における敵側にも新たな要素が加えられていた。
註 17：その後テレビ番組では、円谷プロはウルトラシリーズの外伝として「アンドロメロス（1983）」を約 5 分間の帯番組として制作した一方、東映の仮面ライダーシリーズはこれまで雑誌等の誌面のみでの活躍であった仮面ライダー10 号こと仮面ライダーZX(ゼクロス)を主人公とした特番『仮面ライダースペシャル　10 号誕生！仮面ライダー全員集合！！』を 1984 年 1 月 3 日に放映した。しかし、両シリーズとも 1 年間放送されるテレビシリーズの制作は中断しており、ウルトラシリーズは『ウルトラマンティガ（1996）』まで、仮面ライダーシリーズは『仮面ライダーBLACK（1987）』まで時間を有することとなった。
註 18：例えば、ジャッカー電撃隊と対峙する犯罪組織クライムの悪事の描写には、兵器開発、武器の密輸や麻薬取引、殺人等の描写が導入された。
註 19：例えば、「動物」をモチーフ（鳥や伝説獣も一部含む）としたスーパー戦隊シリーズは 2017 年までに 10 作品が制作されている。代表事例には、『超獣戦隊ライブマン（1988）』、『鳥人戦隊ジェットマン（1991）』、『百獣戦隊ガオレンジャー（2001）』、『動物戦隊ジュウオウジャー（2016）』等がこれまで放送された。

5－5　レトロブーム

この時代は、先述した「変身ブーム」を体験した世代が大人に成長し、ビデオソフトやサウンドトラック LP レコード等で、『仮面ライダー（1971）』を筆頭とする特撮映像作品を懐古する現象が発生するようになった。これは我が国で 2 度目の、過去の特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組を再評価する事象である「レトロブーム」[162] となった。この時代に発信された特撮映像作品全 43 作品、1195 本は表－4 の通りである。

表－20.レトロブーム（全 43 作品、1195 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.仮面ライダーBLACK	1987年10月4日～1988年10月9日	51	テレビ	東映
2.AM3：00の恐怖	1987年10月6日～1988年3月31日	73	テレビ	円谷プロ
3.世界忍者戦ジライヤ	1988年1月24日～1989年1月22日	50	テレビ	東映
4.超獣戦隊ライブマン	1988年2月27日～1989年2月18日	49	テレビ	東映
5.電脳警察サイバーコップ	1988年10月2日～1989年7月5日	36	テレビ	東宝
6.仮面ライダーBLACK RX	1988年10月23日～1989年9月24日	47	テレビ	東映
7.機動刑事ジバン	1989年1月29日～1990年1月28日	52	テレビ	東映
8.高速戦隊ターボレンジャー	1989年2月25日～1990年2月23日	51	テレビ	東映
9.ゴジラVSビオランテ	1989年12月16日公開	1	劇場映画	東宝
10.特警ウインスペクター	1990年2月4日～1991年1月13日	49	テレビ	東映
11.地球戦隊ファイブマン	1990年3月2日～1991年2月8日	48	テレビ	東映
12.ウルトラQ ザ・ムービー 星の伝説	1990年4月14日公開	1	劇場映画	円谷プロ
13.ウルトラマンG	1990年9月25日～1991年3月24日にかけて販売	13	ビデオ作品	円谷プロ
14.ウルトラマンG ゴーデスの逆襲	1990年12月15日公開	1	劇場映画	円谷プロ
15.ウルトラマンG 怪獣撃滅作戦	1990年12月15日公開	1	劇場映画	円谷プロ
16.特救指令ソルブレイン	1991年1月20日～1992年1月26日	53	テレビ	東映
17.鳥人戦隊ジェットマン	1991年2月15日～1992年2月14日	51	テレビ	東映
18.ゴジラVSキングギドラ	1991年12月14日公開	1	劇場映画	東宝
19.特捜エクシードラフト	1992年2月2日～1993年1月24日	49	テレビ	東映
20.真仮面ライダー 序章（プロローグ）	1992年2月20日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
21.恐竜戦隊ジュウレンジャー	1992年2月21日～1993年2月12日	50	テレビ	東映
22.特捜ロボジャンパーソン	1993年1月31日～1994年1月23日	50	テレビ	東映
23.ゴジラVSモスラ	1992年12月12日公開	1	劇場映画	東宝
24.五星戦隊ダイレンジャー	1993年2月19日～1994年2月11日	50	テレビ	東映
25.電光超人グリッドマン	1993年4月3日～1994年1月8日	39	テレビ	円谷プロ
26.仮面ライダーZO	1993年4月17日公開	1	劇場映画	東映
27.ウルトラマンVS仮面ライダー	1993年7月21日に販売開始	1	ビデオ作品	円谷プロ、東映
28.ウルトラマンパワード	1993年12月5日～1994年8月25日	13	ビデオ作品	円谷プロ
29.ゴジラVSメカゴジラ	1993年12月11日	1	劇場映画	東宝
30.ブルースワット	1994年1月30日～1995年1月29日	51	テレビ	東映
31.忍者戦隊カクレンジャー	1994年2月18日～1995年2月24日	53	テレビ	東映
32.ウルトラセブン 太陽エネルギー作戦	1994年3月21日	1	テレビ	円谷プロ
33.仮面ライダーJ	1994年4月16日公開	1	劇場映画	東映
34.ヤマトタケル	1994年7月9日公開	1	劇場映画	東宝
35.ウルトラセブン 地球星人の大地	1994年10月10日	1	テレビ	円谷プロ
36.ゴジラVSスペースゴジラ	1994年12月10日公開	1	劇場映画	東宝
37.重甲ビーファイター	1995年2月5日～1996年2月25日	53	テレビ	東映
38.超力戦隊オーレンジャー	1995年3月3日～1996年2月23日	48	テレビ	東映
39.ガメラ 大怪獣空中決戦	1995年3月11日公開	1	劇場映画	大映
40.ゴジラVSデストロイア	1995年12月9日公開	1	劇場映画	東宝
41.激走戦隊カーレンジャー	1996年3月1日～1997年2月7日	48	テレビ	東映
42.ビーファイターカブト	1996年3月3日～1997年2月16日	50	テレビ	東映
43.超力戦隊オーレンジャー オーレVSカクレンジャー	1996年3月8日に販売開始	1	ビデオ作品	東映

レトロブームの発生によって、東映の『仮面ライダー（1971）』も 1984 年 10 月にビデオソフト第 1 巻が発売され、これに続いて他のシリーズがビデオソフトとして商品化された。またこの時代には、レンタルビデオが全国的に流行したことで、これまで制作されてきた特撮やアニメ作品に、ビデオを通じて親しめる娯楽環境が整備されるようになった[170]。中でも『仮面ライダー（1971）』シリーズを筆頭とする特撮ヒーロー番組のビデオはレンタルビデオ店の高回転商品として人気を高めていくようになった。即ちビデオソフト

という新たな映像メディアの台頭は、新作が休眠していた仮面ライダーシリーズの復活の基盤として機能するようになっていった[162)]。

上述してきた背景から、仮面ライダーのテレビシリーズが再開されるようになった。1987 年 10 月 4 日に放映された『仮面ライダーBLACK』は、これまでの仮面ライダーシリーズの世界観を一新した、全く新しいテレビシリーズとして再開した。

『仮面ライダーBLACK（1987）』は、暗黒結社ゴルゴムによって改造された南幸太郎（仮面ライダーBLACK）が世界の平和を守るためにゴルゴムと対峙する、「ヒーロー対悪の組織」という、従来の仮面ライダーシリーズで描写された物語の構図は堅持されつつも、創世王（註 1）を巡る南幸太郎と秋月信彦の決戦（註 2）という新たな作品テーマも導入されたことで、大河ドラマを彷彿とさせる緊迫した物語となっていた。こうした仮面ライダーシリーズの既成概念に新たな試みが加えられた『仮面ライダーBLACK（1987）』は好評を受け、その続編『仮面ライダーBLACK RX』が 1988 年 10 月 23 日に放映を開始した。本作は、仮面ライダーシリーズ初の主人公 2 年目の番組続投という異例の作品となった（註 3)。『仮面ライダーBLACK RX（1988）』は、暗黒結社ゴルゴムとの戦いを終結させた南幸太郎の前に、新たな侵略軍団「クライシス帝国」が地球侵略に押し寄せる。太陽の生命エネルギーによって南光太郎は、「太陽の子」こと仮面ライダーBLACK RX として生まれ変わり、クライシス帝国との戦いへと身を投じていく内容であった。

『仮面ライダーBLACK RX（1988）』では、特撮ヒーロー番組初の主人公キャラクターの本格的な全身スタイルチェンジ（BLACK RX の姿から、ロボライダー、バイオライダーへの他形態への変身）が行われた。戦闘相手に応じて自身の姿を変化させていくという設定は、映像面において目新しさを与えるだけでなく、玩具等の商品点数の増加に結実することとなった（註 4)。『仮面ライダーBLACK RX（1988）』の放映終了後、仮面ライダーシリーズのテレビ放映は再び休止された。しかし、仮面ライダーシリーズは活躍の場をテレビからビデオに移行することによって、シリーズを継続することになった。

「仮面ライダーBLACK RX（1988）」の放映終了から約 2 年後の 1991 年、全国的に「レンタルビデオ」向けのソフト需要が高まっていたことから、東映は「V シネマ」と呼称される「ビデオ販売、レンタル専用の映画作品」を制作するようになっていった[162)]。

上記の「V シネマ」という新たな映像媒体は、結果として「オリジナルビデオ映画」という形で仮面ライダーシリーズを再興させる契機となった。その結果誕生したのが『真・仮面ライダー～序章（プロローグ）～』であり、本作は 1992 年 2 月 20 日よりビデオソフト販売及びレンタルが開始された。全国的に発信されるテレビとは異なり、視聴層が限定されるオリジナルビデオ作品としての発信された『真・仮面ライダー～序章（プロローグ）～』は、作品視聴層が従来の仮面ライダーシリーズの視聴層である子ども達よりも高めに設定されていることが特徴であり、作品内で鮮血シーンやセックスシーンを導入していた。つまり、放映開始から 20 年の歳月を得た仮面ライダーシリーズの視聴者はもはや子ども達だけに留まらず、シリーズに多世代化を象徴する作品となった。

また 1990 年代は円谷プロや東映といった各映像制作会社が、海外（主に英語圏）を舞台に自社の特撮ヒーロー番組を筆頭とするキャラクター事業を精力的に行っていた時代でもあった。まず、円谷プロは海外市場での展開を視野に、自社のウルトラシリーズを活用した事業を英語圏内で展開するようになった。1987 年 10 月 12 日に全米各 TV 局で「ULTRAMAN　THE　ADVENTURE BEGINS（邦題：ウルトラマン USA）」が初放映

され、米国のアニメーション制作会社であるハンナ・バーベラ・プロダクションと円谷プロの共同制作で、初の海外製ウルトラシリーズとして誕生した。本編の制作は円谷プロ主導で、脚本はハンナ・バーベラ・プロダクションが担当した。本作は、同時期に発信された子ども向け TV ムービーの中で第 3 位の視聴率を獲得する結果となった[142)]。

本作の内容は、M78 星雲の惑星ソーキンの爆発で地球に侵入したソーキン・モンスターを追って、ウルトラの星から 3 人のウルトラマン達（ウルトラマンスコット、ウルトラマンチャック、ウルトラウーマンベスが地球に来訪し、アメリカ空軍アクロバット飛行チーム「フライング・エンジェルスの隊員 3 名（スコット＝マスターソン、ベス＝オブライエン、チャック＝ギャビン）と一体化して、チーム編成でソーキン・モンスターを迎え撃つという内容で放送された。『ウルトラマン USA（1989）』の公開から程なくした 1990 年には、ウルトラシリーズはオーストラリアでも制作された。『ULTRAMAN toward the future（邦題：ウルトラマン G（グレート））（1990）』は、国内で 1990 年の 9 月 25 日から 1991 年 6 月 27 日にビデオ作品として発信され（全 6 巻 13 話）、また 1991 年 12 月 23 日から 1992 年 1 月 4 日を放映期間に、NHK-BS からテレビ放映された。『ULTRAMAN toward the future (1990)』は、円谷プロ、バンダイビジュアル、丸紅、三菱自動車、読売広告社、講談社による政策委員会がバックアップし、1 本 5000 万円の製作費が投入されることが決定した。南オーストラリア州政府が経営するスタジオであるサウス・オーストラリアン・フィルム・コーポレーションでの制作体制で[155)]、全 13 本が制作された。本作ではオーストラリアを舞台に、物語前半では邪悪生命体ゴーデスとそれを追って地球にやってきたウルトラマングレートとの攻防が描写された（註 5）。作品後半では人間の自然環境の破壊によって出現した怪獣達との戦いから（註 6）、やがて環境破壊を行い続ける人類に怒り、地球そのものが人類を滅ぼすために怪獣達を呼び寄せる展開等（註 7）、広大な自然環境を有するオーストラリアの土地柄を生かした、国産のウルトラシリーズとは異なった描写が数多く見受けられた。また本作では、ウルトラマンが 3 分間しか地球上で活動できない理由を「激しい大気汚染のため」としており、環境問題と密接に繋がった作風も導入された。

『ULTRAMAN toward the future (1990)』以降、ウルトラシリーズの次回作は再び米国、実写作品としてハリウッドで制作されることになった。日米共同制作で誕生した実写作品『ULTRAMAN THE ULTIMATE HERO（邦題：ウルトラマンパワード）（1993）』は、『ウルトラマン（1966）』をハリウッドでリメイクする方向性（註 8）で、全 13 話が制作された[155)]。本作は 1993 年 12 月 5 日から 1994 年 8 月 25 日にビデオ作品として国内で販売され、TBS 系列で 1995 年 4 月 8 日から同年 7 月 1 日まで放映された（註 9）。

円谷プロが自社のウルトラシリーズを国外で展開していく一方で、東映はスーパー戦隊シリーズ第 16 作目『恐竜戦隊ジュウレンジャー（1992）』（註 10）を海外市場向けにリメイクした『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS (1993)』を、1993 年 8 月よりフォックステレビ系列で、ロサンゼルスやニューヨークでの大都市において月曜日から金曜日にかけて、午後 3 時からのレギュラー放送という形で発信された。ロサンゼルス地区のテレビ局では、開始早々から 6～7%の視聴率を獲得し、最高 9.1%を記録した[161)]。本作は、現地の俳優らが演じるドラマシーンは新規撮影され、ヒーローや怪人の対決や、巨大化した怪人と巨大ロボットとの対決といった戦闘シーンのみ『恐竜戦隊ジュウレンジャー（1992）』の映像を流用するという制作体制で約 30 分のドラマが製作された（註 11）。その結果、『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS (1993)』は大ヒットした。当時

あまりの人気にクリントン大統領夫妻は本作の俳優達をホワイトハウスに招待した他、関連商品の販売においても、変形合体ロボットや関連玩具を求めてショッピングモールに親達が殺到する現象が見られた他、品薄となった玩具の取り合いで客同士の喧嘩等が起こり、警察が出動する騒動まで発生した[71]。これを受けて本作のキャラクター玩具を販売している株式会社バンダイは、関連玩具を増産する体制に入る事態となった。またキャラクターを模ったアクションフィギュアだけでなく、『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS（1993)』テレビゲームソフトも発売された。本商品は1994年のクリスマス商戦ではベスト3にランクインする程の人気商品となった[161]。

『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS（1993)』が米国市場で爆発的なブームを起こしたことにより、1994年の米国玩具市場は前年対比7.2%増の164億ドルと過去最高を記録した[161]。商品展開（マーチャンダイジング）の相乗効果により、『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS（1993)』はさらに人気を上昇させていった。爆発的なヒットを記録した本作は、「アメリカの歴史上、もっとも成功した子供番組」と評価され、本作の放映期間は3シーズンの155話と長期間に渡り発信された。また現在も、『POWER RANGERS』シリーズは新作テレビシリーズの放映や新作映画の公開、玩具展開等が行われており、現在も100以上の国々で放映されている[171]。

上述してきたように、海外市場での特撮ヒーロー番組の発信が精力的に行なわれていく中、国内市場では特撮怪獣映画や、円谷プロや東映制作の特撮ヒーロー番組の発信も、1989年以降に精力的に行われるようになった。まず、東宝は1989年12月16日に『ゴジラVSビオランテ』を公開後、毎作ゴジラがキングギドラやモスラ等の人気怪獣や、新怪獣と激突する「平成VSシリーズ」を展開した（註12)。

また、海外市場でのウルトラシリーズを制作していた円谷プロは、『電光超人グリッドマン（1993)』（註13）の放送を開始した。本作では、コンピュータの中にある世界（コンピューターワールド）を舞台に、ハイパーエージェント・グリッドマンと、魔王カーンデジファーが送り込む怪獣が対決する内容で放送された。『電光超人グリッドマン（1993)』にて、都市を模したミニチュアを舞台に、ヒーローと怪獣を模した着ぐるみが立ち回りを行なう描写が再開され、やがて円谷プロは国産ウルトラシリーズの再開に着手していくことになった。『電光超人グリッドマン(1993)』の放映終了後、円谷プロはTVスペシャルとして『ウルトラセブン　太陽エネルギー作戦（1994)』を、資源エネルギー庁である通産省（現・経産省）とのタイアップ作品として放映した[150]。

一方、海外市場での『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS（1993)』で成功を収めていた東映も、国産特撮ヒーロー番組の制作を継続した。つまり、『重甲ビーファイター（1994)』、『ビーファイターカブト（1995)』等の、先述したメタルヒーローシリーズを継続して発信したと共に、『五星戦隊ダイレンジャー（1993)』、『忍者戦隊カクレンジャー（1994)』、『超力戦隊オーレンジャー（1995)』、『激走戦隊カーレンジャー（1996)』等のスーパー戦隊シリーズも、毎年新作を継続的に発表していった。

この時代を総括すると、1970年代に「変身ブーム」を体験した世代が大人へと成長し、ビデオソフトで、過去の特撮映像作品を懐かしみ、再評価を行う「レトロブーム」が台頭した。その結果、東映制作の『仮面ライダーBLACK（1988)』を筆頭とする、過去の特撮ヒーロー番組のシリーズが再開された。また、この時代は海外市場へ特撮映像作品の輸出が精力的に行なわれていた時期でもあり、東映制作の『MIGHTY MORPHIN POWER

RANGERS（1993)』による米国市場での爆発的ヒットや、米国や豪州での円谷プロのウルトラシリーズの制作が行なわれていた。

補註

註 1：創世王とは、『仮面ライダーBLACK（1987)』に登場する、暗黒結社ゴルゴムの守護神として君臨する存在である。5 万年の寿命を終える創世王に続く次期創世王の座は、本来は体内に「キングストーン」を宿した 2 人（南幸太郎・秋月信彦）が戦いあい、勝者が敗者の「キングストーン」を奪うことで継承されるというものであった。

註 2:最終的にシャドームーンは仮面ライダーBLACK に敗北し､創世王は仮面ライダーBLACK により倒された。しかしシャドームーンは生存していたことが次回作『仮面ライダーBLACK RX（1988)』で明らかとなり、本作にて RX とシャドームーンの最後の死闘が描写された。

註 3：『仮面ライダーBLACK RX（1988)』は『仮面ライダーBLACK（1987)』の後日談として制作された。つまり、仮面ライダーBLACK RX は仮面ライダーBLACK の進化体（同一人物）として描写されている｡この設定によって､両者に変身する南幸太郎を演じる倉田てつをが、番組を跨ぐ形で両作品に続投された。

註 4：例えば、大手玩具メーカーであるバンダイより発売された、ソフトビニール製の仮面ライダー人形シリーズである「KAMEN RIDER SERIES（1989)」では、『仮面ライダーBLACK（1988)』から仮面ライダーBLACK RX、ロボライダー、バイオライダーと三種類のソフトビニール人形が発売された。

註 5：邪悪生命体ゴーデスは本作第 1 話「銀色の巨人」でウルトラマングレートに敗れるも、その細胞は生きており地球へと飛来した。本作第 1 話から第 6 話にかけては「ゴーデス細胞」が地球の生命体に同化し、怪獣化したものとウルトラマングレートとの攻防が描写されている。また第 4 話「デガンジャの風」ではオーストラリアの先住民・アボリジニの伝説にある「地の怒りを伝える風の神」がゴーデス細胞により実体化した風魔神デガンジャが登場した。

註 6：本作第 7 話「森の守護神」では、人類の森の道路開発に怒る守護獣ガゼボや、第 8 話「姿なき復讐―昆虫の叫び―」には農薬「オルガノ・クロライン PCB」の影響で昆虫が異常成長した昆虫怪獣マジャバが登場した。

註 7：本作第 12 話「その名は“滅亡”―伝説 2 大怪獣登場―」、第 13 話（最終話)「永遠なる勇者―伝説 2 大怪獣登場―」において、人類を滅ぼすために地球が呼び寄せた伝説宇宙怪獣シラリー、伝説深海怪獣コダラーが登場した。

註 8：『ウルトラマンパワード（1993)』に登場した怪獣達は、パワードモンスターと呼称され、パワードバルタン星人やパワードダダといったように､「パワード〇〇」といった形で既存の『ウルトラマン(1966)』の人気怪獣達とは大きく異なるデザインが施された｡尚、これらの怪獣達のデザインは玩具メーカー大手株式会社バンダイの要請により前田真宏が行った。

註 9：本作の物語は、数多くの惑星を侵略してきた宇宙忍者バルタン星人を追って M78 星雲からやってきたウルトラマンパワードが、国連主導により編成された特捜チーム「W.I.N.R」北米支部の隊員（ケンイチ＝カイ）と「心には立ち入らない」ことを条件に一体化し、次々に出現する怪獣相手に戦うという物語が展開された。

註 10：『恐竜戦隊ジュウレンジャー』は、1992 年 2 月 21 日から 1993 年 2 月 12 日にかけ

て、スーパー戦隊シリーズ第 16 作目として放映された。本作の物語は、一億数千万年前の恐竜時代より甦った 5 人の戦士達が、魔女バンドーラー味から地球を守護するという内容であった。『恐竜戦隊ジュウレンジャー（1992)』が制作された時代背景には、1992 年にイベント「大恐竜博」の開催や、米国映画「ジュラシックパーク（1993)」の公開が控えている等、国内で再度「恐竜」がブームとして着目されていたこと [134] が挙げられ、本作はスーパー戦隊シリーズ初の「恐竜」をモチーフとしたスーパー戦隊となった。

また、シリーズ初の試みには他にも、シリーズ初の 6 人目の戦士（ドラゴンレンジャーことブライ）の加入や、「伝説の武器を入手する」といった作品放映当時子どもたちの娯楽対象として浸透していた RPG（ロールプレイングゲーム）を意識した描写が導入されていた。こうした「恐竜」をモチーフとしたスーパー戦隊は年代が変わるごとに周期的に登場し、シリーズ第 27 作目の『爆竜戦隊アバレンジャー（2003)』や、シリーズ第 37 作目の『獣電戦隊キョウリュウジャー（2013)』、『騎士竜戦隊リュウソウジャー（2019)』等が放映された。

註 11：コンテンツグローバル戦略研究会（2007）は、キャラクターのグローバルビジネス化について、まず、キャラクターそのものの無国籍性を利用した「ローカライズ」を挙げた。オリジナルが実写映像であっても、日本人俳優の出演シーンを現地俳優の演技に差し替えるなどの適切なローカライズを施すことによって、キャラクターそのものの露出はオリジナル映像を活かすことが可能であるとした。こうしたローカライズによって現地の市場に受け入れられれば、現地の TV 放映等によりキャラクターの認知度は大幅に上昇し、キャラクター商品の販売に大きく寄与することを挙げた [172]。

註 12：「平成 VS シリーズ」は、川北紘一を特技監督に起用し、シリーズ最終作の『ゴジラ VS デストロイア(1995)』まで展開された。本シリーズは、『ゴジラ VS キングギドラ(1991)』、シリーズ一番の観客動員数を記録した 420 万人を記録した [154]『ゴジラ VS モスラ(1992)』、『ゴジラ VS メカゴジラ（1993)』といったように、昭和のゴジラシリーズに登場した怪獣達とゴジラの再戦や、『ゴジラ VS スペースゴジラ(1994)』、『ゴジラ VS デストロイア(1995)』のように新怪獣とゴジラの対決等、多種多様な怪獣達がシリーズに出演した。

註 13：『電光超人グリッドマン』は、1993 年 4 月 8 日から 1994 年 1 月 8 日まで放映された円谷プロ制作の特撮ヒーロー番組（30 分枠番組）である。コンピュータの中にある世界（コンピュータワールド）支配を企み、同世界に怪獣を送り込む魔王カーンデジファーを迎え撃つため、ハイパーワールドからやって来たヒーロー・グリッドマンが 3 人の中学生と共に戦うという内容であった。また本作は玩具メーカーのタカラ（現・タカラトミー）の企画により立案されたもので、ヒーローとアシストウエポン（合体用メカ）との「合体」によるヒーローの強化（サンダーグリッドマン、キンググリッドマン等）が映像作品中にて描写された。また、タカラから販売された同作の玩具でも映像作品中の「合体」が再現できるギミックが展開された。

5－6　平成ウルトラシリーズ誕生期

この時代は、これまで米国やオーストラリアといった海外市場にて、ウルトラシリーズの制作を行なってきた円谷プロが、『ウルトラマンティガ（1996)』と題して約 16 年ぶりに国産ウルトラシリーズのテレビ放送を再開した。これを機に、『ウルトラマンダイナ（1997)』や『ウルトラマンガイア（1998)』と、約 3 年の間に継続的にテレビや映画を通

じてウルトラシリーズが発信されるようになった。一方、東宝はゴジラシリーズの公開を休止する代わりに、新たに『モスラ（1995)』シリーズを公開したほか、大映も『ガメラ』シリーズの公開を継続するなど、国産ウルトラシリーズの復活と並び、各映像制作会社の特撮怪獣映画の発信も精力的に行なわれるようになった。

この時代の名称について、文献等で具体的な呼称名は確認できない。しかし、1996 年以降に制作されたウルトラシリーズを「平成ウルトラ」という言説で集約した文献[173)]にならい、本論ではこの時代を「平成ウルトラシリーズ誕生期」と呼称した。「平成ウルトラシリーズ誕生期」では、特撮映像作品全 25 作品、681 本が発信された。発信された特撮映像作品一覧は表－21 の通りである。

表－21.平成ウルトラシリーズ誕生期（全 25 作品、681 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.ウルトラマンゼアス	1996年3月9日公開	1	劇場映画	円谷プロ
2.ガメラ2 レギオン襲来	1996年7月13日公開	1	劇場映画	大映
3.ウルトラマンティガ	1996年9月7日～1997年8月30日	52	テレビ	円谷プロ
4.モスラ	1996年12月14日公開	1	劇場映画	東宝
5.電磁戦隊メガレンジャー	1997年2月14日～1998年2月15日	51	テレビ	東映
6.ビーロボカブタック	1997年2月23日～1998年3月1日	52	テレビ	東映
7.激走戦隊カーレンジャーVSオーレンジャー	1997年3月14日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
8.ウルトラマンゼアス2/超人大戦・光と影	1997年4月12日公開	1	劇場映画	円谷プロ
9.ウルトラマンダイナ	1997年9月6日～1998年8月29日	51	テレビ	円谷プロ
10.ゴジラアイランド	1997年10月6日～1998年9月30日	256	テレビ	東宝
11.モスラ2 海底の大決戦	1997年12月13日公開	1	劇場映画	東宝
12.星獣戦隊ギンガマン	1998年2月22日～1999年2月14日	50	テレビ	東映
13.テツワン探偵ロボタック	1998年3月8日～1999年1月24日	45	テレビ	東映
14.電磁戦隊メガレンジャーVSカーレンジャー	1998年3月13日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
15.ウルトラマンティガ＆ウルトラマンダイナ 光の星の戦士たち	1998年3月14日公開	1	劇場映画	円谷プロ
16.ウルトラセブン生誕30周年記念3部作	1998年6月5日～1998年8月5日にかけて販売	3	ビデオ作品	円谷プロ
17.ウルトラマンガイア	1998年9月5日～1999年8月28日	51	テレビ	円谷プロ
18.モスラ3 キングギドラ来襲	1998年12月12日公開	1	劇場映画	東宝
19.救急戦隊ゴーゴーファイブ	1999年2月21日～2000年2月6日	50	テレビ	東映
20.ウルトラマンティガ・ウルトラマンダイナ＆ウルトラマンガイア 超時空の大決戦	1999年3月6日公開	1	劇場映画	円谷プロ
21.ガメラ3 邪神（イリス）覚醒	1999年3月6日公開	1	劇場映画	大映
22.星獣戦隊ギンガマンVSメガレンジャー	1999年3月12日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
23.ウルトラセブン1999 最終章6部作	1999年7月7日～1999年12月31日	6	ビデオ作品	円谷プロ
24.救急戦隊ゴーゴーファイブ 激突！新たなる超戦士	1999年7月9日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
25.ゴジラ2000 ミレニアム	1999年12月11日公開	1	劇場映画	東宝

この時代に発信された特撮映像作品の口火を切ったのは、劇場映画として公開された円谷プロの『ウルトラマンゼアス（1996)』（註 1）であった。1995 年の春に、円谷プロに電通の営業部から企業タイアップ企画が持ち込まれた本作は、出光興産による商品「ゼアスガソリン」をアピールするという意図から誕生した[155)]。これまでのウルトラシリーズで実践されなかった描写を多分に導入した『ウルトラマンゼアス（1996)』（註 2）は、円谷プロが企業と提携して特撮映像作品を制作した最初の事例であった（註 3)。翌年の 4 月 12 日には、本作の続編である『ウルトラマンゼアス 2 超人大戦・光と影』が公開され、先述した出光との提携を継続しながら、新たに K-1 とのタイアップが行なわれた（註 4）[155)]。

上述してきたとおり、円谷プロはこれまで、海外市場展開や企業とのタイアップを通じてウルトラシリーズを制作してきた。やがて、1996 年 9 月 7 日の『ウルトラマンティガ』

の放映開始を機に、国産ウルトラシリーズのテレビ放送を再開することになった（註 5)。

『ウルトラマンティガ（1996)』は、元々宇宙（M78 星雲など）からやって来るものであったウルトラマンの設定を排除し、3000 万年前の超古代から蘇ったウルトラマンが地球を守るという設定が導入された他、毎週登場する怪獣に応じた、シリーズ初のウルトラマンの 3 種のタイプチェンジ能力（マルチタイプ、パワータイプ、スカイタイプ）（註 6)等、これまで制作されたウルトラシリーズとは繋がりのない（註 7)、全く新しい特撮ヒーロー番組として制作された。本作の主人公（マドカ・ダイゴ）には、ジャニーズ事務所のアイドルグループ、「V6」に所属していた長野博が起用された。即ち、長野演じるダイゴの苦悩や、ダイゴが所属する特捜チーム（GUTS）の同僚である、ヤナセ・レナ隊員との恋愛模様も物語に導入される等、大人の視聴者に向けた展開も作品に導入されていた。

『ウルトラマンティガ（1996)』の放映を終えた円谷プロは、1997 年 9 月 6 日より、次回作『ウルトラマンダイナ（1997)』の放映を開始した。『ウルトラマンティガ（1996)』の続編として制作され、人類の宇宙進出を描写した本作は（註 8)、1997 年から 2005 年にかけての株式会社バンダイが販売したウルトラシリーズの変身アイテム玩具販売数では 1 位を記録するなど、平成ウルトラシリーズの中でも好調な玩具成績を記録した（註 9)。

ここまで述べてきた『ウルトラマンティガ（1996)』、『ウルトラマンダイナ（1997)』に続き、円谷プロは平成ウルトラシリーズ 3 作目として、1998 年 9 月 5 日より『ウルトラマンガイア（1998)』の放映を開始した。本作はシリーズ冒頭から 2 人のウルトラマン（大地の光を宿したウルトラマンガイアと、海の光を宿した青いウルトラマンアグル）を登場させ、「地球を守る」という考えの違いから、番組当初から対立するも、戦いの中で協力しあうようになっていく 2 人のウルトラマンの姿を連続ドラマ形式で描写した。

上述してきた平成ウルトラシリーズ 3 作品を、毎年継続的に発信してきた円谷プロであったが、当社は『ウルトラマンガイア（1998)』を最後に、テレビ番組を通じたウルトラシリーズの発信を休止した。

円谷プロが平成ウルトラシリーズを、テレビ番組を通じて発信していった一方で、他の映像制作会社は、昭和の時代に発信された特撮怪獣映画のシリーズ制作を再開した。東宝は、ゴジラと並ぶ代表怪獣である『モスラ』を、全 3 作品（『モスラ（1996)』、『モスラ 2 海底の大決戦（1997)』、『モスラ 3　キングギドラ来襲（1998)』）のシリーズ作品として公開した。

さらに大映も、『ガメラ』を新たなシリーズとして制作し、こちらも全 3 作品（『ガメラ大怪獣空中決戦（1995)』、『ガメラ 2　レギオン来襲（1996)』、『ガメラ 3　邪神（イリス）覚醒（1999)』）で全国公開された（註 10)。東宝の『モスラ』シリーズ 3 作品が、毎作子ども達（小学生）と守護獣モスラとの交流を描いていたファンタジー映画であったのに対し、大映の『ガメラ』シリーズ 3 作品では、少女と怪獣（ガメラ）との交流は描写しつつも、怪獣が一般人を襲う鮮血描写や、犠牲者の死体描写等、過激な描写を導入したスリラー映画の要素を内包していた（註 11)。よって、同じ特撮怪獣映画でありながら、対象年齢層の違う作品が集中していた時期でもあり、もはや特撮怪獣映画は未就学児だけを対象とした、いわゆる「子ども向け」ではない作品も併せて発信されるようになった時期でもあった。

このように、円谷プロと東宝は自社の代表作品を再開する形で、テレビや映画での特撮ヒーロー番組や、特撮怪獣映画の発信に攻勢をかけていた。しかし、1999 年を境に各社の

作品も発信を一斉に中断した。特撮怪獣が登場するテレビ番組や映画の量産が沈黙していった一方で、特撮ヒーロー番組を毎週日曜日の朝番組として固定化させることに成功した東映は（註 12)、これまで発信してきた「メタルヒーローシリーズ」に代わり、新たな仮面ライダーシリーズの制作に着手するようになっていった。

この時代を総括すると、1996 年に円谷プロ制作の『ウルトラマンティガ』の放映開始を契機に、特撮怪獣を中心とするテレビ番組や映画が精力的に増産されたが、1999 年以降から次第に沈黙していくようになった時代であった。

補註

註 1:『ウルトラマンゼアス（1996)』は、『ウルトラマン（1966)』を再編集した特撮映像作品『甦れ！ウルトラマン』、アニメ作品『ウルトラマンカンパニー　こちらウルカン特捜（騒）隊で～す！』の 3 本立てで、「ウルトラマンワンダフルワールド」と題して国内各地の映画館で公開された。

表－22.「ウルトラマンワンダフルワールド」上映作品一覧

公開年	映画祭タイトル	上映作品	ジャンル	配給
1996年3月9日	「ウルトラマンワンダフルワールド」	「ウルトラマンゼアス」	特撮	松竹
		「甦れ！ウルトラマン」	特撮	
		「ウルトラマンカンパニー　こちらウルカン特捜（騒）隊で～す！」	アニメ	

註 2:『ウルトラマンゼアス（1996)』の物語は、Z95 星雲・ピカリの国から地球をクリーンにする使命を帯びてやって来たウルトラマンゼアスが、自身のガス中毒を直すために地球の「金（きん)」をねらう慢性ガス過多症宇宙人ベンゼン星人相手に立ち向かう物語であった。本作はこれまでのウルトラシリーズの中で見られなかった設定を導入しているのが特徴で、ウルトラマンが戦士として未熟かつ、大変な潔癖症であるという設定を持っていた。また、本作に登場する特捜チーム、「超宇宙防衛機構 Mydo」には、「とんねるず」が起用され、隊長の大河内神平を石橋貴明が、副隊長の小中井仏吉を木梨憲武が演じていた。Mydo メンバーは普段は出光ガソリンスタンドの店員として勤務し、怪現象や怪事件の発生時には Mydo 隊員として活動するという特殊な設定を有していた。

註 3:『ウルトラマンゼアス（1996)』が公開されて以降も、円谷プロと他企業とのタイアップ企画用のウルトラマンの制作が行われていた。2006 年には、円谷プロと NTT 東日本との提携で制作されたネット配信用特撮映像作品『ウルトラマンメビウス外伝　ヒカリサーガ』が制作された。

註 4:正統派武闘映画として制作された『ウルトラマンゼアス 2 超人大戦・光と影(1997)』では、空手家のアンディ・フグが武闘を披露した他、同じく空手家である角田信朗が朝日勝人（ウルトラマンゼアス）を特訓するシーンが導入される等、格闘色が強く意識された。

註 5:『ウルトラマンティガ（1996)』は、前作『ウルトラマン 80（1980)』以来、約 16 年ぶりとなる、テレビメディアでの発信を視野とした国産ウルトラシリーズとなった。

註 6:『ウルトラマンティガ（1996)』のタイプチェンジ能力は、次回作『ウルトラマンダイナ（1997)』においても継承されている。ウルトラマンダイナも 3 種のタイプチェンジ能力（フラッシュタイプ、ミラクルタイプ、ストロングタイプ）が導入されていた。

註 7：例外として、1997 年 8 月 9 日放映の『ウルトラマンティガ』第 49 話「ウルトラの

星」において、『ウルトラマン（1966)』より初代ウルトラマンが登場した。
註 8:『ウルトラマンダイナ（1997)』は、『ウルトラマンティガ（1996)』の物語から 7 年後の世界観（AD2017）を描いている。本作では、前作『ウルトラマンティガ（1996)』で活躍した特捜チーム GUTS が発展したスーパーGUTS が登場するなど、前作の登場人物が各回にて出演する描写が導入された。
註 9：ソフトビニール人形や変身アイテム等、ウルトラシリーズの関連玩具販売を行っている株式会社バンダイによる、『ウルトラマンティガ（1996)』以降のウルトラシリーズの変身アイテムの販売数ランキング（1997 年～2005 年）によると、『ウルトラマンダイナ（1997)』の変身アイテムであるリーフラッシャーが 1 位を記録し、第 2 位にエスプレンダー（『ウルトラマンガイア（1998)』)、第 3 位にスパークレンス（『ウルトラマンティガ（1996)』）と続き、それ以降はコスモプラック（『ウルトラマンコスモス（2001)』)、アグレイター（『ウルトラマンガイア（1998)）の順にランキングされた[174)]。
註 10:『ガメラ　大怪獣空中決戦（1995)』、『ガメラ 2　レギオン襲来（1996)』、『ガメラ 3 邪神（イリス）覚醒（1999)』の 3 作品のみ、これまでガメラシリーズを制作してきた大映ではなく、東宝によって配給された。
註 11:『ガメラ　大怪獣空中決戦（1995)』、『ガメラ 2　レギオン襲来（1996)』、『ガメラ 3 邪神（イリス）覚醒（1999)』の 3 作品は、従来のガメラシリーズが持っていたガメラと敵怪獣との攻防、これらを迎え撃つ人類というシリーズの基礎は守りながら、現実の世界に実際に大怪獣が出現した状況を彷彿とさせるリアリズムを追求した作品として製作されているのも特徴であった。『ガメラ 2　レギオン襲来（1996)』で見られるソルジャーレギオンの地下鉄襲撃に伴う犠牲者の出血描写や、『ガメラ 3　邪神（イリス）覚醒（1999)』において、渋谷でのガメラとギャオスの戦闘による人々の大量死、イリスの襲撃による犠牲者の惨殺死体描写等がこれに該当し、作品視聴年齢層を上げた試みが確認できた。
註 12：東映は、1997 年 4 月 6 日より、スーパー戦隊シリーズ第 21 作目『電磁戦隊メガレンジャー』の放映時間を、毎週金曜 17 時 30 分から毎週日曜 7 時 30 分に変更した。これにより、毎週日曜 8 時より放映のメタルヒーローシリーズ第 16 作目『ビーロボ　カブタック』と、併せて東映作品が連続して放映される時間枠となった。この時間枠は以降も堅持され、毎週 7 時 30 分からスーパー戦隊シリーズ、8 時よりメタルヒーローシリーズ（『仮面ライダークウガ（2000)』以降は仮面ライダーシリーズ）が放映されるようになった。
　2003 年より、朝 7 時 30 分から朝 8 時 30 分まで東映の特撮ヒーロー番組が連続して放映される当時間枠は「スーパーヒーロータイム」と呼称されるようになった。朝 7 時 30 分から放映のスーパー戦隊シリーズ（『爆竜戦隊アバレンジャー（2003)』から『宇宙戦隊キュウレンジャー（2017)』）と、朝 8 時から放映の仮面ライダーシリーズ（『仮面ライダー555（2003)』から『仮面ライダービルド（2017)』）は、約 14 年間当時間枠で継続して発信された。しかし、約 14 年間堅持されてきた「スーパーヒーロータイム」の時間枠は、2017 年 10 月 1 日より変更されることになった。10 月 1 日以降、毎週日曜 9 時より仮面ライダーシリーズ、9 時 30 分よりスーパー戦隊シリーズと、放映時間の変更と発信順が入れ替えられる形で継続されることになり、現在に至っている。

5－7　平成仮面ライダーシリーズ誕生期

　この時代は、1990 年代のウルトラシリーズの復活に続く形で、2000 年に仮面ライダー

シリーズが復活した。東映制作の平成仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズといった等身大の特撮ヒーロー番組の躍進が目立つようになった一方で、2000 年初頭からの平成ウルトラシリーズの苦戦や、制作側である円谷プロの経営難による買収、50 年目の節目にしてシリーズが終了したゴジラシリーズ等、特撮怪獣を商材としたテレビ番組や映画を取り囲む時代背景は決して良好とは言えない状況に陥ることとなった。さらにこの時代は、特撮映像作品の発信媒体が、これまでのテレビや映画、オリジナルビデオ作品等に加えて、インターネット動画を活用した「ネット配信作品」が制作されるようになったことで、新たな映像メディアを通じた特撮映像作品の発信が強化された時代でもあった。

こうした背景から、東映の仮面ライダーシリーズのテレビ放送が平成に再開し、「平成仮面ライダーシリーズ」と呼称され [175]、隆盛を極めるようになった時代として、当研究ではこの時代を「平成仮面ライダーシリーズ誕生期」と呼称した。この時代に発信された全 93 作品 1525 本は表－23 の通りである。

表－23.平成仮面ライダーシリーズ誕生期（全 93 作品、1525 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	製作会社
1.仮面ライダークウガ	2000年1月30日～2001年1月21日	49	テレビ	東映
2.未来戦隊タイムレンジャー	2000年2月13日～2001年2月11日	51	テレビ	東映
3.救急戦隊ゴーゴーファイブVSギンガマン	2000年3月10日	1	ビデオ作品	東映
4.ウルトラマンティガ THE FINAL ODYSSEY	2000年3月11日公開	1	劇場映画	円谷プロ
5.ウルトラマンネオス	2000年11月22日~2001年5月5日にかけて販売開始	12	ビデオ作品	円谷プロ
6.ゴジラ×メカギラス G消滅作戦	2000年12月16日公開	1	劇場映画	東宝
7.ウルトラマンティガ外伝 古代に蘇る巨人	2001年1月25日販売開始	1	ビデオ作品	円谷プロ
8.仮面ライダーアギト	2001年1月28日～2002年1月27日	51	テレビ	東映
9.百獣戦隊ガオレンジャー	2001年2月18日～2002年2月10日	51	テレビ	東映
10.ウルトラマンダイナ 帰ってきたハネジロー	2001年2月25日に販売開始	1	ビデオ作品	円谷プロ
11.未来戦隊タイムレンジャーVSゴーゴーファイブ	2001年3月9日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
12.ウルトラマンガイア ガイアよ再び	2001年3月25日に販売開始	1	ビデオ作品	円谷プロ
13.ウルトラマンコスモス	2001年7月7日～2002年9月28日	65	テレビ	円谷プロ
14.ウルトラマンコスモス THE FIRST CONTACT	2001年7月20日公開	1	劇場映画	円谷プロ
15.百獣戦隊ガオレンジャーVSスーパー戦隊	2001年8月10日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
16.劇場版仮面ライダーアギト PROJECT G4	2001年9月22日公開	1	劇場映画	東映
17.劇場版百獣戦隊ガオレンジャー 火の山、吼える	2001年9月22日公開	1	劇場映画	東映
18.仮面ライダーアギトスペシャル「新たなる変身」	2001年10月1日	1	テレビ	東映
19.ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001年12月15日公開	1	劇場映画	東宝
20.仮面ライダー龍騎	2002年2月3日～2003年1月19日	50	テレビ	東映
21.忍風戦隊ハリケンジャー	2002年2月17日～2003年2月9日	51	テレビ	東映
22.ウルトラマンコスモス2 THE BLUE PLANET	2002年8月3日公開	1	劇場映画	円谷プロ
23.新世紀劇場版 ウルトラマン伝説	2002年8月3日公開	1	劇場映画	円谷プロ
24.ウルトラセブンEVOLUTION5部作	2002年5月22日～9月25日にかけて販売開始	5	ビデオ作品	円谷プロ
25.劇場版仮面ライダー龍騎 EPISODE FINAL	2002年8月17日公開	1	劇場映画	東映
26.忍風戦隊ハリケンジャー シュシュッとTHE MOVIE	2002年8月17日公開	1	劇場映画	東映
27.ウルトラマンコスモス2 THE BLUE PLANET ムサシ(13才)少年編	2002年9月7日公開	1	劇場映画	円谷プロ
28.仮面ライダー龍騎スペシャル 13RIDERS	2002年9月19日	2	テレビ	東映
29.ゴジラ×メカゴジラ	2002年12月14日公開	1	劇場映画	東宝
30.仮面ライダー555	2003年1月26日～2004年1月18日	50	テレビ	東映
31.爆竜戦隊アバレンジャー	2003年2月16日～2004年2月8日	50	テレビ	東映
32.忍風戦隊ハリケンジャーVSガオレンジャー	2003年3月14日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
33.ウルトラマンコスモスVSウルトラマンジャスティス THE FINAL BATTLE	2003年8月2日公開	1	劇場映画	円谷プロ
34.新世紀2003ウルトラマン伝説 THE KING'SJUBILEE	2003年8月2日公開	1	劇場映画	円谷プロ
35.仮面ライダー555 パラダイス・ロスト	2003年8月16日公開	1	劇場映画	東映
36.爆竜戦隊アバレンジャー DELUXE アバレサマーはキンキン中！	2003年8月16日公開	1	劇場映画	東映
37.美少女戦士セーラームーン	2003年10月4日～2004年9月25日	49	テレビ	東映
38.超星神グランセイザー	2003年10月4日～2004年9月25日	51	テレビ	東宝
39.ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003年12月13日公開	1	劇場映画	東宝
40.仮面ライダー剣	2004年1月25日～2005年1月23日	49	テレビ	東映
41.特捜戦隊デカレンジャー	2004年2月15日～2005年2月6日	50	テレビ	東映
42.爆竜戦隊アバレンジャーVSハリケンジャー	2004年3月12日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
43.劇場版仮面ライダー剣 MISSING ACE	2004年9月11日公開	1	劇場映画	東映
44.特捜戦隊デカレンジャー THE MOVIE フルブラスト・アクション	2004年9月11日公開	1	劇場映画	東映
45.ウルトラマンネクサス	2004年10 月2日～2005年6月25日	37	テレビ	円谷プロ
46.幻星神ジャスティライザー	2004年10月2日～2005年9月24日	51	テレビ	東宝
47.ゴジラ FINAL WARS	2004年12月4日公開	1	劇場映画	東宝
48.ULTRAMAN	2004年12月18日公開	1	劇場映画	円谷プロ
49.仮面ライダー響鬼	2005年1月30日～2006年1月22日	48	テレビ	東映
50.魔法戦隊マジレンジャー	2005年2月13日～2006年2月12日	49	テレビ	東映
51.特捜戦隊デカレンジャーVSアバレンジャー	2005年3月21日	1	ビデオ作品	東映
52.ウルトラマンマックス	2005年7月2日～2006年4月1日	39	テレビ	円谷プロ
53.妖怪大戦争	2005年8月6日公開	1	劇場映画	角川映画
54.劇場版仮面ライダー響鬼と7人の戦鬼	2005年9月3日公開	1	劇場映画	東映
55.魔法戦隊マジレンジャー THE MOVIE インフェルシアの花嫁	2005年9月3日公開	1	劇場映画	東映
56.超星艦隊セイザーX	2005年10月1日～2006年6月24日	38	テレビ	東宝
57.牙狼〈GARO〉	2005年10月7日～2006年3月31日	25	テレビ	テレビ東京
58.仮面ライダー THE FIRST	2005年11月5日公開	1	劇場映画	東映
59.劇場版 超星艦隊セイザーX 戦え！星の戦士たち	2005年12月17日	1	劇場映画	東宝
60.魔弾戦記リュウケンドー	2006年1月8日～2006年12月31日	52	テレビ	テレビ愛知

61.仮面ライダーカブト	2006年1月29日～2007年1月21日	49	テレビ	東映
62.轟轟戦隊ボウケンジャー	2006年2月19日～2007年2月11日	49	テレビ	東映
63.魔法戦隊マジレンジャーVSデカレンジャー	2006年3月10日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
64.ウルトラマンメビウス	2006年4月8日～2007年3月31日	50	テレビ	円谷プロ
65.小さき勇者たち－GAMERA－	2006年4月29日公開	1	劇場映画	角川ヘラルド映画
66.ウルトラマンメビウス外伝 ヒカリサーガ	2006年6月30日～2006年11月30日	3	Web配信	円谷プロ
67.劇場版仮面ライダーカブト GOD SPEED LOVE	2006年8月5日公開	1	劇場映画	東映
68.轟轟戦隊ボウケンジャー THE MOVIE 最強のプレシャス	2006年8月5日公開	1	劇場映画	東映
69.ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟	2006年9月16日公開	1	劇場映画	円谷プロ
70.牙狼〈GARO〉スペシャル 白夜の魔獣	2006年12月15日・2006年12月22日	2	テレビ	ファミリー劇場
71.仮面ライダー電王	2007年1月28日～2008年1月20日	49	テレビ	東映
72.獣拳戦隊ゲキレンジャー	2007年2月18日～2008年2月10日	49	テレビ	東映
73.轟轟戦隊ボウケンジャーVSスーパー戦隊	2007年3月9日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
74.劇場版仮面ライダー電王 俺、誕生！	2007年8月4日公開	1	劇場映画	東映
75.電影版 獣拳戦隊ゲキレンジャー ネイネイ！ホウホウ！香港大決戦	2007年8月4日公開	1	劇場映画	東映
76.ULTRASEVENX	2007年10月5日～2007年12月21日	12	テレビ	円谷プロ
77.仮面ライダー THE NEXT	2007年10月27日公開	1	劇場映画	東映
78.ウルトラギャラクシー 大怪獣バトル	2007年12月1日～2008年2月23日	13	テレビ	円谷プロ
79.仮面ライダーキバ	2008年1月27日～2009年1月18日	48	テレビ	東映
80.炎神戦隊ゴーオンジャー	2008年2月17日～2009年2月8日	50	テレビ	東映
81.獣拳戦隊ゲキレンジャーVSボウケンジャー	2008年3月14日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
82.トミカヒーロー レスキューフォース	2008年4月5日～2009年3月28日	51	テレビ	テレビ愛知
83.劇場版仮面ライダー電王＆キバ クライマックス刑事	2008年4月12日公開	1	劇場映画	東映
84.炎神戦隊ゴーオンジャー BONBON！BONBON！ネットでBONG！！	2008年7月11日より配信	5	Web配信	東映
85.劇場版仮面ライダーキバ 魔界城の王	2008年8月9日公開	1	劇場映画	東映
86.炎神戦隊ゴーオンジャー BUNBUN！BANBAN！劇場BANG！！	2008年8月9日公開	1	劇場映画	東映
87.ウルトラマンメビウス外伝 アーマードダークネス	2008年7月25日～8月22日にかけて販売開始	2	ビデオ作品	円谷プロ
88.大決戦！超ウルトラ8兄弟	2008年9月13日公開	1	劇場映画	円谷プロ
89.劇場版さらば仮面ライダー電王 ファイナル・カウントダウン	2008年10月4日公開	1	劇場映画	東映
90.ウルトラギャラクシー 大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY	2008年12月20日～2009年3月14日	13	テレビ	円谷プロ
91.トミカヒーロー レスキューフォース 爆裂MOVIE マッハトレインをレスキューせよ!	2008年12月20日	1	劇場映画	松竹
92.爆走！トミカヒーローグランプリ	2008年12月21日	2	劇場映画	松竹
93.劇場版 炎神戦隊ゴーオンジャーVSゲキレンジャー	2009年1月24日公開	1	劇場映画	東映

東映は 2000 年 1 月 30 日に『仮面ライダークウガ（2000）』の放映を開始したことで、長期的な休眠期にあった仮面ライダーシリーズのテレビ放送を再開した。本作は、バイクに乗って颯爽と現れる「仮面ライダー」や、主人公による「変身」という、これまで制作された仮面ライダーシリーズの制約は保守しつつも、改造人間や「ショッカー」を筆頭とする敵組織の設定の排除を行い、古代から蘇った仮面ライダーと怪人が闘う全く新しい仮面ライダーとして発信された（註 1）。　また『仮面ライダークウガ（2000）』でも、作品中のヒーローのスタイルチェンジが実践され（註 2）、この描写は以降の平成仮面ライダーシリーズでも実践されるようになった（註 3）。

時代が 21 世紀に突入して以降、円谷プロや東映が制作する特撮ヒーロー番組は、善なる正義のヒーローが悪を葬る、いわゆる「勧善懲悪」形式から脱却した作風の特撮ヒーロー番組を量産するになった。この社会的背景には、米国で 911 テロ（註 4）が発生したことが挙げられる。つまり特撮ヒーロー番組において、作品の登場人物を「正義」や「悪」と 2 分化する描写が困難となり、従来の「勧善懲悪」から異なる正義を掲げる存在同士がぶつかる物語へと移行せざる負えない影響を受けていたことが考えられる。

21 世紀最初の特撮ヒーロー番組として、2001 年 1 月 28 日に『仮面ライダーアギト』の放映が開始された。本作では、物語当初から 3 人の仮面ライダーが登場するという仮面ラ

イダー史上初の試みがなされ、怪人を退治する描写の一方で、それぞれの仮面ライダーが「個人」として戦い合い、苦悩するドラマが展開された（註 5）。

また『仮面ライダーアギト（2001）』では、ヒーロー役に抜擢された主演俳優に美男、いわゆる「イケメン」俳優を起用して、番組に母親を筆頭とする女性層を取り組む動きが活発化し始めた時期でもあった[176]。本作以降の東映制作の特撮ヒーロー番組でも、「イケメン」俳優を起用して作品の視聴層が拡大する動きが確認出来るようになった（註 6）。

東映が仮面ライダーシリーズのテレビ放送を再開していった一方で、円谷プロは『ウルトラマンコスモス』を 2001 年 7 月 7 日に放映した。本作に登場するウルトラマンコスモスは、怪獣を殺さずに保護するという慈愛の戦士（註 7）として描写され、従来のウルトラシリーズのように怪獣を退治するのではなく、怪獣達を保護し共存していくという設定が導入された。これまでのウルトラシリーズにはない設定を導入し、全体的に温かな作風となった本作は全 65 話が放映され、また映画も全 4 作品が公開された。

しかし、上述してきた東映の『仮面ライダーアギト（2001）』、円谷プロの『ウルトラマンコスモス（2001）』の放映期間中に、米国で 911 テロが発生したことによって、特撮ヒーロー番組は、個人が掲げる複数の正義がぶつかり合う「価値観の衝突」という世相が大きく反映されていくようになった。つまり、これまでの特撮ヒーロー番組で行われてきた、絶対なる正義が諸悪を叩き潰すという、いわゆる「勧善懲悪」の作品ではなく、「正義とはなにか」を作品視聴者に投げかける作風の特撮ヒーロー番組が放映されるようになった。

東映は 911 テロの影響を受け[175]、『仮面ライダー龍騎』を 2002 年 2 月 3 日に放映した。本作は、13 人の仮面ライダーが己の欲望のために殺し合い、生き残った最後の 1 人が願いを叶えることができる「ライダーバトル（＝仮面ライダー同士の殺し合い）」を物語の核としていた。つまり先述した『ウルトラマンコスモス（2001）』が相手への理解や調和を提唱したのに対して、『仮面ライダー龍騎（2002）』はそのアンチテーゼであった。13 人分の多様化する価値観同士がぶつかり合い強い者が勝ち残る、戦わなければ生き残れない状況下での複数のヒーロー像（＝個人）を描写していた。911 の影響を受けた『仮面ライダー龍騎（2002）』は[175]、これまでの仮面ライダーシリーズの固定概念を破壊しただけでなく、以降の特撮ヒーロー番組のジャンルそのものに問題提起する作品となった。

『仮面ライダー龍騎（2002）』の放送終了後も、東映は『仮面ライダー555（2003）』や『仮面ライダー剣（ブレイド）（2004）』等、平成仮面ライダーシリーズの放送を継続したが、これらの作品もまた、「正義とは何か」を提唱した作品でもあった。『仮面ライダー555（ファイズ）（2003）』では、仮面ライダーと敵対する怪人側にも苦悩や葛藤が描写された。つまり、「なぜ怪人は人を殺すのか」、「何のために怪人は生きるのか」といった問題提起が作品中で行われる物語が展開された（註 8）。

このように平成仮面ライダーシリーズが、21 世紀以降の特撮ヒーロー番組の中でも隆盛を極めていく一方で、特撮怪獣を題材としたテレビ番組や映画は、苦境の時代を迎えることとなった。東宝は 1999 年 12 月 11 日に、観客動員数 200 万人を記録した『ゴジラ 2000 ミレニアム（1999）』を公開して以降、毎年正月映画としてゴジラの映画が公開されるようになった。しかし、観客動員数 240 万人を記録した『ゴジラ　モスラ　キングギドラ　大怪獣総攻撃（2001）」の公開後、ミレニアムシリーズは観客動員数が 200 万人を越えることはなく、『ゴジラ×メカゴジラ（2002）』は観客動員数が 170 万人、『ゴジラ×モスラ×メカゴジラ　東京 SOS（2003）』では 110 万人と、観客動員数は減少の一途を辿ることに

なった[154)]。

結果的にゴジラシリーズは、観客動員数100万人を記録した『ゴジラ　FINAL　WARS（2004）』を最後に[154)]、シリーズを終了することになった。その結果、ゴジラシリーズは『シン・ゴジラ（2016）』までの約12年に渡る長期的な休眠期に突入することになった。ゴジラシリーズの終了後、大映が、2006年4月29日に、ガメラシリーズ最新作として『小さき勇者たち　GAMERA』が公開されたが、シリーズ化には至らず、単発的な復活となった。

こうした21世紀初頭での特撮怪獣映画に対する厳しい風当たりの中で、特撮怪獣が活躍する作品の制作を継続したのは円谷プロのウルトラシリーズのみであった。平成仮面ライダーシリーズの台頭が目立つ中、円谷プロは2004年10月2日に『ウルトラマンネクサス』の放映を開始した。本作では、大河ドラマを彷彿とさせる連続ドラマ形式、ウルトラマンに変身する人物が複数存在する設定等、新たな試みが行われた（註9）。しかし、毎週怪獣を掃討できないウルトラマンの苦戦、毎週土曜日朝7時半という早朝枠でのホラー演出を含んだ暗い作風（註10）等が、作品視聴者に受け入れられたとは言い難かった。放送初回は5.2%の視聴率を保っていたが、以降5%を越えることはなく、全37話で打ち切りが決定した[176)]。これによりシリーズのバトンは、原点回帰を提唱した『ウルトラマンマックス（2005）』へ急遽受け継がれる形となった。

『ウルトラマンマックス（2005）』では原点回帰が掲げられ、M78星雲出身のウルトラマンの登場や、さらに『ウルトラマン（1966）』や『ウルトラセブン（1967）』の人気怪獣達が再登場する等（註11）かつてウルトラシリーズを視聴していた親世代を視聴層に取り込む試みが見られた。このような、ウルトラシリーズを視聴する子ども世代に加えて、過去のヒーローや怪獣の再登場といった試みで、親子二世代の視聴層を作品に取り込むという番組づくりは、後の円谷プロ作品において継続されていくことになった。

さらに、ウルトラシリーズ生誕40周年記念作品として制作された『ウルトラマンメビウス（2006）』が制作された。本作でも、昭和時代に制作されたウルトラシリーズより、ウルトラ兄弟、人気怪獣の再登場等（註12）、過去の作品の視聴者を意識した展開に力が注がれた。しかし、本作の放映終了後、円谷プロの経営困難に伴う、他社による買収が行われたことにより（註13）、ウルトラシリーズのテレビ番組の制作が事実上困難な状態に陥った。以降、『ウルトラマンギンガ（2013）』まで、地上波テレビシリーズの新作が放映されることはなかった（註14）。

上述してきた通り、この時代は、東映の平成仮面ライダーシリーズの放送開始や、特撮怪獣映画の終焉、円谷プロの経営不振等の、特撮映像作品を巡る様々な事象が発生していた。さらにこの時代は、特撮ヒーロー番組の発信媒体の拡大や、深夜番組での放映開始、アニメ人気声優の積極的起用と、作品視聴者層の拡大が急速に行われていた時代でもあった。

まず、インターネット配信による特撮映像作品の発信が行われるようになった。これまで、映画、テレビ、ビデオによる作品の発信が行われてきたウルトラシリーズは、2006年6月30日に、『ウルトラマンメビウス外伝　ヒカリサーガ』が、NTTグループによるコンテンツサイト「フレッツ・スクウェア」及びインターネットポータルサイトgooにて配信された。ウルトラマンヒカリを主人公に、全3話、各話約15分で制作された本作は、我が国初のインターネット配信による特撮映像作品となった（註15）。

続いて、特撮映像作品は、深夜番組としても放映されるようになった。2005 年 10 月 7 日より、テレビ東京にて『牙狼〈GARO〉』が放映された。本作は、人間の魂を喰らう怪物ホラーを迎え撃つため、魔戒騎士が「黄金の鎧」を装着して牙狼（ガロ）となる内容で放映された。『GARO (2005)』はその後もシリーズ化され、現在までテレビと映画を通じて、継続的に発信される作品となった。また、円谷プロも深夜番組として、2007 年 10 月 5 日より、『ULTRASEVENX』を発信した。

最後に、この時代では、特撮ヒーロー番組にアニメ声優の積極的起用が行なわれるようになったことにも特徴があった。平成仮面ライダーシリーズ第 8 作目『仮面ライダー電王（2007)』以降、東映が制作する特撮ヒーロー番組には、アニメ人気声優を積極的に起用するようになった。これにより、特撮のファンだけでなく、アニメファンも作品視聴者として作品に取り込む動きが見られるようになった。

『仮面ライダー電王（2007)』に登場する仮面ライダー電王は、未来からやってきた怪人達（イマジン）が人間（野上良太郎）に憑依して仮面ライダー電王となって戦う内容で作品が放映された。着ぐるみによるイマジン達の声は、これまで人気アニメ作品に出演経歴のある人気声優が起用された（註 16)。ここまで上述してきたアニメ人気声優を特撮ヒーロー番組に起用する動きは、次回作『仮面ライダーキバ (2008)』においても行われるようになった（註 17)。

この時代を総括すると、『仮面ライダークウガ（2000)』を皮切りに、東映は仮面ライダーシリーズのテレビ放送を再開した。「イケメン」や「人気声優」の作品起用など、女性層やアニメファンを視聴層に取り込む試みを行なった仮面ライダーシリーズは、毎年継続して発信される人気シリーズとして成長した。一方、東宝のゴジラシリーズの終了や、円谷プロの経営難でウルトラシリーズの継続が難しくなる等、特撮怪獣を商材とした映画やテレビ番組は苦境に立たされた時代でもあった。

補註

註 1 :『仮面ライダークウガ（2000)』では、ショッカーの代わりに、ヒーローと敵対する集団として戦闘民族グロンギ（怪人）が登場した。グロンギは、古代から蘇り、それぞれの階級（最下位が「ズ」、中位が「メ」、最高位が「ゴ」）を持ち、独特の言語を話し、「ゲゲル」と呼ばれる殺人ゲームを行う恐怖の存在として描写された。

これまでの『仮面ライダー（1971)』シリーズでは、悪の組織にて首領を党首に、作戦を指示する幹部、現場にて作戦を遂行する怪人、またそれを補佐する戦闘員といった組織制度が強調されていたが、悪の組織という設定が排除された『仮面ライダークウガ（2000)』では、「殺人」を題材とした、より過激な階級制度が導入されたことで、怪人の愉快犯的な性質も描写されるようになった。

註 2 : 円谷プロの『ウルトラマンティガ（1996)』が、ヒーローの 3 タイプチェンジを描写したのに対し、「仮面ライダークウガ（2000)」では、4 形態（マイティフォーム、ドラゴンフォーム、ペガサスフォーム、タイタンフォーム）へのフォームチェンジを当初行っていた。しかし、物語の進行に併せて、さらに 5 形態（ライジングマイティ、ライジングドラゴン、ライジングペガサス、ライジングタイタン、アメイジングマイティ）が加えられた他、最強形態としてアルティメットフォームが登場する等、様々な姿に変身して戦闘を行うようになった。また、仮面ライダークウガの新しい姿が本編にて披露されるのに応じて、

各形態の関連玩具も販売される等、玩具点数の増加にも一役買う形となった。
註 3:『仮面ライダークウガ（2000)』以降に放映された平成の仮面ライダーシリーズも、通常の姿とは別の姿に変身する「フォームチェンジ」を積極的に実践するようになった。例えば、『仮面ライダー剣（2004)』に登場する仮面ライダーブレイドは、通常の姿とは別の形態を有しており、この設定は他にも、『仮面ライダーキバ（2008)』でも同様に描写された。
註 4:2011 年 9 月 11 日に、米国にて発生した 4 件の同時多発テロの総称。アメリカン航空 11 便、ユナイテッド航空 175 便の 2 機が、ニューヨークのワールド・トレードセンター・ツインタワーに、アメリカン航空 77 便がバージニア州アメリカ国防総省本庁舎に、それぞれ衝突し、ユナイテッド航空 93 便は、ペンシルベニア州に墜落した。米国は、オサマ・ヴィンラディンが統制するテロ組織アルカイダによる犯行と断定し、当人の引き渡しに応じなかったタリバン政権への報復として、第二次アフガニスタン紛争が発生した。
註 5:『仮面ライダーアギト（2001)』では、「アギトになる者（＝仮面ライダーアギトこと津上翔一)」、「アギトになろうとする者（＝仮面ライダーG3 こと氷川誠)」、「アギトになってしまった者（＝仮面ライダーギルスこと葦原涼)」の 3 者の視点（後に 4 人目の仮面ライダー、アナザーアギトこと木野薫が物語に加わる）から物語が展開された。
註 6：2001 年に放映された東映の特撮ヒーロー番組は、それぞれの作品の主演俳優の写真集が販売された。『仮面ライダーアギト』では、「MASK-OFF　劇場版「仮面ライダーアギト」写真集」と題して、仮面ライダーを演じた 3 俳優（賀集利樹、要潤、友井雄亮）の写真集が、番組放映期間中の 2001 年に廣済堂出版より販売された。同じく、東映が制作したスーパー戦隊シリーズ『百獣戦隊ガオレンジャー』でも、本作のヒーロー・ガオシルバーを演じた玉山鉄二の写真集である「Fe2―玉山鉄二写真集」が、2002 年に角川書店より販売された。以降に放映された東映の特撮ヒーロー番組も、主演俳優あるいは女優の写真集（または DVD）を継続して販売する展開が現在まで確認することが出来る。
註 7：ウルトラマンコスモスは慈愛の戦士として、相手をむやみに傷つけない戦い方が提唱されているが、戦う相手に応じて姿を変えること（モードチェンジ）が可能である。「優しさ」をモットーとする慈愛のルナモード、理解し合えない相手に対して力技による制裁を行う「強さ」のコロナモード。また、番組中盤より、「優しさ」と「強さ」を合せた「勇気」のエクリプスモードがテレビシリーズに登場した。
註 8:『仮面ライダー555（2003)』では、人間の進化形態である怪人の集団「オルフェノク」が登場した。しかし彼ら自身も元は人間であり、中には人類との共存を望み人間として生きようとする者達の苦悩が描かれる等、人間とオルフェノク両者の混迷する姿が作品中にて描写された。
註 9：ウルトラマンネクサスは、本作にて 4 人の人間がウルトラマンへの変身を果たしている。2004 年 10 月 2 日放映の Episode01「夜襲－ナイトレイド－」から、2005 年 3 月 19 日放映の Episode24「英雄－ヒーロー－」までは姫矢准が、2005 年 3 月 26 日放映の Episode25「予兆－プロフェシー－」から 2005 年 6 月 18 日までの Episode36「決戦－フェアウェル－」までは千樹憐が、2005 年 6 月 25 日放映の「絆－ネクサス－」では西条凪、孤門一輝が、ウルトラマンネクサスに変身する描写が行なわれた。
註 10:『ウルトラマンネクサス（2004)』の世界観が暗く描写された事例には、敵側である怪獣達（スペースビースト）による人間を対象とした捕食描写や、敵側に利用され精神が

錯乱した女性の怪奇描写等が挙げられる。
註 11：一例として、『ウルトラマンマックス（2005)』第 6 話「爆撃、5 秒前！」では、「ウルトラマン（1966)」よりどくろ怪獣レッドキングと友好珍獣ピグモンが登場した。
註 12：例えば、『ウルトラマンメビウス（2006)』第 3 話「ひとつきりの命」には、『ウルトラマンタロウ（1973)』に登場した火山怪鳥バードンが登場した。
註 13：『ウルトラマンメビウス（2006)』放映終了後、円谷プロは銀行からの融資が打ち止めされ、財務は悪化。2007 年夏には手元資金が枯渇した状態であった。2008 年 1 月、株式会社 TYO により円谷プロが子会社化。最終的に円谷プロは、2010 年 4 月に株式会社フィールズの子会社となった[177)]。
註 14：2007 年 12 月 1 日より、円谷プロは BS11 にて『ウルトラギャラクシー大怪獣バトル』を放映した。これは ZAP　SPACY 隊員の怪獣使い（＝レイオニクス）であるレイ（＝レイモン）を主人公に、彼が操る怪獣達（古代怪獣ゴモラ、原始怪鳥リトラ、宇宙怪獣エレキング）が辺境の惑星ボリスを舞台に、ZAP　SPACY の行く手を阻む怪獣達と激闘を繰り広げる物語である。本作は続編も制作され、『ウルトラギャラクシー大怪獣バトル　NEVER ENDING　ODYSSEY（2008)』が同じく BS11 にて 2008 年 12 月 20 日より放映された。
註 15：ネット配信作品は、円谷プロ制作の『ウルトラマンメビウス外伝　ヒカリサーガ』を皮切りに、東映制作の『ネット版　仮面ライダー×スーパー戦隊　スーパーヒーロー大変～犯人はダレだ？！（2012)』、『ネット版　仮面ライダー×スーパー戦隊×宇宙刑事　スーパーヒーロー大戦 Z！～HERO！知恵袋知恵袋～あなたのお悩み解決します！（2013)』等、東映からも次々に作品が制作された。また、2016 年 4 月 1 日より完全オリジナル作品として『仮面ライダーアマゾンズ』が Amazon プライム・ビデオより配信される等、ネット配信作品は現在も制作され続けている。
註 16：『仮面ライダー電王（2007)』にてイマジンの声を務めた声優には、関俊彦（モモタロス役)、遊佐 浩二（ウラタロス役)、てらそままさき（キンタロス役)、鈴村健一（リュウタロス役）等が出演した。関は『学園特捜ヒカリオン（1987)』、遊佐は『超者ライディーン（1996)』、てらそまは『NARUTO -ナルト- 疾風伝 力-chikara-（2008)』、鈴村は『デジモンフロンティア（2002)』等のアニメ作品にて声優を務めていた。
註 17：『仮面ライダーキバ（2008)』に登場する、主人公（紅渡）を補佐するキバットバットⅢ世の声は、『銀魂（2006)』等のアニメ作品に出演した声優の杉田智和が務めた。なお、杉田智和は、円谷プロ制作の『ウルトラマンギンガ（2013)』及び『ウルトラマンギンガ S（2014)』において、ウルトラマンギンガとその宿敵ダークルギエルの声も務めている。

5－8　世代共演頻出期

この時代に発信された特撮映像作品は、先述した円谷プロの『ウルトラマンマックス（2005)』や『ウルトラマンメビウス（2006)』において実践された、過去に登場したヒーローや怪獣が再登場する演出を導入した内容の特撮ヒーロー番組の量産が、精力的に行なわれた時代であった。つまり、現役で放送中の特撮ヒーロー番組にて、主人公（現在のヒーロー）が、過去の作品の出演者（過去のヒーロー）と共演する、いわゆる「世代共演」をセールスポイントとした特撮ヒーロー番組や映画が、各映像制作会社より多発的に制作されるようになった。こうした「世代共演」を演出する特撮ヒーロー番組が制作されるようになった背景には、各映像制作会社が発信してきた特撮ヒーロー番組や映画が、半世紀

以上の長期間に渡って、シリーズが断続的に発信され続けてきたことに伴い、作品視聴層が親子二世代から親子三世代へと拡大しつつあったことが挙げられる。つまり、過去のヒーローが「商材」となって、現役で放送されている特撮ヒーロー番組や映画に、かつての視聴層を呼び戻す試みが多発的に行なわれる時代であった。

また、この時代は特撮ヒーロー番組と関連商品を販売する玩具会社（株式会社バンダイ[178]）との連携がより精力的に行なわれた時代でもあった。つまり、特撮ヒーロー（あるいは敵側）を強化させる素材として、カードや人形等といった玩具を本編に登場させることで、番組を通じた玩具販売の促進が行なわれていた。この時代に発信された特撮映像作品全 169 作品、1722 本は表－24 の通りである（2019 年 6 月 11 日時点）。

表－24.世代共演頻出期（全 169 作品、1722 本）特撮映像作品一覧

主な特撮映像作品	作品発信期間	本数	発信媒体	制作会社
1.仮面ライダーディケイド	2009年1月25日～2009年8月30日	31	テレビ	東映
2.侍戦隊シンケンジャー	2009年2月15日～2010年2月7日	49	テレビ	東映
3.トミカヒーローレスキューファイアー	2009年4月4日～2010年3月27日	51	テレビ	テレビ愛知
4.劇場版 超・仮面ライダー電王&ディケイド NEOジェネレーションズ 鬼ヶ島の戦艦	2009年5月1日	1	劇場映画	東映
5. 劇場版仮面ライダーディケイド オールライダー対大ショッカー	2009年8月8日公開	1	劇場映画	東映
6. 侍戦隊シンケンジャー 銀幕版 天下分け目の戦	2009年8月8日公開	1	劇場映画	東映
7. 仮面ライダーW	2009年9月6日～2010年8月29日	49	テレビ	東映
8. ウルトラマンメビウス外伝 ゴーストリバース	2009年11月25日～12月22日にかけて販売開始	2	ビデオ作品	円谷プロ
9. 大怪獣バトル ウルトラ銀河伝説 THE MOVIE	2009年12月12日公開	1	劇場映画	円谷プロ
10.仮面ライダー×仮面ライダー W&ディケイドMOVIE大戦2010	2009年12月12日公開	1	劇場映画	東映
11.侍戦隊シンケンジャーVSゴーオンジャー 銀幕BANG！！	2010年1月30日公開	1	劇場映画	東映
12.天装戦隊ゴセイジャー	2010年2月14日～2011年2月6日	50	テレビ	東映
13.超・電王 トリロジー EPISODE RED ゼロのスタートウィンクル	2010年5月22日公開	1	劇場映画	東映
14.超・電王 トリロジー EPISODE BLUE 派遣イマジンはNEWトラル	2010年6月5日公開	1	劇場映画	東映
15.超・電王 トリロジー EPISODE YELLOW お宝DE・エンド・パイレーツ	2010年6月19日公開	1	劇場映画	東映
16.仮面ライダーW FOREVER AtoZ/運命のガイアメモリ	2010年8月7日公開	1	劇場映画	東映
17.天装戦隊ゴセイジャー エピック ON THE ムービー	2010年8月7日公開	1	劇場映画	東映
18.仮面ライダーオーズ	2010年9月5日～2011年8月28日	48	テレビ	東映
19.牙狼〈GARO〉～RED REQUIEM～	2010年10月30日公開	1	劇場映画	東北新社
20.ウルトラ銀河伝説外伝 ウルトラマンゼロVSダークロプスゼロ	2010年11月26日～12月22日にかけて販売開始	2	ビデオ作品	円谷プロ
21.仮面ライダー×仮面ライダー オーズ&ダブルfeat.スカル MOVIE大戦CORE	2010年12月18日公開	1	劇場映画	東映
22.ウルトラマンゼロ THE MOVIE 超決戦！ベリアル銀河帝国	2010年12月23日公開	1	劇場映画	円谷プロ
23.海賊戦隊ゴーカイジャー	2011年2月13日～2012年2月19日	51	テレビ	東映
24.オーズ・電王・オールライダー レッツゴー仮面ライダー	2011年4月1日公開	1	劇場映画	東映
25.仮面ライダーアクセル	2011年4月21日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
26.ゴーカイジャーゴセイジャースーパー戦隊199ヒーロー大決戦	2011年6月11日公開	1	劇場映画	東映
27.仮面ライダーエターナル	2011年7月21日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
28.帰ってきた天装戦隊ゴセイジャー last epic	2011年6月21日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
29.劇場版仮面ライダーオーズWONDERFUL 将軍と21のコアメダル	2011年8月6日公開	1	劇場映画	東映
30.海賊戦隊ゴーカイジャー THE MOVIE 空飛ぶ幽霊船	2011年8月6日公開	1	劇場映画	東映
31.仮面ライダーフォーゼ	2011年9月4日～2012年8月26日	48	テレビ	東映
32.呀〈KIBA〉～暗黒騎士鎧伝～	2011年9月7日	1	ビデオ作品	東北新社
33.牙狼〈GARO〉～MAKAISENKI～	2011年10月6日～2012年3月29日	25	テレビ	テレビ東京
34.ウルトラゾーン	2011年10月16日～2012年3月26日	23	テレビ	円谷プロ
35.ウルトラマンゼロ外伝 キラーザビートスター	2011年11月25日・2011年12月22日	2	ビデオ作品	円谷プロ
36.仮面ライダー×仮面ライダー フォーゼ&オーズMOVIE大戦 MEGA MAX	2011年12月10日公開	1	劇場映画	東映
37.海賊戦隊ゴーカイジャーVS宇宙刑事ギャバン THE MOVIE	2012年1月21日公開	1	劇場映画	東映
38.特命戦隊ゴーバスターズ	2012年2月26日～2013年2月10日	50	テレビ	東映
39.ウルトラマンサーガ	2012年3月24日公開	1	劇場映画	円谷プロ
40.ネット版仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大変～犯人は誰だ？！～	2012年4月1日より配信	10	Web配信	東映
41.非公認戦隊アキバレンジャー	2012年4月6日～2012年6月29日	13	テレビ	東映
42.仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大戦	2012年4月21日公開	1	劇場映画	東映
43.劇場版仮面ライダーフォーゼTHE MOVIE みんなで宇宙キターッ！	2012年8月4日公開	1	劇場映画	東映
44.仮面ライダーウィザード	2012年9月2日～2013年9月29日	53	テレビ	東映
45.宇宙刑事ギャバン THE MOVIE	2012年10月20日公開	1	劇場映画	東映
46.仮面ライダー×仮面ライダー ウィザード&フォーゼ MOVIE大戦 アルティメイタム	2012年12月8日公開	1	劇場映画	東映
47.特命戦隊ゴーバスターズVS海賊戦隊ゴーカイジャー THE MOVIE	2013年1月19日公開	1	劇場映画	東映
48.牙狼〈GARO〉～蒼哭ノ魔竜～	2013年2月23日公開	1	劇場映画	東北新社
49.獣電戦隊キョウリュウジャー	2013年2月17日～2014年2月9日	48	テレビ	東映
50.非公認戦隊アキバレンジャー シーズン痛	2013年4月5日～2013年6月28日	13	テレビ	東映
51.牙狼〈GARO〉～闇を照らす者～	2013年4月5日～2013年9月20日	25	テレビ	テレビ東京
52.ネット版仮面ライダー×スーパー戦隊×宇宙刑事 スーパーヒーロー大戦Z！～Heroo！知恵袋～あなたのお悩み解決します	2013年4月12日より配信	10	Web配信	東映
53.仮面ライダー×スーパー戦隊×宇宙刑事 スーパーヒーロー大戦Z	2013年4月27日公開	1	劇場映画	東映
54.ウルトラゼロファイト	2013年6月21日に販売開始	1	ビデオ作品	円谷プロ
55.帰ってきた特命戦隊ゴーバスターズVS動物戦隊ゴーバスターズ	2013年6月21日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
56.ウルトラマンギンガ	2013年7月10日～2014年2月26日	12	テレビ	円谷プロ
57.牙狼外伝 桃幻の笛	2013年7月20日公開	1	劇場映画	東北新社
58.劇場版仮面ライダーウィザード IN MAGICLAND	2013年8月3日公開	1	劇場映画	東映
59.劇場版 獣電戦隊キョウリュウジャー ガブリンチョ・オブ・ミュージック	2013年8月3日公開	1	劇場映画	東映
60.忍風戦隊ハリケンジャー 10YEARS AFTER	2013年8月9日に販売開始	1	ビデオ作品	東映

61.ウルトラマンギンガ劇場スペシャル	2013年9月7日公開	1	劇場映画	円谷プロ
62.仮面ライダー鎧武	2013年10月6日～2014年9月28日	47	テレビ	東映
63.仮面ライダー×仮面ライダー 鎧武&ウィザード 天下分け目の戦国MOVIE大合戦	2013年12月14日公開	1	劇場映画	東映
64.獣電戦隊キョウリュウジャーVSゴーバスターズ 恐竜大決戦！さらば永遠の友よ	2014年1月18日公開	1	劇場映画	東映
65.烈車戦隊トッキュウジャー	2014年2月16日～2015年2月15日	47	テレビ	東映
66.絶狼〈ZERO〉-BLACK BLOOD-（白の章）	2014年3月8日公開	1	劇場映画	東北新社、オムニバス・ジャパン
67.ウルトラマンギンガ劇場スペシャル ウルトラ怪獣☆ヒーロー大乱戦！	2014年3月15日公開	1	劇場映画	円谷プロ
68.絶狼〈ZERO〉-BLACK BLOOD-（白の章）	2014年3月22日公開	1	劇場映画	東北新社、オムニバス・ジャパン
69.平成ライダー対昭和ライダー 仮面ライダー大戦 feat.スーパー戦隊	2014年3月29日公開	1	劇場映画	東映
70.烈車戦隊トッキュウジャーVS仮面ライダー鎧武 春休み合体スペシャル	2014年3月30日	1	テレビ	東映
71.牙狼〈GARO〉-魔戒ノ花-	2014年4月4日～2014年9月26日	25	テレビ東京	東映
72.キカイダーREBOOT	2014年5月24日公開	1	劇場映画	東映
73.帰ってきた獣電戦隊キョウリュウジャー 100YEARS AFTER	2014年6月20日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
74.ウルトラマンギンガS	2014年7月15日～2015年12月23日	16	テレビ	円谷プロ
75.劇場版仮面ライダー鎧武 サッカー大決戦！黄金の果実争奪杯！	2014年7月19日公開	1	劇場映画	東映
76.仮面ライダードライブ	2014年10月5日～2015年9月27日	48	テレビ	東映
77.宇宙刑事シャリバン NEXT GENERATION	2014年10月10日より販売開始	1	ビデオ作品	東映
78.宇宙刑事シャイダー NEXT GENERATION	2014年11月7日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
79.仮面ライダー×仮面ライダー ドライブ&鎧武 MOVIE大戦 フルスロットル	2014年12月13日公開	1	劇場映画	東映
80.仮面ライダードライブ第0話シークレットミッション「カウントダウン to グローバルフリーズ」	2014年12月13日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
81.烈車戦隊トッキュウジャーVSキョウリュウジャー THE MOVIE	2015年1月17日公開	1	劇場映画	東映
82.手裏剣戦隊ニンニンジャー	2015年2月22日～2016年2月7日	47	テレビ	東映
83.劇場版 ウルトラマンギンガS 決戦！ウルトラ10勇士！！	2015年3月14日公開	1	劇場映画	円谷プロ
84.スーパーヒーロー大戦GP 仮面ライダー3号	2015年3月21日公開	1	劇場映画	東映
85.牙狼〈GARO〉-GOLD STORM- 翔 劇場版	2015年3月28日公開	1	劇場映画	東北新社
86.牙狼〈GARO〉-GOLD STORM- 翔	2015年4月3日～9月11日	23	テレビ	テレビ東京
87.鎧武/ガイム外伝 仮面ライダー斬月 仮面ライダーバロン	2015年4月22日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
88.行って帰ってきた烈車戦隊トッキュウジャー 夢の超トッキュウ7号	2015年6月24日	1	ビデオ作品	東映
89.ウルトラマンX	2015年7月14日～2015年12月22日	22	テレビ	円谷プロ
90.劇場版仮面ライダードライブ SURPRISE FUTURE	2015年8月15日公開	1	劇場映画	東映
91.手裏剣戦隊ニンニンジャー THE MOVIE 恐竜殿さま アッパレ忍法帖！	2015年8月15日公開	1	劇場映画	東映
92.仮面ライダー4号	2015年4月1日より配信	3	ネット配信	東映
93.仮面ライダーゴースト	2015年10月4日～2016年9月25日	50	テレビ	東映
94.特捜戦隊デカレンジャー 10YEARS AFTER	2015年10月7日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
95.鎧武/ガイム外伝 仮面ライダーデューク 仮面ライダーナックル	2015年11月11日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
96.媚空ーピクウー	2015年11月14日公開	1	劇場映画	東北新社
97.仮面ライダー×仮面ライダー ゴースト&ドライブ 超MOVIE大戦ジェネシス	2015年12月12日公開	1	劇場映画	東映
98.ウルトラファイトビクトリー	2015年12月20日に販売開始	1	ビデオ作品	円谷プロ
99.仮面ライダーゴースト 伝説！ライダーの魂！	2016年1月より配信	7	ネット配信	東映
100.手裏剣戦隊ニンニンジャーVSトッキュウジャー THE MOVIE 忍者 イン ワンダーランド	2016年1月23日公開	1	劇場映画	東映
101.動物戦隊ジュウオウジャー	2016年2月14日～2017年2月5日	48	テレビ	東映
102.劇場版ウルトラマンX きたぞ！われらのウルトラマン	2016年3月12日公開	1	劇場映画	円谷プロ
103.仮面ライダー1号	2016年3月26日公開	1	劇場映画	東映
104.仮面ライダーアマゾンズ	2016年4月1日より配信	13	ネット配信	東映
105.牙狼〈GARO〉-魔戒烈伝-	2016年4月9日～6月25日	12	テレビ	テレビ東京
106.ドライブサーガ 仮面ライダーチェイサー	2016年4月20日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
107.帰ってきた手裏剣戦隊ニンニンジャー ニンニンガールズVSボーイズ FINAL WARS	2016年6月22日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
108.牙狼〈GARO〉-阿修羅-	2016年4月29日～6月25日	12	テレビ	東北新社
109.ウルトラマンオーブ	2016年7月9日～12月24日	25	テレビ	円谷プロ
110.シン・ゴジラ	2016年7月29日公開	1	劇場映画	東宝
111.劇場版仮面ライダーゴースト 100の眼魂とゴースト運命の瞬間	2016年8月6日公開	1	劇場映画	東映
112.劇場版動物戦隊ジュウオウジャー ドキドキ サーカス パニック！	2016年8月6日公開	1	劇場映画	東映
113.仮面ライダーエグゼイド	2016年10月2日～2017年8月27日	45	テレビ	東映
114.ドライブサーガ 仮面ライダーマッハ/仮面ライダーハート	2016年11月16日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
115.仮面ライダー平成ジェネレーションズ Dr.パックマン対エグゼイド&ゴーストwithレジェンドライダー	2016年12月10日公開	1	劇場映画	東映
116.ウルトラマンオーブ THE ORIGIN SAGA	2016年12月26日より配信	12	ネット配信	円谷プロ
117.絶狼-ZERO- -DRAGON BLOOD-	2017年1月6日～3月31日	13	テレビ	東北新社
118.仮面ライダーエグゼイド【裏技】仮面ライダーゲンム	2017年1月13日より配信	3	ネット配信	東映
119.動物戦隊ジュウオウジャーVSニンニンジャー 未来からのメッセージ from スーパー戦隊	2017年1月14日公開	1	劇場映画	東映
120.宇宙戦隊キュウレンジャー	2017年2月12日～2018年2月4日	48	テレビ	東映
121.宇宙戦隊キュウレンジャー 変身講座 ～君も一緒にスターチェンジ！～	2017年2月11日より配信	7	ネット配信	東映

122.仮面ライダーブレイブ～Surviveせよ！復活のビーストライダー・スクワッド！～	2017年2月19日より配信	1	ネット配信	東映
123.仮面ライダーxスーパー戦隊 超スーパーヒーロー大戦	2017年3月24日公開	1	劇場映画	東映
124.仮面戦隊ゴライダー	2017年3月25日より配信	3	ネット配信	東映
125.劇場版 ウルトラマンオーブ 絆の力、おかりします!	2017年3月11日公開	1	劇場映画	円谷プロ
126.アイドルx戦士 ミラクルちゅーんず！	2017年4月2日～2018年3月25日	51	テレビ	タカラトミー、OLM
127.仮面ライダーアマゾンズ season2	2017年4月7日より配信	13	ネット配信	東映
128.獣電戦隊キョウリュウジャーブレイブ	2017年4月14日より配信	12	ネット配信	東映
129.ゴースト RE:BIRTH 仮面ライダー スペクター	2017年4月19日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
130.スペース・スクワッド ギャバンVSデカレンジャー	2017年6月17日公開	1	劇場映画	東映
131.ガールズ・イン・トラブル スペース・スクワッド EPISODE ZERO	2017年6月17日公開	1	劇場映画	東映
132.帰ってきた動物戦隊ジュウオウジャー お命頂戴!地球王者決定戦	2017年6月28日	1	ビデオ作品	東映
133.ウルトラマンジード	2017年7月8日～12月23日	25	テレビ	円谷プロ
134.劇場版仮面ライダーエグゼイド トゥルーエンディング	2017年8月5日	1	劇場映画	東映
135.宇宙戦隊キュウレンジャー THE MOVIE ゲース・インダベーの逆襲	2017年8月5日	1	劇場映画	東映
136.仮面ライダービルド	2017年9月3日～2018年8月26日	49	テレビ	東映
137.from Episode of スティンガー 宇宙戦隊キュウレンジャー ハイスクールウォーズ	2017年9月9日より配信	5	ネット配信	東映
138.宇宙戦隊キュウレンジャー Episode of スティンガー	2017年10月25日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
139.仮面ライダー平成ジュネレーションズ FINALビルド＆エグゼイドwithレジェンドライダー	2017年12月9日	1	劇場映画	東映
140.ウルトラファイトオーブ	2017年4月15日	1	ビデオ作品	円谷プロ
141.快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー	2018年2月11日～2019年2月10日	51	テレビ	東映
142.獣電戦隊キョウリュウジャー 第33.5話「これぞブレイブ！たたかいのフロンティア」	2018年2月12日	1	ネット配信	東映
143.劇場版ウルトラマンジード つなぐぜ! 願い！！	2018年3月10日公開	1	劇場映画	円谷プロ
144.仮面ライダーエグゼイド トリロジー アナザー・エンディング 仮面ライダーブレイブ&スナイプ	2018年3月28日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
145.仮面ライダーエグゼイド トリロジー アナザー・エンディング 仮面ライダーパラドクスwithポッピー	2018年4月11日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
146.仮面ライダーエグゼイド トリロジー アナザー・エンディング 仮面ライダーゲンムVSレーザー	2018年4月25日に販売開始	1	ビデオ作品	東映
147.マジマジョピュアーズ！	2018年4月1日 ～ 2019年3月24日	51	テレビ	タカラトミー、OLM
148.劇場版仮面ライダーアマゾンズ THE MOVIE 最後ノ審判	2018年5月19日公開	1	劇場映画	東映
149.ウルトラマンR/B	2018年7月7日～12月22日	25	テレビ	円谷プロ
150.劇場版仮面ライダービルド	2018年8月4日	1	劇場映画	東映
151.劇場版快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー en film	2018年8月4日	1	劇場映画	東映
152. 快盗戦隊ルパンレンジャー＋警察戦隊パトレンジャー ～究極の変合体！	2018年8月4日・8月11日配信	2	ネット配信	東映
153.警察戦隊パトレンジャー Feat. 快盗戦隊ルパンレンジャー ～もう一人のパトレン2号	2018年8月4日・8月11日配信	2	ネット配信	東映
154.仮面ライダージオウ	2018年9月2日～放映中*1	40	テレビ	東映
155.神ノ牙-JINGA-	2018年10月4日～12月28日	13	テレビ	東北新社
156.平成仮面ライダー20作記念 仮面ライダー平成ジェネレーションズ FOREVER	2018年12月22日公開	1	劇場映画	東映
157.4週連続スペシャル スーパー戦隊最強バトル!!	2019年2月17日～3月10日	4	テレビ	東映
158.騎士竜戦隊リュウソウジャー	2019年3月17日～放映中*1	14	テレビ	東映
159.仮面ライダージオウ スピンオフ PART1『RIDER TIME 仮面ライダーシノビ』	2019年3月31日より配信	3	ネット配信	東映
160.仮面ライダージオウ スピンオフ PART2『RIDER TIME 仮面ライダー龍騎』	2019年3月31日より配信	3	ネット配信	東映
161.ビルドNEW WORLD 仮面ライダークローズ	2019年4月24日	1	ビデオ作品	東映
162.劇場版ウルトラマンR/B セレクト！絆のクリスタル	2019年3月8日公開	1	劇場映画	円谷プロ
163.ひみつ×戦士 ファントミラージュ!	2019年4月7日～放映中*2	11	テレビ	タカラトミー、OLM
164.ドライブサーガ 仮面ライダーブレン	2019年4月28日・5月5日配信	2	ネット配信	東映
165.ルパンレンジャーVSパトレンジャーVSキュウレンジャー	2019年8月21日	1	ビデオ作品	東映
166.ウルトラマンタイガ	2019年7月6日より放送開始	0	テレビ	円谷プロ
167.劇場版 仮面ライダージオウ Over Quartzer	2019年7月26日	1	劇場映画	東映
168.騎士竜戦隊リュウソウジャー THE MOVIE タイムスリップ！恐竜パニック！！	2019年7月26日	1	劇場映画	東映
169.ビルド NEW WORLD 仮面ライダーグリス	2019年11月27日	1	ビデオ作品	東映

*1 2019年6月23日までの放送分を記載

*2 2019年6月16日までの放送分を記載

この時代に発信された特撮映像作品の先陣を切ったのが、東映の平成仮面ライダーシリーズであった。東映は 2009 年 1 月 25 日に、シリーズ第 10 作目として『仮面ライダーディケイド』の放映を開始した。本作は、「通りすがりの仮面ライダー」である仮面ライダーディケイド（＝門矢士）が 9 つの平成仮面ライダーの世界（『仮面ライダークウガ（1999）』から『仮面ライダーキバ（2008）』までの 9 つの仮面ライダーの世界）を巡るという、シリーズの集大成的な作品となった。

『仮面ライダーディケイド（2009）』では、『仮面ライダークウガ（1999）』から『仮面ライダーキバ（2008）』まで登場してきた、過去の平成仮面ライダー達との共演が本作のセールスポイントとなっていた（註 1）。また、本作の終盤からは『仮面ライダークウガ（2000）』以降排除されてきた「悪の組織」を作品に導入し、秘密結社「大ショッカー」を登場させた。この試みにより、平成仮面ライダーシリーズの視聴層（子どもから青年層）だけでなく、昭和の仮面ライダーシリーズを視聴してきた親世代も取り込んでいく作風が導入されていった（註 2）。

『仮面ライダーディケイド（2009）』の放映終了後、2009 年 9 月 6 日より『仮面ライダーW（2009）』が放映を開始した。本作では、「ヒーロー対悪の組織」から成る、昭和の仮面ライダーシリーズの設定を復活させた。また、本作において仮面ライダーシリーズ共通の玩具である「変身ベルト」の設定が一新された。即ち、ヒーローは変身ベルトだけでは変身できず、変身ベルトに対して、何らかのサブパーツ（USB メモリ、メダル、錠前、ミニカー、時計等）を装填することで、様々なヒーローに変身できる設定となった。この設定の導入により、仮面ライダーシリーズの主力玩具であった変身ベルトの販売方法も変質を遂げた。つまり、仮面ライダーシリーズに登場するヒーローの関連玩具（人形、変身ベルト等）を販売してきた株式会社バンダイは、玩具商品の購入をベルトだけに留まらせず、ベルトに装填するサブパーツを追加販売していくことで、商品に対する子ども達の収集欲を継続的に維持していく販売方法[175]を導入していた（註 3）。

当販売方法の確立は、仮面ライダーシリーズそのものにも影響を与えた。サブパーツの増加によるヒーローの多彩な強化描写（註 4）や、サブパーツを巡るヒーローと敵側の戦闘描写（註 5）等、番組自体も玩具販売と連動した描写が導入されるようになった。この玩具販売と連動した特撮ヒーロー番組の制作は、仮面ライダーシリーズのみならず、スーパー戦隊シリーズやウルトラシリーズ等、他の特撮ヒーロー番組でも行なわれるようになった。

『仮面ライダーW（2009）』以降も、『仮面ライダーオーズ（2010）』や『仮面ライダーフォーゼ（2011）』、『仮面ライダーウィザード（2012）』、『仮面ライダーエグゼイド（2016）』等、平成仮面ライダーシリーズは年に 1 作品のペースで、テレビ番組の発信を継続した。また、どの作品も上述した過去の仮面ライダーシリーズからのヒーローの再登場や、玩具販売と連動した番組制作は継続的に行われてきた。

平成仮面ライダーシリーズが「世代共演」を作品のセールスポイントとして定着させていく中、同じく東映のスーパー戦隊シリーズにおいても、「世代共演」が頻繁に描写されるようになった。2011 年 2 月 13 日より放映された、シリーズ第 35 作目『海賊戦隊ゴーカイジャー』では、過去のシリーズに出演した主演俳優（ヒーロー）や悪役を再起用して物語を盛り上げる等の演出（註 6）が導入された。これにより、過去の作品を視聴した世代も、旧作を懐かしみながら視聴できる作品となっていた。

『海賊戦隊ゴーカイジャー（2011）』の物語は、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』から『天装戦隊ゴセイジャー（2010）』までの歴代 34 作品のスーパー戦隊を模したアイテム、レンジャーキーを所有するゴーカイジャー5 人（後にゴーカイシルバーが加わり 6 人編成となる）が、歴代 34 のスーパー戦隊の「大いなる力」を集めて、地球にあるという「宇宙最大のお宝」を目指す内容であった。

『海賊戦隊ゴーカイジャー（2011）』の放映終了後も、スーパー戦隊シリーズは『特命戦

隊ゴーバスターズ（2012）』、『獣電戦隊キョウリュウジャー（2013）』、『烈車戦隊トッキュウジャー（2014）』と毎年 1 作品ずつ新番組を放映していく形で継続し、シリーズ生誕 40 周年作品『手裏剣戦隊ニンニンジャー（2015）』が 2015 年 2 月 22 日より放映された。

『手裏剣戦隊ニンニンジャー（2015）』でも、過去のスーパー戦隊シリーズからヒーローが再登場する展開は継続された。これは、次回作『動物戦隊ジュウオウジャー（2016）』や『宇宙戦隊キュウレンジャー（2017）』も同様であった（註 7）。

このように、東映は『仮面ライダーディケイド（2009）』制作以降、特撮ヒーロー番組において、現在と過去のヒーローの「世代共演」をセールスポイントにした作品の制作を継続的に行なってきた。さらに東映は、テレビ番組だけでなく映画においても、現在と過去のヒーローが共演することを PR した作品の公開も併せて行なってきた。

まず、2009 年 8 月 8 日に「劇場版仮面ライダーディケイド　オールライダー対大ショッカー」が公開された。本作は、仮面ライダー1 号から仮面ライダーディケイドまでの歴代の仮面ライダー総員（26 人）が一堂に会して共通の敵（大ショッカー）と戦うという内容で、以降、東映は仮面ライダーが総集結して敵と戦う内容の映画を頻繁に制作するようになった（註 8）。さらに、先述した『海賊戦隊ゴーカイジャー（2011）』でも、2011 年 6 月 11 日に『ゴーカイジャー　ゴセイジャー　スーパー戦隊 199 ヒーロー大決戦』と題して、歴代のスーパー戦隊シリーズに登場した 199 のヒーローが一堂に集結して敵と戦う映画が公開された。

やがて東映制作の特撮ヒーローが総集結する映画は、『スーパーヒーロー大戦』と題して、これまで別個の作品として発信されてきた仮面ライダーシリーズとスーパー戦隊シリーズの共演映画を制作する方向へと舵を切るようになっていった。2012 年には全仮面ライダーと全スーパー戦隊の全面戦争を描いた映画『仮面ライダー×スーパー戦隊　スーパーヒーロー大戦』が公開された。翌年には、『宇宙刑事ギャバン（1982）』をはじめとする、東映のメタルヒーローシリーズを加えた映画『仮面ライダー×スーパー戦隊×宇宙刑事　スーパーヒーロー大戦 Z（2013）』が公開された。このように、『スーパーヒーロー大戦』は毎年春興業作品として、2017 年 3 月 24 日に公開された『仮面ライダー×スーパー戦隊 超スーパーヒーロー大戦』まで、継続的に公開された。

東映の仮面ライダーシリーズとスーパー戦隊シリーズが、「世代共演」を売りにテレビや映画で作品を次々に量産してきた一方で、円谷プロのウルトラシリーズも、「世代共演」を中心とした作品を継続した。2009 年 12 月 12 日に劇場映画『大怪獣バトル　ウルトラ銀河伝説　THE　MOVIE（2009）』を公開した。本作では、シリーズ初の悪のウルトラマン、ウルトラマンベリアルと、ウルトラセブンの息子であるウルトラマンゼロとの戦いを描く内容であった。本作の特徴的な点には、単に新旧のキャラクターを共演させるだけに留まらず、既存のキャラクター（ウルトラセブン）の息子（ウルトラマンゼロ）という形で、「世代共演」を実現させた点にある。『大怪獣バトル　ウルトラ銀河伝説　THE　MOVIE（2009）』は国内で公開後、2011 年に中国に輸出された。結果、日本映画としては過去最大規模の 1,000 館以上で公開されることになった[179)]。

また、本作に登場するウルトラマンゼロの声を担当する声優には、先述した東映の『仮面ライダー電王（2007）』と同様に、アニメ作品の人気声優が起用された。さらに、次回作の劇場映画『ウルトラマンゼロ　THE　MOVIE　超決戦！ベリアル銀河帝国（2010）』においても、アニメ作品から多数の人気声優が起用される等、特撮映像作品の視聴層の拡大

が、円谷プロ作品でも実践されるようになった（註 9)。また、東日本大震災（註 10）の発生により、「今こそ地球にすべき、苦しい時に苦しいところから人間がどう立ち上がっていくのかを描くウルトラマンにしたい」という制作側の想いから [180]、絶大な災厄（ハイパーゼットン）を前に、残された人類が歴代のウルトラマン達と共に希望を見出していく劇場映画『ウルトラマンサーガ（2012)』も公開された。

これまでウルトラマンゼロを中心とした作品を制作してきた円谷プロは、会社創立 50 周年を迎えた 2013 年に、地上波テレビシリーズとして『ウルトラマンギンガ（2013)』を放映した。『ウルトラマンギンガ（2013)』は、闇の力によって全てのウルトラマンや怪獣達がスパークドールズと呼ばれる小さな人形にされ、主人公がこれらの人形に変身アイテム（ギンガスパーク）でウルトライブ（乗り移り）し、ウルトラマンや怪獣達に自在に変身して怪獣達と戦うという物語であった。

『ウルトラマンギンガ（2013)』に登場する変身アイテム及び人形の玩具販売は、仮面ライダーシリーズと同様にバンダイが行なった。玩具展開と連動し、これまでのウルトラシリーズとは全く異なる設定が導入された『ウルトラマンギンガ（2013)』は、2014 年 7 月 15 日に続編『ウルトラマンギンガ S』が制作された。本作には先述したスパークドールズやウルトライブといった設定は継続しつつも、新たな要素として第二の主人公、ウルトラマンビクトリーが登場した。また毎週怪獣達を送り込む巨悪・チブル星人エクセラー、またウルトラマンらと共に地球を守る特捜チーム UPG が導入される等、前作以上に内容を強化する形で作品が制作された。また本作に登場するウルトラマンギンガも、番組が装いを新たにするのに合わせて、『ウルトラマン（1966)』から『ウルトラマンタロウ（1973)』まで登場したウルトラ 6 兄弟の力を得てパワーアップする展開も行われた。このように『ウルトラマンギンガ（2013)』シリーズ（註 11）は、作品中に登場する新旧のキャラクターを「人形（＝商材)」として活用した関連玩具の販売と、『ウルトラマン（1966)』から『ウルトラマンタロウ（1973)』までの昭和ウルトラシリーズを視聴していた世代や子ども達等、異なる視聴層の獲得を視野とした展開が、番組で積極的に行われていた。

『ウルトラマンギンガ S（2014)』の放映終了後、円谷プロは『ウルトラマン X（2015)』の放映を開始した。本作は、電脳世界（サイバー空間）より出現するウルトラマン X が主人公と一体化（ユナイト）し、ゴモラやゼットン等、過去のウルトラシリーズに登場した人気怪獣を模した鎧を身に纏いながら戦う（註 12)、「絆」をテーマとした作品であった。

『ウルトラマン X（2015)』は、前作『ウルトラマンギンガ（2013)』シリーズと同様に、「人形（スパークドールズ)」が作品中のキーアイテムとして展開された他、ウルトラマンを強化変身させる要素として「カード（サイバーカード)」が導入された。「サイバーカード」は、バンダイによって関連玩具に付随しての販売や、イベント会場での限定配布が行われる等、番組・玩具市場・イベント等、多種多様な媒体を通じて、作品視聴者に PR された（註 13)。

こうした「人形」と並ぶ商材として、新たに「カード」を獲得したウルトラシリーズは、次回作『ウルトラマンオーブ（2016)』においても「カード」を作品の中心とした展開を行った。本作では、ウルトラマンオーブが「ウルトラフュージョンカード」と呼ばれる歴代のウルトラマンの力を宿したカードを変身アイテム「オーブリング」で読み取って、様々な姿に変身して戦うという作品であった。「ウルトラフュージョンカード」は、番組・玩具市場・イベント会場での販売や配布等（註 14）で、多種多様な媒体を通じて、子どもたち

に PR された。

『ウルトラマンギンガ（2013）』によって確立された、収集を視野とした玩具（人形、カード）によるヒーローの強化変身は、『ウルトラマンジード（2017）』でも継続された。本作では「カード」に代わる新たな商材として「カプセル（ウルトラカプセル）」が導入され、カプセルによってヒーローが強化する展開が行われた（註 15）。『ウルトラマンジード（2017）』も新旧のキャラクターが共演する路線が継続されているが、ウルトラマンジードは、先述した劇場映画『大怪獣バトル　ウルトラ銀河伝説（2009）』に登場した悪のウルトラマンベリアルの息子という設定が導入され、これまで象徴的な善として描写されたウルトラマンのヒーロー像を粉砕する作品となった。

ここまで、この時代に制作された特撮ヒーロー番組を総括すると、下記 2 つの特徴を備えていた。まず、1 つの作品の中で、新旧のキャラクターを共演させて、親子や青年層等、多様な視聴層を番組に導入する製作体制が確立されたこと。続いて、人形やカード等の多種多様なアイテムを、作品を盛り上げる「商材」として導入し、関連玩具販売の促進を図る等、玩具会社と連携した特撮ヒーロー番組の制作が行なわれていたことが挙げられる。

さらにこの時代の特徴として、会員向けインターネット配信の特撮映像作品が量産されたことが挙げられる。つまり新旧のキャラクターが共演する特撮映像作品が、テレビや映画を通じて次々に発信されていった一方で、2016 年以降には amazon プライム・ビデオ（註 16）を筆頭とする、特定の視聴者（会員）に向けた、インターネットサイトにて動画配信サービス限定の特撮映像作品が次々と量産されるようになった。これまで、「会員向け」という形で、視聴者層が限定されるインターネット作品の配信は、先述した NTT グループによるコンテンツサイト「フレッツ・スクウェア」等の事例にて行われてはいた。しかしこの時代では、「会員向け」インターネット配信作品が、amazon プライム・ビデオや au ビデオパス等の、各映像配信サービスサイトにて、そのサイトでしか視聴できない特撮ヒーロー作品が次々に配信された時期でもあった。

その先陣を切ったのは東映であった。東映は、自社の『仮面ライダーアマゾン（1974）』を素体とした特撮ヒーロー作品「仮面ライダーアマゾンズ」を、amazon プライム・ビデオ独占配信で、2016 年 4 月 1 日から同年 6 月 24 日まで、毎週金曜日に全 13 話を配信した。『仮面ライダーアマゾンズ（2016）』は、人工的に製造された、人間を捕食する性質を持つ「アマゾン（怪人）」を駆逐するために、2 人の仮面ライダーアマゾン（仮面ライダーアマゾンオメガ、仮面ライダーアマゾンアルファ）が駆除班と共に、使命を遂行していく物語であった。本作の特徴は、これまで制作されてきた『仮面ライダー（1971）』のテレビ番組では見られなかった、「捕食」をテーマとした食人描写等、過激な描写が幾度も盛り込まれていたことにある（註 17）。これは、公共の電波を通じて大衆的に発信されているテレビ作品に対して、「会員向け」という視聴層を限定した作品配信である故に、描写に制約がないことが挙げられる。本作は、翌年 4 月 17 日より続編『仮面ライダーアマゾンズ SEASONⅡ（2017）』が amazon プライム・ビデオにて配信された他、2018 年 5 月 19 日には劇場映画「仮面ライダーアマゾンズ THE MOVIE　最後の審判」も公開された。また amazon プライム・ビデオは他にも、円谷プロ制作の『ウルトラマンオーブ　THE ORIGIN　SAGA』が、2016 年 12 月 26 日より全 12 話が配信された（註 18）。

以降、amazon プライム・ビデオ以外でも、各動画配信サービスを通じた特撮映像作品の配信は次々に行われるようになった。東映は、自社の特撮ヒーロー番組が視聴できる

会員向け有料アプリサービス「東映特撮ファンクラブ」（註 19）にて、『仮面ライダーブレイブ　Survive せよ！復活のビーストライダー・スクワッド』（註 20）を 2017 年 2 月 19 日より配信した。その他 au ビデオパス（註 21）では『仮面戦隊ゴライダー』（註 22）を 2017 年 3 月 25 日より配信する等、精力的にインターネット配信向け特撮ヒーロー作品の制作を継続した。

特撮ヒーロー番組が、テレビ、映画、動画配信サービスと多様な媒体を通じて、作品を量産していく中、約 12 年間、国産での『ゴジラ（1954）』シリーズの公開を休止していた東宝は、2016 年 7 月 29 日に劇場映画『シン・ゴジラ』を公開した。本作は、蒲田付近より上陸した巨大不明生物＝ゴジラ（註 23）に対して、大河内内閣の内閣官房副長官らと米国大統領特使が知恵を結集し、ゴジラを撃退する物語となっている。現代日本（現実）に巨大なる虚構（ゴジラ）が訪れた際、我が国はどのように対処するのかという現実性を、政治的な視点から描写した本作は、国内興行収入 80 億円を突破する大ヒットを記録した[181)] 他、世界 100 カ国のシリーズ最大規模の配給が決定した[182)]。

この時代を総括すると、各映像制作会社が発信してきた特撮ヒーロー番組や映画が、半世紀以上に渡って発信され続けてきたことに伴い、作品視聴層が拡大しつつあったことを背景に、新旧のヒーローが 1 つの作品にて共演する「世代共演」を描写した作品が急速に増加していった。さらに、特撮ヒーロー番組と関連商品を販売する玩具会社との連携や、会員向けインターネットサイト限定の特撮映像作品の制作など、特撮を巡る制作環境及び作品の発信媒体は変化しつつあることが明らかとなった。

現在も、円谷プロや東映による特撮ヒーロー番組の制作が行なわれている他、東宝は米国の映画会社レジェンダリー・ピクチャーズと提携してゴジラシリーズを海外市場向けに展開した映画の制作を継続的に行なっている。

補註

註 1：『仮面ライダーディケイド（2009）』には、『仮面ライダークウガ（2000）』から『仮面ライダーキバ（2008）』までの前 9 作品に登場した仮面ライダーが、本作にて客演した。東映の白倉伸一郎プロデューサーによれば、『仮面ライダーディケイド（2009）』が生まれた理由には、「仮面ライダーシリーズ」のブランド価値を内外に知らしめることにあり、多種多様な仮面ライダーを登場させることで、「仮面ライダー」の振り幅の広さをアピールすることにあったと述べた[183)]。

註 2：白倉伸一郎プロデューサーは、『仮面ライダーBLACK（1987）』、『仮面ライダーBLACK RX（1988）』を視聴していた世代が、『仮面ライダーディケイド』視聴者の親になっていることに言及した[183)]。

註 3：『仮面ライダー（1971）』から『仮面ライダーBLACK RX（1988）』まで、ポピー（現・株式会社バンダイ）から発売されていた仮面ライダーシリーズの変身ベルトは、ベルト内部に挿入された風車が点灯しながら回転する仕掛けを搭載しており、装着した子ども達が変身を疑似体験できる「光る！回る！」ギミックをセールスポイントとした玩具であった。

しかし、『仮面ライダークウガ（1999）』以降にバンダイより販売された平成仮面ライダーシリーズの変身ベルトは、当初は「光る！回る！」ギミックをセールスポイントにしていたが、『仮面ライダー龍騎（2002）』以降、ベルトに何らかのサブパーツ（カードデッキ、携帯電話、パスケース等）を装填させて変身するギミックが搭載されるようになった。『仮

面ライダーW（2009)』以降は、変身ベルトを主商品に、これに装填するサブパーツ（USB メモリ、メダル、ミニカー型の玩具等）を、玩具売り場やガシャポン（玩具販売型自動販売機)、お菓子売り場、インターネット媒体等、多様な媒体を通じて販売するようになった。例えば『仮面ライダーゴースト（2015)』放映期間中に、バンダイより販売された「変身ベルト　DX ゴーストドライバー」では、変身ベルトを主商品に、ベルトに装填するアイテム（ゴーストアイコン）を、玩具売り場、ガシャポン、インターネット販売、イベント会場等、多様な媒体を通じて販売された。

註 4：例えば、『仮面ライダーオーズ（2011)』の主人公・仮面ライダーオーズは変身ベルトに、複数のメダル（オーメダル）を装填して、全 131 種類の姿への変身できる設定が与えられた。その内 119 種類の姿はバンダイによってソフトビニール人形のインターネット受注販売が行なわれた他 [185)]、玩具売り場にて変身ベルトに装填するメダルの販売も行なわれる等、番組と玩具会社が並走する形での展開が行なわれた。
註 5：例えば、『仮面ライダービルド（2017)』では、変身ベルトに装填するボトル（フルボトル）を巡って、ヒーロー側と敵側（エボルト）との駆け引きが番組を通して描写された。
註 6：『海賊戦隊ゴーカイジャー（2011)』では、過去 34 作品のスーパー戦隊シリーズでヒーロー役を演じた 52 人の出演者が、過去作品と同じ役で、本作に起用された。例えば、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』よりアカレンジャー（海城剛役：誠直也)、『ジャッカー電撃隊（1977)』よりビッグワン（番場壮吉役：宮内洋)、『科学戦隊ダイナマン（1983)』よりダイナピンク（立花レイ：萩原佐代子）等が客演した。さらに、平成に制作された作品からも、『鳥人戦隊ジェットマン（1991)』よりブラックコンドル（結城凱役：若松俊秀)、『忍者戦隊カクレンジャー（1994)』よりニンジャホワイト（鶴姫役：広瀬仁美)、『爆竜戦隊アバレンジャー（2003)』よりアバレブルー（三条幸人役：富田翔)、アバレキラー（仲代壬琴役：田中幸太朗）等が客演した。
註 7：スーパー戦隊生誕 40 周年に放映された『手裏剣戦隊ニンニンジャー（2015)』では、「ラストニンジャ」の称号を得るために祖父の志を継いだ 5 人の孫達（後に 6 人目のスターニンジャーが加わる）が、牙鬼軍団相手に戦いを挑む物語になっている。また本作では先輩忍者として『忍者戦隊カクレンジャー（1994)』からニンジャレッド（＝サスケ役：小川輝晃）や『忍風戦隊ハリケンジャー（2002)』からハリケンレッド（＝椎名鷹介役：塩谷瞬)、シュリケンジャー（演：松野太紀）がゲストで登場した他、『魔法戦隊マジレンジャー（2005)』からマジイエロー（＝小津翼役：松本寛也）等、過去作品出演者の起用も積極的に行われた。
　また、次回作『動物戦隊ジュウオウジャー（2016)』第 28 話「帰ってきた宇宙海賊」（2016 年 9 月 4 日放送）では、『海賊戦隊ゴーカイジャー（2011)』にてヒーロー役を演じた主演俳優 6 人を同じ役で客演させた他、『宇宙戦隊キュウレンジャー（2017)』第 18 話「緊急出動！スペースヒーロー！」では、『特捜戦隊デカレンジャー（2004)』よりデカレッド（赤座伴々役：さいねい龍二)、東映特撮ヒーロー映画『宇宙刑事ギャバン THE MOVIE（2012)』より宇宙刑事ギャバン typeG（十文字撃役：石垣佑磨）が客演した。
註 8：全仮面ライダー（オールライダー）が敵組織（ショッカー）と戦う内容の仮面ライダー映画は、2015 年まで毎年継続して公開された。2011 年の劇場映画『オーズ・電王・オールライダー　レッツゴー仮面ライダー』では、着ぐるみの全仮面ライダーが集結すると大

団円方式の内容であったのに対して、2014 年以降の作品になると、着ぐるみに加えて、過去の仮面ライダーシリーズでヒーローに変身する役を演じた主演俳優が、当時演じた役を再演する形で起用されるようになっていった。2014 年の劇場映画『平成ライダー対昭和ライダー　仮面ライダー大戦 feat.スーパー戦隊』では、『仮面ライダー（1971)』から仮面ライダー1 号（本郷猛役：藤岡弘、)、『仮面ライダーX（1974)』より仮面ライダーX（神敬介役：速水亮)、『10 号誕生！仮面ライダー全員集合！！（1984)』より仮面ライダーZX（村雨良役：菅田俊)、『仮面ライダー555（2003)』より仮面ライダー555（乾巧役：半田健人)、仮面ライダーカイザ（草加雅人役：村上幸平)、『仮面ライダーディケイド（2009)』より仮面ライダーディケイド（門矢士役：井上正大)、『仮面ライダーウィザード（2012)』より仮面ライダーウィザード（操間晴人役：白石隼也）等、これまでの仮面ライダーシリーズ各作品の主演俳優が出演した。

註 9：劇場映画『ウルトラマンゼロ THE MOVIE 超決戦！ベリアル銀河帝国』では、本作の主人公・ウルトラマンゼロと、ミラーナイト、グレンファイヤー、ジャンボットの 4 人のヒーローが登場した。各ヒーローの声を演じた声優は、日本サンライズ制作のロボットアニメ作品『機動戦士ガンダム（1979)』シリーズの各作品にて主人公を演じた声優が起用された。

ウルトラマンゼロの声を演じた宮野真守は、『機動戦士ガンダム 00（ダブルオー)（2007)』、ミラーナイトの声を演じた緑川光は、『新機動戦記ガンダム W（ウイング）（1995)』、グレンファイヤーの声を演じた関智一は『機動武闘伝 G ガンダム（1994)』、ジャンボットの声を演じた神谷浩史は『SD ガンダムフォース（2004)』で、それぞれ主役の声を担当した。

註 10：東日本大震災（別称：東北地方太平洋沖地震）は、太平洋三陸沖を震源に、マグニチュード 9.0 の日本観測史上最大規模の地震である。死者・行方不明者数は 1 万 8452 人、住家の全壊及び半壊数は 40 万 0381 戸（平成 28 年 6 月 10 日　警察庁発表）となった[186]。

註 11：『ウルトラマンギンガ（2013)』シリーズは他にも、ウルトラマンビクトリーを主人公としたスピンオフ作品『ウルトラファイトビクトリー（2015)』や、劇場映画「劇場版ウルトラマンギンガ S　決戦ウルトラ 10 勇士（2015)」が制作された。

註 12：ウルトラマンエックスは、怪獣との戦闘中にカード（ウルトラマンや怪獣がプリントされた「サイバーカード」）を使用しながら、自らを強化して戦うという描写が行なわれており、例えば「ゼットン」のカードを使用すると、ゼットンを模した鎧を身に纏った「ウルトラマンエックス　ゼットンアーマー」の姿になる設定であった。さらに、「ウルトラマン」と「ウルトラマンティガ」のカードを使用すると、「ウルトラマン」と「ウルトラマンティガ」を模した鎧を身に纏った「ウルトラマンエックス　ベータスパークアーマー」へと強化されるという描写が行なわれており、玩具市場での販売を意識した「カード」によるウルトラマンの強化描写が本編で積極的に行なわれた。

註 13：『ウルトラマン X（2015)』に登場する「サイバーカード」は、株式会社バンダイのボーイズトイ事業部やカード事業部より、複数種のカード玩具が本作放映期間中に販売された。ボーイズトイ事業部で販売された「サイバーカード」は一般流通商品として全国玩具売場で販売された。また、カード事業部より販売された「サイバーカード」は、全国の玩具売場等で設置されたカードを輩出する自販機（カードダス自販機）で販売された。しかし、「サイバーカード」は 2015 年に都内池袋で開催された「ウルトラマンフェスティバル 2015」等のイベント会場でも配布・販売が行なわれた。

註 14：「ウルトラフュージョンカード」は株式会社バンダイより、『ウルトラマンオーブ（2016）』放映期間中に、全国玩具売場にてカード玩具が販売された他、2016 年 7 月 22 日から 8 月 28 日まで都内池袋サンシャインシティにて開催された「ウルトラマンフェスティバル 2016」の会場入口にて、来場者にカード（ウルトラマン X、ウルトラマンギンガ）が無料配布される等、玩具市場やイベント会場等、多様な場所にてプロモーションが行われた。

註 15：ウルトラマンジードは、ウルトラマンの力を宿した 2 本の「ウルトラカプセル」によって、その姿を多種多様に変化させることが可能という設定が与えられた。例えば、ウルトラマンとウルトラマンベリアルのウルトラカプセルで変身したウルトラマンジード（プリミティブ）、ウルトラセブンとウルトラマンレオのウルトラカプセルで変身したウルトラマンジード（ソリッドバーニング）、ウルトラマンヒカリとウルトラマンコスモスのウルトラカプセルで変身したウルトラマンジード（アクロスマッシャー）等、使用するカプセルに応じた姿の変身が行われており、各形態のソフトビニール製の人形も株式会社バンダイから発売された。

また「ウルトラカプセル」はバンダイによって関連玩具が、全国玩具売場にて複数種発売された他、2017 年 12 月 29 日から 2018 年 1 月 8 日に東京ドームシティプリズムホールにて開催されたイベント「ウルトラヒーローズ EXPO2018 IN 東京ドームシティ」では、会場限定のウルトラカプセルが配布された。

註 16：Amazon プライム・ビデオとは、米国発の通販サイトである Amazon.com による、インターネットビデオの会員向け配信サービスのことである。Amazon プライム・ビデオの会員になると（年会費有料）、過去に発信された国内外の人気ドラマや映画を無料で視聴できる他、オリジナルドラマやバラエティ番組等も無料で視聴可能となった。

註 17：例えば、2016 年 4 月 1 日より発信された『仮面ライダーアマゾンズ』Episode1 では、怪人（クモアマゾン）に殺害された被害者死体の「食べ残し」描写が行われた。さらに、同年 5 月 27 日より発信された Episode9「INTO THE CANNIBAL’S POT」では、人肉で生成されたハンバーグを提供する専門のレストランの描写が行われる等、流血や死体描写が作品を通して幾度に渡り行われた。

註 18：『ウルトラマンオーブ　THE　ORIGIN　SAGA』は、惑星カノンと地球を舞台に、ウルトラマンオーブとそのライバルであるジャグラスジャグラー（図－121）の二者を中心とした物語が展開された。本作でも、「世代共演」が作品中で実践されており、『ウルトラマンダイナ（1997）』よりウルトラマンダイナ（アスカ・シン役：つるの剛士）、『ウルトラマンガイア（1998）』よりウルトラマンガイア（高山我夢：吉岡毅志）、ウルトラマンアグル（藤宮博也役：高野八誠）、『ウルトラマンコスモス（2001）』よりウルトラマンコスモス（春野ムサシ役：杉浦太陽）が客演し、また各ウルトラマンを放映当時の出演俳優が再演した。

註 19：「東映特撮ファンクラブ」とは、“24 時間 365 日、東映特撮が楽しめるアプリサービス”として 2015 年 10 月 1 日より発信された。有料会員になることで、仮面ライダーやスーパー戦隊シリーズをはじめとする 100 タイトル以上の映像作品を見放題できるサービスが提供された。

註 20：『仮面ライダーブレイブ　Survive せよ！復活のビーストライダー・スクワッド（2017）』では、仮面ライダーブレイブを主人公に、『仮面ライダー龍騎（2002）』より仮面ライダー王蛇や仮面ライダータイガ、『仮面ライダーカブト（2006）』より仮面ライダーサ

ソード、『仮面ライダーキバ（2008）』より仮面ライダーダークキバ、『仮面ライダーウィザード（2012）』より仮面ライダービーストが客演する内容となっていた。また仮面ライダー王蛇のみ、『仮面ライダー龍騎（2002）』放映当時に変身前の浅倉威を演じた萩野崇が出演した。

註 21：「au ビデオパス」とは、携帯電話等の移動体通信事業を行っている au による映像配信サービスである。当サービスでは、映画やドラマ、アニメ作品等の多種多様な映像作品が会員向けに配信された。

註 22：『仮面戦隊ゴライダー（2017）』では、『仮面ライダーアギト（2001）』よりアナザーアギト（木野薫役：樋口隆則）、『仮面ライダー剣（2004）』より仮面ライダーブレイド（剣崎一真役：椿隆之）、『仮面ライダー鎧武（2013）』より仮面ライダーバロン（駆紋戒斗役：小林豊）、仮面ライダーマリカ（湊耀子役：佃井皆美）が客演する内容となっており、各仮面ライダーの変身前は当時演じた俳優が再演した。

註 23：『シン・ゴジラ（2016）』に登場するシン・ゴジラは、作品中で 3 度（第 2 形態から第 4 形態まで）に渡り、その容姿を変化させる「進化」描写が行われた。水棲生物から陸棲生物への過程にあった第 2 形態、褐色に変質した体表で二足歩行を開始した第 3 形態、直立二足歩行で尻尾を引きずった外見の第 4 形態が本作にて登場した。尚、各形態は全て CG で表現されており、着ぐるみは制作されていない。しかし、これまでの着ぐるみを使用した撮影では表現できなかった、ゴジラの体のうねりや、体表から発せられる体液や水蒸気等、生物的な動きが CG の導入によって描写された。

5－9　特撮映像作品の歴史　総括

上述してきた通り、特撮映像作品は 70 年以上に渡って、全 617 作品、11,818 話が大衆に向けて発信され、8 つの時代に分類できるものであった。さらに、特撮映像作品 70 年の歴史を総括すると、大きく 2 つの特徴が見られた。

まず、「①発信媒体の拡大」が挙げられる。特撮映像作品が発信された当初、東宝の『ゴジラ（1954）』を筆頭とする特撮怪獣映画が発信され隆盛を極めるようになったが、1959 年以降の家庭用テレビの普及により、テレビでも特撮映像作品が視聴できるようになった。

1991 年以降は、「ビデオ販売、レンタル専用の映画作品」[127] として、ビデオ販売専用の特撮映像作品が発売された他、2006 年にはインターネット配信の特撮ヒーロー作品が登場する等、特撮映像作品は、時代の変遷を経ながら発信する媒体を拡大していった。

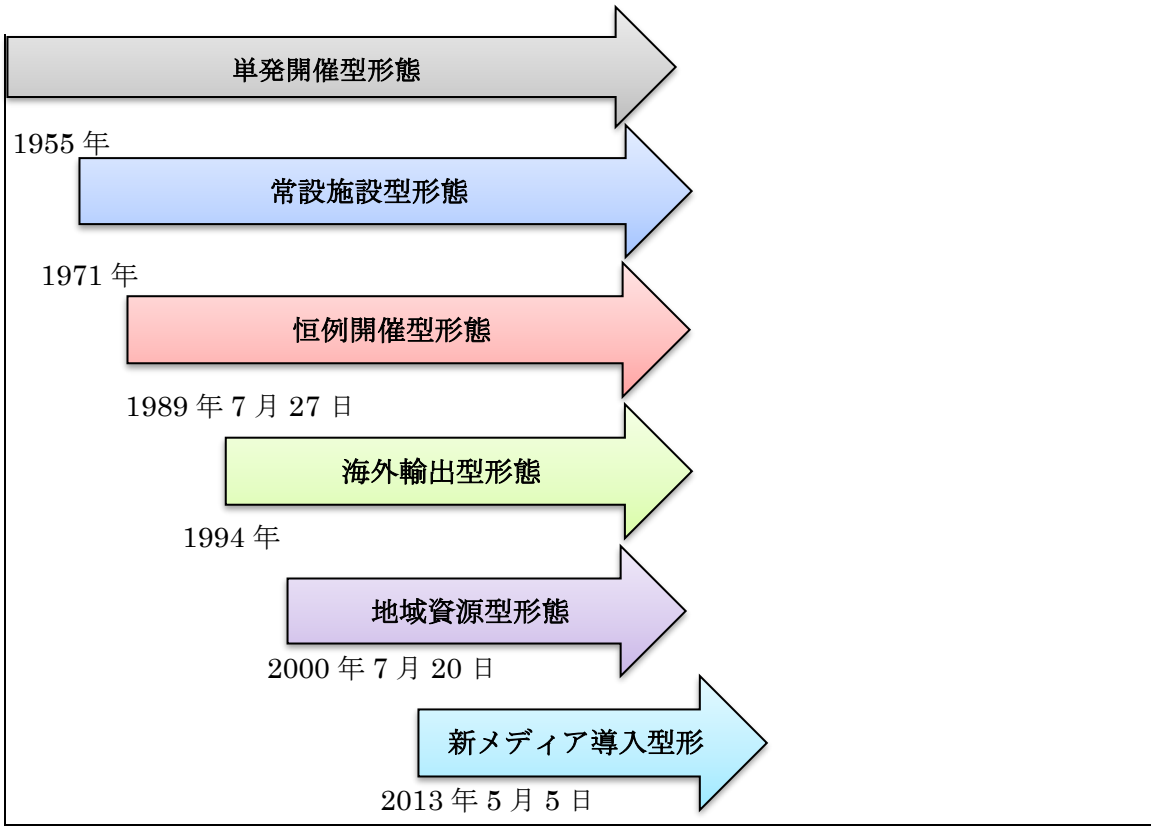
2 つ目の特徴には、「②作品視聴層の多様化」が挙げられる。我が国で特撮映像作品が公開されるようになった当初は、東宝の『ハワイ・マレー沖海戦（1942）』や『ゴジラ（1954）』のように、大衆娯楽作品として発信されていた。以降、円谷プロの『ウルトラマン（1966）』シリーズや東映の『仮面ライダー（1971）』シリーズ等、子ども達を対象に特撮ヒーロー番組の放映が開始されるようになったが、半世紀に渡る各シリーズの続行によって、親子三世代で作品を視聴する環境が次第に構築されるようになった。また特撮映像作品の中には、深夜番組や、特定の視聴層に向けた動画配信による発信が行われた作品も存在し、親子だけでなく、青年層に向けた作品の発信も並行して行われてきた。

つまり、特撮映像作品は 70 年の歴史の中で、多種多様な発信メディアを獲得し、子ども達だけでなく、様々な世代に向けた視聴環境を構築してきたことが明らかとなった。特撮映像作品は現在も、東宝や円谷プロ、東映等、各映像制作会社によって現在も継続的に制

作され続けている。

第 6 章　特撮ツーリズムの歴史

ここまで、特撮映像作品が 70 年の歴史について述べてきたが、本論では「特撮」から派生した観光現象である特撮ツーリズムの歴史について後述する。特撮作品を制作した各映像制作会社や、特撮ツーリズム開催地等が監修した各資料に掲載されている情報を繋ぎ合わせる時系列的な調査を実践した結果、特撮ツーリズムの歴史は、1955 年から現在にかけて 60 年以上の歴史を有していた。さらに、特撮ツーリズムは時代の変遷の中で、6 つの特徴ある観光形態を次々に創出しており、各形態は現在まで継続して実践されてきたことも明らかとなった。本稿では、各時代に誕生した特撮ツーリズムの 6 つの観光形態を、下記図－6 のように纏めた。なお、各観光形態が確認出来るようになった時期の表記について、開催されるようになった西暦と日付が判明したものは両方記載した。しかし日付が判明しないものは西暦のみを記載した。



図－4.特撮ツーリズム現象年代記（再掲）

6－1　単発開催型形態（1955 年～）

本研究にて確認できる、特撮ツーリズムの最古の事例は 1955 年のことであった。同年 4 月 24 日公開の、東宝制作の特撮怪獣映画『ゴジラの逆襲』を題材とした、東宝撮影所での子ども達を招いたイベントが開催された。「映画の宣伝」という目的の下で開催された当イベント[187)]は、特撮ツーリズムの先駆けであった。

さらに 1964 年の 11 月には、池袋のデパート屋上にある「子供遊園地」にて、怪獣ゴジラのショーが開催された[188)]。当イベントは、1964 年 12 月 20 日公開の、東宝制作の特撮怪獣映画『三大怪獣地球最大の決戦』の宣伝のために開催された。また、このショーは東

京の他にも名古屋のデパートの屋上、大阪球場等を巡業する形で開催された[187]。

ショー内容は、東宝の『ゴジラ（1954）』にてゴジラを演じた着ぐるみ俳優・中島春雄がゴジラの着ぐるみを着用して、自動車や電車の模型を叩きつけるという実演的なものであった[188]。この怪獣ゴジラの着ぐるみを見世物としたショーの開催は、子ども達が特撮怪獣の着ぐるみと身近で観覧することのできるイベントであった。

このような特撮怪獣の着ぐるみを活用した「怪獣ショー」の開催は、円谷プロ制作の特撮怪獣番組『ウルトラ Q』が、1966 年 1 月 2 日に放映を開始したことに伴い、現象として全国に拡大するようになった。『ウルトラ Q（1966）』のヒットにより、子ども達の間で特撮怪獣を対象とした第一次怪獣ブームが隆盛を極めるようになった。当ブームの発生に伴い、国内各地で怪獣を見世物とした怪獣ショーが、主に遊園地や百貨店において頻繁に開催されるようになった。確認出来る最初の事例として、1966 年 4 月 17 日（日曜日）、4 月 24 日（日曜日）、4 月 29 日（金曜日／祝日）には東京郊外にある遊園地、多摩テックで「ウルトラ Q 大会」（註 1）が開催された[189]。さらに、同年 5 月から 6 月にかけて向ヶ丘遊園、谷津遊園、小田急百貨店にて「ウルトラ Q 大行進」（註 2）が開催された[190]。

上述した『ウルトラ Q（1966）』のヒットによって、怪獣ショーの開催や着ぐるみの展示等のイベントが、国内各地で頻繁に開催されるようになった。『ウルトラ Q（1966）』を放映する円谷プロにとって番組宣伝の一番の決定打になったのは、怪獣の実演による「イベント」であり、デパートや商店街、遊園地などのイベント会場を怪獣が練り歩くことから始まった実演ショーは、やがて舞台上で怪獣達が司会者と絡んだり、怪獣同士が小競り合いをする等、次第にショー内容が変容を遂げていくようになった[191]。

『ウルトラ Q（1966）』の放映終了後、円谷プロは後続番組となる『ウルトラマン（1966）』の放送を PR するために、1966 年 7 月 9 日に杉並公会堂において「ウルトラマン前夜祭」を開催した（註 3）。「ウルトラマン前夜祭」は舞台イベントとして中継録画され、1966 年 7 月 10 日に放映された。その結果、「ウルトラマン前夜祭」は視聴率 34%を記録した[191]。つまり、「ウルトラマン前夜祭」は新番組『ウルトラマン（1966）』を大きく PR するイベントとなった。また当イベントは、ヒーローと怪獣の着ぐるみが舞台上において、物語仕立てで芝居を行なう我が国初の事例であった。

1966 年 7 月 17 日より『ウルトラマン（1966）』の放映開始後、本作を題材とした「怪獣ショー」が開催されるようになった。怪獣ショーは司会進行役が立ち、寸劇仕立ての構成で怪獣とヒーローが大格闘を繰り広げる内容が中心となった。また『ウルトラマン（1966）』とその後番組である『ウルトラセブン（1967）』に出演する俳優ら（註 4）もイベントに加わるようになり、サイン会も開催されるようになった[191]。円谷プロは他にも、同じく自社制作の特撮怪獣番組である『快獣ブースカ（1966）』に登場した怪獣達の着ぐるみを活用した実演ショーやサイン会（註 5）も国内各地で開催していった[192]。

また、上述してきた怪獣の着ぐるみを活用した実演ショーの事例は、円谷プロ制作の特撮映像作品のみではなかった。1966 年には、ピー・プロ作品『マグマ大使（1966）』を題材としたイベント「マグマ大使大会」が二子玉川園にて開催された他、1967 年の 3 月には、同園にて「怪獣大行進」（註 6）が実施された[193]。

このように、円谷プロ制作の『ウルトラ Q（1966）』の放映開始によって発生した第一次怪獣ブームを契機に、特撮ツーリズムは全国規模に拡大した。これに伴い、国内各地で特撮怪獣の着ぐるみを活用した実演ショーの開催や、着ぐるみの展示が行なわれていた。

『ウルトラセブン（1967)』放映終了後に第一次怪獣ブームが沈静化した後も、特撮怪獣の着ぐるみを活用した実演ショーの事例は消失することなく、継続的に催されていた。実演ショーは、やがて遊園地や百貨店のみならず、1970 年 3 月 14 日から同年 9 月 13 日まで大阪府で開催された日本万国博覧会（以降、大阪万博）でも、ステージショーのプログラムの演目として導入されるようになった。万博会場内の「太陽の塔」の背後に設置された「お祭り広場」において、1970 年 4 月 28 日から 5 月 5 日にかけて開催された「子供まつり」の演目として、東宝や大映が制作した特撮怪獣映画に登場する、怪獣の着ぐるみを活用した怪獣ショーが開催された。ショー内容は、東宝制作のゴジラが、大映制作の特撮怪獣映画『ガメラ（1965)』シリーズに登場する怪獣達と戦う（註 7）と内容であった[194)]。

また大阪万博は、各映像制作会社による特撮映像作品の中で、物語の舞台や撮影ロケーション地として使用される事例が存在するが（註 8)、大映の『ガメラ（1965)』シリーズでは、映像作品観賞者を大阪万博へと誘致する共同企画（註 9）も行なわれていた。

総括すると、特撮ツーリズムは「映画の宣伝」という目的の下で開催されるようになった。1955 年に国内最初の事例が確認され、1964 年以降は着ぐるみを使った実演ショーや展示が主体的に行なわれるようになった。さらに、現象が始動したばかりの特撮ツーリズムは、円谷プロの『ウルトラ Q（1966)』の放映開始によって発生した第一次怪獣ブームを契機に、全国の遊園地や百貨店等において、特撮怪獣の着ぐるみ（註 10）の展示会や実演ショー､サイン会等のイベントを単発的に開催していたことが明らかとなった｡そこで、上記のような怪獣の着ぐるみを活用した単発的な展示やショー等のイベントを開催する観光形態を、本研究では「単発開催型形態」と呼称した。

補註

註 1)「ウルトラ Q 大会」が開催された経緯は、1966 年春に多摩テックがゴールデンウィークに集客の目玉となるイベントの開催を考案した際、多摩テック営業部門の責任者であった成田重行が、同センターの事務局長の高山英男と、演出家の清水浩二に、『ウルトラ Q（1966)』の怪獣達を舞台に出演させる「怪獣ショー」を提案したことが契機であった。この企画が出された背景には、円谷プロが『ウルトラ Q（1966)』の放映局である TBS の意向を受けて、怪獣を番組宣伝に使うという方針を固めた時期と､「怪獣ショー」の企画時期が偶然にも合致していた。上記の経緯から、円谷プロの協力を取りつけた高山と清水は、円谷プロの倉庫に保管されていた『ウルトラ Q（1966)』の 6 体の怪獣の着ぐるみ（コイン怪獣カネゴン、隕石怪獣ガラモン、冷凍怪獣ペギラ、海底原人ラゴン、もぐら怪獣モングラー、深海怪獣ピーター）を選出し、怪獣ショーを開催する運びとなった。企画は順調に決定していった反面、成田によると「怪獣なんて気持ちが悪いものではなく、もっと可愛らしいものの方がよいのではないか」という意見が、当時存在していたことも述べた[189)]。

註 2)「ウルトラ Q 大行進」は、『ウルトラ Q（1966)』よりコイン怪獣カネゴン、海底原人ラゴン、人工生命 M1 号の、3 体の怪獣の着ぐるみが園内を練り歩くものであった[190)]。

註 3)「ウルトラマン前夜祭」の内容は、『ウルトラ Q（1966)』と『ウルトラマン（1966)』に登場する怪獣達とウルトラマンとの格闘や、怪獣泥棒に扮するコメディアン（ナンセンストリオ）による司会進行、『ウルトラマン（1966)』で監修を務める円谷英二と、作品出演者の登壇、会場全体が一体となって『ウルトラマン（1966)』の主題歌を合唱するフィナ

ーレで構成されていた。
註 4）イベントに参加した出演者は、『ウルトラマン（1966)』に登場した特捜チーム・科学特捜隊の隊員を演じた俳優達、また『ウルトラセブン（1967)』に登場した特捜チームであるウルトラ警備隊の隊員を演じた俳優達であった。
註 5)『ウルトラセブン（1967)』が放映を開始した 1967 年には、会津博覧会において円谷プロ制作の特撮怪獣達の着ぐるみの展示が中心となった「怪獣館」が催された他、銀座の松屋デパートや池袋西部百貨店、その他大阪等でのデパートにおいて『ウルトラセブン（1967)』のウルトラ警備隊の隊員をゲストに迎えてのサイン会が行なわれた。このように、地方都市の大型の店舗におけるウルトラセブンや快獣ブースカのサイン会、寸劇等のイベントが国内各地にて行なわれるようになった[187)]。
註 6）二子玉川園内にて催された「怪獣大行進」では、映画、テレビ各社の展示物による怪獣館に加え、ピー・プロ作品から『マグマ大使（1966)』、円谷プロ作品から『ウルトラマン（1966)』、『快獣ブースカ（1966)』の怪獣達の着ぐるみによるパレードが行われた[193)]。
註 7）「お祭り広場」にて催された怪獣ショーに登場した怪獣には、東映制作の『ゴジラ（1954)』シリーズより怪獣ゴジラ、『ゴジラの息子（1967)』よりミニラ、『キングコングの逆襲（1967)』よりゴロザウルス、大映制作の『ガメラ対大悪獣ギロン（1969)』に登場した宇宙ギャオス、『ガメラ対大魔獣ジャイガー（1970)』に登場した大魔獣ジャイガーが出演した。なお、「子供まつり」の総合プロデューサーは大映制作の『ガメラ対大悪獣ギロン（1969)』に出演した大村崑が総合プロデューサーを務め、花登筐が構成及び演出を担当した[194)]。
註 8）例えば、1967 年 1 月 8 日から同年 1 月 15 日にかけて放映された円谷プロ制作の『ウルトラマン』第 26 話「怪獣殿下　前篇」及び第 27 話「怪獣殿下　後篇」において登場した古代怪獣ゴモラは、大阪万国博覧会に出品されるために、生息地であるジョンスン島より国内に輸送され、大阪を破壊する描写が導入された。また、1971 年 5 月 15 日に放映された東映制作の『仮面ライダー』第 7 話「死神カメレオン　決斗！万博跡」においても、万博会場跡が撮影ロケーション地として活用されている。
註 9）「ガメラを観て万博に行こう」をキャッチフレーズに、大映の特撮怪獣映画『ガメラ対大魔獣ジャイガー（1970)』の観賞入場者から親子 10 組を万博に 4 泊 5 日招待、500 名に入場券をプレゼントするキャンペーンが行われていた[195)]。
註 10）本論で述べた通り、この時代より怪獣の着ぐるみを使用した展示会や実演ショーといった単発開催型のイベントは、全国規模で開催されるようになった。これらのイベントにおいて展示、あるいは出演した怪獣達の着ぐるみは、映像作品にて使用された物を活用した事例を多く確認することができたが､それとは別にイベント向けに着ぐるみを生産し、ショーにて使用する「アトラクション用怪獣」[190)] の存在も確認出来た。1966 年に『ウルトラ Q（1966)』の放送局である TBS が、『ウルトラ Q（1966)』や『ウルトラマン（1966)』等の円谷プロの特撮映像作品にて、怪獣の着ぐるみ制作を担当した高山良策に、イベント専用の怪獣の着ぐるみを発注したことを契機に「アトラクション用怪獣」は生産された。1970 年頃には映像作品撮影用とイベント専用の怪獣の着ぐるみは明確に区別されるようになった[190)]。「アトラクション用怪獣」の生産は現在も続けられており、夏季恒例催事であるイベント「ウルトラマンフェスティバル」においても、映像作品本編に登場した怪獣達の着ぐるみと共に、会場内のショーや展示にて確認することが出来る。

「アトラクション用怪獣」は、撮影用カメラの前で芝居を行う、映像作品の着ぐるみとは異なり、舞台上での激しいアクションが中心となるため、着ぐるみの軽量化や、固く破損しやすい体の各パーツ（角や牙、爪等）の軟性化、遠方からショーを見る観覧者を考慮し、映像作品とは異なる派手な色を着ぐるみに吹き付けている等の造形が施されていることが特徴である。そのため、映像作品で登場する怪獣の着ぐるみと比較して、外見がやや丸みを帯びていたり、映像作品とは異なるに色使いで造形されていたりする等、同じ怪獣を表現したものであっても、映像作品用とアトラクション用で、外見が大きく異なっている怪獣も多い。

さらに 1970 年代の円谷プロの特撮ヒーロー番組では「アトラクション用怪獣」が、映像作品に登場した事例も度々確認することが出来た。1970 年 9 月 28 日より放映を開始した『ウルトラファイト』では、丸いハサミが特徴的なアトラクションショー用のバルタン星人の着ぐるみが本編に登場した。他にも、1972 年 4 月 24 日より放映された『レッドマン』では、怪獣ショー用に制作されたカネゴンの着ぐるみ（遠方からの観覧者にも、その存在感が際立つように、背部に白いラインが追加されている）が登場した。また、『ウルトラマンタロウ（1973)』では、一定の放映期間中（1973 年 10 月 12 日から、同年 10 月 26 日まで）にアトラクション用怪獣を物語の中心とする作品が確認出来た。例えば、1973 年 10 月 12 日に放映された『ウルトラマンタロウ』第 23 話「怪獣エレキング満月に咆える！」では、前作『ウルトラセブン（1967)』に登場した宇宙怪獣エレキングのアトラクション用着ぐるみが、月光怪獣エレキングとして映像作品に登場した。他にも、同年 10 月 19 日に放映された第 29 話「ベムスター復活！タロウ絶体絶命！」及び 10 月 26 日に放映された第 30 話「逆襲！怪獣軍団」では、前作『帰ってきたウルトラマン（1971)』に登場した宇宙大怪獣ベムスターのアトラクション用着ぐるみが、宇宙怪獣ベムスター（改造）として登場した。

6－2　常設施設型形態（1971 年～）

先述してきたように、特撮ツーリズムが 1955 年以降に現象が確認されるようになった当初は、主にデパート屋上や遊園地、大阪万博等の大衆的な娯楽施設を舞台に、東宝や円谷プロが制作した特撮怪獣の着ぐるみの展示や実演ショーを単発的なイベント、催し物として開催されてきた。

しかし、この時代に入ると『帰ってきたウルトラマン（1971)』や『仮面ライダー（1971)』等の各映像制作会社が制作した特撮ヒーロー番組の放映開始に伴い、社会現象として「第二次怪獣ブーム」、またそれが変質した「変身ブーム」が国内で巻き起こった。こうした新たな特撮ヒーロー番組の放映開始は、1964 年以降より定着してきた単発イベントとは異なる、新たな観光形態の創出の契機となった。つまり、遊園地のような装置産業の 1 アトラクションとして、特撮ヒーロー番組のアトラクションショーを常設的に開催するものであった。

その口火を切ったのは、円谷プロであった。円谷プロは『帰ってきたウルトラマン（1971)』の放送開始と共に、東京都世田谷区玉川にあった遊園地・二子玉川園（註 1）と独占契約を結んだ。これを機に同園では、『帰ってきたウルトラマン（1971)』から『ウルトラマンレオ（1974)』までの約 4 年間の放映期間中、ウルトラシリーズを筆頭とする円谷プロ制作の特撮ヒーロー番組の展示館や、屋外にて開催されるイベントを中心とした「怪獣ラン

ド・二子玉川園」と称して、円谷プロが制作したヒーローや怪獣の着ぐるみ展示やショーの開催を定期的に行なうようになった。園内は、『帰ってきたウルトラマン（1971）』以降、次回作の『ウルトラマンA（1972）』をはじめとする毎年の新番組放映に併せて、1年ごとの園内の衣替えを行う等[193]、継続的に観光来訪者が園内に訪れることの出来る空間創出が行なわれた。さらに、怪獣とヒーローとの戦いを中心に添えたストーリー仕立ての実演ショー（註2）が園内にて催された他[193]、円谷プロ制作の特撮ヒーロー番組のロケ地として度々活用される等（註3）、円谷プロと二子玉川園のイベントを通じた結束が強化されていった。

また、円谷プロが創立10周年を迎えた1973年には、数多くのイベントが催されたと共に（註4）、同年4月22日（日曜日）には、特撮ヒーロー番組に出演した怪獣の着ぐるみを供養する「怪獣さん安らかに　怪獣供養祭」（註5）が1日だけ開催された。

また、二子玉川園以外にも、向ヶ丘遊園やよみうりランドといった遊園地において、円谷プロの特撮ヒーロー番組を活用したイベントステージが半ば常設化した事例も確認出来る等[193]、円谷プロが遊園地を拠点に、自社の特撮ヒーロー番組を活用したイベントを開催していった。その一方で、他社の特撮ヒーロー番組も、商店街やデパート屋上にて、着ぐるみを活用したアトラクションショーを行うようになっていった（註6）。

当時、『仮面ライダー（1971）』を放映中であった東映も、自社の『仮面ライダー（1971）』を活用したイベントの開催に着手していくようになった。東映がはじめてテレビで放映されるキャラクターのショーに携わるようになったのは、1971年からであった。こちらも、東宝や円谷プロといった他社の特撮映像作品と同様に、デパートや遊園地等において、自社製作の特撮ヒーロー番組「仮面ライダー」の着ぐるみを活用したアトラクションショーを開始するようになった[161]。『仮面ライダー（1971）』を活用したイベント開催の経緯とは、同作品のアクション演出を担当している大野剣友会（註7）代表の大野幸太郎が、東映から「（映像作品本編での）撮影を終え、用済みになった怪人の着ぐるみを使って「仮面ライダー」の芝居をできないか」という依頼を受けたことからであった[196]。この依頼を機に始まった『仮面ライダー（1971）』のアトラクションショーは、以降国内で単発的に催されていくことになった。

本格的なアトラクションショーとしての最初の事例は、1971年7月22日から7月25日にかけて、大阪ミリカランドで行なわれた毎日放送主催の仮面ライダーのアトラクションショーであった[196]。また同年11月12日には、大阪府内梅田の阪神百貨店で開催された屋内催事「仮面ライダーと怪人現る」が七五三商戦に合わせて開催されたが（註8）、この時点で『仮面ライダー（1971）』を活用したイベントは人気催事となっており、会場内は大盛況となった[196]。このように、主に関西圏内にて催されてきた『仮面ライダー（1971）』のイベントであるが、国内で巻き起こった「変身ブーム」の台頭と共に、関東でもイベント事例が開催されるようになった（註9）。豊島園や長崎屋屋上等において仮面ライダーショーを開催したところ大反響を呼び、後に「アトラクションの聖地」と呼称されるようになる後楽園ゆうえんち（註10）へと場所を移行することになった[196]。

後楽園ゆうえんちが選定された背景には、『仮面ライダー（1971）』を放映中だった東映が、番組宣伝のためにアトラクションショーを行なう場所が模索していたことが挙げられる。後楽園の広報部を通じて、同園内にある「後楽園ゆうえんち野外劇場」が仮面ライダーショーの舞台として選定されたことで、以降、45年以上後楽園内にて継続することにな

る、東映特撮ヒーローショーの原点となった[197]。後楽園ゆうえんちで確認できる最初のアトラクションショーの事例は、1971 年に開催された「勢揃いだよ！！ショッカー怪人仮面ライダーの対決」であった[197]。ショー内容は、世界征服を企む悪の秘密結社、ショッカーによって後楽園ゆうえんちが占拠され、ジェットコースターを略奪して暴れ回るショッカー相手に、仮面ライダー2 号が颯爽と登場するというものであった[197]。当イベントの開催以降、後楽園ゆうえんち内で開催される仮面ライダーショーは、「後楽園ゆうえんち野外劇場」を拠点に定期的に催されるようになった。劇場内への入場は無料で[197]、4,000 人の観客で埋め尽くされた。1 日 7 回行われた当イベントは、仮面ライダーやショッカー怪人のサイン会もショー終演後に催された[196]。また、上記の野外ステージにおいて開催された仮面ライダーショーの中でも、1972 年 3 月 5 日から同年 5 月 28 日まで催された仮面ライダー新 1 号を主役とした後楽園ゆうえんちでの野外ステージショーは、約 3 ヶ月に渡るロングラン公演となった[196]。

後園ゆうえんち内での仮面ライダーショーは、次回作の『仮面ライダーV3（1973)』以降も継続して行なわれてきた[188]。しかし、『仮面ライダーストロンガー（1975)』の放映終了後、テレビ番組での仮面ライダーシリーズの放映が休止した。これに伴い、1975 年 4 月 5 日より東映制作の特撮ヒーロー番組『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』の放送が開始されたことに伴い、デパートや遊園地で『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』ショーが隆盛を極めるようになった[161]。これと共に、後楽園ゆうえんち野外劇場でのショー公演は、仮面ライダーシリーズから、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』を筆頭とするスーパー戦隊シリーズを中心としたショーへと移行した[171]。後楽園ゆうえんち野外劇場にて開催された、『仮面ライダー（1971)』から『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』までのアトラクションショーの一覧（1971 年～1977 年）は表－1 の通りである。

表－25.後楽園内での東映特撮ヒーローショー一覧

上映ショータイトル	公演期間	毎日公演期間
1.勢揃いだよ！！ショッカー怪人 仮面ライダーの対決	1971年（月日は不明）	1971年（月日は不明）
2.ショッカー基地・後楽園ゆうえんち それ行け！仮面ライダー	1972年（月日は不明）	1972年（月日は不明）
3.ショッカー基地・後楽園ゆうえんち 本部指令→ダイナマイト作戦 SOS仮面ライダー	1972年7月1日～8月31日	1972年8月1日～8月31日
4.V3新仮面ライダーショー	1973年（月日は不明）	1973年（月日は不明）
5.仮面ライダーV3アクションショー	1973年8月1日～8月31日	1973年8月1日～8月31日
6.あやうし！！仮面ライダー1号★2号★V3 ゾル大佐・地獄大使・ドクトルGのたくらみ	1973年11月4日～11月25日	なし
7.ライダーマン登場！V3ショー	1974年1月1日～1月27日	1974年1月1日～1月6日
8.仮面ライダーXショー	1974年（月日は不明）	1974年（月日は不明）
9.アポロン宮殿全滅作戦！！Xライダー白熱の死斗	1974年7月28日～9月1日	1974年7月28日～9月1日
10.新仮面ライダーアマゾンショー	1974年10月6日～11月24日	なし
11.お正月だよ！！6人ライダー勢ぞろい	1975年1月1日～1月26日	1975年1月1日～1月5日
12.電気改造人間仮面ライダーストロンガー	1975年4月13日～6月29日	なし
13.ストロンガー！恐怖のサタン虫作戦	1975年（月日不明）	1975年（月日不明）
14.仮面ライダーストロンガー シャドウと対決	1975年（月日不明）	1975年（月日不明）
15.秘密戦隊ゴレンジャー 人間爆弾の恐怖	1976年2月29日～4月18日	1976年3月20日～4月7日
16.秘密戦隊ゴレンジャー 空の要塞バリドリーン	1976年4月25日～6月27日	なし
17.秘密戦隊ゴレンジャー 黒十字軍全滅作戦	1976年8月1日～8月31日	1976年8月1日～8月31日
18.秘密戦隊ゴレンジャー 鋼鉄軍団の逆襲	1976年10月3日～11月28日	なし
19.秘密戦隊ゴレンジャー 悪の幹部総集結	1977年1月1日～2月13日	1977年1月1日～1月5日
20.秘密戦隊ゴレンジャー 最後の決闘	1977年3月6日～4月10日	1977年3月20日～4月7日

『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』のショーが公演されて以降、後楽園ゆうえんち野外劇場のスーパー戦隊シリーズのショー公演は好評を博すようになり、40 年以上継続する人気アトラクションとして園内に定着するようになった。園内で開催されるスーパー戦隊シリーズのショーの特徴には、先述した『仮面ライダー（1971）』ショーと同様に、毎年新番組の放映開始と連動して、ショー内容を、新番組を中心とした公演内容に入れ替えることにある。つまり、テレビ番組と連携しており、特撮ヒーロー番組が 1 年ごとに新番組に切り替わるのに併せて、ショーも 1 年ごとに新番組を中心とした公演内容に差し替えていた。『ジャッカー電撃隊（1977）』や『バトルフィーバーJ（1979）』、『電子戦隊デンジマン（1980）』、『太陽戦隊サンバルカン（1981）』等、後続のスーパー戦隊シリーズの放映開始に併せて、各作品を中心とショーを開催する形でショーは継続された（註 11）。

後楽園ゆうえんち野外劇場でのショー公演には、オリジナルヒーローの創作（註 11）や、スーパー戦隊シリーズと並行して制作されていた東映作品『宇宙刑事ギャバン（1982）』よりギャバンの登場や、円谷プロのウルトラシリーズよりウルトラマンタロウ（註 12）が登場する等、ショー公演において様々な工夫が導入された。やがて、1983 年 2 月 5 日より、スーパー戦隊シリーズ第 7 作品『科学戦隊ダイナマン』の放映が開始されると、「後楽園ゆうえんち野外劇場」において『科学戦隊ダイナマン（1983）』ショーが開催された。その際、入場口にてダイナレッドが会場入口の前で子ども達と握手するサービスを始めたことが好評を呼び、「僕と握手！」という、施設を PR するテレビ CM のフレーズが誕生した[171)]。当サービスは次回作『超電子バイオマン（1984）』ショー以降も継続されるようになり、現在まで行なわれる主要サービスとして定着するようになった[171)]。

以降、後楽園でのスーパー戦隊シリーズのショー公演は、やがて園内に新設された屋外ステージである「スカイシアター」にて開催されるようになり、2000 年から 2009 年 3 月まで公演が行なわれた。スカイシアターでの公演終了後は、2009 年 4 月より全天候対応の室内劇場である「THEATRE G－ROSSO」へと場所を移動しながら継続されることになった。「THEATRE G－ROSSO」でのショー公演は現在も続いており、全 43 作品のスーパー戦隊シリーズのショーが「後楽園ゆうえんち（現：東京ドームシティアトラクション

ズ)」にてこれまで行われてきた。

以上の歴史検証から、この時代では、二子玉川園や後楽園ゆうえんちの事例から、特撮ヒーロー番組が遊園地等の装置産業にて、観光誘致資源として常設活用されるようになったことが判明した。このような園内でアトラクションショーや展示を常設的に開催することによって継続的な集客を行なう観光形態を、本研究では「常設施設型形態」と呼称した。

補註

註 1：二子玉川園とは、1922 年に開園した玉川第二遊園地を前身に、1954 年 3 月 27 日に運営を再開した遊園地のことである。1985 年の閉園後、現在は商業施設やフィットネスクラブ、ホテルやオフィス等を含有した複合用途施設「二子玉川ライズ」として運営されている。

註 2:二子玉川園にて開催されたアトラクションショーでは、ウルトラ兄弟やミラーマン、ファイヤーマンといった、円谷プロが制作した特撮ヒーロー同士の共演等がビッグイベントとして大きな反響を呼ぶようになった[192)]。

註 3：「怪獣ランド・二子玉川園」を掲げた二子玉川園の様子（1973 年～1974 年）は、円谷プロ制作の特撮ヒーロー番組『ジャンボーグ A（1973)』や『ウルトラマンレオ（1974)』の本編にて確認する事が出来た。1973 年 9 月 26 日に放映された「ジャンボーグ A」第 37 話「出現！恐怖の怪鳥エレキバード」では、二子玉川園の地下に隠された卵から怪鳥サイボーグ・エレキバードが誕生し、本作のヒーローであるジャンボーグ A と対峙する内容で放映された。また、エレキバードは口から発する黄色の煙で二子玉川園に展示されている怪獣の人形（合体怪獣アントロン、ノンビリ怪獣ノンビリゴン、兄弟怪獣ダブルキラー（キラーβ）らの着ぐるみ）に生命を吹き込むことができる能力を有する設定が与えられた。また 1974 年 6 月 7 日に放映された『ウルトラマンレオ』第 9 話「宇宙にかける友情の橋」では、二子玉川園で催されている「怪獣ショー」の最中に、ショーに紛れ込んだギロ星獣と本作の登場人物であるトオル少年が心を通わせる場面が、二子玉川園内にて撮影された。ちなみに、本作にて描写されている「怪獣ショー」には、ウルトラシリーズより宇宙恐竜ゼットンやカンガルー怪獣パンドラ、逃亡怪獣ヘルツ、暴君怪獣タイラント、酔っぱらい怪獣ベロン、『ファイヤーマン（1973)』より三本角怪獣ドリゴンの着ぐるみが登場した。

註 4：イベントの一例には、『ウルトラマンタロウ（1973)』放送前の 3 月 10 日（土曜日）から、「ウルトラ怪獣大行進　ZAT 基地大公開」が開催された。

註 5：「怪獣供養祭」の内容は、園内の野外ステージ（エンゼルステージ）を会場に、円谷皐新社長、怪獣ファン代表として生越啓史（東京都豊玉小学校 3 年生）による「ぼくたちの大すきな怪獣さん、やすらかにねむってください。」という追悼文が読み上げられた後、ウルトラマンや円谷特撮ヒーロー達が、子ども達が持ち寄った壊れた怪獣玩具が納められた棺を担ぎエンゼルステージ舞台上に集結した。子ども達による献花の後、棺はメリーゴーランド近くの「怪獣さん安らかに」と書かれた墓標の近くに埋葬された[198)]。「怪獣供養祭」とは、これまでヒーローに倒された怪獣達への黙祷を趣旨としたとあり、1973 年に放映中であった円谷プロ特撮 3 作品『ウルトラマンタロウ』、『ファイヤーマン』、『ジャンボーグ A』の出演者、円谷プロ全特撮ヒーロー、円谷プロ関係者が参列し、イベントの司会を『ファイヤーマン（1973)』に出演中であった俳優・岸田森が担当し、会場には 2000 人の人々が集まる等、二子玉川園内で開催されたイベントの中でも、非常に大きな催しとな

った[193]。
註 6：例えば、1972 年 10 月 7 日から同年 12 月 30 日にかけて放映された日本テレビ・ユニオン映画制作の特撮ヒーロー番組『突撃！ヒューマン！！』のショーが、商店街やデパートの屋上で開催された[199]。
註 7：「大野剣友会」とは、殺陣師・大野幸太郎が 1964 年に設立した日本の演劇・殺陣集団を指す。東映作品には「柔道一直線（1967)」をはじめ、仮面ライダーシリーズ、『超人バロム・1（1972)』等の特撮ヒーロー番組、また円谷プロ作品には『恐竜戦隊コセイドン（1978)』、『ウルトラマン 80（1980)』、『アンドロメロス（1983)』等がある。
註 8：当イベントは午後を 3 回に分けてサイン会が実施され、仮面ライダー2 号、コブラ男、サボテグロンが参加した[196]。
註 9：1972 年 1 月 5 日・6 日に神田共立講堂で開催された「仮面ライダー大会」（2 日間・計 6 回公演）は、東映芸能が初めて仕切った公式イベントとなり、仮面ライダー2 号こと一文字隼人を演じた佐々木剛、子役の斉藤浩子による寸劇をはじめ、『仮面ライダー(1971)』の主題歌歌手である藤浩一（現在名：子門真人）を招いての主題歌ライブ、『仮面ライダー（1971)』の原作者・石ノ森章太郎監修による似顔絵コンテストと多種多様な演目が用意された[196]。
註 10：「後楽園ゆうえんち」とは、1955 年 7 月 9 日に開業した都市型遊園地である。2013 年に「東京ドームシティアトラクションズ」と名称を変更し、現在も運営されている。
註 11：「後楽園ゆうえんち野外劇場」では、後楽園ゆうえんちオリジナルヒーローとして「レッド★タイガー」が創作され、「レッド★タイガー」を題材とした実演ショーが、1977 年 10 月 2 日から同年 11 月 27 日まで公演されたショー「ジャッカー電撃隊　クライマー破壊作戦」を皮切りに行なわれるようになった。本ショーが開催された際はゲスト出演での登場であったが、1978 年 3 月 5 日から同年 4 月 9 日公演の「ばく進！レッド★タイガー」より単独主演を果たした。レッドタイガーを主役とした実演ショーは、1978 年 10 月 1 日から同年 12 月 31 日まで公演された「戦え！レッド★タイガー　謎の奇怪人その正体は！？」まで、約 10 ヶ月に渡り継続的に行なわれた。「レッド★タイガー」がアトラクションショーを一時的に牽引するようになった背景には、東映制作のスーパー戦隊シリーズが「ジャッカー電撃隊（1977)」を最後に、「バトルフィーバーJ（1979)」までの約 1 年間、放映を休止していたことが挙げられる。レッド★タイガーはスーパー戦隊シリーズ不在の約 10 か月間、「後楽園ゆうえんち野外劇場」での実演ショーと共に、1978 年 4 月 8 日から同年 12 月 28 日にかけてテレビ放映もされた（全 39 話)。
註 12：ウルトラマンタロウは、1982 年から 1984 年までの「後楽園ゆうえんち野外劇場」での正月公演において、3 年連続で出演した。『太陽戦隊サンバルカン（1981)』から『科学戦隊ダイナマン（1983)』までのスーパー戦隊の窮地を救うという役割で登場した[197]。

6－3　恒例開催型形態（1989 年 7 月 27 日～）

この時代に入ると、1960 年代から 1970 年代にかけての特撮ツーリズム現象に参加していた子ども達が青年期や大人の世代となり、青年層を対象としたイベントの開催や、「ウルトラマンフェスティバル」等の親子二世代に向けたイベントの開催事例が確認できるようになった。つまり、特撮ツーリズムの年齢層の拡大が見られた時代であった。

我が国において、特撮映像作品を子どもの頃に視聴し、青年層になったファンに向けた

特撮ツーリズムの事例は、東映が 1981 年に開催した「仮面ライダー復活祭」であった [196]。当イベントは、東映の仮面ライダーシリーズをはじめとする数多くの特撮ヒーロー作品を制作したプロデューサー、平山亨の尽力により実現した、特撮ツーリズム初のファン主導型イベントであった [200]。本イベントは 1981 年 11 月に青年層のファンを中心に 2 回開催された。イベント内容は東映東京撮影所試写室で行われた過去の仮面ライダーシリーズ数本の上映会及び出演者、スタッフとの交流会であった [200]。仮面ライダーシリーズを放映当時に観て育った大人達のための「ファンの集い」であった当イベントにおいて「仮面ライダーを終わらせないでくれ」というファンの声を受けた石ノ森章太郎は、「10 号ライダーの立ち上げ」を突然宣言したことにより（註 1）、仮面ライダーZX（ゼクロス）を主役としたテレビ番組『10 号誕生！仮面ライダー全員集合！！』が 1984 年 1 月 3 日に放映された [200]。この「仮面ライダー復活祭」は、これまで特撮映像作品を素材に特撮ツーリズムが形成されてきたのに対し、特撮ツーリズムが特撮映像作品を制作する契機となった希有な事例であった。

特撮ツーリズム現象の検証にあたり、青年ファンと映像作品制作者側との交流が本格的に催された事例は本件が最初であった。当事例は、特撮ツーリズムがもはや子ども達のみを対象としたイベントではなくなり、仮面ライダーを観て育った当時の子ども達が青年となって、彼らを対象としたイベントの実現が催されたといえる。当事例は後に、「幼少期に特撮ヒーロー作品を視聴して育った世代が、子ども達に特撮ヒーロー作品を視聴させて関連イベントに連れて行く」という、いわゆる親子二世代化の原点的な事例といえる。

東映の特撮ヒーロー番組を活用したイベントや実演ショーの世代化が加速していく中、ウルトラシリーズを制作してきた円谷プロは、1989 年に夏休みイベントとして「ウルトラマンフェスティバル」を開催した。本イベントは、正式名称「バンダイ SUMMER SPECIAL ウルトラマンフェスティバル」(主催／TBS、協賛／バンダイ、協力／サンシャインシティ・講談社・小学館他、製作協力／円谷プロダクション)と題して、1989 年 7 月 27 日から同年 8 月 31 日に池袋サンシャインシティ文化会館 4 階にて初開催された [201]。ウルトラマンフェスティバルは初開催以降、1992 年と 1996 年を除き（註 2）、主に 7 月下旬から 8 月一杯の夏休み期間中を対象に、毎年恒例行事として現在まで開催された。初開催から 2014 年までの開催で約 430 万人の来場者を記録した本イベントは（註 3）、現在まで人気集客イベントとして定着してきた。ウルトラマンフェスティバルの開催当初は、着ぐるみの展示、30 分間の実演ショー、物販の 3 点がイベント内容あり [177]、映像作品の撮影で使用された着ぐるみや小道具等の展示（註 4）がイベントの中心であった [201]。入場料大人 1200 円で開催された当イベントには、会場オープン前に親子連れの行列が出来ていた他、ウルトラマンフェスティバル会場内で販売された使い捨てカメラは、イベント会期中で 600 万円の売り上げを叩き出した [177]。物販では、「怪獣カード」が奪い合いになっていた他、1 万個単位で導入された怪獣の指人形が、補充が追いつかなくなる状態になる等、商品展開面でも成功を収めた [177]。さらに、イベント会場限定商品としてウルトラマンや怪獣を模した「限定ソフトビニール人形」が物販に導入されるようになった。一般店頭で販売されていない商品という希少性から、子ども達だけでなく、マニアやコレクターを対象としたイベントへの誘致が実施されるようになり、限定商品の販売は現在まで継続されるようになった。

毎年夏期恒例イベントとして定着したウルトラマンフェスティバルは、第 5 回目の開催

となる 1994 年の「ウルトラマンフェスティバル'94」において、「ウルトラライブステージ」（註 5）の公演が行なわれるようになり、イベントの目玉として定着した。ウルトラマンフェスティバルは以降も、毎年テレビや映画で発信されるウルトラシリーズ最新作をイベントの中心に添えながら、約 30 年に渡り継続されることになった（註 6）。

1970 年代に特定の場所を拠点に、特撮ヒーローのショーが観賞することができる「常設開催型形態」が構築されたが、この時代では常設開催型形態に対して、異なる要素が加わっていた。それは、後楽園が年中の土日祝日に特撮ヒーローショーを開催しているのに対し、当観光形態は夏休み等の一定の期間中のみの大規模イベントとしてショーや展示が行われていた点である。以上の、夏季休暇期間等の一定期間において、毎年イベントを恒例開催する特徴を持っていたことから、当観光形態を「恒例開催型形態」と呼称した。

補註

註 1：「仮面ライダー復活祭」において、ゲストとして仮面ライダーシリーズの原作者の石ノ森章太郎と平山亨がゲストとして招待された。ステージ上に登壇した石ノ森章太郎が「仮面ライダーを終わらせないでくれ」というファンの熱気を聞き入れ、「じゃあさ、作っちゃおうか 10 号ライダー！！たとえテレビにならなくたっていいじゃない。ライダーは君たちの中にあるんだから。」と突然発言し、仮面ライダー10 号の制作が決定した。

註 2：1992 年は「ウルトラマンフェスティバル」の主催である株式会社 TBS による「恐竜博」の開催に伴い中断され、1996 年は、円谷プロ制作のウルトラシリーズのみならず、東映制作の仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズ、東宝制作のゴジラシリーズを加えた特撮作品イベント「4 大ヒーロー史上最大の決戦」を TBS が行ったために中断された。

註 3：2015 年 6 月 9 日放映 TBS 系『アカデミーナイト Q』（関東ローカル）調べ

註 3：「ウルトラマンフェスティバル」の展示物には、数メートルの高さを誇る『ウルトラマン（1966）』に登場した宇宙怪獣ベムラーの頭部などの人気怪獣の展示をはじめ、TBS ドラマ『ウルトラマンをつくった男たち　星の林に月の舟（1989）』で使用されたウルトラマンや怪獣の着ぐるみ、ビル街のミニチュアセットが展示された。さらに、『ウルトラ Q（1966）』、『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』において使用された小道具や衣装、番組関連商品等の展示（協力：竹内博氏、西村祐次氏）、俳優の京本政樹が制作したウルトラマン（C タイプ）の展示が行なわれた[201]。

註 4：「ウルトラライブステージ」とは、「ウルトラマンフェスティバル」会場内に設置された大型ステージ上で繰り広げられる、着ぐるみのキャラクター達による物語仕立ての実演ショーのことである。“ウルトラマンの活躍を劇場で観劇する”というコンセプトから誕生した[157]。「ウルトラライブステージ」は毎年、「ウルトラマンフェスティバル」会場内の隔離された空間の中で催されるシアタータイプのステージショーとなっている。ステージ上で繰り広げられるウルトラマンと怪獣達との格闘もさることながら、怪獣の咆哮や鳴り響く爆音、ウルトラマンが発射する光線技等を表現する音響効果、ステージ各所を躍動的に照らす照明効果も活用された。1994 年以降に催されるようになった「ウルトラライブステージ」は「ウルトラマンフェスティバル」の目玉となり、約 20 年以上継続する人気プログラムとして定着した。また、「ウルトラライブステージ」は継続的に毎年開催されている歴史の中で、演出面において新しい趣向が年々導入されているのが特徴である。例えば、「ウルトラマンフェスティバル 2004」及び「ウルトラマンフェスティバル 2005」で上演さ

れたライブステージでは、プロジェクターを活用してウルトラマン達が放つ光線技が投影映像で表現されている[201]。また「ウルトラマンフェスティバル 2014」から「ウルトラマンフェスティバル 2018」のライブステージでは、プロジェクションマッピング技術がステージ上に導入される等、舞台演出面での新たな試みが継続的に行なわれている。さらに商品展開面では、「ウルトラマンフェスティバル’95」より、「ウルトラライブステージ」の模様がビデオとして発売されるようになって以降、毎年同様に「ウルトラライブステージ」の模様を収録したビデオや DVD の販売が、現在に至るまで継続されている。

註 5：1989 年から 2019 年まで、「ウルトラマンフェスティバル」の開催期間中に発信されたウルトラシリーズの一覧は表－26 の通りである。

表－26.「ウルトラマンフェスティバル」開催年にて発信されていた最新ウルトラシリーズ一覧（1989 年～2019 年）

開催タイトル	開催年	ウルトラマンシリーズ最新作品（開催時）	発信媒体
ウルトラマンフェスティバル	1989	『ウルトラマンUSA』	映画
ウルトラマンフェスティバル’90	1990	『ウルトラマングレート（ビデオリリース）』	ビデオ
ウルトラマンフェスティバル’91	1991	『ウルトラマングレート ゴーデスの逆襲』、『ウルトラマングレート 怪獣撃滅作戦』	映画
ウルトラマンフェスティバル’93	1993	『ウルトラマンVS仮面ライダー』	ビデオ
ウルトラマンフェスティバル’94	1994	『ウルトラマンパワード（ビデオリリース）』	ビデオ
ウルトラマンフェスティバル’95	1995	『ウルトラマンネオス』	雑誌
ウルトラマンフェスティバル’97	1997	『ウルトラマンティガ』	TV
ウルトラマンフェスティバル’98	1998	『ウルトラマンダイナ』	TV
ウルトラマンフェスティバル’99	1999	『ウルトラマンガイア』	TV
ウルトラマンフェスティバル2000	2000	『ウルトラマンティガ THE FINAL ODYSSEY』	映画
ウルトラマンフェスティバル2001	2001	『ウルトラマンコスモス』	TV
ウルトラマンフェスティバル2002	2002	『ウルトラマンコスモス2 THE BLUE PLANET』	映画
ウルトラマンフェスティバル2003	2003	『ウルトラマンコスモスVSウルトラマンジャスティス THE FINAL BATTLE』	映画
ウルトラマンフェスティバル2004	2004	『バトルオブドリーム ノア』	雑誌
ウルトラマンフェスティバル2005	2005	『ウルトラマンマックス』	TV
ウルトラマンフェスティバル2006	2006	『ウルトラマンメビウス』	TV
ウルトラマンフェスティバル2007	2007	『ウルトラマンメビウス超銀河大戦』	雑誌
ウルトラマンフェスティバル2008	2008	『ウルトラマンメビウス外伝 アーマードダークネス』	ビデオ
ウルトラマンフェスティバル2009	2009	『ウルトラギャラクシー大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY』	TV
ウルトラマンフェスティバル2010	2010	『大怪獣バトル ウルトラ銀河伝説 THE MOVIE』	映画
ウルトラマンフェスティバル2011	2011	『ウルトラマンゼロ THE MOVIE 超決戦！ベリアル銀河帝国』	映画
ウルトラマンフェスティバル2012	2012	『ウルトラゼロファイト』	TV
ウルトラマンフェスティバル2013	2013	『ウルトラマンギンガ』	TV
ウルトラマンフェスティバル2014	2014	『ウルトラマンギンガS』	TV
ウルトラマンフェスティバル2015	2015	『ウルトラマンX』	TV
ウルトラマンフェスティバル2016	2016	『ウルトラマンオーブ』	TV
ウルトラマンフェスティバル2017	2017	『ウルトラマンジード』	TV
ウルトラマンフェスティバル2018	2018	『ウルトラマンR/B（ルーブ）』	TV
ウルトラマンフェスティバル2019	2019	『ウルトラマンタイガ』	TV

6－4 海外輸出型形態（1994 年～）

ここまで特撮ツーリズムは、各時代に「①単発開催型形態」、「②常設施設型形態」、「③恒例開催型形態」の 3 種類の観光形態を創出し、国内で開催されてきたことを上述してきた。しかし 1994 年以降になると、主に米国本土にて特撮ツーリズムが実施される事例が次第に増加していくようになった。この背景には、先述した特撮映像作品の歴史の中で、東映とサバン・エンターテインメント制作の特撮ヒーロー番組『MIGHTY MORPHIN POWER RANGERS』が、1993 年より米国で放映を開始し、大ヒットしたことが考えられる。POWER RANGERS シリーズのように海外市場展開を視野とした特撮ヒーロー番組が量産されていくのに併せて、米国のホテルやテーマパーク等にて、子ども達やコアなファン層らを集客するための特撮イベントが開催されるようになった。米国で開催されるようになった特撮ツーリズムの各事例は、上述した特撮ツーリズムの 3 形態（「①単発開

催型形態」、「②常設施設型形態」、「③恒例開催型形態」）と同様の性質を持っており、本研究では各観光形態が米国にて実践されたものであると解釈した。

まず、「①単発開催型形態」では、特撮ヒーロー番組『POWER RANGERS（1993）』を題材とした着ぐるみの実演ショーを、1995 年初頭より開催するようになった[161]。この実演ショーは大型劇場にて開催された。着ぐるみを着用した俳優達が舞台上にて立ち回りを行なう物語仕立ての公演となっており、前売りチケット販売のみで総キャパシティーの85%以上を売り上げ、興行的なヒットを記録した[161]。つまり、国内の特撮ツーリズム現象でみられた演出が、米国でも同様に実践されていたことが、この事例から分かる。

続いて「②常設開催型形態」は、米国フロリダ州オーランドにある「Walt Disney World Resort」内の 1 テーマパーク「Disney MGM Studio（現 : Disney’s Hollywood Studios」（図－268）にて、POWER RANGERS シリーズに登場するヒーローショーが常設的に開催（註 1）されるようになった[202]。この事例は、我が国のスーパー戦隊シリーズのショーが後楽園ゆうえんちにてショーが常設的に開催されてきたのに対し、米国の POWER RANGERS シリーズはテーマパークにてショーを常設的に開催してきたことに特徴があった。

つまり、同じ制作会社（東映）により発信された特撮番組であっても、国によって開催地の特徴が異なっているわけである。後楽園ゆうえんちはスーパー戦隊シリーズのショーを行なう舞台（THEATR－GROSSO）を設置したのに対し、「Disney MGM Studio」ではヒーローをパレード専用の車両に搭乗させてパーク内で走らせる等[202]、演出面でも異なる違いが確認出来た。

最後に「③恒例開催型形態」は、日本で制作された特撮怪獣ファンを対象とする世界最大のコンベンション「G－FEST」が挙げられる。「G－FEST」とは、毎年ホテルを貸し切って、年に 3－4 日間開催される日本の特撮怪獣イベントのことである。イベント内容は、「日本の怪獣」を括りに特撮怪獣映画の上映、講演、セミナー、アート・フィギュア展示、本や玩具（ソフトビニール人形）等の物販、作品出演者のサイン会、お茶会、コスプレショー等で構成されている[203]。「G－FEST」には毎年、東宝特撮怪獣映画の特技監督や主演俳優、スーツアクター等の多数の作品制作者が当イベントにこれまで参加してきた他、英語字幕付きでの特撮怪獣映画[203]や特撮ヒーロー番組の上映[204]も行なわれた（註 2）。「G－FEST」とは元々、米国・カナダ在住の日本の特撮ファンが「ファンの集い」として、1994 年に初めて「G－FEST」を開催したことが起点であった（註 3）。米国西海岸で開催された第 2 回以降、「G－FEST」はシカゴを筆頭に、年々開催規模を拡大しながら、現在まで 5000 人規模を収容する夏期恒例イベントとして定着してきた[203]。つまり日本では大型ショッピングセンターや、市が運営するホールにて、「③恒例開催型形態」が実践されたのに対して、米国ではホテルを拠点に、特撮映像作品のイベントを恒例開催している特徴を確認することが出来た。

また、米国での「③恒例開催型形態」の事例は「G－FEST」だけに留まらず、東映の POWER RANGERS シリーズも、2007 年よりカリフォルニア州内のアナハイム、パサデナといった各都市のコンベンションセンターにて、夏期イベント「Power Mophicon」[205]を、現在まで 2 年に 1 度のペースで開催するようになった（註 4）。「Power Mophicon」とは、POWER RANGERS シリーズを題材に、シリーズ出演俳優によるパネルトークショー[206]やサイン会[207]をはじめ、会場限定商品（アクションフィギュア）の販売も行なわれた

[208]。また POWER RANGERS シリーズの素体である、東映のスーパー戦隊シリーズの出演者を招き、パネルトークショーも行なうイベントプログラムも催された（註 5）。

上述してきた通り、米国を筆頭に特撮ツーリズムの 3 形態が輸出され、各形態が独特の特徴を持ちながら海外市場に適合してきたことを踏まえ、当研究では「④海外輸出型形態」と呼称した。しかし、ここまでの「④海外輸出型形態」の事例の誘致対象とは、米国に居住する人達が中心であった。しかし、海外で実践されてきた特撮ツーリズムの事例には、日本人観光客を誘致の対象としたプログラムが存在する。それが、円谷プロとハワイ州観光局のコラボレーション企画として展開された「ウルトラハワイ」であり、ツアー商品（ウルトラハワイツアー）として全 12 の参画旅行会社と提携し、日本人観光客の誘致を行なった（註 6）。

ウルトラハワイツアーは、ウルトラファミリー（ウルトラマンタロウ、ウルトラの父、ウルトラの母）とウルトラ怪獣達（宇宙忍者バルタン星人、友好珍獣ピグモン）がハワイの魅力を届けるというコンセプトの下で、2014 年 4 月 1 日から 9 月 30 日まで、米国ハワイ州 4 島（オアフ島、マウイ島、カウアイ島、ハワイ島）で開催された。ウルトラハワイツアーの開催期間中は、4 体のウルトラヒーロー立像がオアフ島内の各所にて設置された。設置されたウルトラヒーロー像と、設置場所は下記表－27 の通りである。

表－27.ウルトラヒーロー立像　設置場所一覧

ウルトラヒーロー立像設置場所	設置されたウルトラヒーロー
1.Tギャラリア　ハワイ　by DFS	ウルトラマンティガ
2.ポリネシア・カルチャー・センター	ウルトラマンゼロ
3.クアロア・ランチ　ハワイ	ウルトラマンギンガ
4.ヒロハッティ　ニミッツ店	ウルトラマンメビウス

ウルトラハワイツアー開催期間中は、立像の設置の他、ウルトラハワイオリジナルグッズやホテル宿泊券などが抽選で当たる「ウルトラハワイスタンプラリー」もハワイ州 4 島で開催された。ウルトラハワイツアー参加者は、各所にてスタンプを複数収集した後、現地にて投函することができた（註 7）。

上述してきたとおり、立像の設置やスタンプラリーの開催など、ウルトラハワイにはウルトラシリーズを素材としたプログラムが導入されてはいる。しかしウルトラハワイの特徴は、着ぐるみショーや展示ではなく、あくまでハワイ州内で体験できるアクティビティがツアーの主役であることが挙げられる。筆者らは、2014 年 8 月 23 日から 8 月 28 日までハワイ州オアフ島内で開催されたウルトラハワイツアーに参加し、下記表－28 の日程で現地調査を行なった。

表－28.ウルトラハワイツアー日程（2014 年 8 月 23 日～8 月 28 日）

日付	スケジュール
2014年8月23日	日本時間20時10分成田発、ハワイ時間8時35分ホノルル着、終日自由行動
2014年8月24日	クアロアランチ半日アクティビティー（4輪バギー確約）
	シェラトン・ワイキキ・ホテルにて解散後、終日自由行動
2014年8月25日	ポリネシアン文化センターで夕食、ナイトショー
2014年8月26日	終日自由行動
	ショアーバードランチクーポンを使用し、シェラトン・ワイキキ・ホテル内の「吉屋」で昼食
2014年8月27日	14時発ホノルル発・成田へ
2014年8月28日	16時55分成田着

上記日程の中には、ウルトラマンの着ぐるみを使用した実演ショーや展示等は、ツアー中に一切行なわれておらず、ハワイ州オアフ島内で体験できるアクティビティを中心に体験するツアーとなっており、特撮と関連する点は 8 月 24 日の目的地であるクアロアランチと、8 月 25 日の目的地であるポリネシアン文化センターのみ、ウルトラマン立像が設置された場所を訪れることのみであった。

岩野ら（2014）は、米国ハワイ州オアフ島における日本人旅行者を対象に、リゾートが提供する要素ならびに癒しを与える要素､旅行者満足､再来訪との関わりを検証した結果、自然環境等のリゾートが提供する要素は、旅行者満足及び再来訪に関わることを明らかにした。その上で、ハワイの文化やフラといった文化的要素及び、波の音や日の出・サンセットのような海の要素等、ハワイ独自のものが再来訪意向に関わることを示した[209)]。

つまり、ウルトラハワイツアーの主役とは、ハワイ州で体験できる各アクティビティにあり、ウルトラシリーズはあくまでそれを PR するために添えられた存在として活用されていることがわかる。先述した米国本土での特撮イベントが、米国人を主対象とした「特撮」中心の特撮ツーリズムであるのに対して、ウルトラハワイはこれと異なり、日本人を主対象とした「ハワイ」中心の特撮ツーリズムであることに特徴があった。

さらにウルトラハワイ開催期間中は、国内各所やハワイ州でも、イベントの開催を通じて、当旅行商品の PR 活動が積極的に行なわれた。一般向けに開催されたイベントでは、2014 年 6 月 28 日に世田谷区祖師ヶ谷大蔵にある書店「文芸書林」にて「ウルトラマンタロウのサイン本お渡し＆握手会」が開催され、参加者には「ハワイ州観光局公式トラベルガイド ウルトラハワイ」が、ウルトラマンタロウによる手渡しの形で配布された。また、2014 年 7 月 25 日から 8 月 31 日まで池袋サンシャイシンシティにて開催されたイベント「ウルトラマンフェスティバル 2014」では紹介ブースが設置された他、2014 年 9 月 28 日・9 月 29 日に開催された、世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」内にあるハワイ州観光局のブース「ハワイ・パビリオン」にて、ウルトラハワイ・ステージやパネル展示が行なわれた。

ここまで国内での「ウルトラハワイツアー」のプロモーション活動について述べてきたが、ハワイ州内でも、ウルトラシリーズとタイアップした催事の開催や商品開発も行なわれていた。2014 年 6 月 13 日から 6 月 15 日にかけてホノルルで開催された催事「まつりインハワイ」にて、当時ハワイ州観光大使に任命されたウルトラマン（ウルトラマンレオ、ウルトラマンティガ、ウルトラマンゼロ、ウルトラマンギンガ）の着ぐるみが参加して、カラカウア通りでのパレードや、アラモアナショッピングセンター内にあるステージ上での実演ショーも併せて開催された[210)]。さらに、商品開発の事例では、オアフ島内に 2 店

舗を構えるハワイのローカルTシャツブランド「88Tees」と、ウルトラシリーズとのコラボレーションTシャツが全6種類販売された。

ウルトラハワイツアーは開催期間終了後も派生イベントが開催された。それが 2014 年 12 月 18 日から 12 月 20 日にかけて、ハワイ・オアフ島にて開催された「ウルトラハワイファイナルツアー2014」であった。ツアー参加者全8名で行われた当ツアーは、これまでハワイで体験できるアクティビティを中心に発信されてきたウルトラハワイツアーとは異なり、「特撮」を中心にプログラムが展開されていたことに特徴がある。つまり、これまでのウルトラハワイツアーでは着ぐるみのウルトラマンや怪獣の実演ショーが皆無であったのに対し、ファイナルツアーでは着ぐるみのウルトラマンが各目的地にて頻繁に登場し、ツアー参加者との写真撮影や実演ショーの機会が設けられていた。筆者らが現地調査を実施した「ウルトラハワイファイナルツアー2014」の日程は下記表－29 の通りである。

表－29. ウルトラハワイファイナルツアー2014 日程（2014 年 12 月 18 日～12 月 22 日）

日付	地名	現地時間	備考
2014年12月18日	成田空港発	19:00～22:00	直行便利用 ホノルル空港へ
	関西空港発	20:00～22:30	直行便利用 ホノルル空港へ
	ホノルル空港着(成田組)	7:00～11:00	
	ホノルル空港着(関西組)	9:00～11:00	
	トラベルプラザ	11:00～	マグマ星人による説明会、バルタン星人との記念撮影
	Tギャラリア ハワイ by DFS		ウルトラマンティガ、ウルトラマンダイナとの記念撮影
	ヒロハッティ・ニミッツ店		ウルトラマンメビウス、ウルトラマンヒカリとの記念撮影
	ファイナルツアー対象ホテル内ツアー参加者各部屋	20:00～	ウルトラマンネクサス、マックス、サーガとの記念撮影
2014年12月19日	サンディ・ビーチ	7:00～	ウルトラマンガイア、ウルトラマンアグルとの記念撮影
	クアロア・ランチ ハワイ		ウルトラマンギンガ、ウルトラマンコスモスとの記念撮影
	ポリネシア・カルチャー・センター		ウルトラマンゼロ、ウルトラセブンとの記念撮影
	ジミー・バフェット レストラン＆バー	17:00～	ウルトラハワイファイナル2014式典
	ファイナルツアー対象ホテル内ツアー参加者各部屋	20:00～	ウルトラマンベリアル、ミラーナイト、グレンファイヤーとの記念撮影
2014年12月20日	88Tees	10:00～	ウルトラマンレオ、アストラとの記念撮影
	ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート	12:30～	ウルトラマン、ウルトラの父、ウルトラマンタロウ、マグマ星人との記念撮影
	ファイナルツアー対象ホテル内ツアー参加者各部屋	23:00～	ウルトラマンゼロ、ベリアル、ミラーナイト、グレンファイヤーとの記念撮影
2014年12月21日	ホノルル空港発(成田組)	9:00～14:00	直行便利用 成田空港へ
	ホノルル空港発(関西組)	14:00～16:00	直行便利用 関西空港へ
2014年12月22日	成田空港着	13:00～17:00	成田空港着
	関西空港着	18:00～20:00	関西空港着

ウルトラハワイファイナルツアーは、4 体のウルトラマン立像が展示されている各観光地を巡りながら、各所での着ぐるみのウルトラマンとの撮影会も開催された。さらに、実演ショーやクイズ大会等を含んだ「ウルトラハワイ式典」、各ツアー日の最後に、ウルトラマンや怪獣の着ぐるみが参加者の部屋を巡回する「おやすみパトロール」等、ハワイのアクティビティではなくウルトラマンに会えることを中心としたプログラムで構成された。

このように、「④海外輸出型形態」とは、米国に居住する人達を対象に、ホテルやテーマパーク等にて、特撮ツーリズムの3形態（「①単発開催型形態」、「②常設施設型形態」、「③恒例開催型形態」）と同様の性質を持ったイベントがこれまで開催されてきたことが明らかになった。しかし、「④海外輸出型形態」は日本人観光客も対象に、ツアー形式でも開催されている事例も併せて行なわれていたことも確認できた。

補註

註1：POWER RANGERS シリーズは当初東映とサバン・エンターテインメント社の共同製作で作品が発信されていたが、2002 年のシリーズ第 11 作目『POWER RANGERS WILD FORCE』の途中より、作品の制作会社がサバンからディズニーへと移行した[211]。これに伴い、2003 年

のシリーズ第12作目『POWER RANGERS NINJA STORM』以降は東映とディズニーの共同制作でシリーズが発信されるようになった他、ディズニーが所有するテーマパーク「Disney MGM Studio（現：Disney’s Hollywood Studios」」内でも、ショーやパレードにPOWER RANGERSシリーズのヒーローの着ぐるみが登場するようになった。しかし、2011年放映のシリーズ第20作目『POWER RANGERS SAMURAI』より再び制作会社がディズニーからサバンへと移行したことにより[212]、2011年以降は「Disney MGM Studio」内での、POWER RANGERSシリーズのショーやパレードは開催されていない。

註2：2014年開催時は、平成ゴジラシリーズの特技監督を務めた川北紘一監督や、『ゴジラ（1954)』より宝田明氏、『ゴジラVSキングギドラ（1991)』のロバート・スコット・フィールドら出演俳優が参加した。さらに、『ゴジラ（1954)』から『ゴジラ対ガイガン（1972)』までゴジラを演じたスーツアクター中島春雄氏ほか、東宝特撮怪獣映画の制作者らも多数イベントに参加した。また、「G－FEST」には東宝以外の特撮怪獣映画や特撮番組の制作者もイベントに招致していた[203]。1999年開催時には昭和ガメラシリーズを監督した湯浅憲明、平成ガメラシリーズを監督した金子修介が招致されたほか[203]、2017年7月開催時には、円谷プロの『ウルトラマンX(2015)』でメイン監督を務めた田口清隆氏が参加した[204]。さらに、「G－FEST」ではイベントの一環として作品の上映も行なっており、1999年には金子修介監督作品「ガメラ3　邪神〈イリス〉覚醒」を[203]、2017年は田口清隆監督作品『ウルトラマンX（2015)』第15話「戦士の背中」が[204]、両作品とも英語字幕付きで上映された。

註3：当時、日本の特撮怪獣の情報が米国やカナダで情報が入手しづらい環境にあった。そのため、日本の怪獣や特撮映像作品が好きなファン達が集結し、同人誌「G－FAN」（編集：ジーン・D・リース）を発表したところ、米国内外で反響があったことが、元々の「G－FEST」開催の契機であった[203]。

註4：2019年に、「Power Morphicon2018 Express」と題して、米国カリフォルニア州パサデナにて派生イベントを開催することが、2018年8月19日に「Power Mophicon」の公式ホームページにて発表された[213]。

註5：米国向けにSHOUT FACTORYから発売された『恐竜戦隊ジュウレンジャー（1992)』本編を全話収録した10枚入りDVDセット「SUPER SENTAI ZYURANGER The Complete Series」のDISC10において、2014年時開催の「Power Mohicon」のイベントの模様が特典映像として収録されている。「”Power Progentiors:Super Sentai Zyuranger”Power Morphicon2014 Panel」と題して、2014年に開催された『恐竜戦隊ジュウレンジャー(1992)』の出演者（ティラノレンジャー：ゲキ役）である望月祐多氏によるトークショーの模様が、本特典映像にて記録されている。

註6：「ウルトラハワイ」は大手旅行会社全12社と提携し、米国ハワイ州各所を巡る「ウルトラハワイツアー」と題して旅行商品が販売された。提携した12の旅行会社は、R&Cツアーズ、H.I.S、ANAハローツアー、近畿日本ツーリスト、JTBワールドバケーションズ、JALパック、トップツアー、西鉄旅行、日本旅行、農協観光、阪急交通社、名鉄観光であった。

註7）ウルトラハワイスタンプラリーは、収集したスタンプの数によって「ウルトラ賞」と「ハワイ賞」の2種類の賞にそれぞれ応募できるシステムであった。「ウルトラ賞」はスタンプを3種類収集することで応募資格が与えられた。「ウルトラ賞」1等の当選者には

「ブルマァク社製ウルトラマンタロウ（『ウルトラハワイ』完全オリジナル版）」、2 等の当選者は「オリジナルラゲージタグ」、3 等の当選者は「オリジナルボールペン＆クリアファイル」、参加賞としてステッカー等のウルトラハワイオリジナルグッズが配布された。

また「ハワイ賞」はスタンプ 5 種類を収集することで応募資格が与えられ、2014 年 8 月の商品としては下記表－30 の商品が、各賞当選者に贈呈された。

表－30.「ハワイ賞」当選賞品一覧（2014 年 8 月分懸賞商品）

ハワイ賞（8月度商品）	当選人数
プリンスリゾーツハワイ　ハワイプリンス2泊宿泊無料券	1名
ヒルトングランドバケーション　2泊分無料宿泊券	1名
ドルフィンロイヤルスイム　2名1組無料券	1名
ダックツアー　無料ツアー券	2名
グランドハイアットカウアイ　ロゴ入りゴルフ帽＆タオルセット	1名
マカロニグリル　$50.00分　お食事券	1名
AVISレンタカー　QUOカード1000円分	5名
アトランティスサブマリン　マイクロファイバークロス	250名

6－5　地域資源型形態（2000 年 7 月 20 日～）

この時代に入ると、国内の各市町村にて、特撮映像作品を誘致資源に、「特撮映像作品の制作者の生誕地」もしくは「ゆかりのある地」として、地域に観光者を誘客する動きが加速するようになった。2000 年代初頭より、特撮映像作品を用いた地域振興の事例が、宮城県内で実践されるようになって以降、現在まで、東北地方や関東地方、沖縄地方において、「特撮」を用いて観光まちづくりを行う事例が、現在まで 7 件確認することができた（表－31）。さらに、これら特撮を誘致資源とした観光まちづくりの事例から、「①ミュージアムの創設」と「②道の整備」、「③広場の創設」の 3 つの特徴が確認出来た。

表－31.特撮映像作品を誘致資源とした観光まちづくり事例（全 7 地域）

市町村名	観光まちづくり備考	確認出来る特徴
1.宮城県登米市中田町	石ノ森章太郎の故郷。2000年に「石ノ森章太郎ふるさと記念館」を開館。	①
2.宮城県石巻市中瀬	石ノ森章太郎が「第二の故郷」と呼称。2001年に「石ノ森萬画館」を開館。	①,②
3.福島県須賀川市	円谷英二の生誕の地。市内「松明通り」にウルトラマン像を複数建立。	①,②
4.東京都世田谷区砧祖師ヶ谷大蔵	2005年に円谷プロ旧社屋が存在していたことから、「ウルトラマン商店街」が誕生。	②
5.東京都新宿区歌舞伎町	2015年に複合商業施設「新宿東宝ビル」の8階に、「ゴジラヘッド」を設置。	②
6.東京都千代田区日比谷	2018年3月に「日比谷ゴジラスクエア」が誕生。広場内に「シン・ゴジラ」像を設置。	③
7.沖縄県南風原町	ウルトラシリーズの脚本家、金城哲夫の生家を資料館として開館。	①

先述したように、アナログ特撮作品を誘致資源とした観光現象は、地域との結合性が低く、どの地域でも違和感なく開催することが可能となることに特徴があった。撮影で使用された着ぐるみやミニチュア等の物品を外部から開催地に持ち込んで、virtual（非日常的）な世界観を構築していることにあり、そこに来訪する観光者は、その非日常的な世界観を認識した上で、自分の目的を Actualize（実現）するために行動を起こしていることを上述した。しかしこれら 7 つの地域が、virtual な世界観を構築する特撮ツーリズム開催地と異なる点は、「期間が限定されたイベント」ではないという点である。つまり、アナログ特撮作品の制作者あるいは原作者の「生誕地・ゆかりのある地」、また「作品の制作会社があっ

た地」、「作品の舞台となった地」等の建前の下、1 つの地域を舞台にアナログ特撮作品の世界観を常設的に作り出すことで、イベントではなくなっているのである。これにより、当地域に居住している住民にとっては、自分達が住んでいる生活圏、即ち「日常」の中にアナログ特撮が立像や博物館等の形で浸透している。他の地域からやってくる観光者にとっては「非日常的」なものが、地域住民にとっては「日常的」なものとして浸透していることが、「地域資源型形態」の特徴であるといえる。

まず、こうした特撮を誘致資源としたまちづくりの口火を切ったのは、宮城県であった。東映の仮面ライダーシリーズの原作者である石ノ森章太郎の故郷である宮城県登米市中田町にて、2000 年 7 月 20 日に「石ノ森章太郎ふるさと記念館」が開館した。また同県石巻市中瀬には 2001 年 7 月 23 日に「石ノ森萬画館」も開館した。

宮城県石巻市では、表－31 のとおり、「①ミュージアムの創設」と「②道の整備」の 2 つの特徴を確認することができた。まず、「①ミュージアムの創設」に該当する展示施設「石ノ森萬画館」である。

「石ノ森萬画館」が開館した背景には、1995 年 7 月に、シャッター街となった石巻の中心市街地ににぎわいをもたらし、様々な情報を発信していく事を目的として、石ノ森章太郎とゆかりのある「中瀬」にマンガミュージアムの建設する「マンガランド構想」が誕生したことに由来する[214]。当構想に則り、「石ノ森萬画館」では、『サイボーグ 009（1964）』等の石ノ森章太郎が原作を手がけた漫画作品や、『仮面ライダー（1971）』等の特撮映像作品を題材に展示を行なう施設として開館した。当施設は、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被害を受けたが（註 1）、翌年に営業を再開して現在に至っている。つまり、特撮ツーリズム開催地としては、東日本大震災の被害を直接受けた唯一の観光地でもある。

施設内は、石ノ森章太郎の生い立ちを紹介したパネル展示をはじめ、石ノ森が手がけた漫画作品の展示、特撮やアニメ作品を視聴できるシアターが設置されている他（註 2）、石ノ森作品のみならず、藤子 F 不二夫など、他の漫画家達によって手がけられた漫画作品も併せて収蔵した資料館も導入された。

このように観光まちづくりの一端を担う場として、地域にミュージアムを創設することは、大西ら（2014）によって指摘されているが[215]、特撮ツーリズムでも特定の地域において「1.ミュージアムの創設」が行なわれるようになった。

また石巻市では、「②道の整備」も併せて行なわれている。即ち、石巻駅から先述した「石ノ森萬画館」までの通り道を、「石巻マンガロード」[216]と呼称して、石ノ森章太郎が手がけたキャラクター（『サイボーグ 009（1964）』等の漫画作品や、『仮面ライダー（1971）』、『仮面ライダーV3（1973）』等の特撮映像作品）を模したモニュメント（像 18 体、ベンチ 4 つ、ポスト 2 つ、マンホール、萬画神社が設置された。

このように、特撮映像作品の原作者の生誕地や、ゆかりのある地を謳い、「1.ミュージアムの創設」や、立像を設置することで「2.道の整備」を行なう事例は、やがて宮城県以外の市町村でも確認出来るようになった。ウルトラシリーズをはじめとする特撮映像作品の制作会社・円谷プロを設立し、東宝特撮映画では特技監督を務めた円谷英二の生誕の地である福島県須賀川市では、2001 年に円谷英二が生誕 100 周年を迎えたことから、円谷英二生誕百年祭実行委員会、須賀川市、須賀川市教育委員会が主催で「生誕 100 年円谷英二展」が催された[217]。1996 年 2 月に、円谷英二生家跡地にてステンレス製の「英二モニュメント」が既に設置されてはいたが、節目の年である 2001 年を機に、円谷英二が特技監

督を務めた『ゴジラ（1954）』シリーズや、円谷プロ作品（『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』）を使用した観光まちづくりが本格的に実践されることになった（註3）。その後須賀川市は、2013年5月5日にウルトラマン達の故郷である「M78星雲光の国」と、姉妹都市提携を締結した。さらに、同年7月7日には須賀川駅前にて「ウルトラマンモニュメント」が設置される等、実在する市と架空のまちが姉妹都市提携を締結した事例は、特撮ツーリズム唯一の事例であった。

須賀川市でも、先述した石巻市と同様に、「①ミュージアムの創設」と「②道の整備」の2つの特徴が見受けられた。まず、「①ミュージアムの創設」では、2019年1月11日に開館した市民交流センター「tette（施設名：須賀川市民交流センター）」内にて創設された、「円谷英二ミュージアム」が挙げられる。「円谷英二ミュージアム」は、須賀川市出身で「特撮の神様」と称される円谷英二監督の偉業を顕彰するとともに、子どもたちに学びの大切さ、挑戦する素晴らしさを伝え、次世代に生きる人々に大きな夢を与える施設として、円谷英二の68年間の歩みや人となりをパネルや映像インタビューで紹介するほか、特撮メイキング映像や造形物を展示、さらには特撮に関連する図書や発想のもとになる図書を配架し、円谷英二の功績や特撮の魅力を発信することを目的に創設された[218]。施設内は他にも、映画『ゴジラ（1954）』に登場した怪獣ゴジラを再現した着ぐるみ展示の他、この着ぐるみを使用した特別映像『～夢の挑戦　ゴジラ須賀川に現る～』の公開等が行なわれている。

また須賀川市は、立像の設置等による「②道の整備」も行なっている。2001年より円谷英二の生家跡地がある市内のメインストリートである「松明通り」にて、「トランスボックス（地上変電器）」に、円谷英二が特撮監修を務めた『ゴジラ（1954）』や『モスラ（1961）』等の特撮怪獣映画や、ウルトラシリーズ等の特撮ヒーロー番組に登場する怪獣やヒーローがペイントされるようになった。

その後も須賀川市は、2015年以降より「②道の整備」を再開した。「松明通り」にて、ウルトラシリーズに登場したウルトラマンや怪獣の像や、ベンチの設置を精力的に行なうようになった（註4）。

ここまで、宮城県石巻市や、福島県須賀川市の事例を通じて、「特撮」を使用した地域振興の形が、「①ミュージアムの設置」や、「②道の整備」の特徴が確認出来た。一方、関東地方においても、「特撮」というジャンルを用いて地域振興を行っていく事例が、2005年より確認できるようになった。東京都世田谷区砧祖師ヶ谷大蔵では、円谷プロダクション本社の旧社屋が存在していたことから、「ウルトラマン発祥の地」を掲げ、2005年4月3日より小田急線祖師ヶ谷大蔵駅を囲う「祖師谷みなみ商店街」「祖師谷商店街振興組合」「昇進会」の3商店街の総称として「ウルトラマン商店街」が誕生した[219]。「ウルトラマン商店街」では、祖師ヶ谷大蔵駅前でのウルトラマンモニュメントの設置の他、先述した3つの特徴の中で、ウルトラシリーズに登場するヒーローや怪獣を模した街路灯を並べた「②道の整備」が実践された。

これまで、東北地方や東京郊外での特撮映像作品を活用したまちづくりの事例を述べてきたが、2015年以降には都心でも、東宝のゴジラシリーズを活用したまちづくりが活発に行なわれるようになった。表－31のとおり、東京都新宿区歌舞伎町と千代田区日比谷にて行なわれており、両地域の共通点は、映画ゴジラシリーズ本編にて破壊された町であったこと（註5）を契機に、「ゴジラと繋がりのある町」としてPRされていることに特徴があ

る。まず 2015 年 4 月 17 日に、ゴジラシリーズの撮影地の 1 つである、東京都新宿区の歌舞伎町内に開館した複合商業施設「新宿東宝ビル」の 8 階に、新たな新宿のランドマークとして「ゴジラヘッド」が設置された[220)]。さらに「新宿東宝ビル」内に 4 月 24 日に開館した「ホテルグレイスリー新宿」には、「ゴジラ」の世界観を表現したコンセプトルームが常設された。新宿区では他にも、「②道の整備」を行なっており、新宿西部線新宿駅前通りに設置されているトランスボックス 9 機には、ゴジラやモスラ等の、東宝特撮怪獣映画に登場した怪獣のイラストも施されるようになる等、現在もゴジラシリーズを誘致資源とした観光まちづくりが実践されている。

続いて、東京都千代田区日比谷では、2018 年 3 月 22 日に、商業施設「日比谷シャンテ」のリニューアルオープンに伴い、当施設前にある広場を「日比谷ゴジラスクエア」と呼称した他、広場内に「シン・ゴジラ」像が設置された。つまり、国内 7 件の特撮を誘致資源とした観光まちづくりの中で、現状唯一「③広場の創設」を実施した場所であった。

このように、特撮を観光資源化して誘客を行なう動きは現在も全国的に実践されており、沖縄県南風原町では、「1.ミュージアムの創設」が行なわれた。1966 年から 1968 年まで放映されたウルトラシリーズ 3 作品（『ウルトラ Q（1966)』『ウルトラマン（1966)』『ウルトラセブン（1967)』）の企画・脚本を手がけた金城哲夫（註 6）の生家が存在していることから、金城の生家のある料亭・松風苑の敷地内で、金城が残した資料（金城が手がけた脚本、出演者のサイン、本人や関係者の写真、金城に関する出版物）を展示した資料館「金城哲夫資料館」が開館した[221)]。ここまで記述してきた国内 7 件の事例から、特撮映像作品が地元の観光誘致資源として活用され、各観光地の地域振興策として、全国的に実践されるようになったことが明らかとなった。このことから、特撮映像作品をまちづくり資源として活用した当観光形態を「⑤地域資源型形態」と呼称した。

補註

註 1：2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災（平成 28 年 6 月 10 日警察庁発表、死者・行方不明者数 1 万 8452 人、住家の全壊及び半壊数 40 万 0381 戸）により、旧北上川河口から約 2㎞ 上流にある石ノ森萬画館も大きな被害を受けた。川を遡上してきた高さ 6m 以上の津波により、当施設 1 階部分が全壊した。この被害により 2011 年 3 月 31 日に石ノ森萬画館は休館することになったが、2012 年 11 月 17 日に当施設は再開した[186)]。

宮城県石巻市を対象とした観光研究について、長谷川（2014）は、宮城県石巻市は 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災後に観光来訪者数が低下したものの、2014 年時点で石巻市では数多くの観光振興事業が予定されていることに言及しており[222)]、石ノ森萬画館も 2016 年には横手市増田まんが美術館との仮面ライダー合同企画展を開催する等[186)]、現在まで特撮ヒーローを使用した催事等を継続的に行なってきた。

註 2：石ノ森萬画館 1 階には「映像ホール」が設置されており、石ノ森章太郎が原作を手がけたキャラクターのアニメ作品や特撮映像作品をシアター内で観賞することが出来る。2018 年 4 月 18 日・4 月 19 日の現地調査時には、特撮映像作品『シージェッター海斗』をはじめ、2 本のアニメ作品（「龍神沼」、「消えた赤ずきんちゃん」）を含んだ計 3 本の映像作品が上映されていた（各作品公開前には、石ノ森章太郎生誕 80 周年を記念したショートアニメ作品も同時上映された）。

註 3：須賀川市は他にも、空の玄関口として「福島空港」（図－10）が建設されている。福

島空港は 2008 年より空港開港 15 周年を記念して、空港ターミナルビル各所に、ウルトラシリーズの撮影で使用された衣装と小道具、ジオラマの常設展示を行なうようになった[223]。展示の他には、ウルトラシリーズの撮影で使用された衣装を展示した食堂の他、ウルトラマンオフィシャルショップ「SHOT M78」も設置されている（2015 年 4 月 11 日現地調査時）。

註 4：須賀川市内の「松明通り」では、2015 年 3 月 1 日に 4 体（ウルトラマン、ウルトラセブン、古代怪獣ゴモラ、宇宙怪獣エレキング）のウルトラシリーズの立像を設置して以降、同年 11 月 14 日にさらに 4 体（ウルトラマンジャック、ゾフィー、宇宙恐竜ゼットン、宇宙大怪獣ベムスター）を設置した。また 2016 年 11 月 12 日には新たに 3 体（ウルトラマンエース、ウルトラマンタロウ、ウルトラの母）を設置したため、現在まで「松明通り」には 11 体の像が設置されている。さらに 2017 年 11 月 11 日にはモニュメントベンチとして友好珍獣ピグモンとコイン怪獣カネゴンのベンチが設置された。

註 5：東京都新宿区は、特撮怪獣映画『ゴジラ VS キングギドラ（1991）』にて、都庁、新宿モノリスビル、京王プラザホテル南館がゴジラやメカキングギドラの激闘シーンの舞台となり、東京都千代田区日比谷は、特撮怪獣映画『ゴジラ（1984）』にて、有楽町マリオンや東海道新幹線などの高架橋がゴジラに襲撃された。

註 6：1938 年 7 月 5 日に沖縄県島尻郡南風原町で生まれる。1963 年に企画文芸部主任として円谷プロに入社後、『ウルトラＱ（1966）』、『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』、『快獣ブースカ（1966）』の脚本・企画を務めた。1976 年没。

6－6　新メディア導入型形態（2013 年 5 月 5 日～）

この時代に入ると、インターネット公式サイトでの「仮想都市」の形成や、「Facebook」を筆頭とする SNS の出現によって、特撮ツーリズム開催地の情報が新たな情報メディアを通じて発信されるようになった。これまで実践されてきたインターネット上での公式サイトの開設や、動画サイトを使用した特撮イベントの情報発信に加えて、SNS 等が導入されたことにより、観光地が多種多様なメディアを通じて、より広範囲に告知を行なうことが可能となった。

新たな情報メディアを通じた観光地の発信には、まずインターネット上での「仮想都市」の形成が挙げられる。特撮ツーリズムで「仮想都市」を活用して観光対象地が告知された事例には、福島県須賀川市が公式に開設しているホームページ「すかがわ市 M78 光の町」[224] を現状唯一挙げることができる。福島県須賀川市では 2013 年 5 月 5 日にウルトラマン達の故郷である M78 星雲「光の国」[225] と姉妹都市提携が結ばれたことに伴い、須賀川市公式ホームページにて仮想都市「すかがわ市 M78 光の町」[224] が開設された。

「すかがわ市　M78 光の町」では、サイト内にて開設された仮想都市「光の町」への住民登録が無料で行える他、観光案内（観光名所[226]、交通アクセス・宿泊施設[227] 等）の発信が行なわれている。また「すかがわ市 M78 光の町」[191] にて住民登録を行なうと、須賀川市内 2 カ所（①須賀川市観光交流課〈須川市役所内〉、②須賀川市コミュニティプラザ〈JR 須賀川駅舎内〉）にて「住民票」が発行できるサービス（有料）が現在も継続して行なわれている。

ここまで上述してきた「すかがわ市 M78 光の町」[224] の特徴は、インターネット上での「架空の町の形成」にある。当事例は、これまでの特撮ツーリズムでは確認出来なかった観光情報の発信方法であった。インターネット上にて仮想都市が開設されたことに加え、

特撮ツーリズムはインターネット会員サービスの 1 種である「SNS（Social networks service)」を媒体とした、開催地の PR を積極的に行なうようになった。2014 年に円谷プロとハワイ州観光局によって共催された「ウルトラハワイ」では、「Facebook」にて、「ウルトラハワイ」公式アカウントを開設した。当アカウントでは、ウルトラハワイツアーの対象地となるハワイ州 4 つの島々の PR の他、「ウルトラハワイ」に関連したイベント開催の告知、「ウルトラハワイファイナルツアー」のレポート等の告知が行なわれた[228)]。

また「ウルトラハワイ」公式アカウントでは、ウルトラハワイキャンペーンの一環としてフォトコンテストである「ウルトラポーズコンテスト」（註 1）も実施された。「ウルトラポーズコンテスト」は 2014 年 6 月 19 日から同年 8 月 31 日まで、ハワイ州観光局公式 Facebook ページにて開催された。優秀作品は 2014 年 9 月 27 日から 9 月 28 日に東京国際展示場で開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」のハワイ州観光局ブースにて展示された。

このように、インターネット上での仮想都市の創出や SNS 等、新たなメディア媒体を介した特撮ツーリズム対象地の PR が実践されてきたことを述べてきた。しかし、インターネットだけでなく、漫画やテレビ番組、映像ソフトと、誌面媒体や映像作品等を総合的に活用して、1 つの特撮ツーリズム対象地を PR した事例も存在した。キャラクターショップ運営会社であるベネリック株式会社と、レストラン運営会社の株式会社 EKC の共同企画で、円谷プロ監修のもと、2014 年 3 月 14 日より NOF 川崎東口ビル B1 階に開店した居酒屋「怪獣酒場」がこの事例に該当する。怪獣酒場は当初 1 年間の期間限定で開店したが、2015 年 4 月 15 日より常設店舗として再オープンした（註 2)。怪獣酒場は「永遠の少年たちのオアシス」というコンセプトのもと、ウルトラシリーズに登場した怪獣達を模した料理や、アルコール類のドリンクが提供される居酒屋として現在まで運営されてきた。

「怪獣酒場」は、店舗の運営やインターネットサイト[229)]の開設だけに留まらず、当店をモチーフにしたテレビアニメ作品の制作や、漫画作品の発信も行なわれており、複数のメディア媒体を介して「怪獣酒場」が PR されたことに特徴がある。テレビアニメでは、「怪獣酒場　カンパーイ！」と題した約 3 分間のアニメ作品が、2015 年 7 月 7 日から同年 9 月 29 日までの毎週火曜日夜 21 時 55 分より、TOKYO MX にて全 13 話が放映された。全 13 話の放映リストは下記表－32 の通りである。

表－32.「怪獣酒場　カンパーイ！」放映作品リスト（TOKYO MX）

「怪獣酒場　カンパーイ！」 各話タイトル	放映日（TOKYO MX）
第1話 「闇酒場」	2015年7月7日
第2話「白子、あります」	2015年7月14日
第3話「果てしなき愚痴」	2015年7月21日
第4話「偽装はふたたび」	2015年7月28日
第5話「狙われた領土」	2015年8月4日
第6話「小さな新人」	2015年8月11日
第7話「ゆるキャラ酒場」	2015年8月18日
第8話「小悪魔の誘惑」	2015年8月25日
第9話「接客する機械」	2015年9月1日
第10話「恐怖の催眠療法」	2015年9月8日
第11話「2020年への挑戦」	2015年9月15日
第12話「来たのは社長だ」	2015年9月22日
第13話「最強は誰のために」	2015年9月29日

さらに「怪獣酒場　カンパーイ！」はテレビ番組での発信のみならず、2016 年 1 月 29 日に上記作品全てを収録した DVD（註 3）も販売された。「怪獣酒場」は他にも、宴会・グルメ情報検索サイト「ぐるなび」[230] にて漫画作品「酩酊！怪獣酒場」が現在も連載されており、小学館より単行本も販売された。上述してきたように「怪獣酒場」は、インターネットや、テレビ、DVD、書籍と多数のメディアを通じて、店舗情報が発信されていた。

ここまで、情報メディアの発達に伴う SNS 等の新情報媒体、また DVD 等の映像記録媒体を活用して、特撮ツーリズム開催地を告知する事例について包括的に述べてきた。しかし、情報メディアの発達は、観光来訪者と観光地を繋ぐネットワークのみならず、観光地自体にも新たな影響を及ぼすようになっていった。つまり、コンピュータの援助によって、コンピュータの中に仮想的に作られたモデルを用いて 3 次元的な視聴覚体験を提供することを目的とした技術である、仮想現実感（Virtual Reality;VR）・拡張現実感（Augumented Reality;AR）が [231] 観光対象地にも導入されるようになった。AR とは現実世界の大まかな位置情報に合わせてモデルを表現する手法であり、実空間に関係づけてデジタル情報を付加して、実空間における活動を支援する技術のことである [231]。この技術の導入によって、スマートフォンや VR 専用ゴーグルの画面に映し出される光景にて、実在しない存在と、現在視界に確認出来る風景との融合が可能となった。

上記の AR、VR 技術の出現に伴い、やがて特撮ツーリズム開催地にも両技術が導入されるようになった。特撮ツーリズムにおいて、AR 技術が導入された事例には、福島県須賀川市にて 2016 年から毎年夏期恒例催事として開催されてきた「大冒険！ウルトラマン AR スタンプラリーin ふくしま」を挙げることが出来る。2016 年 7 月 14 日から同年 10 月 16 日まで福島県全域を対象に開催された当イベントは、専用アプリをスマートフォンにダウンロードすることによって参加できるものであった。福島県内全 40 カ所 15 コース（註 4）が設定され、各所を訪れてアプリを起動すると、カメラロールで撮影された原風景（ラリーポイント）に、3D や 2D で描かれたウルトラマンや怪獣の姿が合成されるというものであった。訪れたコースの数によって抽選で賞品を獲得できる特典も機会が設けられており、2016 年の初開催以降、「大冒険！ウルトラマン AR スタンプラリーin ふくしま」は、現在まで毎年継続して開催されるようになった。

また AR 技術の導入は国内だけに留まらず、2014 年にハワイ州で開催された「ウルトラハワイ」でも実践された。ウルトラハワイキャンペーン期間中（2014 年 6 月 19 日～同年 8 月 31 日）にハワイの対象スポットで AR フォトアプリ「junaio」を起動すると、ウルトラシリーズに登場した 6 種類のキャラクター（ウルトラマンギンガストリウム、ウルトラマンレオ、ウルトラマンゼロ、バルタン星人、ピグモン、カネゴン）と、AR でツーショット撮影ができる内容であった。

ここまで、特撮ツーリズム開催地における AR 技術の導入について述べてきたが、機械やコンピュータの中に作られたモデルを対象に、現実感のある人工的な空間を体感する技術の総称である VR（Virtual Reality）[231] 技術も特撮ツーリズム開催地に導入されるようになった。特撮ツーリズムにおける VR 技術は、VR 専用のゴーグルを着用して、ゴーグル内に投影される映像を視聴する「体験型アトラクション」の中で、その事例を確認することが出来た。これに該当するのは、2017 年 10 月 26 日から 11 月 3 日にかけて、六本木ヒルズヒルズアリーナの「VR 映画体験ブース」にて上映された、360 度特撮 VR 作品『ウルトラマンゼロ VR』、『ウルトラファイト VR』が挙げられる [232]。両 VR 作品は、VR 映像

と連動し振動するボディソニックチェア「TELPOD」に座って、1 作品 600 円で特撮 VR 作品を視聴することができる[199]という催事内容であった。

このように、特撮ツーリズム開催地では AR や VR といった新たな映像技術を導入し、これらを観光誘致資源として活用している事例を確認することが出来た。佐藤（2016）は AR や VR の観光応用について、両者は古都の復元・古代の生物の CG 復元のように時間を超越する表現や、異なる季節や夜間にライトアップする時間をずらした表現のように、目前の風景と仮想風景の共通点や違いを見出すことが楽しみを提供する性質を持っていることに触れた。その中で、ゲームや漫画のキャラクターを CG で登場させる聖地巡礼のように、作品の舞台を訪れる観光に AR を適用することの有効性を挙げている[231]。

上述してきた通り、この時代の特撮ツーリズムは、インターネット上での仮想都市や SNS を通じたイベント開催地の告知をはじめ、AR や VR といった新技術を導入した観光誘致を実践する等、次々に新たなメディアが観光現象に投与されたことで、著しい変化を遂げつつある時代であった。本研究では、これら複数の新情報メディアを介した観光情報の発信や、新たな映像技術の導入によって、観光者を誘致する観光形態を「⑥新メディア導入型形態」と定義した。

補註

註 1：「ウルトラポーズコンテスト」は、ハワイ州内にて、（ウルトラマンの光線技等を模した）ウルトラポーズもしくは、ウルトラマンのソフトビニール人形と一緒に撮影した写真をハワイ州観光局公式 Facebook ページに投稿して、ウルトラハワイに関連した商品を獲得できるという内容であった。

フォトコンテストの最優秀賞は「ウルトラハワイ特製ウルトラマンタロウフィギュア」が、優秀賞は「ウルトラハワイガイドブック（ウルトラマンタロウサイン入り）」が、参加賞は「ウルトラハワイポスター」がそれぞれ贈呈された。

註 2：「怪獣酒場」は、2014 年 3 月 14 日より 1 年間の期間限定で開店した後、2015 年 4 月 15 日より店名を「帰ってきた怪獣酒場」と題して再オープンした。しかし、2016 年 3 月 15 日より店名を「怪獣酒場」に戻し、現在に至っている。

また怪獣酒場は、これまで国内各地で 3 店舗が運営されてきた。2015 年 4 月 25 日から 2016 年 5 月 31 日まで、大阪府大阪市中央区難波千日前にある「なんばグランド花月」1 階に「元祖怪獣酒場」が開店した（同店は 2016 年 5 月 31 日に閉店）。さらに、2017 年 5 月 21 日には東京都港区新橋 2 丁目東口地下街 1 号にある「京急ショッピングプラザ・ウイング新橋」にて、「怪獣酒場新橋蒸留所」が開店した。「怪獣酒場新橋蒸留所」は、「怪獣酒場」川崎店と並んで現在も営業されている。

註 3：株式会社バンダイビジュアルより発売された DVD「怪獣酒場　カンパーイ！」には、アニメ全 13 話が収録されたほか、テレビ未放映の作品（第 14 話～第 26 話）も収録された。さらに、株式会社コミックス・ウェーブ・フィルムより DVD「Peeping Life×怪獣酒場　かいじゅうたちがいるところ」が販売され、怪獣酒場を舞台としたアニメ作品（全 10 話）が収録された。

註 4：2016 年に開催された「大冒険！ウルトラマン AR スタンプラリーin ふくしま」は、福島県内全 40 カ所のラリーポイントを含んだ 15 コースで開催された。福島県内 7 つのエリアに配分された、全 40 カ所 15 コースは下記表－33 の通りである。また、各コース内に

あるラリーポイントで登場するウルトラシリーズのキャラクター一覧も、下記表－34 に明示した。

表－33.「大冒険！ウルトラマン AR スタンプラリーin ふくしま」各エリア詳細一覧

エリア名	コース名	ラリーポイント設置数
①県北エリア	1.福島駅周辺(福島市)	9
	2.道の駅安達（二本松市）	
	3.安達太良SA（本宮市）	
②県中エリア	1.郡山駅周辺（郡山市）	11
	2.須賀川駅～松明通り（須賀川市）	
	3.福島空港周辺（須賀川市）	
	4.あぶくま洞（田村市）	
③県南エリア	1.小峰城～南湖公園（白河市）	3
④南会津エリア	1.大内宿(下郷町）	3
⑤会津エリア	1.鶴ヶ城（会津若松市）	7
	2.猪苗代市（猪苗代町）	
	3.道の駅みしま宿（三島町）	
⑥相双エリア	1.南相馬鹿島SA（南相馬市）	2
⑦いわきエリア	1.いわき市石炭・化石館ほるる（いわき市）	5
	2.小名浜港（いわき市）	

表－34.全 40 カ所（ラリーポイント）と登場するキャラクター一覧

エリア名	コース名	ラリーポイント	登場ヒーロー・怪獣・メカニック
①県北エリア	1.福島駅周辺(福島市)	福島駅西口	ウルトラマンギンガ
		こむこむ1F	ウルトラマンコスモス（ルナモード）
		こむこむ4F	ダダ
	2.道の駅安達（二本松市）	道の駅安達　上り線	ウルトラマンネクサス（アンファンス）
		道の駅安達　上り線	メフィラス星人
		道の駅安達　下り線	ケムール人
	3.安達太良SA（本宮市）	安達太良SA　上下線	ウルトラセブン
		安達太良SA　上り線	ポインター
		安達太良SA　下り線	シャーロック
②県中エリア	1.郡山駅周辺（郡山市）	郡山駅西口	ウルトラマンエックス
		郡山駅西口	サイバーゴモラ
		郡山駅西口	ウルトラマンエックス（カラータイマー）
	2.須賀川駅～松明通り（須賀川市）	須賀川駅	ウルトラマン
		須賀川駅	ウルトラマン（登場時）
		円谷英二記念碑	円谷英二監督とウルトラマン
		ムシテックワールド	ゼットン
	3.福島空港周辺（須賀川市）	福島空港	ウルトラホーク1号
		福島空港	ゼットン
	4.あぶくま洞（田村市）	あぶくま洞	レッドキング
		あぶくま洞	ウルトラマンガイア（V2）
③県南エリア	1.小峰城～南湖公園（白河市）	小峰城	ゴモラ
		小峰城	ゴモラ(怪獣娘)
		南湖公園	ウルトラマンキング
④南会津エリア	1.大内宿(下郷町）	大内宿	ウルトラマンジャック
		大内宿	ピグモン
		大内宿	ジャミラ
⑤会津エリア	1.鶴ヶ城（会津若松市）	鶴ヶ城	ウルトラマンゼロ
		鶴ヶ城	ウルトラマンゼロ
		鶴ヶ城	バルタン星人
	2.猪苗代市（猪苗代町）	長浜	ベムスター（怪獣娘）
		志田浜	ウルトラマンビクトリーとエレキング
	3.道の駅みしま宿（三島町）	道の駅みしま宿	ウルトラマンタロウ
		道の駅みしま宿	バードン
⑥相双エリア	1.南相馬鹿島SA（南相馬市）	セデッテかしま	ウルトラマンメビウス
		セデッテかしま	ザムシャー
⑦いわきエリア	1.いわき市石炭・化石館ほるる（いわき市）	ほるる	シーボーズ
		ほるる	ウルトラマンティガ（石化）
		ほるる	ピーパー
	2.小名浜港（いわき市）	いわき・ら・ミュウ（アクアマリンパーク内）	キングジョー
		いわき・ら・ミュウ（アクアマリンパーク内）	ウルトラの父とウルトラの母

第 7 章　特撮ツーリズム　全 19 行動特性

ここまで、我が国で発信された特撮映像作品の歴史は 70 年に及んでおり、また 8 つの時代に大別されることを述べてきた。さらに、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組等、これらアナログ特撮を誘致資源とした特撮ツーリズムも、60 年以上の歴史を有しており、その歴史の中で 6 つの観光形態が創出されてきたことが判明した。

上述してきた 2 つの歴史を比較すると、『ゴジラ（1954）』のような特撮怪獣映画や、『ウルトラマン（1966）』、『仮面ライダー（1971）』といった特撮ヒーロー番組等、各映像制作会社が発信した特撮作品の爆発的なヒットは、「第一次怪獣ブーム」や「変身ブーム」等、8 つの時代を築き上げるが、特撮ツーリズムの歴史もまた、各特撮作品のヒットに応じて「単発開催型形態」や「常設施設型形態」等、6 つの観光形態をそれぞれの時代に生み出し、現在まで継続させてきた。特撮作品の歴史は、過去に制作された特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組が、タイトルを変えつつシリーズとして展開していき、幼年から青年、大人へと視聴層が拡大していったことに特徴があった。対して特撮ツーリズムの歴史は、先述した特撮作品のシリーズ化に並行して、各々の時代に新たな観光形態を生み出し、どの観光形態も消失することなく現在まで続いていたことに特徴があった。つまり、特撮映像作品と特撮ツーリズム、2 つの歴史の共通点は、各々の時代に登場した作品や観光形態が過去の遺産に留まらず、現在まで息づいて持続している点にあった。

しかし、特撮作品と特撮ツーリズム、2 つの歴史が現在まで持続した背景には、それぞれの時代を支えた「人」の存在がある。特撮作品を観賞する視聴者がいて、またこれを契機に、視聴者が観光者となって、特撮ツーリズム開催地へと訪れる現象が発生する。開催地へと訪れた観光者は、それぞれの目的を達成するために、開催地（ホスト）側が用意したプログラムを基に、自らの欲求を満たしていくことが考えられる。

それでは、上述したような「人」の行動が特撮ツーリズムの歴史を支えていたとするならば、彼らは特撮ツーリズム開催地にて何を目的に来訪し、どのような行動を行なっていたのか。また、アニメやフィルムといった類似性のある観光現象に対して、どんな特異性があったのか、未だ不明瞭な点が残る。

特撮ツーリズムが、アニメやフィルムといった他のコンテンツツーリズムと比較して独特な点の 1 つには、特撮映像作品の撮影で使用された着ぐるみやミニチュアといった「物品」との接触にある。つまり、アナログ特撮作品に登場した着ぐるみが観光者の目前に現れて、握手や写真撮影会を行なった事例が国内各地で複数確認できた他、映像作品中に登場した着ぐるみやミニチュア等の「物品」が展示されるイベントも併せて行なわれてきた。展示イベントでは、特撮映像作品の撮影で使用された現物を、観光者が自分の好きな角度から観賞できる他、写真撮影が可能であることにも特徴があった。

つまり、特撮ツーリズムにおける観光者の行動には、他のツーリズムと比較して固有の特徴があることが覗える。そこで、「特撮ツーリズム」の開催地に訪れる観光者が、開催地（ホスト）側から発信される情報を基に、何を観光資源として認識し、どのような行動パターンを行なうのかについて類型化する作業を実践した。

なぜ、開催地（ホスト）側から発信される情報を対象にしたかについては、特撮ツーリズムで見られる観光者（ゲスト側）の行動パターンとは、その人その人がパターンをつくるのではなく、それを予想してあてがう側（ホスト側）が決定することが考えられるからである。そこで今回は、ホスト側から発信されている情報に対して、観光者側が行うパタ

ーンを類型化することにした。

また先述した様に、特撮ツーリズム開催地は、アナログ特撮の制作で使用された、着ぐるみやミニチュアといった「物品」を開催地に導入して、非日常的（Virtual）な空間を創造し、そこに訪れた観光者が自身の目的を実現（Actualize）することに特徴がある。よって、特撮ツーリズム観光地でしか見られない、観光者の多様な目的に沿った行動パターンを、「行動特性」として定義した。

行動特性の類型化には、資料調査及び現地調査を実践して事例の収集を行なった後、「①各開催地が含んでいた、全アトラクションの確認」、「②各アトラクションが観光者に対して誘発する行動特性の抽出」、「③行動特性の定義」から成る、3 つの過程による検証から、観光者の行動特性を抽出する作業を行なった。

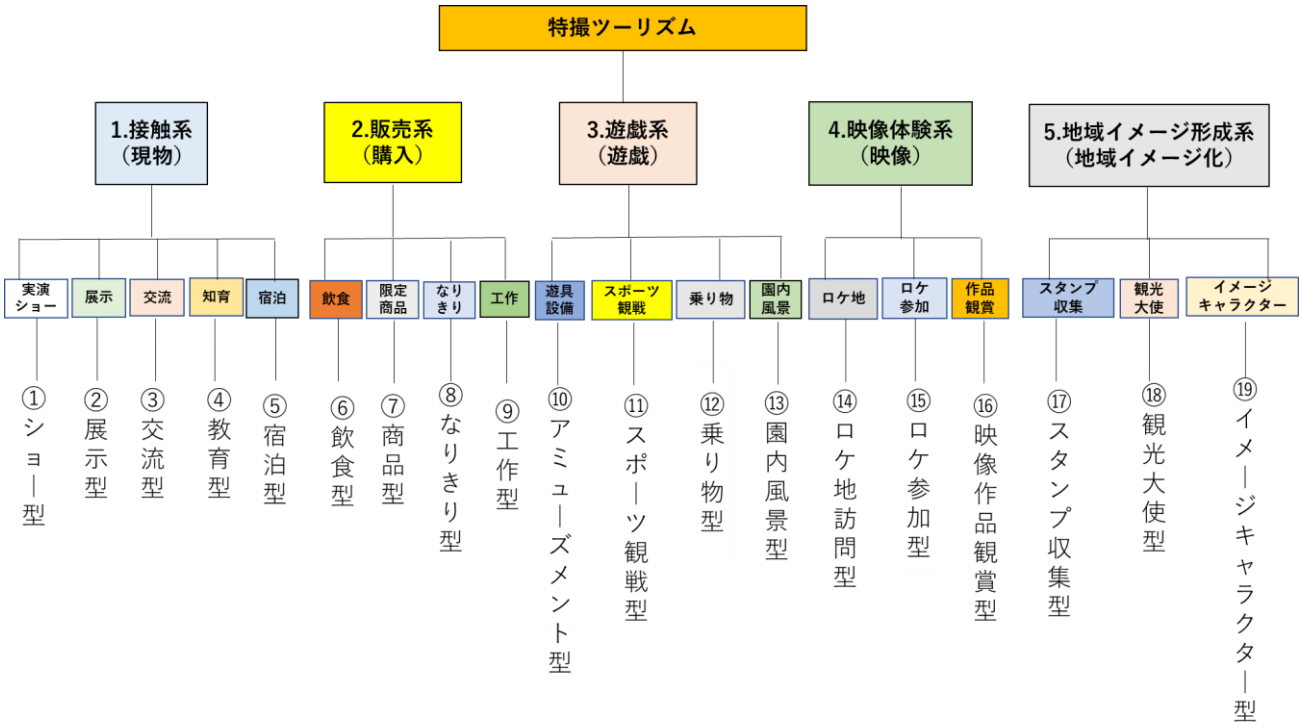
はじめに、「①各開催地が含んでいた、全アトラクションの確認」を行なった。この作業では、特撮ツーリズム開催地である各イベント会場や施設にて、どんなアトラクション（ショー、展示、物販等）が、開催地に導入されていたのかを全てリストアップした。例えば、資料調査において、過去に開催された特撮イベントについて言及があった場合、写真や文章で掲載されたアトラクションを全て抽出した。つまり、ショー、展示会、物販、遊具、サイン会、パーティ、お茶会等、開催地側が観光者に対して提供するアトラクションについて、文献や Web サイト、映像ソフトから確認できるものは全て抽出した。また、現地調査についても、対象地内を巡検した上で、当地にて確認できるアトラクションに参加、あるいは確認する作業を通じて記録を行なった。

続いて、「②各アトラクションが観光者に対して誘発される行動パターンの抽出」では、各開催地がどんなアトラクションを含んでいたかをリストアップした後に、各アトラクションが観光者に向けて誘発する行動特性を抽出する作業を行なった。つまり、特撮ツーリズム開催地（ホスト）側が、観光者（ゲスト）側に向けて設置しているアトラクションに対し、観光者が「なにを目的に特撮ツーリズム開催地へと訪れているのか」の視点から、考え得るものを全て抽出した。例えば、特撮ツーリズム開催地にてイベント「ウルトラマンショー」を実施した事例を確認した際、そのイベント内容が着ぐるみの実演ショー、握手会で構成されていた場合、訪れた観光者がこれらの内容によって誘発される行動パターンの抽出を行なった。つまり、このイベント内容からはショーを見る、着ぐるみと握手するから成る 2 つの行動パターンが抽出できる。他の特撮ツーリズム開催事例においても、同様の過程で行動パターンの抽出を行なったが、抽出の際は、資料あるいは現地調査によって確認することができる最低限の行動パターンのみを抽出した。つまり、物に触れる、人と話す、商品を買う、映画を観る等、可能な限り細分化した。

最後に、「③行動特性の定義」では、特撮ツーリズム開催地の各事例から抽出できた観光者の行動パターンに名称をつけ、その内容を明確化することによる「行動特性」としての定義を行なった。その際、1 つの開催地に導入されたアトラクションより抽出できた行動パターンは、他の開催地でも確認可能であるかを検証した。この背景には、各開催地の事例から抽出できた行動パターンが、1 つの事例のみで確認できただけでは、一方的かつ公平性に欠けるものと判断したためである。続いて、同じ行動パターンが 2 カ所以上の開催地にて確認できた場合、これらのパターンを総合し「特性」として纏め、象徴する名称を割り当てることで、1 つの行動特性として定義した。

上記 3 段階による調査方法によって、特撮ツーリズムにおける観光者の行動特性の類型

化を行なった。その結果、特撮ツーリズムでの観光者の行動特性は、機能ごとに全 19 種に類型化できるものであった。さらに、これら 19 種の行動特性は、個々に独立した存在であるのか、それとも共通する要素によって何らかの関係性があるのか、「行動特性同士で共通する要素とはなにか」に焦点を当てたことによる、各行動特性同士の比較を行った。ここで提唱する「行動特性同士で共通する要素」とは即ち、「属性」のことである。共通する属性を比較によって見出す調査を行なったところ、19 種の行動特性は、「現物」、「購入」、「遊戯」、「映像」、「地域イメージ化」の 5 つの属性に包括できるものであった。5 つの属性に各行動特性が包括できるように固有の名称をつけ、行動特性を属性ごとに明瞭に配置したところ、下記の図－11 のように体系化できた。



図－11.特撮ツーリズム　全 19 の行動特性と 5 つの属性

特撮ツーリズム全 19 種類の行動特性を包括する 5 つの属性とは、観光者が特撮映像作品の出演者と会う他、撮影で実際に使用された着ぐるみやミニチュアといった物品を、自ら好きな角度から観賞する等、「現物」と直接接触できる要素が共通した『1.接触系』、続いて、特撮ツーリズム開催地にて販売されている商品を「購入」する要素が共通した『2.販売系』、3 つ目に、特撮映像作品と提携した遊園地やスポーツ会場にて、遊具への搭乗や、スポーツ試合観戦等を包括した「遊戯」を行う要素が共通した『3.遊戯系』、4 つ目に、特撮映像作品が撮影されたロケ地訪問や、作品を上映する映画祭の参加等、「映像」作品を実体験する要素が共通した『4.映像体験系』、特撮映像作品に登場する出演者が、観光地を PR することによって、特定の「地域イメージ」が観光者に対して形成される要素が共通した『5.地域イメージ形成系』に包括することができた。

さらに、これら全 19 種の行動特性は、特撮ツーリズムの調査対象資料（「1.文献」、「1.文献（新聞・会報誌・パンフレット・その他）」、「2.Web サイト」、「3.映像ソフト」）や、

現地調査対象地にて振り分けると、表－35 から表－39 の結果を得ることができた。

表－35.文献リスト（全 181 冊）

No.	文献タイトル	ページ	確認出来る行動特性
1	ウルトラマンベストブック	27pp	②
2	ウルトラセブンベストブック	103,107pp	①,②,⑩
3	ウルトラマン画報　上巻	27pp	①
4	ウルトラマン画報　下巻	198pp	①,②
5	円谷プロ画報　第1巻	53pp	⑩
6	ゴジラ画報　第3巻	200,231pp	①,⑩
7	～輝ける怪獣ブームの軌跡～甦れ！ウルトラ黄金時代　Q　マン　セブン！！	102-104pp	②
8	仮面ライダーから牙狼へ　渡辺亮徳・日本キャラクタービジネスを築き上げた男	219,220,229,230,306-308,318pp	①,②
9	ウルトラマンの飛翔	197-204pp	①
10	昭和特撮文化概論　ヒーローたちの戦いは報われたか	144,145,184,187,190-201pp	①
11	スーパー戦隊の常識　ド派手に行くぜ！　レジェンド戦隊篇	160-161pp	①,③
12	円谷プロ図録 ウルトラマンメカニック編	130-147pp	①,②,⑩,⑬
13	円谷プロ全怪獣図鑑	44,229-233,282,366,390,391pp	①
14	別冊宝島869　僕たちの好きなウルトラマン③　初代ウルトラマン＋ウルトラQ徹底解析編	20pp	①
15	別冊宝島1456　僕たちの好きなウルトラマンメビウス　全50話完全ストーリー紹介	125pp	①,⑦
16	別冊宝島1524　僕たちの好きなウルトラマン〔ウルトラマン・シリーズ誕生編〕	5,64,65,105pp	①,②
17	怪獣酒場大図鑑	1,4-95pp	②,③,⑥,⑦
18	ウルトラマン Waker	6-11,28,29,34-39,48-51,70-75,80-87,94-109,111pp	①-③,⑥,⑦,⑩,⑪,⑬,⑭,⑰,⑲
19	学年別学習雑誌で見る昭和子どもクロニクル1　ウルトラ博物館	136pp	①,②
20	学年誌ウルトラ伝説	100-101pp	①,③,⑦
21	帰ってきたウルトラマン　完全復刻版	168pp	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬
22	ウルトラマンA　完全復刻版	108pp	①-③,⑦,⑩
23	ウルトラマンタロウ　完全復刻版	266,285pp	①,②,⑦
24	ザ・ウルトラマン	155pp	①-④,⑦,⑯
25	セブン3　セブンきゅ～ぶ　(1)	1-180,182,183pp	②,⑦,⑭
26	セブン3　セブンきゅ～ぶ　(2)	5-190,192,193pp	②,⑭
27	セブン3　セブンきゅ～ぶ　(3)	5-201pp	②,⑥
28	ULTRAMAN　(7)	192,193pp	③,⑦
29	ULTRAMAN　(10)	192,193pp	③,⑦
30	酩酊!怪獣酒場（1）	1-144,148-151pp	②,⑥
31	酩酊!怪獣酒場（2）	1-144,149pp	②,⑥
32	酩酊!怪獣酒場（3）	1-168pp	②,③,⑥,⑦
33	酩酊!怪獣酒場（4）	1-208pp	該当無し
34	酩酊!怪獣酒場2nd(1)	3-150,156,157pp	②,⑥
35	酩酊!怪獣酒場2nd(2)	1-158pp	該当無し
36	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（2）	111-124pp	②,③,⑥
37	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（3）	31,33-41,73-80,83-91,103-110,149pp	①-③,⑥,⑭
38	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（4）	156-158pp	⑭
39	新仮面ライダーSPIRITS 15	166-193pp	②
40	pen with New Attitude No.363 2014	48,49,88,89pp	②,⑦,⑩,⑭
41	宇宙船 1987 6月号 Vol.36	3-7,31,44-51pp	①,⑦,⑯
42	宇宙船 2003 9月号 Vol.108	18,29,76,77,90,116,117pp	①-③,⑦,⑪,⑮
43	HYPER　HOBBY　10月号	8,9,35,110,111pp	①,②,⑦
44	永久保存版　HYPER　HOBBY　7月号　SPECIAL VOLUME14	14,15pp	①,③,⑦
45	永久保存版　HYPER　HOBBY　10月号　SPECIAL VOLUME26	13pp	①,②,⑦
46	HYPER　HOBBY　7月号　2013	17,18,20,21,118,147,156,157pp	①-③,⑦,⑩,⑫,⑯
47	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.1	5-9,13,19-25,43,70,73,86-92,119,120,158pp	①,②,⑤-⑦,⑭,⑰-⑲
48	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.3	19,44,64-67,97,114,123-125,141pp	①,②,⑥,⑦,⑯
49	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.4	77,109,110,119,128,129,156pp	①-③,⑦
50	キャラクターランドSPECIAL ウルトラマンオーブ THE ORIGIN SAGA	81pp	①,②,⑥,⑦,⑰
51	HYPER MOOK 仮面ライダーアマゾンズ　コンプリートガイド　THE　公式！	91pp	①,③
52	ガンダムエース11月号増刊　Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ No.004	21,69,148pp	①,②,⑦
53	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.008 SEPTEMBER 2003	67,166,167,175pp	①-③,⑦,⑩,⑰
54	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ 9月号増刊　爆竜戦隊アバレンジャー　DELUXE ABARE BOOK	102pp	①
55	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.012 2004　5月号	7,39,68,69,124,125pp	①-③,⑩,⑫,⑯
56	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.016 2005　1月号	22,23,55,104,105,122,123pp	①-③,⑦,⑯
57	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.019　2005　6月号	36,80,108-110,121,148-151pp	①-③,⑦
58	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ　2005年7月号別冊付録〔ウルトラマン〕MAX REPORT	19pp	①,②
59	フィギュア王　No.68	14,15,44,45,67pp	①,②,⑦,⑩,⑪,⑮
60	フィギュア王　No.69	18,19,27-30,32,33,43-45pp	①-③,⑦,⑩,⑪,⑯

61	フィギュア王　No.81	55,130,142,143pp	①,②,③,⑦
62	フィギュア王　No.92	52-53,55,58pp	①,③,⑦,⑯
63	フィギュア王　No.98	45,49,94-97,104,105pp	①-③,⑦
64	フィギュア王　No.103	25,31,36-41,57-59,61,63,92,93,116,117pp	①-③,⑦,⑪,⑫,⑯,⑰
65	フィギュア王　No.111	36-51,67,83,130,131pp	①,②,⑦,⑰
66	フィギュア王　No.118	160pp	①,②,⑦,⑯
67	フィギュア王　プレミアムシリーズ　ウルトラソフビ超図鑑	68,74,79,89,95,106,111,116,119,121,125,126,132,136,137,143,145pp	⑦
68	HOBBY JAPAN MOOK　シン・ゴジラ　GENERATION	74-79,81,85,86,97-111pp	①,②,⑥-⑧,⑩,⑫,⑬,⑭,⑯
69	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.1	39,108-111,114-119pp	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬,⑯
70	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.2	61-63,110,111,116-119pp	①-③,⑥-⑧,⑩,⑰
71	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.3	102,103,112,113,117-119pp	①-③,⑦,⑩,⑫,⑰
72	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.4	100,102,103,114-119pp	①-③,⑦,⑩,⑬
73	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.5	62,63,86,106-109pp	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬
74	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.6	60,61,82-85,112,113pp	①-③,⑥,⑦,⑨,⑩
75	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.7	46,47,49,50pp	①-③,⑥,⑦,⑩
76	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.8	98,99,106-108pp	①-③,⑦
77	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.9	62,63,67,118,119pp	①-③,⑥,⑦,⑩
78	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.10	30-33,39-47,102,103,118,119pp	①-③,⑤-⑦,⑨,⑩
79	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.11	23,30,36,37,98,99,104,105,114-118pp	①-③,⑦,⑨,⑩,⑲
80	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.12	104,105,126,127pp	①-③,⑥,⑦
81	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.13	6,7,106-108,122-125pp	①-③,⑥,⑦,⑩
82	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.14	5,28,29,86,87,122,123,126pp	①-③,⑥-⑧,⑩
83	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.1	11-15,34-37,66,78,79,96,97	①-③,⑤,⑦,⑰
84	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.2	11,21-23,66,70-72,74,75pp	①-③,⑤-⑦,⑩,⑭
85	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.3	18-21,24,25,51-53,65,74,75,84-89,96,97pp	①-③,⑦,⑩,⑬
86	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.4	22,84-87,94,95,106pp	①-③,⑦,⑮
87	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.5	17-21,74,76,84,85pp	①,③,⑭,⑮
88	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.1	16,17pp	②
89	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.2	20,21pp	①-③,⑥,⑦,⑫
90	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.5	12pp	①,③,⑦
91	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.8	19,28,29pp	①,③,⑦
92	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.10	22,23pp	①-③,⑦
93	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.11	22,23,25pp	①,③,⑦,⑬
94	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.1　仮面ライダー1号・2号（前編）	25pp	③,⑦
95	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.2　仮面ライダー1号・2号（後編）	21pp	③,⑥,⑦
96	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.3　仮面ライダーV3	17,33pp	①,③,⑦
97	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.5　仮面ライダーアマゾン	13,31pp	①,③
98	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.9　仮面ライダーＺＸ	4,5,30,31pp	①,⑯
99	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.1　仮面ライダークウガ	33p	①
100	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.4　仮面ライダー555	33p	①
101	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.8　仮面ライダー電王	33p	①
102	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.15　仮面ライダー鎧武	32-33p	①
103	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 20世紀　1975　秘密戦隊ゴレンジャー	19pp	①,⑦
104	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.1　百獣戦隊ガオレンジャー	15pp	①
105	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.2　忍風戦隊ハリケンジャー	19pp	①
106	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.4　特捜戦隊デカレンジャー	17,32pp	①
107	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.5　魔法戦隊マジレンジャー	17,33pp	①
108	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.6　轟轟戦隊ボウケンジャー	17pp	①
109	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.7　獣拳戦隊ゲキレンジャー	15,32pp	①,③
110	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.8　炎神戦隊ゴーオンジャー	30pp	①-③
111	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.9　侍戦隊シンケンジャー	17pp	①
112	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.10　天装戦隊ゴセイジャー	17pp	①
113	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.11　海賊戦隊ゴーカイジャー	15pp	①
114	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.12　海賊戦隊ゴーバスターズ	17pp	①
115	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.13　獣電戦隊キョウリュウジャー	19pp	①
116	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.14　烈車戦隊トッキュウジャー	17pp	①
117	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.15　手裏剣戦隊ニンニンジャー	17pp	①
118	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.16　動物戦隊ジュウオウジャー	17pp	①
119	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.17　宇宙戦隊キュウレンジャー	32pp	①
120	大人のウルトラマン大図鑑	6,7pp	①

121	大人のウルトラセブン大図鑑	86-89pp	①,③,⑦
122	大人のウルトラ怪獣大図鑑	83-87pp	②
123	大人のウルトラマンシリーズ大図鑑	28,118,119,126,127pp	①,②,⑭
124	CIRCUS別冊　語れ！ウルトラマン【永久保存版】	22-25,111-119pp	①,②,③,⑥,⑦,⑩,⑬,⑲
125	CIRCUS別冊　語れ！ウルトラマン　兄弟激闘編【永久保存版】	87,98-101pp	①,⑭
126	語れ！ウルトラ怪獣【永久保存版】	90,109pp	②,⑥,⑦
127	語れ！仮面ライダー【永久保存版】	28-30pp	①
128	特撮ゼロ Vol.01　創刊・冬の号	12,13,67pp	①,③,⑥
129	特撮ゼロ Vol.02　春の号	44,63-75pp	①,③,⑦
130	特撮ゼロ Vol.04　冬の号	10,11,17,19,23,63,64,70,71,73,75pp	①,③,⑦
131	特撮ゼロ Vol.05　夏の号	42-45,80,81,86,87pp	①,⑫,⑭
132	特撮ゼロ Vol.06　冬の号	6,7,9-19,97,98pp	①-③,⑥,⑦,⑨,⑩,⑬,⑯
133	テレビマガジン特別編集　平成ウルトラ映画全集	75pp	①
134	テレビマガジン特別編集　ウルトラマンコスモス	108,109pp	①,⑪
135	講談社ヒットブックス　テレビマガジン特別編集スペシャル　ウルトラマン　空想特撮シリーズ	2pp	①
136	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼアス超全集	44,58pp	①,②,⑦,⑭
137	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼアス2超全集	61pp	⑦
138	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス超全集	75pp	①,③
139	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス外伝　超銀河大戦　戦え！ウルトラ兄弟	18,19pp	①
140	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラギャラクシー大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY超全集	35-37pp	①
141	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス外伝　アーマードダークネス	9,10,12,13pp	①
142	てれびくんデラックス愛蔵版　大怪獣バトルウルトラ銀河伝説超全集	81pp	①,③
143	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼロ 超決戦！ベリアル銀河帝国超全集	79pp	①
144	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンサーガ超全集	88pp	①,③,⑯
145	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンギンガS超全集	66-69pp	①-③,⑫
146	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンX超全集	68-71pp	①,②,⑪
147	てれびくんデラックス愛蔵版 ウルトラマンオーブ超全集	134-136pp	①,③
148	てれびくんデラックス愛蔵版 ウルトラマン全戦士超ファイル〔増補改訂版〕	88,89pp	①
149	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンジード超全集	79,100-104pp	①,③,⑩
150	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダー555超全集　上巻	87pp	①,⑮
151	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダー鎧武超全集	128,130pp	①
152	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダードライブ超全集	98pp	①
153	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダーゴースト超全集	98pp	①
154	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダーエグゼイド超全集	98pp	①
155	てれびくんデラックス愛蔵版　百獣戦隊ガオレンジャー超全集	77pp	①,⑦,⑫
156	てれびくんデラックス愛蔵版　魔法戦隊マジレンジャー超全集　上巻	96pp	①
157	てれびくんデラックス愛蔵版　天装戦隊ゴセイジャー超全集	96pp	①
158	てれびくんデラックス愛蔵版　海賊戦隊ゴーカイジャー超全集	112,114pp	①
159	てれびくんデラックス愛蔵版　獣電戦隊キョウリュウジャー超全集	96,98pp	①
160	てれびくんデラックス愛蔵版　烈車戦隊トッキュウジャー超全集	96-98pp	①,⑭
161	てれびくんデラックス愛蔵版　手裏剣戦隊ニンニンジャー超全集	96,98pp	①
162	てれびくんデラックス愛蔵版　動物戦隊ジュウオウジャー超全集	96-98pp	①,⑭
163	別冊映画秘宝　新世紀特撮映画読本	121-126pp	⑭
164	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.1	20-23,97-103,120-129,166-171,226,227pp	①-③,⑤-⑦,⑩,⑰,⑱
165	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.2	28,30,31,176,203,205-208,231-235pp	①,③,⑦
166	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.3	18,83-86,160,161,164,165,172-174pp	①-③,⑦,⑮,⑯,⑰,⑲
167	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.4	26,27,146-151,176-178,219-221pp	①-③,⑦,⑩
168	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.5	32,250-252pp	①
169	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.6	190-193pp	①
170	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.7	6-7,16-20,48-54,56-57,220-223pp	①-③,⑦
171	劇場版仮面ライダー555　公式アルバム	66,67,72,73,78pp	①,⑦,⑮
172	総天然色　ウルトラQ　公式ガイドブック	64,65,139-144	①,②,⑥,⑯
173	ゴジラ東宝チャンピオンまつりパーフェクション	164-169pp	①-③,⑭
174	ハワイ州観光局公式トラベルガイド　ウルトラハワイ	2-66,68-111pp	①,②,④,⑦,⑯,⑰,⑲
175	ウルトラ怪獣　ビジュアルブック　ぴあMOOK	72-77pp	②,⑥,⑭
176	キャラクター大全　総天然色ウルトラQ　上巻	74,75pp	①
177	講談社MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラマン全史　1963-2013	9,13,17pp	①,③,⑦
178	講談社MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラ怪獣全史	11,55,59,67,80,81pp	①-③,⑦
179	オールザット　ウルトラマンタロウ	76,77,178,179pp	①,②
180	電撃ムックシリーズ　後楽園ゆうえんち野外劇場　公式ガイド　スーパーヒーローショー大全集　完全保存版	4-78,80-89,92,93,95-114pp	①-③,⑦,⑭
181	アニメ聖地88 Walker	68,86-88pp	②,⑩,⑫

表－36.文献リスト（新聞・会報誌・パンフレット・その他）（全 80 冊）

No.	文献タイトル	ジャンル	ページ	確認出来る行動特性
1	大ゴジラ特撮展	パンフレット	4,25-29,34pp	②,⑩,⑭
2	大ゴジラ新聞	新聞	1-4面	②,⑦
3	夕刊フジ特別版　夕刊ゴジラ	新聞	12,13,18,22面	②,⑦,⑭
4	スポーツ報知3D　ウルトラマンシリーズ45周年特別号	新聞	28,30面	①-③,⑦,⑧,⑩
5	スポーツ報知　ウルトラセブン特別号	新聞	2,31面	①-③,⑥
6	スポーツ報知　円谷プロ50周年特別号	新聞	25面	①,③
7	スポーツ報知　ウルトラマン特別号	新聞	18-19,21-23面	①-③,⑥,⑦,⑧,⑰
8	スポーツ報知　ウルトラセブン特別号	新聞	8-15面	①-③,⑥,⑦,⑧,⑭
9	ウルトラマンティガ＆ウルトラマンダイナ　ウルトラマンガイアー超時空の大決戦－	パンフレット	20,21pp	①,⑥,⑦,⑩
10	劇場用最新作ウルトラマンティガ　THE FINAL ODYSSEY	パンフレット	24pp	①,⑥,⑦,⑩
11	劇場版ウルトラマンコスモス2 THE BLUE PLANET	パンフレット	1pp	該当無し
12	ウルトラマンシリーズ誕生40周年記念作品 ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟	パンフレット	13,14pp	⑭
13	てれびくん特別編集　大決戦！超ウルトラ8兄弟	パンフレット	15,16pp	⑭
14	ウルトラマンゼロ THE MOVIE　超決戦！ベリアル銀河帝国	パンフレット	13pp	①,⑭
15	ウルトラマンギンガ劇場スペシャル　ウルトラ怪獣☆ヒーロー大決戦！	パンフレット	12pp	⑭
16	ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！	パンフレット	1－25pp	①
17	ウルトラマンシンフォニーコンサート2013　with東京フィルハーモニー交響楽団	パンフレット	1－10pp	①
18	ウルトラマンで科学する！－EXHIBITION ON SCIENCE OF ULTRAMAN－	パンフレット	15,18,19pp	②,⑩
19	ウルトラマンシンフォニーコンサート2015	パンフレット	1－10pp	①,⑦
20	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016	パンフレット	4－40pp	①
21	ZANDRIAS　Let's call ZANDRIAS back to Earth!	パンフレット	7-13pp	①,③
22	TFC　35	会報誌	1,3-8,10-14pp	①-⑤,⑦,⑧,⑮-⑰
23	TFC　36	会報誌	3-5,7pp	①-③,⑮
24	TFC　38	会報誌	1-8,11,14pp	①-③,⑤,⑦,⑧,⑩,⑪,⑮,⑰
25	TFC　39	会報誌	4,6,8,11,14pp	①－③,⑤,⑦,⑧,⑩,⑪,⑰
26	TFC　40	会報誌	3,4,6pp	①-③,⑦,⑧,⑩
27	TFC　41	会報誌	3-5,7,9-11,13,14pp	①-④,⑥,⑦
28	TFC　42	会報誌	2,5-8,11,13,14pp	①－③,⑥-⑧,⑮
29	TFC　43	会報誌	9,11,14pp	①-③,⑦
30	TFC　44	会報誌	5-8,13-15,18pp	①－③,⑥,⑦,⑪,⑫,⑮
31	史上最大の決戦　ヒーローフェスティバル'96	パンフレット	11,12pp	⑰
32	ウルトラマンフェスティバル	パンフレット	12pp	⑰
33	ウルトラマンフェスティバル2000	パンフレット	11,12,22pp	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬,⑰
34	ウルトラマンフェスティバル2001	パンフレット	11,12pp	⑰
35	ウルトラマンフェスティバル2002	パンフレット	9,10pp	⑰
36	ウルトラマンフェスティバル2003	パンフレット	7-13pp	①,⑰
37	ウルトラマンフェスティバル2004	パンフレット	1,8-11,14,17pp	①-③,⑦-⑩,⑰
38	ウルトラマンフェスティバル2005	パンフレット	9,10,17,18pp	①,②,⑩
39	ウルトラマンフェスティバル2006	パンフレット	5,6,8-16pp	①,②,⑦,⑩,⑰
40	ウルトラマンフェスティバル2007	パンフレット	9,10,12,15-17pp	①,②,⑦,⑩,⑰
41	ウルトラマンフェスティバル2008	パンフレット	3-6,8-10,15-18pp	①,②,④,⑦,⑩,⑰
42	ウルトラマンフェスティバル2009	パンフレット	1,2,5-7,9,10,12-16pp	①,②,④,⑦,⑨,⑩
43	ウルトラマンフェスティバル2010	パンフレット	5-7,9,10,12,15,16pp	①,②,⑦,⑧,⑩,⑰
44	ウルトラマンフェスティバル2011	パンフレット	5-8pp	①
45	ウルトラマンフェスティバル2012	パンフレット	7,8pp	①
46	ウルトラマンフェスティバル2012 ウルトラセブン㊙データファイル	パンフレット	2-9pp	②,⑩,⑰
47	ウルトラマンフェスティバル2013	パンフレット	7,8,9pp	①-③,⑥,⑦,⑨,⑩
48	ウルトラマンフェスティバル2015	パンフレット	3,4,12-14,20,21pp	①-③,⑥,⑦-⑩,⑰
49	ウルトラマンフェスティバル2016	パンフレット	3,8,9,12,13,19pp	①-③,⑥,⑦-⑨,⑩,⑰
50	ウルトラマンフェスティバル2017	パンフレット	8-11pp	①-③,⑥,⑦-⑨,⑩,⑰
51	ウルトラヒーローズEXPO2017　ニューイヤーフェスティバルIN東京ドームシティ　EXPOBOOK	パンフレット	1-13pp	①-③,⑥,⑦-⑨,⑩,⑰
52	ウルトラマンの日 in 杉並公会堂	パンフレット	1-14pp	①-③
53	仮面ライダーx仮面ライダー　W＆ディケイド　MOVIE大戦2010	パンフレット	28pp	①,②,⑩
54	仮面ライダーxスーパー戦隊　スーパーヒーロー大戦	パンフレット	40,45pp	①,⑦
55	仮面ライダーx仮面ライダー　ウィザード＆フォーゼ　MOVIE大戦アルティメイタム	パンフレット	36,44pp	①,⑦,⑩
56	特命戦隊ゴーバスターズVS海賊戦隊ゴーカイジャー　THE MOVIE	パンフレット	26pp	①
57	劇場版仮面ライダーウィザード IN MAGIC LAND	パンフレット	12-14pp	①,②,⑦,⑩
58	仮面ライダーx仮面ライダー　鎧武＆ウィザード　天下分け目の戦国MOVIE大合戦	パンフレット	37,40pp	①,⑦
59	獣電戦隊キョウリュウジャーVSゴーバスターズ　恐竜大決戦　さらば永遠の友よ	パンフレット	28,29pp	①,⑦,⑩
60	平成ライダー対昭和ライダー　仮面ライダー大戦　feat.スーパー大戦	パンフレット	46pp	①

61	仮面ライダーx仮面ライダー　ドライブ＆鎧武　MOVIEフルスロットル	パンフレット	35pp	⑦,⑩
62	烈車戦隊トッキュウジャーVSキョウリュウジャー　THE MOVIE	パンフレット	24pp	⑦,⑩
63	スーパーヒーロー大戦GP　仮面ライダー3号	パンフレット	41,42pp	①
64	劇場版仮面ライダードライブ　SURPRISE FUTURE	パンフレット	14,35pp	①
65	手裏剣戦隊ニンニンジャーVSトッキュウジャー　THE MOVIE 忍者　イン　ワンダーランド	パンフレット	26pp	①
66	劇場版仮面ライダーゴースト　100の眼魂とゴースト運命の瞬間	パンフレット	11pp	①,②,⑦,⑩
67	仮面ライダー生誕45周年記念　仮面ライダー平成ジェネレーションズ　Dr.パックマン対エグゼイド＆ゴースト withレジェンドライダー	パンフレット	38,42pp	①,③,⑮
68	動物戦隊ジュウオウジャーVSニンニンジャー　未来からのメッセージfromスーパー戦隊	パンフレット	24pp	①
69	仮面ライダーxスーパー戦隊　超スーパーヒーロー大戦	パンフレット	42pp	①
70	劇場版仮面ライダーエグゼイド　トゥルーエンディング	パンフレット	39pp	①
71	東映ヒーローワールド　公式　VOL.0	パンフレット	1,2pp	①,②,⑦,⑩
72	手裏剣戦隊ニンニンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック	パンフレット	1-14pp	①
73	手裏剣戦隊ニンニンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック2	パンフレット	1-14pp	①
74	動物戦隊ジュウオウジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック	パンフレット	1-14pp	①
75	宇宙戦隊キュウレンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック	パンフレット	1-14pp	①
76	宇宙戦隊キュウレンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック　新しい伝説版	パンフレット	1-14pp	①
77	27th Tokyo International Film Festival Program 第27回東京国際映画祭公式プログラム	パンフレット	136-140,168,207,209,210,213pp	①,⑯
78	29th Tokyo International Film Festival Program 第29回東京国際映画祭公式プログラム	パンフレット	140,150,185,233,235,237pp	①,⑯
79	ゴジラ　全映画DVDコレクターズBOX　VOL.4　復刻パンフレット	パンフレット	13pp	①
80	二子玉川園イベント回顧録～青空の下で見たヒーローたち～	図録	1~14pp	①-③

表－37.Web サイト一覧（全 400 サイト）

No.	Webサイト名タイトル	URL	閲覧日	確認出来る行動特性
1	『怪獣娘』バレンタインイベント	http://kaiju-gk.jp/event/20180115/post-165	2018年1月20日	①,③,⑦
2	怪獣娘～渋谷マルイ侵略計画～コラボストア	http://kaiju-gk.jp/event/20171221/post-153	2018年1月20日	②,⑦
3	ミニトークショー&お渡し会	http://kaiju-gk.jp/event/20180118/post-166	2018年1月20日	①,③,⑦
4	ULTRA HEROES&KAIJU GIRLS SPECIAL TALKLIVE in HONG KONG 2018	http://kaiju-gk.jp/event/20180110/post-162	2018年1月20日	①
5	ウルトラマンジードSPショー	https://www.kashiikaen.com/event/archives/24	2018年1月20日	①
6	ウルトラヒーローがやってくる！	http://www.marinoacity.com/event/ultramanorb201801/	2018年1月20日	③
7	ウルトラマンジード握手＆撮影会	http://benelic.com/information/information.php?id=1994	2018年1月20日	③
8	ウルトラマンジードショー	http://yamatokoriyama-aeonmall.com/news/event/1595	2018年1月20日	①
9	ULTRAMAN WORLD M78	https://www.loft.co.jp/shop_list/detail.php?shop_id=33	2018年1月20日	⑦
10	ウルトラセブンに会える！握手＆撮影会	https://www.loft.co.jp/shop_list/detail.php?shop_id=33	2018年1月20日	③
11	M78ウルトラマン握手＆撮影会	https://www.loft.co.jp/shop_list/detail.php?shop_id=33	2018年1月20日	③
12	ウルトラマンゼロ Another Battle～光と力～	https://www.pbsystems.co.jp/emosys-contents.html#contents19	2018年1月20日	⑩
13	おかえり！快獣ブースカ展	http://jungle-scs.co.jp/sale/?p=19002	2018年1月20日	①,⑦
14	快獣ブースカカフェ	http://jungle-scs.co.jp/sale/?p=19002	2018年1月20日	①,⑥
15	ブースカ2shot撮影会	http://jungle-scs.co.jp/sale/?p=19002	2018年1月20日	③
16	ウルトラマンゼロスペシャルステージ	http://www.ario-yao.jp/web/event/0c9a2dcf-aa7a-480b-ad56-e3b6e81dfeb6.html	2018年1月20日	①
17	「ウルトラマンレオ」恐怖の円盤生物スペシャル！	http://tdcast.exblog.jp/238095656/	2018年1月20日	①,③,⑦,⑯
18	ウルトラヒーロー握手撮影会	http://www.foleo.jp/otsu/event/index.asp#e724	2018年1月20日	③
19	ウルトラマンジードミュージアム　IN名古屋PARCO	http://tv-aichi.co.jp/geedmuseum/	2018年1月20日	②
20	「劇場版 ウルトラマンジード　つなぐぜ！願い!!」公開記念　ウルトラマンジードと遊ぼう	http://nha.or.jp/ichinomiya/event/entry-2743.html	2018年1月20日	①
21	ウルトラマンジードとあそぼう！	http://www.chunichi-hc.ne.jp/kurokawa/event/2018/01/21/#ent007411	2018年1月20日	①
22	「劇場版ウルトラマンジード　つなぐぜ！願い！！」公開記念　朝倉リクがやってくる	http://35s.co.jp/sumaiclub/nishio/9974	2018年1月20日	①
23	こども広場（ウルトラマンバージョン）	http://35s.co.jp/sumaiclub/nishio/9974	2018年1月20日	⑩
24	ウルトラマンジードショー	http://35s.co.jp/sumaiclub/nishio/11419	2018年1月20日	①,③
25	ウルトラマンジードショー	http://35s.co.jp/sumaiclub/minato/10768	2018年1月20日	①,③
26	「劇場版ウルトラマンジード　つなぐぜ！願い！！」公開記念　朝倉リクがやってくる	http://35s.co.jp/sumaiclub/minato/11369	2018年1月20日	①
27	ウルトラマンティガがやってくる	http://www.aeontown.co.jp/chikusa/node/3257	2018年1月20日	③
28	ウルトラマンジードショー	http://housing.hicbc.com/kanie/event/	2018年1月20日	①,③
29	宇宙戦隊キュウレンジャーショー	http://housing.hicbc.com/kanie/event/	2018年1月20日	①,③
30	ウルトラマンCLUB名古屋店	http://www.namco.co.jp/kids/ultramanclub/	2018年1月20日	②,③,⑦,⑩
31	ウルトラマンジードスペシャルショー	http://www.namco.co.jp/kids/ultramanclub/NEWS/events/20171214.html	2018年1月20日	①,③
32	ウルトラチャレンジステージ	http://tedori.jp/infoultra_k1489486923.html	2018年1月20日	①,③
33	バラエティ－撮影会	http://tedori.jp/infoultra_k1489486927.html	2018年1月20日	③
34	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
35	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
36	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
37	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
38	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
39	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
40	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
41	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
42	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
43	ウルトラマンライブ Peace of the Earth　2017-2018	http://m-78.jp/ultraman-live/2017/ticket/atsugi.php	2018年1月20日	①
44	「星人認定刻印プレート」プレゼントキャンペーン	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=283	2018年1月20日	⑦
45	バルタン星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=279	2018年1月20日	③
46	マグマ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=280	2018年1月20日	③
47	マグマ星人・パパルウ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=281	2018年1月20日	③
48	フック星人・ゴース星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=282	2018年1月20日	③
49	マグマ星人・バルキー星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=283	2018年1月20日	③
50	ピット星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=284	2018年1月20日	③
51	エースキラーがやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=285	2018年1月20日	③
52	ヒッポリト星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/information/information.php?id=279	2018年1月20日	③
53	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-6.html	2018年1月20日	⑥,⑦
54	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-7.html	2018年1月20日	⑥,⑦
55	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-8.html	2018年1月20日	⑥,⑦
56	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-9.html	2018年1月20日	⑥,⑦
57	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-10.html	2018年1月20日	⑥,⑦
58	ウル松さん×SWEETS PARADISE	http://www.sweets-paradise.jp/news/2017/12/sweets-paradise-11.html	2018年1月20日	⑥,⑦
59	コアチョコ映画祭	http://core-choco.com/grindhouse/	2018年1月20日	①,⑦,⑯

60	ウルトラマンニュージェネレーションワールドIN東京ソラマチ	https://m-78.jp/solamachi/2018/?n277	2018年1月20日	⑦
61	ウル松さん　GOOD SMILE×animate cafe	https://cafe.animate.co.jp/event/urumatsusan1800/	2018年1月20日	⑥,⑦
62	ウル松さん　GOOD SMILE×animate cafe	https://cafe.animate.co.jp/event/urumatsusan1801/	2018年1月20日	⑥,⑦
63	KAIJU MUSUME 6	http://k-j-m.jp/	2018年1月20日	⑥
64	メフィラス星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=34	2018年1月20日	③
65	バルタン星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=35	2018年1月20日	③
66	ザラブ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=36	2018年1月20日	③
67	ペガッサ星人がやってくる！	http://kaiju-sakaba.com/shimbashi/information/information.php?id=37	2018年1月20日	③
68	イーアス高尾マンスリーイベント　ウルトラヒーロー握手・撮影会	http://takao.iias.jp/event/detail/index.asp?n=80	2018年1月20日	③
69	ウルトラマンジード アクロスマッシャーがやってくる！	http://koshigaya-laketown.com/	2018年1月20日	③
70	ウルトラマンジード ソリッドバーニングがやってくる！	http://www.saitama-tenjijo.com/housing/south/toda.html	2018年1月20日	③
71	ウルトラアスレチック　namcoアリオ仙台泉店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
72	ウルトラアスレチック　namcoイオンモール八千代緑が丘	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
73	ウルトラアスレチック　ｎａｍｃｏフジグラン宇部	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
74	ウルトラアスレチック　イオンモール八千代緑が丘	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
75	ウルトラマンがやってくる！	http://www.aeon.jp/sc/yachiyomidorigaoka/event/event_e46604.html	2018年1月20日	③
76	ウルトラアスレチック　namcoイトーヨーカドー木場	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
77	ウルトラアスレチック　namcoイオンタウン郡山店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
78	ウルトラアスレチック　ゆめタウン広島	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
79	ウルトラアスレチック　イオンモール成田	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
80	ウルトラマンタロウがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	③
81	ウルトラアスレチック　ゆめタウン徳島	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
82	ウルトラアスレチック　イオンモール新瑞橋	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
83	ウルトラマンギンガがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	③
84	ウルトラアスレチック　イオンモール高知	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
85	ウルトラマンガイア＆ウルトラマンアグルがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	③
86	ウルトラマンギンガ＆ウルトラマンビクトリーがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	③
87	ウルトラアスレチック　イオンモール堺北花田	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
88	ウルトラセブンがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	③
89	ウルトラアスレチック　アリオ倉敷店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
90	ウルトラアスレチック　イオン赤穂店	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
91	ウルトラアスレチック　アピタ富山東店ゲームコーナー	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
92	ウルトラマンギンガ＆ピグモンがやってくる！	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	③
93	ウルトラアスレチック　サニーアクシス南国	http://www.namco.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年1月20日	⑩
94	ウルトラファミリー大集合INすかがわ2018	http://m-78.jp/ulfami/2018/?n277	2018年1月20日	①,②,⑦
95	ウルトラアスレチック	http://www.namco.co.jp/game_center/loc/sendai-izumi/NEWS/urutora.h	2018年1月20日	②,⑩
96	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	2018年1月20日	⑦
97	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	2018年1月20日	⑦
98	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	2018年1月20日	⑦
99	「ウル松さん@ダッシュストア」inアニメイト出張店	http://www.dashstore.net/ulmatsu_s	2018年1月20日	⑦
100	ウル松さん×OIOI in 新宿マルイアネックス	https://www.0101.co.jp/005/store-info/fair.html?article_id=9951&from=01_pc_st005_store-news-fair	2018年1月20日	⑥,⑦
101	360度VR特撮作品『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』をプラネタリウム施設にて大迫力で楽しめる！羽田空港国際線ターミナル内で2018年6月30日(	https://m-78.jp/news/post-4830/	2018年6月25日	⑩
102	「ウルトラマンフェスティバル2018」内覧会に円谷倶楽部会員のお子様をご招待！【応募期間：7/9(月)10:00まで】	https://tsubu-c.jp/contents/180188	2018年6月29日	①,②
103	KAMEN RIDER THE DINNER	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/index.html	2018年7月2日	②,⑥,⑦
104	仮面ライダー ザ ダイナー　メニュー	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/menu.html	2018年7月2日	⑥,⑦
105	6/19(火）スタート　『仮面ライダー555』15周年コラボメニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/06/61915_16.html	2018年7月2日	⑥,⑦
106	5/19(土）スタート　『仮面ライダーアマゾンズ THE MOVIE 最後ノ審判』コラボメニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/05/519-movie.html	2018年7月2日	⑥,⑦
107	5/22（火）開催　劇場版アマゾンズ公開記念イベントチケット販売のお知らせ	http://rider-event.blogspot.com/2018/05/522.html	2018年7月2日	③
108	仮面ライダーアマゾンズシーズン1&2復刻メニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/04/blog-post.html	2018年7月2日	⑥,⑦
109	仮面ライダーザダイナー7周年記念『仮面ライダービルド』メニュー	http://rider-event.blogspot.com/2018/04/7.html	2018年7月2日	⑥,⑦
110	3/30（金）より仮面ライダーW　コラボレーションメニュースタート	http://rider-event.blogspot.com/2018/03/330.html	2018年7月2日	⑥,⑦
111	3/3（土）よりゲンムVSレーザーメニュー＆ホワイトデーメニュー開催	http://rider-event.blogspot.com/2018/03/33vs.html	2018年7月2日	⑥,⑦
112	KAMEN RIDER THE DINNER　貸切パーティー	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/party.html	2018年7月2日	②,⑥,⑦
113	仮面ライダー ザ ダイナーの店内	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/space.html	2018年7月2日	②,⑥,⑦
114	スペシャルコースタープレゼント	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/coaster.html	2018年7月2日	⑦
115	限定ケーキ	https://www.paselaresorts.com/collaboration/rider/cake.html	2018年7月2日	⑥,⑦

116	ウルトラアスレチック　namcoおのだサンパーク店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
117	ウルトラアスレチック　サニーアクシス南国アクシスキッズ	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
118	ウルトラアスレチック　イオンモール山形南店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
119	ウルトラマンタロウがやってくる！	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	③
120	ウルトラアスレチック　イオンモール佐久平店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
121	ウルトラアスレチック　イオン具志川ショッピングセンター	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
122	ウルトラアスレチック　namcoステラタウン店	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
123	ウルトラアスレチック　イオンモールかほく	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
124	ウルトラアスレチック　イオンモール姫路リバーシティー	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
125	ウルトラアスレチック　くずはモール	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
126	ウルトラアスレチック　イオンモール八千代緑が丘	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
127	ウルトラアスレチック　フジグラン石井	https://bandainamco-am.co.jp/kids/ultra_athletic/list.html	2018年7月2日	⑩
128	モラージュ菖蒲マンスリーイベント　ウルトラヒーロー握手撮影会	http://www.mallage.com/shobu/event_list.php#470	2018年7月2日	③
129	【7/7(土)】ウルトラヒーローがやってくる	http://www.ario-ageo.jp/web/event/ca0ebfe1-a97f-4c84-a9bd-a511fda0c988.html	2018年7月2日	③,⑦,⑰
130	7月8日（日）　ウルトラヒーローがやってくる！2018 in アリオ蘇我	http://www.ario-soga.jp/web/event/5536dff9-eb18-451f-b2ef-1f8a93e9355b.html	2018年7月2日	①,③,⑦,⑰
131	TANABATA EVENT WEEK KAIJU MUSUME 6	http://six.k-j-m.jp/information/785/	2018年7月2日	①,②,⑥,⑦
132	ウルトラマンフェスティバル2018	https://www.ulfes.com/2018/	2018年7月10日	①,②,⑦
133	ウルトラライブステージ	https://www.ulfes.com/2018/livestage/	2018年7月10日	①
134	ウルトラP（平日限定公演）	https://www.ulfes.com/2018/livestage/	2018年7月10日	①,③
135	ウルトラショット	https://www.ulfes.com/2018/ultrashot/	2018年7月10日	③,⑦
136	ウルトラマンフェスティバル＆ウルトラマンショップ限定	https://www.ulfes.com/2018/depart/	2018年7月10日	⑦
137	8/1(水)「TAMASHII NATIONS presentsニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイト」	https://www.ulfes.com/2018/event/627/	2018年7月10日	①,③,⑦
138	7/26(木)ウルトラトークライブ「みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェスVol.2」	https://www.ulfes.com/2018/event/625/	2018年7月10日	①
139	7/25(水)「SSSS.GRIDMANスペシャルナイト」	https://www.ulfes.com/2018/event/614/	2018年7月10日	①,⑯
140	Stage　show	https://en.tsuburaya-prod.co.jp/business/events	2018年7月10日	①
141	Exhibition	https://en.tsuburaya-prod.co.jp/business/events	2018年7月10日	②
142	Meet & Greet	https://en.tsuburaya-prod.co.jp/business/events	2018年7月10日	③
143	THEATER　G－ROSSO　快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー　年間5シリーズ公演	https://at-raku.com/hero/	2018年7月10日	①,⑥,⑦
144	公演スケジュール	https://at-raku.com/hero/schedule/	2018年7月10日	①,③
145	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー　シリーズ第3弾　華麗なる新戦士！ルパンエックス・パトレンエックス！！	https://at-raku.com/hero/topics/_3/	2018年7月10日	①,③
146	お出迎え・撮影会登場キャラクタースケジュール	https://at-raku.com/hero/topics/_3/	2018年7月10日	③
147	握手会登場キャラクタースケジュール	https://at-raku.com/hero/topics/_3/	2018年7月10日	③
148	ルパンレンジャーVSパトレンジャー　おうえんたい　隊員募集中！	https://at-raku.com/hero/topics/cm/	2018年7月10日	①,③,⑦
149	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー　東京ドームシティのヒーローメニュー	https://www.tokyo-dome.co.jp/feature/hero-menu/	2018年7月10日	⑥,⑦
150	ヒーローグッズ	https://at-raku.com/hero/goods/	2018年7月10日	⑦
151	ヒーローショーアーカイブス　シアターGロッソ　激闘の歴史	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
152	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第1弾　宇宙戦隊キュウレンジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
153	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第2弾　究極の選択！天秤にかけられた友情！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
154	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第3弾　救世主覚醒！新たな伝説のはじまり！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
155	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第4弾　宇宙船Gロッソ号危機一髪！輝け！究極のシシレッド！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
156	宇宙戦隊キュウレンジャーショー　第5弾　キュウキョクギャラクシー！宇宙は俺たちがとりもどす！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
157	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第1弾　動物戦隊ジュウオウジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
158	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第2弾　友情パワー全開！5人の絆をなめるなよ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
159	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第3弾　真夏のアニマルフェスティバル！ジュウオウザワールド登場！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
160	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第4弾　伝説大解放！ジュウオウイーグル覚醒！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
161	動物戦隊ジュウオウジャーショー　第5弾　ジュウオウファイナル！王者の絆をなめるなよ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
162	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第1弾　手裏剣戦隊ニンニンジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
163	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第2弾　あっしの出番！新戦士スターニンジャー参上！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
164	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第3弾　最強忍者が暴れるぜ！真夏のニンジャ祭り！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
165	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第4弾　負けられない戦い！ザ・超絶！忍術合戦！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
166	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー　第5弾　激アツ！これぞラストニンジャの戦いだ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
167	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第1弾　烈車戦隊トッキュウジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
168	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第2弾　出発進行！夢のＧロッソ号！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
169	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第3弾　新戦士6号発進！炎の特急決戦！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
170	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第4弾　俺が烈車になる！ハイパートッキュウ1号 出発進行！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
171	烈車戦隊トッキュウジャーショー　第5弾　最終烈車がやってくる！輝けレインボーライン！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
172	獣電戦隊キョウリュウジャー　第1弾　獣電戦隊キョウリュウジャー　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
173	獣電戦隊キョウリュウジャー　第2弾　雷鳴の勇者　キョウリュウゴールド見参！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
174	獣電戦隊キョウリュウジャー　第3弾　荒れるぜ！真夏のキョウリュウ大決戦！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
175	獣電戦隊キョウリュウジャー　第4弾　メッチャ進化！Gロッソdeカーニバル！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
176	獣電戦隊キョウリュウジャー　第5弾　決めるぜ！史上最強のプレイブフィニッシュ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①

177	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第1弾　シアターGロッソに現る！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①,③
178	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第2弾　緊急出動！ゴーバスターズエース発進!!	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
179	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第3弾　新戦士登場！ビート＆スタッグ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
180	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第4弾　最強海賊現る！出動せよ、ゴーバスターズ！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
181	特命戦隊ゴーバスターズ　特命戦隊ゴーバスターズ　第5弾　永遠のキズナ！ゴーバスターズラストミッション！！	https://at-raku.com/hero/archives/showcase.html#gobastar	2018年7月10日	①
182	ヒーローショーアーカイブス	https://at-raku.com/hero/archives/	2018年7月10日	①
183	仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2018	https://at-raku.com/w-hero/	2018年7月10日	①-③,⑦,⑩
184	仮面ライダースーパーステージ	https://at-raku.com/w-hero/stage/	2018年7月10日	①,③
185	縁日コーナー	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroEnnichi	2018年7月10日	⑩
186	**ヒーローグリーティング**	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroGreeting	2018年7月10日	③
187	ヒーロー写真館	https://at-raku.com/w-hero/guide/	2018年7月10日	⑩
188	ちり紙博士の爆笑ミニステージ	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroShop	2018年7月10日	①
189	Wヒーロー夏祭り2018限定グッズ	https://at-raku.com/w-hero/guide/index.html#wHeroShop	2018年7月10日	⑦
190	【終了しました】融合！アイ、ゴー！ウルフェスへGO！8/1(水)『ウルトラマンジード』の朝倉リクが「ウルトラマンフェスティバル2018」にやっ	https://www.ulfes.com/2018/event/774/	2018年8月18日	①
191	【終了しました】8月15日(水)「ウルトラマン ダークヒーロー スペシャルナイト」	https://www.ulfes.com/2018/event/1216/	2018年8月18日	①,③,⑦
192	【終了しました】8/16(木)『ウルトラマンレオ』 Blu-ray BOX発売記念プレミアムイベント スペシャルトークショー ～レオの映像特典公	https://www.ulfes.com/2018/event/1226/	2018年8月18日	①
193	8/20(月)「怪獣娘～ウルトラ怪獣擬人化計画～」スペシャルイベント 光と闇の激突!?	https://www.ulfes.com/2018/event/1233/	2018年8月18日	①,③,⑦
194	8/23(木) ウルトラマンガイア放送20年記念　超時空のフェスティバル	https://www.ulfes.com/2018/event/1238/	2018年8月18日	①,③,⑦,⑯
195	8/25(土)『ウルトラマンR／B』の凄カツミ・イサミ兄弟がライブステージ第2部に特別出演！さらにメインキャストによるスペシャルトークショー	https://www.ulfes.com/2018/event/1790/	2018年8月18日	①
196	【急募！】8/12(日)『ウルトラマンR／B（ルーブ）』撮影エキストラ募集のお知らせ！	https://m-78.jp/news/post-4880/	2018年8月18日	⑮
197	TVアニメ『SSSS.GRIDMAN』新キャラクター＆キャスト発表！「ウルトラマンフェスティバル2018」特別イベントでは会場全体で「アクセス・フ	https://m-78.jp/news/post-4873/	2018年8月18日	①,⑦
198	生ワンホビTV　昼の部　15：00～15：40　TVアニメ「SSSS.GRIDMAN」ステージ	http://whl4u.jp/stagehiru/#gridman	2018年8月18日	①
199	イベント限定　『SSSS.GRIDMAN』STARTER BOOK	https://event.goodsmile.info/event/event-4283/	2018年8月18日	⑦
200	SSSS.GRIDMANTシャツ A	https://special.canime.jp/comiket/94/#gridman	2018年8月18日	⑦
201	SSSS.GRIDMANTシャツ B	https://special.canime.jp/comiket/94/#gridman	2018年8月18日	⑦
202	2018年冬に「ウルトラマンフェスティバル in ひらかたパーク2018-2019」開催決定！ ウルトラマンシリーズ最大級のイベントが今年も西日本にやっ	https://m-78.jp/news/post-4864/	2018年8月18日	①,②
203	スーパーフェスティバル78　特撮アーカイブ	https://artstorm.co.jp/sufes.html	2018年8月18日	①,③,⑦
204	「怪獣絵師 開田裕治のウルトラマンズ・ギャラリー」道の駅 富士川楽座にて7/21(土)より開催！	https://m-78.jp/news/post-4871/	2018年8月18日	①-③,⑦
205	石ノ森萬画館　石ノ森先生と石ノ森萬画館について	http://www.mangattan.jp/manga/about/	2018年8月18日	②
206	石ノ森萬画館　館内案内	http://www.mangattan.jp/manga/info/	2018年8月18日	②
207	石ノ森萬画館　観覧料	http://www.mangattan.jp/manga/ticket/	2018年8月18日	⑦
208	公認サポーター爆笑問題「巨大ジオラマは夢のよう！」明日7/20(金)より「ウルトラマンフェスティバル2018」ついに開幕！	https://m-78.jp/news/post-4865/	2018年8月18日	①-③,⑧
209	『ウルトラマンフェスティバル2018』ライブステージにさらなる豪華な声の出演決定！	https://m-78.jp/news/post-4853/	2018年8月18日	①
210	「ウルトラヒーローズEXPO 2019 ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ」開催決定！	https://m-78.jp/news/post-4862/	2018年8月18日	①,②,⑦
211	ダークヒーロー、レジェンド、豪華声優…そしてガイア20年アニバーサリー！『ウルフェス2018』スペシャルイベントは後半戦も見逃せ	https://m-78.jp/news/post-4863/	2018年8月18日	①,③,⑦
212	融合！アイ、ゴー！ウルフェスへGO！8/1(水)『ウルトラマンジード』の朝倉リクが「ウルトラマンフェスティバル2018」にやってくる	https://m-78.jp/news/post-4861/	2018年8月18日	①
213	7/22(日)川崎競馬場にて『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』を開催！	https://m-78.jp/news/post-4859/	2018年8月18日	①,③,⑦,⑰
214	「ウルトラマンフェスティバル2018 ウルトラヒーロー合体わざ写真コンテスト」の最優秀作品決定！『データカードダス ウルトラマンフュージョンファイト！』	https://m-78.jp/news/post-4854/	2018年8月18日	①,⑦
215	7/28(土)～31(火)「沖縄ウルトラマン映画祭2018」開催決定！ 最新作『ウルトラマンR／B(ルーブ)』を映画館のスクリーンで観よう！	https://m-78.jp/news/post-4855/	2018年8月18日	③,⑯
216	【円谷倶楽部】「ウルトラマンフェスティバル2018」スマイル撮影会のお知らせ！	https://m-78.jp/news/post-4857/	2018年8月18日	③
217	『ウルトラマンゼロVR』が「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018」にて7/14(土)・15(日)招待上映！田口清隆＆押井守監督のトークイベ	https://m-78.jp/news/post-4847/	2018年8月18日	①,⑯
218	「ウルトラマンフェスティバル2018」限定ソフビにウルトラマンロッソ フレイム、スペシャル限定ルーブクリスタル付属 ウルトラマンタロウが登場！ ウルトラマンブル アクアは8月8日(水)からウル	https://m-78.jp/news/post-4846/	2018年8月18日	⑦
219	7/7(土)「ウルトラアスレチック ゆめタウン光の森店」がリニューアルオープン！九州で毎週ウルトラヒーローに会えるのはここだけ！！	https://m-78.jp/news/post-4848/	2018年8月18日	①,③,⑩
220	ウルトラヒーロー、豪華キャスト、特別ゲスト出演！『ウルトラマンフェスティバル2018』スペシャルイベントが続々開催決定！	https://m-78.jp/news/post-4845/	2018年8月18日	①,③,⑦,⑯
221	最新ヒーロー・ウルトラマンロッソ&ブル登場！豪華声優による声の出演も！『ウルトラマンフェスティバル 2018』ライブステージの最新情報を公開！	https://m-78.jp/news/post-4838/	2018年8月18日	①,⑦
222	HD Remaster2.0『ウルトラマンレオ Blu-ray BOX』12/21(金)発売決定！スペシャルトークショーほか、充実の特典も収録！	https://m-78.jp/news/post-4840/	2018年8月18日	①

223	223.期間限定のグッズショップ「ULTRAMAN キャラポップストア」7/7(土)新宿マルイ アネックスに登場！福岡、仙台、大阪、習志野にも順次オー	https://m-78.jp/news/post-4841/	2018年8月18日	⑦
			2018年8月18日	⑦
			2018年8月18日	⑦
			2018年8月18日	⑦
			2018年8月18日	⑦
224	360度VR特撮作品『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』をプラネタリウム施設にて大迫力で楽しめる！羽田空港国際線ターミナル内で2018年6月30日(	https://m-78.jp/news/post-4830/	2018年8月19日	⑩
225	「一生ジード、リクとして地球のみんなを守るために頑張りたい」『劇場版 ウルトラマンジード』グランドフィナーレ、リクとレイトからカツミとイサミに「つ	https://m-78.jp/news/post-4835/	2018年8月19日	①,③,⑯
226	豪華ゲストのトークイベントも実施！『怪奇大作戦』放送開始50年記念 飯島敏宏監督×実相寺昭雄監督 特選作上映会が2018年8月19日(日	https://m-78.jp/news/post-4828/	2018年8月19日	①,⑯
227	「ウルトラセブン落語＆トークライブ」9/16(日)開催！モロボシ・ダン役の森次晃嗣さんと、アンヌ役のひし美ゆり子さん登場！	https://m-78.jp/news/post-4826/	2018年8月19日	①
228	全国のアリオ、グランツリー武蔵小杉、プライムツリー赤池でウルトラマンのプレミアムイベントが当たるチャンス！夏のキャンペーン「2018年夏のWoW」6/22(	https://m-78.jp/news/post-4820/	2018年8月19日	①,③,⑩
229	「ウルトラマンライブ 2018-2019」大阪・八尾公演6/10(日)よりチケット一般前売開始！【10/13(土)・14(日)開催】	https://m-78.jp/news/post-4823/	2018年8月19日	①
230	近畿日本鉄道にて10/13(土)、14(日)に「ウルトラマン列車」を運行！「ウルトラヒーローと行く“ウルトラマンライブ”ツアー」！	https://m-78.jp/news/post-4823/	2018年8月19日	③
			2018年8月19日	③
231	ニュージェネレーションヒーローズの活躍が集結！「ウルトラヒーローズEXPO ニュージェネレーションワールド IN 近鉄四日市」8/1(水)～14(火)近鉄百貨店 四日	https://m-78.jp/news/post-4814/	2018年8月19日	②,⑦
232	『劇場版 ウルトラマンジード つなぐぜ！ 願い！！』6月23日(土)にグランドフィナーレ舞台挨拶＆応援上映決定！	https://m-78.jp/news/post-4809/	2018年8月19日	①,③,⑦,⑯
233	今年も福島県全域にウルトラヒーローや怪獣が出現！『大冒険！ウルトラマンARスタンプラリーinふくしま2018』が7月12日(木)より開催！新ヒーロー・ウルトラマンロッソとブ	https://m-78.jp/news/post-4808/	2018年8月19日	⑦,⑰
234	『ウルトラマンゼロVR』が「カンヌ国際映画祭」(フランス)で絶賛！2018年6月には「ショートショートフィルムフェスティバル＆アジア	https://m-78.jp/news/post-4806/	2018年8月19日	⑩
		https://m-78.jp/news/post-4806/	2018年8月19日	⑩
235	コンビそろってウルトラファン！爆笑問題(太田光、田中裕二)が「ウルトラマンフェスティバル2018」公式サポーターに就任！今年のテーマは「ウル	https://m-78.jp/news/post-4804/	2018年8月19日	①-③,⑥-⑧
236	今年のウルフェスの公式サポーターは一体誰？！5/12(土)「ウルトラマンフェスティバル2018 発表イベント」開催！（池袋・サンシャインシティ噴	https://m-78.jp/news/post-4801/	2018年8月19日	①,⑦
237	「ウルトラマンライブ 2018-2019」八尾公演が10/13(土)・14(日)開催決定！5/3(木・祝)・4(金・祝)には先行発売イベントを実施。「ウルトラマン列車」の受付も5/3(木・祝)。	https://m-78.jp/news/post-4799/	2018年8月19日	①
			2018年8月19日	①
			2018年8月19日	①
238	近畿日本鉄道にて10/13(土)、14(日)に「ウルトラマン列車」を運行！「ウルトラヒーローと行く“ウルトラマンライブ”ツアー」！		2018年8月19日	③
			2018年8月19日	③
239	「ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2018-2019」8/4(土)神奈川県民ホールにて開催！ 4/20(金)一般前売開始！	https://m-78.jp/news/post-4792/	2018年8月19日	①
240	ウルトラマンジードの世界へ飛び込もう！「ウルトラマンジードミュージアム IN せいせき」5/3(木・祝)～6(日)京王聖蹟桜ヶ丘SCにて開催！	https://m-78.jp/news/post-4790/	2018年8月19日	②,③
241	☆ウルトラマンジード スタンプラリー	https://m-78.jp/news/post-4790/	2018年8月19日	⑦,⑰
242	「福島県須賀川市」×「M78星雲 光の国」姉妹都市提携　年表～姉妹都市提携からの須賀川市とウルトラマンの歩み～	http://m78-sukagawa.jp/history/	2018年8月19日	①,②,⑥,⑦,⑲
243	すかがわ市M78光の町　光の町とは	http://m78-sukagawa.jp/aboutus/	2018年8月19日	⑲
244	すかがわ市M78光の町　住民登録（無料）	http://m78-sukagawa.jp/residents/	2018年8月19日	⑦
245	すかがわ市M78光の町　すかがわ市M78光の町サポーター	http://m78-sukagawa.jp/person/	2018年8月19日	①,②,⑦,⑲
246	すかがわ市M78光の町　姉妹都市提携2周年記念独占インタビュー 須賀川市 橋本克也市長（株）円谷プロダクション 大岡新一社長	http://m78-sukagawa.jp/interview/	2018年8月19日	①,②,⑲
247	すかがわ市M78光の町　町長メッセージ　ウルトラの父からごあいさつ	http://m78-sukagawa.jp/message/	2018年8月19日	⑲
248	すかがわ市M78光の町　須賀川市MAP	http://m78-sukagawa.jp/map/	2018年8月19日	②,⑥,⑦
249	すかがわ市M78光の町　観光名所	http://m78-sukagawa.jp/spot/	2018年8月19日	⑲
250	すかがわ市M78光の町　アクセス・宿泊施設	http://m78-sukagawa.jp/transit/	2018年8月19日	②,⑦
251	すかがわ市M78光の町　須賀川市PV	http://m78-sukagawa.jp/pv/	2018年8月19日	②,⑥,⑦,⑲
252	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201501#F	2018年8月19日	該当無し
253	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201502	2018年8月19日	該当無し
254	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201503	2018年8月19日	該当無し
255	須賀川市のイベント　モニュメント除幕式	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①-③
256	須賀川市のイベント　ウルトラマン空港フェスタ2015	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①,③
257	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201504	2018年8月19日	①
258	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①
259	ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ2015	https://m-78.jp/ulfami/2015/	2018年8月19日	①,②,⑦,⑩
260	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201505	2018年8月19日	①

261	須賀川市のイベント　姉妹都市提携2周年記念「ウルトラヒーローショー」	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①
262	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201506	2018年8月19日	該当無し
263	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201507	2018年8月19日	該当無し
264	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201508	2018年8月19日	該当無し
265	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201509	2018年8月19日	該当無し
266	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201510	2018年8月19日	該当無し
267	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201511	2018年8月19日	該当無し
268	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2015年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201512	2018年8月19日	該当無し
269	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201601	2018年8月19日	該当無し
270	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201602	2018年8月19日	該当無し
271	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201603	2018年8月19日	該当無し
272	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201604	2018年8月19日	①
273	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①
274	ウルトラファミリー大集合　in　すかがわ2016	https://m-78.jp/ulfami/2016/	2018年8月19日	①-③,⑥,⑦
275	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201605	2018年8月19日	①
276	須賀川市のイベント　姉妹都市提携3周年記念「ウルトラヒーローショー」	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①,⑦,⑩
277	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201606	2018年8月19日	該当無し
278	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201607	2018年8月19日	⑰
279	須賀川市のイベント　大冒険！ウルトラマンＡＲスタンプラリーｉｎふくしま	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	⑰
280	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201608	2018年8月19日	⑰
281	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201609	2018年8月19日	⑰
282	須賀川市のイベント　ウルトラヒーローワールド in あぶくま洞	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	②,⑨
283	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201610	2018年8月19日	⑰
284	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201611	2018年8月19日	該当無し
285	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2016年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201612	2018年8月19日	該当無し
286	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201701	2018年8月19日	該当無し
287	光の町のイベント　ウルトラヒーローズEXPO 2017	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	⑦
288	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201702	2018年8月19日	該当無し
289	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201703	2018年8月19日	該当無し
290	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201704	2018年8月19日	①
291	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ2017	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①
292	ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ2017	https://m-78.jp/ulfami/2017/	2018年8月19日	①-③,⑥,⑦
293	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201705	2018年8月19日	該当無し
294	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201706	2018年8月19日	該当無し
295	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201707	2018年8月19日	⑰
296	須賀川市のイベント　ウルトラマンARスタンプラリーin福島	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	⑰
297	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201708	2018年8月19日	⑦,⑰
298	須賀川市のイベント「ウルトラマン 光の物語」住民票発行ブース	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	②
299	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201709	2018年8月19日	⑰
300	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201710	2018年8月19日	⑰
301	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201711	2018年8月19日	⑰
302	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2017年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201712	2018年8月19日	該当無し
303	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年1月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201801	2018年8月19日	該当無し
304	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年2月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201802	2018年8月19日	該当無し
305	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年3月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201803	2018年8月19日	該当無し
306	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年4月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201804	2018年8月19日	①
307	須賀川市のイベント　ウルトラファミリー大集合INすかがわ 2018	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh000	2018年8月19日	①
308	ウルトラファミリー大集合INすかがわ 2018	https://m-78.jp/ulfami/2018/	2018年8月19日	①,③,⑦
309	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年5月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201805	2018年8月19日	該当無し
310	須賀川市のイベント　光の町姉妹都市提携記念イベント	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh001	2018年8月19日	①
311	須賀川市のイベント　ウルトラマンニュージェネレーションワールド	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh001	2018年8月19日	該当無し
312	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年6月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201806	2018年8月19日	該当無し
313	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年7月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201807	2018年8月19日	⑰
314	須賀川市のイベント　大冒険！ウルトラマンＡＲスタンプラリーinふくしま2018	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_detail.php?eid=sh001	2018年8月19日	⑦,⑰
315	大冒険！ウルトラマンＡＲスタンプラリーinふくしま2018	http://ultrafukushima.com/	2018年8月19日	⑦,⑰
316	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年8月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201808	2018年8月19日	⑰
317	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年9月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201809	2018年8月19日	⑰
318	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年10月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201810	2018年8月19日	⑰
319	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年11月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201811	2018年8月19日	該当無し
320	すかがわ市M78光の町　ウルトラカレンダー　2018年12月	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/index.php?ym=201812	2018年8月19日	該当無し
321	すかがわ市M78光の町　須賀川市のイベント	http://m78-sukagawa.jp/event_cal/ev_list.php?town_cat=0	2018年8月19日	⑰

322	すかがわ市M78光の町　子どもも大人もウルトラマンを楽しもう一日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c004/	2018年8月19日	②,⑥,⑦,⑨
323	すかがわ市M78光の町　ウルトラマンご当地商品をＧＥＴしよう！半日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c003/	2018年8月19日	⑥,⑦,⑨
324	すかがわ市M78光の町　須賀川オリジナル風景印をそろえてみよう！半日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c002/	2018年8月19日	②,⑥,⑦
325	すかがわ市M78光の町　円谷英二監督のふるさとを訪れる！半日コース	http://m78-sukagawa.jp/course/c001/	2018年8月19日	②,⑦
326	すかがわ市M78光の町　ウルトラヒーローがいっぱい！？ウルトラマン関連施設めぐり♪（中心地のみ）	http://m78-sukagawa.jp/course/b003/	2018年8月19日	②,⑥
327	すかがわ市M78光の町　ウルトラヒーローがいっぱい？！ウルトラマン関連施設めぐり♪	http://m78-sukagawa.jp/course/b002/	2018年8月19日	②,⑲
328	すかがわ市M78光の町　ウルトラヒーロー風景印	http://m78-sukagawa.jp/postmark/	2018年8月19日	⑦
329	すかがわ市M78光の町　ウルトラマンフレーム切手		2018年8月19日	⑦
330	すかがわ市M78光の町　店舗情報	http://m78-sukagawa.jp/bussan/shop/	2018年8月19日	⑥,⑦,⑨
331	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋グッズご当地商品	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/goods-goods/	2018年8月19日	⑦
332	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋グッズご当地商品	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/goods-goods/page/2/	2018年8月19日	⑦
333	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋ご当地商品フード	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/	2018年8月19日	⑥,⑦
334	すかがわ市M78光の町　おみやげ屋ご当地商品フード	http://m78-sukagawa.jp/bussan/goods/goods-food/	2018年8月19日	⑦
335	「東京国際映画祭×円谷プロ創立50周年」スペシャルイベント開催！グリーンカーペットをウルトラ怪獣が大行進で大暴れ？！上映会＆トークショー、豪華ゲストによる「怪獣」シンポジウムなど	https://m-78.jp/news/n-2142/	2018年9月7日	①,③,⑯
336	ウルトラ怪獣がグリーンカーペットを大行進！「東京国際映画祭」が本日10/17(木)より開幕！10/18(金)『ウルトラマン』上映会＆トークショーのチケット残りわずか！	https://m-78.jp/news/n-2172/	2018年9月7日	①,③,⑯
337	地球外ゲストが国内外豪華ゲストと共にウォーキング！東京国際映画祭レッドカーペットにウルトラヒーローが大集結。『ウルトラセブン』上映＆トークイベントも決定！	https://m-78.jp/news/n-2731/	2018年9月7日	①,⑯
338	ウルトラヒーローが本日開幕の「第27回 東京国際映画祭」オープニング・レッドカーペットに大集結！HDリマスター2.0『ウルトラセブン』上映＆トークイベントを10/26(日)に実施！	https://m-78.jp/news/n-2757/	2018年9月7日	①,⑯
339	ぐりんぱ　M78ウルトラマンパーク	http://www.grinpa.com/m78/index.html	2018年9月7日	該当無し
340	アトラクション一覧	http://www.grinpa.com/m78/attraction/index.html	2018年9月7日	⑩
341	ULTRAMAN★STAR SwingeR	http://www.grinpa.com/m78/attraction/starswinger.html	2018年9月7日	⑩
342	ウルトラセブンコースターマッハ7	http://www.grinpa.com/m78/attraction/mach.html	2018年9月7日	⑩
343	ウルトラマン・グランプリ	http://www.grinpa.com/m78/attraction/grand.html	2018年9月7日	⑩
344	フライングウルトラマン☆シュワッチ	http://www.grinpa.com/m78/attraction/flying.html	2018年9月7日	⑩
345	フワフワウルトラマン	http://www.grinpa.com/m78/attraction/fuwafuwaultraman.html	2018年9月7日	⑩
346	M78プラネットダイニング	http://www.grinpa.com/m78/restaurant.html	2018年9月7日	⑥
347	SHOT M78	http://www.grinpa.com/m78/shop.html	2018年9月7日	⑦
348	園内マップ	http://www.grinpa.com/map/	2018年9月7日	⑥,⑦,⑩
349	ウルトラマン常設展示　in 福島空港	http://www.fks-ab.co.jp/guide/ultraman.html	2018年9月13日	②,⑦
350	ウルトラマン商店街公式ホームページ	http://ultraman-shotengai.com/	2018年9月13日	②,③
351	そしがやどっとこむ　ウルトラマン商店街スタンプ　Ultraman Syoutengai Stamp	http://www.soshigaya.com/stamp/index.html	2018年9月13日	⑰
352	そしがやみなみ商店街　ウルトラマン商店街スタンプ加盟店	http://soshigaya-minami.jp/shop/stamp/	2018年9月13日	⑰
353	そしがやみなみ商店街　ウルトラマン商店街スタンプ加盟店	http://soshigaya-minami.jp/shop/stamp/page/2/	2018年9月13日	⑰
354	祖師谷昇進会商店街　うるしょう.com	http://www.ulsho.com/	2018年9月13日	②
355	ウルトラマン商店街ウルトラマンスタンプ加盟店ＭＡＰ	http://www.ulsho.com/ticket_handling_shop.html	2018年9月13日	⑰
356	ウルトラマン商店街とは・・・	http://www.ulsho.com/ultraman-shopping-district.html	2018年9月13日	②
357	祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…	http://www.ulsho.com/street-light-story-top.html	2018年9月13日	②
358	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅰ 祖師谷昇進会(うるしょう)街路灯建替え計画…	http://www.ulsho.com/street-light-story.html	2018年9月13日	②
359	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅱ 祖師谷昇進会(うるしょう)街路灯のひみつ？？	http://www.ulsho.com/street-light-secret.html	2018年9月13日	②
360	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅲ 祖師谷昇進会街路灯・ホームページ完成記念イベント	http://www.ulsho.com/event_cherryfestival2010.html	2018年9月13日	①,③,⑦
361	うるしょう祖師谷昇進会 街路灯完成までの道のり…　Episode Ⅳ ウルトラサマーセール2010	http://www.ulsho.com/event_ultrasummersale2010.html	2018年9月13日	①-③
362	face book　The Official Power Morphicon Convention	https://www.facebook.com/The-Official-Power-Morphicon-Convention-226350690636/	2018年9月17日	①,③,⑦
363	Power Morphicon 2018	http://officialpowermorphicon.com/	2018年9月17日	①,③,⑦
364	Legacy Lord Drakkon Figure	http://officialpowermorphicon.com/power-morphicon-exclusive-lord-drakkon/	2018年9月17日	⑦
365	Guests	http://officialpowermorphicon.com/guests/	2018年9月17日	③
366	Friday Panels	http://officialpowermorphicon.com/friday-panels/	2018年9月17日	①
367	Saturday Panels	http://officialpowermorphicon.com/saturday-panels/	2018年9月17日	①
368	Sunday Panels	http://officialpowermorphicon.com/sunday-panels/	2018年9月17日	①
369	Power Morphicon Express Is Hitting the Road	http://officialpowermorphicon.com/	2018年9月17日	記載なし
370	青木U平のマンガ「酩酊！怪獣酒場」記事一覧ページ	http://r.gnavi.co.jp/g-interview/archive/category/%E6%80%AA%E7%8D%A3%E9%85%92%E5%A0%B4	2018年9月21日	記載なし

371	『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』が10/26(木)～11/3(金)「第30回東京国際映画祭」に出展！	https://m-78.jp/news/post-4587/	2018年9月22日	⑯
372	ホテルグレイスリー新宿　ゴジラルーム現る	https://gracery.com/shinjuku/page/godzilla.html	2018年10月26日	⑤,⑦
373	これで最終回 ウルトラブ フォーエバー2.14 ウルトラの母が緊急来福！ JR博多シティバレンタイン企画でウルトラの母からバレンタインチョコがもら	https://m-78.jp/news/n-3591/	2018年10月27日	⑦,⑲
374	愛は宇宙を救う。アミュプラザ博多"史上最大のモデル"ウルトラの母のフィナーレはウルトラブなバレンタイン！	https://m-78.jp/news/n-3565/	2018年10月27日	⑦,⑲
375	パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト	http://special.pacificleague.jp/oyako2014/	2018年11月20日	⑪
376	パ・リーグ6球団共同企画 パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト	http://special.pacificleague.jp/oyako2015/	2018年11月20日	⑪
377	パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト	http://special.pacificleague.jp/oyako2016/	2018年11月20日	⑪
378	(一部修正)"川崎競馬×帰ってきた怪獣酒場" 11/20(金)ウルトラ怪獣たちが競馬場をジャック!?『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』開催！	https://m-78.jp/news/n-3433/	2018年11月20日	③,⑦,⑪
379	7/22(日)川崎競馬場にて『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』を開催！	https://m-78.jp/news/post-4859/	2018年11月20日	①,③,⑦,⑪,⑰
380	川崎競馬×怪獣酒場コラボレーションレース第二弾！ 7/28(木)「怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！ Vol.2」詳細発表！	https://m-78.jp/news/n-4011/	2018年11月20日	①,③,⑦,⑪
381	ついにウルトラ怪獣もレースに出走!? 10/9(月・祝)川崎競馬×怪獣酒場『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』vol.3開催！開催記念スタンプラリー＆勝ち宇宙人・怪獣投票キャンペー	https://m-78.jp/news/post-4516/	2018年11月20日	①-③,⑦,⑪,⑰
382	特別デザインの飛行機「ウルトラマンJET」が登場！ 日本トランスオーシャン航空にて10/30(火)運航開始	https://m-78.jp/news/post-4938/	2018年11月22日	⑫
383	史上最大のモデル「ウルトラの母」誕生！ JR博多シティ「アミュプラザ博多」リニューアルオープンでウルトラの母、バルタン星人、ダダ、ピグモンが初のファッションモデルに	https://m-78.jp/news/n-2366/	2018年11月22日	⑲
384	史上最大のファッションモデル「ウルトラの母」たちがついにファッションショーでランウェイデビュー!!	https://m-78.jp/news/n-2431/	2018年11月22日	①,⑲
385	史上最大のモデル「ウルトラの母」が初水着を披露！アミュプラザ博多&鹿児島の夏バーゲンCM動画に登場！	https://m-78.jp/news/n-2565/	2018年11月22日	⑲
386	ウルトラの母が見返り美人に！「アミュプラザ」初売り・バーゲン広告にウルトラの母とM1号が登場！！	https://m-78.jp/news/n-2875/	2018年11月22日	⑲
387	ウルトラの母がルージュの伝言…母よ、どこへ!?「アミュプラザ博多」バーゲン広告でラストメッセージ!?	https://m-78.jp/news/n-2890/	2018年11月22日	⑲
388	ウルトラの母がパリジェンヌに！「史上最大のメンズモデル」も初登場!? ウルトラの母「アミュプラザ博多」アニバーサリー広告でパリ	https://m-78.jp/news/n-2946/	2018年11月22日	⑲
389	ウルトラの母がミニスカート・ドレスで！ ピグモンはマリンルックに挑戦！「ＪＲ博多シティ」サマー広告で夏らしいトレンドファッシ	https://m-78.jp/news/n-3097/	2018年11月22日	⑲
390	ウルトラの母が夏のヴァカンス！ 父のバックハグに思わずドキッ。「アミュプラザ博多・アミュエスト」バーゲン広告にウルトラモデルと怪獣たちが	https://m-78.jp/news/n-3164/	2018年11月22日	⑲
391	ウルトラの母がクラシカルなスーツ姿に！ピグモンはレトロスタイルでネイルにも挑戦！？「ＪＲ博多シティ」オータム広告で秋のトレンドファッシ	https://m-78.jp/news/n-3276/	2018年11月22日	⑲
392	ＪＲ博多シティクリスマス広告でウルトラの母がキュートなサンタクロースに！	https://m-78.jp/news/n-3435/	2018年11月22日	⑲
393	ウルトラの母が自由の女神に!?「アミュプラザ博多・アミュエスト」初売り広告でウルトラの父との華麗なダンスを披露！	https://m-78.jp/news/n-3519/	2018年11月22日	⑲
394	すかがわ市M78光の町	http://m78-sukagawa.jp/	2019年1月12日	③
395	円谷ステーション	https://m-78.jp/	2019年1月12日	①
396	怪獣酒場	http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/	2019年1月12日	②
397	円谷プロダクションが世界中のファンに贈るファンイベント「TSUBURAYA CONVENTION 2019」が2019年末開催決定	https://m-78.jp/news/post-4965/	2019年5月22日	該当無し
398	ウルトラハワイ（@ultrahawaii）	https://www.facebook.com/ultrahawaii/?hc_ref=ARTRUKev_RObagb0CuUfXqOiJrmvFXJJ63mbaqNceFIdNSJ33lvZA2DxUVkEdnRXt2U	2019年6月11日	①-③,⑦,⑱
399	石ノ森萬画館　マンガンタンライナー各車両のご紹介	http://www.mangattan.jp/manga/liner/	2019年8月5日	⑦,⑫,⑰
400	Power Morphicon 2020	https://officialpowermorphicon.com/	2019年8月5日	該当無し

表－38.映像ソフト（全 106 ソフト）

No.	映像ソフト タイトル	収録内容タイトル	確認出来る行動特性
1	DVD「ウルトラマンフェスティバル ウルトラライブステージ6」	「真夏のウルトラ大作戦～未来へのモードチェンジ～」	①-③
2	DVD「ウルトラマンフェスティバル2004 ウルトラライブステージ7」	「激闘！第一の使者～ウルトラマンノア光誕～」	①,②,⑦,⑩
3	DVD「ウルトラマンフェスティバル2005 ウルトラライブステージ8」	「『刻を継ぐ勇者』～ウルトラマンマックス登場～」	①-③,⑦,⑨
		「トウマ・カイト隊員スペシャル映像」	②
4	DVD「ウルトラマンフェスティバル2006 ウルトラライブステージ9」	「ウルトラマン40th 集え 光の戦士たち！！」	①
		「マグ美（マグマ星人）のウルフェス会場案内」	①-③,⑦,⑩
5	DVD「ウルトラマンフェスティバル2007 ウルトラライブステージ10」	「ウルトラセブン伝説～漆黒の悪魔VS光の戦士達～」	①
		「ウルトラマンフェスティバル'95 ライブステージ1」	①-③,⑨,⑩,⑰
6	DVD「ウルトラマンフェスティバル2008 ウルトラライブステージ11」	「宇宙最大のピンチ！倒せ！悪魔の鎧」	①
		「大公開！ウルトラマンフェスティバル2008！」	②,③,⑦,⑨,⑩
7	DVD「ウルトラマンフェスティバル2009 ウルトラライブステージ12」	「翔べ！僕らのキングジョー」	①
		「怪獣人形劇 ウルトラP」	①,②
		「オリジナル・ロボット怪獣公募デザイン大賞受賞者表彰式」	①
8	DVD「ウルトラマンフェスティバル2010 ウルトラライブステージ13」	「親子の絆！灼熱のコンビネーション！！」	①
		ウルトラライブステージ第二部「守れ！光の国～闇の戦士 大襲来！～」	①
		「ウルトラライブステージ ダイジェスト」	①,②,⑩
9	DVD「ウルトラマンフェスティバル2011 ウルトラライブステージ14」	「来たぞ！我らのウルトラマン！」	①
		ウルトラライブステージ第二部「伝説の力！ウルトラパワー炸裂！」	①
		バトルステージ「すべてのひとたちのために」	①
10	DVD「ウルトラマンフェスティバル2012 ウルトラライブステージ15」	「ウルトラセブン 進め銀河の果てまでも！」	①
		ウルトラライブステージ第二部「進め！ウルトラマンゼロ 輝け！希望の光」	①
		「ウルトラマンゼロ THE LIVE 超決戦！ウルトラバトルステージ いつかみた未来」	①
11	DVD「ウルトラマンフェスティバル2012 第2部 ウルトラマンゼロ切り開け俺たちの明日」	「ウルトラマンフェスティバル2012 第2部 ウルトラマンゼロ切り開け俺たちの明日」	①
12	DVD「ウルトラマンフェスティバル2013 ウルトラライブステージ16」	第1部「零地点突破！突き進め銀河へ！！」	①
13	DVD「ウルトラマンフェスティバル2013 第2部「新たなるウルトラマン！その名はギンガ！！」	第2部「新たなるウルトラマン！その名はギンガ！！」	①-③,⑥,⑦,⑨,⑩
14	DVD「ウルトラマンフェスティバル2014 ウルトラライブステージ17」	第1部「新たなる銀河へ！～明日へのビクトリー～」	①
15	DVD「ウルトラマンフェスティバル2014 第2部「つぎの時代へ ウルトラの星かがやくとき」	第2部「つぎの時代へ ウルトラの星かがやくとき」	①,②,⑥-⑨
16	DVD「ウルトラマンフェスティバル2015」スペシャルプライスセット	第1部「X ～a new possibility（新たなる可能性） ～」	①
		第2部「絆の鎧×信じる力！」	①-③,⑧,⑨
17	DVD「ウルトラマンフェスティバル2016」スペシャルプライスセット	第1部「新たなる光 バルタン星人の襲来！」	①
		第2部「ウルトラマン episode-Z ～脅威のゼットン軍団～」	①-③,⑨
18	DVD「ウルトラマンフェスティバル2017」スペシャルプライスセット	第1部「運命を切り開け˝光と闇の戦い˝」	①
		第2部「僕たちの翼! ウルトラホーク発進!」	①-③,⑧
19	DVD「ウルトラマン誕生40年の軌跡 ウルトラマン伝説展」	「ウルトラマン誕生40年の軌跡 ウルトラマン伝説展」	②
20	DVD「ウルトラマンファンタジックライブ2007」	「ウルトラマンファンタジックライブ2007」	①
21	DVD「ウルトラマンと科学のふしぎ サイエンスバトルステージ」	「ウルトラマンと科学のふしぎ サイエンスバトルステージ」	①
22	DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラマンバトルステージ2013 時を越える勇者」	「ウルトラマンバトルステージ2013 時を越える勇者」	①-③,⑥,⑨
23	DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラマンバトルステージ2014 あしたのきみへ」	「ウルトラマンバトルステージ2014 あしたのきみへ」	①-③,⑥-⑨
24	DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラマンバトルステージ2015 あたらしい未来 きりひらく勇気」	「ウルトラマンバトルステージ2015 あたらしい未来 きりひらく勇気」	①-③,⑥-⑨
25	DVD「ウルトラマン THE LIVE ウルトラヒーローズEXPO 2016バトルステージ「明日を切り開く力」	バトルステージ「明日を切り開く力」	①-③,⑥,⑦
26	DVD「ウルトラマンTHE LIVEウルトラヒーローズEXPO 2017 バトルステージ「決戦! 光を超えて闇を討つ」」	バトルステージ「決戦! 光を超えて闇を討つ」	①-③
27	DVD「ウルトラヒーローズ THE LIVEアクロバトルクロニクル2015」	ウルトラヒーローズ THE LIVEアクロバトルクロニクル	①
28	DVD「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトル クロニクル2016 ˝心の絆˝」	ウルトラヒーローズ THE LIVEアクロバトルクロニクル 2016	①
29	総天然色ウルトラQ Blu-ray BOX Ⅱ	Ⅰ.「総天然色ウルトラQ」の歩み（45周年プロモーションダイジェスト）	①-③,⑯
		Ⅲ.「ぶらりカネゴンの旅」	②,⑥,⑦,⑲
30	快獣ブースカ COMPLETR DVD-BOX	「ぶらりブースカの旅 ウルトラマンランド編」	①-③,⑤-⑦,⑩
		「ぶらりブースカの旅 巣鴨地蔵通り商店街 前篇」	⑭
		「ぶらりブースカの旅 巣鴨地蔵通り商店街 後篇」	⑭
31	DVD「ウルトラマンタロウ」vol.4	カラコレ版円谷プロCM 二子玉川園のイベント告知CM	②
32	DVD「ウルトラマンレオ」vol.3	ウルトラマンレオ第9話「宇宙にかける友情の橋」	②
33	DVD「ミラーマン vol,10」	ミラーファイト2012第1話「ウルトラマンランドの決斗」	②,⑩
		ミラーファイト2012 番外篇	①,③
34	DVD「ジャンボーグA」vol.8	ジャンボーグA第37話「出現！恐怖の怪鳥エレキバード」	②
35	DVD「ジャンボーグA」vol.10	「ウルティメイトパトロール～超時空的握手会～」	①-③,⑩
		「TAC隊員奇跡の大集結！ウルトラマンA 40周年記念」	①-③,⑦
36	DVD「ウルトラマンマックス」vol.3	Making＃2〈飛翔せよ！チームDASH〉	①
37	DVD「ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟」メモリアルボックス	ウルトラマン☆トレイン	③,⑫
38	DVD「ウルトラギャラクシー大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY」vol.1	メイキング Ⅰ 新たなる旅立ち編	①,⑯
39	ウルトラマンサーガBlu-rayメモリアルボックス	イベント・完成披露・公開初日映像	①,⑯
40	ウルトラマン Blu-rayBOX Ⅰ	ウルトラマン誕生 ウルトラマン前夜祭	①

41	ウルトラマン Blu-rayBOXⅢ	「甦る銀色の巨人－半世紀を経て地球に舞い降りたウルトラマン-」	①,⑯
42	ウルトラセブン Blu-rayBOXⅠ	ウルトラマン創世紀展 森次晃嗣トークショー in浜松市美術館	①
43	ウルトラセブン Blu-rayBOXⅡ	東京国際映画祭『ウルトラセブン』特別上映会トークショー	①
44	ウルトラマンガイア Complete Blu-ray BOX	アスカ＆我夢・藤宮 スペシャルトークショー ダイジェスト	①
45	ウルトラマンギンガS Blu-rayBOXⅠ	メイキング第1話～第8話	該当無し
46	ウルトラマンX Blu-rayBOXⅡ	6/18製作発表会・ダイジェスト映像！	①-③,⑦
47	ウルトラマンオーブ Blu-rayBOXⅠ	『ウルトラマンオーブ』in東京おもちゃショー製作発表・ロングバージョン！	該当無し
48	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 東京下町ぶらり作戦」	「東京下町ぶらり作戦」	⑭
		柴又 ハイカラ横丁（OA未公開）	⑭
		両国国技館通り（OA未公開）	⑭
		「ウルトラマンで科学する！」イベントレポート	②
49	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 鎌倉/江の島/京都編」	第1話「狙われた鎌倉」	⑭
		第2話「2015年の挑戦～江の島～」	②,⑥,⑦,⑭
		第3話「ウルトラ怪獣散歩 西へ 京都・前編」	⑭
		第4話「ウルトラ怪獣散歩 西へ 京都・後編」	⑭
50	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 大阪/お台場/尾道・宮島編」	第5話「ウルトラ怪獣散歩 西へ 大阪編」	⑭
		第6話「湾岸警備命令」	⑭
		第7話「尾道頂きます！」	⑭
		第8話「安芸の宮島頂きます！」	⑭
51	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 横浜/新潟編」	第9話「大爆竹五秒前～横浜中華街～」	⑭
		第10話「盗まれたミナト・ミライ」	⑭
		第11話「ウルトラ怪獣散歩餅つき大作戦！～新潟～」	⑭
		第12話「さらばウルトラ怪獣散歩～新潟～」	⑭
52	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 伊豆/須賀川・会津若松編」	第13話「恐怖の伊豆スカイライン87」	⑭
		第14話「逆転！ズーイィ只今参上～伊豆～」	⑭
		第15話「ウルトラ怪獣散歩のおやじ～福島・須賀川～」	②,③,⑥,⑦,⑰
		第16話「会津総進撃」	⑰
53	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 上野/深川・月島/長崎編」	第17話「パンダを返して！～上野～」	⑭
		第18話「ウルトラ怪獣散歩 月島に死す」	⑭
		第19話「死刑！カステラ5兄弟～長崎～」	⑭
		第20話「風力エネルギー源Xを倒せ～長崎～」	⑭
54	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 千葉/巣鴨・蒲田 編」	第21話「マックス号房総せよ」	⑭
		第22話「日本名作民話シリーズ！うまいぞ！桃太郎！～千葉～」	⑭
		第23話「禁じられた赤パンツ ～巣鴨～」	⑭
		第24話「史上最大の羽根つき餃子 ～蒲田～」	⑭
55	DVD「ウルトラ怪獣散歩 空想特撮散歩シリーズ 都電荒川線沿線/福岡/佐賀 編」	第25話「プロジェクト・プラーリ途中下車~都電荒川線~」	⑭
		第26話「都電兄弟 荒川兄弟 勝利の時」	⑭
		第27話「ウルトラ怪獣散歩 博多へ」	⑭
		第28話「夏の怪奇シリーズ まぼろしの佐賀女」	⑭
56	DVD「激闘バトル！ウルトラマンタカミー」	タカミーVSウルトラヒーロー（ライブ共演映像）	①
57	Blu-ray「三大怪獣地球最大の決戦【60周年記念版】」	メイキング8mmフィルム	①
58	Blu-ray「GODZILLA ゴジラ[2014] 完全数量限定生産5枚組」	怪獣プラネットゴジラ	⑩
59	Blu-ray「シン・ゴジラ Blu-ray特別版4K Ultra HD Blu-ray同梱4枚組」	「シン・ゴジラジェット」お披露目式	⑫
		ワールドプレミア レッドカーペットセレモニー	①,②
		公開直前イベント in 大阪	①
		初日舞台挨拶	①,⑯
		発生可能上映	①,⑯
		女性限定鑑賞会議	①,⑯
		全国一斉！発生可能上映	①,⑯
60	「仮面ライダー Blu-ray BOX vol.4」	仮面ライダー誕生20周年 東映テレビヒーロー・フィルム・フェスティバル'91 朝までヒーロー	①
61	DVD「仮面ライダーSPECIAL」	「全員集合！7人の仮面ライダー！！」	該当無し
62	仮面ライダー THE FIRST＆THE NEXT Blu-ray	公開初日舞台挨拶 東京	①,⑯
		公開初日舞台挨拶 関西	①,⑯
		第18回東京国際映画祭	①,⑯
		ベイコム映画試写会	①,⑯
		HMVイベント	①,②
		スペシャルナイト（新宿バルト9 2007.10.19）	①,②,⑦,⑯
		ISSA×「仮面ライダーTHE NEXT」インストアイイベント（タワーレコード渋谷店 2007.10.21）	①
		初日舞台挨拶 関東（2007.10.27）	①,⑯
		初日舞台挨拶 関西（2007.11. 3～4）	①,⑯
		公開記念イベント（新宿ロフトプラスワン 2007.10.29）	①

63	DVD「劇場版仮面ライダーブレイド MISSING ACE」	初日舞台挨拶(丸の内)	①⑯
64	DVD「劇場版仮面ライダー電王&キバ クライマックス刑事」	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
65	DVD「劇場版仮面ライダーキバ 魔界城の王」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
66	Blu-ray「さらば仮面ライダー電王 ファイナル・カウントダウン」コレクターズパック	「特別先行上映」舞台挨拶 ー夜限定運行	①⑯
		公開初日舞台挨拶(T・ジョイ大泉/新宿バルト9)	①⑯
67	Blu-ray「劇場版超仮面ライダー電王＆ディケイド 鬼ヶ島の戦艦」コレクターズパック	超仮面ライダー電王スペシャルステージ 2009年5月3日キャストトークショー	①
		超仮面ライダー電王スペシャルステージ 2009年5月4日キャストトークショー イマジンLIVE♪「超CLIMAX JUMP」	①
		4.23完成披露試写会 舞台挨拶	①⑯
		5.1公開初日 舞台挨拶	①⑯
		5.2 公開2日目 舞台挨拶	①⑯
68	Blu-ray「劇場版仮面ライダーディケイド オールライダー対大ショッカー」コレクターズパック	大ショッカー党結党集会	①
		完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
69	Blu-ray「仮面ライダー仮面ライダー仮面ライダー超電王3」コレクターズボックス	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		EPISODE RED公開初日舞台挨拶	①⑯
		EPISODE BLUE公開初日舞台挨拶	①⑯
		EPISODE YELLOW公開初日舞台挨拶	①⑯
		メトロデンライナー出発式	③⑫
70	Blu-ray「劇場版仮面ライダーオーズ 将軍と21のコアメダル」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
71	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー オーズ＆タブル feat.スカル MOVIE大合戦CORE」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
72	Blu-ray「仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大戦」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
73	Blu-ray「劇場版仮面ライダーフォーゼ みんなで宇宙キターッ！」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
		大ヒット御礼舞台挨拶	①⑯
74	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー ウィザード&フォーゼ MOVIE大戦アルティメイタム」パーフェクトパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
75	Blu-ray「劇場版 仮面ライダーウィザード イン マジックランド」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
76	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー ウィザード&鎧武 天下分け目のMOVIE大合戦」コレクターズパック	出陣式	①⑯
		完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
77	Blu-ray「平成ライダー対昭和ライダー仮面ライダー大戦featスーパー戦隊」コレクターズパック	完成披露スペシャルイベント	①
		完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
78	Blu-ray「劇場版 仮面ライダー鎧武 サッカー大決戦! 黄金の果実争奪杯！」コレクターズパック	完成披露記者会見	①⑯
		完成披露プレミア上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
79	Blu-ray「仮面ライダー×仮面ライダー ドライブ&鎧武 MOVIE大戦フルスロットル」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
80	Blu-ray「スーパーヒーロー大戦GP 仮面ライダー3号」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
81	Blu-ray「鎧武/ガイム外伝 仮面ライダー斬月/仮面ライダーバロン」ロックシード版	上映イベント舞台挨拶	①⑯
82	Blu-ray「仮面ライダー平成ジェネレーションズ Dr.パックマン対エグゼイド&ゴースト with レジェンドライダー」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
		大ヒット御礼舞台挨拶	①⑯
83	Blu-ray「仮面ライダー×スーパー戦隊 超スーパーヒーロー大戦」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶	①⑯
84	DVD「爆竜戦隊アバレンジャー」vol.1	特別プレミア発表会	①
85	特捜戦隊デカレンジャーコンプリートBlu-ray1	緊急プレミア発表会 特捜戦隊デカレンジャー出動！	①
86	Blu-ray「特捜戦隊デカレンジャー 10YEARS AFTER」スペシャル版	製作記念舞台挨拶「魔法戦隊マジレンジャーVSデカレンジャー」上映会	①⑯
87	DVD「魔法戦隊マジレンジャー」vol.1	特別プレミア発表会 マジ誕生！魔法戦隊マジレンジャー	①
88	DVD「轟轟戦隊ボウケンジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	①
89	侍戦隊シンケンジャーコンプリートBlu-ray1	新番組特別プレミア発表会	①
90	DVD「天装戦隊ゴセイジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	①
91	Blu-ray「海賊戦隊ゴーカイジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	①

92	Blu-ray「劇場版海賊戦隊ゴーカイジャーTHE MOVIE　空飛ぶ幽霊船」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開2日目舞台挨拶	①⑯
		「宇宙帝国ザンギャックナイト」	①
		「海賊戦隊ゴーカイジャーナイト」	①
93	Blu-ray「劇場版海賊戦隊ゴーカイジャーVS宇宙刑事ギャバン THE　MOVIE」コレクターズパック	完成披露試写会プレイベント	①
		完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		大葉健二VS串田アキラトークイベント	①
		公開初日舞台挨拶	①⑯
94	Blu-ray「特命戦隊ゴーバスターズ」vol.1	新番組特別プレミア発表会	①
95	Blu-ray「劇場版特命戦隊ゴーバスターズ　THE MOVIE　東京エネタワーを守れ！」コンプリートパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開2日目舞台挨拶	①⑯
96	Blu-ray「劇場版特命戦隊ゴーバスターズVS海賊戦隊ゴーカイジャー THE MOVIE」コレクターズパック	完成披露試写会スペシャルイベント	①
		完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶上映前	①⑯
		公開初日舞台挨拶上映後	①⑯
97	Blu-ray「獣電戦隊キョウリュウジャー」vol.1	新番組特別プレミア発表会	①
98	Blu-ray「劇場版獣電戦隊キョウリュウジャー　ガブリンチョOFミュージック」コレクターズパック	完成披露試写会舞台挨拶	①⑯
		公開2日目舞台挨拶	①⑯
99	Blu-ray「獣電戦隊キョウリュウジャーVSゴーバスターズ　恐竜大決戦！　さらば永遠の友よ」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		公開初日舞台挨拶上映前	①⑯
		公開初日舞台挨拶上映後	①⑯
100	Blu-ray「烈車戦隊トッキュウジャー」VOL.1	新番組特別プレミア発表会	①
		ドキュメント オブ プレミア発表会	①
101	Blu-ray「烈車戦隊トッキュウジャー THE MOVIE ギャラクシーラインSOS」コレクターズパック	完成披露プレミア上映会舞台挨拶	①⑯
		公開2日目舞台挨拶 上映前	①⑯
		公開2日目舞台挨拶 上映後	①⑯
		夏映画スペシャルイベント	①
102	Blu-ray「手裏剣戦隊ニンニンジャーVSトッキュウジャー THE MOVIE 忍者・イン・ワンダーランド」コレクターズパック	完成披露イベント	①
		完成披露上映会舞台挨拶	①⑯
		前夜祭舞台挨拶	①⑯
103	Blu-ray「手裏剣戦隊ニンニンジャー THE MOVIE 恐竜殿さまアッパレ忍法帖!」コレクターズパック	完成披露スペシャルイベント	①
		完成披露上映会舞台挨拶	①
		公開2日目舞台挨拶	①
104	Blu-ray「動物戦隊ジュウオウジャーVSニンニンジャー 未来からのメッセージfromスーパー戦隊」コレクターズパック	完成披露上映会舞台挨拶	①
		公開初日舞台挨拶	①
105	DVD「Mighty Morphin Power Rangers: The Complete Series」	Power Rangers Live: World Tour	①
106	DVD「Super Sentai Zyuranger」	"Power Progenitors:Super Sentai Zyuranger"Power Morphicon 2014 Panel	①

表－39.現地調査対象地リスト（全 177 開催地）

No.	特撮ツーリズム 調査対象イベント及び施設	開催期間及び開催日	確認できる形態
1	円谷英二 特撮の軌跡展「ウルトラQ・ウルトラマン・ウルトラセブン」特撮の神様が遺した宝物	2014年4月2日～4月14日	②,⑦,⑧
2	スペシャルイベント「毒蝮三太夫さん＆ひし美ゆり子さんトークショー」	2014年4月4日	①
3	東京おもちゃショー2014	2014年6月14日・6月15日	①-③,⑦,⑧,⑩
4	ウルトラマンタロウのサイン本お渡し＆握手会	2014年6月28日	③,⑦
5	怪獣絵師開田裕治と円谷特撮の世界	2014年7月3日～7月21日	②,⑦
6	G博 ゴジラ東京に現る	2014年7月20日～7月29日	②,⑦
7	ウルトラマンで科学する!-EXHIBITION ON ULTRAMAN-	2014年7月23日～8月3日	②,④,⑦,⑧,⑩
8	ウルトラマンフェスティバル2014	2014年7月25日～8月31日	①-④,⑥-⑩,⑰
9	ウルトラマンフェスティバル2014 レジェンド5光の国に大集結！！	2014年7月30日	①,③,⑦
10	ウルトラマンフェスティバル2014 ウルトラヒロインとアフター6	2014年8月5日	①,③,⑦
11	大ゴジラ特撮展 ゴジラ60年激闘伝説	2014年8月2日～8月17日	②,⑦,⑧
12	「ウルトラハワイ」ツアー	2014年8月23日～8月28日	②,④,⑦,⑱
13	ツーリズムEXPOジャパン	2014年9月27日・28日	①,②,④,⑱
14	TENQ×ウルトラマン企画展-宇宙怪獣から読み取るメッセージ	2014年10月9日～2015年2月15日	②,④,⑦
15	ウルトラマンギンガワールド	2014年10月3日～10月14日	①-③,⑦-⑩
16	ウルトラ秋の大作戦！～まるごと1日ウルトラマン～	2014年10月11日	①-③,⑦
17	HD Remaster2.0『 ウルトラセブン』～円谷特撮への誘い！～	2014年10月27日	①,②,⑦,⑯
18	ウルトラハワイファイナルツアー2014	2014年12月18日～12月22日	①-⑤,⑦,⑱
19	お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！	2014年12月26日～2015年1月7日	①-④,⑥-⑩
20	JR東日本 来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー	2015年1月13日～2月27日	②,④,⑦,⑰,⑲
21	JR東日本 来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー オープニングセレモニー	2015年1月13日	①,③,④,⑦,⑰,⑲
22	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル	2015年3月25日～3月30日	①-③,⑦
23	第23弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	2015年4月3日・4月4日・4月5日	①,③,⑦
24	ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ2015	2015年4月11日・4月12日	①-③,⑦,⑲
25	スーパーフェスティバル68	2015年4月26日	①-③,⑦,⑱
26	東京おもちゃショー2015	2015年6月20日・6月21日	①-③,⑦,⑧,⑩
27	ウルトラマン商店街誕生10周年記念イベント	2015年7月5日	①-③,⑥,⑦,⑰,⑲
28	ウルトラマンフェスティバル2015	2015年7月24日～8月30日	①-③,⑥-⑩,⑰
29	ウルトラマンフェスティバル2015 アスカ＆我夢・藤宮スペシャルトークショー	2015年8月5日	①,③
30	ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2015-2016	2015年8月8日	①-③,⑦
31	ウルトラマンフェスティバル2015 杉浦太陽スペシャルナイト	2015年8月8日	①,③,⑦
32	仮面ライダー×スーパー戦隊 Wヒーロー夏祭り2015	2015年8月8日～8月23日	①-③,⑥-⑧,⑩
33	円谷プロダクションクリエイティブジャム50FINAL	2015年8月22日～8月30日	②,⑦
34	ボイジャーライブ inウルフェス2015	2015年8月23日	①,③,⑦
35	ウルトラマンフェスティバル2015 特別イベント スペシャルレジェンドナイト	2015年8月28日	①,③,⑦
36	スーパーフェスティバル69	2015年9月27日	①-③,⑦
37	ウルトラマンXワールド IN東京ソラマチ	2015年10月1日～10月12日	①-③,⑦-⑩,⑰
38	帰ってきたウルトラマンの世界	2015年10月15日～10月20日	①-③,⑦,⑰
39	大黄金展	2015年10月15日～10月20日	②,⑦
40	ウルトラマンシンフォニーコンサート2015	2015年11月2日	①,②,⑦
41	第24弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	2015年11月21日・11月22日・11月23日	①,③,⑦
42	ウルトラヒーローバトル劇場10周年特別企画 ナイス&ゼアスのトークバトル劇場！	2015年11月22日	①,③,⑦
43	ウルトラヒーローズEXPO ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ	2015年12月31日～2016年1月11日	①-④,⑥-⑩
44	スーパーフェスティバル70	2016年1月10日	①-③,⑦
45	JR東日本 帰って来たぞ！我らのウルトラマンスタンプラリー	2016年1月12日～2月26日	②,④,⑥,⑦,⑰,⑲
46	手裏剣戦隊ニンニンジャーショー シリーズ第5弾！激アツ！これぞラストニンジャの戦いだ！！	2016年1月23日～3月6日までの土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
47	スーパー戦隊シリーズ40作・新番組プレミア発表会 本能覚醒！動物戦隊ジュウオウジャー	2016年1月23日・1月24日	①-③,⑦,⑩
48	ウルトラヒーローワールド in 浅草花やしき	2016年2月6日～2月29日	①-③,⑥,⑦,⑩,⑮,⑰
49	ウルトラマン 時を超える珠玉のストーリー展 ～未来へ繋ぐメッセージ～	2016年2月19日～4月3日	②,④,⑦,⑯
50	『劇場版ウルトラマンX』公開記念 ウルトラ上映祭	2016年3月3日	①-③,⑦,⑯
51	動物戦隊ジュウオウジャーショー シリーズ第1弾！シアターGロッソに現る！！	2016年3月12日～4月17日までの土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
52	ウルトラヒーローバトル劇場！第25弾！	2016年4月1日・4月2日・4月3日	①,③,⑦
53	スーパーフェスティバル71	2016年4月24日	①-③,⑦
54	KAMEN RIDER 45th EXHIBITION SHOP「HENSIN」	2016年4月21日～5月9日	②,⑦
55	ウルトラマンフェスティバル2016記者発表イベント	2016年5月15日	①,③,⑦
56	ウルトラマン絵付けイベント	2016年5月28日・5月29日	⑦,⑩
57	動物戦隊ジュウオウジャーショー シリーズ第2弾！友情パワー全開！5人の絆をなめるなよ！！	2016年4月23日～6月12日までの土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
58	東京スカイツリー(R) ウルトラ作戦第634号	2016年6月10日～7月21日	①-④,⑥,⑦
59	東京おもちゃショー2016	2016年6月11日・6月12日	①,③,⑦,⑧,⑩
60	ウルトラトークライブ「伝説と未来を繋ぐ―これがウルトラマンの世界だ」	2016年7月9日	①,②,⑦

61	ウルトラトークライブ「ウルトラ・ディープトーク」	2016年7月9日	①,②,⑦
62	ウルトラトークライブ「昭和のウルトラ・ファーストエピソード」	2016年7月9日	①,②,⑦
63	ウルトラトークライブ「ウルトラ・マニアックトーク」	2016年7月9日	①,②,⑦
64	ウルトラトークライブ「伝説の現場を撮ったカメラマン」	2016年7月10日	①,②,⑦
65	ウルトラトークライブ「スペシウム光線を書いたレジェンド」	2016年7月10日	①,②,⑦
66	ウルトラマンの日 in 杉並公会堂「THE LEGENDS 1966」	2016年7月10日	①,②,⑦
67	バルタン星人 放送50年記念祭	2016年7月16日・7月17日	①,③,⑦,⑯
68	ウルトラマンフェスティバル2016	2016年7月22日～8月28日	①-③,⑥-⑩,⑰
69	シンゴジラ対ナンジャタウンーゴジラ、ナンジャタウンに襲来！ー	2016年7月15日～9月25日	②,⑥,⑦,⑩
70	動物戦隊ジュウオウジャーショーシリーズ第3弾！真夏のアニマルフェスティバル！ ジュウオウザワールド登場！！	2016年7月16日～18日、7月23日～8月28日は毎日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
71	「ウルトラマンフェスティバル2016」特別イベント「ウルトラ怪獣大研究会」	2016年7月24日	①,③,⑦
72	「ウルトラマンフェスティバル2016」 特別イベント 円谷特撮ヒーローシリーズ祭！	2016年7月29日	①,⑦
73	チャリティーナイト 平成ウルトラヒーロー緊急集結！～本当の戦いは、これからだぜ！～	2016年8月3日	①,③
74	ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2016-2017	2016年8月6日	①-③,⑦
75	仮面ライダー45th×スーパー戦隊40 Wヒーロー夏祭り2016	2016年8月10日～8月25日	①-③,⑥-⑧,⑩
76	「ウルトラマンフェスティバル2016」特別イベントウルトラマン ソング フェスティバル 2016	2016年8月20日	①,③,⑦
77	「ウルトラマンフェスティバル2016」 特別イベント レジェンドナイト	2016年8月26日	①,⑦
78	東京シティビューラウンジ特別企画 大都市に迫る空想脅威展	2016年9月24日～11月13日	②,⑦
79	スーパーフェスティバル72	2016年9月25日	①-③,⑦
80	動物戦隊ジュウオウジャーショーシリーズ第4弾！伝説大解放！ジュウオウイーグル覚醒！！	2016年9月17日～2017年1月3日、12月23日～1月3日は毎日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
81	ウルトラマンニュージェネレーションワールド	2016年10月1日～10月11日	①-③,⑦-⑩,⑰
82	ウルトラマンゼロナイト	2016年10月10日	①,③,⑦
83	ウルトラハロウィンパーティ	2016年10月1日～10月31日	②,⑦
84	ウルトラマンオーブ ヒーローグリーティング	2016年10月2日	②,③,⑦
85	東京国際映画祭 シン・ゴジラ	2016年10月30日	①,⑯
86	東京国際映画祭 キングコング対ゴジラ4Kデジタル	2016年11月1日	①,③,⑯
87	TENQ×ウルトラセブン企画展 ウルトラアイからみた宇宙	2016年11月10日～2017年3月5日	②,④,⑦
88	レッドマン 赤いあいつ展～Exhibition Of REDMAN～	2016年11月17日～11月28日	②,⑦
89	「ウルトラヒーローズ EXPO 2017」開催直前イベント	2016年12月4日	①-③,⑦
90	ウルトラヒーローズEXPO 2017 ニューイヤーズフェスティバル IN東京ドームシティ	2016年12月29日～2017年1月9日	①-④,⑥-⑩
91	スーパーフェスティバル73	2017年1月8日	①-③,⑦
92	ウルトラマンディスカバリーズ～世界に降り立った光の巨人伝～	2017年1月12日～1月30日	②,⑦
93	ゴジラ・ザ・リアル 4-D	2017年1月13日～6月25日	⑦,⑩
94	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016	2017年1月28日	①,②,⑦
95	動物戦隊ジュウオウジャーショーシリーズ第5弾！ジュウオウザファイナル！王者の絆をなめるなよ！！	2017年1月28日～3月12日までの土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
96	ウルトラマンゼロ握手撮影会	2017年2月4日	③,⑦
97	ぼくたちのトクサツ！	2017年3月5日～3月12日	②,⑦
98	ウルトラマンオーブ ミュージアム	2017年3月10日～4月2日	②,⑦
99	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第1弾 シアターGロッソに現る！！	2017年3月18日～3月20日、3月25日～4月5日、4月8日・4月9日	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
100	第27弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	2017年3月31日・4月1日・4月2日	①,③,⑦
101	ウルトラマン超闘士激伝祭	2017年4月1日～4月24日	②,⑦
102	ウルトラマン80スタッフとの会食パーティー	2017年4月22日	③,⑥,⑦
103	スーパーフェスティバル74	2017年4月23日	①-③,⑦
104	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第2弾 究極の選択！天秤にかけられた友情！！	2017年4月29日～7月2日の土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
105	ウルトラマンフェスティバル2017記者発表イベント	2017年5月13日	①,③,⑦
106	東京おもちゃショー2017	2017年6月3日・6月4日	①,②
107	ウルトラゾーン 墓場の大怪獣展	2017年6月29日～7月18日	②,⑦
108	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第3弾 救世主覚醒！新たな伝説のはじまり！！	2017年7月15日・7月16日・7月17日、7月22日から8月27日は毎日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
109	ウルトラマンフェスティバル2017	2017年7月21日～2017年8月28日（8月8日のみ休館）	①-③,⑥-⑩,⑰
110	ダイナ放送20年記念 スーパーGUTS大集結！	2017年7月27日	①,③
111	仮面ライダー×スーパー戦隊 Wヒーロー夏祭り2017	2017年8月9日～8月18日	①-③,⑥-⑧,⑩
112	ウルトラトークライブ みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェス	2017年8月10日	①
113	電光超人グリッドマン スペシャルナイト	2017年8月23日	①,⑦
114	怪獣娘～ウルトラ怪獣擬人化計画～帰ってきたウルトラ怪獣大研究会	2017年8月24日	①,③,⑦
115	ウルトラマンフェスティバル2017特別イベント「レジェンドナイト」	2017年8月25日	①,③,⑦
116	スーパーフェスティバル75	2017年9月24日	①-③,⑦
117	ウルトラハロウィンパーティ	2017年10月1日～10月31日	②
118	ウルトラハロウィンオリジナルショー	2017年10月8日	①,②,⑦
119	第30回東京国際映画祭『ウルトラマンゼロVR 大都会の戦慄』	2017年10月26日～11月3日	⑯
120	第30回東京国際映画祭『ウルトラファイトVR 親子タッグ！ 激闘の荒野に花束を』	2017年10月26日～11月3日	⑯
121	第28弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	2017年11月18日・11月19日	①,③,⑦

122	ボイジャーアコースティック ウルトラライブ2017	2017年11月26日	①,⑦
123	ウルトラヒーローズEXPO2018 ニューイヤーズフェスティバル IN東京ドームシティ	2017年12月29日～2018年1月8日	①-④,⑥-⑩
124	スーパーフェスティバル76	2018年1月7日	①-③,⑦
125	宇宙戦隊キュウレンジャー シリーズ第5弾 キュウキョクギャラクシー！宇宙は俺たちがとりもどす！！	2018年1月27日～3月11日までの土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
126	ウルトラマンネオス展	2018年3月1日～2018年3月18日	②,⑦
127	ジーッとしないで、応援しようぜ!『劇場版 ウルトラマンジード つなぐぜ! 願い!!』	2018年3月2日	①,⑦,⑯
128	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー シリーズ第1弾 シアターGロッソに現る！！	2018年3月17日、3月18日、3月21日、3月24日～4月5日、4月7日、4月8日	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
129	ウルフェス2018開催記念 ウルトラヒーロースペシャルステージ	2018年3月18日	①
130	第29弾！ウルトラヒーローバトル劇場！	2018年3月30日～4月1日	①,③,⑦
131	ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ 2018	2018年4月21日・4月22日	①-③,⑦,⑩,⑰
132	ウルトラマンフェスティバル2018記者発表イベント	2018年5月12日	①,③,⑦
133	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー シリーズ第2弾 快盗はギャングラー！？国際警察、実力を行使せよ！！	2018年4月28日～6月17日の土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
134	東京おもちゃショー2018	2018年6月9日・6月10日	①,②
135	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショーシリーズ第3弾 華麗なる新戦士！ルパンエックス・パトレンエックス！！	7月14日・15日・16日・7月21日～8月26日は毎日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
136	ウルトラマンフェスティバル2018	2018年7月20日～8月27日	①-③,⑥-⑩,⑰
137	「SSSS.GRIDMAN」スペシャルナイト	2018年7月25日	①
138	ウルトラトークライブ「みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェスVol.2」	2018年7月26日	①
139	TAMASHII NATIONS presentsニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイ	2018年8月1日	①,⑦
140	ウルトラマン　ダークヒーロー　スペシャルナイト	2018年8月15日	①,③,⑦
141	『ウルトラマンレオ』 Blu-ray BOX発売記念プレミアムイベント スペシャルトークショー ～レオの映像特典公開収録！～	2018年8月16日	①,③,⑦
142	「怪獣娘～ウルトラ怪獣擬人化計画～」スペシャルイベント 光と闇の激突!?	2018年8月20日	①,③,⑦
143	ウルトラマンガイア放送20年記念　超時空のフェスティバル	2018年8月23日	①,③,⑦
144	仮面ライダー45th×スーパー戦隊40 Wヒーロー夏祭り2018	8月4日～8月23日	①-③,⑥-⑧,⑩
145	ウルトラマンルーブスペシャルナイト	2018年8月25日	①,③,⑦
146	快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショーシリーズ第4弾 見せろ！2つの団結の力！ルパントリコロール・パトレンU号！！	2018年9月15日～2019年1月6日までの土日祝日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
147	スーパーフェスティバル78	2018年9月23日	①-③,⑦
148	DARKNESS HEELS WORLD	2018年10月18日～10月31日	①-③,⑦
149	TAMASHII NATION 2018	2018 年10月26日～10月28日	②,⑦
150	TOKYO COMIC CON2018	2018年11月30日・12月1日・12月2日	①-③,⑦
151	特撮のDNA展	2018年12月19日～1月27日	②,⑦
152	ウルトラマンティガ・ダイナ・ガイア in なぞともカフェ	2018年12月21日～2019年4月7日	⑦,⑩
153	SSSS.GRIDMAN SHOW01	2019年2月3日	①,⑦
154	NEW GENERATION ARTWORKS ウルトラマンゼロから10年	2019年3月1日～3月17日	②,⑦
155	アニメ「ULTRAMAN」ワールドプレミア上映会@丸の内ピカデリー	2019年3月31日	①,⑦,⑯
156	騎士竜戦隊リュウソウジャー シリーズ第1弾 シアターGロッソに現る！！	2019年3月16日～4月21日の土日祝日・3月23日～4月7日は毎日公演	①-③,⑥-⑧,⑩,⑯
157	ウルトラヒーローバトル劇場！スペシャル	2019年4月5日～4月7日	①,③,⑦
158	ウルトラヒーローズEXPO 2019 in SUKAGAWA	2019年4月20日・4月21日	①-③,⑦
159	ウルトラヒーローズEXPO ニュージェネレーションワールド in 光が丘IMA	2019年5月2日～5月6日	①,②,⑦,⑰
160	「ウルトラマンフェスティバル2019」発表イベント	2019年5月11日	①,③,⑦
161	ゴジラ対エヴァンゲリオン THE REAL 4D	2019年5月31日～8月25日	⑦,⑩
162	東京おもちゃショー2019	2019年6月15日・6月16日	①,②
163	ウルトラマンフェスティバル2019	2019年7月19日～8月6日、8月8日～8月26日	①-③,⑥-⑨,⑰
164	ウルトラマンネクサス スペシャルナイト 再会-リユニオン-	2019年7月23日	①,⑦
165	S.H.Figuartsニュージェネレーション勢ぞろい記念スペシャルトークショー by TAMASHII NAT	2019年7月25日	①,③,⑦
166	BD＆DVD発売記念！『劇場版ウルトラマンR／B セレクト！絆のクリスタル』スペシャルナイト	2019年7月29日	①-③,⑦,⑧
167	DARKNESS HEELS スペシャルナイト	2019年8月15日	①,③,⑦
168	東映ヒーローワールド	2013年12月20日～2017年1月15日まで連日営業	②,⑥,⑦,⑩
169	ウルトラマンスタジアム	2004年3月20日から2007年11月4日まで連日営業、2008年3月20日より連日営業	①-③,⑦
170	怪獣酒場	2014年3月14日～2015年3月31日,2016年3月15日より連日営業	②,⑥,⑦
171	帰ってきた怪獣酒場	2015年4月15日～2016年3月13日	②,⑥,⑦
172	元祖怪獣酒場	2015年4月25日～2016年5月31日	②,⑥,⑦
173	怪獣酒場新橋蒸留所	2017年5月21日より連日営業	②,⑥,⑦
174	KAMEN RIDER THE DINER	2011年4月27日より連日営業	②,⑥,⑦
175	ウルトラマン商店街	2005年4月3日より連日営業	②,⑥,⑦,⑰
176	福島県須賀川市	2013年5月5日より「M78星雲光の国」と姉妹都市提携	②,⑥,⑦,⑰,⑲
177	石ノ森萬画館	2013年3月23日にリニューアルオープン後、火曜日を除き連日営業	②,④,⑥,⑦,⑨,⑩,⑯,⑲

以上、表－35 から表－39 にかけて、各特撮ツーリズムの調査対象資料（「1.文献」、「1.文献（新聞・会報誌・パンフレット・その他）」、「2.Web サイト」、「3.映像ソフト」）及び、現地調査対象地にて全 19 行動特性を振り分けたが、各資料及び調査対象地における、行動特性のデータを総計すると、表－40、41 の結果を得ることができた。

表－40.資料調査・現調査　各行動特性総計リスト

行動特性	文献	文献（その他）	Webサイト	映像ソフト	現地調査	総計
①ショー型	152	65	153	169	130	669
②展示型	87	37	54	36	114	328
③交流型	77	25	103	23	104	332
④教育型	2	4	0	0	17	23
⑤宿泊型	5	3	1	1	1	11
⑥飲食型	33	14	41	10	44	142
⑦限定商品型	83	37	119	16	160	415
⑧なりきり型	3	14	2	5	39	63
⑨工作型	4	7	4	10	14	39
⑩アミューズメント型	34	30	49	10	45	168
⑪スポーツ観戦型	7	3	7	0	0	17
⑫乗り物型	10	1	2	3	0	16
⑬園内風景型	11	1	0	0	0	12
⑭ロケ地訪問型	20	7	0	31	0	58
⑮ロケ参加型	7	6	1	0	0	14
⑯映像作品観賞型	18	3	16	82	28	147
⑰スタンプ収集型	12	20	29	3	17	81
⑱観光大使型	2	0	1	0	4	7
⑲イメージキャラクター型	6	0	22	1	7	36

表－41.各行動特性　総計ランキング

順位	行動特性	総計
1	①ショー型	669
2	⑦限定商品型	415
3	③交流型	332
4	②展示型	328
5	⑩アミューズメント型	168
6	⑯映像作品観賞型	147
7	⑥飲食型	142
8	⑰スタンプ収集型	81
9	⑧なりきり型	63
10	⑭ロケ地訪問型	58
11	⑨工作型	39
12	⑲イメージキャラクター型	36
13	④教育型	23
14	⑪スポーツ観戦型	17
15	⑫乗り物型	16
16	⑮ロケ参加型	14
17	⑬園内風景型	12
18	⑤宿泊型	11
19	⑱観光大使型	7

表－40、41 のとおり、総計が一番多い行動特性は「①ショー型」であった。続いて、「⑦限定商品型」、「③交流型」、「②展示型」と続いており、これら 4 つの行動特性については総数が 300 以上を超えていた。上記の結果が得られた要因には、4 つの行動特性の歴史の長さが関連していると考えられる。つまり、4 つの行動特性は 19 行動特性の中でも、歴史が古い故、現在まで多くの事例が確認できたことが考えられる。

第 6 章で先述した様に、特撮ツーリズムは 1955 年より、東宝撮影所での子ども達を招いたイベントから、当観光現象が始まった[187]。1964 年以降は、デパート屋上や球場等を巡業する形で、怪獣ゴジラの着ぐるみによる実演ショーが国内各地で開催されるようになった[187]。さらに、1966 年 3 月 2 日には松屋デパートで開催された「大怪獣ウルトラ Q の大行進」において、国内で初めて怪獣の着ぐるみ展示が行なわれるようになった[190]。さらに、特撮作品に出演する俳優や着ぐるみキャラクターのサイン会も同時期より開催されるようになり[190]、イベント開催地に訪れる観光者が、特撮映像作品に出演する俳優や着ぐるみキャラクターと接触できる機会も増加した。つまり、着ぐるみの実演ショーを対象とする「①ショー型」と、着ぐるみ等の展示物を対象とする「②展示型」、また作品出演者とイベント等を通じて交流する「③交流型」は、半世紀以上前より出現するようになった行動特性であることがわかる。

また、「⑦限定商品型」が多い理由も歴史的な長さが挙げられる。当行動特性が確認できるようになったのは、1989 年より、夏季恒例開催イベントとして定着した「ウルトラマンフェスティバル」であり、当イベントは着ぐるみの展示、30 分間の実演ショーの他に、物販がイベント内容として導入され、物販では「怪獣カード」の販売や、1 万個単位で導入された怪獣の指人形が、補充が追いつかなくなる状態になる等、商品展開面でも成功を収めたことが、文献資料にて記述されている[177]。また、当イベントは現在にかけて、会場限定商品として、玩具「限定ソフトビニール人形」の販売を行なっており（詳細は「7－2－2　限定商品型」にて後述する）、当行動特性の歴史も約 30 年前より確認できるようになったことがわかる。また、当行動特性の数が、「①ショー型」に次いで、総数 415 の 2 位である背景には、限定商品を販売している催事が多く存在していることと、商品点数の多さが関係していることが考えられる。限定商品の販売事例は、「ウルトラマンフェスティバル」だけではない。東宝や東映等の各映像制作会社が制作した、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組のイベントにおいても確認できる事例である上、特撮ツーリズム各開催地で販売されている「限定商品」も、玩具に限らず、お菓子や衣類等の生活用品をはじめ、様々な種類が販売されてきたことが、事例数の多さに関係していることが挙げられる。

本論では、資料・現地調査によって見出した 19 種の各行動特性と、それを包括する 5 つの属性について後述する。

7－1　接触系（①,②,③,④,⑤）

本研究はまず、観光者が特撮ツーリズム開催地にて、特撮映像作品に登場する着ぐるみやミニチュアといった「現物」を目で直接見たり、直に触れたりする等、特撮と直接接触できる性質が共通した行動特性を包括して、『1.接触系』の枠を設定した。『1.接触系』には、①ショー型、②展示型、③交流型、④教育型、⑤宿泊型から成る、以上 5 つの行動特性が該当した。『1.接触系』に該当する行動特性と内容は下記表－42 のとおりである。

表－42. 『1.接触系』に該当する行動特性と内容一覧

系統	共通要素	行動特性	対象	行動の内容
1.接触系	現物	①ショー型	実演ショー	着ぐるみによる実演ショーや作品製作者のトークショー等
		②展示型	展示物	特撮作品で使用された着ぐるみや小道具の展示等
		③交流型	交流	作品の出演者や製作者との握手会、懇親会への参加等
		④教育型	知育	特撮イベントを通じて文化や科学等を学習する
		⑤宿泊型	宿泊	ホテル宿泊部屋での特撮映像作品との接触

7－1－1　ショー型

「①ショー型」とは、観光者の目前にて、特撮映像作品に登場する出演者や、ヒーローや怪獣の着ぐるみが、立ち回り等の芝居に興じる「実演ショー」を対象に訪れる行動特性である。本論で述べる「実演ショー」の公演は、「Ⅰ. 寸劇形式」「Ⅱ.トークショー形式」「Ⅲ.コンサート形式」「Ⅳ.複合形式」4 種類の形式に大別できる。

まず、「Ⅰ.寸劇形式」が挙げられる。寸劇形式とは、司会が舞台上に立ち、観覧者と着ぐるみとの触れ合いや、着ぐるみ同士の寸劇によるアクションを実践する内容である。この「Ⅰ.寸劇形式」は、円谷プロや東映等が制作した特撮ヒーロー番組のイベントにて、共通して確認することができた。円谷プロの代表事例には、「ウルトラマンフェスティバル 2014」（表－39 の 8）が挙げられる。当イベントの会場内にある「ふれあいステージ」では、司会が舞台上に立ちながら、着ぐるみ（ウルトラマン）による芝居を進行していく形で公演を行なう内容であった。寸劇形式には、着ぐるみ同士が舞台上にて武闘による立ち回りを行う公演の他、観覧者に向けたクイズ大会の公演や、客席の子ども達を舞台上に招き、ダンスや音楽会を行う公演等、観覧客を参加させる公演も含めた多種多様な内容が確認できた。

ここまで「ウルトラマンフェスティバル」の事例を述べてきたが、東映が開催したイベントでも、「Ⅰ.寸劇形式」の事例が確認できた。「仮面ライダー×スーパー戦隊　W ヒーロー夏祭り 2017」（表－39 の 111）会場内にて開催された「ちりがみ博士の爆笑ミニステージ」では、司会が立ち、ショッカーが舞台上にて行なう寸劇を進行していく様子が確認できた。本イベントで確認できる寸劇形式も、子ども達とのゲームや、ダンスを踊る等、多種多様な内容で開催された。

このように司会進行の下で、演者が特撮映像作品に登場する着ぐるみを着用して、舞台上で芝居を行うショーが、円谷プロや東映の各特撮イベントにて確認することができた。

続いて、「Ⅱ.トークショー形式」が挙げられる。これは、先述した寸劇形式のような着ぐるみを中心とした公演ではない。ここで述べるトークショーとは、特撮映像作品の制作に携わった関係者を舞台上に登壇させて、作品制作に至るまでの経緯や、作品が撮影された現場の様子等を披露する内容であった。代表事例には、玩具の展示・即売イベント「スーパーフェスティバル 73」内（表－39 の 91）で開催されたトークショー「特撮アーカイブ」が挙げられる。司会進行のもと、主演俳優、着ぐるみ俳優、作品総監督によるトークショーが開催された。

さらに、「Ⅲ.コンサート形式」がある。コンサート形式とは特撮映像作品にて主題歌を担当した歌手らが、舞台上にて作品の主題歌や劇中歌を披露する公演内容である。代表事例には、「ボイジャーライブ　in ウルフェス 2015」（表 39 の 34）がある。これは、『ウルトラマン X（2015）』等の、ウルトラシリーズの TV 番組の主題歌を担当したボーカルユニ

ット「Voyger」が、舞台上にて『ウルトラマン X（2015）』等の主題歌を披露する内容であった。

最後に、ここまで上述してきた 3 つの実演ショー形式の中から、2 つ以上の形式を 1 つのイベントに融合させた「Ⅳ.複合形式」がある。代表事例には、「ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2016-2017」（表－39 の 74）がある。公演内容は、着ぐるみによる実演ショー（Ⅰ.寸劇形式）と併せて、ボーカルユニット「Voyger」によるコンサート（「Ⅲ.コンサート形式」）の 2 つを合せた公演形式で構成されていた。

以上、「①ショー型」とは、「Ⅰ. 寸劇形式」、「Ⅱ.トークショー形式」、「Ⅲ.コンサート形式」、「Ⅳ.複合形式」から成る 4 種類のショーを対象に、観光者が来訪する行動特性であった。

7－1－2　展示型

「②展示型」は、観光者が特撮映像作品の撮影で使用された怪獣の着ぐるみや、航空機模型等の小道具、台本や企画書等の作品資料といった「展示物」を対象に、特撮ツーリズム開催地へと訪れる行動特性である。本論で述べる「展示物」とは、着ぐるみや衣装等の「Ⅰ.映像作品中にて実際に使用された物品」、作品の企画書や台本等の「Ⅱ.映像作品制作のために使用された資料」、イベントでの展示用に新たに制作された「Ⅲ.特撮ツーリズム開催地向けに新造された立体物」から成る、以上 3 種類に分類できる。

まず、「Ⅰ.映像作品中にて実際に使用された物品」とは、特撮映像作品中にて、実際に使用された着ぐるみや、ミニチュア模型等を指す。毎年夏季に開催されるイベントである「ウルトラマンフェスティバル」（表－39 の 8,28,68,109）では、ウルトラシリーズにて実際に使用された「物品」の展示が精力的に行われていた。映像作品中に登場した怪獣の着ぐるみや、戦闘機等の模型の展示が毎年行われており、実際に撮影で使用された物品を、観光者が自分の目で観賞し、好きな角度から自由に観賞できる行動を誘発するものとなっていた。

続いて、「Ⅱ.映像作品制作のために使用された資料」がある。具体的には、特撮映像作品を制作する際に使用された、企画書や台本等の文書をはじめ、撮影用カメラや、映像を記録したフィルム等が該当する。先述した着ぐるみや模型のように、画面上に描写された物品ではなく、映像を制作するために使用された物品であることに特徴がある。「ウルトラマンフェスティバル 2015」（表－39 の 28）を事例に見てみると、会場内ではこれまで放映されたウルトラシリーズの制作に使用されたカメラやフィルム、台本や企画書等の展示が行なわれた。

ここまで上述してきた「Ⅰ.映像作品中にて実際に使用された物品」及び「Ⅱ.映像作品製作のために使用された資料」は、特撮映像作品を制作するために、作品制作者らによって実際に使用された点が共通している。しかし一方で、特撮映像作品に登場したキャラクターをイベント用に新規造形し、特定の観光対象地に設置することで、展示物として機能している事例も存在した。そこで当事例を、「Ⅲ.特撮ツーリズム開催地向けに新造されたキャラクターの立体物」として分類した。これは元々、特撮映像作品の撮影に使用された物品でないことに特徴がある。代表的な事例には、池袋サンシャインシティにて期間限定で設置された「ゴジラフット」（高さ 2.3m、直径約 4.8m）が挙げられる。これは当施設にて、イベント「シン・ゴジラ対ナンジャタウンーゴジラ、ナンジャタウンに襲来！ー」（表－39

の 69）の開催を記念して 2016 年 7 月 11 日から 9 月 25 日まで池袋サンシャインシティ内アルパ 1 階、噴水吹抜前広場にて設置されたものであった（註 1）。

また、円谷プロの「ウルトラマンフェスティバル 2017」（表－39 の 109）では、会場内のメイン展示として全高 3.6m のウルトラセブン、ウルトラマンゼロの親子立像と、ウルトラマンベリアル、ウルトラマンジードの親子立像が設置され、来場記念写真撮影スポットとして機能していた。

さらに、「Ⅲ.特撮ツーリズム開催地向けに新造された立体物」は、国内の観光まちづくりにおいても活用されていた事例も存在した。「福島県須賀川市」（表－39 の 158）から同県石川郡玉川村にまたがり建設された地方空港「福島空港」では、空港内でウルトラシリーズの常設展示の一環として、展示用に制作された戦闘機や立像の展示が行われていた（註 2）。

以上、「②展示型」は、特撮映像作品の撮影で使用された物品等の「展示物」を対象に、観光者が訪れる行動特性であった。また、「展示物」とは特徴に合せて、「Ⅰ.映像作品中にて実際に使用された物品」、「Ⅱ.映像作品制作のために使用された資料」、Ⅲ.特撮ツーリズム開催地向けに新造された立体物」の 3 種類に分類することができた。

補註

註 1：「ゴジラフット」は開催期間中の土日祝日（8 月 11 日を除く）の 12 時正午から 14 時の時間帯を対象に、来場者が専任スタッフの案内で「ゴジラフット」の下に入り、自分が怪獣ゴジラに踏み潰されそうになる写真を撮影することができた。

7－1－3　交流型

「③交流型」とは、特撮映像作品に登場した怪獣やヒーロー等の着ぐるみの他、作品の制作に関わった出演者や、監督ら制作者らとの写真撮影会や握手会に参加する等、即ち「交流」することを対象に、観光者が特撮ツーリズム開催地へと訪れる行動特性である。

「③交流型」は、交流する対象に応じて、「Ⅰ.着ぐるみとの交流」、「Ⅱ.作品制作者との交流」、「Ⅲ.その他人物との交流」の 3 種類に類型化できた。

まず、「Ⅰ.着ぐるみとの交流」が挙げられる。これは、着ぐるみを着用してヒーローや怪獣等に扮した演者と握手や写真撮影を行う行為である。「ウルトラマンフェスティバル 2016」（表－39 の 68）では、会場内で定期的に周回するウルトラマンの着ぐるみとの握手を行う場が設けられた。

続いて、特撮映像作品を制作する監督や、出演者等の制作者との握手会や写真撮影会を行う「Ⅱ.作品制作者との交流」がある。「バルタン星人 放送 50 年記念祭」（表－5 の 67）では、1966 年 7 月 24 日に放映された『ウルトラマン』第 2 話「侵略者を撃て」を監督した飯島敏宏氏と、本作に出演した津沢彰秀氏（ホシノ・イサム少年役）、『ウルトラマンマックス（2005）』でプロデューサーを務めた八木毅氏との握手会や、写真撮影会が開催された。

最後に「Ⅲ.その他人物との交流」とは、上述してきた以外の人々を対象に、特撮イベントでの握手会や写真撮影会等を通じて、交流を行なうことである。具体的には、元々は特撮とは直接関係のない役職（スポーツ協会等）の人々や、特撮の実演ショーのみ出演している演者等が代表事例として挙げられる。「ウルトラマンフェスティバル 2016」（表－39

の 68）では、ウルトラシリーズ誕生 50 周年の節目に連動した、様々な交流プログラムが導入されていた。ウルトラシリーズ誕生 50 周年とバレーボール国内リーグ開幕 50 周年のコラボレーション企画の一環として、会場内にて柳田将洋選手（サントリーサンバーズ）と櫻井由香事務局員（元デンソーエアリービーズ）を招き、子ども達へのバレーボール指導が行なわれた他、2004 年開催のアテネオリンピックで団体総合優勝した中野大輔氏と、2010 年開催のワールドカップ杯ドイツ大会において、鉄棒 3 位に入賞した新島卓矢氏を招き、子ども達へ身体運動のレクチャーや握手会等が開催された。

以上、「③交流型」は、特撮映像作品に登場する着ぐるみや作品制作者と「交流」することを対象に、観光者が訪れる行動特性であった。また、交流する対象によって「Ⅰ.着ぐるみとの交流」、「Ⅱ.作品制作者との交流」、「Ⅲ.その他人物との交流」の 3 種類に分類することができた。

7－1－4　教育型

「④教育型」は、通常の特撮イベントとは異なり、観光来訪者がイベントを通じて我が国の文化風習や、自然科学といった学術的な知識を学ぶ「知育」を対象に訪れる行動特性である。まず、我が国の文化風習を学べる事例には、「お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！」（表－39 の 19)が挙げられる。本イベントは、日本の文化様式であるお正月を、ウルトラマンを通じて学ぶことのできる環境が整備されていた。会場内では、獅子舞による演舞が特設舞台上で披露された他、クイズ形式のパネル展示、日本の遊びを紹介した展示、餅つき体験会等、お正月の要素を導入したイベント内容を成立させていた。

また、自然科学を学べる代表事例には、「ウルトラマンで科学する！-EXHIBITION ON ULTRAMAN-」（表－39 の 7）が挙げられる。「ウルトラマンで科学する！-EXHIBITION ON ULTRAMAN-」（表－39 の 7）では、「ウルトラマン（1966）」と「ウルトラセブン（1967）」の 2 作品を中心に、会場内を 6 つのブースに分けて、宇宙航空研究開発機構 JAXA による有人宇宙ステーション等の宇宙技術展示、昆虫や深海生物を筆頭とする生態系の展示、多種多様な物質を構成する元素を紹介した展示等、科学的見地とウルトラシリーズの世界観を融合させた展示が行われていた（会場内撮影禁止）。

以上、「④教育型」は、我が国の文化様式や自然科学等の学術的知識を、観光者が特撮イベントを通じて「知育」する行動特性であった。

7－1－5　宿泊型

「⑤宿泊型」とは、特撮ツーリズム開催地にて「宿泊」することを対象とした行動特性である。「⑤宿泊型」は、宿泊先で観光者が体験できる内容に応じて、「Ⅰ.特撮ヒーローや怪獣の着ぐるみとの撮影会ができる部屋への宿泊」、「Ⅱ.宿泊先で特撮映像作品の世界観を体験できる部屋への宿泊」の 2 種類に分類することができた。

まず、「Ⅰ.特撮ヒーローや怪獣の着ぐるみとの撮影会ができる部屋への宿泊」が挙げられる。これは、特撮ツーリズム開催地であるホテルの 1 室に宿泊しながら、特撮ヒーローや怪獣の着ぐるみとの撮影会が体験できる内容であった。代表事例には、「ウルトラハワイファイナルツアー2014」（表－39 の 18）のプログラムの一環として開催された「おやすみパトロール」が挙げられる。「おやすみパトロール」は、「ウルトラハワイファイナルツアー2014」（表－39 の 18）に参加した観光者の宿泊先である「ヒルトン・ハワイアン・ビレ

ッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート」、「シェラトン・プリンセス・カイウラニ・ホテル」、「オハナ・ワイキキ・マリア」のハワイ州オアフ島内 3 つのホテルにて開催された。「ウルトラハワイファイナルツアー2014」（表－39 の 18）開催期間中の 12 月 18 日、19 日、20 日の各日の夜、観光者が宿泊する部屋に、着ぐるみのウルトラマンや怪獣達が来訪し、写真撮影会やサイン会を開催する内容であった。ツアー開催期間中の「おやすみパトロール」に登場したヒーローのリストは表－40 のとおりである（註 1）。

表－40.「おやすみパトロール」登場ヒーローリスト（2014 年 12 月 18 日～12 月 20 日）

日付	場所	登場ヒーロー
2014年12月18日	ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート	ウルトラマンネクサス（ジュネッス）
	シェラトン・プリンセス・カイウラニ・ホテル	ウルトラマンマックス
	オハナ・ワイキキ・マリア	ウルトラマンサーガ
2014年12月19日	ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート	ウルトラマンベリアル
	シェラトン・プリンセス・カイウラニ・ホテル	ミラーナイト
	オハナ・ワイキキ・マリア	グレンファイヤー
2014年12月20日	オハナ ワイキキ マリア	ウルトラマンゼロ
		ウルトラマンベリアル
		ミラーナイト
		グレンファイヤー

続いて、「Ⅱ.宿泊先で特撮映像作品の世界観を体験できる部屋への宿泊」が挙げられる。これは、ホテル内に設置された特撮映像作品の世界観を、装飾を通じて体験できる部屋に宿泊できる内容であった。代表事例には、2015 年 4 月 24 日に開業したホテルグレイスリー新宿内の「ゴジラルーム」が挙げられる。「ゴジラルーム」とは、東宝の『ゴジラ（1954）』シリーズの世界観を、人形やポスター等の装飾によって表現された部屋である。ゴジラルーム内は、歴代ゴジラ映画のポスター[233)]が展示された他、ゴジラの人形やゴジラの足が設置されていた。

以上「⑤宿泊型」は、特撮を誘致資源として活用したホテルに「宿泊」することを対象とした行動特性であった。また、宿泊先で観光者が体験できる内容に応じて、「Ⅰ.特撮ヒーローや怪獣の着ぐるみとの撮影会ができる部屋への宿泊」と「Ⅱ.宿泊先で特撮映像作品の世界観を体験できる部屋への宿泊」の 2 種類に分類できるものであった。

補註

註 1：12 月 20 日のみ、当初 3 人のウルトラマン（ウルトラマンエース、ウルトラマンジョーニアス、ウルトラマンナイス）の登場が予定されていたが、「ウルトラハワイファイナルツアー」各参加者の希望するヒーローや怪獣が部屋に訪れるサービスが急遽行なわれることになったため、筆者らが宿泊した「オハナ・ワイキキ・マリア」ホテルには、上記表－40 のとおりの 4 人のヒーローが登場した。

7－2　販売系（⑥,⑦,⑧,⑨）

続いて、観光者が特撮ツーリズム開催地にて販売されている商品（食品や玩具等）を「購入」する性質が共通している行動特性をまとめて、『2.販売系』の枠を設定した。

『2.販売系』には、⑥飲食型、⑦商品型、⑧なりきり型、⑨工作型から成る、以上 4 つの行動特性が該当した。『2.販売系』における各行動特性の対象と行動内容は、下記表－43 のとおりである。

表－43.『2.販売系』に該当する行動特性と内容一覧

系統	共通要素	行動特性	対象	行動の内容
2.販売系	購入	⑥飲食型	飲食	特撮キャラクターをモチーフとした食品や料理の提供
		⑦限定商品型	限定商品	イベント会場での限定商品販売
		⑧なりきり型	なりきり	特撮キャラクターを模した衣装着用による写真・動画撮影
		⑨工作型	工作	特撮キャラクターを模った商品を自ら製作する

7－2－1　飲食型

「⑥飲食型」とは、特撮映像作品に登場したヒーローや怪獣を題材とした料理や食品が提供される飲食店等にて、観光者が「飲食」を行なうことを対象に訪れる行動特性である。「⑥飲食型」は、飲食物が提供される場所に応じて、販売形式を「Ⅰ.飲食店形式」、「Ⅱ.コーナー・ブース形式」、「Ⅲ.小売店形式」の 3 種類に類別化することができた。

まず「Ⅰ.飲食店形式」は、居酒屋やレストラン等、飲食店全体が特撮ツーリズム開催地となった店舗を指す。代表事例には「怪獣酒場」（表－39 の 152）が挙げられる。当店は、ウルトラシリーズに登場した怪獣達をモチーフにした料理やアルコールドリンク等が提供される居酒屋であった。

さらに「Ⅰ.飲食店形式」は上述した円谷プロのウルトラシリーズを題材とした店舗だけに留まらず、「KAMEN　RIDER　THE　DINER」等、東映の『仮面ライダー（1971）』シリーズをモチーフとした店舗の事例もあり、仮面ライダーを題材とした料理やアルコールドリンク等が提供された。

続いて、「Ⅱ.コーナー・ブース形式」では、イベント会場や常設施設内の 1 コーナーやブースを活用して、特撮ヒーローや怪獣をモチーフにした飲食物を販売していることに特徴がある。はじめに、イベント会場の事例として「ウルトラヒーローズ EXPO 2017　ニューイヤーズフェスティバル　IN 東京ドームシティ」（表－39 の 90）が挙げられる。当会場では、「ウルトラの母　スイーツ工房」と題して、ウルトラの母や怪獣達を模したボディケーキやカップケーキ等を販売するブースが設けられていた。

また常設施設の代表事例には、「東映ヒーローワールド」（表－39 の 150）が挙げられる。当施設内にある「ヒーローワールドカフェ」で販売された「仮面ライダーエグゼイ丼」や、「ジュウオウクリームソーダ　ジュウオウシャーク：ブルーハワイ」のように、施設内の飲食コーナーを通じて販売された事例が存在した。

最後に、「Ⅲ.小売店形式」がある。これは一般小売店にて、特撮キャラクターを模した飲食物が市販される販売形式であり、特撮とは直接関係の無い一般小売店でも実践可能な販売形式であることに特徴がある。「福島県須賀川市」（表－39 の 158）にある、パン屋「ベーカリータマキヤ　中町店」では「ウルトラマンパン」が販売されている。

以上、「⑥飲食型」とは、特撮キャラクターを題材とした料理や食品が提供される飲食店等にて、観光者が「飲食」を行なうことを対象に訪れる行動特性であった。また、「⑥飲食型」は飲食物が提供される場所によって、販売形式が「Ⅰ.飲食店形式」、「Ⅱ.コーナー・ブース形式」、「Ⅲ.小売店形式」の 3 種類に類別化できた。

7－2－2　限定商品型

「⑦限定商品型」とは、その施設やイベントでしか買えない限定商品を発表し、コレクタ

一等をはじめとする観光者を特撮ツーリズム開催地へと誘致する。つまり観光者が「限定商品」を対象に訪れる行動特性である。これまで観光現象における「商品」とは、例えば地域の特産物や菓子類等の食品、その他物品等の「お土産」が代表的なものとして挙げられた。鈴木（2014）は、観光地にて多様な種類の商品が「観光みやげ」として販売されている状況に対し、「観光みやげ」が地元の特産品であれば、観光客がその商品を購入することで地域への経済効果が期待され、またみやげそのものが地域文化を広く発信する媒体ともなりうることを指摘した[234)]。また中鉢（2014）も、観光産業におけるお土産産業は、観光消費において重要な役割を果たしていることに言及した他[235)]、羽生ら（2014）も、観光商品の購買行動において、商品の開発（＝魅力的な観光地づくり）と共に重視されているのは、認知、動機付け、購買行動へと結びつけるための戦略であると述べている[236)]。

しかし、ここで述べる特撮ツーリズムの「限定商品」とは、玩具やお菓子（サブレやプリントクッキー等）、衣類等の商品に加えて、最大の特徴として、ヒーローや怪獣の姿を模した玩具である「ソフトビニール人形（以降、ソフビ人形）」が挙げられる。

特撮映像作品の「ソフビ人形」は、円谷プロ制作の特撮怪獣番組『ウルトラ Q（1966）』のヒットによって「第一次怪獣ブーム」が国内で隆盛を極めていたことを契機に、玩具売り場で発売されるようになったソフトビニール製の人形のことである（註 1）。本商品は、「第一次怪獣ブーム」以降も生産が継続されることになり、ウルトラシリーズの他にも、東宝や東映が制作した特撮映像作品に登場するヒーローや怪獣のソフビ人形も次々に発売された（註 2）。その結果、ソフビ人形は半世紀以上の歴史を有することとなった。

上述したように、ソフビ人形は現在まで継続販売される人気商品として玩具市場に定着してきた。しかし、特撮ツーリズム開催地となるイベント会場や常設施設にて、これら人形を収集するコレクターを対象に「限定ソフビ人形」と称して、一般店頭では販売されない稀少性を売りとした販売形態が、1993 年より実践されるようになった。

「限定ソフビ人形」は、玩具大手メーカーである株式会社バンダイが製作した人形をはじめ、現在まで数多くの玩具メーカーが実践しているが、本論では、株式会社バンダイが実践した事例について後述する。

1993 年に遊園地、三井グリーンランド（註 3）において、イベント初の限定ソフビ人形（株式会社バンダイ製のウルトラマン、バルタン星人の人形）が販売された[204)]。本商品は、三井グリーンランド内に「巨大ウルトラマン」と「巨大バルタン星人」のモニュメントが完成したことを記念して、イベント販売用に金型が新規造型されたソフビ人形であった。限定ソフビ人形の販売による人々の誘致は（註 4）、やがて他のイベント会場でも実践されるようになった。

1989 年から現在にかけて、東京都池袋サンシャインシティにて毎年開催されているイベント「ウルトラマンフェスティバル」でも、1993 年開催時から限定ソフビ人形の販売が実践されるようになった[237)]。1993 年に開催された「ウルトラマンフェスティバル 93」では、先述した三井グリーンランドで販売された 2 体の限定ソフビ人形の他、過去に一般店頭で販売されたウルトラマンや怪獣の人形を、イベント販売向けに変更したソフビ人形が販売された（註 5）。以降、「ウルトラマンフェスティバル」では会場限定ソフビ人形を、毎年数体ずつ会場内で販売するようになり、2018 年現在まで計 66 種類のソフビ人形が販売されてきた。1993 年から 2018 年まで「ウルトラマンフェスティバル」にて販売された 66 種類の限定ソフビ人形の販売時期と詳細は、下記表－44 の通りである。

表－44.「ウルトラマンフェスティバル」（1993 年～2018 年開催）
株式会社バンダイ製　限定ソフビ人形リスト

商品名	販売イベント	販売期間	備考
1.ウルトラヒーローシリーズ　ウルトラマン（グリーンランド版）	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	1990年に熊本・北海道のグリーンランドで販売されたウルトラマンの人形を再販
2.ウルトラ怪獣シリーズ　バルタン星人（グリーンランド版）	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	1990年に熊本・北海道のグリーンランドで販売されたバルタン星人のを再販
3.ウルトラ怪獣シリーズ　バルタン星人二代目	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ　バルタン星人二代目」の成型色を変更
4.ウルトラ怪獣シリーズ　グランドキング	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	キャンペーン懸賞商品だった「ウルトラ怪獣シリーズ　グランドキング」の成型色を変更
5.ウルトラ怪獣シリーズ　タッコング	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ　タッコング」の成型色を変更
6.ウルトラ怪獣シリーズ　パワードバルタン星人	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	1993年11月に販売された「ウルトラ怪獣シリーズ　パワードバルタン星人」を先行販売
7.ウルトラヒーローシリーズ　ウルトラマンパワード	ウルトラマンフェスティバル93	1993年7月23日～8月31日	1993年11月に販売された「ウルトラヒーローシリーズ　ウルトラマンパワード」を先行販売
8.ウルトラ怪獣シリーズ　にせウルトラマン	ウルトラマンフェスティバル95	1995年7月28日～8月31日	ウルトラマンフェスティバル初の新規造形会場限定販売商品
9.ウルトラ怪獣シリーズ　にせウルトラセブン	ウルトラマンフェスティバル95	1995年7月28日～8月31日	ウルトラマンフェスティバル初の新規造形会場限定販売商品
10.ウルトラヒーローシリーズ　ウルトラマンティガ完結記念限定版　ウルトラマンティガファイナル・ヴァージョン	ウルトラマンフェスティバル97	1997年8月30日・8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ23　ウルトラマンティガ」の成型色を変更
11.ウルトラ怪獣シリーズ99－EX クローンシルバゴン	ウルトラマンフェスティバル98	1998年7月19日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ99　シルバゴン」の成型色を変更
12.ウルトラ怪獣シリーズ116－EX クローンシルドロン	ウルトラマンフェスティバル98	1998年7月19日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ116　シルドロン」の成型色を変更
13.ウルトラ怪獣シリーズ17－SP ネロンガ（透明バージョン）	ウルトラマンフェスティバル98	1998年7月19日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ17　ネロンガ」の成型色を変更
14.ウルトラ怪獣シリーズ1－SP バルタン星人（分身バージョン）	ウルトラマンフェスティバル98	1998年7月19日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ1　バルタン星人」の成型色を変更
15.ウルトラ怪獣シリーズ2000年SPECIAL特別版　ザラブ星人＆ニセウルトラマン	ウルトラマンフェスティバル2000	2000年7月20日～8月31日	新規造型のニセウルトラマンとザラブ星人の人形を会場限定商品としてセット販売
16.特別版　ウルトラマン誕生35周年記念　原点回帰セット	ウルトラマンフェスティバル2001	2001年7月20日～9月2日	成形色を変更した「ウルトラ怪獣シリーズ40　ベムラー」と、会場限定商品として新規造型されたウルトラマン（Aタイプ）のセット販売
17.ウルトラ怪獣シリーズ2003 SPECIAL チャンドラー	ウルトラマンフェスティバル2003	2003年7月26日～8月31日	新規造型のチャンドラーの人形を会場限定商品として販売
18.ウルトラヒーローシリーズ2003 SPECIAL ウルトラマンレジェンド	ウルトラマンフェスティバル2003	2003年7月26日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ2003　ウルトラマンレジェンド」の成型色を変更
19.ウルトラ怪獣シリーズ2004 SPECIAL ダダ（B）	ウルトラマンフェスティバル2004	2004年7月24日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ17　ダダ」の金型を一部変更して販売
20.ウルトラヒーローシリーズ2004 SPECIAL ダークザギ	ウルトラマンフェスティバル2004	2004年7月24日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズN ウルトラマンノア」の金型を一部変更して販売
21.ウルトラ怪獣シリーズ2005 SPECIAL エレキング　暗いところで光り出す。蓄光バージョン！！	ウルトラマンフェスティバル2005	2005年7月23日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ3　エレキング」の成形色を変更して販売
22.ウルトラヒーローシリーズ2005　ウルトラマンマックス　レッドクリアバージョン	ウルトラマンフェスティバル2005	2005年7月23日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ2005　1ウルトラマンマックス」の成型色を変更
23.ウルトラヒーローシリーズ2006 SP ウルトラマンメビウス　クリアレッドラメバージョン	ウルトラマンフェスティバル2006	2006年7月28日～9月3日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ2006 1ウルトラマンメビウス」の成型色を変更
24.ウルトラヒーローシリーズ SP ゾフィー　クリアレッドラメバージョン	ウルトラマンフェスティバル2006	2006年7月28日～9月3日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ2　ゾフィー」の成型色を変更
25.ウルトラ怪獣シリーズ2006 SP サドラ重層ベローズピンチバージョン	ウルトラマンフェスティバル2006	2006年7月28日～9月3日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ2006　6サドラ」の成形色を変更して販売
26.ウルトラヒーローシリーズ SP ウルトラセブン　クリアレッドラメバージョン	ウルトラマンフェスティバル2007	2007年7月27日～9月2日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ3　ウルトラセブン」の成型色を変更
27.ウルトラヒーローシリーズ SP 帰ってきたウルトラマン　クリアレッドラメバージョン	ウルトラマンフェスティバル2007	2007年7月27日～9月2日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ4　帰ってきたウルトラマン」の成型色を変更
28.ウルトラ怪獣シリーズ2007 SPECIAL キングジョーブラック	ウルトラマンフェスティバル2007	2007年7月27日～9月2日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ11　キングジョー」の金型を一部変更して販売
29.ウルトラヒーローシリーズ SP ウルトラマン　クリアレッドラメバージョン	ウルトラマンフェスティバル2008	2008年7月25日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ1　ウルトラセブン」の成型色を変更
30.ウルトラ怪獣シリーズ2008 SPECIAL アーマードメフィラス	ウルトラマンフェスティバル2008	2008年7月25日～8月31日	新規造型のアーマードメフィラスの人形を会場限定商品として販売
31.ウルトラ怪獣シリーズ2008 SPECIAL アーマードダークネス　クリアレッドver.	ウルトラマンフェスティバル2008	2008年7月25日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ54　アーマードダークネス」の成型色を変更
32.ウルトラ怪獣シリーズ SP　ニセウルトラセブン　クリアレッドver.	ウルトラマンフェスティバル2009	2009年7月24日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズEX　ニセウルトラセブン」の成型色を変更
33.ウルトラ怪獣シリーズ SP　エースロボット　クリアレッドver.	ウルトラマンフェスティバル2009	2009年7月24日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズEX　エースロボット」の成型色を変更
34.ウルトラ怪獣シリーズ SP　メカザム　クリアブラックver.	ウルトラマンフェスティバル2009	2009年7月24日～8月31日	新規造型のメカザムの人形を会場限定商品として販売
35.ウルトラ怪獣シリーズ SP　ウルトラマンベリアル　ギガバトルナイザーver.　ブラッククリア	ウルトラマンフェスティバル2010	2010年7月23日～8月31日	新規造型のウルトラマンベリアルの人形を会場限定商品として販売
36.ウルトラ怪獣シリーズ SP　ダークロプスゼロ　ブラッククリア	ウルトラマンフェスティバル2010	2010年7月23日～8月31日	新規造型のダークロプスゼロの人形を会場限定商品として販売
37.ウルトラヒーローシリーズSP ウルトラマンゼロ　ゼロツインソードver.　ブルークリア	ウルトラマンフェスティバル2010	2010年7月23日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ40　ウルトラマンゼロ」の金型を一部変更して販売
38.ウルトラヒーローシリーズSP ウルトラマン スペシウム光線Ver.シャイニークリアレッドVer.	ウルトラマンフェスティバル2011	2011年7月22日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ1　ウルトラマン」の金型を一部変更して販売
39.ウルトラヒーローシリーズSP ゾフィーM87光線Ver.シャイニークリアレッドVer.	ウルトラマンフェスティバル2011	2011年8月7日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ2　ゾフィー」の金型を一部変更して販売
40.イベント限定　ウルトラ怪獣シリーズSP ウルトラマンベリアル（アーリースタイル）ダーククリア	ウルトラマンフェスティバル2011	2011年7月22日～8月28日	新規造型のウルトラマンベリアル（アーリースタイル）の人形を会場限定商品として販売
41.イベント限定　ウルトラ怪獣シリーズSP バルタン星人　メタリックカラー	ウルトラマンフェスティバル2011	2011年7月22日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ1　バルタン星人」の成形色を変更
42.ウルトラヒーローシリーズSP ウルトラマンゼロ ストロングコロナゼロ スペシャル限定メタリックカラーver.	ウルトラマンフェスティバル2012	2012年7月27日～9月2日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズEX　ウルトラマンゼロ　ストロングコロナゼロ」の成形色を変更
43.ウルトラヒーローシリーズSP ウルトラマンゼロ ルナミラクルゼロ スペシャル限定メタリックカラーver.	ウルトラマンフェスティバル2012	2012年7月27日～9月2日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズEX　ウルトラマンゼロ　ルナミラクルゼロ」の成形色を変更
44.ウルトラ怪獣シリーズSP アーストロン　スペシャル限定バージョン	ウルトラマンフェスティバル2012	2012年8月11日～9月2日	新規造型のアーストロンの人形を会場限定商品として販売
45.ウルトラヒーロー500 SP　スペシャル限定　ウルトラマンゼロ〔ストロングコロナゼロ〕クリアレッドラメVER.	ウルトラマンフェスティバル2013	2013年7月26日～9月1日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500　21ウルトラマンゼロ」の成形色を変更
46.ウルトラヒーロー500 SP　スペシャル限定　ウルトラマンゼロ〔ルナミラクルゼロ〕クリアブルーラメVER.	ウルトラマンフェスティバル2013	2013年7月26日～9月1日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500　21ウルトラマンゼロ」の成形色を変更
47.ウルトラヒーロー500 SP　スペシャル限定　ティガダーク　クリアブラックラメVER.	ウルトラマンフェスティバル2013	2013年8月12日～9月1日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500　08ウルトラマンティガ（マルチタイプ）」の成形色を変更
48.ウルトラ怪獣500 SP　スペシャル限定　誘拐怪人　ケムール人　消失VER.	ウルトラマンフェスティバル2013	2013年8月12日～9月1日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣500　09ケムール人」の成形色を変更

49.ウルトラヒーロー500 SP スペシャル限定 ウルトラマンビクトリーEXレッドキングナックル クリアVER.	ウルトラマンフェスティバル2014	2014年7月25日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500 28ウルトラマンビクトリー」の金型を一部変更して販売
50.ウルトラヒーロー500 SP スペシャル限定 ウルトラマンビクトリーエレキングテイル クリアVER.	ウルトラマンフェスティバル2014	2014年8月1日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500 28ウルトラマンビクトリー」の金型を一部変更して販売
51.ウルトラヒーロー500 SP スペシャル限定 ウルトラマンタロウ ダークイメージカラー クリアVER.	ウルトラマンフェスティバル2014	2014年8月11日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500 06ウルトラマンタロウ」の成形色を変更して販売
52.ウルトラ怪獣500 SP スペシャル限定 キングジョーベダニウムランチャー クリアVER.	ウルトラマンフェスティバル2014	2014年7月25日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣500 07キングジョー」の金型を一部変更して販売
53.ウルトラ怪獣DX SP スペシャル限定 スーパーグランドキング(SD)ファイヤーメタリックVER.	ウルトラマンフェスティバル2014	2014年7月25日～8月31日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣DX スーパーグランドキング(SD)」の成形色を変更して販売
54.ウルトラヒーローX SP スペシャル限定 ウルトラマンエックス ユナイトブルークリアVER.	ウルトラマンフェスティバル2015	2015年7月24日～8月30日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローX 01ウルトラマンエックス」の成形色を変更して販売
55.ウルトラヒーローX SP イベント限定 ウルトラマンエックス(ゼットンアーマー) クリアVER.	ウルトラマンフェスティバル2015	2015年8月11日～8月30日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローX 05ウルトラマンエックス(ゼットンアーマー)」の成形色を変更して販売
56.ウルトラ怪獣X SP スペシャル限定 ファントン星人 クリアオレンジVER.	ウルトラマンフェスティバル2015	2015年7月24日～8月30日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣X 01ファントン星人」の成形色を変更して販売
57.ウルトラ怪獣DX SP スペシャル限定 タイラント メタリックブルーVER.	ウルトラマンフェスティバル2015	2015年7月24日～8月30日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣DX タイラント」の成形色を変更して販売
58.ウルトラヒーローオーブ ウルトラマンオーブ(スペシウムゼペリオン) フュージョンアップver.	ウルトラマンフェスティバル2016	2016年7月22日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローオーブ 01ウルトラマンオーブ(スペシウムゼペリオン)」の成形色を変更して販売
59.ウルトラヒーローオーブ ウルトラマンオーブ(バーンマイト) フュージョンアップイエローver.	ウルトラマンフェスティバル2016	2016年8月9日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローオーブ 02ウルトラマンオーブ(バーンマイト)」の成形色を変更して販売
60.ウルトラ怪獣DX SP スペシャル限定 マガゼットン ダークネスブルーVER.	ウルトラマンフェスティバル2016	2016年7月22日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラ怪獣シリーズ2 ゼットン」の成形色を変更して販売
61.ウルトラヒーローシリーズ ウルトラマンジード プリミティブ フュージョンライズレッドver.	ウルトラマンフェスティバル2017	2017年7月21日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ42 ウルトラマンジード プリミティブ」の成形色を変更して販売
62.ウルトラヒーローシリーズ ウルトラマンジード ソリッドバーニング フュージョンライズイエローver.	ウルトラマンフェスティバル2017	2017年8月9日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ43 ウルトラマンジード ソリッドバーニング」の成形色を変更して販売
63.ウルトラBIGソフビ スペシャル限定 ウルトラマンベリアル スペシャルカラーVER.	ウルトラマンフェスティバル2017	2017年7月21日～8月28日	一般店頭で販売された「ウルトラBIGソフビ ウルトラマンベリアル」の成形色を変更して販売
64.ウルトラヒーローシリーズ スペシャル限定 ウルトラマンタロウ スペシャルカラーver.	ウルトラマンフェスティバル2018	2018年7月20日から8月27日まで	一般店頭で販売された「ウルトラヒーロー500 06ウルトラマンタロウ」の成形色を変更して販売
65.ウルトラヒーローシリーズ スペシャル限定 ウルトラマンロッソ フレイム フレイムカラーver.	ウルトラマンフェスティバル2018	2018年7月20日から8月27日まで	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ54 ウルトラマンロッソ フレイム」の成形色を変更して販売
66.ウルトラヒーローシリーズ スペシャル限定 ウルトラマンブル アクア アクアカラーver.	ウルトラマンフェスティバル2018	2018年8月8日から8月27日まで	一般店頭で販売された「ウルトラヒーローシリーズ55 ウルトラマンブル アクア」の成形色を変更して販売

このように、「ウルトラマンフェスティバル」会場にて販売された限定ソフビ人形は、「①ソフビ人形の金型を新規造型」、「②一般店頭で販売されたソフビ人形の金型を流用した成形色の変更」、「③後日販売予定のソフビ人形を先行販売」の大きく 3 種類の方法で、子ども達のみならず、ソフビ人形を収集するコレクターに向けても販売されてきた。

また、こうした限定ソフビ人形の事例は、「ウルトラヒーローズ EXPO ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ」（表－39 の 43）等、他の円谷プロのイベントでも実践された。さらに円谷プロだけに留まらず、東映が運営した「東映ヒーローワールド」（表－39 の 150）等、他社の特撮ツーリズム開催地でも確認されるようになった（註 6）。

上述してきた限定ソフビ人形の事例は国内だけに留まらず、米国でもその事例が 2001 年に確認できるようになり、同年 6 月 15 日・6 月 16 日に開催されたイベント「ASIAN FANTASY FILM EXPO」では、「ウルトラヒーローシリーズ」と「ウルトラ怪獣シリーズ」の成形色を変更した 2 体のソフビ人形のセットが会場内限定で販売された[238)]。

つまり、「限定商品型」とは、国内で開催された各特撮ツーリズム開催地にて、約 25 年の歴史を有していた他、その現象は国内だけに留まらず、海外市場においても同様の事例が実践されていたことが明らかとなった。

補註

註 1：特撮映像作品のソフトビニール人形を販売したのは、国産プラモデル始祖メーカーであるマルサン商店であった。マルサン商店（1967 年に社名をマルザンに改称）は、1966 年に放映を開始した特撮怪獣番組『ウルトラ Q（1966）』に登場する 7 体の怪獣（ゴメス、ガラモン、ゴロー、ペギラ、パゴス、カネゴン、ナメゴン）のソフビ人形を発売したこと

を契機に、『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』に登場するヒーローや怪獣ソフビ人形を販売した（当時価格 350 円）。しかし、1968 年 12 月にマルザンは倒産したことを契機に、当社がこれまで生産してきたソフビ人形の金型は、1969 年 4 月に設立された玩具メーカーであるブルマァクへと継承された。ブルマァクはこれまでの『ウルトラ Q（1967）』から『ウルトラセブン（1971）』までのウルトラシリーズ 3 作品と共に、『帰ってきたウルトラマン（1971）』から『ウルトラマンレオ（1974）』までのウルトラシリーズ 4 作品に登場するヒーローや怪獣のソフビ人形を販売した（当時価格 350 円）。

1978 年よりブルマァクに代わってポピー（現、株式会社バンダイ）が、ウルトラシリーズのメイン商品化権を獲得したことに伴い、ウルトラシリーズと併せて東宝の『ゴジラ（1954）』シリーズのソフトビニール人形の販売を開始した（商品名「キングザウルスシリーズ」）。1986 年にポピーが事業部として、株式会社バンダイの玩具部に再編されると、1988 年より、「ウルトラヒーロー」（後の「ウルトラヒーローシリーズ」）、「ウルトラ怪獣シリーズ」と題して、ウルトラシリーズに登場するヒーローや怪獣のソフビ人形の販売が行なわれるようになった。1989 年には上記商品の一般流通と共に、マニア向けの高額商品から、小児向け商品、廉価版ビデオとのセット商品、イベント限定商品と、販売形態が多様化するようになった[238)]。

2013 年には「ウルトラヒーローシリーズ」、「ウルトラ怪獣シリーズ」の名称を一新して、「ウルトラヒーロー500」、「ウルトラ怪獣 500」と、低価格（税抜き 500 円）商品としてシリーズが一新されたが、2017 年に商品名を「ウルトラヒーローシリーズ」、「ウルトラ怪獣シリーズ」に戻し、現在に至っている。

註 2：1971 年に東映制作『仮面ライダー（1971）』の放映が開始されたことに伴い、株式会社バンダイから、仮面ライダーシリーズに登場するヒーローや怪人のソフビ人形の販売されるようになった。以降、バンダイは 1989 年より仮面ライダーシリーズのソフビ人形を「ライダーヒーローシリーズ」と称して一般店頭で販売するようになり、現在に至るまでのレギュラー商品として継続的に販売されるようになった[162)]。

また、バンダイは 2001 年に東宝のゴジラシリーズに登場する怪獣のソフビ人形を販売した「ムービーモンスターシリーズ」、東映のスーパー戦隊シリーズに登場するヒーローのソフビ人形をシリーズ化した「戦隊ヒーローシリーズ」の販売を開始し、これらの商品も現在まで販売が継続される商品として、玩具売り場に販売されている。

註 3：三井グリーンランド（現：グリーンランド）とは、熊本県荒尾市下井手にある、九州最大の遊園地である。2018 年現在、三井グリーンランドは遊園地の他、ホテルやゴルフ場も導入された「グリーンランドリゾート」として、年間約 300 万人を集客する一大リゾートエリアとして運営されている[239)]。

註 4：三井グリーンランドでは、1995 年に「ウルトラヒーローシリーズ　ウルトラマンネオス」、「ウルトラヒーローシリーズ　ウルトラセブン 21」のソフビ人形が一般店頭販売に先駆けて、先行販売された[237)]。

註 5：1993 年から 2018 年まで「ウルトラマンフェスティバル」会場で販売されてきた限定ソフビ人形の多くは、一般店頭で販売されたソフビ人形（「ウルトラヒーローシリーズ」、「ウルトラ怪獣シリーズ」）の金型を流用した商品である。金型を流用しつつ、成形色を変更して販売された限定ソフビ人形には、ソフビ内部が目視できるクリア成形色を基調とした物や、メタリックカラー塗装を施した物等、多種多様な成形色の商品がこれまで販売さ

れてきた。

註 6:2013 年 12 月 20 日に、イオンモール幕張新都心にて常設施設としてオープンした「東映ヒーローワールド」では、2013 年よりバンダイ製「ライダーヒーローシリーズ EX　仮面ライダー鎧武　オレンジアームズ」として、同年に一般店頭で販売された「ライダーヒーローシリーズ 01　仮面ライダー鎧武　オレンジアームズ」の成形色を変更したソフビ人形が販売された。また、東宝も「TOHO シネマズ日比谷」にて、2018 年 8 月 3 日よりバンダイ製「ムービーモンスターシリーズ　日比谷ゴジラスクエア ゴジラ像」と題した、同年 3 月 22 日に日比谷スクエアにて設置された「新ゴジラ像」を模した新規造型のソフビ人形を販売した。

7－2－3　なりきり型

「⑧なりきり型」とは、観光者が、特撮映像作品に登場した、特捜チームの隊員服等を模した貸し出し用コスチュームを着て写真や動画撮影をした後、これを画像や映像を記録した写真や DVD 等として購入するまでの過程から成立する、「なりきり」を対象に訪れる行動特性である。「なりきり」とは「成り切る」、即ち「すっかりそのものになる。」[15]ことである。つまり特撮ツーリズムでは、先述した特撮映像作品を構成する 7 つの要素の内、①着ぐるみキャラクターや、⑦キャスティングに成り切るために、観光者がこれらの登場人物と同じ服装を着用することで、「なりきり」が実現する。

本研究で提唱する 19 の行動特性は、観光発信側である特撮ツーリズム開催地が、イベントプログラムとして正式に採用しているものに対して分類を行っている。よって、観光者がイベントプログラムとは別に、特撮映像作品の登場人物に「成り切る」行為、即ち「漫画・アニメ・ゲームなどの登場人物の扮装をいて楽しむこと」[1]である「コスプレ」等の観光来訪者が自主的に行っているなりきり行為は、本研究の調査対象外とした。

特撮ツーリズム開催地での「なりきり」の具体例とは、「ウルトラマンフェスティバル 2014」（表－39 の 8）以降、毎年「ウルトラマンフェスティバル」会場内にて設けられていた体験型映像アトラクション「なりきりムービー」コーナーが該当した。

「なりきりムービーコーナー」は下記の過程にて撮影が行なわれた。まず、希望者がウルトラシリーズに登場した登場人物達のコスチューム（作品の主人公が着用している隊員服等）を着用する（大人に対してはサイズがない場合もあるため、未着用で参加することもある）。続いて、会場内特設スタジオにて動画撮影を行い、最後に、自分がウルトラマンに変身して怪獣と戦う映像を収録した DVD が受け取れる過程で構成される有料プログラムであった。

「なりきりムービーコーナー」は、現在まで毎年「ウルトラマンフェスティバル」会場にて行われているプログラムであり、「ウルトラヒーローズ EXPO2017 ニューイヤーフェスティバル　IN 東京ドームシティ」（表－39 の 43）等の、他のウルトラシリーズのイベントでも導入される人気プログラムであった。

7－2－4　工作型

最後に、「⑨工作型」とは、観光者が、特撮映像作品に登場したヒーローや怪獣等を模った品をイベント会場にて自ら作成する、即ち「工作」することを対象に訪れる行動特性である。「⑨工作型」の代表事例には、「ウルトラマンフェスティバル」会場内にて、毎年 1

コーナーとして設置された「クラフトコーナー」が挙げられる。クラフトコーナーでは、毎年砂絵や、ウインドウワッペン等が販売され、これらの品々を観光者が自ら製作、加工するコーナーとして機能していた。

また、イベント会場で作成できる品々とは、伝統工芸品にも当てはまる事例も現地調査から確認できた。石川県のアンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」（註 1）にて開催された「ウルトラマン絵付けイベント」（表－39 の 56）では、九谷焼（註 2）のウルトラシリーズに登場するキャラクター（ウルトラマン、ウルトラマンタロウ、バルタン星人、ブースカの全 4 種から 1 種を選択）を模した人形に、自ら絵付けを行う体験イベントが開催された（註 3)。

このように、「⑨工作対象型」は、観光者が、特撮映像作品に登場したヒーローや怪獣等を模った品をイベント会場にて「工作」することを対象に訪れる行動特性であった。さらに、工作の対象となる品々の中には、九谷焼に代表される伝統工芸品も該当することが明らかになった。

補註

註 1：店内では、石川県の伝統工芸品や和菓子、地酒の販売や、移住相談コーナーも設けられている。また催事も不定期に開催され、農産物の試食販売や、伝統工芸品の展示販売等が行なわれている。

註 2：九谷焼は、明暦元年(1655 年)に、加賀藩の命により有田で陶技を学んだ後藤才治郎が､江沼郡九谷村で開窯したのを起源とする､日本の色絵陶磁である[240]。石川県の金沢市、小松市、加賀市、能美市で製造されている陶器である。特撮映像作品とのコラボレーション商品も製造されており、ウルトラシリーズ以外にもゴジラシリーズの販売も行なわれている[241]。

註 3)「ウルトラマン絵付けイベント」は元々、石川県能美市九谷焼陶芸館で開催されている九谷焼のウルトラマンの絵付け体験を、江戸本店で実施したものである。2016 年 5 月 28 日・5 月 29 日の 2 日間に渡り、各日 11 時、14 時、16 時の計 6 回開催された。費用 3000 円（税込み、本体と絵具、加工費用を含む）で参加でき、イベント当日に絵具で本体に加工し、後日乾かした本体を受け取りに行く内容であった。

7－3　遊戯系（⑩,⑪,⑫,⑬）

観光者が、特撮映像作品を活用したスポーツ会場や遊園地等に訪れて、スポーツ観戦の遊具で遊ぶこと、即ち「遊戯」を行なう性質が共通した行動特性をまとめて、『3.遊戯系』を設定した。『3.遊戯系』には、⑩アミューズメント型、⑪スポーツ観戦型、⑫乗り物型、⑬園内風景型から成る、4 つの行動特性が該当した。『3.遊戯系』での各行動特性の対象と行動内容は下記表－45 のとおりである。

表－45.『遊戯系』に該当する行動特性と内容一覧

系統	共通要素	行動特性	対象	行動の内容
3.遊戯系	遊戯	⑩アミューズメント型	遊具設備	特撮キャラクターを模した遊具やアトラクションで遊ぶ
		⑪スポーツ観戦型	スポーツ観戦	特撮映像作品とスポーツ業界の提携イベント
		⑫乗り物型	乗り物	特撮映像作品をプリントしたラッピング電車の観賞や乗車
		⑬園内風景型	園内風景	特撮映像作品のテーマパークにて園内風景を楽しむ

7－3－1　アミューズメント型

「⑩アミューズメント型」とは、国内の遊園地やテーマパークにて、特撮映像作品や、それに登場するヒーローや怪獣等をモチーフにした、子ども向け遊具やアトラクション等の「遊具設備」を対象に訪れる行動特性である。ここで後述する「アトラクション」とは、遊園地やテーマパーク内に設置された、ゴーカートやジェットコースター等に代表される、スリルを楽しむための非日常的な乗り物のことである。

アミューズメント対象型は、遊具やアトラクションが設置された場所に応じて「①遊園地」、「②テーマパーク」、「③その他施設」に分類できた。まず、「①遊園地」では、静岡県の遊園地「ぐりんぱ」（註 1）内にある常設アミューズメントエリア「M78 ウルトラマンパーク」（註 2）にて、7 つのアトラクションが挙げられる。家族で楽しめることをコンセプトに運営されている「M78 ウルトラマンパーク」では、幼児から小学生までの子ども達を主対象としたアトラクションが設置されている [242)]。代表的なものには、ウルトラマンがプリントされたゴーカートに搭乗できる「ウルトラマングランプリ」や、ジェットコースターである「ウルトラセブンコースターマッハ 7」等が、当エリアにて設置されている（註 3）。

続いて、「②テーマパーク」の事例では、東宝制作の「ゴジラ（1954）」シリーズを題材としたアトラクションが設置された事例を、国内で 2 件確認することが出来た。国内最初の事例は、1994 年 3 月 18 日から 1998 年 7 月 1 日までサンリオピューロランドで上映された 3D 体験型アトラクション『怪獣プラネット　ゴジラ』である。これは 3D 眼鏡を装着して、大型スクリーンに描写されたゴジラ、ラドン、モスラの 3 大怪獣が、東京都内を模したミニチュアで暴れ回る光景を立体映像として楽しむ、シアタータイプのアトラクションであった [243)]。上記の『怪獣プラネット　ゴジラ』は、国内資本のテーマパークによる唯一の開催事例であるが、海外資本によるテーマパークの事例も存在する。

2001 年に大阪府にて開園した「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」では、2015 年より毎年行われている「ユニバーサル・クール・ジャパン」のイベントプログラムの一環として、2016 年 7 月 29 日に公開された東宝特撮怪獣映画『シン・ゴジラ』をテーマとしたアトラクション「ゴジラ・ザ・リアル 4-D」（表－39 の 93）を、2017 年 1 月 13 日から同年 6 月 25 日まで導入した。「ゴジラ・ザ・リアル 4-D」は、園内に期間限定で設立されたクール・ジャパンエリアの 1 アトラクションとして導入された。こちらも先述した『怪獣プラネット　ゴジラ』と同様にシアタータイプのアトラクションで、来訪者は 4D 眼鏡を装着して特殊部隊「AAA」の一員となり、大阪で暴れ回るシン・ゴジラを相手に戦闘を行う内容のアトラクションであった。

最後に、「③その他施設」がある。これは、イベント会場内で遊具が 1 コーナーとして設置されたパターンが挙げられる。代表事例として、東映制作のスーパー戦隊シリーズでは、

イベント会場や常設施設において、エア遊具やアトラクションを設置する事例も存在した。2003 年から 2016 年にかけて、スーパー戦隊シリーズ最新作をはじめて一般公開するイベントとして開催されてきた「新番組プレミア発表会」（註 5）の会場内では、小学生以下の子ども達を対象に遊べるエア遊具の設置が行われていた。2016 年 1 月 23 日・1 月 24 日に開催された「スーパー戦隊シリーズ 40 作・新番組プレミア発表会　本能覚醒！動物戦隊ジュウオウジャー」では、会場内で『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』や『手裏剣戦隊ニンニンジャー（2015)』を模したエア遊具が設置された。また、常設施設であった「東映ヒーローワールド」（表－39 の 150）では、『烈車戦隊トッキュウジャー（2014)』を題材とした、乗り物の遊具が設置された。

以上、アミューズメント型とは、特撮映像作品に搭乗するヒーローや怪獣等をモチーフにした、子ども向け遊具やアトラクションを対象に訪れる行動特性であった。その事例は「①遊園地」、「②テーマパーク」、「③その他施設」の 3 つの場所で確認することができた。

補註

註 1：静岡県裾野市須山字藤原に建設された、株式会社フジヤマリゾートを事業主体とした遊園地。文中に触れた「M78 ウルトラマンパーク」以外にも、株式会社エポック社から販売されている玩具「シルバニアファミリー」を題材としたテーマパーク「シルバニアビレッジ」や、日本最大級の床総面積を誇る立体カラクリ迷路「ココドコエリア」等の 5 つのエリアから構成されている。

註 2：「ぐりんぱ」内にて 2008 年 7 月 19 日に開業した、円谷プロ制作のウルトラシリーズの世界観を表現したエリア。ウルトラマンをイメージした遊具や、ウルトラマンや怪獣達を模した料理を（「ウルトらーめん（しょうゆ味)」や「ピグモンパスタ」等）食することのできるレストラン「M78 プラネットダイニング」、多種多様なウルトラマングッズが販売されている「SHOT　M78」等の施設が運営されている他、ウルトラマン達との握手会や写真撮影も行なわれている。

註 3：アトラクション [244] は他に、「ウルトラマンタロウレインボーシップ」（揺れる船)、「ウルトラマンスターウィンガー」（空中ブランコ）[245]、「フライングウルトラマン☆シュワッチ」（空中回転ライド）[246]、園内を周遊する列車である「ウルトラマントレイン」が設置されている。

註 4：「怪獣プラネット　ゴジラ」で上映された映像は、2015 年 2 月 25 日に東宝より発売された「GODZILLA　ゴジラ[2014]　完全数量限定生産 5 枚組　S.H.MonsterArts GODZILLA[2014] Poster Image Ver.同梱 [Blu-ray]」に同梱された「特典 DISC Blu-ray」に収録されている（表－38 の 58)。

註 5：「プレミア発表会」とは、毎年東京ドームシティプリズムホールにて、東映のスーパー戦隊シリーズ最新作の制作発表会を一般公開するイベントであった。毎年 2 月に新番組の放映を開始するスーパー戦隊シリーズを、一般向けに番宣することを目的としたイベントとして、2003 年から 2016 年までの毎年 1 月に開催された。これまでマスコミやプレスリリース等の関係者のみ誘致していた「制作発表会」を一般向けに開放したイベントであり、イベント内容は新戦隊によるアトラクションショー、主演俳優の登壇によるトークショー、関連玩具の展示や体験会等であった。2003 年に放映された『爆竜戦隊アバレンジャー』から、2016 年放映の『動物戦隊ジュウオウジャー』までの全 13 作品の発表会が当会

場にて行われた。

7－3－2　スポーツ観戦型

「⑪スポーツ観戦型」とは、スポーツ協会と特撮映像作品が提携して、観光者をスポーツ会場へと誘致することを契機に、観光者が会場にて「スポーツ観戦」をすることを対象に訪れる行動特性である。特撮映像作品とスポーツ協会が提携して、観光者をスポーツ会場へと誘致した代表事例には、「パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト」が挙げられる。「パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト」とは、プロ野球や球場の楽しさを、より多くの親子に体験してもらうことを視野とした、6 球団横断型プロジェクトとして開催された。日頃球場に来場している親子だけでなく、過去に球場に一度も来場したことがない親子にも、様々なイベントを通じて楽しい体験を提供し、プロ野球に興味関心を持ってもらうことを目的に開催された[247)]。2014 年から 2016 年までの 3 年間、各年のシーズンにて、パ・リーグ 6 球団と、円谷プロのウルトラシリーズ[247)]、東映の仮面ライダーシリーズ[248)]、スーパー戦隊シリーズ[249)]と、各社が制作した特撮ヒーロー番組が提携して、親子を対象に球場への誘致を推進するイベントが開催された。2014 年から 2016 年までの、「パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト」で開催された試合と、登場ヒーローは下記表－46 から 48 の通りである。

表－46.2014 年度「パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト」（ウルトラシリーズ）[247)]

開催日	試合内容	開催球場	登場特撮ヒーロー
2014年5月5日 2014年5月6日	オリックス・バファローズVS千葉ロッテマリーンズ	京セラドーム	ウルトラセブン・ウルトラマンゼロ
2014年5月17日 2014年5月18日	北海道日本ハムファイターズVS千葉ロッテマリーンズ	札幌ドーム	ウルトラマンギンガ・ウルトラマンゼロ
2014年5月31日 2014年6月1日	東北楽天ゴールデンイーグルスVS広島東洋カープ	コボスタ宮城	ウルトラマンタロウ・ウルトラマンギンガ
2014年7月5日 2014年7月6日	千葉ロッテマリーンズVS北海道日本ハムファイターズ	QVCマリン	ウルトラマンゼロ・ウルトラマンギンガ
2014年8月30日 2014年8月31日	埼玉西部ライオンズVSオリックス・バファローズ	西部ドーム	ウルトラマンレオ・ウルトラマンギンガ
2014年9月6日 2014年9月7日	福岡ソフトバンクホークス	ヤフオクドーム	ウルトラマン・ウルトラマンギンガ

表－47.2015 年度「パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト」（仮面ライダーシリーズ）[248)]

開催日	試合内容	開催球場	登場特撮ヒーロー
2015年5月4日 2015年5月5日 2015年5月6日	福岡ソフトバンクホークスVS千葉ロッテマリーンズ	ヤフオク！ドーム	仮面ライダー1号・仮面ライダードライブ
2015年5月16日 2015年5月17日	北海道日本ハムファイターズVSオリックス・バファローズ	札幌ドーム	仮面ライダーフォーゼ・仮面ライダードライブ
2015年6月13日 2015年6月14日	東北楽天ゴールデンイーグルズVS中日ドラゴンズ	コボスタ宮城	仮面ライダー鎧武・仮面ライダードライブ
2015年8月15日 2015年8月16日	オリックス・バファローズVS千葉ロッテマリーンズ	京セラドーム	仮面ライダーW・仮面ライダードライブ
2015年8月22日 2015年8月23日	埼玉西部ライオンズVS千葉ロッテマリーンズ	西部プリンス	仮面ライダーマッハ・仮面ライダードライブ
2015年8月29日 2015年8月30日	千葉ロッテマリーンズVSオリックス・バファローズ	QVCマリン	仮面ライダー電王・仮面ライダードライブ

表－48.2016 年度「パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト」(スーパー戦隊シリーズ) [249)]

開催日	試合内容	開催球場	登場特撮ヒーロー
2016年5月4日	楽天イーグルスVS千葉ロッテ	楽天Koboスタジアム宮城	動物戦隊ジュウオウジャー
2016年5月5日			
2016年7月2日	千葉ロッテマリーンズVSオリックス	QVCマリンフィールド	
2016年7月3日			
2016年8月6日	オリックス・バファローズVS千葉ロッテ	京セラドーム大阪	
2016年8月7日			
2016年8月13日	西部ライオンズVSオリックス	西部プリンスドーム	
2016年8月14日			
2016年8月20日	北海道日本ハムファイターズVS福岡ソフトバンク	札幌ドーム	
2016年8月21日			
2016年8月27日	福岡ソフトバンクホークスVS千葉ロッテマリーンズ	福岡　ヤフオク！ドーム	
2016年8月28日			

また「⑪スポーツ観戦対象型」は野球の他にも、競馬の事例を確認することができた。2015 年 [250)] から 2018 年にかけて [251)]、川崎競馬場では、同じく神奈川県川崎市にある飲食店「怪獣酒場」とのコラボレーション企画 [252,253)] として、「怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！」が毎年開催されてきた。当イベント開催期間中の川崎競馬場では、全レースがウルトラ怪獣の名を冠したレースとして開催された他、競馬場内ではウルトラ怪獣達とのグリーティングなども実施された。2015 年 11 月 20 日に開催された、「怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！」で行なわれた全レースは、表－49 のとおりである。

表－49. 2015 年 11 月 20 日開催「怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！」全レース一覧 [250)]

レース名
第1レース：最初にウルトラマンと戦った！宇宙怪獣ベムラー杯
第2レース：怪獣墓場記念　亡霊怪獣シーボーズ杯
第3レース：キングを目指せpart1　どくろ怪獣レッドキング杯
第4レース：キングを目指せpart2　宇宙怪獣エレキング杯
第5レース：キングを目指せpart3　宇宙ロボットキングジョー杯
第6レース：頭脳で勝負！悪質宇宙人メフィラス星人杯
第7レース：力で勝負！古代怪獣ゴモラ杯
第8レース：狙われた街～川崎～幻覚宇宙人メトロン星人杯
第9レース：変幻自在に勝負！三面怪人ダダ杯
第10レース：怪獣酒場特別　バルタン店長杯
第11レース：最強を決めろ！宇宙恐竜ゼットン杯

上述してきたとおり、「⑪スポーツ観戦型」とは、特撮映像作品とスポーツ協会が提携して、観光者をスポーツ会場へと誘致する行動特性であった。

7－3－3　乗り物型

「⑫乗り物型」とは、観光者が特撮映像作品に登場するヒーローや怪獣等がラッピングされた電車や航空機等、公共交通機関である「乗り物」を対象に訪れる行動特性である。よって当行動特性は、特撮映像作品がラッピングされていない、通常の電車やバス等の公共交通手段は対象としない。資料調査によって特撮映像作品のキャラクターがラッピングされた「乗り物」の事例は、「1.鉄道」と「2.航空機」であった。

「1.鉄道」の事例では、2006 年 7 月 15 日から同年 8 月 31 日まで、東急東横線を走行した「ウルトラマン☆トレイン」が挙げられる。「ウルトラマン☆トレイン」は、ウルトラ

シリーズ誕生 40 周年を記念して運行された特別列車であり、東急電鉄主催の「ウルトラマン☆スタンプラリー」（註 1）の実施期間中（2006 年 7 月 15 日から同年 8 月 31 日まで)、渋谷駅（東急東横線）から元町・中華街駅（みなとみらい線）間を走行した。各車両にはウルトラマン達の姿がラッピングされ（例えば、7 号車にはウルトラセブン)、車内には歴代ウルトラシリーズの名場面や、全 124 問のクイズが掲示される等、車両内外でウルトラシリーズの世界観が表現されていた[254)]。

円谷プロと東急電鉄によるラッピング列車の運行は、期間限定のイベントであったのに対し、「まちづくり」の一環として（註 2)、ラッピング列車を数年間運行させてきた地域も存在する。宮城県石巻市では、宮城県 JR 仙石線内（JR 仙台駅から JR 石巻駅間）を毎週日曜日（註 3)、『仮面ライダー（1971)』や『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』に登場するヒーローの姿がペイントされた「マンガッタンライナー」[255)] が走行している（註 4)。また、同車を利用して石巻駅にて降車すると、乗車証明書（車両の情報をはじめ、マンガ駅舎石巻駅等が紹介されている小冊子）が配布された。

さらに「⑫乗り物対象型」には、鉄道の事例だけでなく、映像制作会社と航空会社が提携した「2.航空機」の事例も確認することができた。円谷プロと日本トランスオーシャン航空（JTA）のタイアップ企画として、航空機（ボーイング 737-800 型機　機種略号 73H 座席数 165 席、機体番号 JA09RK）にウルトラマンをラッピングした、特別デザイン機「ウルトラマン JET」（図－430）が、2018 年 10 月 30 日から 2019 年 4 月 30 日まで運航していた[256)]。

このように、「⑫乗り物型」は、特撮映像作品をラッピングした乗り物を対象に訪れる行動特性であり、「1.鉄道」と「2.航空機」の 2 種類に分類することができた（註 5)。

補註

註 1 :「ウルトラマン☆スタンプラリー」は、2006 年 7 月 15 日から同年 8 月 31 日まで、東京急行電鉄各線（全 18 駅）にて開催された。「東急ワンデーオープンチケット（一日乗車券)」の購入者に、東急線『ウルトラマン☆スタンプラリー』ラリーシートが配布された。参加者は各駅に設置されたキャラクタースタンプ（渋谷駅にウルトラマンメビウス、中目黒駅にウルトラセブン、自由が丘駅にウルトラマンタロウ、田園調布駅にウルトラの母、日吉駅にウルトラマン 80、菊名駅にユリアン）を収集し、全て収集した参加者先着 2 万 5000 名限定で、東急線限定フィギュア「ウルトラマンメビウス（クリアバージョン)」が配布された[257)]。

註 2 : 宮城県石巻市は、”マンガを活かした街づくり”を推進し、「マンガッタンライナー」は地域活性化を目的に、JR と石巻市が協力することで実現された[255)]。

註 3 : 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、線路が分断され石巻方面への運行が不可能になっていたが、2015 年 5 月 30 日に全線復旧を果たした[255)]。

註 4 :「マンガッタンライナー」は 2 種類の列車が運行している。まず、2003 年 3 月 22 日より JR 仙石線に登場した「マンガッタンライナー」（図－431)。当列車は、『仮面ライダー（1971)』、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975)』、『がんばれ　ロボコン（1974)』の 3 つの特撮映像作品と、原作・石ノ森章太郎による漫画作品「サイボーグ 009」、の 4 つの車両より構成された[255)]。

続いて、2008 年 9 月 13 日より運行を開始した「マンガッタンライナーⅡ」（図－358）

がある。当列車は、初の全面フルラッピングの列車で、「サイボーグ 009」「時代劇」「コメディ」「ヒーロー」と 4 ジャンルから成る車両編成となっている[255)]。

註 5：ラッピング列車の事例は、アニメ等を筆頭に、特撮以外の映像作品でも度々確認することはできる。経済産業省（2012）は、テレビ東京制作のアニメ作品『ポケットモンスター（1997)』と各種交通ルート（JR 鉄道、東京モノレール、航空会社 ANA）との企業タイアップについてまとめていた[258)]。

7－3－4　園内風景型

「⑬園内風景型」とは、観光者が特撮映像作品を題材としたテーマパークへ向かい、パーク内で散見できる特撮を題材とした建造物等が織りなす、非日常的な「園内風景」を楽しむことを対象に訪れる行動特性である。具体的な事例には、先述した静岡県裾野市にある遊園地「M78 ウルトラマンパーク」[242)]が該当する。当遊園地は、ウルトラシリーズに登場するウルトラマンや怪獣を模した遊具を設置していると共に、園内から富士山を間近に眺望できる立地であることから、両者を融合した独特な眺望景観を楽しむことができることが、当遊園地の魅力として告知[245)]されていた（註 1)。

補註

註 1）ただし、富士山が眺望できる景観は、晴れている日のみ出現する現象であるため、「M78 ウルトラマンパーク」にて全日体験できるロケーションではない[244)]。

7－4　映像体験系（⑭,⑮,⑯）

『4.映像体験系』とは、観光者による、特撮映像作品が撮影されたロケ地の来訪や、映画祭での作品観賞等、「映像」作品を実体験する性質が共通した行動特性である。『4.映像体験系』には、⑭ロケ地訪問型、⑮ロケ参加型、⑯映像作品観賞型から成る 3 つの行動特性をまとめた。各行動特性の対象と行動内容は表－50 の通りである。

表－50.『4.映像体験系』に該当する行動特性と内容一覧

系統	共通要素	行動特性	対象	行動の内容
4.映像体験系	映像	⑭ロケ地訪問型	ロケ地	特撮映像作品の舞台となった撮影地への来訪
		⑮ロケ参加型	ロケ参加	特撮映像作品撮影のエキストラ参加
		⑯映像作品観賞型	作品鑑賞	映画祭や作品上映会にて、映像作品を視聴する

7－4－1.ロケ地訪問型

まず「⑭ロケ地訪問型」とは、観光者が特撮映像作品の撮影が行なわれた場所、即ち「ロケ地」を対象に観光地へと訪れる行動特性である。本来、「ロケーション」とは、「撮影所外で実景を背景として行う映画・テレビ・写真などの撮影。野外撮影。ロケ」と定義されている[1)]。つまりロケ地とは、映像作品の「ロケーション」を行なった場所のことであり、映像作品が撮影された場所であるならば、どの場所でも該当する。しかし、特撮映像作品の場合は、先述したように、俳優陣が実景にて芝居を行う「ドラマパート」と、着ぐるみがミニチュアセットを舞台に芝居を行う「特撮パート」から成る、2 つのパートで撮影が行われている。

つまり、特撮映像作品の「ロケ地」とは、実景と特撮専用のスタジオ、2 つの場所にて撮影が行われていることに特徴があり、通常のテレビドラマや映画が撮影されたロケ地に訪れる観光現象であるフィルムツーリズムとは、異なる性質があるといえる。

そこで本研究では、特撮ツーリズムの「ロケ地」を、「1.ドラマパート」と「2.特撮パート」、「3.その他」の 3 種類に分類して、各特徴を整理した。

まず、「1.ドラマパート」は、特撮映像作品の中で、俳優が出演する場面が撮影された場所、即ち「実景」を対象に観光者が来訪する行動特性であり、フィルムツーリズムと酷似した性質を持っている。東京都文京区後楽にあるレジャー施設である東京ドームシティでは、東映制作の特撮ヒーロー番組の撮影ロケ地として活用されてきた。

中でも、東京ドームシティ内にある遊園地「東京ドームシティアトラクションズ（旧名・後楽園ゆうえんち)」では、仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズなどの特撮ヒーロー番組の撮影が、1976 年 1 月 3 日放映のテレビ番組「全員集合！7 人の仮面ライダー」より度々行なわれていた。1976 年から 1993 年にかけて、後楽園ゆうえんちにて撮影された、全 8 本の東映の特撮ヒーロー番組は下記表－51 のとおりである [197)]。

表－51.後楽園ゆうえんちにて撮影された特撮ヒーロー番組リスト（1976 年～1993 年）[197)]

東映作品タイトル（1976年1月3日～1993年3月12日）	放映日	備考
1.全員集合！7人の仮面ライダー	1976年1月3日	仮面ライダーショー公演当時の様子や、後楽園ゆうえんちの入口を描写
2.大戦隊ゴーグルファイブ第2話「起て！未来の戦士」	1982年2月13日	「太陽戦隊サンバルカン」ショー公演当時の野外劇場にて撮影
3.科学戦隊ダイナマン第4話「ゴロゴロ化石人間」	1983年2月12日	後楽園ゆうえんち内にあるジェットコースター等、複数のアトラクションにて撮影
4.科学戦隊ダイナマン第28話「人形人間を救え！」	1983年8月13日	後楽園ゆうえんち内にあるジェットコースターのレール等にて撮影
5.宇宙刑事シャリバン第26話「憎しみの罠・メイクアップ大戦争	1983年9月2日	「科学戦隊ダイナマン」ショー公演当時の野外劇場等にて撮影
6.恐竜戦隊ジュウレンジャー第2話「復活」	1992年2月28日	後楽園ゆうえんち内にあるジェットコースターのレール等にて撮影
7.恐竜戦隊ジュウレンジャー第38話「メイ姫七変化！」	1992年11月13日	後楽園ゆうえんち内にある野外劇場にて撮影
8.五星戦隊ダイレンジャー第4話「俺たち甘いぜ！！」	1993年3月12日	後楽園ゆうえんち園内と周辺のレストランにて撮影

ここまで、1 つの遊園地が特撮ヒーロー番組の撮影地として、継続的に使用されてきた事例を挙げた。「1.ドラマパート」では他にも、特撮映像作品と国内の市町村が提携して、映像作品を通して精力的に撮影地を PR した事例が、円谷プロ作品にていくつか存在する（註 1)。2008 年 9 月 13 日に、横浜開港 150 周年記念劇場映画として公開された『大決戦！超ウルトラ 8 兄弟』では、神奈川県横浜市を舞台に 8 人のウルトラマンが結集して地球を防衛する内容（註 2）で、横浜市内の全 18 カ所にて撮影が行なわれた（表－52)。

表－52.「大決戦！超ウルトラ 8 兄弟」ロケ地一覧 [260)]

大決戦！超ウルトラ8兄弟　ロケ地一覧
1.臨港パーク
2.横浜マリタイムミュージアム
3.日本丸メモリアルパーク
4.運河パーク/汽車道
5.横浜赤レンガ倉庫
6.大さん橋国際船ターミナル・屋上広場
7.横浜開港資料館
8.横浜公園
9.横浜スタジアム
10.横浜中華街
11.元町ショッピングストリート
12.港の見える丘公園
13.根岸森林公園
14.三渓園
15.大倉山記念館
16.TYCOON
17.サン・アロハみなとみらい本店
18.ポンパドウル元町本店

『大決戦！超ウルトラ 8 兄弟（2008)』は、主人公（マドカ・ダイゴ）を横浜市役所の観光課に勤務する職員として登場させた他（註 3)、主人公が海外視察団に向けて市内の赤レンガ倉庫や三渓園、横浜開港資料館等の市内観光名所を解説するシーンが導入された。本作は他にも、「赤い靴の少女」を巡る物語（註 4）が展開された他、2008 年公開当時の横浜市長であった中田宏が本人役でゲスト出演する等、映像作品を通して総括的に横浜市を PR する内容であった。

続いて、「2.特撮パート」は、特撮映像作品の特撮パートが撮影された映画スタジオを対象に来訪する行動特性である。代表的な映画スタジオには、東京都世田谷区成城にある「東宝スタジオ」（註 5）が挙げられる。当スタジオは、映像作品本編の「特撮パート」を制作するための映像撮影所であり、「特撮スタジオ」も観光地として活用される現象も確認できた。

代表的な事例に阪急東宝グループによる夏休み特別企画として催された「東宝スタジオ見学ツアー」が挙げられる [261)]。阪急東宝グループが、夏休み特別企画として「ゴジラ撮影東宝スタジオ見学ツアー」と題し、日帰りツアーとして開催された。開催期間は、2000 年 7 月 23 日から 28 日及び 30 日、31 日、8 月 1 日から 6 日までの計 14 日間に渡って催された。旅行代金は 4,980 円均一(大人一人、消費税等課税を含む)で、子ども（3 歳～小学生）は一律 200 円引きで行なわれた。東京、大宮、横浜の各地を出発地に（9 時頃発)、最新作『ゴジラ×メガギラス　G 消滅作品（2000)』中の決戦地であるお台場・パレットタウン（観覧車、トヨタ自動車のテーマパークである MEGA WEB 等）を対象に自由散策を行い、レインボーブリッジを経由して、東宝スタジオで特撮セットを 2 時間見学する、日帰りのツアー内容であった。東宝スタジオの特撮セット見学には、『ゴジラ×メガギラス G 消滅作品（2000)』の撮影ステージの間近での見学や写真撮影、ゴジラの着ぐるみのデモンストレーション（ドライアイスを使用した口からの熱戦発射表現）等が行なわれた。

当スタジオ見学ツアーの 5 つの魅力点に、「2001 年最新ゴジラの撮影スタジオ見学！！」、「ゴジラの特撮風景をお客様自身で実体験！！」、「ゴジラの泣き声や疑似音などの特殊効果音の体験！！」、「ゴジラと記念撮影などのふれあい体験とオリジナル記念品プレゼント！！」、「特撮スペシャル映像とゴジラ最新特報上映！！」が告知され、観光客の誘因と

して PR されていた[261]。

ここまで、特撮映像作品のロケ地を「1.ドラマパート」、「2.特撮パート」の 2 種類について述べてきた。しかし、特撮映像作品の中には、上記 2 つとは異なる描写でロケ地（＝観光地）を PR した作品が存在する。上記 2 つの特撮のロケ地は、あくまで「映像作品を制作する」目的で撮影された場所であるのに対して、この目的に加えて、「観光地あるいは何らかの観光対象物を視聴者に PR する」ことを視野に制作された、例外的な特撮映像作品も存在していた。 そこで本論では、この目的で製作された特撮映像作品の事例を「3.その他」として纏めた。

まず、2014 年から 2018 年にかけて、フジテレビ ONE にて放映された、円谷プロ制作の特撮テレビ番組『ウルトラ怪獣散歩』が挙げられる。当番組では、ウルトラシリーズに登場した怪獣や宇宙人が、鎌倉や京都、上野や長崎といった全国各地の観光地を訪れ、当地の名産物や史跡、その他集客施設を紹介するという番組内容であった。

さらに、特撮映像作品の中には、番組終盤のエンディングコーナーにて観光対象物を紹介するコーナーを設けた作品も存在した。東映制作の特撮ヒーロー番組『烈車戦隊トッキュウジャー（2014）』では、番組のエンディングコーナーにて「みんなの列車コーナー」と題して、全国各地の鉄道（一例：JR 九州「特急ゆふいんの森（キハ 72 系）」）を紹介するプログラムが放映された。また、『動物戦隊ジュウオウジャー（2016）』のエンディングコーナーでも、「動物かくれんぼ」と題して全国各地の動物園にて展示されている動物（一例：上野動物園のヒガシクロサイ等）を紹介するコーナーが設けられていた。

上述してきたとおり、「⑭ロケ地訪問型」は特撮映像作品が撮影された「ロケ地」を対象に観光者が訪れる行動特性であった。さらに、撮影された場所の性質によって、「1.ドラマパート」、「2.特撮パート」、「3.その他」の 3 種類に分類することができた。

補註

註 1：映画『大決戦！超ウルトラ 8 兄弟（2008）』の他にも、円谷プロが市町村と提携して制作を行った作品には、2006 年 9 月 16 日公開の映画『ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟』が挙げられる[262]。本作は、兵庫県神戸市を作品の舞台に、神戸の海に封印された U キラーザウルスの復活を目論む宇宙人連合（凶悪宇宙人ザラブ星人、分身宇宙人ガッツ星人、暗殺宇宙人ナックル星人、極悪宇宙人テンペラー星人）を相手に、ウルトラマンメビウスとウルトラ 6 兄弟が戦うという内容であった。本作は、兵庫県神戸市において 2 週間に渡る長期ロケが敢行され、代表的なロケ地として、神戸空港（本作撮影時点ではまだ建設中）や六甲山牧場、北神戸サーキット、ホテル舞子ビラ、神戸港や明石海峡大橋等で撮影が行なわれた。

註 2：本作では、平凡な生活を営む 7 人の横浜市民が、ウルトラマン（ウルトラマンティガ、ウルトラマンダイナ、ウルトラマンガイア、ウルトラマン、ウルトラセブン、ウルトラマンジャック、ウルトラマンエース）へと変身して、ウルトラマンメビウスと共に、地獄星人スーパーヒッポリト星人率いる怪獣軍団（海獣キングゲスラ、双頭怪獣キングパンドン、剛力怪獣キングシルバゴン、超力怪獣キングゴルドラス）と戦う内容であった。

註 3：本作にてウルトラマンに変身するのは 7 人の横浜市民であり、彼らはそれぞれ市内にある各施設にて勤務しているごく平凡な一般人として描写されている。例えば、横浜スタジアムはアスカ・シン（ウルトラマンダイナ）がボールボーイとして、横浜マリタイム

ミュージアムでは高山我夢（ウルトラマンガイア）が学芸員として働いている設定であった。
註 4：赤い靴の少女は、1922 年に作詞・野口雨情、作曲・本居長世により発表された童謡「赤い靴」に登場する、異人に連れられ異国へと向かった、赤い靴を履いた少女のことである。横浜市には、童謡に登場する「赤い靴の少女」を模した「赤い靴の少女像」が、山下公園と、横浜駅自由通路にて設置されている。
註 5：「東宝スタジオ（TOHO　STUDIOS)」[263)] は 1932 年創立の写真化学研究所（PHOTO CHEMICAL　LABORATORY＝PCL）を前身に、1943 年に東京宝塚劇場と「東宝」となり、敷地の名称は「東宝撮影所」となった。さらに、1971 年に「東宝スタジオ」へと敷地を改称し、現在に至っている。当地で撮影された東宝配給の代表作品には、『七人の侍 (1954)』(監督：黒澤明)、『浮雲（1955)』(監督：成瀬巳喜男)、『踊る大捜査線　THE　MOVIE（1998)』(監督：本広克行）の他、特撮怪獣映画では、ゴジラシリーズ（『ゴジラ（1954)』～『シン・ゴジラ（2016 年)』）や平成モスラシリーズ（『モスラ（1996)』～『モスラ 3（1998)』）が撮影された。所在地は〒157－8561　東京都世田谷区成城 1－4－1 にあり、小田急線「成城学園前駅（急行・準急停車)」南口から徒歩 10 分の距離にある [263)]。

7－4－2　ロケ参加型

「⑮ロケ参加型」とは、特撮映像作品の本編エキストラ撮影に「ロケ参加」をすることを対象に訪れる行動特性である。例えば、特撮怪獣映画の制作において、都市圏をはじめとする人口密集地に巨大な怪獣が出現する場面を撮影する際、都市を破壊する怪獣の猛攻から逃げる群衆を撮影する必要がある。東宝は、『ゴジラ（1954)』各シリーズを撮影する際、いわゆる怪獣から「逃げる人」を集めるために、劇場での告知応募やホームページの活用など、様々な手段を用いて募集をかけていた。劇場での告知応募の事例には、1992 年 12 月 12 日公開の『ゴジラ VS モスラ』での横浜ロケが挙げられる。当撮影では、地元である相鉄劇場との連携の下、劇場内で告知応募（劇場ロビーでの申し込み）を行ない、200 名近くのエキストラを募集した。当撮影は、1992 年 8 月 7 日の 19 時に山下公園・インターコンチネンタル前、20 時に大観覧車脇の道、21 時に桜木町駅前の歩道から成る計 3 箇所で撮影された。また、ホームページの活用によってエキストラの応募を行なった事例には、2002 年 12 月 14 日公開の『ゴジラ×メカゴジラ』での八景島ロケが挙げられる。ワーナーマイカル公式ホームページにて 100 名のエキストラを募集し、2002 年 7 月 28 日には、東宝映画・東宝宣伝部・事業部、ワーナーマイカル、ゴジラサポーター（註 1）の代表らによりエキストラチームがまとめられ、総勢 350 名のエキストラが集められた [261)]。

このように、「⑮ロケ参加型」とは、特撮怪獣映画の撮影に参加することを前提とした行動特性であり、この行動特性は、2016 年 7 月 29 日公開の『シン・ゴジラ（2016)』のように後の作品制作でも確認することができる。エキストラ参加志望者向けのメールマガジン登録システムの活用による募集告知を行ない、3000 人規模のエキストラが招集された。本作では、東京都大田区蒲田での白湯英や、栃木県宇都宮市内における夜間撮影が行なわれていたが、特筆すべき特徴のひとつとして、作品のエキストラ参加と共に、参加記念グッズも配布されたことにある。例えば「どこでも巨災対タオル」、「非常用書類持出し袋風ケース」、「細ボトル」、「ゴジラシルエットボトル」、「スタッフバック」等、複数種の記念品が配布された [182)]。

補註

註 1）ゴジラサポーターは、「ゴジラを応援するファンのみなさん」[261] として、ゴジラ映画にエキストラとして参加した人々の総称である。

7－4－3　映像作品観賞型

「⑯映像作品観賞型」とは、観光者が、特撮映像作品の映画祭や、応援上映会での「作品観賞」を対象に訪れる行動特性である。当行動特性の対象である「映像作品」とは、全国の劇場にて通常上映されている映画ではなく、「その時間に、その場所でしか見られない」作品が対象となる。つまり、観光者を誘致するために、イベントとして特別に上映されていることに特徴がある。上記のようなイベント上映として「⑯映像作品観賞型」は、「1.映画祭」と「2.応援上映会」の 2 種類に分類することができた。

まず「1.映画祭」には、毎年東京都渋谷区の六本木ヒルズにて開催されている「東京国際映画祭」が挙げられる。「東京国際映画祭」では、過去に上映された特撮怪獣映画や、元々テレビ番組として発信された特撮ヒーロー番組等を、大型スクリーンにて上映するプログラムが、2013 年から 2016 年まで、イベントとして上映されていた（註 1）。過去に上映された特撮映像作品が再上映された例には、EX　THEATER　六本木にて開催された「キングコング対ゴジラ 4K デジタル」上映会（表－39 の 86）を挙げることが出来る。当上映会は、1962 年 8 月 11 日に公開された東宝の特撮怪獣映画『キングコング対ゴジラ』を、大型スクリーンにて再上映する内容（註 2）であった [264]。

また、これまでテレビ番組として発信されてきた、特撮映像作品が上映された事例には、2014 年 10 月 27 日に TOHO シネマズ日本橋にて開催された、「HD　Remaster2.0『 ウルトラセブン』～円谷特撮への誘い！～」（表－39 の 17）がある [265]。当イベントは、1967 年に放映された円谷プロの特撮ヒーロー番組「ウルトラセブン」が、2014 年 11 月 21 日に「HD　Remaster2.0 ウルトラセブン　ブルーレイ BOX」として発売されることから、製品の PR を視野に入れた「ウルトラセブン」出演者によるトークショー（註 3）と、本製品に収録された作品の上映会（註 4）が行われた。上映されたのは、『ウルトラセブン』第 14 話「ウルトラ警備隊　西へ　前編」（1968 年 1 月 7 日放映）、及び第 15 話「ウルトラ警備隊　西へ　後編」（1968 年 1 月 14 日放映）の 2 作品であり、両作品共に英語字幕付きで上映された [265]。

続いて「2.応援上映会」とは、特撮映像作品の映画を上映中に、映像の中で闘うヒーローやその他登場人物を応援する、即ち「発声」することができる上映会であった。具体的な事例には、「ジーッとしないで、応援しようぜ！『劇場版 ウルトラマンジード つなぐぜ！願い！！』」（表－39 の 127）がある。スクリーンにて、円谷プロ制作の特撮ヒーロー映画『劇場版 ウルトラマンジード つなぐぜ！願い！！』を上映しつつ、ウルトラマンが活躍する場面では大声で応援可能なほか、それ以外の場面でも発声可能である等、単に映像作品を視聴するだけでは留まらない特徴を有していた。

総括すると「⑯映像作品観賞型」とは、観光者が「作品観賞」することを対象に、観光地へと訪れる行動特性であった。また当行動特性は、イベントの性質に応じて「1.映画祭」、「2.応援上映会」の 2 種類に分類することができた。

補註

註 1：東京国際映画祭では 2013 年から 2016 年にかけて円谷プロや大映、東宝が製作した毎年特撮映像作品の上映及びトークショーが行なわれていた。2013 年と 2014 年には、円谷プロが参加し、自社が制作したウルトラシリーズを PR する場が設けられていた。2013 年に行われた、第 26 回東京国際映画祭のプログラム内容[266]は下記表－53 の通りである。

表－53. 第 26 回東京国際映画祭×円谷プロ創立 50 周年　スペシャルイベント一覧

開催日	イベント内容	開催場所
2013年10月17日	オープニンググリーンカーペット「ウルトラ怪獣大行進」	六本木ヒルズアリーナ
2013年10月18日	『ウルトラマン』HD Remaster2.0 上映会＆トークショー	TOHOシネマズ 六本木ヒルズ
2013年10月20日	ウルトラマンギンガ・ウルトラマンティガショー	六本木ヒルズアリーナ
2013年10月24日	シンポジウム「Kaijuの原点、怪獣を語りつくす！」	六本木ヒルズ森タワー49階

2013 年は円谷プロが創立 50 周年であり、さらに当社制作の特撮ヒーロー番組『ウルトラマン（1966)』が、「HD Remaster2.0 ウルトラマン ブルーレイ BOX」と題して、2013 年 7 月 10 日よりブルーレイソフトが発売された背景から、当作品の上映会を含めた、上記のプログラムが編成されていた。さらに、開催初日の 10 月 17 日に行われた同映画祭のオープニングを飾る「グリーンカーペットウォーキング」では、2013 年夏に行われた「ウルトラ怪獣総選挙」（総投票数 799,480）の上位 5 体の怪獣達（ゼットン、バルタン星人、ゴモラ、カネゴン、メトロン星人）が行進するプログラムも開催された[266]。

さらに、2014 年 10 月 23 日から開催された第 27 回東京国際映画祭でも、ウルトラシリーズを題材としたプログラムが開催された。当映画祭のプログラム内容は下記表－54 のとおりである。10 月 23 日に開催されたオープニングセレモニーでは、同時期に放映していた特撮ヒーロー番組『ウルトラマンギンガ S（2014)』より、ウルトラマンギンガストリウム、ウルトラマンビクトリー、ウルトラ 6 兄弟が、映画祭のオープニングに登場した[267]。

表－54. 第 27 回東京国際映画祭　円谷プロイベント一覧

開催日	イベント内容	開催場所
2014年10月23日	オープニングセレモニー	六本木ヒルズアリーナ
2014年10月27日	「HD Remaster2.0『ウルトラセブン』～円谷プロ特撮への誘い！」	TOHOシネマズ日本橋

註 2：「キングコング対ゴジラ 4K デジタル」上映会には、『キングコング対ゴジラ（1962)』の上映の他に、本作にて特撮監督を務めた中野昭慶氏と映画評論家の町山智浩氏によるトークショーが上映後に行われた（表 39 の 86)。

註 3：トークショーには、『ウルトラセブン（1967)』から主演俳優の森次晃嗣、ひし美ゆり子、古谷敏、監督の満田かずほが、さらに後に東宝の特撮怪獣映画『シン・ゴジラ（2016)』を監督した樋口真嗣が登壇した[268]。

註 4：トークショーの模様は、「ウルトラセブン Blu-ray BOXⅡ」に収録されている、「東京国際映画祭『ウルトラセブン』特別上映会トークショー」にて視聴することが出来る（表－38 の 43)。

7－5　地域イメージ形成系（⑰,⑱,⑲）

特撮映像作品に登場した出演者やキャラクターが、観光大使等の地域を象徴する存在と

して定着し、観光対象地が PR される。これによって、観光者が地域に対して何らかの印象を抱き、観光対象地へと来訪する「地域イメージ化」が共通した行動特性を集約し、『5.地域イメージ形成系』としてまとめた。『5.地域イメージ形成』には、⑰スタンプ収集型、⑱観光大使型、⑲イメージキャラクター型から成る、以上 3 つの行動特性が該当した。『5.地域イメージ形成系』での各行動特性と内容一覧は表－55 のとおりである。

表－55. 『5.地域イメージ形成系』に該当する行動特性と内容一覧

系統	共通要素	行動特性	対象	行動の内容
5.地域イメージ形成系	地域イメージ化	⑰スタンプ収集型	スタンプ収集	観光目的地にて特撮キャラクターのスタンプを収集する
		⑱観光大使型	観光大使	観光大使となった特撮出演者・キャラクターが誘致する観光対象地へと向かう
		⑲イメージキャラクター型	イメージキャラクター	地域とは直接関係のない特撮キャラクターによる観光誘致

先述した様に、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組等のアナログ特撮作品は、本来地域性がないものであり、観光地に外部資源として「特撮」が融合することによって、非日常的（Virtual）な空間である特撮ツーリズム開催地が造成されてきたと述べた。しかし、この「地域イメージ形成系」に含まれている行動特性は、後述する事例のように、時代的にも後発に発生したものも多くあったことから、アナログ特撮作品の直接の産物ではなく、近年のコンテンツツーリズムの動向を受けての「地域性」を掲げたものであること[註 1)]に特徴があった。

註 1：例えば、テレビアニメ『ポケットモンスター』を題材としたスマートフォン向け位置情報アプリである「Pokemon GO」では、スマートフォン所有者が訪れる場所（地域）によって、異なるポケモンが画面上に姿を見せるシステムとなっている。しかし、画面上に登場するポケモンとその地域の間には、実際には特に縁はない。つまり、「ポケットモンスター」は当アプリの利用者を特定の場所に誘導する要素として機能しているだけあり、アプリに登場するキャラクターと当地の間には、本来は地域性が存在しない。しかし、「観光大使」や「イメージキャラクター」、あるいは「その他の地域を代表する存在」という肩書きがつくられることで、アニメや特撮等の映像作品に登場するキャラクターや作品出演者と、観光地の間に結びつきが新たに生まれ、「地域性」を掲げた観光誘致を実戦することが可能となるのである。

7－5－1　スタンプ収集型

「⑰スタンプ収集型」は、イベント開催地内で、複数箇所に設置されているスタンプ台を対象に、観光者が「スタンプ収集」を行うことを対象に訪れる行動特性である。「⑰スタンプ収集型」は、開催される場所の規模に応じて、3 種類に分類できた。つまり、1 箇所のイベント会場内でスタンプラリーが開催した「①イベント会場内」、大型商業施設全体を活用してスタンプラリーを開催した「②商業施設内」、そして複数の地域を取り込んで、スタンプラリーを開催した「②複数開催地」の 3 種類に大別できた。

まず、「①イベント会場内」の代表事例には、2014 年から 2018 年まで開催された「ウルトラマンフェスティバル」（表－39 の 8,28,68,109,136）を挙げることができる。「ウルトラマンフェスティバル」では毎年、イベント会場内で販売されているパンフレット（＝

オフィシャルファンブック）に、スタンプ押印ページを掲載しており、観光者が当イベント会場内にて、複数箇所設置されているスタンプ台を廻りながら、スタンプ押印欄を完成させる内容となっていた。

続いて「②商業施設内」の代表事例には、「ウルトラヒーローズ EXPO 2017　ニューイヤーズフェスティバル　IN 東京ドームシティ」（表－39 の 90）が挙げられる。イベントプログラムの一環として開催された当スタンプラリーは、東京ドームシティ内（図－226）全 5 カ所で開催された。1 つのイベント会場を使用した「①イベント会場内」とは異なり、「②商業施設内」はイベント会場を内包した商業施設全体に範囲を拡大して、スタンプラリーを開催していたことに特徴があった。

最後に、「③複数開催地」にて実地された事例には、「JR 東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」（表－39 の 20）が挙げられる。2015 年 1 月 13 日から同年 2 月 27 日まで「JR 東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」は、冬のお出かけ需要が鈍る時期の鉄道利用促進と、普段降りない駅に、当スタンプラリーをきっかけに降りて、JR 沿線の駅の新たな魅力を発見して貰うことを目的としていた。当スタンプラリーは、誘致対象を子ども達のみに限定せず、大人（特に 40 代から 50 代男性）にも興味を持って貰うことにも特徴があり [220)]、ウルトラシリーズから初期の 4 作品（『ウルトラ Q（1966）』、『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』、『帰ってきたウルトラマン（1971）』）に登場したヒーローや怪獣のスタンプを、全 64 駅で押印できる内容となっていた。「JR 東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」が開催された全 64 駅と、JR 東日本沿線各駅に設置された特撮キャラクターのスタンプ台のリストは、下記表－56 のとおりである。

表－56.「JR 東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」全 64 駅リスト

スタンプ設置駅	特撮キャラクター名	登場特撮映像作品
1.駒込駅	古代怪獣ゴメス	「ウルトラQ」
2.品川駅	原始怪鳥リトラ	
3.大塚駅	巨大猿ゴロー	
4.代々木駅	冷凍怪獣ペギラ	
5.亀有駅	大ガメ　ガメロン	
6.市ヶ谷駅	人工生命　M1号	
7.我孫子駅	隕石怪獣ガラモン	
8.金町駅	コイン怪獣カネゴン	
9.四ツ谷駅	宇宙怪人セミ人間	
10.巣鴨駅	誘拐怪人ケムール人	
11.田端駅	悪魔ッ子リリー	
12.田町駅	異次元列車	
13.蒲田駅	宇宙怪獣ベムラー	「ウルトラマン」
14.尾久駅	宇宙忍者バルタン星人	
15.日暮里駅	海獣ゲスラ	
16.池袋駅	磁力怪獣アントラー	
17.信濃町駅	どくろ怪獣レッドキング	
18.東中野駅	地底怪獣マグラー	
19.新大久保駅	友好珍獣ピグモン	
20.御茶ノ水駅	エリ巻恐竜ジラース	
21.柏駅	脳波怪獣ギャンゴ	
22.五反田駅	油獣ペスター	
23.大崎駅	宇宙忍者バルタン星人（二代目）	
24.秋葉原駅	凶悪宇宙人ザラブ星人	
25.高田馬場駅	赤色火焔怪獣バニラ	
26.松戸駅	高原竜ヒドラ	
27.新日本橋駅	地底怪獣テレスドン	
28.馬橋駅	棲星怪獣ジャミラ	
29.有楽町駅	冷凍怪獣ギガス	
30.板橋駅	古代怪獣ゴモラ	
31.西日暮里駅	三面怪人ダダ	
32.取手駅	黄金怪獣ゴルドン	
33.新宿駅	伝説怪獣ウー	
34.三河島駅	悪質宇宙人メフィラス星人	
35.渋谷駅	メガトン怪獣スカイドン	
36.中野駅	亡霊怪獣シーボーズ	
37.南柏駅	怪獣酋長ジェロニモン	
38.御徒町駅	宇宙恐竜ゼットン	
39.南流山駅	ウルトラマン	
40.北柏駅	カプセル怪獣ウインダム	「ウルトラセブン」
41.飯田橋駅	宇宙怪獣エレキング	
42.大井町駅	カプセル怪獣ミクラス	
43.十条駅	反重力宇宙人ゴドラ星人	
44.荻窪駅	放浪宇宙人ペガッサ星人	
45.王子駅	幻覚宇宙人メトロン星人	
46.目黒駅	異次元宇宙人イカルス星人	
47.原宿駅	宇宙竜ナース	
48.西荻窪駅	宇宙ロボットキングジョー	
49.神田駅	凍結怪獣ガンダー	
50.東十条駅	カプセル怪獣アギラ	
51.阿佐ヶ谷駅	分身宇宙人ガッツ星人	
52.高円寺駅	ロボット超人ニセ・ウルトラセブン	
53.新橋駅	ウルトラセブン	
54.新松戸駅	オイル怪獣タッコング	「帰ってきたウルトラマン」
55.大森駅	岩石怪獣サドラ	
56.赤羽駅	地底怪獣グドン	
57.千駄ヶ谷駅	古代怪獣ツインテール	
58.目白駅	化石怪獣ステゴン	
59.上野駅	竜巻怪獣シーゴラス	
60.東京駅	宇宙大怪獣ベムスター	
61.水道橋駅	磁力怪獣マグネドン	
62.恵比寿駅	暗殺宇宙人ナックル星人	
63.北千住駅	触覚宇宙人バット星人	
64.浜松町駅	ウルトラマンジャック	

「JR 東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」の開催期間中、スタンプラリー参加者は無料配布されたパンフレットを使用して、各駅に 1 台ずつ設置されたスタンプ台に赴いて、ヒーローや怪獣のスタンプを押印することができた他、全 64 駅制覇すると、「全 64 駅ウルトラ制覇証」が賞品として無料配布される内容となっていた。各スタンプ台の特徴として、スタンプのモチーフとなるウルトラマンや怪獣の情報（身長、体重、出身地、登場作品の解説）と合わせて、初期のウルトラシリーズ放映当時（1966 年～1971 年）の駅の様子や解説等もパネルに掲載されていた。

「JR 東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」は、初期のウルトラシリーズ 4 作品に限定したラインナップが大人世代の注目を集め、用意されたスタンプラリー参加特典は早々になくなってしまう等 [220]、好評を博した。当スタンプラリーは翌年も継続が決定し、「JR 東日本　帰って来たぞ我らのウルトラマンスタンプラリー」と題して、2016 年 1 月 12 日から同年 2 月 26 日の期間中、全 65 駅で開催された。当スタンプラリーが開催された全 65 駅と、JR 東日本沿線各駅に設置された特撮キャラクターのスタンプ台のリストは、下記表－57 のとおりである。

表－57.「JR 東日本　帰って来たぞ我らのウルトラマンスタンプラリー」全 65 駅リスト

スタンプ設置駅	特撮キャラクター名	登場特撮映像作品
1.四ツ屋駅	宇宙忍者バルタン星人	「ウルトラマン」
2.北柏駅	どくろ怪獣レッドキング	
3.代々木駅	ウラン怪獣ガボラ	
4.東十条駅	磁力怪獣アントラー	
5.水道橋駅	友好珍獣ピグモン	
6.品川駅	エリ巻恐竜ジラース	
7.巣鴨駅	棲星怪獣ジャミラ	
8.板橋駅	ミイラ怪獣ドドンゴ	
9.飯田橋駅	汐吹き怪獣ガマクジラ	
10.尾久駅	宇宙忍者バルタン星人	
11.三河島駅	凶悪宇宙人ザラブ星人（ニセウルトラマン）	
12.千駄ヶ谷駅	青色発砲怪獣アボラス	
13.東京モノレール羽田空港第1ビル駅	地底怪獣テレスドン	
14.蒲田駅	どくろ怪獣レッドキング（二代目）	
15.松戸駅	ジェットビートル	
16.御茶ノ水駅	古代怪獣ゴモラ	
17.五反田駅	三面怪人ダダ	
18.信濃町駅	伝説怪獣ウー	
19.浜松町駅	宇宙恐竜ゼットン	
20.赤羽駅	ゾフィー	
21.西荻窪駅	ウルトラマン	
22.大森駅	宇宙怪獣エレキング	「ウルトラセブン」
23.東京モノレール天王洲アイル駅	宇宙蝦人間ビラ星人	
24.新松戸駅	宇宙ロボットキングジョー	
25.御徒町駅	反重力宇宙人ゴドラ星人	
26.池袋駅	幻覚宇宙人メトロン星人	
27.駒込駅	ウルトラホーク1号	
28.高田馬場駅	戦車怪獣恐竜戦車	
29.取手駅	分身宇宙人ガッツ星人	
30.目白駅	宇宙スパイプロテ星人	
31.柏駅	ウルトラセブン	
32.西日暮里駅	ニセウルトラセブン	
33.秋葉原駅	オイル怪獣タッコング	「帰ってきたウルトラマン」
34.新橋駅	古代怪獣ツインテール	
35.大崎駅	宇宙大怪獣ベムスター	
36.新日本橋駅	地底怪獣グドン	
37.神田駅	古代怪獣ダンカー	
38.有楽町駅	宇宙忍者バルタン星人Jr	
39.市ヶ谷駅	なまけ怪獣ヤメタランス	
40.王子駅	マットアロー1号	
41.南流山駅	ウルトラマンジャック	
42.中野駅	一角超獣バキシム	「ウルトラマンエース」
43.高円寺駅	超人ロボット　エースロボット	
44.東京駅	古代星人オリオン星人	
45.恵比寿駅	地獄星人ヒッポリト星人	
46.渋谷駅	伝説怪人ナマハゲ	
47.新宿駅	伝説怪獣ウー（二代目）	
48.田端駅	異次元人女ヤプール	
49.阿佐ヶ谷駅	ウルトラマンエース	
50.十条駅	最強超獣ジャンボキング	
51.北千住駅	タックアロー	「ウルトラマンタロウ」
52.亀有駅	大亀怪獣クイントータス・キングトータス・ミニトータス	
53.新大久保駅	百足怪獣ムカデンダー	
54.大塚駅	宇宙犬ラビドッグ	
55.日暮里駅	ねこ舌星人グロスト	
56.荻窪駅	極悪宇宙人テンペラー星人	
57.原宿駅	エフェクト宇宙人ミラクル星人	
58.田町駅	カンガルー宇宙人パンドラ（チンペ）	
59.金町駅	食いしん坊怪獣モットクレロン	
60.大井町駅	酔っぱらい怪獣ベロン	
61.上野駅	ウルトラマンタロウ	
62.東中野駅	うす怪獣モチロン	
63.目黒駅	わんぱく宇宙人ピッコロ	
64.我孫子駅	海獣サメクジラ	
65.馬橋駅	コンドル1号	

ここまで上述してきたとおり、「⑰スタンプ収集対象型」は、特撮映像作品を題材としたイベント開催地内で設置されているスタンプ台を対象に、観光者が「スタンプ収集」を行うことを対象に訪れる行動特性であった。

「⑰スタンプ収集型」は、開催されている場所の規模によって、3 種類に大別することができた。まず、1 箇所のイベント会場内にてスタンプラリーが開催されている「①イベント会場内」、大型商業施設全体を活用した「②商業施設内」、そして複数の地域を取り込んで、スタンプラリーを開催した「②複数開催地」であった。

7－5－2　観光大使型

「⑱観光大使型」とは、各市町村が特撮映像作品で主演を務めた俳優やキャラクターが「観光大使」に任命され、観光地への誘致を促進することを契機に、観光者が各市町村を訪れる行動特性である。特撮ツーリズムでの「観光大使」は、「①特撮映像作品に出演した俳優の観光大使への就任」と、「②特撮映像作品に登場するキャラクター（ヒーローや怪獣等）の観光大使への就任」の 2 種類に大別することができた。

まず、「①特撮映像作品に出演した俳優の観光大使への就任」の事例には、東映制作の『仮面ライダーV3（1973）』、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』、『快傑ズバット（1977）』等の各特撮ヒーロー番組にて主人公を演じた俳優・宮内洋氏が、2015 年 4 月 26 日に科学技術館にて開催された「スーパーフェスティバル 68」にて、同氏の出身地である千葉県銚子市の「銚子ふるさと大使」に任命された（表－39 の 25）。

続いて、「②特撮映像作品に登場するキャラクター（ヒーローや怪獣等）の観光大使への就任」の事例には、円谷プロとハワイ州観光局の提携企画である「ウルトラハワイ」が挙げられる。当企画の一環として、ウルトラマン（ウルトラマンタロウ、ウルトラの母、ウルトラの父による「ウルトラファミリー」）がハワイ観光大使に就任し、日本人観光者をハワイへと誘致するキャンペーンが行なわれた。

このように、「⑱観光大使型」とは、国内外の各市町村が、特撮映像作品で主演を務めた俳優やキャラクターを「観光大使」に任命して、観光者への誘致を促進する行動特性であった。また、観光大使の特徴に応じて「①特撮映像作品に出演した俳優の観光大使への就任」と「②特撮映像作品に登場するキャラクター（ヒーローや怪獣等）の観光大使への就任」の 2 種類に大別することができた。

7－5－3　イメージキャラクター型

「⑲イメージキャラクター型」とは、ショッピングモール等の大型商業施設が、特撮映像作品に登場するキャラクターを、「イメージキャラクター」として採用し、誘致を行うことで、観光者が開催地へと訪れる行動特性である。例えば、JR 博多シティ内の大型商業施設「アミュプラザ博多」のイメージキャラクターとして、円谷プロの『ウルトラマンタロウ（1973）』に登場したウルトラの母が起用され、2014 年から 2016 年までの約 2 年間に渡って告知が行なわれた[269－279)]。ウルトラの母を起用したキャンペーン告知内容と開催期間、各告知に登場したキャラクターのリストは、下記表－58 のとおりである。

表－58.アミュプラザ博多　キャンペーン告知内容一覧（2014 年～2016 年）[269-279)]

告知タイトル	開催期間	告知登場キャラクター
1.「アミュプラザ博多」ウルトラリニューアル	2014年3月1日～	ウルトラの母、バルタン星人、ダダ、ピグモン
2.福岡アジアコレクション	2014年3月23日	ウルトラの母、バルタン星人、ダダ、ピグモン
3.アミュ&エスト ウルトラバーゲン	2014年7月4日～	ウルトラの母、ジャミラ、ダダ、ピグモン
4.アミュ＆エスト ウルトラ初売り	2015年1月1日～	ウルトラの母、バルタン星人、ダダ、ピグモン
5.アミュ＆エストウルトラバーゲンファイナル	2015年1月9日～	ウルトラの母、M1号
6.アミュエスト ウルトラ1stアニバーサリー	2015年3月6日～3月9日	ウルトラの母、ウルトラの父
7.AMU PLAZA & AMU EST ULTRA SUMMER	2015年5月10日～	ウルトラの母、ピグモン
8.アミュ＆アミュエスト ウルトラバーゲン	2015年7月3日～7月26日	ウルトラの母、ウルトラの父、ピグモン、カネゴン
9.AMU2015 ULTRA AUTUM	2015年秋（日付の記載無し）	ウルトラの母、ピグモン
10.AMU&Est Ultra Christmas	2015年11月13日～	ウルトラの母
11.アミュ＆エスト ウルトラ初売り	2016年1月1日～	ウルトラの母、ウルトラの父

上述してきたとおり、「⑲イメージキャラクター型」とは、大型商業施設が特撮映像作品に登場するキャラクターを「イメージキャラクター」として採用し、誘致を行うことを契機に、観光者が開催地へと訪れる行動特性であった。先述した「⑱観光大使型」が、一つの市町村を対象に誘致を行なっているのに対し、「⑲イメージキャラクター型」は大型商業施設を舞台に誘致を行なっていることから、両行動特性の実態は異なるものであった。

第 8 章　考察

ここまで、特撮映像作品 70 年の歴史を背景とした、特撮ツーリズムの 60 年の歴史と、19 の行動特性について上述してきた。まず、「特撮映像作品の歴史」（第 5 章）を通じて、特撮映像作品がこれまで国内外で発信されてきた歴史について纏めた。1942 年に我が国初の特撮映像作品が映画で公開されて以降、テレビ番組やビデオ、インターネットと、発信の幅を多種多様に拡大させながら、現在も継続して特撮映像作品が発信し続けていることが明らかになった。

続いて、「特撮ツーリズムの歴史」（第 6 章）では、上述した特撮映像作品が我が国で発信されるようになったことで、1955 年より誕生した特撮ツーリズムが、今後 60 年以上継続する観光現象として、いかに定着してきた推移について纏めた。その結果、特撮ツーリズムは誕生から現在にかけて 6 つの観光形態を創出しており、また開催場所もデパートや百貨店、大型ショッピングセンター等の商業施設や、遊園地等のレジャー施設、地域振興を提唱した各市区町村など、様々な場所を舞台に開催されてきたことが明らかになった。さらに、特撮ツーリズムは国内だけでなく、米国などの海外にも実践されている観光現象であることも判明した。

最後に、「特撮ツーリズム　全 19 行動特性」（第 7 章）では、特撮ツーリズム開催地に訪れる観光者が、当地にて実践している行動特性に焦点を当て、確認できる全容を把握すると共に、これらを類型化する作業を行なった。その結果、観光者の行動特性は全 19 種に類型化できるものであり、映画祭への参加や、作品の舞台となった場所への来訪など、アニメツーリズムやフィルムツーリズム等と酷似した性質も見られると共に、撮影で使用された着ぐるみやミニチュア等の現品と触れ合える点など、独自の特徴も概観することができた。つまり、特撮ツーリズムでの観光者の行動には、他のツーリズム形態と比較して固有の特徴があることが覗えた。

つまり、先述した仮説「『特撮ツーリズム』は、特撮映像作品の発信と共に継続された観光現象であり、観光者の行動には、アニメやフィルムといった、他のコンテンツツーリズムの参加者とは異なる特殊性がある」という仮説は立証することが可能ではある。

しかし、特撮ツーリズムは、1942 年に特撮映像作品が発信されるようになったと同時に誕生した観光現象ではなく、1955 年より出現した観光現象であった。つまり特撮映像作品が誕生したからといって、特撮ツーリズムが実践されるようになったわけではないことが覗える。その上、特撮ツーリズムは 1964 年までは開催事例を確認することはできず、しばらく休眠している状態にあった。休眠期間中も当時主要メディアであった映画を通じて特撮映像作品の公開は行なわれていたが、現在まで長寿シリーズとして定着している『ゴジラ（1954）』シリーズも、1955 年、1962 年と断続的に作品が公開された状態にあり、現在のように毎年新作を発表し、爆発的な集客を行なっている状態ではなかった。

ところが、1964 年を境に状況は激変した。『ゴジラ（1954）』シリーズ第 5 作『三大怪獣地球最大の決戦』の公開を契機に、特撮ツーリズムは再び起動するようになった。以降、『怪獣大戦争（1965）』、『ゴジラ・エビラ・モスラ　南海の大決闘（1966）』と、『ゴジラ（1954）』シリーズが毎年公開される環境が整備されたこと、さらに円谷プロの特撮怪獣番組『ウルトラ Q（1966）』が放送を開始したことに伴い、我が国初の怪獣ブームが巻き起こったことで、特撮ツーリズムもデパートや百貨店、遊園地での開催事例が飛躍的に増加した。その後、『ウルトラ Q（1966）』は後続作品『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラ

セブン（1967）』と派生テレビ番組が制作され、ウルトラシリーズとして定着した。これに併せ、特撮ツーリズムもウルトラシリーズの発信と共に事例を増加させており、二子玉川園といったレジャー施設や、池袋サンシャインシティといった大型商業施設でも、ウルトラシリーズを題材とした催事の開催が実施されるようになった。

レジャー施設の事例には他にも、先述した後楽園ゆうえんちの事例があり、当遊園地も『仮面ライダー（1971）』シリーズや、『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』等のスーパー戦隊シリーズなど、毎年放送されるテレビ番組の放送と並走する形でショー内容を入れ替え、現在まで当遊園地の誘致アトラクションとして長期的な開催を実現してきた。

上述してきた事象を纏めると、特撮ツーリズムは『ゴジラ（1954）』シリーズやウルトラシリーズ等、映画やテレビ番組などで、半世紀近くに渡りシリーズが長期的に展開された特撮映像作品と並走する形で、60 年近くに渡り観光現象を継続させてきたことに特徴がある。しかし見方を変えれば、これら各特撮映像作品のシリーズが終焉した際、特撮ツーリズムも並行して終焉を迎える、もしくは観光現象が休眠することが考えられる。

つまり特撮ツーリズムは、長期的なシリーズとして展開してきた特撮映像作品の発信と密接した関係性を有しており、当観光現象に参加する観光者も、時系列的な変化を遂げてきたことが推測できる。そこで本研究では、仮説「特撮ツーリズムは、特撮映像作品の発信と共に、継続されてきた観光現象であり、観光者の行動には特殊性がある」における、特撮ツーリズムと、長期的なシリーズ展開を実践してきた特撮映像作品との関係性に焦点を当てた考察を試みることにした。つまり、特撮映像作品の長期的なシリーズ展開に伴い、特撮ツーリズムに参加する観光者の変化した事象を考察した「1.世代の循環」、特撮映像作品の作品宣伝から始まった特撮ツーリズムが、映画やテレビ番組、インターネットと特撮映像作品が様々な媒体で発信されていったことに併せて、その開催目的が多様化してきたことを考察した「2.特撮ツーリズム開催目的の多様化」、最後に、シリーズとしての特撮映像作品の発信が長期化したことで、特撮ツーリズムに参加している観光者が高齢化していることを踏まえ、これらの観光者に対し、特撮ツーリズムの開催側がどのような誘致を試みてきたかについて考察した「3.大人の年齢層を視野とした観光誘致策」から成る、以上 3 つの考察を実践した。

8－1　世代の循環

まず、仮説「『特撮ツーリズム』は、特撮映像作品の発信と共に継続された観光現象であり、観光者の行動には、アニメやフィルムといった、他のコンテンツツーリズムの参加者とは異なる特殊性がある」に対し、特撮ツーリズムは特撮映像作品の発信と並走しながら、観光現象を現在まで継続させてきた背景があった。第 5 章にて明らかにしたとおり、特撮ツーリズムの素材となる特撮映像作品は 70 年以上発信されており、今や世代を跨ぐ長寿コンテンツとして成長してきた歴史的背景が存在する。特撮映像作品は現在まで全 617 作品 11,818 話が制作されており、単発的な発信で終了した作品もある一方、東宝制作のゴジラシリーズに代表される特撮怪獣映画や、円谷プロ制作のウルトラシリーズや、東映制作の仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズのように、半世紀近くに渡って長期的に発信され続けている作品も存在していた。

時間的な長さを踏まえ、これらのシリーズはもはや親子三世代が、各時代の作品を視聴してきた状況が構築されつつあると考えられる。特撮ツーリズムの開催地の中には、先述

した後楽園ゆうえんちのように、『仮面ライダー（1971）』シリーズやスーパー戦隊シリーズの放送開始当初から、これらの作品の公演を行なってきた施設が存在しており、当施設も、テレビ番組でのシリーズの発信と並行する形で、半世紀近くに渡って公演が行なわれてきた。そこで、まず特撮映像作品の長期的なシリーズ展開に伴い、特撮ツーリズムに参加する観光者が変化していく事象である「世代の循環」について考察した。

例えば、1975 年のスーパー戦隊シリーズ第 1 作『秘密戦隊ゴレンジャー』の放送開始に併せて、後楽園ゆうえんちも 1976 年 2 月 29 日より「秘密戦隊ゴレンジャー　人間爆弾の恐怖」と題して、ゴレンジャーを題材としたショー公演を実施するようになった。ゴレンジャーショー終了後も、次回作『ジャッカー電撃隊（1977）』、『バトルフィーバーJ（1979）』と、後続のスーパー戦隊シリーズがほぼ 1 年ごとにテレビ放送を開始するのに併せて、公演内容を放送中の作品に切り替えながら現在に至ってきたことは先述したとおりである。

親の同伴で、幼少期に『秘密戦隊ゴレンジャー（1975）』ショーに連れて行って貰った世代も、現在は大人になっており、時間的経過から子どもあるいは孫を連れた親世代となっている。親世代は、自分が幼少期に観賞し、楽しかった思い出として記憶したスーパー戦隊シリーズのショーを、我が子もしくは孫にも経験させてあげたいと考え、過去から現在にかけて継続的にショー開催を実施している後楽園ゆうえんち（現・東京ドームシティアトラクションズ）へと連れて行く。親世代は、舞台上で活躍する着ぐるみのヒーロー達の姿を懐かしむと共に、過去の公演と比較して現在異なっている点を模索することができる。また、親に連れて行って貰った子ども達は、毎週放送されるテレビ番組を通じて馴れ親しんでいるヒーロー達が目の前で立ち回りを行なう姿を目に焼き付けると共に、ヒーローとの握手や写真撮影会への参加、人形や武器等の玩具を物販で買って貰う等、楽しい思い出を園内にてつくる。スーパー戦隊シリーズはその後もテレビ放送と、後楽園ゆうえんちでのショー公演を継続すると共に、その後成長し親世代となった子ども達は、自分達の過去の体験を道標に、スーパー戦隊シリーズを視聴する自分の子ども達をショーへと連れて行く現象が考えられる。

つまり、後楽園ゆうえんちを筆頭に、幼少期に特撮映像作品のイベントに参加した世代が親の世代となり、自分の子ども達を特撮映像作品のイベントに連れて行く、そして子ども達が親の世代となり、また次の世代をイベントに連れて行くといった形で、世代を跨ぎながら特撮ツーリズムが継承されていく周期的なサイクルが特撮ツーリズムでは確立されており、この世代を跨いだ連鎖効果が、特撮ツーリズム現象の持続性に直結していることが考察できた。この「世代の循環」に直結する特撮ツーリズムの代表事例には、先述した特撮ツーリズムが構築した 6 つの観光形態の中から、「②常設施設型形態」と「③恒例開催型形態」を実践している特撮ツーリズムの開催地が、最も発生しやすい場所であることが考えられる。

「②常設施設型形態」は、遊園地やテーマパーク等の装置産業内に、ヒーローショーを行なう舞台（ステージ）等の場所を構築することで、ヒーローショーを常設的に開催することを可能とする。また、先述したように特撮ヒーロー番組が 1 年ごとに新番組を放送するのに併せて、ショー内容を新番組に入れ替えることで、長年に渡り、園内のショー開催を続けることができる特徴を有していた。半世紀近くショー公演を行なってきた、後楽園ゆうえんちが代表事例にあたる。

また「③恒例開催型形態」は、夏休み等の特定期間において、特撮ヒーロー番組を題材

とした展覧会を毎年恒例催事として開催し、長年に渡りイベント開催を継続できる特徴を有していた。池袋サンシャインシティにある一施設「文化会館」内で毎年夏季恒例催事として開催されている「ウルトラマンフェスティバル」が代表事例にあたり、当イベントも1989年の初開催以降、毎年ウルトラシリーズがテレビ番組や映画、ビデオ作品と新シリーズが発信されるのに併せて、イベント内容を新シリーズに焦点を当てた内容に一新し、現在まで開催され続けてきた。

両観光形態を比較すると、2つの共通する性質を見出すことができた。共通する性質にはまず、「一定期間ごとのショー内容の入れ替え」にある。「②常設施設型形態」は、後楽園ゆうえんちの事例を通じて、1年間で番組を終了し、次のシリーズを放送する特撮ヒーロー番組の性質と連携しながら、ショー内容を1年ごとに新番組を題材とした公演に入れ替えて、新規性をアピールすることで、継続的な集客に繋げる性質を持っていることを明らかにした。一方で「③恒例開催型形態」は、ウルトラマンフェスティバルの事例を通じて、テレビ番組や映画、ビデオ作品等の、各メディアを通じたウルトラシリーズの発信と並行して、1年ごとにイベントのテーマを切り替えながら新規性を維持し、継続的な集客へと結びつけていることが確認できた。

続いて、「新規性を維持する素材となる、特撮映像作品の導入」が挙げられる。つまり、「②常設施設型形態」や「③恒例開催型形態」を実践するためには、ウルトラシリーズやスーパー戦隊シリーズのように、毎年テレビ番組や映画などで新シリーズを発表している特撮映像作品の存在が必要不可欠で有り、単発的に放送を終了してしまう特撮映像作品では、両観光形態を維持することは困難であると推測できる。

つまり、「②常設施設型形態」や「③恒例開催型形態」の事例も、先述した「一定期間ごとのショー内容の入れ替え」と「新規性を維持する素材となる、特撮映像作品の導入」を実践することによって、イベントを長期的に開催し続けてきたことが考えられた。このことから、親から子へ、また次の世代と、世代を跨いだ連鎖効果によって特撮ツーリズムが持続する「世代の循環」とは、こうした両観光形態による「一定期間ごとのショー内容の入れ替え」を実践した開催地にて鮮明に見られる性質であることが考えられた。

藤井（2003）は、キャラクター・ビジネスの問題点として、キャラクターの商品価値の短さを挙げている。つまり、キャラクターはテレビ放送と連動して市場に投入された後に、放送終了と共に商品価値を失い、市場から消滅することを言及した。その一方で、キャラクター商品が再生して、次世代に受け継がれる特性について、ウルトラマンと仮面ライダーが、父子二世代に渡り「世代から世代に受け継がれる」形で再生する文化の特質についても言及していた[280)]。

先述したとおり、藤井（2003）はテレビ放送の終了と共にキャラクターは市場価値を喪失し、消滅していくことを挙げているが、特撮ヒーロー番組はシリーズとして、世代を超えて継承される性質を有していることから、消滅を免れていることについて挙げている。しかし、個人が特撮映像作品を視聴する環境も、時代の変遷と共に変化の一途を辿っており、各作品の発信媒体も、映画やテレビ番組、ビデオ、インターネットと時代を跨ぎながら拡大の一途を辿っている。つまり、個人が特撮映像作品を視聴できる機会が、各時代を通じて増加している環境が現在にかけて整備されており、例えば、これまで定刻にテレビをつけなければ視聴できなかった特撮ヒーロー番組が、現在はビデオデッキで容易に録画が可能となった他、パソコンやスマートフォンで過去に放送された作品の視聴も可能とな

っている。つまり、個人が関心を持った作品を自由に選択して、望む時間に視聴することができる環境にある。この作品視聴環境の変化が、「②常設施設型形態」や「③恒例開催型形態」に今後どのような影響を与えるかについては、以降も議論の余地があると考えられる。

ここまで、「②常設施設型形態」や「③恒例開催型形態」が、親子三世代を跨ぐ周期的な連鎖効果を実践し、特撮ツーリズム現象の持続性に直結してきた「世代の循環」について述べてきた。つまり、特撮ツーリズムを持続させるためには、子ども達だけを開催の念頭に置くのではなく、過去に特撮映像作品を視聴していた大人の世代や、現在特撮映像作品を視聴している子ども達の世代、さらに次の世代が特撮映像作品を視聴してイベントに訪れる周期的なサイクルを視野とした開催によって、現在まで特撮ツーリズムが持続してきたことが考察できた。

8－2　特撮ツーリズム開催目的の多様化

続いて、国内で現象が確認されるようになった当初は、特撮映像作品の作品宣伝から始まった特撮ツーリズムが、映画やテレビ番組、インターネットと特撮映像作品が様々な媒体を通じて発信されるようになったことと並行して、その開催目的が多様化してきた「2. 特撮ツーリズム開催目的の多様化」について考察を行なった。筆者ら（2016）は、特撮ツーリズムの歴史について、各時代から概観できる特徴を、時代の変遷に着目しながら概観した際に、特撮ツーリズムは現象が始動した当初は、デパート屋上や百貨店での開催が中心であったが、1970 年以降には大型遊園地での開催事例が多発していたことを明らかにした。さらに 2000 年以降になると、国内各所での特撮を活用した地域振興事例が多発した他、特撮と地域観光局や飲食店との提携等、様々な場所を拠点にしながら、特撮ツーリズムが開催されてきたことも判明した [87]。つまり、「特撮ツーリズム」の特徴には、特撮映像作品があれば場所を問わずに開催できることに特徴があり、特撮ツーリズムはこの特徴を生かして多種多様な場所で開催されてきたことで、観光現象として現在まで認知されてきたことが考察できた。例えば、円谷プロの『ウルトラマン（1966）』シリーズのイベントは国内外の多様な場所で開催されており、デパートやショッピングセンターといった商業施設、駅や空港等の交通施設、飲食店や市民交流センター、宿泊施設、様々な場所で開催されてきた。

このように特撮ツーリズムが多種多様な開催地で開催されてきた背景には、その開催目的も時代の変遷と共に多様化してきたことも考えられる。特撮ツーリズムが開催された当初の時代である、「①単発開催型形態」が確立された 1955 年から 1964 年まで遡ると、怪獣ゴジラの着ぐるみを使用したイベントの開催目的とは、東宝による「特撮怪獣映画の宣伝」にあった。しかし、1966 年より円谷プロが特撮怪獣番組『ウルトラ Q（1966）』を皮切りに、テレビ番組で『ウルトラマン（1966）』の放映が開始されると、「テレビ番組の宣伝」の目的が付加されたと共に、イベント開催が円谷プロの重要なビジネスとして確立されるようになった。つまり、映像作品の宣伝だけでなく「イベントを通じた収益の回収」も開催目的として付加されるようになり、企業（映像制作会社）が収益を得る手段としても特撮ツーリズムが活用されるようになった。イベントの目玉として怪獣の着ぐるみが使用された当初は、幼稚園などの催事に無料で着ぐるみが貸し出されていたが、1966 年にはウルトラシリーズの放映局である TBS が、円谷プロ作品の着ぐるみの造型を担当する高

山良策に対し、イベントで使用する怪獣の着ぐるみを発注しており、特撮映像作品本編に登場する怪獣の着ぐるみとは別に、イベント専用の怪獣の着ぐるみが創出されるようになった。イベント専用の着ぐるみの増産により、全国の複数箇所で催事を開催することが可能となったことから、全国各地からイベントを通じた収益の回収が可能になった他、特撮怪獣番組の宣伝も併せて行えるようになった。

しかし 1971 年以降に、二子玉川園と後楽園ゆうえんちにおいて『②常設施設型形態』が開催されるようになったことに伴い、特撮ツーリズムの開催目的は、新たに「開催地の宣伝」が加わるようになった。まず、二子玉川園では『帰ってきたウルトラマン（1971）』から『ウルトラマンレオ（1974）』が放映された約 4 年間、円谷プロと独占契約を締結したことから、二子玉川園を拠点とした特撮怪獣のテーマパーク（「怪獣ランド・二子玉川園」）を創出しようという動きが確認されるようになった。これにより、円谷プロが遊園地を通じた自社の作品の宣伝と共に、版権使用料を二子玉川園から回収できるのに対し、二子玉川園もウルトラシリーズを誘致資源に観光者を園内に招き入れ収益を獲得できるという、双方の利害関係が一致した形でのイベントの開催が確立されるようになった。こうした映像制作会社と遊園地が提携して、特撮映像作品を使用した展示やショーを常設的に行なうというイベント開催形式は、『仮面ライダー（1971）』シリーズを制作した東映と後楽園ゆうえんちの提携事例も確認できることから、これまでの「作品の宣伝」や「収益の回収」に加えて、「イベント開催地の宣伝」も開催目的として加わるようになったことが考察できた。この「イベント開催地の宣伝」において、二子玉川園と後楽園ゆうえんちの両施設には、特筆すべき共通の特徴がある。それは、テレビ番組の舞台として両施設が描写されている点にある。

二子玉川園は、円谷プロ制作の特撮ヒーロー番組にて 2 度作品の舞台として使用されており、それは 1971 年に二子玉川園と円谷プロが独占契約を結んだことを契機に、「怪獣ランド・二子玉川園」として、円谷プロ作品に登場するヒーローや怪獣の着ぐるみの常設展示や、実演ショーの開催が隆盛を極めていた最中のことであった[159)]。1973 年 9 月 26 日放映の『ジャンボーグ A』第 37 話「出現！恐怖の怪鳥エレキバード」では、本作の主人公・ジャンボーグ A の宿敵であるグロース星人（三代目戦闘隊長マッドゴーネ）が、「怪獣ランド」を開催している二子玉川園内の立像を攻撃用のロボット怪獣に仕立てる計画を立て、これを動かすエネルギーを放射する怪鳥サイボーグ・エレキバードの卵を園内地下に隠している描写が行なわれた。また、1974 年 6 月 7 日放映の『ウルトラマンレオ』第 9 話「宇宙にかける友情の橋」では、二子玉川園に遊びに来ていたトオル少年が、園内で開催されている怪獣ショーに紛れ込んでいた宇宙星獣・ギロ星獣と仲良くなり、園内で共に遊ぶという描写が行なわれた。

対して後楽園ゆうえんちは、1976 年 1 月 3 日に正月特番として放映された『全員集合！7 人の仮面ライダー』では、後楽園ゆうえんち野外劇場ステージ地下にアジトを有し、後楽園ゆうえんちで公演されている「仮面ライダーショー」を観劇する子ども達を人質にして大金を奪おうとする「暗黒大将軍」を相手に、7 人の仮面ライダーが「後楽園ゆうえんち野外劇場」を舞台に闘う内容であった。

上述したとおり、二子玉川園も後楽園ゆうえんちも、実在する施設を物語の舞台として描写しており、テレビ番組を通じて施設を PR していることに特徴がある。つまり、国土交通省総合政策局観光振興課ら（2004）によって、映画やテレビドラマを活用して観光誘

致を促進する「コンテンツツーリズム」[6] を提唱される以前より、映画やドラマの舞台として場所を PR する動向が既に両施設にて実践されていたといえる。こうした映像メディアを活用した「開催地の宣伝」は、「①単発開催型形態」が出現した時代では、特撮ツーリズム開催地が、特撮映像作品を宣伝する場所として活用されていたのに対し、「②常設施設型形態」が出現した時代になると、特撮映像作品が特撮ツーリズム開催地を宣伝する逆転現象が発生していた。

このように、テレビ番組といった映像メディアを使用した「開催地の宣伝」は、『③恒例開催型形態』が出現した 1989 年以降も継続されるようになった。1991 年には「レンタルビデオ」を筆頭にビデオソフトの需要が高まっていたことから [127]、当観光形態の発起イベントである「ウルトラマンフェスティバル」は 1996 年より、会場内で行なわれているステージショー「ウルトラライブステージ」をビデオソフトとして販売し、一般小売店やレンタルビデオ店で流通させることで、放送時間に縛られることなく、個人が好きな時間に再生できるビデオの特性を生かした、夏季恒例開催イベント「ウルトラマンフェスティバル」の PR を行なうことが可能となったことが考えられる。

テレビ番組、家庭用ビデオを通じた、特撮ツーリズムの「開催地の宣伝」が行なわれるようになったことは上述してきた通りであるが、『③恒例開催型形態』では、特撮イベントが大型ショッピングセンター等の「複合商業施設との提携」することを開催目的として、長期的に持続してきたことにも特徴がある。池袋サンシャインシティにて、1989 年より「ウルトラマンフェスティバル」が夏期恒例催事として定着すると、観光者はウルトラマンの催事だけでなくサンシャインシティ内にある他の施設も訪れることを見据えたキャンペーンが、現在までのウルトラマンフェスティバルにかけて実践されるようになったことが挙げられる。池袋サンシャインシティは、1978 年に高層ビル「サンシャイン 60」の開業されたのを起点に、ショッピングセンターである「専門店街アルパ」、水族館とプラネタリウムが設置された「ワールドインポートマートビル」、劇場や博物館を導入した「文化会館」等を導入した複合商業施設として、現在まで機能してきた。このことから、ウルトラマンフェスティバルでは、下図のようなサンシャインシティ水族館とのコラボレーション展示や、他の施設と併用した割引チケットの販売など、サンシャインシティ内にある他の施設と連携したキャンペーンが実践されていることから、「複合商業施設との連携」も開催目的として活用されていることが考察できた。

上述してきたように、特撮ツーリズムの開催目的は、歴史の変遷と共に多様化の一途を辿り続けてきた。さらに 2001 年以降になると、特撮映像作品とゆかりのある町が、特撮を誘致資源とした「地域活性化」の目的の下で、観光者を誘致する「⑤地域資源型形態」が実践されるようになった。これまでの特撮ツーリズムは、特撮イベントと 1 つの施設（遊園地や複合商業施設）が連携して双方を PR するという形が行なわれていたが、「地域活性化」は 1 つの施設ではなく町全体を括って振興の対象となっていることに特徴がある。

国内の各市町村が、特撮映像作品を誘致資源に、「特撮映像作品の制作者の生誕地」もしくは「ゆかりのある地」として、地域に観光者を誘客する動きがあることは上述したとおりであるが、各市町村は元々特撮とは無縁の、固有の観光資源を有しており、特撮映像作品はその発信をより促進する役割を担っていた。

例えば、福島県須賀川市は元々「須賀川牡丹園」（註 1）や「大桑原つつじ園」（註 2）などの観光植物園が創設されている他、日本三大火祭りとして数えられている「松明あかし」

（註 3）や毎夏恒例催事として「釈迦堂川花火大会」（註 4）の開催等、複数の観光名所や伝統行事を持っている。しかし、2013 年 5 月 5 日より須賀川市が、架空の街である「M78 星雲　光の国」と姉妹都市提携を結んだことを契機に、これら植物園や伝統行事等が、ウルトラシリーズと結びつけて PR されるようになった。「須賀川牡丹園」は、姉妹都市提携後にウルトラの父が牡丹を植樹した場所として発信されている上[226)]、「釈迦堂川花火大会」ではウルトラマンの形状の花火が打ち上げられる等、既存の観光資源にウルトラマンの要素が付加されることによって、これまで当観光資源を知らなかった観光者が、ウルトラマンを通じて認知することができるようになることが考えられる。つまり須賀川市の観光のメインとは、植物園や伝統行事など、あくまで須賀川市が所有している観光資源にあり、ウルトラマン等の特撮映像作品は、これらの観光資源に付加価値を添える存在として機能していることが考察できた。

この 1 つの施設から 1 つの町の振興へと、開催規模が拡大した「地域活性化」は、やがて海外の島々を振興することを視野とした観光目的へと変質するようになった。2014 年に円谷プロとハワイ州観光局のコラボレーション企画として開催された「ウルトラハワイ」は、ウルトラファミリーがハワイの魅力を届けるというコンセプトで、ハワイ諸島（オアフ島、ハワイ島、マウイ島、カウアイ島）を包括してハワイの魅力を PR することによって、各島々にウルトラマンを介して観光者が訪れるという仕組みが構築されていた。しかし、「ウルトラハワイ」も、当キャンペーンの主役は、マリンスポーツやショッピング、食事等の、ハワイで体験できる固有のアクテビィティであり、須賀川市と同様、ウルトラマン等の特撮映像作品は、これらの観光資源に付加価値を添える存在として機能していた。

ここまで、特撮ツーリズムの開催目的の多様化について上述してきた。これらを概観すると、時代の変遷の中で、特撮ツーリズムの開催地は多様化の一途を辿っており、異なる性質の場所でイベントを開催するのに応じて、開催目的も併せて増加していることに特徴があると考えられた。つまり、特撮ツーリズムが 19 の行動特性を創出してきた要因には、開催地の多様化が挙げられると共に、特撮ツーリズムの開催目的も併せて多様化してきたことが考察できた。

補註

註 1：須賀川市牡丹園にある観光植物園。明和 3（1766）年に薬種商の伊藤氏が、牡丹の苗木を兵庫県宝塚市から持ち帰って栽培をしたのが始まりとされている。昭和 7（1932）年には国の名勝に指定され、開花時期になると、290 種、7000 株の牡丹が咲く様子が観賞できる[226)]。

註 2：須賀川市大桑原竹の花にある観光植物園。2 つの丘と 1 つの畑（約 1 万坪）に、つつじ約 100 種約 3000 株、 西洋石楠花約 50 種約 2000 株、芍薬約 50 種約 5 万本が中心に植えられており、4 月下旬～6 月上旬には、丘一面にてパノラマ的に花々が咲く様子が観賞できる[226)]。

註 3：日本三大火祭りの 1 つであり、400 年以上の伝統を誇る。約 30 本の松明の炎が、松明太鼓の轟と共に晩秋の夜空を焦がす炎の祭典として PR されている[281)]。

註 4：須賀川市の夏の風物詩として定着している、夏季恒例開催の花火大会。約 1 万発の花火が打ち上げられる[281)]。

8－3　ファンやコレクターを視野とした観光誘致策

最後に、特撮ツーリズムに参加している観光者が高齢化していることを踏まえ、これらの観光者に対し、特撮ツーリズムの開催側がどのような誘致を試みてきたかについて「3. ファンやコレクターを視野とした観光誘致策」を通じて考察を実施した。つまり、特撮ツーリズムの誘致対象を子ども達だけでなく、特撮映像作品を幼少期より長期的に視聴してきたファンや、特撮映像作品に登場するヒーローや怪獣等を模した玩具を収集することを目的に来訪するコレクター等、大人の年齢層を対象に、イベントを開催してきたことに要因があることが考えられた。こうした大人の年齢層を対象に特撮イベントを開催し、誘致を行なう方法は、大きく 3 種類に大別できることが考察できた。大人を誘致対象に特撮イベントを開催したイベントは資料調査及び現地調査において多々確認できたため、本論では、4 年以上に渡り継続的な現地調査を実践した「ウルトラマンフェスティバル」を事例に後述する。

まず、「①各時代の作品を視聴してきた観光者と共に、作品放送当時の様子を懐かしむトークショーの開催」が挙げられる。先述したとおり、我が国の特撮映像作品の歴史は 70 年以上に及んでいる。さらに、特撮映像作品の中には、東宝の『ゴジラ（1954)』シリーズや円谷プロの『ウルトラマン（1966)』シリーズのように、映画やテレビ番組を通じて、半世紀以上に及ぶ長寿シリーズとして発信されてきた作品も存在する。この長寿シリーズをイベントの誘致資源としている特性を生かし、夏季恒例催事である「ウルトラマンフェスティバル」では、各時代に放送されたウルトラシリーズの出演者や監督等が登壇し、制作当時の撮影現場の様子や、作品が制作されるようになった経緯等を舞台上で話すトークショーの開催を、毎年夜間特別イベントとして開催するようになった。つまり、各時代の作品を当時視聴してきた来場者と共に、作品放送当時の様子を懐かしむイベントが頻繁に開催されるようになった。

毎年「ウルトラマンフェスティバル」では、朝 10 時から夕方 17 時半までの営業時間の終了後に、夜間特別イベント（スペシャルナイト）と題して、ウルトラシリーズの出演者や監督ら等の作品制作者を招いたトークショーを開催し、大人の年齢層となった作品ファンを誘致してきた事例が、2014 年から 2018 年までの現地調査にて複数確認することができた（表－39 の 9,10,29,31,34,35, 71-73,76,77, 110,112,113,115,137-143)。スペシャルナイトの多くは、特撮映像作品出演者や制作者によるトークショーをイベントの核としており、着ぐるみを使用した実演ショーに重きを置いていないことに特徴があった。代表的な事例としては、「ウルトラマンフェスティバル 2014」の開催期間中に行なわれた「ウルトラマンフェスティバル 2014　レジェンド 5 光の国に大集結！！」（表－39 の 9）や、「ウルトラマンフェスティバル 2015」の開催期間中に行なわれた「ウルトラマンフェスティバル 2015　特別イベント　スペシャルレジェンドナイト」(表－39 の 35) 等が挙げられる。

「ウルトラマンフェスティバル 2014　レジェンド 5 光の国に大集結！！」（表－39 の 9）は、『ウルトラマン（1966)』、『ウルトラセブン（1967)』、『帰ってきたウルトラマン（1971)』、『ウルトラマン A（1972)』、『ウルトラマンレオ（1974)』の各作品で主人公を演じた俳優達が一堂に会し、各作品撮影当時の様子や、その他制作秘話を語るトークショーがイベントの中心となっていた（註 1)。また、「ウルトラマンフェスティバル 2015　特別イベント　スペシャルレジェンドナイト」（表－39 の 35）においても同様に、『ウルトラマン（1966)』、『ウルトラセブン（1967)』の出演者や両作品の監督が登壇し、両作品の

制作秘話等について語るトークショーがイベント内容となっていた。

両イベントは、着ぐるみによる実演ショーでなく、作品制作者らによるトークショーに重きが置かれていることに特徴がある。つまり、ウルトラマンや怪獣の実在を信じる年齢層である子ども達を開催対象から排除し、特撮映像作品をつくりもの、即ち制作物として認識できる大人を誘致の対象とすることで、作品を制作した際の裏話を、出演者らから直接聞くことが可能である点に特徴があった。

上述した夜間特別イベント（スペシャルナイト）は、2016 年以降も継続されるが、これ以降に開催されたスペシャルナイトの特徴には、『ウルトラ Q（1966）』、『ウルトラマン（1966）』や『ウルトラセブン（1967）』放送当時、作品をリアルタイムで視聴していた人物によるトークショーが開催されていたことにある。つまり、放送当時子どもだった世代が、自らの体験と共に作品を解説する内容でトークショーが開催された。この事例には、2017 年度開催の「ウルトラトークライブ みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェス」（表－39 の 112）、2018 年度開催の「ウルトラトークライブ『みうらじゅん×山田五郎のオトナのウルフェス Vol.2』」（表－39 の 138）が該当し、特撮映像作品の制作者ではない出演者 2 名（みうらじゅん氏、山田五郎氏）による、『ウルトラ Q（1966）』、『ウルトラマン（1966）』、『ウルトラセブン（1967）』の放送当時の様子や、両者の視点から作品を解説する内容のトークショーが実施された。

続いて、「②新商品告知イベントの開催」が挙げられる。これはイベントを通じて、今後玩具メーカーが販売する商品を告知する内容で開催されたものであり、2018 年開催時の「ウルトラマンフェスティバル 2018」スペシャルナイトでは 2 つの事例が確認できた。「TAMASHII NATIONS presents ニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイト」（表－39 の 139）及び、「ウルトラマンルーブスペシャルナイト」（表－39 の 145）では、両イベント共に「15 歳以上」の年齢制限が設けられ、未就学児を筆頭とする子ども達をイベントの対象としていないことが明確化された。両イベントは、2014 年以降に放送されたウルトラシリーズの出演者・制作者らによるトークショーを行なうと共に、作品関連玩具の発売情報を併せて告知するイベントとして機能していた。「TAMASHII NATIONS presents ニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイト」（表－39 の 139）のイベント内容は、『ウルトラマンギンガ S（2014）』、『ウルトラマン X（2015）』の出演者と監督による、作品を題材としたトークショーと併せて、株式会社「BANDAI SPIRITS」コレクターズ事業部の社員による、両作品に登場するヒーローを立体化した新商品（玩具）の告知が行なわれた（註 2）。また、「ウルトラマンルーブスペシャルナイト」（表－39 の 145）でも、『ウルトラマン R/B（2018）』の出演者と監督によるトークショーが行われたと共に、『ウルトラマン R/B』の出演者（愛染マコト役：深水元基氏）による株式会社バンダイから発売されている玩具「DX オーブリング NEO」の紹介が行なわれた。

最後に、「③イベント限定商品の販売」である。「ウルトラマンフェスティバル」は先述してきた大人のファンを対象としたスペシャルナイトの開催だけでなく、会場限定商品の販売が 1993 年から現在にかけて実施されてきた。「ウルトラマンフェスティバル」で販売されてきた限定商品とは、先述した特撮ツーリズム全 19 の行動特性の 1 つである「⑦限定商品対象型」でも取り上げた「限定ソフビ人形」である。この限定ソフビ人形とは先に述べた通り、大手玩具メーカーである株式会社バンダイによって、全国の玩具販売店にて発売されている「ウルトラヒーローシリーズ」、「ウルトラ怪獣シリーズ」等のウルトラマ

ンや怪獣のソフビ人形を、イベント会場販売向けに新彩色、新規造型した商品である。これらのソフビ人形は、子ども達が純粋に手に取って遊ぶ人形として機能するだけでなく、人形を収集することを目的としたコレクターを誘致する一因としても機能してきたことが挙げられる。つまり「限定ソフビ人形」は、一般店頭では入手できないことから、イベント会場へと訪れる誘因として機能していると共に、イベント開催期間中でしか購入できない希少性も併せて有している。このことから、人形の収集を目指すコレクターも取り込んだ商品開発を毎年行うことは、イベントを長期的に継続させる仕組みの 1 つして現在まで機能してきたことが、「ウルトラマンフェスティバル」の事例を通じて考察することができた。ただし、限定ソフトビニール人形の販売を約 30 年に渡って継続しながら、イベントを恒例開催した事例は、「ウルトラマンフェスティバル」のみであった。

このように「ウルトラマンフェスティバル」は、大人の年齢層を対象に、「①各時代の作品を視聴してきた観光者と共に、作品放送当時の様子を懐かしむトークショーの開催」、「②新商品告知イベントの開催」、「③イベント限定商品の販売」から成る以上 3 種類の方法を実践することで、大人の年齢層の誘致を積極的に行なっていた。

特撮ツーリズム開催地へと訪れる大人の特徴とは、「自ら消費行動を管理できること」にある。大人は、1 人（あるいは友人）で特撮ツーリズムの開催地に訪れ、自ら思考しながら、開催地にて消費行動を行う。つまり、親が同伴して、親の監督下で消費行動が抑制される子どもとは異なり、大人は自己が許容する範囲内で、催事に参加する、商品を購入する等の消費行動を行うことができるのである。そこで特撮イベントを開催する側も、特撮映像作品の出演者や制作者らによるトークショーやサイン会の開催の他、会場限定商品の販売を実践する等、大人の来場者の消費欲を向上させるプログラムをイベントに導入することで、子ども達だけではなく、来場者の年齢層の拡大によるイベントの長期開催の一因になり得ることが考察できた。

また、大人と子どもでは「特撮ツーリズム開催地に対する、関心の対象が異なる」ことも考えられる。例えば、全国各地で行なわれている特撮ヒーロー番組の実演ショーを例に考察すると、子ども達の場合、普段映画やテレビ番組の中で視聴している「本物」のヒーロー（あるいは怪獣等）と会うために、特撮ツーリズム開催地に親と訪れる。子ども達は目の前に登場する着ぐるみを、普段視聴しているヒーロー「本人」として認識し、ショーを観賞したり、握手をしたりする等の行動をする。しかし大人の場合は、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組を、監督や役者、その他制作者らによって発信された「つくりもの」として認識しており、実演ショーを観覧する際も、着ぐるみの中には演じる俳優がおり、その俳優は着ぐるみの芝居専門の俳優である「スーツアクター」であって、作品本編でヒーローに変身する演者とは違う人物が着用していることも把握してはいる。しかし、大人の観光者は、その着ぐるみが映像作品で実際に使用された物であることに着目している点など、子どもとは異なる視点で実演ショーを観賞している。この背景には、大人はヒーローや怪獣が実在する存在ではなく、空想の産物であることを理解していることから、着ぐるみそのものやそれを着用する演者に関心を寄せていることに要因があると考えられる。つまり、「実演ショーを観賞する」、「ヒーローと握手する」等、特撮ツーリズム開催地に寄せる目的は同じであっても、年齢の違いによって、イベント内容に寄せる関心が異なっている点があることが考察できた。

上述してきた通り、半世紀以上に渡って長期的にシリーズが発信される特撮映像作品を

題材としたイベントである「ウルトラマンフェスティバル」では、当イベントに参加している観光者が高齢化してきたことに伴い、イベント開催側が、大人を対象としたイベントプログラムの開発や、限定商品の販売を実践する事例を確認することができた。つまり、特撮ツーリズムの開催対象は、現役で特撮映像作品を視聴している子ども達だけでなく、ファンやコレクターといった大人も誘致対象にすることで、観光現象の長期的な継続に結びつけてきたことが考察できた。

補註

註 1)「ウルトラマンフェスティバル 2014　レジェンド 5 光の国に大集結！！」(表－39 の 9) では、『ウルトラマン (1966)』よりウルトラマンことハヤタ・シン隊員を演じた黒部進氏、『ウルトラセブン』よりウルトラセブンことモロボシ・ダン隊員を演じた森次晃嗣氏、『帰ってきたウルトラマン (1971)』よりウルトラマンジャックこと郷秀樹隊員を演じた団次朗氏、『ウルトラマン A (1972)』よりウルトラマンエースこと北斗星司隊員を演じた高峰圭二氏、『ウルトラマンレオ (1974)』よりウルトラマンレオことおおとりゲンを演じた真夏竜氏の 5 名が登壇し、司会を『ウルトラマン (1966)』より科学特捜隊のフジ・アキコ隊員を演じた桜井浩子氏が務めた。また「ウルトラマンフェスティバル 2015　特別イベント　スペシャルレジェンドナイト」(図－477)(表－39 の 35) では、『ウルトラマン (1966)』と『ウルトラセブン (1967)』より、前述した黒部進氏、桜井浩子氏、森次晃嗣氏に加え、両作品で監督を務めた飯島敏宏氏が登壇した。

註 2)「TAMASHII NATIONS presents ニュージェネレーションヒーローズ スペシャルナイト」で PR された玩具とは、株式会社「BANDAI SPIRITS」より、一般玩具店にて販売開始予定のアクションフィギュア「S.H.Figuarts ウルトラマンシリーズ」の新製品の発表の他、イベント開催当時販売中であったソフトビニール人形「ソフビ魂」シリーズの告知であった。なお、両玩具とも対象年齢は 15 歳以上のため、当イベントの開催はこれを踏まえて行なわれた。なお、「ウルトラマンルーブスペシャルナイト」で告知された「DX オーブリング NEO」については、対象年齢は 3 歳以上で販売され、子どもでも手に取れる玩具として全国の玩具売り場にて販売された。

第 9 章　結論

本研究では、国内の各映像制作会社が、着ぐるみやミニチュア等を活用したアナログ撮影によって制作された特撮怪獣映画や、特撮ヒーロー番組を誘致資源とした観光現象に焦点を当て、特撮を誘致資源とした観光現象を「特撮ツーリズム」と呼称した。その上で、特撮ツーリズムを「円谷プロや東宝、東映等が展開してきたアナログ特撮を対象に、様々な形態として行う観光現象」として定義した。

アニメやフィルムツーリズム等の他の観光現象と比較し､特撮ツーリズムの特徴には｢地域性のなさ｣が挙げられた｡つまり特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組の撮影で使用された、着ぐるみやミニチュア等の物品を、特定の場所（開催地）に持ち込むだけでショーや展覧会等のイベント開催が可能となる上、特撮怪獣映画や特撮ヒーローとは所縁のない地であっても、特撮ツーリズム開催地として機能できることに特徴があった。

また特撮ツーリズム開催地の性質には、撮影で使用された着ぐるみやミニチュア等の物品が、外部から開催地に持ち込まれ、virtual（非日常的）な世界観が構築されていることにあった。そこに来訪する観光者は、その非日常的な世界観を認識した上で、自分の目的を Actualize（実現）するために行動を起こしているものと考えられた。つまり、国産のアナログ特撮作品を対象とした観光研究は、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組が、観光地固有のものではないという性質から、「観光資源・観光現象」としての特異性が顕れており、これを指摘することで、我が国の観光研究の射程を拡げることに貢献できると考えた。

そこで、アナログ特撮作品の制作で使用された、着ぐるみやミニチュア等の「物品」を誘致資源とした「特撮ツーリズム」を提案し、観光という事象に対する認識の振り幅の拡大することを目的とした実証研究を行なった。本研究では、特撮ツーリズムがいつの時代に誕生し、どのような社会的背景を経ながら現在まで継続する観光現象として定着したかの「歴史」と共に、特撮ツーリズム開催地にて、観光者が自己の目的を達成するために行なう行動のパターン、即ち「行動特性」に焦点を当て、その実態を調査した。

まず、特撮ツーリズムがどのような社会的背景によって誕生、変質してきたかの歴史を調査するために、特撮映像作品の歴史を時系列的に纏める作業に着手した。その結果、我が国の特撮映像作品の歴史は、東宝制作の戦記映画『ハワイ・マレー沖海戦（1942)』まで遡り、その歴史は 70 年以上に及んでいた。70 年の歴史の中で、特撮映像作品は映画、テレビ、インターネット配信と多種多様な発信メディアを通じて、様々な世代に向けた視聴環境が構築されており、現在まで 617 作品、全 11,818 話が発信されていた。本稿では特撮の歴史を 8 つの時代に分類して、各時代に特撮映像作品が制作された社会背景や現在に至る変遷について纏めたところ、2 つの特徴が特撮の歴史から見出された。

まず、当初は映画で隆盛を極めていた特撮映像作品は、テレビ番組、ビデオ、インターネット配信と「①発信媒体の拡大」を実践しながら、現在まで連綿と続いてきたことが挙げられた。2 つ目の特徴として「②作品視聴層の多様化」が挙げられ、当初は大衆娯楽映画として発信されていた特撮映像作品は、子ども達を対象としたテレビ番組の放映も開始されるようになり、半世紀に渡りシリーズが展開される作品も輩出されたことから、親子三世代で作品を視聴できる環境が構築されていった。また特撮映像作品の中には、深夜番組や、特定の視聴層に向けた動画配信での発信が行われた作品も存在していたことから、青年層に向けた作品の発信も並行して行われてきたことが明らかとなり、特撮映像作品は 70 年の歴史の中で、多様な視聴層を獲得していたことが明らかとなった。

上述した特撮映像作品の歴史と共に、特撮ツーリズムも 1955 年に国内で最初の事例が確認されて以降、60 年以上の歴史を有していた。さらに、特撮ツーリズムは各時代において、6 つの特徴ある観光形態を創出し、現在までそれぞれ持続していた。

まず、着ぐるみの展示や実演ショーを単発的に開催する「①単発開催型形態」、遊園地に専用のステージを常設して、継続的にショーを公演する「②常設施設型形態」、毎年特定の時期に、恒例イベントを開催するようになった「③恒例開催型形態」、米国等の国外市場にて、ショーを開催するようになった「④海外輸出型形態」、特撮映像作品と地域が提携して、特撮を観光資源化した地域振興を実践する「⑤地域資源型形態」、SNS を活用した観光情報の発信や、AR 等の新技術を導入するようになった「⑥新メディア導入型形態」であった。

上述してきた特撮ツーリズムの歴史を明らかにした上で、当観光現象が現在まで持続してきた背景には、特撮ツーリズム開催地へ訪れる「人」の存在が支えとなっていたと考えた。そこで、特撮ツーリズム開催地に訪れる観光者は、何を目的に来訪し、どのような行動を行なっているのかについて、行動パターンの類型化による調査を行なった。先述した様に、特撮ツーリズム開催地は、アナログ特撮の制作で使用された、着ぐるみやミニチュアといった「物品」を開催地に導入して、非日常的（Virtual）な空間を創造し、そこに訪れた観光者が自身の目的を実現（Actualize）することに特徴があることから、特撮ツーリズム観光地でしか見られない、観光者の多様な目的に沿った行動パターンを、「行動特性」として定義した。

これら観光者の行動特性を分析し、属性に応じて類型化する作業を実践したところ、19 の行動特性に分類できた。さらに、各行動特性同士で共通する属性を比較によって見出す調査を行なったところ、19 種の行動特性は、「現物」、「購入」、「遊戯」、「映像」、「地域イメージ化」の 5 つの属性に包括できるものであった。

5 つの属性とは、まず観光者が特撮映像作品のイベントで「現物」と直接接触する行為が共通している『1.接触系』があり、①ショー型、②展示型、③交流型、④教育型、宿泊型から成る、5 つの行動特性を纏めることができた。続いて、観光者が開催地にて商品を「購入」する要素が共通した『2.販売系』では、⑥飲食型、⑦商品型、⑧なりきり型、⑨工作型の 4 つの行動特性を包括した。3 つ目に、観光者が、特撮映像作品と提携したスポーツ会場や遊園地等に「遊戯」を求めて、観光地へと訪れる性質が共通した『3.遊戯系』では、⑩アミューズメント型、⑪スポーツ観戦型、⑫乗り物型、⑬園内風景型の 3 つの行動特性が包括できた。4 つ目に、観光者が特撮映像作品のロケ地の見学や、映画祭での作品観賞等、「映像」作品を追体験する要素が共通した『4.映像体験系』では、⑭ロケ地訪問型、⑮ロケ参加型、⑯映像作品観賞型の 3 つの行動特性が包括できた。最後に、特撮映像作品に登場した出演者やキャラクター達が、地域を象徴するキャラクターとして観光地を PR することにより、観光来訪者が地域に対して特徴ある印象を抱きながら来訪する「地域イメージ化」が共通した『5. 地域イメージ形成系』では、⑰スタンプ収集対象型、⑱観光大使対象型、⑲イメージキャラクター対象型から成る、3 つの行動特性が包括できた。

つまり、「『特撮ツーリズム』は、特撮映像作品の発信と共に継続された観光現象であり、観光者の行動には、アニメやフィルムといった、他のコンテンツツーリズムの参加者とは異なる特殊性がある」と仮説は、特撮ツーリズムが 60 年の歴史の中で、特撮怪獣映画や特撮ヒーロー番組のヒットに応じて、これらの作品を誘致資源とした 6 つの観光形態を誕生

させて現在に至ってきたことや、全 19 の行動特性が存在していたことから、この仮説を立証することが可能ではあった。

しかし特撮ツーリズムは、特撮映像作品が我が国で制作されるようになったと同時に出現した観光現象ではなく、国内最初の事例が確認されたのは、我が国初の特撮映像作品である戦記映画『ハワイ・マレー沖海戦（1942)』の公開から、約 13 年後のことであった。さらに 1955 年から 1964 年にかけて、東宝は特撮怪獣映画を次々と量産してきたのに対し、特撮ツーリズムの事例は現状確認することはできなかった。しかし、1964 年以降になると事例は途切れることなく、特撮映像作品の放送と共に観光現象も継続している特徴があった。そこで本研究では、特撮ツーリズムは、長期的なシリーズとして展開してきた特撮映像作品の発信と密接した関係性を有しており、当観光現象に参加する観光者も、時系列的な変化を遂げてきたことに着目した。仮説「『特撮ツーリズム』は、特撮映像作品の発信と共に継続された観光現象であり、観光者の行動には、アニメやフィルムといった、他のコンテンツツーリズムの参加者とは異なる特殊性がある」に基づき、特撮ツーリズムと、長期的なシリーズ展開を実践してきた特撮映像作品との関係性に焦点を当てた 3 つの考察を行なった。

まず、「1.世代の循環」が挙げられた。つまり、特撮ツーリズムの誘致資源である特撮映像作品は 70 年間の歴史を持ち、作品の中には 50 年以上長期的に派生作品を制作し続けたものもある。これに伴い、作品視聴層も親子二世代、三世代と拡大し続けている。幼少期に特撮ツーリズムに参加した世代が親の世代となり、子ども達を連れてくる、そしてまた次の世代に現象が継承される世代を跨いだ連鎖効果が、現在までの特撮ツーリズム現象の持続性に直結していることが考察できた。

続いて、「2.特撮ツーリズム開催目的の多様化」が挙げられた。特撮ツーリズムが約 60 年の時代の変遷の中で、特撮ツーリズムの開催地は多様化の一途を辿っていた。この背景には、異なる性質の場所でイベントを開催するのに応じて、開催目的も併せて多様化していたことが考えられた。この開催目的の多様化は、特撮ツーリズムが 19 の行動特性の創出の要因になってきたことが考察できた。

最後に、「3.ファンやコレクターを視野とした観光誘致策」が挙げられた。これは、ウルトラシリーズに代表される特撮映像作品が、半世紀以上と長期的にシリーズが発信されてきたことから、「ウルトラマンフェスティバル」等の特撮イベントに参加している観光者が高齢化してきたことに伴いイベント開催側が、大人を対象としたイベントプログラムの開発や、限定商品の販売を実践する事例を確認することができた。「ウルトラマンフェスティバル」の事例を通じ、夜間特別イベントや新商品告知イベントの開催、イベント限定商品の販売等、大人の来場者の消費欲を向上させるプログラム等が行なわれてきた。特撮ツーリズムの開催対象は、現役で特撮映像作品を視聴している子ども達だけに留まらず、ファンやコレクターといった大人も誘致対象とすることで、観光現象の長期的な継続に結びつけてきたことが考察できた。

上述してきたように、本研究では、アナログ特撮作品を誘致資源とした「特撮ツーリズム」について、その歴史と行動特性について明らかにしたが、今後の展望として、本稿で明らかにした研究内容についての他の観光現象への応用や、比較研究等といった、「観光研究の射程の広がり」が考えられる。

特撮ツーリズムの歴史は、怪獣やヒーローという偶像的な存在を対象に、観光者が来訪

する事象が、60 年以上に及んでいることを明らかにした。またその歴史の中で、6 つの異なる観光形態が各々の時代に誕生したことを明記したが、このような偶像的なものを観光資源に人を誘致するという方法は、アイドルを対象に人を誘致する「アイドルツーリズム」をはじめ、舞台を拠点に活躍する俳優やアイドルに焦点を当てた観光にも共通している。つまり、歌舞伎や宝塚歌劇といった舞台演劇をはじめ、ジャニーズ Jr.や「会いに行けるアイドル」を標榜する AKB48 他、その姉妹グループ等の活動にも見出せる。そこで、これら他の観光現象の歴史においても、いくつかの観光形態が生み出されてきたのか、またそれが、特撮ツーリズムが創出したものと、性質が同一あるいは比較できるものであるのか等について、より広く展開が可能である。

また特撮ツーリズム開催地にて、観光者の行動パターンを類型化した 19 の行動特性は、他のツーリズム開催地に訪れる観光者にも応用できるのかについても、研究の展望があると考える。例えば、映像作品が誘致資源として機能している点では、特撮ツーリズムと類似性のある「アニメツーリズム」や「フィルムツーリズム」においても指摘されているが、本稿で明らかにした 19 行動特性のように、これらの観光現象に訪れる観光者の行動パターンについて、詳細に類型化した研究を現状では確認することが出来ない。そこで、他の観光現象にも焦点を当てた行動特性の類型化研究を実践することで、それぞれ固有の特徴を明確化できることに研究の将来性がある。

引用文献・URL

1）新村出、「広辞苑　第七版」、岩波書店、東京：324,1062,1124,2086,2528,3144pp、2018
2）2003 年 4 月 24 日 観光立国懇談会　観光立国懇談会報告書－住んでよし、訪れてよしの国づくり－　https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko/kettei/030424/houkoku.html（2019 年 8 月 3 日閲覧）
3）2002 年 7 月 3 日 知的財産戦略会議　知的財産戦略大綱 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki/kettei/020207taikou.html#0-0（2019 年 8 月 3 日閲覧）
4）コンテンツの創造、保護及び活用の促進に関する法律（平成一六年法律第八一号）http://www.cas.go.jp/jp/hourei/houritu/kontentu.html（2019 年 8 月 3 日閲覧）
5）2004 年 5 月 27 日 知的財産戦略本部　知的財産推進計画 2004 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/040527f.html（2019 年 8 月 3 日閲覧）
6）平成 17 年 3 月 国土交通省総合政策局観光地域振興課・経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課・文化庁文化部芸術文化課　平成 16 年度国土施策創発調査 映像等コンテンツの制作･活用による 地域振興のあり方に関する調査 報告書 http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatu/h16seika/12eizou/12eizou.htm（2019 年 8 月 3 日閲覧）
7）平成 19 年 3 月 国土交通省総合政策局平成 18 年度国土施策創発調査 日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による 地域活性化調査報告書　http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatu/h18seika/01anime/01anime.html（2019 年 8 月 3 日閲覧）
8）2013 年 6 月 7 日 知的財産戦略本部 知的財産戦略ビジョン https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/vision2013.pdf（2019 年 8 月 3 日閲覧）
9）tou
10）知的財産の創造、保護及び活用に関する推進計画　http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/030708f.html（2019 年 8 月 3 日閲覧）
11）知的財産基本法（平成 14 年 12 月 4 日法律第 122 号）http://www.cas.go.jp/jp/hourei/houritu/titeki_h.html（2019 年 8 月 3 日閲覧）
12）青山紘一、「感性情報・感性製品の知的財産権保護」、国立国会図書館蔵書データベース　NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000000338743-00（2019 年 8 月 3 日閲覧）
13）2002 年 7 月 3 日 知的財産戦略会議知的財産戦略大鋼 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki/kettei/020703taikou.html#0-0（2019 年 8 月 3 日閲覧）
14）小南典子「地方自治体における知的財産政策：振興と転換の課程」四天王寺大学紀要（53）：169-197、2011
15）小野奈穂子「知的財産の担保性 ： 取引という側面からみた知的財産法制度の現状と課題」国立国会図書館蔵書データベース https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I024033151-00（2019 年 8 月 3 日閲覧）
16）井上従子「イノベーションの促進と独占禁止法～イノベーション促進の視点導入による米国反トラスト政策の変化とわが国の独占禁止法の解釈・運用のあり方について～」国立国会図書館蔵書データベース　NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000000309697-00（2019 年 8 月 3 日閲覧）
17）荒井寿光「日本の知的財産推進計画とその進展」日本知財学会誌 1（1）：7-14、2004

18）宮元雄一「放送メディアと知的財産権：ケーブルテレビの発展に伴う著作権問題とその対応」、国立国会図書館蔵書データベース　NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000000300603-00（2019 年 8 月 3 日閲覧）
19）李星求「ライセンシングによる技術移転と政府規制」、国立国会図書館蔵書データベース　NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000000347629-00（2019 年 8 月 3 日閲覧）
20）中山一郎「知的財産政策と新たな政策形成プロセス：「知的財産立国」に向けた 10 年余」知的財産法政策学研究 = Intellectual property law and policy journal (46) : 1-67pp、2015
21）岩田英朗『知的財産立国構想と著作権制度』和歌山大学経済学会研究年報　14：709-725pp、2010
22）2005 年 6 月 10 日 知的財産戦略本部 知的財産推進計画 2005　https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/050610.html#0（2019 年 8 月 3 日閲覧）
23）玉井誠一郎「知財ブランドモデル」映像情報メディア学会技術報告 36(47)：7-12pp、2012
24）門田暁人「知的財産権の保護を目的とする安全なソフトウェア実装法」国会図書館蔵書データベース　NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000000330041-00
25）神隆行「知的財産とその保護に関する経済学研究」国立国会図書館蔵書データベース NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000000330173-00
26）大塚高正、「知的財産戦略と映画の著作者」、東京工芸大学芸術学部紀要 9：79-86、2003
27）梁瀬和男、「地域ブランド(地域団体商標)の問題点と解決策」、愛知学泉大学コミュニティ政策学部紀要 9：101-116pp、2006
28）安田信之助・小林孝雄「コンテンツ産業の構造・市場の変化と 新たな知的財産権保護及び活用」国際文化研究所紀要 (16)： 1-16pp、2011
29）中川譲、「日本における「コンテンツ」の成立過程」紀要 = Bulletin 3：69-79pp、2011
30）内田真理子「コンテンツ・ビジネス展開の波及効果モデル構築に関する研究」
国立国会図書館蔵書データベース https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000009318440-00
31）藤田昌克「ブロードバンドコンテンツ流通プラットフォームに関する研究」、国立国会図書館蔵書データベース　https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000010613242-00
32）田中孝昌「デジタルコンテンツへの自動変換を目指したマンガ画像の構造解析に関する研究」、国立国会図書館蔵書データベース https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000011248798-00
33）増淵敏之「コンテンツツーリズムとその現状」：地域イノベーション第一号：33-40pp、2009
34）齋藤美絵子・松元真菜、「若者の充実した旅行を支援するための地域発作品の活用指

針」、日本デザイン学会研究発表大会概要集 65(0)：300-301pp、2018
35) 岡本健「コンテンツツーリズムにおけるホスピタリティマネジメントー土師祭「らき・すた神輿」を事例としてー」Hospitality (18), : 165-174pp、2011
36) 金玉実、「中国における訪日観光送出プロセス」、地理要旨集 2018s(0)：347pp、2018
37) 張慶在「コンテンツツーリズムとしてのポップカルチャーイベント ： TOYAKO マンガ・アニメフェスタの事例を通して」International Journal of Contents Tourism 1：45-52pp、2017
38) 中谷哲弥「フィルム・ツーリズムに関する一考察ー「観光地イメージ」の構築と観光経験をめぐってー」奈良県立大学研究季報 18：41-56pp、2007
39) 後藤英之、「コンテンツツーリズムにおける経済波及効果とサスティナビリティ」、商学討究 69(1)：97-110pp、2018
40) 原真志、「地域とストーリーテリング：MBA における地理的創造性教育の実践を通して」、地理要旨集 2018s(0)：319pp、2018
41) 増淵敏之「コンテンツツーリズムの発展的研究ー『北の国から』再考」地域イノベーション (3)：45-53pp、2010
42) 筒井隆志、「コンテンツツーリズムの新たな方向性～地域活性化の手法として～」、経済のプリズム (110)：10-24pp、2013
43) 片山隆裕、「祐徳稲荷に参拝し,呼子朝市を散策し,唐津くんちを満喫する ： 映像メディアの広告効果と訪日タイ人の観光行動」、西南学院大学国際文化論集 31(2)：1-13pp、2017
44) 木村めぐみ、「フィルムツーリズムからロケーションツーリズムへ ―メディアが生み出した新たな文化―」、メディアと社会 2：113-128pp、2010
45) 下田香奈・田中伸彦「フィルムツーリズムの多面的展開による地域振興ー東京都あきる野市を事例としてー」レジャー・レクリエーション研究 (77)：46-49、2015
46) 矢澤利弘「映画祭のマネジメントの研究」国立国会図書館蔵書データベース https://ndlonlin.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I023809794-00（2019 年 8 月 3 日閲覧）
47) 和田崇、「「映画の町・尾道」の成立と近年の変化」、日本地理学会発表要旨集 2016s(0)：100152, 2016
48) 山崎隆之・十代田朗、「物語テーマの援用による観光まちづくり ： 松山市を事例として」、観光研究 22(1)：37-43pp、2010
49) 中村忠司、「大河ドラマを活用した観光振興についての一考察ー広島県廿日市市における大河ドラマ『平清盛』後の持続性を中心にー」、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：297-300pp、2014
50) 平成 27 年 1 月 広島県 廿日市市、廿日市市観光振興基本計画：1-39pp、2015
51) 臺純子・韓志昊・崔錦珍、「ドラマ『アイリス』秋田ロケによるフィルムツーリズムの発生とその構造」、観光研究 27(1)：79-89pp、2015
52) 鈴木晃志郎、「メディア誘発型観光現象後の地域振興に向けた地元住民たちの取り組みー飫肥を事例として」、観光科学研究 3：31-39pp、2010
53) 藤谷律代・花村周寛、「映画に見る大阪都市部イメージの特質の観光的考察」、第 30 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：257-260pp、2015
54) 長尾光悦、「CGM からの観光情報の獲得」、第 74 回全国大会講演論文集 2012(1)：5

05-506pp、2012
55）天野宏司、「飯能市におけるアニメ・ツーリズムの取組」、日本地理学会発表要旨集 2013a(0)：100127pp、2013
56）天野宏司、「アニメ・ツーリズムの導入と課題」、駿河台大学論叢（51）：107-121pp、2015
57）天野宏司、「秩父アニメツーリズムの成功と苦悩」、日本地理学会発表要旨集 2012a(0)：100138pp, 2012
58）岩間英哲・川口峻・瀧澤勇樹・橋場大剛・福冨忠和、「コンテンツによる地域振興の研究：アニメツーリズムの成立条件と構造」、専修ネットワーク&インフォメーション（21）：17-26pp、2013
59）喜馬佳也乃・坂本優紀・川添航・佐藤壮太・松井圭介、「茨城県大洗町おける「聖地巡礼」に従事するアニメファンの分析」、地理要旨集 2018s(0)：000328、2018
60）岡本健、「コンテンツと神社・神話の関係性－観光 資源としての物語・地域・文化－」、コンテンツツーリズム論叢：Collected Treatises on Contents Tourism 5, 28-35、2014
61）上田明日香、「アニメ聖地巡礼の地理学－「けいおん！」を事例に－」、コンテンツツーリズム研究　創刊準備号：38-62pp、2011
62）楠見孝・米田英嗣、「"聖地巡礼"行動と作品への没入感：アニメ、ドラマ、映画、小説の比較調査」、コンテンツツーリズム学会論文集 5：2-11pp、2018
63）谷村要、「「コミュニティ」としての「アニメ聖地」－豊郷町の事例から」：大手前大学論集 11：139-150pp、2011
64）神田孝治、「映像メディアによる観光地の新しい空間表象と現地の反応」、日本地理学会発表要旨集 2013s(0)：321pp、2013
65）佐藤壮太・渡辺隼矢・坂本優紀・川添航・喜馬佳也乃・松井圭介、「リピーターの観光行動からみたアニメツーリズムの持続性 －茨城県大洗町「ガールズ&パンツァー」を事例として－」、筑波大学人文地理学研究：13-43pp、2018
66）川添航・坂本優紀・喜馬佳也乃・佐藤壮太・松井圭介、「茨城県大洗町におけるツーリズム形態の変容に伴う観光空間の再編」、地理要旨集 2018s(0)：228pp、2018
67）畠山仁友、「アニメの舞台化が地域に及ぼすプロモーションとしての効果－P.A.WORKS『花咲くいろは』と湯涌温泉「ぼんぼり祭り」を事例として－」、広告科学 57(0)：17-32pp、2012
68）田中誠也・磯田弦・桐村喬、「SNS ログデータを活用したアニメファンの行動分析」、日本地理学会発表要旨集 2015s(0)：100267pp、2015
69）田中誠也・磯田弦・桐村喬、「SNS ログデータを活用したアニメ聖地巡礼者の地域内行動分析」、日本地理学会発表要旨集 2016s(0)：100269pp、2016
70）山村高淑、「ご当地キャラクターの背景にあるもの："地元意識"のあり方と"幼稚さ"の意義について」、都市問題 105(8)：18-22pp、2014
71）尾上克郎・境真良・氷川竜介・三池敏夫、「平成 24 年度メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業　日本特撮に関する調査」、森ビル株式会社：1-143pp、2013
72）田渕稔浩、「特撮映像におけるスケールモデルの役割りとそのビジュアルイフェクツ（視覚的映像効果）の検証」、宝塚造形芸術大学紀要（18）：91-103pp、2005
73）二重作昌満・田中伸彦、「特撮ツーリズムの発展と多様化に関する歴史的研究」、レジ

ャー・レクリエーション研究　第 82 号：21-30pp、2017
74）尾上克郎・三池敏夫、「平成 25 年度メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業　日本特撮に関する調査」、森ビル株式会社：1-291pp、2014
75）三池敏夫・松野本和弘、「平成 26 年度メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業　日本特撮に関する調査」、森ビル株式会社：1-125pp、2015
76）花岡敬太郎、「「ウルトラマン」「ウルトラセブン」のポリティクス」、駿台史學 第 158 号：23-50pp、2016
77）田畑雅英、「なぜゴジラは都市を破壊するのか」、都市文化研究 (5)：16-29pp、2005
78）花岡敬太郎、「「帰ってきたウルトラマン」制作過程から読み解く 1970 年代の変容の兆し」、文学研究論集 49：65-82pp、2018
79）小林徹、「光の暗黒面－『ウルトラマンティガ』(1996-97)と情報社会－」、群馬大学社会情報学部研究論集 12：147-163pp、2005
80）二重作昌満・田中伸彦、「50 年間の円谷プロ特撮作品群から見る日本人の労働観と余暇観」、レジャー・レクリエーション研究　第 72 号：50-53pp、2013
81）二重作昌満・田中伸彦、「特撮映像作品で描かれた「楽園」の変遷－50 年間の円谷プロ特撮作品を事例に－」、レジャー・レクリエーション研究　第 85 号：33-43pp、2013
82）大平剛、「「侍戦隊シンケンジャー」論:「父」の言葉との葛藤」、帯広大谷短期大学紀要 52(0)：1-11pp、2015
83）勝野宏史、「研究最前線　ハワイの『キカイダー』ブーム:ファンダム研究の視点から」、大阪経済大学人間科学部　人間科学研究　第 8 号：54-63pp、2014
84）ジェフリー・A・S モニーツ「多様な社会における多文化教育アプローチとしての多様な視点の尊重と涵養」佛教大学論文集　第 19 号：43-53pp、2008
85）二重作昌満・田中伸彦、「『特撮ツーリズム』が観光業にもたらす影響－ハワイでの「人造人間キカイダー」、「ウルトラハワイ」を事例に－」、レジャー・レクリエーション研究　第 74 号：58-61pp、2014
86）二重作昌満・田中伸彦、「50 年の歴史に着目した『特撮ツーリズム』の形成と形態解明」、レジャー・レクリエーション研究　第 77 号：42-45pp、2015
87）二重作昌満・田中伸彦、「50 年の歴史に着目した特撮ツーリズムの現象の歴史的な変遷－知的財産を用いた観光学研究の視点から－」、レジャー・レクリエーション研究　第 80 号：88-91pp、2016
88）二重作昌満・田中伸彦、「レジャー施設におけるキャラクターショーの変遷－後楽園ゆうえんち、東京ディズニーランドを対象に－」、レジャー・レクリエーション研究　第 83 号：88-91pp、2017
89）二重作昌満・田中伸彦、「キャラクターショーを継続する仕組みについての比較研究」、レジャー・レクリエーション研究　第 86 号：88-91pp、2018
90）二重作昌満・田中伸彦、「『特撮ツーリズム』を対象とした観光来訪者の行動の類型化」、レジャー・レクリエーション研究　第 88 号：11-24pp、2019
91）Hollywood Movie Sites Tour　https://www.kualoa.com/toursactivities/movie-sites-ranch-tour-2/（2019 年 10 月 29 日閲覧）
92）Karen L. Williams、「LIFE MOVIE MAGIC STAR WARS THE FORCE IS BACK」、Bauer Publishing Company、USA：34-41pp、2015

93）山下晋司、「観光文化学」、新曜社、東京：41-47pp、2011
94）コンテンツツーリズム学会　増淵敏之・溝尾良隆・安田亘宏・中村忠司・橋本英重・岩崎達也・吉口克利・浅田ますみ、「コンテンツツーリズム入門」、古今書院、東京：25-55pp、2016
95）Google Scholar　https://scholar.google.co.jp/（2019 年 10 月 15 日閲覧）
96）David Martin-Jones、「Film Tourism as Heritage Tourism : Scotland, Diaspora and The Da Vinci Code」、New Review of Film and Television Studies, 12(2) : 156-177pp、2006
97）Mijalce Gjorgievski・Sinolicka Melles Trpkova、「Movie induced tourism : A new tourism phenomenon」、UTMS Journal of Economics 3(1) : 97-104pp、2012
98）Markus Wohlfeil、「Learning from the Professionals : Film Tourists' "Authentic" Experiences on a Film Studio Tour」、Arts and the Market Volume 8 Issue 1 : 47-63pp、2018
99）Batat, W.・Wohlfeil, M.、「Getting lost 'Into the Wild' : Understanding consumers' movie enjoyment through a narrative transportation approach」、Advances in Consumer Research, Vol. 36 : 372-77pp、2009
100）King, M.、「Disneyland and Walt Disney World : Traditional values in futuristic form"、Journal of Popular Culture Vol.15 No.1 : 116-40pp、1981
101）Unwin・Elinor・Finola Kerrigan・Kathryn Waite・David Grant、「Getting the picture : Programme awareness amongst film festival customers」、International Journal of Nonprofit and Voluntary Sector Marketing Vol.12 No.2 : 231-245pp、2007
102）Kim, S.、「Audience involvement and film tourism experiences : Emotional places, emotional experiences」、Tourism Management, Vol.33 : 387-96pp、2012
103）SUE BEETON、「Tourism and the Moving Image-Incidental Tourism Promotion」、TOURISM RECREATION RESEARCH VOL. 36(1) : 49-56pp、2011
104）HOBBITON MOVIE SET https://www.hobbitontours.com/en/（2019 年 10 月 19 日閲覧）
105）Kezban Anul、「Film-induced Tourism in Finland Its Current State and Opportunities」、DP in Hotel、Restaurant and Tourism Management : 1-64pp、2013
106）Anne Buchmann、「Planning and Development in Film Tourism : Insights into the Experience of Lord of the Rings Film Guides」、Tourism and Hospitality Planning & Development VOL. 7（1）: 77-84pp、2010
107）Gökçe Özdemir・Özge Adan、「Film Tourism Triangulation of Destinations」、Procedia-Social and Behavioral Sciences Volume 148 : 625-633pp、2014
108）Riley, R.W.・Van Doren,C.S.、「'Movies as Tourism Promotion : A "pull" factor in a "push" location'」、Tourism Management,13 (3) : 267-274pp、1992
109）Busby,G.・Klug,J.、「'Movie-Induced Tourism : The Challenge of Measurement and Other Issues'」、Journal of Vacation Marketing,7(4) : 316-332pp、2001
110）Tanskanen Tanja、「Film Tourism: Study on How Films Can Be Used to Promote Tourism」、Laure University of Applied Sciences Laurea Kerava : 1-61pp、20

12
111）Lisa L. Love・Peter S. Sheldon、「SOUVENIRS : MESSENGERS OF MEANING」、Advances in Consumer Research Volume 25 : 170-175pp、1998
112）Beeton, S.、「Film-induced tourism. : Channel View Publications.」、Channel View Publications、Clevedon : 1-280pp、2005
113）Disneyland® Official Site https://disneyland.disney.go.com/（2019 年 10 月 29 日閲覧）
114）Disneyland Paris Official | Experience The Magic of Disney https://www.disneylandparis.com/en-int/?ecid=SEM_ild23_A_961f4a0b-b185-4f46-990d-1c51effcaf01&market=INT-EN-Neutral-JP&country=JP&customid=2-yjp&yclid=YSS.EAIaIQobChMIn7XVg4DB5QIV2qqWCh00_gBSEAAYASAAEgI3s_D_BwE（2019 年 10 月 29 日閲覧）
115）TOKYO DISNEY RESORT https://www.tokyodisneyresort.jp/top.html（2019 年 10 月 29 日閲覧）
116）Disney.com The official home for all things Disney https://www.disney.co.jp/（2019 年 10 月 29 日閲覧）
117）Universal Pictures New Movies In Theaters & Future Releases https://www.universalpictures.com/movies（2019 年 10 月 29 日閲覧）
118）UNIVERSAL STUDIO https://www.universalstudioshollywood.com/（2019 年 10 月 29 日閲覧）
119）Abby Waysdorf・Dr. Stijn Reijnders、「Immersion, authenticity and the theme park as social space: Experiencing the Wizarding World of Harry Potter」、International Journal of Cultural Studies Vol.21（2）: 173-188pp、2016
120）Hudson, S.・Ritchie、「J.R.B.Promoting Destinations via Film Tourism : An Empirical Identification of Supporting Marketing Initiatives.」、Journal of Travel Research 44 : 387-396pp、2006
121）Connell Joanne、「Film tourism : evolution, progress and prospects」、Tourism Management : 33(5) : 1-54pp、2015
122）Fernandez-Young, A.・Young, R.、「Measuring the effects of film and television on tourism to screen locations: A theoretical and empirical perspective」、Journal of Travel and Tourism Marketing, 24 (2-3) : 195-212pp、2008
123）PETER MASON、「TOURISM IMPACTS, PLANNING AND MANAGEMENT THIRD EDITION」、Routledge、NEW YORK : 11pp、2016
124）白坂蕃・稲垣勉・小沢健市・古賀学・山下晋司、「観光の事典」、株式会社朝倉書店、東京：4-5pp、2019
125）岡本伸之、「観光学入門　ポスト・マス・ツーリズムの観光学」、有斐閣アルマ、東京：37-47pp、2010
126）中村忠司・王静、「新・観光学入門」、株式会社晃洋書房、京都：16-23pp、2019
127）岡本亮輔、「聖地巡礼　世界遺産からアニメの舞台まで」、中央公論新社、東京：4-10,183-215pp
128）円谷ステーション　https://m-78.jp/（2019 年 1 月 12 日閲覧）
129）ウルトラマンフェスティバル 2018　https://www.ulfes.com/2018/（2018 年 7 月 1

0 日閲覧）
130）ぐりんぱ　M78 ウルトラマンパーク　http://www.grinpa.com/m78/index.html（2018 年 9 月 7 日閲覧）
131）怪獣酒場　http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/（2019 年 1 月 12 日閲覧）
132）すかがわ市 M78 光の町　http://m78-sukagawa.jp/（2019 年 1 月 12 日閲覧）
133）フジテレビ　エンターテインメント　ウルトラ怪獣散歩　http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/915200092.html（2019 年 1 月 13 日閲覧）
134）谷崎あきら・高柳豊・井上雄史・徳重耕一郎（TARKUS）、「スーパー戦隊 Walker」、株式会社 KADOKAWA、東京：99-100pp
135）中野弘太郎、「隔週刊東宝・新東宝戦争映画 DVD コレクション No.6　ハワイ・マレー沖海戦」、株式会社ディアゴスティーニ・ジャパン、東京：1－8、2014
136）クロス中山慶子、「東宝特撮映画 DVD コレクション第 1 号　昭和 29 年公開ゴジラ」、株式会社ディアゴスティーニ・ジャパン、東京：5,10,11pp、2009
137）尾崎明、「Pen＋　完全保存版ゴジラ、再び」、CCC メディアハウス、東京：30-31pp、2019
138）菅野正美、「ゴジラ徹底研究 : 完全保存版　GODZILLA」、株式会社マガジンハウス、東京：26-33,50-57pp、2014
139）市川森一・小林たつよし・野添梨麻、「小学館版学習まんが人物館　円谷英二」、小学館、東京：80,112pp、1996
140）宮部さくや（松竹）、「KONG SKULL ISLAND」、松竹株式会社事業部、東京：27-28pp、2017
141）田神健一・佐藤慶幸、「ゴジラ　全映画 DVD コレクターズ BOX VOL.2　復刻パンフレット」、講談社、東京：12-13pp、2016
142）松田孝宏（ブレインナビ）・木川明彦、「ウルトラマン画報　上巻　光の戦士三十五年の歩み」、株式会社竹書房、東京：6,10-13,201-209pp、2002
143）松田孝宏（ブレインナビ）、「ウルトラマン画報　下巻　光の戦士三十五年の歩み」、株式会社竹書房、東京：54,217-227pp、2003
144）四方田犬彦、「日本映画史 110 年」、株式会社集英社、東京：139-141,144-145,208-211pp、2018
145）菅野正美、「GODZILLA60：COMPLETE GUIDE」、マガジンハウス、東京：12,124pp、2014
146）昭和 31 年　年次経済報告　経済企画庁 http://www5.cao.go.jp/keizai3/keizaiwp/wp-je56/wp-je56-010501.html（2019 年 6 月 11 日閲覧）
147）五十嵐隆夫・山野勝、「ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBEST マガジン　vol.4」、株式会社講談社、東京：4pp、2005
148）杉原葉子、「’60 年代　蘇る昭和特撮ヒーロー」、株式会社コズミック出版、栃木：16-19pp、2013
149）晝間琢磨（宝島社）、木村重樹（Plank）、「僕たちの好きなウルトラマン」、宝島社、東京：4pp、2008
150）菅家洋也、「講談社 MOOK 円谷ヒーローウルトラマン全史」、講談社、東京：6-9pp、2013

151）山崎准・（株）グレイル・酒井寿子、「別冊宝島　ガメラ最強読本 GAMERA」、宝島社、東京：28-35pp、2003
152）株式会社講談社コミッククリエイト・宮東洋一・石塚勝美・花澤欣司・小林宏至・斉藤太喜男、「ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBEST マガジン VOL.1」、講談社、東京：6pp、2006
153）土屋俊介、「決定版ウルトラマンシリーズ FILE」、Gakken、東京：25, 51,79pp、2013
154）小林圭太、「pen No.563」、阪急コミュニケーションズ、東京：34-35pp、2014
155）小野浩一郎・岩畠寿明（エープロダクション）、「テレビマガジン特別編集　大決戦！超ウルトラ 8 兄弟」、講談社、東京：96-97,103-106pp、2009
156）安藤幹夫、「円谷プロ画報 1」、竹書房、東京：66pp、2013
157）鈴木康成、「語れ！仮面ライダー【永久】保存版」、KK ベストセラーズ、東京：13,130pp、2013
158）菅家洋也、「仮面ライダーOfficial Mook　仮面ライダー昭和 Vol.3　仮面ライダーV3」、東京：5pp、2016
159）　ブレインナビ、「ウルトラマンは時代を映す鏡だ！」、株式会社 PHP 研究所、東京：116-119pp、2012
160）須磨秋博・相模規子、「検証第 2 次ウルトラブーム　心にウルトラマンレオ」、辰巳出版株式会社、東京：32-40pp、2001
161）大下英治、「仮面ライダーから牙狼へ　渡邊亮徳・日本のキャラクタービジネスを築き上げた男」、竹書房、東京：218-220,226-230,303-308pp、2014
162）二之宮隆（双葉社）、「仮面ライダー昭和最強伝説」、双葉社、東京：90-91,96-97,126-127,160,161pp、2015
163）鈴木康成、「〔永久保存版〕語れ！ウルトラマン　兄弟激闘編」、KK ベストセラーズ、東京：21pp、2013
164）宮島和宏、「円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマン AGE Vol.9」、辰巳出版株式会社、東京：86-87pp、2003
165）大石真司・江口水基・島崎淳・間宮尚彦、「円谷プロ全怪獣図鑑」、小学館、東京：152pp、2013
166）宮島和宏、「タツミムック　検証・ウルトラシリーズ　君はウルトラマン 80 を愛しているか」、辰巳出版、東京：33pp、2006
167）繁原稔弘、「スーパー戦隊感動のエピソード 1975-2014」、株式会社メディアミックス、東京：180-181pp、2014
168）ウルトラマンタロウ・和智正喜、「ウルトラマンの愛した日本」、宝島社、東京：160-161pp、2013
169）神谷和宏、「ウルトラマンは現代日本を救えるか」、朝日新聞出版、東京：92pp、2012
170）二之宮隆（双葉社）、「メタルヒーロー最強戦士列伝」、双葉社、東京：45pp、2014
171）二之宮隆（双葉社）、「スーパー戦隊の常識　ド派手に行くぜ！レジェンド戦隊篇」、双葉社、東京：160-163pp、2012
172）コンテンツグローバル戦略研究会　（事務局：経済産業省 商務情報政策局）、コンテ

ンツグローバル戦略報告書 最終とりまとめ：1-70pp、2007
173）小野浩一郎、「平成ウルトラ映画全集」、株式会社講談社、東京：3-114pp、2001
174）高田洋一、「KODANSHA　Official File Magazine ULTRAMAN VOL.7」、講談社、東京：32pp、2005
175）鈴木康成、「語れ！平成仮面ライダー【永久保存版】」、KK ベストセラーズ、東京：14,122,118-121pp、2013
176）杉田篤彦、「ファンタスティックコレクション　ウルトラマンネクサス」、朝日ソノラマ、東京：24pp、2005
177）円谷英明、「ウルトラマンが泣いている　円谷プロの失敗」、講談社、東京：95-106, 184-187pp、2013
178）バンダイ公式サイト｜おもちゃ情報満載　https://www.bandai.co.jp/（2019 年 6 月 8 日閲覧）
179）TSUBURAYA STATION ウルトラマン映画が中国で公開決定！https://m-78.jp/news/n-1050/（2019 年 6 月 11 日閲覧）
180）中村公紀、「てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンサーガ超全集」、小学館、東京：57-61pp、2012
181）小沢涼子・友井健人・武富元太郎・今井敦・村井秀伍、「別冊映画秘宝　特撮秘宝 Vol.5」、株式会社洋泉社、東京：38-41pp、2016
182）木村学、「HOBBY JAPAN MOOK　784　シン・ゴジラ　GENERATION」、株式会社ホビージャパン、東京：85,94pp、2017
183）菅家洋也、「講談社シリーズ MOOK　仮面ライダーOfficial Mook　仮面ライダー平成　Vol.10 仮面ライダーディケイド」、講談社、東京：5pp、2015
184）プレミアムバンダイ｜こどもから大人まで楽しめるバンダイ公式ショッピングサイト　https://p-bandai.jp/（2019 年 6 月 8 日閲覧）
185）畑山護之、「くあんと 7 月号第 11 巻第 13 号」、株式会社ネコ・パブリッシング、東京：13pp、2011
186）村枝賢一、「新仮面ライダーSPIRITS 第 15 巻」、講談社、東京：166-193pp、2017
187）菅家洋也、「講談社シリーズ MOOK　スーパー戦隊 OfficialMook 21 世紀 vol.8 炎神戦隊ゴーオンジャー」、講談社、東京：30pp、2017
188）田神健一・佐藤慶幸、「ゴジラ　全映画 DVD コレクターズ BOX VOL.4　復刻パンフレット」、講談社、東京：13pp、2016
189）新名新、「総天然色　ウルトラ Q　公式ガイドブック」、角川書店、東京：139-142pp、2012
190）菅家洋也、「講談社 MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラ怪獣全史」、講談社、東京：11, 67,80-81pp、2014
191）秋廣泰生、「ウルトラマンの日 in 杉並公会堂」、TBS テレビ・円谷プロダクション、東京：1,7pp、2016
192）クロス中山慶子、「円谷プロ特撮ドラマ DVD コレクション　Vol.20」、デアゴスティーニ・ジャパン、東京：12(20-12)pp、2016
193）中西一雄、「オール・ザット　ウルトラマンタロウ」、株式会社ネコ・パブリッシング、東京：76-77pp、2016

194）株式会社講談社コミッククリエイト・宮東洋一・村元春美・與澤舞・由利耕一・石塚勝美・花澤欣司・小林宏至・斉藤太嘉男・中村宏治（CVF)、「ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBEST マガジン VOL.11」、講談社、東京：22pp、2006
195）山崎准・（株）グレイル・酒井寿子、「別冊宝島　ガメラ最強読本 GAMERA」、宝島社、東京：63pp、2003
196）小田克己、「仮面ライダーをつくった男たち 1971・2011」、講談社、東京：106-108, 123-126,144-145,188-193,315,319pp、2011
197）田神悠（STUDIO HARD/MX)、「後楽園ゆうえんち野外劇場公式ガイド　スーパーヒーローショー大全集　完全保存版」、株式会社メディアワークス、東京：20-23,33,82,97, 100-102,111-113pp、1995
198）秋山哲茂、「ウルトラ博物館」、小学館、東京：136pp、2003
199）　株式会社講談社コミッククリエイト・宮東洋一・村元春美・與澤舞・石塚勝美・花澤欣司・小林宏至・斉藤太嘉男・中村宏治（CVF)、「ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBEST マガジン VOL.8」、講談社、東京：29pp、2006
200）菅谷洋也、「講談社シリーズ MOOK　仮面ライダーOfficial　Mook　仮面ライダー昭和　Vol.9　仮面ライダーZX」、講談社、東京：5pp、2016
201）拝二刀、「特撮ゼロ Vol.06 冬の号」、株式会社アオ・パブリッシング、兵庫：9-19pp、2016
202）小川由美子、「るるぶ情報版海外ディズニー・コレクション」、JTB パブリッシング、東京：19pp、2007
203）拝二刀、「特撮ゼロ 2014 01 創刊・冬の号」、アオ・パブリッシング、兵庫：64-66pp、2015
204）大石真司、「てれびくんデラックス愛蔵版ウルトラマンジード超全集」、小学館、東京：79pp、2018
205）Power Morphicon 2020 https://officialpowermorphicon.com/（2019 年 8 月 5 日閲覧）
206）Power Morphicon 2018　Friday Panels　http://officialpowermorphicon.com/friday-panels/（2018 年 9 月 17 日閲覧）
207）face book　The Official Power Morphicon Convention https://www.facebook.com/The-Official-Power-Morphicon-Convention-226350690636/（2018 年 9 月 17 日閲覧）
208）Power Morphicon 2018　Legacy Lord Drakkon Figure http://officialpowermorphicon.com/power-morphicon-exclusive-lord-drakkon/（2018 年 9 月 17 日閲覧）
209）岩野温子・山口一美、「リゾートが提供する要素と旅行者満足」、再来訪との関わり、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：101-104pp、2014
210）吉田伸浩、「てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンギンガ S 超全集」、小学館、東京：66-67pp、2014
211）横田清、「愛蔵版てれびくんデラックス 30 大スーパー戦隊超全集」、小学館、東京：362pp、2007
212）用田邦憲、「SABAN’S POWER RANGERS」、東映（株）事業推進部、東京：18pp、2017
213）Power Morphicon2018 Express http://officialpowermorphicon.com/（2018 年 9 月

17 日閲覧）
214）石ノ森萬画館　石巻と石ノ森先生とのつながり http://www.mangattan.jp/manga/about/（2018 年 8 月 18 日閲覧）
215）大西京子、「ミュージアムの役割からみた地域文化プロデューサー「市民学芸員」活動を事例にー」、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：45-48pp、2014
216）石ノ森萬画館　石巻マンガロード http://www.mangattan.jp/manga/mangaroad/（2019 年 6 月 11 日閲覧）
217）宮島和宏、「円谷プロトリビュートマガジン ウルトラマン AGE Vol.2」、辰巳出版、東京：61-63pp、2001
218）tette 円谷英二ミュージアムとは https://s-tette.jp/museum/005290.html（2019 年 6 月 10 日閲覧）
219）ウルトラマン商店街公式ホームページ http://www.ultraman-shotengai.com/（2018 年 9 月 13 日閲覧）
220）大野修一、「HYPER HOBBY PRESENTS ハイパームック　キャラクターランド Vol.1」、株式会社徳間書店、東京：5-9,20-21pp、2015
221）嶋村光世、「アニメ聖地 88Walker」、株式会社 KADOKAWA、東京：88pp、2018
222）長谷川明彦、「石巻市観光における葦原景観価値」、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：21-24pp、2014
223）吉田隆、「ウルトラマン Walker」、（株）キャラアニ、東京：28,29pp、2013
224）すかがわ市 M78 光の町　https://m78-sukagawa.jp/aboutus/（2018 年 8 月 19 日閲覧）
225）すかがわ市 M78 光の町　「福島県須賀川市」×「M78 星雲 光の国」姉妹都市提携年表～姉妹都市提携からの須賀川市とウルトラマンの歩み～https://m78-sukagawa.jp/history/（2018 年 8 月 19 日閲覧）
226）すかがわ市 M78 光の町　観光名所　http://m78-sukagawa.jp/spot/（2018 年 8 月 19 日閲覧）
227）すかがわ市 M78 光の町　アクセス・宿泊施設 http://m78-sukagawa.jp/transit/（2018 年 8 月 19 日）
228）ウルトラハワイ（@ultrahawaii）https://www.facebook.com/ultrahawaii/?hc_ref=ARTRUKev_ROdagb0CuUfXqOiJrnvFXJJ63mbaqNceFIdNSJ33lvZA2DxUVkEdnRXt2U（2019 年 6 月 11 日閲覧）
229）怪獣酒場　http://kaiju-sakaba.com/kawasaki/（2019 年 1 月 12 日閲覧）
230）青木 U 平のマンガ「酩酊！怪獣酒場」記事一覧ページ http://r.gnavi.co.jp/g-interview/archive/category/%E6%80%AA%E7%8D%A3%E9%85%92%E5%A0%B4（2018 年 9 月 21 日閲覧）
231）佐藤啓宏「VR/MR 技術を用いた歴史観光の IT 活用に関する研究」国立国会図書館蔵書データベース　NDL デジタルコレクション https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000003-I10958641-00
232）『ウルトラマンゼロ VR』『ウルトラファイト VR』が 10/26(木)～11/3(金)「第 30 回東京国際映画祭」に出展！https://m-78.jp/news/post-4587/（2018 年 9 月 22 日閲覧）
233）ホテルグレイスリー新宿　ゴジラルーム現る https://gracery.com/shinjuku/page/go

dzilla.html（2018 年 10 月 26 日閲覧）
234）鈴木涼太郎、「観光みやげにおける生産地と販売地のかい離－ギフト性と儀礼的倒錯性をめぐる考察－」、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：293-296pp、2014
235）中鉢令兒、「お土産文化の歴史的文脈」、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：189-192pp、2014
236）羽生冬佳・津々見崇、「観光圏における地域ブランド確立への取り組みと効果」、第 29 回日本観光研究学会全国大会学術論文集：133-136pp、2014
237）宮島和宏、「ウルトラマン AGE　vol.10」、辰巳出版、東京：101-104pp、2003
238）中山基、「フィギュア王プレミアムシリーズ 6　ウルトラソフビ超図鑑」、7-11,20-28,38-44,50-57,59-79,84-95,101-126,129-143pp、株式会社ワールドフォトプレス、東京、2010
239）グリーンランドリゾート　http://www.greenland.co.jp/（2019 年 8 月 5 日閲覧）
240）九谷満月　http://www.mangetsu.co.jp/history.html（2019 年 8 月 5 日閲覧）
241）九谷焼彩匠会公式サイト http://kutani-saishoukai.com/（2019 年 8 月 5 日閲覧）
242）ぐりんぱ　M78 ウルトラマンパーク http://www.grinpa.com/m78/index.html（2018 年 9 月 7 日閲覧）
243）大ゴジラ特撮展　パンフレット：2pp、2014
244）吉田隆、「ウルトラマン Walker」、株式会社キャラアニ、東京：84-87pp、2013
245）ULTRAMAN★STAR SwingeR　http://www.grinpa.com/m78/attraction/starswinger.html（2018 年 9 月 7 日閲覧）
246）フライングウルトラマン　シュワッチ　http://www.grinpa.com/m78/attraction/flying.html（2018 年 9 月 7 日閲覧）
247）パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト http://special.pacificleague.jp/oyako2014/（2018 年 11 月 20 日閲覧）
248）パ・リーグ 6 球団共同企画　パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト http://special.pacificleague.jp/oyako2015/（2018 年 11 月 20 日閲覧）
249）パ・リーグ　親子ヒーロープロジェクト　http://special.pacificleague.jp/oyako2016/（2018 年 11 月 20 日閲覧）
250）(一部修正)“川崎競馬×帰ってきた怪獣酒場”　11/20(金)ウルトラ怪獣たちが競馬場をジャック!?『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』開催！　https://m-78.jp/news/n-3433/（2018 年 11 月 20 日閲覧）
251）7/22(日)川崎競馬場にて『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』を開催！https://m-78.jp/news/post-4859/　（2018 年 11 月 20 日閲覧）
252）川崎競馬×怪獣酒場コラボレーションレース第二弾！ 7/28(木)「怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！ Vol.2」詳細発表！　https://m-78.jp/news/n-4011/　（2018 年 11 月 20 日閲覧）
253）ついにウルトラ怪獣もレースに出走!? 10/9(月・祝)川崎競馬×怪獣酒場『怪獣酒場の競馬場侵略作戦！！』vol.3 開催！開催記念スタンプラリー＆勝ち宇宙人・怪獣投票キャンペーンスタート！　https://m-78.jp/news/post-4516/　（2018 年 11 月 20 日閲覧）
254）中山基、「フィギュア王　No.103」、株式会社ワールドフォトプレス、東京：31pp、2006

255）石ノ森萬画館　http://www.mangattan.jp/manga/liner/　（2019 年 8 月 5 日閲覧）
256）特別デザインの飛行機「ウルトラマン JET」が登場！ 日本トランスオーシャン航空にて 10/30(火)運航開始　https://m-78.jp/news/post-4938/　（2018 年 11 月 22 日閲覧）
257）中山基、「フィギュア王　No.111」、株式会社ワールドフォトプレス、東京：50pp、2007
258）2012 年 3 月　経済産業省　クリエイティブ産業海外展開強化に向けた調査報告書　平成 23 年度クール・ジャパン戦略推進事業（クリエイティブ産業の海外展開強化に向けた総合的基盤整備事業）：1-126pp、2012
259）ぐりんぱ　M78 ウルトラマンパーク　アトラクション一覧　http://www.grinpa.com/m78/attraction/index.html（2018 年 9 月 7 日閲覧）
260）小学館『てれびくん』編集部、「てれびくん特別編集　大決戦！超ウルトラ 8 兄弟」、松竹（株）、東京：19-20pp、2008
261）富山省吾、「ゴジラのマネジメント　プロデューサーとスタッフ 25 人の証言」、株式会社 KADOKAWA、東京：210,230-233,239pp、2015
262）小学館『てれびくん』編集部、「てれびくん特別編集　ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟」、松竹（株）、東京：13-18pp、2006
263）東宝スタジオ　http://www.tohostudio.jp/（2019 年 8 月 5 日閲覧）
264）小出幸子（チーフエディター）・三谷美子・音居あや・高橋芽惟・山本航、長嶺李砂・佐藤加那子・山口あんな・丸洋子、「TOKYO INTERNATONAL FILM FESTIVAL 2016」、公益財団ユニジャパン、東京：150pp、2016
265）小出幸子（チーフエディター）・川喜多綾子・音居あや・杉本礼子・宮本由貴子、「TOKYO INTERNATONAL FILM FESTIVAL 2014」、東京：168pp、2014
266）TSUBURAYA STATION NEWS http://sp.m-78.jp/m78/m78_news/detail.php?rss_id=n-2172（2018 年 9 月 7 日閲覧）
267）TSUBURAYA STATION NEWS http://sp.m-78.jp/m78/m78_news/detail.php?rss_id=n-2757（2018 年 9 月 7 日閲覧）
268）TSUBURAYA STATION NEWS 2014 年 10 月 6 日　イベント https://m-78.jp/news/n-2731/（2018 年 9 月 7 日閲覧）
269）愛は宇宙を救う。アミュプラザ博多“史上最大のモデル”ウルトラの母のフィナーレはウルトラブなバレンタイン！https://m-78.jp/news/n-3565/（2018 年 10 月 27 日閲覧）
270）史上最大のファッションモデル「ウルトラの母」たちがついにファッションショーでランウェイデビュー!!　https://m-78.jp/news/n-2431/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
271）史上最大のモデル「ウルトラの母」が初水着を披露！アミュプラザ博多&鹿児島の夏バーゲン CM 動画に登場！　（2018 年 11 月 22 日閲覧）
272）ウルトラの母が見返り美人に！「アミュプラザ」初売り・バーゲン広告にウルトラの母と M1 号が登場！！ https://m-78.jp/news/n-2875/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
273）ウルトラの母がルージュの伝言…母よ、どこへ!?「アミュプラザ博多」バーゲン広告でラストメッセージ!?　https://m-78.jp/news/n-2890/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
274）ウルトラの母がパリジェンヌに！ 「史上最大のメンズモデル」も初登場!? ウルトラの母「アミュプラザ博多」アニバーサリー広告でパリに登場！https://m-78.jp/news/n-2946/（2018 年 11 月 22 日閲覧）

275）ウルトラの母がミニスカート・ドレスで！ ピグモンはマリンルックに挑戦！ 「JR博多シティ」サマー広告で夏らしいトレンドファッションに!! https://m-78.jp/news/n-3097/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
276）ウルトラの母が夏のヴァカンス！ 父のバックハグに思わずドキッ。「アミュプラザ博多・アミュエスト」バーゲン広告にウルトラモデルと怪獣たちが登場！https://m-78.jp/news/n-3164/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
277）ウルトラの母がクラシカルなスーツ姿に！ピグモンはレトロスタイルでネイルにも挑戦！？「JR 博多シティ」オータム広告で秋のトレンドファッションを披露！https://m-78.jp/news/n-3276/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
278）JR 博多シティクリスマス広告でウルトラの母がキュートなサンタクロースに！ https://m-78.jp/news/n-3435/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
279）ウルトラの母が自由の女神に!?「アミュプラザ博多・アミュエスト」初売り広告でウルトラの父との華麗なダンスを披露！ https://m-78.jp/news/n-3519/（2018 年 11 月 22 日閲覧）
280）藤井健「異文化マネジメントの視点から見たキャラクター・ビジネスの国際展開」白鴎大学論集 18(1), : 31-47、2003
281）すかがわ市M78 光の町　須賀川市 PV　http://m78-sukagawa.jp/pv/（2018 年 8 月 19 日閲覧）

付録 1. 各文献資料の各ページ掲載内容

No.	文献タイトル	ページ	掲載タイトル	掲載内容	確認出来る行動特性
1	ウルトラマンベストブック	27pp	1966年。それはウルトラ級の一大イベントだった。そして、今また！	「ウルトラマン（1966）」放映当時の西武デパートのおもちゃ売り場にて、怪獣ドドンゴの着ぐるみが展示されている様子を掲載	②
2	ウルトラセブンベストブック	103pp	サークロラマ劇場大宇宙怪獣館	1969年に後楽園ゆうえんち内のサークロラマ劇場にて上映された「ウルトラマン　ウルトラセブンモーレツ大怪獣戦」を紹介	⑩
		107pp	怪獣アトラクション	1967年に都内銀座や福島県にて開催された怪獣ショーや展示イベントの様子を掲載	①,②
3	ウルトラマン画報　上巻	27pp	怪獣イベント～子供に夢を～	1966年から1973年までの期間、日本各地で開催された「怪獣ショー」の歴史を掲載	①
4	ウルトラマン画報　下巻	198pp	ウルトラマンフェスティバル	全国での開催数100回以上、参加者1000万人に迫るイベント「ウルトラマンフェスティバル」の歴史を掲載	①,②
5	円谷プロ画報　第1巻	53pp	サークロラマ映画『モーレツ大怪獣戦』	1969年に後楽園ゆうえんち《大宇宙怪獣館》にて公開された映画「モーレツ大怪獣戦」を紹介	⑩
6	ゴジラ画報　第3巻	200pp	ゴジラ復活大イベント	1984年7月に渋谷区東横劇場で開催されたイベント、井上誠の"ゴジラ伝説・ライヴ"等を紹介	①,⑩
		231pp	EX column 9ｍもの大きさのゴジラ、横須賀に出現！	2000年11月3日に横須賀の「くりはま花の国」で開催された"ゴジラの滑り台"の除幕式を紹介	⑩
7	～輝ける怪獣ブームの軌跡～甦れ！ウルトラ黄金時代　Ｑ　マン　セブン！！	102,103pp	体験する特撮　ウルトラ怪獣イベントショー	第一次怪獣ブームの中、世田谷区の遊園地「二子玉川園」で開催されたイベント「怪獣イベント館」を紹介	②
		104pp	『ウルトラマン』誕生～怪獣ブームの頂点に	1966年7月に杉並公会堂で公開されたイベント「ウルトラマン前夜祭」について記述	該当なし
8	仮面ライダーから牙狼へ　渡辺亮徳・日本キャラクタービジネスを築き上げた男	219-220pp	★女子大生まで熱狂的なファンに	昭和46年より開始された、東映が製作したキャラクターのぬいぐるみを使用したショーの歴史について記述	①
		229,230pp	★ショーやキャラクターグッズのドル箱に	毎週日曜日に開催された、後楽園野外劇場ショーについて記述	①
		306-308pp	★驚異的成長を遂げたバンダイ	米国市場での「パワーレンジャー」のヒットにより、米国で開催された本作のライブショーのヒットについて記述	②
		318pp	★ジャパニーズ・ヒーローの世界制覇の夢	世界中で開催されている日本のアニメや特撮、ゲームに焦点を当てたイベントについて記述	該当なし
9	ウルトラマンの飛翔	197-204pp	大失敗だったウルトラマン前夜祭	1966年7月9日に杉並公会堂で収録が行なわれたイベント「ウルトラマン前夜祭」の開催の背景、開催時の様子について記述	①
10	昭和特撮文化概論　ヒーローたちの戦いは報われたか	144,145pp	『戦隊』は国境を越える	台湾で開催されている、『戦隊シリーズ』の俳優が経営する飲食店をめぐる「特撮ツアー」の観光客の来日について記述	該当なし
		184pp	アニソンから特ソンへ	後楽園ゆうえんちなどの「仮面ライダーショー」で、歌手の水木一郎が歌の披露や司会をする営業をしていたことを記述	①
		187pp	アニソンにはなく、特ソンだけにあるもの	2015年にコスタリカで開催されたライブで、歌手の水木一郎に対し特撮番組「バロム・1」の主題歌のリクエストが飛んだことを記述	①
		190-201pp	第一一章スーツアクターの矜持	特撮ヒーロー番組やヒーローショーの着ぐるみに入る俳優「スーツアクター」の仕事について記述	①
11	スーパー戦隊の常識　ド派手に行くぜ！　レジェンド戦隊篇	160-161pp	CMでレッドが「ボクと握手！」って言っているショーについて教えて！	東京都文京区にある東京ドームシティで開催されてきた、「スーパー戦隊シリーズ」のショーの歴史について紹介	①,③
12	円谷プロ図録 ウルトラマンメカニック編	130-147pp	円谷プロ作品イベントの聖地　ウルトラマンランド探訪	1996年に開園し、2013年に閉園する熊本県の体験型イベント施設「ウルトラマンランド」を特集	①,②,⑩,⑬
13	円谷プロ全怪獣図鑑	44pp	ウルトラファイト	1970年に放映された特撮番組「ウルトラファイト」に、アトラクションショーに使用された怪獣のぬいぐるみが出演したことを記述	①
		229-233pp	ウルトラマンランド	夏に開催されるイベント「ウルトラマンフェスティバル」で上演される『怪獣人形劇ウルトラP』に登場するキャラクターを紹介	①
		282pp	ウルトラマンナイス	イベントのステージにて活躍するウルトラマンナイスと、彼と対峙する怪獣達について紹介	①
		366pp	ウルトラマンゼロ	イベント「ウルトラマンフェスティバル」のショーに限定出演した、ウルトラマンゼロの公募デザインを紹介	①
		390,391pp	イベントに登場したウルトラ怪獣	「ウルトラマンフェスティバル」等のイベントにこれまで出演した、ショーオリジナルの怪獣を紹介	①
14	別冊宝島869　僕たちの好きなウルトラマン③　初代ウルトラマン＋ウルトラQ徹底解析編	20pp	第0話「ウルトラマン誕生」ー前夜祭	「ウルトラマン（1966）」放送1週間前に公開録画されたイベント「ウルトラマン前夜祭」を紹介	①

15	別冊宝島1456　僕たちの好きなウルトラマンメビウス　全50話完全ストーリー紹介	125pp	終わることのないウルトラマンメビウスの戦い	2007年5月開催の「ウルトラマンプレミアステージ」、同年7月開催の「ウルトラマンフェスティバル2007」、両イベントを紹介	①,⑦
16	別冊宝島1524　僕たちの好きなウルトラマン〔ウルトラマン・シリーズ誕生編〕	5pp	HISTORY of ULTRAMAN 1971~1974	「ウルトラマンレオ（1974）」放映当時、二子玉川園で撮影された歴代ウルトラ戦士の特写スチールを掲載	②
		64,65pp	『ウルトラマン前夜祭ウルトラマン誕生』の舞台裏	1966年7月9日に開催されたアクション舞台劇『ウルトラマン前夜祭』製作の舞台裏を掲載	①
		105pp	「ウルトラQ空想特撮シリーズ」怪獣流用リスト	「ウルトラマン（1966）」本編撮影終了後に、バルタン星人の着ぐるみがアトラクション用に流用された経緯を掲載	該当無し
17	怪獣酒場大図鑑	1pp	企画立案：怪獣酒場店長　バルタン星人	「怪獣酒場」を題材とした本の発売にあたり、当店店長のバルタン星人の言葉を掲載	該当無し
		4-37pp	第1章　怪獣酒場オールガイド	怪獣酒場川崎店の展示や、食事メニュー、限定グッズ情報、これまで当店で開催されてきたイベントの歴史等を掲載	②,③,⑥,⑦
		38-55pp	第2章　大阪なんば　元祖怪獣酒場で味わうレトロスペクティブの醍醐味	大阪にある元祖怪獣酒場の展示や、食事メニュー、限定グッズ情報等を掲載	②,⑥,⑦
		56-64pp	第3章　怪獣酒場の多元世界	「怪獣酒場」を題材としたアニメや漫画、DVD等の商品情報を掲載	該当無し
		65-77pp	第4章　怪獣酒場の「限りなきチャレンジ魂」	「怪獣酒場」店長バルタン星人のインタビューや、店内で常時放映されているプロモーション映像等を掲載	該当無し
		78-95pp	第5章　怪獣酒場全コースター大図鑑	川崎・大阪の怪獣酒場店内で、各期間（2014年3月～2016年3月）に来訪者に配布されたコースターを一挙掲載	⑦
18	ウルトラマン Waker	6-11pp	ウルトラマンが生まれた街　祖師ヶ谷大蔵ウルトラマン商店街	小田急線祖師ヶ谷大蔵の「ウルトラマン商店街」のＭＡＰや商品情報等を掲載	①-③,⑦,⑰
		28,29pp	全国ウルトラ探訪1	福島空港内において、2008年に常設されたウルトラシリーズの展示を特集。	②,⑦
		34-39pp	遊ぼう！買おう！楽しもう！ウルトラマンＳＨＯＰへ行こう！！	全国23カ所にあるウルトラマンショップ「ウルトラマンワールドM78」を紹介	①-③,⑦,⑩,⑲
		48-51pp	全国ウルトラ探訪2	熊本県荒尾市にあるウルトラマンランドの様子を特集	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬,⑲
		70-71pp	ウルトラ×伝統工芸九谷焼　キセキのコラボレーション！！	石川県の九谷焼陶芸館でのウルトラマンフィギュア絵付け体験を紹介	⑦,⑩
		72-75pp	プレイバックウルトラマン創世記展～ウルトラQ誕生からウルトラマン80へ～	2013年に全国を巡回したイベント「ウルトラマン創世記展」を特集	②
		80,81pp	エンジン音が轟き白煙が渦巻くD1グランプリにウルトラセブン参戦！	2012年12月に東京で開催された「D1グランプリ」で、ウルトラセブンが登場した様子を特集。	③,⑦,⑪
		82,83pp	俳優森次晃嗣インタビュー	「ウルトラセブン（1967）」出演俳優の森次晃嗣が経営するレストラン「ジョリーシャポー」を紹介	②,③,⑥,⑦
		84-87pp	全国ウルトラ探訪3	静岡県裾野市にある「M78ウルトラマンパーク」内で体験できるアトラクションやレストラン等を紹介	②,③,⑥,⑦,⑩,⑬
		94,95pp	怪獣の目線で見てみよう！	ウルトラシリーズ本編に登場した、現代の東京都内各地の建造物の様子を紹介	⑭
		96-101pp	かいじゅう飯、東京に現る！？	大盛りグルメ「かいじゅう飯」を提供する東京都内9店舗を紹介	⑥
		102-105pp	全国ウルトラ探訪4	石川県能美市にある施設「ウルトラマンスタジアム」を紹介	①-③,⑦,⑲
		106-109pp	オリジナル怪獣『ガノー（Ganault)』誕生	能美市の「ウルトラマンスタジアム」のショーに登場する怪獣の着ぐるみの製作過程を特集	①
		111pp	樋口真嗣特撮を語る	イベント「館長庵野秀明　特撮博物館」にて副館長を務めた、樋口真嗣監督へのインタビュー	②

19	学年別学習雑誌で見る昭和子どもクロニクル1　ウルトラ博物館	136pp	TV人気者チャンネル　ウルトラニュース　怪獣さんやすらかに！	1973年4月22日に東京都の二子玉川園で開催された催事「怪獣くようさい」を紹介	①,②
20	学年誌ウルトラ伝説	100-101pp	ウルトラセブンハワイで大あばれ	ハワイで開催されたウルトラセブンショーの模様を掲載	①,③,⑦
21	帰ってきたウルトラマン　完全復刻版	168pp	最速情報21世紀ウルトラニュース　バンダイウルトラマンフェスティバル2004	2004年7月から8月に池袋にて開催される、イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の開催情報を告知	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬
22	ウルトラマンA　完全復刻版	108pp	最速情報21世紀ウルトラニュース　バンダイウルトラマンフェスティバル2004	2004年7月から8月に池袋にて開催される、イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の開催情報を告知	①-③,⑦,⑩
23	ウルトラマンタロウ　完全復刻版	266pp	最新情報21世紀ウルトラニュース　広がるふくらむウルトラワールド	2005年にオープンした祖師ヶ谷大蔵の「ウルトラマン商店街」の記念式典等を告知	①,②
		285pp	バンダイウルトラマンフェスティバル2005	2005年7月から8月に池袋にて開催される、イベント「ウルトラマンフェスティバル2005」の開催情報を告知	①,②,⑦
24	ザ・ウルトラマン	155pp	最新情報プレゼント付き！ウルトラニュース	2007年12月に森アーツセンターギャラリーで開催された「ウルトラマン大博覧会」等のイベントを告知	①-④,⑦,⑯
25	セブン3　セブンきゅ～ぶ　(1)	1-24pp	姿なき挑戦者	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		25-48pp	怪しい隣人	円谷プロ創業の地、世田谷区砧のウルトラマン商店街が登場。	②,⑭
		49-72pp	超兵器Ｒ1号	「セブンきゅーぶ」の面々が、ウルトラマン商店街を一周する親睦マラソン大会に参加する	②
		73-94pp	明日を捜せ	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1969）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		95-114pp	あなたはだぁれ？	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1970）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		115-134pp	円盤が来た	祖師ヶ谷大蔵にあるカフェ「カフェメロディ」で、「セブン究部」が「ウルトラセブン（1968）」最終話を視聴する	⑦
		135-156pp	700キロを突っ走れ！	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		157-176pp	北へ還れ！	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		177-180pp	ウルトラマン商店街探訪レポート！	「セブンきゅ～ぶ」の舞台である祖師ヶ谷大蔵駅、ウルトラマン商店街、カフェメロディを紹介	②,⑦
		182,183pp	セブンきゅ～ぶ　プロダクション・ノート	漫画「セブンきゅ～ぶ」の企画を担当した五十嵐浩司による作品のメイキング解説	該当無し
26	セブン3　セブンきゅ～ぶ　(2)	5-28pp	ウルトラ警備隊西へ　前編	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		29-52pp	ウルトラ警備隊西へ　後編	「セブン究部」の面々が、「ウルトラセブン（1967）」第15話のロケ地・神戸を訪れる	⑭
		53-76pp	アンドロイド0指令	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		77-84pp	湖のひみつ	「セブン究部」の面々が、ＢＢＱのために湖を訪れる	該当無し
		85-104pp	第四惑星の悪夢	登場人物・遠間ノルンは、取り壊されたはずの円谷プロ砧社屋を訪れる夢を見る	⑭
		105-124pp	地底Ｇｏ！Ｇｏ！Ｇｏ！	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		125-144pp	空間Ｘ脱出	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		145-170pp	V3から来た男	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		171-190pp	消された時間	「セブン究部」の面々が、円谷プロ旧社屋、「ウルトラセブン（1967）」が撮影された東宝ビルトが存在していた場所を巡る	⑭
		192,193pp	セブンきゅ～ぶ　プロダクション・ノート	「セブンきゅ～ぶ」を製作するため、祖師ヶ谷大蔵駅、ウルトラマン商店街等のロケーションハンティングについて記述	②,⑭

27	セブン3　セブンきゅ～ぶ　(3)	5-26pp	セブン暗殺計画　(前編)	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1967）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		27-52pp	セブン暗殺計画　(後編)	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1968）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	該当無し
		53-74pp	ダーク・ゾーン	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1969）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		75-82pp	マックス号応答せよ	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1970）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		83-106pp	勇気ある戦い	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1971）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		107-130pp	ひとりぼっちの地球人	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1972）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		131-152pp	栄光は誰れのために	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1973）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		153－174pp	史上最大の侵略　前編	祖師ヶ谷大蔵を舞台に、「ウルトラセブン（1974）」を究める部、「セブン究部」を主役とした物語	②
		175-198pp	史上最大の侵略　後編	学園祭での出し物を終えた「セブン究部」は、祖師ヶ谷大蔵駅のホームで「ウルトラセブン（1967）」の歌を歌う	②
		199pp	THANKS!	漫画「セブンきゅ～ぶ」の製作に携わった作者らのコメント、竹取亭円山、カフェ・メロディ、ウルトラマン商店街等への謝辞	該当無し
		200,201pp	セブンきゅ～ぶ　プロダクション・ノート	漫画「セブンきゅ～ぶ」の企画を担当した五十嵐浩司による作品のメイキング解説	該当無し
28	ULTRAMAN　(7)	192,193pp	オマケ漫画　光の巨人への道！	米国サンディエゴのイベント「コミコン」内で開催された漫画「ULTRAMAN」のサイン会やパネルについて、漫画で解説	③,⑦
29	ULTRAMAN　(10)	192,193pp	オマケ漫画　光の巨人への道！	香港で開催されたイベント「C3 HongKong」内で開催された漫画「ULTRAMAN」のサイン会について、漫画で解説	③,⑦
30	酩酊!怪獣酒場 (1)	1-8pp	1杯目　宇宙日本怪獣酒場	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		9-16pp	2杯目　至高の料理を食べたことがあるかい	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		17-24pp	3杯目　How many　怖い顔	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		25-32pp	4杯目　キングレッドの心	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		33-40pp	5杯目　痛快ウキウキお通し	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		41-48pp	6杯目　黄身といつまでも	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		49-56pp	7杯目　いまのキミはカピカピに乾いて	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		57-64pp	8杯目　GET APPLE AND DANCE	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		65-72pp	9杯目　空調です	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		73-80pp	10杯目　夏のリヴィエラ	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が「海の家」にて出張バイトに勤しむ様子を漫画で描写	該当無し
		81-88pp	11杯目　わたしの彼は左カギ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		89-96pp	12杯目　たそがれゴモラ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		97-104pp	13杯目　ポケベルが懐かしくて	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		105-112pp	14杯目　格好悪いあわて方	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		113-120pp	15杯目　スモーキン・ビートル	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		121-128pp	16杯目　弾きたいギターを弾くんだぜ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		129-144pp	17杯目　さよならケムールさん　さよならニッポン	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		148-151pp	うるま寅次郎と行く　怪獣酒場ハシゴ酒	川崎市にある「怪獣酒場」、なんばにある「元祖怪獣酒場」等の飲食店の紹介や、「怪獣酒場」を題材としたアニメを告知	②,⑥

31	酩酊!怪獣酒場（2）	1-8pp	18杯目　何かにまつわるエトセトラ	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が、架空のバー「クールさんのバー」に訪れる様子を漫画で描写	該当無し
		9-16pp	19杯目　違う、うるまじゃない	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		17-24pp	20杯目　ゼットン伝説～終わりなき革命～	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		25-32pp	21杯目　バイトくんの瞳～Eyes of Uruma～	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		33-40pp	22杯目　あの壁を抜けるのはあなた	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		41-48pp	23杯目　おっととっと縄だぜ！	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が、架空のスナックに訪れる様子を漫画で描写	該当無し
		49-56pp	24杯目　い・け・な・いケム-ルマジック	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		57-64pp	25杯目　ミスからはじまるミステリー	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		65-72pp	26杯目　WAになってつくろう	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が新年を迎えるための奮闘を漫画で描写	該当無し
		73-80pp	27杯目　火の玉とボーイ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		81-88pp	28杯目　私意外に私じゃないの	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		89-96pp	29杯目　うるまを・もっと・知りたくて	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達による家飲みの様子を漫画で描写	該当無し
		97-104pp	30杯目　ミスからはじまるミステリー	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		105-112pp	31杯目　寒い夜からの・・・	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		113-120pp	32杯目　目を閉じて思い出してよ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		121-128pp	33杯目　Peeはマタのぼりくりかえす	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		129-144pp	34杯目　さよならお金大好きな人	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		149pp	怪獣酒場通信	2016年3月にリニューアルオープンした、川崎市の飲食店「怪獣酒場」の展示やメニューを紹介	②,⑥
32	酩酊!怪獣酒場（3）	1-8pp	35杯目　あの頃スキャンダル	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		9-16pp	36杯目　時空も飛べるはず	タイム超獣ダイダラホーシが大学の友人らと、最後の飲みでこれまでの大学の思い出を語り合う	該当無し
		17-24pp	37杯目　胸さわぎのAfter Office	架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に,有翼怪獣チャンドラーと新入社員の瀬戸文太と対立する	該当無し
		25-32pp	38杯目　ZETTON　命	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		33-40pp	MEITEI！KAIJU SAKABA 特別編・・・おエド-OH!・EDO-	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が、バーで酒を楽しむゼットン星人エドの姿を目撃する	該当無し
		41-48pp	ペンと箸と－酩酊！怪獣酒場－	架空の店「怪獣酒場江古田店」に、田中K一（ザラブ星人）が取材に訪れる	該当無し
		49-56pp	39杯目　愛のままにわがままに僕は君だけを傷つける	新入社員の瀬戸文太が、有翼怪獣チャンドラーとどくろ怪獣レッドキングと共に、バーを訪れる	該当無し
		57-64pp	40杯目　そとなか・たそがれ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		65-72pp	41杯目　バル・ストーリーは突然に	架空のレストラン「怪人バル」を舞台に、分身宇宙人ガッツ星人がお客をもてなす	該当無し
		73-80pp	42杯目　飾りじゃないのよポエムは	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		81-104pp	43杯目　恋をしたロボは	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		105-112pp	44杯目　音楽家と政治家と地球の水	架空の店「怪獣酒場江古田店」にて、棲星怪獣ジャミラと元バンドマンが飲み、会話を交わす	該当無し
		113-120pp	45杯目　悲しい曲やね	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		121-128pp	46杯目　ROCKET大工	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		129-136pp	47杯目　怒る言葉	架空のレストラン「怪人バル」を舞台に、支配人のメフィラス星人が暗殺宇宙人ナックル星人をもてなす	該当無し
		137-144pp	48杯目　ROCKET大工	架空の店「怪獣酒場江古田店」のチーフ、ケムールの秘密を凶悪宇宙人ザラブ星人が探ろうとする	該当無し
		145-160pp	49杯目　さよなら怪人類	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		165-167pp	怪獣酒場通信	神奈川県川崎市にある飲食店「怪獣酒場」のフードメニューや、イベント、来店者が貰えるプレゼントを紹介	②,③,⑥,⑦

33	酩酊!怪獣酒場（4）	1-8pp	50杯目　世界で一番デカい夏	架空の会社「タタラ電産」によるビアガーデン懇親会にて、ビグモン部長が新入社員の瀬戸文太を諭す	該当無し
		9-16pp	51杯目　夏のお嬢ちゃん	架空の店「怪獣酒場江古田店」の元従業員、メシエさんの駄菓子屋にて、ケムールはエリカという少女に出会う	該当無し
		17-24pp	52杯目　ふたりのヒートアイランド	架空の店「怪獣酒場江古田店」にて、瀬戸文太が灼熱怪獣ザンボラーを撃退する	該当無し
		25-32pp	53杯目　このままキノコだけを奪い去りたい	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達は、きのこ怪獣マシュラにマツタケをご馳走になる	該当無し
		33-40pp	54杯目　傷だらけのローラン	架空の店「怪獣酒場江古田店」にて、宇宙鶴ローランが従業員のゼットンに惚れる	該当無し
		41-48pp	55杯目　おしりがギリNG	架空のレストラン「怪人バル」に、架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達が訪れる	該当無し
		49-56pp	56杯目　林檎消失事件	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達は、MAX鈴木とモットクレロンが参加する大食いバトルの応援に訪れる	該当無し
		57-64pp	57杯目　ぼくの好きな燻製	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		65-72pp	58杯目　聖夜ノムコウ	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		73-80pp	59杯目　歌うたいのアポラス	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		81-88pp	60杯目　酒場でDADAだ	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員、うるま寅次郎とダダが2人でBARに訪れる	該当無し
		89-96pp	61杯目　時に書家のように	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		97-104pp	62杯目　夢見る少女アニメが見られない	架空の店「怪獣酒場江古田店」に、カリスマブロガーのブーメラン怪獣レッドキラーが訪れる	該当無し
		105-112pp	63杯目　バレンタイン・きっつー	架空の店「怪獣酒場江古田店」に、バレンタインに女子からチョコレートが貰えなかった海獣ゲスラが訪れる	該当無し
		113-120pp	64杯目　君は怪獣のために出来るか	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		121-128pp	65杯目　Bottle A Head!	架空の店「怪獣酒場江古田店」のチーフ、ケムールが本社の常務取締役に大抜擢される	該当無し
		129-136pp	66杯目　Do-Do FOR CEO	「怪獣酒場」が、架空の店「怪人バル」と経営統合し、巨大企業グループ「怪人酒場」となる	該当無し
		137-144pp	67杯目　ややこしい悪魔	ケムールが、巨大企業グループ「怪人酒場」のCEOメフィラスを消去する	該当無し
		145-160pp	68杯目　泣かせないぞェ	架空の会社「タタラ電産」にて、新入社員の瀬戸文太が同僚の大嶋超獣ブラックビジョンを庇う	該当無し
		161-176pp	69杯目　君たちタコブツ・タンバリン・クラッカーだね。	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		177-192pp	70杯目　TOKIO欠けさせる青年	巨大企業グループ「怪人酒場」の幹部となったケムールの計画が、彼の黒幕カネゴンから明かされる	該当無し
		193-208pp	71杯目　こんにちはストレンジャー	「大規模誘拐テロ」の容疑者となったケムールは、釈放後に「怪獣酒場江古田店」のチーフに復帰する	該当無し
34	酩酊!怪獣酒場2nd(1)	3-18pp	1杯目　いかしたBaby	架空の店「怪獣酒場江古田店」に、新人のダークルギエルが従業員として働くことになる	該当無し
		19-26pp	2杯目　嘆くなり我が液のファンタジー	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		27-34pp	3杯目　男はそれをがまんできない	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員ゼットンと、新人のダークルギエルが、決闘の末に仲良くなる	該当無し
		35-42pp	4杯目　キモちイーッ	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員うるま寅次郎と、新人のダークルギエルが、サシ飲みをする	該当無し
		43-50pp	5杯目　自由に働いて愛して	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		51-58pp	6杯目　FLY ME～私を信じて～	老怪獣ゴモラが、夜景の見えるBARで愛する女性と逢瀬を重ねる	該当無し
		59-66pp	7杯目　さよならなんて云わないよ	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員ハルが、マンガ家のムシバ先生とガヴァドン達から話を聞く	該当無し
		67-74pp	8杯目　Secret face～君がくれたもの～	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達が、花火大会にて花火を観賞する	該当無し
		75-82pp	9杯目　女体観測	BAR　COOLにて、ガス超獣ガスゲゴンは、小学生時代の同級生チエミと再会する	該当無し
		85-100pp	10杯目　TENCAを取ろう!-うるまの野望-	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		101-116pp	11杯目　燃えろいいお寺	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		117-132pp	12杯目　FLY ME～私を信じて～	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達が、新人のダークルギエルの自宅を訪れる	該当無し
		135-150pp	13杯目　人形はもう終わりだ！	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達が、新人のダークルギエルの自宅を訪れる	該当無し
		156,157pp	怪獣酒場通信	神奈川県川崎市にある飲食店「怪獣酒場」と、都内新橋にある「怪獣酒場新橋蒸留所」の所在地等の店舗情報を紹介	②,⑥

35	酩酊!怪獣酒場2nd(2)	1-18pp	14杯目　過去を語るより口づけをかわそう	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達に、ケムールから新人のダークルギエルが何者かを告げられる	該当無し
		19-26pp	15杯目　東京は夜の二時	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		27-34pp	16杯目　美しく燃える盛り合わせ	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達は、休日バーベキューをすることになる	該当無し
		35-42pp	17杯目　マナーの夜の夢	架空の会社「多々良電産」の飲み会にて、ビグモン部長が新入社員の瀬戸文太によって助けられる	該当無し
		43-50pp	18杯目　ロンリー・じゃあフリン	架空の店「怪獣酒場江古田店」の従業員達は、雀荘で愛人同盟の話を聞く	該当無し
		51-56pp	19杯目　ARU-ARU 16	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が、営業終了後にまかないタイムをする	該当無し
		57-64pp	20杯目　DAN KAN 心入れ替える	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達は、同僚のうるまの大学の文化祭に訪れる	該当無し
		65-88pp	21杯目　バンザイ～あいててよかった～	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員達が、コンビニエンスストアで1日研修をすることになる	該当無し
		89-102pp	22杯目 KOME NTO WAR	架空の店「怪獣酒場江古田店」の店員のゼットンが、先輩がマスターを務めるお店を訪れる	該当無し
		103-110pp	23杯目　1/10の純情な超獣	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		111-118pp	24杯目　夢でも逢えたら	架空の店「怪獣酒場江古田店」のケムールと店員達が、スナック「ウマン」を訪れる	該当無し
		119-134pp	25杯目　プロレスを知らない子供たち	川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を題材とした架空の店「怪獣酒場江古田店」を舞台に店員達の奮闘を漫画で描写	該当無し
		135-142pp	26杯目　夜明けの好きキャット	「怪獣酒場江古田店」の店員、ゼットンの「心の穴」を埋めるために、店員のうるまが奮闘する	該当無し
		143-158pp	27杯目　終りの期日	「怪獣酒場江古田店」の店員達が、双頭怪獣パンドンの「心の穴」を埋めるため奮闘する	該当無し
36	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（2）	107-122pp	この星で暮らしこの星を守る（前編）	「ウルトラセブン（1967）」出演俳優の森次晃嗣が経営するレストラン「ジョリーシャボー」が漫画内で登場	②,③,⑥
		123,124pp	ウルトラ怪獣擬人化計画うるとら奇可愛いたち　ジョリーシャボー	「ウルトラセブン（1967）」出演俳優の森次晃嗣が経営するレストラン「ジョリーシャボー」を紹介	②,③,⑥
37	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（3）	31pp	ウルトラ怪獣擬人化計画うるとら奇可愛いたち	漫画「ウルトラ怪獣擬人化計画」の中に登場した、国内の数々のスポットについて紹介	⑥
		33-41pp	第37話　遊星から来た本人	ウルトラシリーズの怪獣の着ぐるみを使用した「ウルトラ怪獣ショー」（架空のイベント）を、漫画内で描写	該当無し
		73-80pp	第41話　アイドルフェスティバル	漫画内で、神奈川県川崎市にある飲食店「怪獣酒場」が登場	該当無し
		83-90pp	第42話　決断の部屋	漫画内で、神奈川県川崎市にある飲食店「怪獣酒場」が登場	②,⑥
		91pp	ウルトラ怪獣擬人化計画うるとら奇可愛いたち　怪獣酒場	神奈川県川崎市にある飲食店「怪獣酒場」を紹介	②,⑥
		103-110pp	第44話　わたしたち	漫画内で、毎年イベント「ウルトラマンフェスティバル」が行なわれる池袋サンシャインシティ内にある噴水広場が登場	該当無し
		149pp	ウルトラ怪獣擬人化計画うるとら奇可愛いたち　続・侵略紀行	漫画「ウルトラ怪獣擬人化計画」の中に登場した、東京都内の数々のスポットや、怪獣酒場について紹介	②
38	ウルトラ怪獣擬人化計画 feat.POP Comic Code（4）	156-158pp	池袋の青い光	漫画内で、「ウルトラマンガイア（1998）」の撮影が行なわれた池袋西口公園が登場	該当無し
39	新仮面ライダーSPIRITS 15	166-192pp	特別収録　風の絆～東日本大震災を駆けた男たち～	2011年3月11日に発生した東日本大震災当時の石ノ森萬画館の様子や、2012年のリオープン時の様子を漫画で掲載	②
		193pp	『風の絆』詳説	2011年3月11日東日本大震災発生時から2012年11月17日までの、石ノ森萬画館の復興の様子を解説	②
40	pen with New Attitude No.363 2014	48,49pp	ゴジラに破壊された日本全国の名所	特撮怪獣映画「ゴジラ（1954）」シリーズの作品中にて破壊された日本全国の名所と世界主要都市を紹介	⑭
		88,89pp	好きなら押さえておきたい、4つのトリビア	東京近郊にある「ゴジラ（1954）」シリーズを体感できる3スポットの紹介や、2014年に渋谷で開催される「ゴジラ博」を告知	②,⑦,⑩,⑭
41	宇宙船 1987 6月号 Vol.36	3-7pp	突撃！ヒューマン！！	1972年に、全国の文化会館等にて公開番組として収録された特撮番組「突撃！ヒューマン！！」を特集	①
		31pp	円谷プロ特撮大会	1987年3月21日に都内で開催されたイベント「円谷プロ特撮大会」の様子を紹介	①,⑦,⑭
		44-45pp	ヒューマン怪獣－風船獣の闘い　成田亨	特撮番組「突撃！ヒューマン！！（1972）」のデザイナー、成田亨による「ヒューマン」の舞台美術の回想を掲載	①
		44-45pp	新番組企画案	特撮番組「突撃！ヒューマン！！（1972）」（原題「強人！スカイダー」）の新番組企画案を掲載	該当無し
		46-49pp	シナリオ・突撃！ヒューマン！！「さようならヒューマン」脚本・藤川桂介	1972年に公開収録された、特撮番組「突撃！ヒューマン！！（1972）」の最終回台本を掲載	①
		50pp	藤川桂介インタビュー	特撮番組「突撃！ヒューマン！！（1972）」の脚本を担当した藤川桂介へのインタビュー	①
		51pp	新見清一インタビュー	特撮番組「突撃！ヒューマン！！（1973）」でアクションチームとしてを参加した新見清一へのインタビュー	①

42	宇宙船 2003 9月号 Vol.108	18pp	グランセイザー初見参！！～次世代ワールドホビーフェア～	2003年6月開催の「次世代ワールドホビーフェア」での「超星神グランセイザー（2003）」のショーや展示を紹介	①,②
		29pp	CLUMN	2003年に東京、名古屋、奈良で開催されるイベント「ウルトラマンフェスティバル2003」のショー内容を告知	①
		76,77pp	柏崎こどもの時代館　IN柏崎　1周年イベントレポート	新潟県柏崎市にある施設「こどもの時代館」1周年イベントでにの、ウルトラシリーズの撮影用小道具の展示等を紹介	②
		90pp	仮面ライダーファイズNEWS	2003年に行なわれた劇場版「仮面ライダー555」のエキストラ撮影や、同年8月の鈴鹿サーキットでのイベントを紹介	①,⑩
		116,117pp	Visual Radar	2003年5月にHMV渋谷で開催された、出演者らによる「帰ってきたウルトラマン（1971）」のトークショー等を紹介	①,③,⑦
43	HYPER　HOBBY　10月号	8,9pp	タイトルなし	2003年8月に都内各地で開催された劇場版「仮面ライダー555」「爆竜戦隊アバレンジャー」のイベントを特集	①,②
		35pp	ワンダーフェスティバル2003〔夏〕	2003年8月3日に東京ビッグサイトで開催された「ワンダーフェスティバル」での、特撮フィギュアの展示を紹介	②,⑦
		110,111pp	HYPER TOPICS	2003年に横浜で開催された「おもちゃみらい博」での、特撮ヒーローのショーや展示の様子等を紹介	①,②
44	永久保存版　HYPER　HOBBY　7月号　SPECIAL VOLUME14	14pp	ウルトラマンマックス INFORMATION	2005年7月に開催される「ウルトラマンフェスティバル2005」の告知の他、会場限定商品情報を掲載	①,⑦
		15pp	HMV DVD CAMPAIGN	2005年にHMV全店で開催されるイベント情報（トーク＆サイン会）や商品情報等を掲載	①,③,⑦
45	永久保存版　HYPER　HOBBY　10月号　SPECIAL VOLUME26	13pp	ウルトラマンレオスペシャル師弟対談	「ウルトラセブン（1967）」出演俳優の森次晃嗣が経営するレストラン「ジョリーシャポー」を紹介	①,②,⑦
46	HYPER　HOBBY　7月号　2013	17pp	ウルフェスの夏　接近中！	2013年7月に開催されるイベント「ウルトラマンフェスティバル2013」を告知	⑦
		17pp	あっ！ウルトラマンも怪獣も九谷焼になった！	石川県能美市九谷陶芸館で販売されている、ウルトラシリーズの九谷焼等を紹介	⑦
		18pp	17年間ありがとう！ウルトラマンランドへ行こう！	1996年から2013年9月1日まで開館した、円谷プロ直営のテーマパーク「ウルトラマンランド」を紹介	①-③,⑦,⑩
		20,21pp	Seajetter KAITO Journal	宮城県石巻市にある「石ノ森萬画館」や、石巻を走るマンガッタンライナー等を紹介	③,⑫,⑯
		118pp	手塚治虫×石ノ森章太郎　マンガのちから	2013年6月から8月にかけて都内で開催されるイベント「マンガのちから」の展示内容や商品情報を告知	該当無し
		147pp	ENTERTAINMENT CHASER	2013年3月より国内8カ所で開催されたイベント「特命戦隊ゴーバスターズファイナルライブツアー2013」を紹介	①
		156pp	HYPER TOPICS	2013年4月に都内で開催された「スーパーフェスティバル」での、特撮作品の展示や出演者のトークショー等を紹介	①-③
		157pp	HH的イベント情報	大阪で開催される「スーパー戦隊レジェンドライブ」等、2013年6月から8月にかけて国内各地で開催される特撮イベントを告知	①,⑩
47	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.1	5-7pp	ゴジラが街（しんじゅく）にやって来た	2015年4月17日に新宿に設置された「ゴジラヘッド」、4月24日開業の「ホテルグレイスリー新宿」にある2つのゴジラルームを紹介。	②,⑤-⑦,⑲
		8,9pp	ゴジラと巡る新宿	「ゴジラ（1984）」、「ゴジラＶＳキングギドラ（1991）」にてゴジラに破壊された新宿の観光名所を紹介	②,⑤,⑥,⑭
		19-25pp	ウルトラマンがいる国	2014年から2015年に開催されたウルトラシリーズのイベントや、全国3カ所に存在した飲食施設等を紹介	①,②,⑥,⑦,⑰,⑲
		43pp	宮内洋、銚子市のふるさと大使に就任！！	2015年4月に開催された「スーパーフェスティバル68」にて、宮内洋が銚子市ふるさと大使に就任した様子を掲載	①,⑱
		70pp	ライダーファンも泣いた！KAMEN RIDER GIRLS SUPER BEST 発売記念イベント　K.R.G.S　名倉かおり卒業ライブ！！	2015年に東京都内で開催されたKAMEN RIDER GIRLS「一夜限りのプレミアムイベント！！」を紹介	①
		73pp	石ノ森ステーション	宮城県石巻市「石ノ森萬画館」にて新たに設置される展示物の告知や、同施設での怪獣絵師・開田裕二原画展の告知	②,⑥,⑦,⑰
		86-92pp	モロボシ・ダン　森次晃嗣にアカデミー賞作品パードマンを観てもらう	「ウルトラセブン（1967）」出演俳優の森次晃嗣が経営するレストラン「ジョリーシャポー」を紹介	①-③,⑥,⑦
		119,120pp	伝統工芸×迦楽多亜	イベント会場で販売されるウルトラマンと伝統工芸がコラボレーションしたフィギュアの紹介等	⑦,⑩
		158pp	展覧会・イベント掲示板	2015年6月28日まで開催される「特撮博物館」、8月23日まで開催される「Wヒーロー夏祭り2015」両イベントを告知	①,②,⑩

48	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.3	19pp	KAMEN RIDER THE DINER	池袋にあるレストラン「仮面ライダー・ザ・ダイナー」で提供される食事やドリンクメニューを紹介	⑥
		44pp	1971 Age of the Return of the ULTRAMAN	1971年春頃に、二子玉川園で開催されたイベント「ウルトラ怪獣大会」の駅頭広告が展示された様子を掲載	①,②
		64-67pp	RETURN.03 特捜戦隊デカレンジャー　10年ぶりでもデカはデカ！！	2015年に開催されたVシネマ「特捜戦隊デカレンジャー」の初号試写会で撮影された出演キャストの写真を掲載	⑯
		97pp	ウルトラヒーローX＆ウルトラ怪獣X コンプリートガイド 2015 AUTUMN	2015年に開催されたイベント「ウルトラマンフェスティバル2015」等で限定販売された怪獣人形を掲載	⑦
		114pp	石ノ森ステーション Vol.3	2015年10月11日に、イベント「東日本大震災復興支援2015」にてシージェッター海斗のショーの開催等を告知	①
		123pp	恒例！『ラジレンまつり』開催！！	2015年8月に都内で開催された、特撮ヒーロー番組の主題歌を披露するライブが開催された様子を掲載	①
		124,125pp	VIVA TOKU SATSU TAMASHII	2015年9月27日まで、新宿中央公園水の広場に、高さ3.6mのゴジラの秒像が展示された様子を掲載	②
		141pp	WF2015夏『そふび道』的レポート！	2015年7月に幕張メッセで開催された、イベント「ワンダーフェスティバル」で、怪獣ガラモンの人形が先行販売された様子を掲載	⑦
49	HYPER　HOBBY PRESENTS キャラクターランド Vol.4	77pp	Project.R 復活祭！！　ツインカムエンジェル発ステージ！	2015年11月14日に原宿クエストホールで開催された、ライブ「Project R復活祭VOL.1 特捜戦隊デカレンジャー」の様子等を掲載	①,⑦
		109,110pp	ミラーマンアイテム企画ぞくぞく進行中！	2016年1月に科学技術館で開催される「スーパーフェスティバル70」にて、「ミラーマン（1971）」出演者のサイン会の開催等を告知	①,③,⑦
		119pp	石ノ森ステーション Vol.4	2015年10月11日に、イベント「東日本大震災復興支援2015」にてシージェッター海斗のショーが開催された様子等を掲載	①-③,⑦
		128,129pp	ブルマァク45周年記念企画・第7回　70年代ブルマァク、ハワイ版の誕生に迫る！	1975年にハワイで開催された、ウルトラセブンをテーマにした怪獣ショーのパンフレット等を掲載	①,②,⑦
		156pp	展覧会・イベント掲示板	2015年12月から、2016年1月まで都内で開催される「ウルトラヒーローズEXPO2016」等の特撮イベントを告知	①,⑦
50	キャラクターランドSPECIAL ウルトラマンオーブ THE ORIGIN SAGA	81pp	ULTRA EVENT SCHEDULE	2017年1月から6月にかけて全国各地で開催されるウルトラシリーズの各イベント情報を告知	①,②,⑥,⑦,⑰
51	HYPER MOOK 仮面ライダーアマゾンズ　コンプリートガイド　THE　公式！	91pp	仮面ライダーアマゾンズ　パフォーマンスショー	2016年8月に代官山で開催された特撮ヒーロー番組「仮面ライダーアマゾンズ」のミニライブ、写真撮影会の様子を掲載	①,③
52	ガンダムエース11月号増刊　Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ No.004	21pp	試写と前夜祭は大盛況！！	2002年に公開された映画「仮面ライダー龍騎 EPISODE FINAL」の試写会、前夜祭の様子を掲載	①
		69pp	DVD−BOX発売記念イベント	2002年にHMV渋谷で開催された「仮面ライダーV3　DVD−BOX発売記念イベント」の様子を掲載	①
		148pp	Newtype THE LIVE NEWS＆EVENT	2002年10月から2003年1月まで国内各地で開催される特撮イベントの告知や、2002年9月に開催された特撮イベントのリポートを掲載	①,②,⑦
53	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.008 SEPTEMBER 2003	67pp	「帰ってきたウルトラマン」メイン・キャストが大集合！	2003年5月31日にHMV渋谷にて開催された、ウルトラシリーズのスペシャルイベントの模様を紹介	①-③,⑰
		67pp	ULTRA EVENT INFORMATION	2003年7月から12月にかけて国内各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦,⑩
		166,167pp	NEWS THE LIVE	2003年7月19日に千葉県松戸市に開館する「BANDAI MUSEUM」の他、夏に開催される特撮イベントの告知	①-③,⑦,⑩
		175pp	バンダイミュージアムとは？	2003年7月19日に千葉県松戸市に開館する「BANDAI MUSEUM」を紹介	②,⑦
54	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ 9月号増刊　爆竜戦隊アバレンジャー　DELUXE ABARE BOOK	102pp	東京ドームシティアトラクションズスカイシアター爆竜戦隊アバレンジャーライブショー	2003年の夏休み期間中、東京ドームシティにて毎日講演されるショー「激突！アバレキラーMSアバレンジャー」ショーをレポート	①

55	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.012 2004　5月号	7pp	IGNITION!	2004年に開催されたイベント「ギフト・ショー」の円谷プロダクション・ブースの様子を掲載	②
		39pp	仮面ライダースーパーライブ	1月24日・25日に中野サンプラザにて開催されたイベント「仮面ライダースーパーライブ」の模様を掲載	①
		39pp	MASKED　RIDER　LIVE2004	2004年に開催されたイベント「MASKED　RIDER　LIVE2004」の模様をリポート	①
		68,69pp	ハニー北の大地に降り立つ！	実写映画「キューティーハニー」が上映された2004年2月19日開催の「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」の模様を掲載	①,②,⑫,⑯
		124,125pp	NEWS THE LIVE	2004年2月から3月にかけて開催された特撮イベントのリポートや、2004年3月20日の「ウルトラマンスタジアム」開館情報等を告知	①-③,⑩,⑫
56	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.016 2005　1月号	22,23pp	集結！！素顔のスペシャルポリス　スペシャルレポート	東京ドームシティで2004年12月12日まで公演される「特捜戦隊デカレンジャーショー第4弾」の内容を特集	①
		55pp	東京国際映画祭レポート	2004年に開催された東京国際映画祭にて、映画「ULTRAMAN（2004）」のセレモニーや舞台挨拶の様子等をレポート	①,⑯
		104,105pp	おーちゃんの特撮てくてく第五回ヒーローショーの仕組みに迫る！？	東京ドームシティのショーステージ担当、安田知生氏へのヒーローショーについてのインタビューやステージの仕組みを掲載	①,③
		122,123pp	NEWS THE LIVE	2004年10月・11月に開催された特撮映像作品出演者のトークショーや握手会等のレポートや、商品情報を掲載	①-③,⑦
57	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプNo.019　2005　6月号	36pp	新高輪に響鬼あらわる！！	2005年のゴールデンウィークに新高輪プリンスホテルで開催されたイベント「スーパーヒーローライブスペシャル2005」を特集	①,③
		80pp	NEW TYPE THE LIVE TOY SELECTION	2005年6月5日に開催されるイベント「ワールドキャラクターコンベンション」にて販売される怪獣人形の限定版を掲載	⑦
		108－110pp	NEWS THE LIVE	2005年にHMV全店で開催されるイベント情報や商品情報等を掲載	①,⑦
		121pp	タイトルなし	2005年4月に東京ビッグサイトで開催された「東京国際アニメフェア」での特撮作品「スペクター（2005）」の展示等を紹介	①,②
		148-151pp	Ｓｈ15uya EVENT REPORT ＦＩＮＡＬ？	2005年4月に六本木や秋葉原で開催された特撮作品「Sh15uya（2004）」の関連イベントの様子を特集	①,⑦
58	Newtype THE LIVE 特撮ニュータイプ　2005年7月号別冊付録〔ウルトラマン〕MAX REPORT	19pp	今年の夏も「ウルフェス」で決まり！！	2005年7月から8月に池袋にて開催される、イベント「ウルトラマンフェスティバル2005」の開催情報等を告知	①,②
59	フィギュア王　No.68	14,15pp	2003 6/22 劇場版『仮面ライダー555　パラダイス・ロスト』8時間耐久ロケ完全レポート	2003年6月22日にさいたまスーパーアリーナで開催された劇場版「仮面ライダー555　パラダイス・ロスト」の様子を特集	①,⑦,⑮
		44,45pp	東映new★Legend	2003年に都内で開催されたイベント「仮面ライダーワールド03」の商品情報や鈴鹿サーキットでの仮面ライダーの出演情報を掲載	①,②,⑦,⑪
		45pp	ヤスの戦闘員バンザイ	2003年7月から8月にかけて大阪ATCで開催される、アトラクション「恐怖！ショッカーのアジト」を紹介	⑦,⑩
		67pp	ポケットサイズの『Q』ワールド	2003年8月3日開催のイベント「ワンフェス」にて販売される商品「ポケットソフビシリーズ」の商品情報を掲載	⑦

60	フィギュア王　No.69	18,19pp	フィギュア王的ワンフェスの楽しみ方	2003年8月に東京ビッグサイトで開催されたイベント「ワンフェス2003夏」にて販売された特撮キャラクターのフィギュアを掲載	⑦
		27pp	まさに玩具箱をひっくり返したような風景	2003年8月に閉幕したイベント「仮面ライダーワールド03」のショーや展示、会場限定商品（人形、衣類）を紹介	①,②,⑦
		28,29pp	鈴鹿8時間耐久ロードレースReport2003	2003年に開催された日本最大のバイクレース「鈴鹿8耐」にて、仮面ライダーのバイクレースやショーが行なわれた様子を掲載	①-③,⑦,⑪
		30pp	完成披露試写会　Report 8/7	2003年8月7日に、丸の内東映で開催された劇場版「仮面ライダー555・爆竜戦隊アバレンジャー」の完成披露試写会の様子を掲載	①,③,⑯
		32,33pp	「ショッカーお化け屋敷体験レポート」の巻	2003年に大阪で開催された、お化け屋敷「恐怖！ショッカーのアジト」の体験レポートを掲載	①-③,⑦,⑩
		43-45pp	秋の夜長にマーミット怪獣ソフビ大集合！！	2003年9月7日に開催されるイベント「スーフェス」にて限定100体販売されるゴジラシリーズの怪獣人形等を掲載	⑦
61	フィギュア王　No.81	55pp	円谷劇団旗揚げ！	円谷プロがプロデュースする劇団「円谷劇団」による舞台「銀色の少年」の公演情報を掲載	①
		130pp	さらば！プレミアムバトルステージレポート　GRANSAZERS FINAL	2003年9月に東京で開催された、イベント「超星神グランセイザープレミアムバトルステージ」の様子を掲載	①,③,⑦
		142,143pp	2004夏レポート	2004年に開催されたイベント「ワンダーフェスティバル2004夏」にて販売された特撮キャラクターのフィギュアを掲載	⑦
62	フィギュア王　No.92	52,53pp	東映new★Legend	2004年8月開催の劇場版「仮面ライダー響鬼」舞台挨拶、9月開催のマジレンジャーによる子どもの交通事故防止キャンペーンを紹介	①,③,⑯
		55pp	特撮ファンはトイフェスに注目！	2004年に東京ビッグサイトで開催された「第13回東京トイフェスティバル」での、特撮作品出演者のサイン会やショーの様子を掲載	①,③,⑦
		58pp	月刊X新報　高田総統がセイザ-Xと対決！？	2005年9月開催の「ハッスル・ハウス9」で、特撮作品「幻星神ジャスティライザー（2004）」のキャラクターが出演したことを記載	①,⑦
63	フィギュア王　No.98	45pp	トドロキ、トイフェスで音撃斬！	2006年2月19日開催の「東京トイフェスティバル」にて行なわれた、「仮面ライダー響鬼（2005）」出演者によるサイン会を紹介	①,③,⑦
		49pp	CD発売イベント	2006年3月8日に秋葉原で行なわれた、「轟轟戦隊ボウケンジャー（2006）」CD発売記念イベントの模様を紹介	①
		94-97pp	Wonder Festival 2006　Winter	2006年2月に東京ビッグサイトで行なわれた「ワンダーフェスティバル2006」にて展示された特撮キャラクターのフィギュアを掲載	②,⑦
		104,105pp	新作怪獣ソフビ総進撃	2006年4月29日に開催されるイベント「ワンダーフェスティバル39」会場にて販売されるゴジラシリーズの怪獣人形を掲載	⑦
64	フィギュア王　No.103	25pp	HMVpresents 松屋銀座「ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟」公開キャンペーン	2006年9月にHMV松屋銀座店で開催された、映画「ウルトラマンメビウス」イベント会場にて販売された限定商品を告知	①,③,⑦
		31pp	ウルトラマン☆トレイン出発式レポート	2006年7月に渋谷駅で開催された「ウルトラマン☆トレイン」出発式の様子の紹介や、「ウルトラマン☆スタンプラリー」を告知	②,⑫,⑰
		36-41pp	ウルトラマンフェスティバル2006	2006年7月28日から9月3日にかけて池袋で開催されたイベント「ウルトラマンフェスティバル2006」を特集	①,②,⑦
		57pp	ライダーカード35年の時を経てついに復活！！	イベント会場にて、2006年10月に販売される「仮面ライダーチップスR」のカードが来場者に配布された様子を掲載	②,⑦
		58,59pp	Suzuka 8 hours report 2006	2006年7月に開催された鈴鹿8時間耐久ロードレースに、仮面ライダーとホンダのコラボチームが参加した様子を掲載	①-③,⑪
		61pp	イベント限定スペシャルカラー！！	2006年に全国各地の百貨店にて開催されるイベント「Wヒーローキャラバン」で販売される限定商品を掲載	②,③,⑦
		63pp	盛況！Wヒーローフェスティバル！！	2006年7月22日・23日に開催されたイベント「Wヒーローフェスティバル」の様子を掲載	①,②,⑦
		92,93pp	新作怪獣ソフビ総進撃	2006年9月24日に開催されるイベント「東京トイフェスティバル」会場にて販売されるゴジラシリーズの怪獣人形を掲載	⑦
		116,117pp	東映戦士劇場版プロモーションレポート	2006年7月から8月にかけて、全国で開催された劇場版「仮面ライダーカブト」の上映と連動したイベントを紹介	①,③,⑦,⑯
65	フィギュア王　No.111	36-51pp	ウルトラマンメビウスグッズカタログ	2006年開催の「ウルトラマンフェスティバル2006」で限定販売された人形等、イベント会場で入手可能な商品を掲載	①,⑦,⑰
		67pp	タイトルなし	熊本県の遊園地・三井グリーンランド他で限定販売された仮面ライダー電王のフィギュアを掲載	⑦
		83pp	S.I.C展、大好評の内に閉幕！	2007年3月に開催された、東映の特撮ヒーローのフィギュアを多数展示したイベントを紹介	②
		130,131pp	Monthly NEW PRODUCTS	2007年4月に開催されるイベント「スーパーフェスティバル42」の会場で限定販売されるウルトラマンや、怪獣の人形を掲載	⑦

66	フィギュア王　No.118	160pp	「ウルトラマン大博覧会」現る！	2007年12月から2008年1月まで六本木ヒルズにて開催されるイベント「ウルトラマン大博覧会」について紹介	①,②,⑦,⑯
67	フィギュア王　プレミアムシリーズ　ウルトラソフビ超図鑑	68pp	レギュラー以外のソフビ商品	1990年に熊本と北海道、2カ所のグリーンランドでイベント限定商品として販売された、ウルトラマンとバルタン星人の人形を掲載	①,⑦
		74pp	レギュラー以外のソフビ商品	ウルトラマンフェスティバル初の会場限定販売品として、ウルトラマンパワードを筆頭とする人形計7点を掲載	⑦
		79pp	レギュラー以外のソフビ商品	ウルトラマンランドにて先行販売された、ウルトラマンネオス、ウルトラセブン21のソフトビニール人形等を掲載	⑦
		89pp	レギュラー以外のソフビ商品	ウルトラマンフェスティバル会場にて2日間限定で販売された、ウルトラマンティガのソフトビニール人形を掲載	⑦
		95pp	レギュラー以外のソフビ商品	ウルトラマン倶楽部にて2月、3月の限定商品として販売された、ウルトラマンやゼットン等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		106pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2000」限定商品として会場で販売された、ニセウルトラマン等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		111pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2001」限定商品として会場で販売された、ウルトラマン等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		116pp	レギュラー以外のソフビ商品	2003年と2004年の「ウルトラマンフェスティバル」にて限定商品として販売された、ダーダザギ等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		119pp	レギュラー以外のソフビ商品	熊本と大阪のイベント会場にて限定販売された、ウルトラマンネクサスのソフトビニール人形を掲載	⑦
		121pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2005」にて限定商品として販売された、エレキング等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		125,126pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2006」にて限定商品として販売された、サドラ等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		132pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2007」にて限定商品として販売された、キングジョーブラック等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		136,137pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2008」にて限定商品として販売された、アーマードメフィラス等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		143pp	レギュラー以外のソフビ商品	「ウルトラマンフェスティバル2009」にて限定商品として販売された、ニセウルトラセブン等のソフトビニール人形を掲載	⑦
		145pp	『2010年～ウルトラ怪獣ソフビ担当』守山朗子	「ウルトラマンフェスティバル」限定商品企画を進行させている、ソフトビニール人形開発担当者へのインタビュー	⑦
68	HOBBY JAPAN MOOK　シン・ゴジラ　GENERATION	74,75pp	君は1：60 シン・ゴジラを見たか！？	映画のPRのために製作された1：60スケールのゴジラ第4形態が、各イベント会場にて展示された様子や、展示場所のリストを掲載	②
		77-79pp	シン・ゴジラ聖地巡礼	2016年に公開された特撮怪獣映画「シン・ゴジラ」の本編にて登場した、東京都や神奈川県の各所を紹介	⑭
		81-86pp	新聞記事で見る『シン・ゴジラ』発表から公開まで	2014年12月8日から2016年7月30日まで、各スポーツ紙にて掲載されたゴジラシリーズの作品や催事を記載した記事を、一挙掲載	②
		97-111pp	シン・ゴジラ関連イベント・キャンペーンリスト	2016年4月から2017年6月まで、全国各地で開催されたゴジラシリーズのイベントを一挙紹介	①,②,⑥-⑧,⑩,⑫-⑭,⑯
69	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.1	39pp	円谷英二生誕100年前夜祭in東京国際ファンタスティック映画祭2000	「ウルトラQ」の作品上映、プレス発表会、トークショーの開催	①,⑯
		108-109pp	三井グリーンランドにウルトラマンメガフェスタ2001にとうしんだい40mのウルトラマンが出現！	2001年に三井グリーンランドにて開催された「ウルトラマンメガフェスタ2001」を特集	①,②,⑥,⑦,⑬
		110,111pp	ウルトラマンライブステージ2宇宙恐竜最強進化！リポート	2001年に赤坂ACTシアターにて開催された「ウルトラマンライブステージ2」を特集	①,③
		114-119pp	そうだ！円谷ジャングルに行こう！！	2001年に大阪府・コスタモール二色の浜に開店した「円谷ジャングル」を特集	①-③,⑥,⑦,⑩

70	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.2	61-63pp	生誕100年円谷英二展　in須賀川	2001年に福島県須賀川市にて開催された「生誕100年円谷英二展　in須賀川」を特集	②,⑧,⑰
		110,111pp	夏だ！ヒーローに会いに行こう！！イベント・インフォメーション	2001年の7月から9月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦,⑰
		116,117pp	ウルトラマン誕生35周年感謝祭リポート	2001年に池袋サンシャイン劇場で開催された「ウルトラマン生誕35周年感謝祭」を特集	①,⑦
		118,119pp	全国のプラネタリウムで絶賛投影中　もうひとつのティガ物語	2001年に全国のプラネタリウムで上映された「ウルトラマンティガ～光の子供たちへ～」を特集	⑩
71	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.3	102,103pp	秋空の下、ヒーローたちと楽しく遊ぼう！イベント・インフォメーション	2001年10月から12月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③
		112,113pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2001年7月・8月に国内で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①-③,⑦,⑰
		117-119pp	開催期間あとわずかバンダイウルトラマンスペクタクルワールド　宝塚ファミリーランドへ急げ！！	2001年に宝塚ファミリーランドにて開催された「バンダイウルトラマンスペクタクルワールド」を特集	①,②,⑦,⑩,⑫
72	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.4	100pp	お便りマンガ	2001年に開催された「ウルトラマンフェスティバル2001」の来場者の思い出が執筆されたお便りを掲載	①,②,⑦
		102,103pp	寒くてもヒーローたちと一緒ならほっかほか！イベント・インフォメーション	2002年の1月から3月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを特集	①,②,⑦,⑩
		112,113pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2001年10月から12月に国内外で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①,③
		117-119pp	さよならぼくらの向ヶ丘遊園	2002年3月に閉園した向ヶ丘遊園にて開催されたウルトラシリーズのイベントの歴史を特集	①,②,⑦,⑩,⑬
73	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.5	62,63pp	春！ヒーローいっぱい、花盛り！！イベント・インフォメーション	2002年4月から6月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,⑦,⑩
		86pp	ウルトラショット	読者による「30年前（推定）に百貨店屋上で開催された」怪獣ショーの写真を掲載	①,③
		106-109pp	ＨＯＴさにホットするウルトラマン倶楽部に集まれ！	東京都台東区浅草、浅草ＲＯＸにある「ウルトラマン倶楽部」を特集	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬
74	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.6	60,61pp	ヒーローの夏！ウルトラの夏！！イベント・インフォメーション	2002年7月から9月に開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦
		82-85pp	手取フィッシュランドは夢の王国だ！	2002年に石川県能美群で開催されたイベント「ウルトラマンアドベンチャーワールド」を特集	①-③,⑦,⑨,⑩,⑰
		112,113pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2002年3月から5月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①,③
75	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.7	46,47pp	秋から冬にかけてのイベントも楽しいぞ！！イベント・インフォメーション	2002年10月から11月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦
		49,50pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2002年7月から9月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①-③,⑦,⑩
76	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.8	98,99pp	大好きなヒーローに会えるチャンス！イベント・インフォメーション	2002年12月から2003年4月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦
		106-108pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2002年9月から12月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①-③,⑦

77	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.9	62,63pp	ばかばか陽気で、ヒーローたちも元気いっぱい！イベント・インフォメーション	2003年4月から11月に国内で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦,⑩,⑰
		65,67pp	チブルの部屋　円谷キャラクター商品ガイド	熊本県のウルトラマンランド等で購入できる来店記念メダルや、HMV渋谷にて配布されるウルトラ怪獣の人形を告知	⑦
		118,119pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2003年1月から3月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①,③
78	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.10	30-33pp	夏の太陽に負けず、みんなもギンギンに盛り上がろう！イベント・インフォメーション	2003年7月から2005年2月に国内各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑤-⑦,⑨,⑩
		39-47pp	怪獣人形劇　ウルトラP	ウルトラマンランド等のイベント会場で行われるパペットショー「ウルトラP」の特集、製作者へのインタビュー	①,②
		102,103pp	バンダイ　ウルトラ怪獣シリーズの20年	1990年から2001年にかけて販売された、ウルトラシリーズのイベント限定ソフビ人形の歴史を紹介	⑦
		118,119pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2003年4月から５月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを告知	①-③
79	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.11	23pp	HMV渋谷DVD発売イベント	2003年８月23日に東京都内「HMV渋谷」で開催されたウルトラシリーズDVDコレクション発売イベントを紹介	①,③
		30pp	ウルトラマンM730 ウルトラマンランド	イベント「ウルトラマンフェスティバル」で開催されてきた怪獣人形劇「ウルトラP」の歴史を紹介	①
		36pp	ウルトラマンフェスティバル2003　ウルトラP　REPORT	イベント「ウルトラマンフェスティバル2003」で開催された「ウルトラP」の模様等を紹介	①,③
		37pp	満田かずほ　『ウルトラマンランド』プロデューサー・監督	イベント会場にて上演された怪獣人形劇「ウルトラP」の番組制作時のエピソードについてのインタビューを掲載	①
		98,99pp	ウルトラヒーローシリーズの20年	1997年から2000年にかけて販売された、ウルトラシリーズのイベント限定ソフビ人形の歴史を紹介	⑦
		104,105pp	AGE BULLITIN BOARD	円谷プロ作品の出演俳優の舞台情報や、全国各地のウルトラマンオフィシャルショップの情報を告知	⑲
		114-118pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2003年7月から8月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①-③,⑦,⑨,⑩,⑲
80	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.12	104,105pp	2004年もウルトラヒーローたちと遊ぼう！イベント・インフォメーション	2004年1月から4月にかけて国内各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑥,⑦
		126,127pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2003年9月から11月にかけて国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを特集	①-③,⑦
81	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.13	6pp	NOA立つ！	2004年2月17日から20日まで開催された第57回東京インターナショナル　ギフト・ショーでの、円谷プロ・ブースの紹介	②
		7pp	円谷プロ代表取締役社長　圓谷昌弘	ウルトラシリーズの新プロジェクト「ULTRAN PROJECT」を題材としたイベント展開について、円谷プロ社長へのインタビュー	②
		7pp	NOA現る！	2004年3月6日・7日に熊本県「ウルトラマンランド」で開催されたウルトラマンのスペシャルライブを紹介	①,③
		106,107pp	春らんまん、ヒーローたちも咲きほこる！イベント・インフォメーション	2004年3月から5月まで国内各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑥,⑦,⑩
		108pp	AGE BULLITIN BOARD	熊本県「ウルトラマンランド」で上映されている人形劇「ウルトラP」を紹介	①
		122,123pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2004年1月から2月に国内各地で開催されたウルトラシリーズのイベントを紹介	①,⑦
		124,125pp	新たなウルトラの国登場！ウルトラマンスタジアム　オープン！！	2004年3月20日に石川県手取フィッシュランドにオープンしたウルトラマンスタジアムを特集	①,②,⑦,⑩

82	円谷プロトリビュートマガジン　ウルトラマンAGE Vol.14	5pp	ウルトラマンノア、イベント＆グラビアで大活躍！	2004年に国内各地で開催されたウルトラマンノアのアトラクションショーを紹介	①
		28,29pp	今年もウルトラの夏を楽しもう　イベント・インフォメーション	2004年7月から9月に開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑥-⑧,⑩
		86,87pp	TSUBURAYAS MUSEUM	2004年時点で全国に10店舗存在した「ウルトラマンワールドM７８」の店頭に貼られてきたオリジナルポスターを紹介	該当無し
		122,123pp	ワイルド星人のフラッシュショット	2004年5月に、東京都内と神奈川県で開催されたウルトラシリーズのイベントを紹介	①-③
		126pp	怖るべし、最強怪獣！	2001年3月10日に開催された舞台「ウルトラマンライブスステージ2　宇宙恐竜最強進化！」に登場したキャラクターを紹介	①
		127pp	ゼットン、ここにあり！	昭和41年代中頃に、イベントで使用された宇宙恐竜ゼットンの着ぐるみを紹介	該当無し
83	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.1	11-15pp	銀色のボディ、巨大な翼をもつ神秘の戦士ウルトラマンノア	活躍の場をイベント及び児童向けＴＶヒーロー雑誌に集中したウルトラマンノアを特集	①
		34-37pp	連載1モノクロームの彼方に～ウルトラQの「色」を求めて	円谷プロに現存する、昭和４１年春の向ヶ丘遊園での怪獣ショーの写真等を掲載	①
		66pp	特典DVD収録作品解説	ウルトラシリーズのイベント会場で流された円谷プロの企業ＣＭや番組プロモーション映像等を解説	該当無し
		78,79pp	ウルトライベント情報	2004年10月までに開催予定のウルトラシリーズのイベントを告知	①-⑦,⑩,⑰
		96,97pp	ウルトラを支える人たち⑪14回目の"夏はウルフェス"TBS事務局文化事業部担当部長　城岡充夫	夏期恒例イベント「ウルトラマンフェスティバル」の歴史について、TBS事務局の城岡氏にインタビュー	①,②,⑦
84	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.2	11pp	Special Report『ULTRAMAN』が東京国際映画祭を席巻！	2004年10月開催の「第17回東京国際映画祭」の中で行なわれた、映画『ULTRAMAN』の前夜祭イベント、舞台挨拶の様子を紹介	①,⑭
		21-23pp	星光子（ウルトラマンA・南夕子役）インタビュー　32年ぶりに届いた月からの手紙	「ウルトラマンA（1972）」出演女優・星光子がサイン会に参加した際の体験についてインタビューで回答	①,③,⑦
		66pp	特典DVD収録作品解説	石川県の「ウルトラマンスタジアム」、熊本の「ウルトラマンランド」等の最新ＣＭを解説	該当無し
		70-71pp	祝旗揚げ！円谷劇団第1回公演　銀色の少年	2004年10月に公演された、円谷劇団による舞台「銀色の少年」について特集	①
		72pp	「ウルトラマン」オフィシャルショップ　ウルトラマンワールドM78	全国9店舗あるショップ「ウルトラマンワールドM78」を紹介	①-③,⑥,⑦,⑩
		74,75pp	ウルトライベント情報	2004年11月から2005年2月まで全国で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑤,⑦,⑩
85	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.3	18-21pp	世界最大　怪獣だけの倉庫～円谷プロ・怪獣倉庫～開米栄三×満田かずほ	ショー用の着ぐるみを中心に保管してきた倉庫「怪獣倉庫」について、着ぐるみ製作者の開米栄三と満田かずほ監督の対談を掲載	①
		24,25pp	DVDウルトラマンコレクターズBOX　特典映像　ウルトラマン前夜祭　ウルトラマン誕生	1966年7月10日に放映されたイベント「ウルトラマン前夜祭」について、「ウルトラマン（1966）」監督の樋口祐三へインタビュー	①
		51-53pp	ウルトラマンTHEライド	和歌山県白浜エネルギーランドで2005年4月から5月に設置されたアトラクション「ウルトラマンTHEライド」を特集	⑩
		65pp	特別付録DVDに収録されている　その他の映像	ＣＭ「ウルトラマンメガフェスタ2005」を収録した特典ＤＶＤ解説	②
		74-75pp	ウルトライベント情報	2005年4月から6月まで全国で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,③,⑤,⑦,⑩
		84,85pp	Go!Go!ウルトラＭＣガールズ	東京・名古屋・熊本のウルトラマンショーでそれぞれ活動している、3人のＭＣお姉さんへのインタビュー	①
		86,87pp	GWだけじゃもったいない　ウルトライベントは花ざかり！！	2005年4月から7月まで全国で開催されるウルトラシリーズのイベントを紹介	①,②,⑩
		88pp	春のイベント大追跡　ナイトレイダー西へ	2005年3月から4月に全国で開催された、「ウルトラマンネクサス（2004）」出演者参加のウルトラシリーズのイベントを特集	①,③
		89pp	祖師ヶ谷大蔵駅周辺の3商店街がウルトラマン商店街に変身！！	2005年4月3日に東京都勢多綾区祖師ヶ谷大蔵に誕生した「ウルトラマン商店街」を紹介	①-③,⑬
		96,97pp	ウルトラを支える人たち③　株式会社バンダイ取締役　本郷武ー	イベント「ウルトラマンフェスティバル2005」を主催する玩具メーカー・バンダイで取締役を務める本郷武ーへのインタビュー	①,③

86	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.4	22pp	DVDウルトラQコレクターズBOX in渋谷	2005年8月6日にHMV渋谷で開催された「ウルトラQ（1966）」出演者のトーク＆サイン会を特集	①,③,⑦
		84,85pp	ウルトライベント情報	2005年9月から11月までに全国で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,③,⑦
		87pp	円谷プロファンクラブに入会しよう！！	1985年に結成された「円谷プロファンクラブ」の会員特典として円谷プロ作品エキストラ出演を告知	⑯
		94,95pp	Go!Go!ウルトラMCガールズ2	池袋で開催された「ウルトラマンフェスティバル2005」のショーに出演した、3人のMCお姉さんへのインタビュー	①
		106pp	円谷英二のいる風景④　夏休みイベントにて	昭和42年に北海道の「ふじのヘルスランド」にて開催された催事「怪獣の国ジュークボックス」に円谷英二が出演した様子を掲載	①,③,⑦
87	てれびくん9月号増刊　ウルトラマンDNA Vol.5	17pp	ウルトラQウルトラマン祝!!誕生40周年DVD「ウルトラQ怪獣伝説」「ウルトラマン怪獣伝説」発売記念イベント	2006年1月2に秋葉原で開催されたDVD「ウルトラQ怪獣伝説」「ウルトラマン怪獣伝説」発売記念イベントを紹介	①,③,⑦
		18-21pp	ロケ地を訪ねて特別編　円谷プロのホームグラウンド〜東京・東宝ビルト〜　円谷一夫	東京都世田谷区祖師ヶ谷大蔵にある、円谷プロの特撮作品が撮影された「東宝ビルト」を特集	⑭
		74pp	円谷プロファンクラブに入会しよう！！	「円谷プロファンクラブ」の会員特典として円谷プロ作品エキストラ出演、イベント会員特典等を告知	③,⑮
		76pp	ウルトライベント情報	2006年4月から5月までに全国で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,③
		84,85pp	Go!Go!ウルトラMCガールズ3	ウルトラマンショーでそれぞれ活動する、4人のMCお姉さんへのインタビュー	①,③
88	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.1	16,17pp	西村祐次こどもの時代館コレクション	新潟県柏崎市青梅川にある、特撮映像作品の関連玩具を展示した施設「こどもの時代館」を特集	②
89	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.2	20,21pp	石ノ森萬画館＆石ノ森章太郎ふるさと記念館を訪ねて	宮城県石巻市中瀬の「石ノ森萬画館」、同県登米市中田町の「石ノ森章太郎ふるさと記念館」を特集	①-③,⑥,⑦,⑫
90	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.5	12pp	中田博久　スペシャルインタビュー	全国で開催された、東映製作の特撮映像作品「キャプテンウルトラ（1967）」のイベント出演者へのインタビュー	①,③,⑦
91	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.8	19pp	九州に英雄たちに集う！！FUKUOKA　ヒーローフェスタ　国際ヒーロー映画祭プレイベント	2015年11月11日から13日まで開催された「国際ヒーロー映画祭」を特集	①,⑦
		28,29pp	特撮収集への誘い『突撃！ヒューマン』西村コレクション	商店街やデパートの屋上で開催された特撮映像作品「突撃！ヒューマン」ショーを特集	①,③,⑦
92	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.10	22,23pp	Memorial age 子供たちが夢中だった怪獣イベント　二子玉川園	二子玉川園で開催されてきた円谷プロ作品の怪獣ショーの歴史を特集	①-③,⑦
93	KODANSHA Official File Mook ぼくらが大好きだった特撮ヒーローBFSTマガジン Vol.11	22,23pp	日本万国博覧会は、現実世界に突如現れた「夢の王国」だった！！	1970年に大阪万博の「お祭り広場」にて開催された怪獣ショーの様子を掲載	①,⑱
		25pp	日本全国で大人気！！ブラウン管を飛び出したその後のブースカ大活躍	全国各地で開催された円谷プロ製作「快獣ブースカ（1966）」のイベントの様子を掲載	①,③,⑦
94	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.1　仮面ライダー1号・2号（前編）	25pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.01 藤岡弘、	全国各地のデパートにて開催された「仮面ライダー」サイン会出演者へのインタビュー	③,⑦
95	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.2　仮面ライダー1号・2号（後編）	21pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.02 佐々木剛	「仮面ライダー」サイン会、また本作出演者が経営する居酒屋についての、出演者へのインタビュー	③,⑥,⑦
96	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.3　仮面ライダーV3	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.03 宮内洋	全国各地の遊園地やデパートにて開催された「風見志郎」ショー、サイン会出演者へのインタビュー	①,③,⑦
		33pp	スタッフインタビュー　VOL.03	イトーヨーカドーや長崎屋にて開催された「仮面ライダーショー」出演者へのインタビュー	①

97	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.5　仮面ライダーアマゾン	13pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.05 岡崎徹	イベントでの「仮面ライダーアマゾン」出演者とファンの交流について、イベント出演者のインタビュー	③
		31pp	特集　大野剣友会の魅力	1971年冬に後楽園ゆうえんちで開催された「仮面ライダー」実演ショーの様子を掲載	①
98	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー昭和Vol.9　仮面ライダーＺＸ	4,5pp	メディアミックスの仮面ライダー	1981年11月に開催された青年向けイベント「仮面ライダー復活祭」の開催についての記述	①
		30,31pp	特別公開仮面ライダーイベント用3D映画	常設展示館やイベント会場で上映された仮面ライダーシリーズの3D映画について掲載	⑯
99	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.1　仮面ライダークウガ	33pp	ヒーローを演じること	台湾にて開催されたパワーレンジャーショー出演者へのインタビュー	①
100	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.4　仮面ライダー555	33pp	ヒーローを演じること	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
101	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.8　仮面ライダー電王	33pp	ヒーローを演じること	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
102	講談社MOOK　仮面ライダーOfficial Mook 仮面ライダー平成Vol.15　仮面ライダー鎧武	32pp	『仮面ライダー』を創る！	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
103	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 20世紀　1975　秘密戦隊ゴレンジャー	19pp	SPECIAL INTERVIEW '75 誠直也	後楽園にて開催された「秘密戦隊ゴレンジャー」サイン会出演者へのインタビュー	①,⑦
104	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.1　百獣戦隊ガオレンジャー	15pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.01 金子昇	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
105	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.2　忍風戦隊ハリケンジャー	19pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.02 塩谷瞬	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
106	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.4　特捜戦隊デカレンジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.04 さいねい龍二	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
		32pp	スーパー戦隊制作の裏舞台	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
107	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.5　魔法戦隊マジレンジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.05 橋本淳	後楽園にて開催された引き継ぎイベント出演者へのインタビュー	①
		33pp	スーパー戦隊制作の裏舞台	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
108	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.6　轟轟戦隊ボウケンジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.06 高橋光臣	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
109	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.7　獣拳戦隊ゲキレンジャー	15pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.07 鈴木裕樹	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①,③
		32pp	スーパー戦隊制作の裏舞台	後楽園にて開催されたアトラクションショー出演者へのインタビュー	①
110	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.8　炎神戦隊ゴーオンジャー	30pp	特集企画スーパー戦隊その極意Volume8	我が国での特撮映像作品を素材としたアトラクションショーの歴史	①-③
111	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.9　侍戦隊シンケンジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.9 高梨臨	「侍戦隊シンケンジャー」ファイナルライブツアー出演者へのインタビュー	①
112	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.10　天装戦隊ゴセイジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.10 にわみきほ	後楽園にて開催されたファンへの「天装戦隊ゴセイジャー」お披露目イベント出演者へのインタビュー	①
113	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.11　海賊戦隊ゴーカイジャー	15pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.11 小澤亮太	後楽園にて開催された「海賊戦隊ゴーカイジャー」お披露目ステージ出演者へのインタビュー	①
114	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.12　海賊戦隊ゴーバスターズ	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.12 鈴木勝大	東京ドームシティにて開催された「特命戦隊ゴーバスターズ」ショー出演者へのインタビュー	①
115	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.13　獣電戦隊キョウリュウジャー	19pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.13 竜星涼	東京ドームシティGロッソで開催された「獣電戦隊キョウリュウジャー」ショー出演者へのインタビュー	①

116	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.14　烈車戦隊トッキュウジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.14 志尊淳	東京ドームシティにて開催された「烈車戦隊トッキュウジャー」ショー出演者へのインタビュー	①
117	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.15　手裏剣戦隊ニンニンジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.15 西川俊介	大阪にて開催された「手裏剣戦隊ニンニンジャー」ファイナルライブツアー出演者へのインタビュー	①
118	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.16　動物戦隊ジュウオウジャー	17pp	SPECIAL INTERVIEW VOL.16 中尾暢樹	東京ドームシティGロッソで開催された「動物戦隊ジュウオウジャー」ショー出演者へのインタビュー	①
119	講談社MOOK　スーパー戦隊Official 21世紀　Vol.17　宇宙戦隊キュウレンジャー	32pp	スーパー戦隊制作の裏舞台	東京ドームシティGロッソで開催された「宇宙戦隊キュウレンジャー」ショー製作者へのインタビュー	①
120	大人のウルトラマン大図鑑	6,7pp	ウルトラマン前夜祭　ウルトラマン誕生	1966年7月9日に杉並公会堂で開催された「ウルトラマン前夜祭」の紹介	①
121	大人のウルトラセブン大図鑑	86-89pp	懐かしの玩具や貴重な写真で巡るウルトラセブンの黄金時代	国内外で開催された「ウルトラセブン」ショーの告知チラシや、イベント開催当時の写真を掲載	①,③,⑦
122	大人のウルトラ怪獣大図鑑	83-85pp	造形編　イマジネーションに魂込める職人芸　怪獣マエストロと辿る怪獣造形の現在・過去・未来	イベント「ウルトラマンフェスティバル2012」展示物の製作過程を、文面や写真で掲載	②
		87pp	ウルトラマンと戦った男たち	イベント「会津博覧会・怪獣館」のパンフレットの写真を掲載	②
123	大人のウルトラマンシリーズ大図鑑	28pp	『ウルトラマン』全話解説	1966年7月9日に杉並公会堂で開催された「ウルトラマン前夜祭」の紹介	①
		118,119pp	アスカ＆我夢＆藤宮、夢の勢ぞろい！	「ウルトラマンフェスティバル2015」にて開催されたスペシャルトークショーの様子を掲載	①,②
		126,127pp	タイトルなし	イベントの様子を収録したBlu-rauBOXの告知や、フジテレビONE放映の怪獣街ぶら番組「ウルトラ怪獣散歩」を特集	⑭
124	CIRCUS別冊　語れ！ウルトラマン【永久保存版】	22-25pp	モロボシ・ダン役　森次晃嗣	ウルトラセブン出演者が経営するカフェテリアや、イベントについて特集	②,③,⑥,⑦
		111-117pp	全国各地でイベント開催！オフィシャルショップで大人買い	全国各地のウルトラマンオフィシャルショップを紹介	①,②,③,⑥,⑦,⑩,⑬,⑲
		118,119pp	ウルトラマン商店街を探訪	小田急線祖師ヶ谷大蔵駅を囲む「ウルトラマン商店街」を紹介	②,⑦
125	CIRCUS別冊　語れ！ウルトラマン　兄弟激闘編【永久保存版】	87pp	COLUMN　ゴモラ変遷史～番外編～	アニメ「ウルトラマンキッズ」に登場するゴモタンの着ぐるみを使用したショーについて記述	①
		98-101pp	「ウルトラ怪獣」出現マップ	ウルトラマンシリーズに登場する怪獣の国内出現地を一覧化	⑭
126	語れ！ウルトラ怪獣【永久保存版】	90pp	怪獣酒場潜入リポート	神奈川県川崎市に開店した「怪獣酒場」を特集	②,⑥,⑦
		109pp	マニア心をくすぐるレア商品展開の魅力とは	ウルトラマンシリーズのイベント会場にて販売された限定商品を紹介	⑦
127	語れ！仮面ライダー【永久保存版】	28-30pp	語れ！仮面ライダー　主人公秘話2　佐々木剛	地方公演の「仮面ライダー」ショーや、後楽園で開催された仮面ライダーショー出演者へのインタビュー	①
128	特撮ゼロ Vol.01　創刊・冬の号	12,13pp	「特撮グルメガイド」出張SPECIAL EDITION　銀座美魔女図鑑　西恵子さん【銀座珈琲『蕾』】	「ウルトラマンA」出演者が経営する珈琲店「蕾」を紹介	③,⑥
		67pp	『ミレニアムゴジラトークショー　呼び醒ませ！21世紀怪獣王』	早稲田大学学園祭にて行われたトークイベントを紹介	①
129	特撮ゼロ Vol.02　春の号	44pp	特撮ゼロ〈春のウルトラ情報局〉	2015年に開催されたショー「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル」を紹介	①
		63-73pp	連載開始 SPECIAL はばたけ！ローカルヒーロー	全国各地の「ローカルヒーロー（ご当地ヒーロー）」を紹介	該当無し
		74,75pp	「特撮グルメガイド」出張SPECIAL 上石神井「俳優」編　海津亮介氏【味噌一・上西神井店】	「光戦隊マスクマン」出演者が経営するラーメン店「味噌一」を紹介	⑥

130	特撮ゼロ Vol.04　冬の号	10,11pp	『特撮グルメガイド』出張SPECIAL EDITION　赤坂美女図鑑二輪ひとみさん赤坂BAR【Bonne eau】	「ウルトラマンティガ」出演者が経営するBAR「Bonne eau」を紹介	⑥
		17,19pp	ローカルであるがゆえに描けること『琉神マブヤー』のデージな軌跡	横浜みなとみらいで開催された「琉神マブヤー」のイベント等を紹介	該当無し
		23pp	interview『琉神マブヤー 1972レジェンド』クイナ役　棚原里帆	那覇市で開催された『琉神マブヤーでーじ読本～ヒーローソフィカル沖縄文化論～』刊行記念トークイベントを紹介	該当無し
		63pp	武蔵忍法伝　忍者烈風	2016年11月21日、22日に千葉県で開催された「ローカルヒーロー祭り」を紹介	該当無し
		64pp	PAST 飯島敏宏監督「鶴川ショートムービーコンテスト」への想い	2016年7月24日に開催された「夏休み特撮ヒーロー特集！！」にて、「ウルトラマン」監督らによるトークイベントを紹介	①
		70,71pp	『特撮ファイト！』東京・大阪・名古屋で開催される！	劇場版「セーラーファイト」等の3つの特撮映像作品を題材に、3都市で開催されたトークショーやサイン会を紹介	①,③,⑦
		73pp	"渡辺宙明卒寿記念コンサート"に血管沸騰の巻	2015年8月30日に渋谷区で開催された、数多くの特撮映像作品の音楽を手がけた作曲家、渡辺宙明の卒寿記念コンサートを紹介	①
		75pp	スーパー戦隊シリーズ40周年記念　これまでも、そしてこれからも・・・スーパー戦隊！	1996年夏に開催された『史上最大の決戦・ヒーローフェスティバル96』のイベント内容について記述	①,②
131	特撮ゼロ Vol.05　夏の号	42pp	魅力たっぷりウルトラ怪獣散歩	2015年5月22日よりフジテレビONEにてレギュラー放送が開始された「ウルトラ怪獣散歩」を紹介	⑭
		43-45pp	『ウルトラ怪獣散歩』スタッフインタビュー	「ウルトラ怪獣散歩」の製作の経緯や描写について、本作チーフプロデューサーと監督へのインタビューを掲載	⑭
		80,81pp	夢の足跡の足跡	仙台を代表する遊園地で、キャラクターショーのメッカである八木山ベニーランドを紹介	①,⑫
		86,87pp	特撮ヒーローファン驚愕の豪華ゲスト陣も活躍/舞台『幻法大阪城』アフターレポート	特撮映像作品出演者陣が日替わりスペシャルゲストとして出演する舞台『幻法大阪城』を紹介	①
132	特撮ゼロ Vol.06　冬の号	6,7pp	LIVE!ULTRAMAN PART1　ウルトラマンランドはかく語りき	1996年から2013年まで熊本県で運営されたテーマパーク「ウルトラマンランド」を紹介	①-③,⑥,⑦,⑩,⑬
		9-11pp	我が青春のウルトラマンランド～南の聖地に賭けた記録	「ウルトラマンランド」で公演されていたステージショーの脚本を務めた演出家へのインタビューを掲載	①
		12,13pp	LIVE!ULTRAMAN PART2「ウルトラマンフェスティバル2016」	イベント「ウルトラマンフェスティバル2016」を紹介	①,②,⑩
		14,15pp	LIVE!ULTRAMAN PART3　ウルトラマンフェスティバルのあゆみ	1989年に始まり、2016年まで開催され続けたイベント「ウルトラマンフェスティバル2017」の歴史を紹介	①,②,⑦,⑩
		16-19pp	メイキング・オブ・ウルトラ・ライブアクション	「ウルトラマンフェスティバル」でのライブステージの歴史について、脚本・演出担当者のインタビューを掲載	①
		97pp	ガール・ミッツ・ガールなジュブナイル『宙女子』完成記念舞台挨拶レポ	荒木憲司監督の映画「宙女子」の出演者による舞台挨拶の模様を掲載	該当無し
		98pp	特ゼロ音楽の森	特撮映像作品の主題歌が演奏されるイベント「宣弘社テレビコンサート」の模様を掲載	①
133	テレビマガジン特別編集　平成ウルトラ映画全集	75pp	検証！平成ウルトラ映画	鎌倉シネマワールドで開催された「ウルトラマンゼアス2」公開記念イベントの様子を掲載	①
134	テレビマガジン特別編集　ウルトラマンコスモス	108,109pp	ULTRAMAN COSMOS FUN CLUBS NOVELY GOODS SPECIAL EVENTS	映画「ウルトラマンコスモス2」のＰＲを目的とした、ウルトラマンが登場する始球式の様子を掲載	①,⑪

135	講談社ヒットブックス　テレビマガジン特別編集スペシャル　ウルトラマン　空想特撮シリーズ	2pp	タイトル無し	1966年7月9日に開催されたイベント「ウルトラマン前夜祭」を紹介。	①
136	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼアス超全集	44pp	ウルトラマンゼアスショー	1996年1月鎌倉シネマワールドでのウルトラマンゼアスショーの紹介	①
		58pp	ウルトラマンゼアス　ア・ラ・カルト	ロケ地・自念石油株式会社百合ヶ丘給油所の紹介等	②,⑦,⑭
137	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼアス2超全集	61pp	ウルトラマンゼアス関連グッズ大集合！！	出光興産キャンペーン商品の紹介	⑦
138	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス超全集	75pp	CREW GUYS隊員はイベントでも大活躍！！	2006年から2007年まで開催された全国のウルトライベントの紹介	①,③
139	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス外伝　超銀河大戦　戦え！ウルトラ兄弟	18,19pp	アークボガール　ジオルゴンはウルフェス07でも大あばれ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2007」にて開催されたショー、コンテスト授賞式の紹介	①
140	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラギャラクシー大怪獣バトル NEVER ENDING ODYSSEY超全集	35-37pp	ZAP SPACYクルーはイベントでも大活躍！！	2008年から2009年まで開催された全国のウルトライベントの紹介	①
141	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンメビウス外伝　アーマードダークネス	9pp	イベントでもアーマードダークネスとウルトラ兄弟が大決戦！！	2008年5月に開催された「ウルトラマンプレミアムステージ2」の紹介	①
		10pp	ガロウラーは〈最強宇宙怪獣デザインコンテンスト〉のグランプリ作品だ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」会場にて開催された表彰式の紹介	①
		12,13pp	ウルトラマンフェスティバル2008ではガロウラーと怪獣軍団が大進撃！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」にて開催されたショーの紹介	①
142	てれびくんデラックス愛蔵版　大怪獣バトルウルトラ銀河伝説超全集	81pp	完成披露試写会も大盛況！！	2009年12月開催のイベント「大怪獣バトルウルトラ銀河伝説　ジャパンプレミアム」の紹介	①,③
143	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンゼロ 超決戦！ベリアル銀河帝国超全集	79pp	ウルトラマンフェスティバル2010ではゼロスラッガーギアが大活躍！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2010」にて開催されたショーの紹介	①
144	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンサーガ超全集	88pp	イベントにウルトラマンサーガ出現！！	2011年から2012年まで開催された全国のウルトライベントの紹介	①,③,⑯
145	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンギンガS超全集	66-69pp	ギンガも大活躍！！ウルトライベント2013-2015	2013年から2015年まで国内外で開催されたウルトライベントの紹介	①-③,⑫
146	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンX超全集	68-71pp	ギンガからエックスへ！！ウルトライベント2015-2016	2015年から2016年まで国内外で開催されたウルトライベントの紹介	①,②,⑪
147	てれびくんデラックス愛蔵版 ウルトラマンオーブ超全集	134-136pp	エックスからオーブへ！！ウルトライベント2016-2017	2016年から2017年まで全国で開催されたウルトライベントの紹介	①,③
148	てれびくんデラックス愛蔵版 ウルトラマン全戦士超ファイル〔増補改訂版〕	88,89pp	ウルトラマンリブット	マレーシアのイベントで活躍するウルトラマンリブットの紹介	①
149	てれびくんデラックス愛蔵版　ウルトラマンジード超全集	79pp	ウルトラマンジード監督インタビュー	2017年7月に米国シカゴで開催された「G-FES」の紹介	①
		100-104pp	オーブからジードへ！！ウルトライベント2016-2017	2017年から2018年まで全国で開催されたウルトライベントの紹介	①,③,⑩
150	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダー555超全集　上巻	87pp	白倉伸一郎東映プロデューサーインタビュー	劇場版「仮面ライダー555」1万人エキストラ終了後のトークショーの紹介	①,⑮
151	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダー鎧武超全集	128pp	イベント	2014年に開催された「仮面ライダー鎧武」イベントの紹介	①
		130pp	仮面ライダー鎧武出演者ラストメッセージ	「仮面ライダー鎧武ファイナルステージ＆番組キャストトークショー」の紹介	①
152	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダードライブ超全集	98pp	仮面ライダードライブファイナルステージ＆番組キャストトークショー	2015年開催の「仮面ライダードライブファイナルステージ＆番組キャストトークショー」の紹介	①
153	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダーゴースト超全集	98pp	仮面ライダーゴーストファイナルステージ＆番組キャストトークショー	2016年開催の「仮面ライダーゴーストファイナルステージ＆番組キャストトークショー」の紹介	①
154	てれびくんデラックス愛蔵版　仮面ライダーエグゼイド超全集	98pp	仮面ライダーエグゼイドファイナルステージ＆番組キャストトークショー	2017年開催の「仮面ライダーエグゼイドファイナルステージ＆番組キャストトークショー」の紹介	①
155	てれびくんデラックス愛蔵版　百獣戦隊ガオレンジャー超全集	77pp	スーパー戦隊25作品記念イベントに6人が登場！！	2001年に開催された相模鉄道でのスタンプラリー、二俣川駅でのショーの紹介	①,⑦,⑫

156	てれびくんデラックス愛蔵版　魔法戦隊マジレンジャー超全集　上巻	96pp	DVDでマジレンジャーの活躍をチェックだ！！	特別プレミア発表会「マジ誕生！魔法戦隊マジレンジャー」を収録したDVDの紹介	①
157	てれびくんデラックス愛蔵版　天装戦隊ゴセイジャー超全集	96pp	その他の映像作品	「天装戦隊ゴセイジャー」ライブツアー千秋楽の模様を収録したDVDの紹介	①
158	てれびくんデラックス愛蔵版　海賊戦隊ゴーカイジャー超全集	112pp	タイトルなし	「海賊戦隊ゴーカイジャー」ライブツアー千秋楽のグランドフィナーレの紹介	①
		114pp	その他の映像作品	「海賊戦隊ゴーカイジャー」ライブツアー千秋楽の模様を収録したDVDの紹介	①
159	てれびくんデラックス愛蔵版　獣電戦隊キョウリュウジャー超全集	96pp	タイトルなし	「獣電戦隊キョウリュウジャー」ライブツアーの紹介	①
		98pp	その他の映像作品	「獣電戦隊キョウリュウジャー」ライブツアー千秋楽の模様を収録したDVDの紹介	①
160	てれびくんデラックス愛蔵版　烈車戦隊トッキュウジャー超全集	96pp	烈車の旅－別ルート編	「烈車戦隊トッキュウジャー　ファイナルライブツアー」の紹介	①
		97pp	烈車戦隊トッキュウジャー放映リスト	番組1コーナー「みんなの列車コーナー」の放映リスト	⑭
		98pp	その他の映像作品	「烈車戦隊トッキュウジャー」ライブツアー千秋楽の模様を収録したDVDの紹介	①
161	てれびくんデラックス愛蔵版　手裏剣戦隊ニンニンジャー超全集	96pp	手裏剣戦隊ニンニンジャーファイナルライブツアー2016	「手裏剣戦隊ニンニンジャーファイナルライブツアー2016」の紹介	①
		98pp	その他の映像作品	「手裏剣戦隊ニンニンジャー」ライブツアー千秋楽の模様を収録したDVDの紹介	①
162	てれびくんデラックス愛蔵版　動物戦隊ジュウオウジャー超全集	96pp	タイトルなし	「動物戦隊ジュウオウジャーファイナルライブツアー」大阪会場千秋楽の紹介	①
		97pp	動物戦隊ジュウオウジャー放映リスト	番組1コーナー「レッツ！どうぶつかくれんぼ」の放映リスト	⑭
		98pp	その他の映像作品	「動物戦隊ジュウオウジャー」ライブツアー千秋楽の模様を収録したDVDの紹介	①
163	別冊映画秘宝　新世紀特撮映画読本	121-126pp	日本特撮はぬいぐるみを捨てるのか？品田冬樹インタビュー	動画配信サイト「YouTube」内の「ブースカちゃんねる」に登場する快獣ブースカの着ぐるみを製作した品田冬樹へのインタビュー	該当なし
164	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.1	20-21pp	どうなるゴジラ2016	新宿に完成したゴジラヘッドや、TOHOシネマズ新宿のホテル内に設置された「ゴジラルーム」等を掲載	②,⑤
		22-23pp	ゴジラヘッド6大絶景スポット	新宿の新シンボル「ゴジラヘッド」を、「ゴジラヘッド」周辺の6つのスポットから撮影した写真と、撮影方法を解説	②,⑥
		97-100pp	怪獣天国196×年　中島志津男	1967年2月に二子玉川園で開催された、「ウルトラマン」「マグマ大使」合同イベント等を当時体験した人物へのインタビューを掲載	①-③
		101-103pp	怪獣天国196×年　右田昌万	1968年1月に鹿児島で開催された、「ウルトラセブン（1967）」出演者サイン会等を当時体験した脚本家へのインタビューを掲載	①,③,⑦
		120-121pp	2015年のゴジラフィーバー	2015年4月に新宿で行なわれた「ゴジラヘッド」の点灯式の記事や、4月17日に営業を開始したTOHOシネマズ新宿のポスターを掲載	①,②,⑤,⑰,⑱
		122-123pp	ゴジラ天国・TOHOシネマズ新宿！	新宿に設置されたゴジラヘッド等を製作した友井健人のインタビューや、ゴジラルーム宿泊者のみもらえる限定のグッズを掲載	②,⑤,⑦
		124-127pp	Gコン'2016　ゴジラ戦略会議代表	東宝社内に設置されたゴジラ戦略会議チーム「ゴジコン」プロジェクトリーダー上田太地へのインタビューを掲載	②
		128,129pp	世界はどう見る？ゴジラ2016	2015年4月に米国ボストンで開催されたイベント「Anime Boston 2015」にて「ゴジラ（1954）」出演者らが登場したこと等を掲載	該当なし
		166-171pp	マボロシ怪獣探偵団ジェットジャガーの謎を追え！	1972年に西友ストアで開催された「ちびっこ怪獣大学」のイメージキャラクター、レッド・アローンについて漫画で解説	⑦
		226,227pp	阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター映像　1・17の衝撃　2002年	「人と防災未来センター」の防災未来館4階に、特撮技術を駆使して地震体験を再現する1.17シアターについて解説。	⑩

165	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.2	30pp	196×年の怪獣少年たち　手塚昌明	映画監督・手塚昌明監督が、1960年代に開催されたウルトラ怪獣イベントショーの写真を掲載	①,③
		31pp	薩摩剣八郎、ピープロ時代を語る。	1970年代、劇団「土」主催による、ピープロ製作の特撮作品のショーの様子を写真で掲載	①
		172-177pp	ジェットジャガー役スーツアクター　駒田次利	俳優・駒田次利に、ハワイにて開催された「電人ザボーカ（1974）」のイベント出演についてのインタビューを掲載	①
		203pp	荒垣輝雄　怪獣写真館	児童養護施設や伊豆シャボテン公園にて、ウルトラ怪獣役として荒垣氏が着ぐるみに入った際の様子を写真で掲載	③
		205-208pp	怪獣天国196×年　手塚昌明	「大田原名店街」にて開催された、円谷プロの怪獣ショーを当時体験した、手塚昌明監督へのインタビュー	①
		231-235pp	INTERVIEW　スーツアクター薩摩剣八郎	1970年代の第二次特撮ブームの最中、大蔵団地で開催された「快傑ライオン丸ショー」を手がけた薩摩剣八郎へインタビュー	①,③,⑦
166	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.3	18pp	計算機外の大発見！！	東宝特撮映画「怪獣大戦争（1965）」公開時期にデパートで展示されたキングギドラの着ぐるみの写真を掲載	②,③
		83-86pp	マボロシ怪獣探偵団！IN名古屋　謎の「愛知クルマニクラス」を探せ	1971年に、愛知県の交通安全キャンペーンのキャラクターに起用されたという怪獣クルマニクラスの真相究明について漫画で掲載	該当なし
		160,161pp	参加者狂喜！『シン・ゴジラ』エキストラ記念品！！	2016年公開の特撮映画「シン・ゴジラ」のエキストラ参加者に配布された参加記念品を掲載	⑮
		164,165pp	「ガメラ生誕50周年祭」レポート	2015年11月に神楽座で行なわれたイベント「映画秘宝Presents ガメラ生誕50周年祭」の様子を特集	①,⑯
		172-174pp	号外特撮秘宝	2015年12月にＮＹで開催されたイベントでのゴジラシリーズ俳優によるトークショーや、ウルトラマンスタンプラリーを掲載	①-③,⑰,⑲
167	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.4	26pp	『ゴジラ対ヘドラ』	東宝の特撮怪獣映画「ゴジラ対ヘドラ」公開時に、青森で開催された、着ぐるみのゴジラとヘドラによるショーの様子を掲載	①
		27pp	196×年の怪獣少年たち　石井良和	1960年代にデパートの屋上で行なわれた怪獣ショーに、当時参加した石井良和が怪獣達と撮影した写真を掲載	③
		146-151pp	マボロシ怪獣探偵団！「第3のベロクロン」の謎を追え！	1972年秋頃に二子玉川園で撮影された「ウルトラマンA（1972）」の超獣ベロクロンの着ぐるみの写真等を漫画で解説	該当なし
		176-178pp	号外特撮秘宝	2016年3月に調布市で開催された「第1回特撮秘宝感謝祭」、同年7月に開催された「ウルトラマン」イベントの様子等を特集	①-③,⑦
		219-221pp	怪獣天国196×年　石井良和	映画監督・石井良和監督に、1960年代に体験したゴジラやガメラシリーズの怪獣ショー等の様子をインタビュー	①,③
168	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.5	32pp	町田にガメラ出現！！197×年の怪獣少年たち	1971年の特撮映画「ガメラ対深海怪獣ジグラ」公開からほどなく、秋に町田で開催された「ガメラ対ジグラ」ショーの様子を掲載	①
		250-252pp	197×年の怪獣少年　田端恵	1971年秋に町田市吉川百貨店の屋上で開催された「ガメラ対ジグラ」ショーを掲載	①
169	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.6	190-193pp	マボロシ怪獣探偵団！珍種発見！？「2本足」メガギラスを追え！	怪獣ショーや宣伝にのみ登場する『ステージ怪獣』の着ぐるみを、特撮映画「ゴジラ×メガギラス（2001）」を事例に漫画で解説	①
170	別冊映画秘宝　特撮秘宝 vol.7	6-7pp	1970年大阪万博大怪獣秘話崑ちゃんの息子、ゴジラに会う！	1970年春に、大阪万国博覧会の「こども祭り」で開催された怪獣ショーについて、岡村純泊氏が所有していた写真や台本等を掲載	①
		16-20pp	タケダアワーの時代　宣弘社秘蔵イベント写真ギャラリー	1960年代に開催されたイベント「ウルトラマンこども大会」や、特撮番組「怪奇大作戦（1968）」出演者のサイン会の様子を掲載	①,③,⑦
		48-54pp	INTERVIEW 中島春雄氏長女　中島園恵	ゴジラシリーズで怪獣ゴジラのスーツアクターを務めた中島春雄のイベントでの様子について、長女中島園恵氏にインタビュー	③,⑦
		56-57pp	桜井浩子　女優	女優・桜井浩子が、生前の中島春雄が募集メッセで開催されたトーク会に出演した際の様子についてのコメントを掲載	①
		220-223pp	タケダアワーの時代　イベントに見る怪獣ブーム	1966年1月から1968年1月まで、全国各地で開催されたウルトラシリーズの各イベントスケジュールを掲載	①-③,⑦

171	劇場版仮面ライダー555　公式アルバム	66,67pp	SPECIAL EVENT 1万人のオルフェノク対ファイズ!?	2003年に公開された映画「仮面ライダー555」のエキストラ撮影＆トークショーを特集	①,③,⑦
		72,73pp	MOVIE STAFF Interview 特撮監督　佛田洋	2003年公開の映画「仮面ライダー555」のエキストラ撮影についてインタビュー	⑦
		78pp	劇場版仮面ライダー555　パラダイス・ロスト製作日誌	2003年6月22日に開催された映画「仮面ライダー555」のエキストラ撮影の詳細を掲載	①,⑮
172	総天然色　ウルトラQ　公式ガイドブック	64pp	第8話「甘い蜜の恐怖」	屋内イベントで展示されたもぐら怪獣モングラー、黄金怪獣ゴルドンの写真を掲載	②
		65pp	第15話「カネゴンの繭」	「ウルトラQ（1966）」の屋外イベントで撮影された、コイン怪獣カネゴンの写真を掲載	①
		139-142pp	もうひとつのウルトラQ	昭和41年4月に遊園地「多摩テック」で開催された、イベント「ウルトラQ大会」の開催までの経緯とイベントの様子を掲載	①
		143,144pp	『総天然色ウルトラQ』イベントの軌跡	2011年1月から2012年1月まで開催された「総天然色　ウルトラQ」のイベントの軌跡を紹介	①,②,⑥,⑯
173	ゴジラ東宝チャンピオンまつりパーフェクション	160pp	編集後記	ゴジラとキングコングの着ぐるみが、劇場前で親子連れと触れ合う写真を掲載	③
		161-169pp	東宝チャンピオンコラム	「ゴジラ対メカゴジラ（1974）」の宣伝イベントや、2014年11月に開催された「館長　庵野秀明　特撮博物館」、撮影ロケ地を紹介	①,②,⑭
174	ハワイ州観光局公式トラベルガイド　ウルトラハワイ	2-6pp	ウルトラハワイ Special Interview	「ウルトラハワイ」主催者ら（ハワイ州観光局親善大使、ハワイ州観光局局長、コーディネーター等）のインタビューを掲載	⑯,⑲
		7pp	伝説のウルトラ兄弟たちがウルトラハワイへひと言コメント	ウルトラ5兄弟によるハワイ州に向かうウルトラマンタロウー家へのコメント	該当無し
		8,9pp	ウルトラハワイとは？	ウルトラハワイについて、ストーリーの紹介、ハワイ州オアフ島内各地に設置された4体のウルトラヒーロー像等の紹介	②
		10-23pp	ウルトラファミリーのハワイ Navi Best6	家族が楽しめる6つのベストハワイ（ビーチ、動物たち、絶景スポット、アクティビティ、お買い物、グルメ）を特集	⑲
		24-66pp	ウルトラハワイStart！オアフ島	オアフ島内の自然観光地、テーマパーク、博物館、レストラン、商業施設、ホテル、利用可能な交通手段を紹介	②,⑦,⑲
		68-79pp	ハワイ島	ハワイ島内の自然観光地、レストラン、商業施設、ホテル、レンタカー等の利用可能な交通手段を紹介	⑲
		80-90pp	マウイ島	マウイ島内のゴルフコースや国立公園、レストラン、商業施設、ホテル、レンタカー等の利用可能な交通手段を紹介	⑲
		91pp	ウルトラハワイオフショット「旅の日記」	「ハワイ州観光局公式トラベルガイド　ウルトラハワイ」取材時に撮影した、ウルトラファミリーの秘蔵画像集を掲載	該当無し
		92－101pp	カウアイ島	ハワイ島内の自然観光地、レストラン、商業施設、ホテル、利用可能な交通手段（レンタカー）を紹介	⑲
		102pp	ラナイ島	ラナイ島内の自然観光地や、アクセス、島内交通を紹介	該当無し
		103pp	モロカイ島	モロカイ島内の自然観光地や、アクセス、島内交通を紹介	該当無し
		104pp	TRAVEL INFORMATION	ハワイ州内での、時差、レート、電圧。気候、チップを掲載	該当無し
		105pp	index	「ハワイ州観光局公式トラベルガイド　ウルトラハワイ」にて取材されたショッピングやグルメ、アクティビティ、ホテル等の索引	該当無し
		106-111pp	Hawai'I MAP Island&City	ハワイ諸島各島（オアフ島、ハワイ島、マウイ島、カウアイ島）の全体地図、オアフ島内ホノルル、ワイキキ地図の掲載	該当無し
175	ウルトラ怪獣　ビジュアルブック　ぴあMOOK	72-74pp	あの奇妙で愉快な番組の裏側へ！？潜入！ウルトラ怪獣散歩の現場から	ウルトラ怪獣が日本の観光地を訪れる街ぶらり番組『ウルトラ怪獣散歩』のロケ現場、撮影風景を特集	⑭
		75pp	ウルトラ怪獣散歩アフレコ担当東京03　豊本明長・飯塚悟志・角田晃広インタビュー	『ウルトラ怪獣散歩』に登場する怪獣達の声を務める東京03へのインタビュー	該当無し
		76-77pp	怪獣酒場の世界	居酒屋「怪獣酒場」（川崎、新橋蒸溜所）を紹介	②,⑥

176	キャラクター大全　総天然色ウルトラQ　上巻	74,75pp	Character 人工生命M1号	1961年5月から6月に向ヶ丘遊園、谷津遊園、小田急百貨店で開催されたイベント「ウルトラQ大行進」の写真を掲載	①
177	講談社MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラマン全史　1963-2013	9pp	怪獣イベントの大反響	1966年の3月に銀座・松屋デパート、4月に多摩テックにて開催された「ウルトラQ（1966）」のイベントを紹介	①
		13pp	TBSのアイデア『ウルトラマン前夜祭』	1966年に公開収録されたイベント『ウルトラマン前夜祭』が放送された経緯を紹介	①
		17pp	イベントはサイン会	1968年1月に銀座のデパートで行なわれたウルトラ警備隊のサイン会等を掲載。	③,⑦
178	講談社MOOK　円谷ヒーロー　ウルトラ怪獣全史	11pp	イベントと雑誌の広報力	1966年4月に多摩テック、5月～6月に向ヶ丘遊園等で開催された「ウルトラQ（1966）」のイベントの模様を紹介	①
		55pp	Information	快獣ブースカと怪獣イモラ、ブースカの声優の高橋和枝が参加したイベントの様子を掲載	①
		59pp	Information	1973年4月22日に二子玉川園にて開催された「怪獣供養」の模様を紹介	①
		67pp	1974~1975 イベントへのパワー	向ヶ丘遊園とよみうりランドにて円谷キャラクターのイベントステージが常設化したことを紹介	①,②
		80,81pp	パワフルなアトラクション怪獣	イベント専用に製作されたウルトラシリーズの怪獣の着ぐるみ（2004年）を中心に紹介	①,③,⑦
179	オールザット　ウルトラマンタロウ	76,77pp	"ウルトラの聖地"二子玉川園と怪獣供養祭	1954年に開園した二子玉川園にて、これまで開催されてきた怪獣ショーの歴史を特集	①
		178,179pp	タロウはアクションショーでも大活躍！！	「ウルトラマンフェスティバル」等のアクションショーにて、活躍するウルトラマンタロウを特集	①,②
180	電撃ムックシリーズ　後楽園ゆうえんち野外劇場　公式ガイド　スーパーヒーローショー大全集　完全保存版	4-6pp	忍者戦隊カクレンジャー秋公演　妖魔封印！いざ決戦の時	後楽園ゆうえんちにて開催する忍者戦隊カクレンジャーショーの秋公演を紹介	①
		7pp	後楽園ゆうえんち野外劇場へはどーいくの？	後楽園ゆうえんちへの交通アクセス、野外劇場入場までの過程を、写真と文章で説明	①,③,⑦
		8,9pp	戦え平和のために　スーパーヒーロー大集合！！	これまで後楽園ゆうえんちで開催されてきたヒーローショーを、写真で掲載	①
		10,11pp	これが巨大ステージ　野外劇場だ！！！	後楽園ゆうえんち野外劇場で使用される舞台の各部を詳細に紹介	①
		12-15pp	誌上公開　忍者戦隊カクレンジャー夏公演　忍法危うし"激闘"夏の陣	1994年7月から9月に後楽園ゆうえんちにて開催される忍者戦隊カクレンジャーの夏公演の物語、演出を紹介	①
		16,17pp	忍者戦隊カクレンジャー	1993年から1994年まで、野外劇場でのヒーローショーに出演する忍者戦隊カクレンジャーを紹介	①
		18pp	ブルー・スワット	1994年の忍者戦隊カクレンジャーショー夏公演に出演するブルースワットを紹介	①
		19-78pp	後楽園ゆうえんち野外劇場　スーパーヒーロー名鑑	1971年から1993年までの歴代公演に登場した、スーパーヒーロー（仮面ライダー、戦隊ら）を紹介	①
		80-85pp	スーパーヒーロー夢の共演	これまで後楽園ゆうえんちのヒーローショーにて実践された、作品を超えてスーパーヒーロー同士が共演した公演の写真を公開	①
		86,87pp	狙うぞ地球！後楽園ゆうえんちを拠点に！！悪の幹部、結託	これまで後楽園ゆうえんちのヒーローショーにて登場した、歴代の悪役を紹介	①
		88,89pp	後楽園ゆうえんちでしか見れなかったオリジナル　悪の幹部	後楽園ゆうえんちのみのヒーローショーに登場した、歴代のオリジナル悪役を紹介	①
		92,93pp	後楽園ゆうえんちのアイドル　ビーバーの男の子ドン・チャックの歴史	後楽園ゆうえんちが生んだオリジナルキャラクター、ドン・チャックのショーの模様を紹介	該当無し
		94pp	後楽園ゆうえんちMAP	後楽園ゆうえんち内の全施設を案内するMAPを掲載	①
		96-99pp	超研究・野外劇場の歴史　ヒーローたちが戦い続けた巨大舞台を検証する	これまで後楽園ゆうえんち野外劇場で使用されてきた舞台の推移の歴史を、詳細に紹介	①
		100,101pp	後楽園ゆうえんち、今昔・・・	後楽園ゆうえんち野外劇場での歴史を、展示や演出等の写真を掲載しながら紹介	①,②,⑦
		102pp	ビデオで見られる後楽園ゆうえんち	後楽園ゆうえんちがロケ地として使用された、東映製作の特撮ヒーロー番組を紹介	⑭
		103pp	後楽園ゆうえんち　野外劇場　各寸法	後楽園ゆうえんち野外劇場内にある、舞台の寸法を詳細に紹介	①
		104-110pp	スタッフキャスト　スペシャルインタビュー	後楽園ゆうえんちのヒーローショーに出演する俳優や、監督へのインタビューを掲載	①
		111-113pp	後楽園ゆうえんち野外劇場公演リスト	1971年から1994年まで後楽園ゆうえんちにて開催されてきたヒーローショーの一覧を掲載	①

付録 2. 各補足資料の各ページ掲載内容

No.	文献タイトル	ページ	掲載タイトル	掲載内容	確認出来る形態
1	大ゴジラ特撮展	4pp	怪獣プラネット　ゴジラ	1994年3月にサンリオピューロランド内の体感型アトラクション「夢のタイムマシン」で上映された、3D作品「怪獣プラネット　ゴジラ」を紹介	⑩
		25,26pp	ゴジラ　破壊と激闘60年	「ゴジラ（1954）」から「ゴジラ FINAL WARS（2004）」まで、ゴジラシリーズに登場する怪獣達が破壊した日本各地の場所をマップで紹介	⑭
		27-29pp	大ゴジラ特撮展　展示プロップ図録	イベント「大ゴジラ特撮展」に展示されている、実際に撮影で使用された着ぐるみやミニチュアの写真を掲載	②
		34pp	大ゴジラ特撮展	イベント「大ゴジラ特撮展」の主催や、企画、監修に携わったスタッフの掲載や、公式ホームページのURLを掲載	該当無し
2	大ゴジラ新聞	1面	ゴジラ、池袋に来襲！！	2014年8月2日より、東京都池袋にて開催されるイベント「大ゴジラ特撮展」の開催を告知	②,⑦
		2面	怪獣王〈ゴジラ〉の伝説と未来を体感せよ！	東京都池袋にて開催されるイベント「大ゴジラ特撮展」の開催内容や、前売り券情報等を告知	該当無し
		3面	「大ゴジラ特撮展」は大阪でも開催！！	2014年8月29日から9月15日まで大阪芸術大学敷地内で開催されるイベント「大阪芸術大学Presents 大ゴジラ特撮展～ゴジラ60年の軌跡～」を告知	②,⑦
		4面	おトクな前売券、絶賛発売中！！	2014年8月2日より、東京都池袋にて開催されるイベント「大ゴジラ特撮展」の前売り券情報を告知	該当無し
3	夕刊フジ特別版　夕刊ゴジラ	12,13面	G博内部大公開！	2014年7月・8月に東京・大阪で開催されるゴジラシリーズのイベント「G博」の会場MAP、展示内容等を掲載	②,⑦
		18面	G博幻梅　梅岡さんG博上陸	イベント「G博」会場内にて限定販売される商品「岡畑農園の幻の梅」を告知	⑦
		22面	ゴジラが破壊したランドマーク	「ゴジラ（1954）」から「ゴジラ×モスラ×メカゴジラ　東京SOS（2003）」までのゴジラ映画で、ゴジラが破壊した日本各地のランドマークを紹介	⑭
4	スポーツ報知3D　ウルトラマンシリーズ45周年特別号	28面	被災地ウルトラ支援	東日本大震災後に設立された「ウルトラマン基金」において、支援活動の一環として開催されたウルトラマンショーの様子やその他諸活動を紹介	①
		30面	ウルトラマンフェスティバル2011	2011年7月から8月にかけて池袋サンシャインシティにて開催される、イベント「ウルトラマンフェスティバル2011」の開催内容を掲載	①-③,⑦,⑧,⑩
5	スポーツ報知　ウルトラセブン特別号	2面	「ダンにやっと会えた」50歳の男が泣く	神奈川県藤沢市内にある、「ウルトラセブン（1967）」出演俳優森次晃嗣が経営するレストラン「JOLICHAPEAU」を紹介	②,⑥
		31面	ウルトラマン基金　復興へ永続支援	東日本大震災後に設立された「ウルトラマン基金」において、支援活動の一環として開催されたウルトラマンショーの様子やその他諸活動を紹介	①,③
6	スポーツ報知　円谷プロ50周年特別号	25面	ウルトラマンシンフォニーコンサート　with東京フィルハーモニー交響楽団	2013年9月1日に東京芸術劇場に開催されるコンサート「ウルトラマンシンフォニーコンサート」の開催概要等を告知	①
		25面	ウルトラマン基金	東日本大震災後に設立された「ウルトラマン基金」において、支援活動の一環として開催されたウルトラマンの被災地訪問の様子やその他諸活動を紹介	③
7	スポーツ報知　ウルトラマン特別号	18面	ウルトラマンシリーズ放送開始50年記念東京スカイツリーウルトラ作戦第634号	2016年6月10日から7月21日まで東京スカイツリーで開催されるイベント「ウルトラ作戦第634号」を告知	該当無し
		19面	ウルトラ全力応援	東日本大震災後に設立された「ウルトラマン基金」において、支援活動の一環として開催されたウルトラマンショーの様子やその他諸活動を紹介	①,③
		21面	大冒険！ウルトラマンARスタンプラリーinふくしま	2016年7月から10月まで、福島県全域で開催される、専用アプリによる体感イベント「大冒険！ウルトラマンARスタンプラリーinふくしま」の開催を告知	⑧,⑰
		22面	スカイツリー「ウルトラ作戦第634号」	2016/7/21まで東京スカイツリーで開催されるイベント「ウルトラ作戦第634号」の開催内容を紹介	②,③,⑥,⑦
		22面	杉並公会堂「ウルトラマンの日」	1966年7月に杉並公会堂で開催された「ウルトラマン」PRイベントと、2016年7月に同所で開催されるイベント「ウルトラマンの日 in 杉並公会堂」を紹介	①
		23面	ウルトラマンシリーズ放送開始50年　ウルトラマンフェスティバル2016	2016年7月から8月まで池袋サンシャインシティで開催されるイベント「ウルトラマンフェスティバル2016」の開催内容を告知	①,②

8	スポーツ報知　ウルトラセブン特別号	8面	ウルトラマンフェスティバル2017	2016年7月から8月まで池袋サンシャインシティで開催されるイベント「ウルトラマンフェスティバル2017」の開催内容を告知	①-③,⑥,⑦,⑧
		9面	ウルトラセブン放送開始50年記念～モロボシダンの名をかりて～	2017年8月に大阪高島屋・横浜高島屋で開催されるイベント「ウルトラセブン放送開始50年記念～モロボシダンの名をかりて～」の開催内容を紹介	②,⑦
		10面	ウルトラセブン放送開始50周年記念ウォッチ	"BOCCIA TITANIUMU"による「ウルトラセブン放送開始50年記念ウォッチ」の商品、販売会場（「ウルトラマンフェスティバル2017」等）の情報を告知	⑦
		11-15面	ウルトラセブン全話リスト＆聖地訪問	全国各地の「ウルトラセブン（1967）」が撮影されたロケ地を、全話解説と共に紹介	⑭
9	ウルトラマンティガ＆ウルトラマンダイナ　ウルトラマンガイア－超時空の大決戦－	20pp	ウルトラマン倶楽部	浅草ROXや春日井サティにあるエンタテインメントパーク「ウルトラマン倶楽部」を告知	①,⑥,⑦,⑩
		21pp	uLTRaMaN SHOP SHOT M78	全国60店舗にある、ウルトラマンオフィシャルショップ「SHOT M78」を告知	該当無し
10	劇場用最新作ウルトラマンティガ　THE FINAL ODYSSEY	24pp	ウルトラマン倶楽部	浅草ROXや春日井サティにあるエンタテインメントパーク「ウルトラマン倶楽部」を告知	①,⑥,⑦,⑩
11	劇場版ウルトラマンコスモス2 THE BLUE PLANET	1pp	御挨拶	映画「ウルトラマンコスモス2」製作におけるロケーション地（サイパンロタ島、福岡県北九州市）での撮影について言及	該当無し
		1pp	北浦嗣巳監督インタビュー	映画「ウルトラマンコスモス2」の北浦嗣巳監督への、サイパン、北九州市での撮影についてインタビュー	該当無し
12	ウルトラマンシリーズ誕生40周年記念作品 ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟	13,14pp	ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟　製作ウラ話	映画「ウルトラマンメビウス＆ウルトラ兄弟」の製作ロケ地である兵庫県神戸市について解説	⑭
13	てれびくん特別編集　大決戦！超ウルトラ8兄弟	15,16pp	大決戦！超ウルトラ8兄弟的横浜観光	映画「大決戦！超ウルトラ8兄弟」の製作ロケ地である神奈川県横浜市について、各ロケ地を詳細に解説	⑭
14	ウルトラマンゼロ THE MOVIE　超決戦！ベリアル銀河帝国	13pp	ウルトラマンゼロ THE MOVIE 超決戦！ベリアル銀河帝国　ここが見どころ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2010」のライブステージの様子の掲載や、九州＆山口ロケについて解説	①,⑭
15	ウルトラマンギンガ劇場スペシャル　ウルトラ怪獣☆ヒーロー大決戦！	12pp	一条寺コンヴェルンは何処？	映画「ウルトラマンギンガ劇場スペシャル　ウルトラ怪獣☆ヒーロー大決戦！（2014）」の撮影地である、都内のバンダイ本社を紹介	⑭
16	ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！	1,2pp	タイトル無し	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」に登場するキャラクターの写真を掲載	①
		3,4pp	PROLOGUE	ウルトラマンライブステージ製作実行委員会によるコメントを掲載	①
		5,6pp	登場ヒーロー　CAST	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」に登場するウルトラヒーローを写真で掲載	①
		7,8pp	ウルトラ戦士の敵　CAST	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」に登場する、宇宙人や怪獣等を写真で掲載	①
		9-20pp	STORY	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」の物語を、写真を使用しながら解説	①
		21,22pp	今度のゼットンは、進化する！人口宇宙恐竜クローンゼットンの進化過程	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」に登場する各クローンゼットンの進化過程をショー中の写真で掲載	①
		23,24pp	オリジナル原画集	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」に登場する各クローンゼットン、変身怪人ゼットン星人のデザイン画を掲載	①
		25pp	STAFF	「ウルトラマンライブステージ2　宇宙恐竜最強進化！」の脚本、演出、殺陣、舞台装置、キャラクターデザイン等、STAFF一覧を掲載	①

17	ウルトラマンシンフォニーコンサート2013　with東京フィルハーモニー交響楽団	1pp	プログラム	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013」の公演プログラム一覧を掲載	①
		2pp	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013年」に寄せて	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013」の開催に寄せて、円谷プロダクション代表取締役大岡新一社長のコメントを掲載	①
		3pp	指揮者プロフィール	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013」に登壇する指揮者を紹介	①
		4,5pp	円谷プロダクション　作品とその音楽	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013」の開催に寄せて、音楽ライター早川優氏のコメントを掲載	①
		6,7pp	円谷プロダクション　作品の歩み	1948年から2013年までの、円谷プロダクションの歴史の中に、1989年にイベント「ウルトラマンフェスティバル」が初開催されたことを記載	該当無し
		8,9pp	出演者プロフィール	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013」に登壇する出演者を紹介	①
		10pp	特別ゲスト～庵野秀明メッセージ～	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2013」の開催に寄せて、監督・プロデューサーの庵野秀明のコメントを掲載	①
18	ウルトラマンで科学する！－EXHIBITION ON SCIENCE OF ULTRAMAN－	15pp	変身！できるかな？	イベント「ウルトラマンで科学する！」会場内のウルトラセブン変身体験プログラムについて解説	⑩
		18,19pp	もっとひろがる　ウルトラマンと科学～7つのＡＲパネル～	イベント「ウルトラマンで科学する！」会場内に展示されているウルトラマンとウルトラセブンのＡＲパネルについて解説	②
19	ウルトラマンシンフォニーコンサート2015	1pp	タイトルなし	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」の公演プログラム一覧を掲載	①
		2pp	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」に寄せて	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」の開催に寄せて、円谷プロダクション代表取締役大岡新一社長のコメントを掲載	①
		3-7pp	楽曲仮説	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」の各公演楽曲を解説	①
		8pp	作曲家総進撃！	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」で演奏される楽曲のオリジナルを手がけた作曲家を紹介	該当無し
		9pp	タイトルなし	「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」に登壇する指揮者、オーケストラ、出演者らを紹介	①
		10pp	遥かなるしらべ～円谷プロ作品の音楽世界～	秋廣泰生氏による、「ウルトラQ（1966）」等の円谷プロ作品の音楽を解説	①
		10pp	コンサートパンフレット購入特典「マイ メモリアル ウルトラマンシンフォニー　スペシャル版」ダウンロードのお知らせ	『ウルトラマンシンフォニーコンサート2015』パンフレット購入者特典を掲載	①,⑦
20	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016	4,5pp	新感覚のスーパーパフォーマンス　アクロバトルクロニクルとは？	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」の4つの見どころ等を紹介	①
		6pp	新ウルトラ警備隊	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」の物語に登場する、組織やアイテム等の用語の解説	①
		7pp	アクロバトルユニットメンバー	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」出演者の紹介	①
		8pp	自分の中の光を求めて旅する者たち	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」出演者の紹介	①
		9pp	その他	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」出演者の紹介	①
		10-17pp	登場ウルトラヒーロー紹介	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」に登場するウルトラマンや怪獣を紹介	①
		36,37pp	春日照役　中野大輔	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」出演者へのインタビュー	①
		38,39pp	神宮寺功役　ZEN	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」出演者へのインタビュー	①
		40pp	出演者紹介	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」各出演者のコメント等を掲載	①

21	ZANDRIAS　Let's call ZANDRIAS back to Earth!	7-12pp	スペシャル対談『ウルトラマン80』撮影大岡新一氏（円谷プロダクション社長）×美術山口修氏	2017年3月2日開催のイベントにて着ぐるみが初披露される、怪獣ザンドリアスの製作背景についてインタビューを掲載	該当無し
		13pp	地球に帰ってきたザンドリアス密着レポート！	2017年3月2日・3月17日に開催された怪獣ザンドリアスが登場する各イベントのレポート記事を掲載	①,③
22	TFC　35	1pp	ウルトラヒーローと握手ができます！	2015年3月中の全土日に全国の「劇場版ウルトラマンギンガS決戦！ウルトラ10勇士！！」公開劇場にて開催されるウルトラマンとの握手会を告知	③
		3pp	『ウルトラマンギンガS』エキストラレポート♪	2014年6月・7月にＴＦＣ会員向けに開催された、テレビ番組「ウルトラマンギンガＳ（2014）」のエキストラ撮影風景を掲載	⑮
		4pp	ウルトラマンタカミー登場！！	2015年1月28日に発売されたDVD「激闘バトル！ウルトラマンタカミー」のエキストラ撮影にＴＦＣ会員が参加したことに言及	⑮
		4pp	イベント情報	2014年12月から2015年1月まで開催されるイベント「お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！」にて、ボーカルユニット「ボイジャー」の参加を告知	該当無し
		5-6pp	第27回東京国際映画祭ウルトラレポート！！	2014年10月に都内で開催された「東京国際映画祭」での、ウルトラシリーズのイベントの様子について掲載	①,②,⑯
		7pp	伝説のTVシリーズ放送から約半世紀、今なお絶大な人気を誇る『ウルトラセブン』がHDリマスターBlu-ray BOXとなってリリース！	東京国際映画祭の様子や、ウルトラマン創世記でのトークショーを特典映像として収録した商品「HD Remaster 2.0 ウルトラセブン」を告知	①
		8pp	『お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！』今年も2会場で開催します！！	2014年12月から2015年1月まで、都内と北九州で開催されるイベント「お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！」を告知	①-⑤,⑦
		10pp	「ウルトラマン基金」感謝状	2014年11月8日に福島空港にて開催された「ふくしまスマイルキャラバン」オープニングセレモニーにて、ウルトラマンが登場した様子を掲載	①,③
		11pp	JRスタンプラリー	2015年1月から2月まで計64駅で開催されるイベント「JR東日本　来たぞ我らの！ウルトラマンスタンプラリー」を告知	⑰
		12pp	旭川冬まつり	2015年2月に開催される「旭川冬まつり」内での、ウルトラシリーズに関連した企画（ショー、展示、限定商品の販売等）の実施を告知	①-③,⑦
		13pp	ウルトラマン THE LIVE ウルトラマンバトルステージ2014「あしたのきみへ」	2013年に開催されたイベント「お正月だよ！ウルトラマン全員集合！！」にて上演されたライブステージを収録したDVDの発売を告知	①
		14pp	Event　InFormation	2014年12月から2015年2月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,②,④,⑧
23	TFC　36	3pp	エキストラレポート♪	2014年7月から2015年1月まで開催された、TFC会員向けのウルトラシリーズのエキストラ撮影やスマイル撮影会の様子を掲載	③,⑮
		4pp	中野大輔さん×ZENさん　特別インタビュー	2015年6月・7月に大阪、福岡で開催されるステージショー「ウルトラヒーローズTHE LIVE」出演者へのインタビュー	①
		4pp	怪獣酒場「地球一時撤退のお知らせ」byバルタン店長	2014年3月より1年間の期間限定で解放された飲食店「怪獣酒場」の閉店を告知	②
		5pp	須賀川市×M78星雲　光の国　姉妹都市提携	2015年3月1日に福島県須賀川市の松明通りにて開催されたウルトラマンのモニュメント除幕式の様子等を掲載	①,②
		5pp	ウルトラマンｘベビースターラーメン発売記念イベント	2015年2月16日に横浜市内「ベビースターランド」で開催された「ウルトラマンｘベビースターラーメン発売記念イベント」の様子を掲載	①
		7pp	Event　InFormation	2015年4月から7月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③

24	TFC 38	1pp	Special Interview	2015年8月26日に開催された「ウルトラマンフェスティバル2015」のスペシャルイベント出演者へのインタビュー	①-③,⑥,⑦,⑪,⑮
		2pp	『ウルトラマンX』エキストラレポート	2015年3月29日・6月1日に開催された「ウルトラマンX（2015）」エキストラ撮影の様子を掲載	⑪,⑮
		3,4pp	「ウルトラマンフェスティバル2015」インタビュー特集	「ウルトラマンフェスティバル2015」会場内で開催された、スペシャルトークショーの出演者へのインタビューを掲載	①,③
		5pp	2015年8月28日 「ウルトラマンフェスティバル2015」スペシャルレジェンドナイト	2015年8月28日に開催されたトークショー「ウルトラマンフェスティバル2015」スペシャルレジェンドナイトの様子を掲載	①,③
		5pp	2015年7月23日（木）「ウルトラマンフェスティバル2015」内覧会	「ウルトラマンフェスティバル2015」開幕前日に開催された、マスコミ向けの内覧会の様子を掲載	③,⑩
		6pp	なつのおもいで2015	TFC会員から投稿された、全国各地でのウルトラシリーズのイベント会場で撮影した写真を掲載	③,⑤
		6pp	タイトルなし	2015年7月30日・8月20日に開催された「ウルトラマンフェスティバル2015」スマイル撮影会の様子を掲載	③
		7pp	ウルトラマンシンフォニーコンサートが帰ってくる！！11月2日（月）東京芸術劇場にて開催決定！	2015年11月2日東京芸術劇場で開催される「ウルトラマンシンフォニーコンサート2015」の内容や商品情報を掲載	①,⑦
		7pp	東京ドームホテル「ウルトラヒーロークリスマスファミリーブッフェ2015」予約受付中！！	2015年12月23日に東京ドームホテルで開催される「ウルトラヒーロークリスマスファミリーブッフェ2015」を告知	①,③,⑦
		7pp	ウルトラヒーローズEXPO2016 ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ	2016年12月6日に東京ドームシティにて、「EXPO開催直前スペシャルイベント」の開催等を告知	該当無し
		7pp	Voyager crew	2015年8月23日に池袋で開催された『ウルトラマンフェスティバル2015』ボイジャースペシャルライブの様子を掲載	①
		8pp	東京03さん 特別インタビュー	2015年に放送中の番組「ウルトラ怪獣散歩」の出演者インタビューと、当番組のスペシャルイベントの様子を掲載	①
		8pp	桜井浩子さんコメント	「ウルトラ怪獣散歩」のスペシャルイベントに出演した、桜井浩子氏へのインタビュー	①
		11pp	TFC友達の輪	TFC会員から投稿された、東京、大阪でのウルトラシリーズのイベント会場で撮影した写真を掲載	③
		11pp	ウルトラマン商店街	2015年7月5日に祖師ヶ谷大蔵「ウルトラマン商店街」で開催された、「ウルトラマン商店街 誕生10周年記念イベント」の様子を掲載	①,③,⑰
		11pp	須賀川市×M78星雲 光の国 姉妹都市提携	2015年8月19日に、福島県須賀川駅前通りに設置された、新しいウルトラマンのタペストリーを告知	②
		14pp	Event InFormation	2015年10月から12月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑧
25	TFC 39	4pp	年末年始は「ウルトラヒーローズEXPO」へ！冬のビッグイベントを家族みんなで楽しもう！	2015年12月から2016年1月まで、東京ドームシティで開催されるイベント「ウルトラヒーローズEXPO 2016」の展示内容等を告知	①,②,⑤,⑦,⑩
		6pp	円谷プロファンクラブ ファンミーティング ～in 帰ってきた怪獣酒場～	2015年9月27日に飲食店「帰ってきた怪獣酒場」で開催されたTFCファンミーティングの様子を掲載	③
		8pp	ボクの2015年の想い出	TFC会員から投稿された、全国各地でのウルトラシリーズのイベント会場で撮影した写真を掲載	①,③,⑤
		11pp	JR東日本 帰って来たぞ！我らのウルトラマンスタンプラリー	2016年1月12日から2月26日までJR東日本管内65駅で開催される「JR東日本 帰って来たぞ！我らのウルトラマンスタンプラリー」を告知	⑦,⑰
		11pp	須賀川市×M78星雲 光の国 姉妹都市提携	2016年11月14日に福島県須賀川市松明通りにて4体の新たなウルトラマンモニュメントが設置されたことを告知	②
		11pp	ウルトラマン基金活動報告	2015年9月21日から24日まで、岩手・宮城・茨城で開催された「ヒーローキャラバン2015」の様子を掲載	①,③,⑪
		14pp	Event InFormation	2015年12月から2016年1月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,③,⑦,⑧,⑩
26	TFC 40	3pp	「ウルトラヒーローズEXPO 2016」ファンクラブデー（1月9日）	2016年1月9日に都内で開催された「円谷プロファンクラブ ファンクラブデー」の様子を掲載	①,③,⑦
		3pp	ウルトラファミリー大集合INすかがわ2016 みんなの「ガンバレ」が力になる！	2016年4月23日・24日に福島県須賀川市に開催されるイベント「ウルトラファミリー大集合IN2016」を告知	①,⑦
		4pp	TFC写真コンテスト	TFC会員から投稿された、全国各地でのウルトラシリーズのイベント会場で撮影した写真を掲載	③
		6pp	Event InFormation	2016年3月から6月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①－③,⑦,⑧,⑩

27	TFC 41	3,4pp	ウルトラマンシリーズ放送開始50年　ウルトラマンフェスティバル2016	2016年7月22日から8月28日まで池袋サンシャインシティで開催されるイベント「ウルトラマンフェスティバル2016」の開催内容について告知	①-③,⑦
		5pp	スマイル撮影会レポート	2016年4月に福島・高知でのウルトラシリーズのイベントにて開催された「スマイル撮影会」の様子を掲載	①,③
		5pp	TFCファンミーティング～in　元祖怪獣酒場～	2016年5月14日に大阪・「元祖怪獣酒場」で開催された「TFCファンミーティング」の様子を掲載	③,⑥
		7pp	「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」中野大輔さん×ZENさん×谷口洋行さん　特別インタビュー	2016年9月に大阪・八尾市文化会館プリズムホールで開催されるステージショー「ウルトラヒーローズTHE LIVE」出演者へのインタビュー	①
		9pp	「三面怪人ダダ」が「ダダイズム100周年」を祝福！	2016年夏に「ダダ100周年フェスティバル」と題した、都内の文化機関アートスペースでのパフォーマンス、展示、活動を告知	④
		10pp	ウルトラマン放送開始50年記念『ウルトラマンの日 in 杉並公会堂』2DAYS開催決定！！	2016年7月9日・10日に杉並公会堂で開催されるイベント『ウルトラマンの日 in 杉並公会堂』の開催内容について告知	①,⑦
		11pp	須賀川市×M78星雲　光の国　姉妹都市提携	2016年に、福島県須賀川市で「ウルトラヒーローショー」等の、ウルトラシリーズのイベントが開催された様子を掲載	①
		11pp	ウルトラマン基金	2016年5月21日から23日まで、ウルトラシリーズのキャラクターや出演者らが、熊本県内の小学校や保育所等で声援訪問を行なう様子等を掲載	該当無し
		13pp	Goods Line Up	ウルトラシリーズのライブステージを収録した、DVD「ウルトラマンTHE LIVE ウルトラヒーローズEXPO 2016バトルステージ」等の商品情報を告知	①
		14pp	Event　InFormation	2016年7月から9月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,⑦
28	TFC 42	2pp	3/7・3/11の撮影にご協力いただきました！「ウルトラマンオーブ」第1回エキストラレポート！	2017年3月7日・11日に開催された「ウルトラマンオーブ（2016）」エキストラ撮影の様子を掲載	⑮
		5pp	ボール星人のボッとする話『これが銀河連邦の一員である証！円谷ヒーロー大集合！！』	1973年春に、東京の遊園地二子玉川園で開催された円谷ヒーローイベントの様子を掲載	①
		6pp	みんなのなつのおもいで2016	TFC会員から投稿された、2016年夏季開催のウルトラシリーズのイベント会場で撮影した写真を掲載	②,③
		7,8pp	ブースカの2016夏の想い出	2016年の6月から8月までの夏季期間に全国で開催された、ウルトラシリーズのイベントを紹介	①-③,⑥-⑧
		11pp	【ウルトラヒーローズEXPO2017ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ】開催に向けて、東京ドームシティが熱くなる！！	2016年10月から2017年1月まで東京ドームシティ内で開催される、各ウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦
		13pp	Goods Line Up	ウルトラシリーズのライブステージを収録した、DVD「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2015」等の商品情報を告知	①
		14pp	Event　InFormation	2016年11月から2017年1月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①,⑦
29	TFC 43	9pp	ついに！まもなく！ウルトラヒーローズEXPO2017が開催！	2016年12月から2017年1月まで、都内で開催されるイベント「ウルトラヒーローズEXPO 2017」の開催を告知	⑦
		9pp	ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016	2016年1月に東京公演が開催されるライブショー「ウルトラヒーローズ THE LIVE アクロバトルクロニクル2016」の開催を告知	①,③
		11pp	須賀川市×M78星雲　光の国　姉妹都市提携	2016年11月12日に、福島県須賀川市内にて新たに設置された3体のウルトラヒーローモニュメントの除幕式の様子を掲載	①,②
		14pp	Event　InFormation	2016年12月から2017年2月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①
30	TFC 44	5,6pp	TFCの思い出	TFC会員から投稿された、2007年から2017年まで全国各地でのウルトラシリーズのイベント会場で撮影した写真を掲載	①－③,⑥
		7pp	TFCエキストラレポート　2016/8/11	TFC会員を招いた「ウルトラマンオーブ」のTVシリーズ、劇場版のエキストラ撮影の様子を掲載	⑮
		7pp	TFCの楽しい思い出をご紹介！	2011年8月から2015年9月まで開催された、TFC会員を招いたイベント（ファンミーティングやエキストラ撮影会等）を概要的に紹介	①,③,⑪,⑫,⑮
		8pp	『ウルトラマン』フジ・アキコ隊員役　桜井浩子さん	ファンの集いやサイン会、「ウルトラ8兄弟」のイベントが開催されたことに言及	③,⑦
		8pp	『ウルトラマンオーブ』クレナイ　ガイ役　石黒英雄さん	TFC会員の参加によるエキストラ撮影があったことを言及	⑮
		8pp	株式会社円谷プロダクション　代表取締役　大岡新一	「ウルトラマンゼアス（1995）」から「ULTRAMAN（2004）」までの劇場版作品にて、TFC会員参加によるエキストラ撮影があったこと等に言及	⑮
		13pp	セブンが！あの闘いが！名シーンがもう一度蘇る！	2017年4月に京都高島屋で開催されるイベント「ウルトラセブン放送開始50年記念～モロボシ・ダンの名をかりて～」を告知	②,⑦
		14pp	ウルトラファミリー大集合　IN　すかがわ2017	2017年4月22日・23日に開催されるイベント「ウルトラファミリー大集合　IN　すかがわ2017」を告知	①,⑦
		15pp	須賀川市×M78星雲　光の国　姉妹都市提携	2017年5月8日に開庁する福島県須賀川市の新庁舎にて、ウルトラの父のモニュメントが設置されること等を告知	②
		15pp	怪獣酒場の2号店開放決定！	2017年5月下旬オープン予定の飲食店「怪獣酒場　新橋蒸留所」を告知	該当無し
		18pp	Event　InFormation	2017年3月から2018年1月まで、全国各地で開催されるウルトラシリーズのイベントを告知	①-③,⑦

31	史上最大の決戦　ヒーローフェスティバル'96	11,12pp	ヒーロースタンプをぜんぶ集めよう！！	イベント「史上最大の決戦　ヒーローフェスティバル'96」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
32	ウルトラマンフェスティバル	12pp	君もヒーローたちといっしょに戦おう！	イベント「ウルトラマンフェスティバル」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
33	ウルトラマンフェスティバル2000	11,12pp	迷路をクリアして、ゴールをめざせ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2000」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		22pp	あこがれのヒーローたちが、キミを待っている！！	全国に3カ所（金沢、大阪、熊本）ある円谷プロ直営店を紹介	①−③,⑥,⑦,⑩,⑬,
34	ウルトラマンフェスティバル2001	11,12pp	ウルトラマン誕生35周年記念すごろくスタンプ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2001」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
35	ウルトラマンフェスティバル2002	9,10pp	みんな、ウルトラマンコスモスをえんごしろ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2002」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
36	ウルトラマンフェスティバル2003	7pp	誓いその4　前を向いて歩こう！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2003」の会場内にて上映される人形劇「ウルトラP」の紹介等を掲載	①
		8-11pp	クイズにこたえてゴールをめざせ！ワープスタンプ大作戦	イベント「ウルトラマンフェスティバル2003」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		12pp	誓いその5　1日1回お手伝いをしよう！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		14,15pp	ウルトラマンフェスティバル13年の歴史	1989年から2002年まで開催された、イベント「ウルトラマンフェスティバル」の各年のポスターを掲載	該当無し
37	ウルトラマンフェスティバル2004	1pp	ようこそウルトラマンフェスティバルへ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の会場内で体験できる各コーナーを紹介	①-③,⑦-⑩
		8-11pp	ウルトラマンノアにウルトラ指令書を届けるぞ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		14pp	誕生10周年　ウルトラP	イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の会場内にて上映される人形劇「ウルトラP」の歴史を紹介	①,②
		17pp	任務完了！応援ありがとう！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2004」の会場内にて設置されている列車、フューチャーN1号を紹介	⑩
38	ウルトラマンフェスティバル2005	9,10pp	ウルトラ怪獣デジタル図鑑絵合わせゲーム	イベント「ウルトラマンフェスティバル2005」の会場内にある「ウルトラ怪獣デジタル図鑑」コーナーと連動した、誌面を活用したゲームを掲載	⑩
		17,18pp	いつも応援ありがとう　ウルトラマンフェスティバルは今年で15周年	1989年から2002年まで開催された、イベント「ウルトラマンフェスティバル」の歴史を紹介	①,②,⑩
39	ウルトラマンフェスティバル2006	5,6pp	ウルトラマン昭和メモリアル	昭和時代に開催された、ウルトラシリーズに登場した怪獣の着ぐるみを使用したアトラクションショーの模様を掲載	①
		8-11pp	ウルトラスタンプ帳	イベント「ウルトラマンフェスティバル2006」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		12pp	ウルトラマンフェスティバル2006へようこそ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2006」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①,②,⑦,⑩
		13,14pp	ウルトラマンライブステージを見逃すな！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2006」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		15,16pp	ウルトラマンミュージアム	イベント「ウルトラマンフェスティバル2006」の会場内にて展示されている撮影用小道具の紹介	②
40	ウルトラマンフェスティバル2007	9,10pp	ウルトラスタンプ帳	イベント「ウルトラマンフェスティバル2007」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		12pp	ウルトラマンフェスティバル2007へようこそ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2007」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①,②,⑦,⑩
		15,16pp	ウルトラマンライブステージではウルトラ兄弟が大活躍！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2007」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		17pp	ウルフェス2007新怪獣＆宇宙人大図鑑	「ウルトラマンライブステージ」に登場する怪獣・宇宙人の紹介	①

41	ウルトラマンフェスティバル2008	3pp	ウルフェズ'08をあそびつくせ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①,②,④,⑦,⑩
		4pp	今年のウルフェスでは、アーマードメフィラスが大あばれ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」会場内に登場するアーマードメフィラスの紹介	該当無し
		5,6pp	緊急指令ウルトラヒーローの闘いをライブステージで応援せよ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		8･10pp	ウルフェスとくべつふろくスタンプ帳	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		15,16pp	ウルトラヒーローとともに地球の平和をまもる防衛チーム、スーパーメカ大集合！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」の会場内で展示されている、ウルトラシリーズのスーパーメカを紹介	②
		17,18pp	完全新作大怪獣バトルULTRAMONSTERS NEOにウルフェス会場でチャレンジせよ！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」の会場内で体験できるカードゲーム「大怪獣バトルNEO」を紹介	⑩
42	ウルトラマンフェスティバル2009	1,2pp	今年のウルフェスは、ロボット怪獣を大研究！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2008」会場内に登場するキングジョーの紹介	該当無し
		7pp	君は全部まわれるかな？ウルフェズ'０９会場マップ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2009」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①,②,⑦,⑨,⑩
		9,10pp	ウルトラスタンプ帳	イベント「ウルトラマンフェスティバル2009」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		12pp	レイからウルフェスのみんなにメッセージ	「大怪獣バトル（2007）」の出演者・南翔太が「ウルトラマンフェスティバル2008」に出演した際のインタビューを掲載	④
		13,14pp	ウルトラマンフェスティバル2009　ライブステージでもロボット怪獣が大あばれ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2009」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		15,16pp	ウルトラマンフェスティバル2009に登場する新怪獣大公開！！	「ウルトラマンフェスティバル2009」会場内の「ライブステージ」に登場するロボット怪獣の紹介	①
43	ウルトラマンフェスティバル2010	5,6pp	ウルフェス歴史資料館	1989年から2010年まで開催された、イベント「ウルトラマンフェスティバル」の歴史を紹介	①,②
		7pp	ウルトラマンフェスティバル2010　会場マップ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2010」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①,②,⑦,⑧,⑩
		9,10pp	ウルトラクイズめいろ	イベント「ウルトラマンフェスティバル2010」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		12pp	「ウルトラマンゼロ強化アーマー」コンテスト最優秀作品発表！	「ウルトラマンフェスティバル2010」のライブステージに登場するウルトラマンゼロの強化アーマーを紹介	①
		15,16pp	大興奮のライブステージに集まれ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2010」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①,②,⑦,⑧,⑩,⑰
44	ウルトラマンフェスティバル2011	5,6pp	ウルトラマンメモリアルアルバム	1966年7月10日に放送された舞台「ウルトラマン前夜祭」を紹介	①
		7,8pp	ウルトラライブステージ　ゼロとウルトラマンが力を合わせて戦うぞ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2011」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
45	ウルトラマンフェスティバル2012	7,8pp	ウルトラライブステージ　セブン＆ゼロ超次元親子バトル！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2012」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
46	ウルトラマンフェスティバル2012 ウルトラセブン㊿データファイル	2･5pp	ウルトラセブン伝説　1971-2012	イベント「ウルトラマンフェスティバル2012」の会場内で押し印できるスタンプ欄を掲載	⑰
		6,7pp	ウルフェス会場にかくれている10大宇宙人をさがせ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2012」の会場内に「隠れている」宇宙人の紹介	該当無し
		8pp	セブンのナンバー1ライバル！キングジョーのすべて	「ウルトラマンフェスティバル2010」会場に再現されたウルトラセブンとキングジョーの戦いについて紹介	②,⑰
		9pp	ウルフェス会場でナース列車に乗ろう！	「ウルトラマンフェスティバル2010」会場内に設置してある遊具「ナース列車」のモチーフである宇宙電ナースについて紹介	②,⑰

47	ウルトラマンフェスティバル2013	7,8pp	今年もアツイぜ！ウルトラマンライブステージ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2013」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		9pp	☆ウルフェス2013会場マップ☆	イベント「ウルトラマンフェスティバル2013」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①-③,⑥,⑦,⑨,⑩
48	ウルトラマンフェスティバル2015	3,4pp	今年のウルフェス3大おもしろポイント！！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2015」会場内で展示してある3大巨大展示物を紹介	②
		12,13pp	エックスも大かつやく！！今年も熱いぜ！ウルトラライブステージ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2015」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		14pp	ウルフェス2015はまだまだお楽しみがいっぱい！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2015」の会場内で体験できる各コーナーを写真で掲載	①-③,⑦,⑩
		20,21pp	ウルトラマンフェスティバル2015会場案内マップ	「ウルトラマンフェスティバル2015」の会場案内ＭＡＰと、会場内で押印できるスタンプ帳を掲載	①-③,⑥,⑦-⑨,⑩,⑰
49	ウルトラマンフェスティバル2016	3pp	ココにスタンプを押そう！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2016」の会場内で押し印できるスタンプ欄を掲載	⑰
		8,9pp	ウルトラマンフェスティバル2016ここが見どころポイント大紹介！！	「ウルトラマンフェスティバル2016」の会場案内ＭＡＰと、体験できる各コーナーを写真で掲載	①-③,⑥,⑦-⑩
		12,13pp	今年も熱いぜ！！ウルトラマンライブステージ！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2016」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		12,13pp	ウルトラヒーローなりきり必殺技コンテスト最優秀賞大発表！！	「ウルトラマンフェスティバル2016」のライブステージに披露されるウルトラヒーローの光線技を紹介	①
		19pp	ウルトラヒーローに手紙を出そう！！	子ども達からの「ウルトラヒーローへの手紙」が、2016年12月に開催予定のイベント「ウルトラヒーローズEXPO2017」の会場内に展示されると言及	②
50	ウルトラマンフェスティバル2017	8,9pp	今年もウルトラライブステージでヒーローたちを応援しよう！！	イベント「ウルトラマンフェスティバル2017」の会場内にて観賞できるライブステージの紹介	①
		8,9pp	ウルトラヒーロー合体わざ写真コンテスト最優秀賞大発表！！	「ウルトラマンフェスティバル2017」のライブステージに披露されるウルトラヒーローの合体わざを紹介	①
		10pp	ウルトラマンフェスティバル2017会場MAP	「ウルトラマンフェスティバル2017」の会場案内ＭＡＰと、体験できる各コーナー等をイラストで紹介	①-③,⑥,⑦-⑨,⑩,⑰
		10pp	ウルフェス2017　ココをチェック！！1	「ウルトラマンフェスティバル2017」の会場内にある展示物「ウルトラセブン/ウルトラマンゼロ　巨大ポージング立像」を紹介	②
		11pp	ウルフェス2017スタンプラリー	イベント「ウルトラマンフェスティバル2017」の会場内にて押印できるスタンプ帳	⑰
		18･19pp	ウルフェス2017　ココをチェック！！2	「ウルトラマンフェスティバル2017」の会場内に設置されている「宇宙人ロード」を紹介	該当無し
		18･19pp	ウルフェス2017　ココをチェック！！3	「ウルトラマンフェスティバル2018」の会場内に展示されている「ウルトラヒーローたちとの絆」を紹介	②
51	ウルトラヒーローズEXPO2017　ニューイヤーフェスティバルIN東京ドームシティ　EXPOBOOK	1pp	ウルトラヒーローズＥＸＰＯ会場ガイド	イベント「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」の会場内で体験できる各コーナー等を紹介	①-③,⑥,⑦-⑨,⑩
		2,3pp	ウルトラマンバトルステージ『決戦！光を超えて闇を討つ』	イベント「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」の会場内にて観賞できるステージの紹介	①
		4,5pp	戦え！FUSION FIGHT！！	イベント「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」の会場内に設置されているフォトスポット等を紹介	②
		6,7pp	おすすめコーナー大紹介	「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」の会場内にあるおすすめコーナーを紹介	②,③,⑥,⑦-⑨,⑩
		8pp	ウルトラマンデパート！！	「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」の会場内で購入できる限定商品を紹介	⑦
		9pp	タイトルなし	今後ナンジャタウン、ＴＥＮＱで開催されるウルトラシリーズのイベントを紹介	該当無し
		10,11pp	タイトルなし	「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」会場内のゲームコーナーへの参加者に配布されるイベント限定カード等を紹介	⑦,⑩
		12,13pp	スタンプラリー	東京ドームシティ内の5カ所で押印できる「ウルトラヒーローズＥＸＰＯ2017」スタンプ帳	⑦,⑰

52	ウルトラマンの日 in 杉並公会堂	1,2pp	その日杉並公会堂が揺れた・・・！	1966年7月10日に放送された舞台「ウルトラマン前夜祭」の紹介の他、円谷プロダクション代表取締役社長・大岡新一のコメントを掲載	①-③
		3,4pp	歌声よ響け！はるか300万光年彼方ウルトラの星にまで！	2016年7月10日に杉並公会堂で開催されるイベント「THE LEGENDS1966」の開催情報を告知	①
		5,6pp	THE ROCK2016プレイヤーズ	2016年7月9日に杉並公会堂で開催されるイベント「THE ROCK2016」の出演者情報を掲載	①
		7,8pp	2016年7月10日『THE LEGENDS1966』	1966年から2016年までのウルトラシリーズのイベントの歴史について解説	①-③
		9,10pp	THE LEGENDS1966　出演者	2016年7月10日に杉並公会堂で開催されるイベント「THE LEGENDS1966」の出演者情報を掲載	①
		11-14pp	ウルトラトークライブで盛り上がろう！！	2016年7月9日・10日に杉並公会堂小ホールにて開催されるイベント「ウルトラトークライブ」の開催スケジュール、出演者情報等を掲載	①
53	仮面ライダー×仮面ライダー　W＆ディケイド　MOVIE大戦2010	28pp	「仮面ライダーW＆侍戦隊シンケンジャー　ガンバライドクエスト」	2010年1月に池袋サンシャインシティで開催されるイベント「仮面ライダーW＆侍戦隊シンケンジャー　ガンバライドクエスト」を告知	①,②,⑩
54	仮面ライダーxスーパー戦隊　スーパーヒーロー大戦	40pp	ナムコ　スーパーヒーロー大戦キャンペーン	2012年4月から5月まで全国143店舗のnamcoで開催される「ナムコ　スーパーヒーロー大戦キャンペーン」を告知	⑦
		45pp	タイトルなし	仮面ライダーとスーパー戦隊のホールライブを収録したDVD「40×35 感謝祭 Anniversary LIVE& SHOW」の発売等を告知	①
55	仮面ライダー×仮面ライダー　ウィザード＆フォーゼ　MOVIE大戦アルティメイタム	36pp	ナムコ　仮面ライダーウィザード＆仮面ライダーフォーゼキャンペーン	2012年12月から2013年1月まで全国のnamcoで開催される「ナムコ　スーパーヒーロー大戦キャンペーン」を告知	⑦
		36pp	仮面ライダー　アクションスタジアム	全国3カ所のnamco施設で開催される「仮面ライダー　アクションスタジアム」の開催と入場特典を紹介	⑦,⑩
		44pp	仮面ライダーガンバライド×スーパー戦隊バトルダイスオーDX　ヒーロークエスト　シャバドゥビミッション	2012年12月から2013年1月まで池袋サンシャインシティで開催されるイベント「ヒーロークエスト」の開催と来場者プレゼント等を告知	①,⑦,⑩
56	特命戦隊ゴーバスターズVS海賊戦隊ゴーカイジャー　THE MOVIE	26pp	特命戦隊ゴーバスターズファイナルライブツアー2013	2013年3月から4月に全国で開催されるイベント「特命戦隊ゴーバスターズファイナルライブツアー2013」を告知	①
57	劇場版仮面ライダーウィザード IN MAGIC LAND	12pp	ナムコ　劇場版仮面ライダーウィザード　獣電戦隊キョウリュウジャーキャンペーン	2013年8月から2013年9月まで全国のnamcoで開催される「仮面ライダーウィザード　獣電戦隊キョウリュウジャーキャンペーン」を告知	⑦
		12pp	仮面ライダーアクションスタジアム　スーパー戦隊ドリームパーク	2013年時点で開催中の2つの施設「仮面ライダーアクションスタジアム」、「スーパー戦隊ドリームパーク」を告知	①,②,⑩
		13pp	仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2013	2013年8月に東京ドームシティプリズムホールで開催されるイベント「仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2013」を告知	①
		14pp	ショッカーの秘密基地	2013年7月から9月まで品川ホテル　クラブexで開催されるアトラクション「ショッカーの秘密基地」を告知	⑩
58	仮面ライダー×仮面ライダー　鎧武＆ウィザード　天下分け目の戦国MOVIE大合戦	37pp	東映ヒーローワールド　NAMCO ACTION MUSEUM	2013年12月20日にイオンモール幕張新都心ファミリーモールにオープンする常設施設「東映ヒーローワールド」と、入場者プレゼントを告知	⑦
		37pp	仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー　ウインターカーニバル2014	2013年12月から2014年1月まで池袋サンシャインシティで開催されるイベント「Wヒーロー　ウインターカーニバル2014」と、来場者プレゼントを告知	⑦
		40pp	天下分け目のナムコ鎧武＆ウィザード　戦国MOVIE大合戦キャンペーン	2013年12月から2014年1月まで全国のnamcoで開催される「天下分け目のナムコ鎧武＆ウィザード　戦国MOVIE大合戦キャンペーン」を告知	①
		40pp	仮面ライダーアクションスタジアム	全国4カ所のnamco施設で開催される「仮面ライダー　アクションスタジアム」の開催と入場特典を紹介	⑩
59	獣電戦隊キョウリュウジャーVSゴーバスターズ　恐竜大決戦　さらば永遠の友よ	28pp	東映ヒーローワールド　NAMCO ACTION MUSEUM	2013年12月20日にイオンモール幕張新都心ファミリーモールにオープンした常設施設「東映ヒーローワールド」と、入場者プレゼントを告知	⑦,⑩
		29pp	獣電戦隊キョウリュウジャーVS特命戦隊ゴーバスターズ　恐竜大決戦！さらば永遠の友よ	映画の完成披露試写会舞台挨拶等を収録した、映画「獣電戦隊キョウリュウジャーVS特命戦隊ゴーバスターズ」のＤＶＤ・ブルーレイの発売を告知	①
60	平成ライダー対昭和ライダー　仮面ライダー大戦　feat.スーパー大戦	46pp	超英雄祭　KAMEN RIDER×SUPER SENTAI LIVE&SHOW 日本武道館2014	仮面ライダー×スーパー戦隊による史上初の日本武道館ライブのDVD発売を告知	①
61	仮面ライダーx仮面ライダー　ドライブ＆鎧武　MOVIEフルスロットル	35pp	東映ヒーローワールド　NAMCO ACTION MUSEUM	イオンモール幕張新都心ファミリーモールにある常設施設「東映ヒーローワールド」で体験できるアトラクションと、入場者特典を告知	⑦,⑩
62	烈車戦隊トッキュウジャーVSキョウリュウジャー　THE MOVIE	24pp	東映ヒーローワールド　NAMCO ACTION MUSEUM	イオンモール幕張新都心ファミリーモールにある常設施設「東映ヒーローワールド」で体験できるアトラクションと、入場者特典を告知	⑦,⑩
63	スーパーヒーロー大戦GP　仮面ライダー3号	42pp	仮面ライダードライブ＆鎧武　MOVIE大戦フルスロットル	映画の完成披露上映会舞台挨拶を収録した、映画「仮面ライダードライブ＆鎧武　MOVIE大戦フルスロットル」のDVD・ブルーレイの発売を告知	①
64	劇場版仮面ライダードライブ　SURPRISE FUTURE	14pp	スーパーヒーロー大戦ＧＰ　仮面ライダー3号	映画の完成披露試写会舞台挨拶等を収録した、映画「スーパーヒーロー大戦GP　仮面ライダー3号」のＤＶＤ・ブルーレイの発売を告知	①
		35pp	仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2015	2015年8月に東京ドームシティプリズムホールで開催されるイベント「仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2015」を告知	①
65	手裏剣戦隊ニンニンジャーVSトッキュウジャー　THE MOVIE 忍者　イン　ワンダーランド	26pp	手裏剣戦隊ニンニンジャーファイナルライブツアー2016	2016年3月から4月にかけて全国8会場で開催されるイベント「手裏剣戦隊ニンニンジャーファイナルライブツアー2016」を告知	①

66	劇場版仮面ライダーゴースト　100の眼魂とゴースト運命の瞬間	11pp	仮面ライダー45th×スーパー戦隊40　Wヒーロー夏祭り2016	2016年8月に東京ドームシティプリズムホールで開催されるイベント「仮面ライダー×スーパー戦隊　Wヒーロー夏祭り2016」を告知	①,②,⑦,⑩
67	仮面ライダー生誕45周年記念　仮面ライダー平成ジェネレーションズ　Dr.パックマン対エグゼイド&ゴースト withレジェンドライダー	38pp	仮面ライダーゴースト　100の眼魂とゴースト運命の瞬間	映画の完成披露上映会舞台挨拶を収録した、映画「仮面ライダーゴースト　100の眼魂とゴースト運命の瞬間」のDVD・ブルーレイの発売を告知	①
		42pp	スマホアプリ　東映特撮ファンクラブなら君の夢が叶う！	「東映特撮ファンクラブ」会員限定特典として、イベント参加やエキストラ募集等の特典を告知	③,⑮
68	動物戦隊ジュウオウジャーVSニンニンジャー　未来からのメッセージfromスーパー戦隊	24pp	動物戦隊ジュウオウジャーＶＳニンニンジャー　未来からのメッセージfromスーパー戦隊	映画の舞台挨拶を収録した、映画「動物戦隊ジュウオウジャーＶＳニンニンジャー」のDVD・ブルーレイの発売を告知	①
		24pp	劇場版　動物戦隊ジュウオウジャー　ドキドキサーカス	映画の完成披露スペシャルイベントを収録した、劇場版「動物戦隊ジュウオウジャー　ドキドキサーカス」のDVD・ブルーレイの発売を告知	①
69	仮面ライダーxスーパー戦隊　超スーパーヒーロー大戦	42pp	仮面ライダー平成ジェネレーションズ　Dr.パックマン対エグゼイド&ゴースト withレジェンドライダー	映画の完成披露上映会舞台挨拶を収録した、映画「仮面ライダー平成ジェネレーションズ」のDVD・ブルーレイの発売を告知	①
70	劇場版仮面ライダーエグゼイド　トゥルーエンディング	39pp	仮面ライダー×スーパー戦隊　超スーパーヒーロー大戦	映画の完成披露上映会舞台挨拶を収録した、映画「仮面ライダー×スーパー戦隊　超スーパーヒーロー大戦」のDVD・ブルーレイの発売を告知	①
71	東映ヒーローワールド　公式　VOL.0	1pp	キミがヒーロー！これが東映ヒーローワールドだぜ！！	常設施設「東映ヒーローワールド」で体験できる展示やアトラクションを、ＭＡＰにて紹介	①,②,⑩
		2pp	エナジーブレスで悪の軍団と戦え！	「東映ヒーローワールド」で入手できる「エナジーブレス」とその使用方法を、写真で掲載	⑦
72	手裏剣戦隊ニンニンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック	1,2pp	忍びなれども忍ばない！！手裏剣戦隊ニンニンジャー！！！	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する手裏剣戦隊ニンニンジャーを紹介	①
		3,4pp	アカニンジャー　伊賀崎天晴	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、アカニンジャーを紹介	①
		5pp	アオニンジャー　加藤・クラウド・八雲	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、アオニンジャーを紹介	①
		6pp	キニンジャー　松尾凪	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、キニンジャーを紹介	①
		7,8pp	シロニンジャー　伊賀崎風花　モモニンジャー　百地霞	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、シロニンジャー、モモニンジャーを紹介	①
		9-14pp	烈車戦隊トッキュウジャー　THEATER G-Rosso 闘いの記録	シアターGロッソにて2014年10月から2015年3月まで開催された「烈車戦隊トッキュウジャー（2014）」の各ショーの様子を紹介	①
73	手裏剣戦隊ニンニンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック2	1,2pp	忍ばずワッショイ！超絶強いぜ！！ニンニンジャー！！！	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する6人の手裏剣戦隊ニンニンジャーを紹介	①
		3,4pp	アカニンジャー　伊賀崎天晴 アカニンジャー超絶	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、アカニンジャー、アカニンジャー超絶を紹介	①
		5pp	アオニンジャー　加藤・クラウド・八雲	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、アオニンジャーを紹介	①
		6pp	キニンジャー　松尾凪	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、キニンジャーを紹介	①
		7pp	シロニンジャー　伊賀崎風花	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、シロニンジャーを紹介	①
		8pp	モモニンジャー　百地霞	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、モモニンジャーを紹介	①
		9,10pp	スターニンジャー　キンジ・タキガワ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、スターニンジャーを紹介	①
		11-14pp	THEATER G-Rosso 闘いの記録	シアターGロッソにて2015年3月から2015年8月まで開催された「手裏剣戦隊ニンニンジャー（2015）」の各ショーの様子を紹介	①

74	動物戦隊ジュウオウジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック	1,2pp	オレたちは最強の王者！！動物戦隊ジュウオウジャー！！！	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する動物戦隊ジュウオウジャーを紹介	①
		3,4pp	ジュウオウイーグル　風切大和	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ジュウオウイーグルを紹介	①
		5,6pp	ジュウオウシャーク　セラ　ジュウオウライオン　レオ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ジュウオウシャーク、ジュウオウライオンを紹介	①
		7,8pp	ジュウオウエレファント　タスク　ジュウオウタイガー　アム	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ジュウオウエレファント、ジュウオウタイガーを紹介	①
		9-14pp	手裏剣戦隊ニンニンジャー　THEATER G-Rosso　続　闘いの記録	シアターGロッソにて2015年9月から2016年1月まで開催された「烈車戦隊トッキュウジャー（2014）」の各ショーの様子を紹介	①
75	宇宙戦隊キュウレンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック	1,2pp	シシレッド　ラッキー	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、シシレッドを紹介	①
		3,4pp	サソリオレンジ　スティンガー　オオカミブルー　ガル　テンビンゴールド　バランス　オウシブラック　チャンプ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、サソリオレンジ、オオカミブルー、テンビンゴールド、オウシブラックを紹介	①
		5,6pp	ヘビツカイシルバー　ナーガ・レイ　カメレオングリーン　ハミィ　ワシピンク　ラプター283　カジキイエロー　スパーダ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ヘビツカイシルバー、カメレオングリーン、ワシピンク、カジキイエローを紹介	①
		7-12pp	動物戦隊ジュウオウジャー　THEATER G-Rosso 闘いの記録	シアターGロッソにて2016年3月から2017年3月まで開催された「動物戦隊ジュウオウジャー（2016）」の各ショーの様子を紹介	①
		13,14pp	9人そろってキュウレンジャー！宇宙まるごと救ってやる！！オレたちのアツい戦い　また応えんにきてくれ！！	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、9人の宇宙戦隊キュウレンジャーを紹介	①
76	宇宙戦隊キュウレンジャー　東京ドームシティアトラクションズ　THEATRE　G-ROSSO　公式ガイドブック　新しい伝説版	1,2pp	シシレッド　ラッキー	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、シシレッドを紹介	①
		3pp	サソリオレンジ　スティンガー	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、サソリオレンジを紹介	①
		4pp	オオカミブルー　ガル　テンビンゴールド　バランス	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、オオカミブルー、テンビンゴールドを紹介	①
		5pp	オウシブラック　チャンプ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、オウシブラックを紹介	①
		5pp	THEATER G-Rosso　闘いの記録　春	2017年3月から4月にシアターGロッソで開催された「宇宙戦隊キュウレンジャー（2017）」ショーを紹介	①
		6pp	ヘビツカイシルバー　ナーガ・レイ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ヘビツカイシルバーを紹介	①
		7pp	カメレオングリーン　ハミィ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、カメレオングリーンを紹介	①
		8pp	究極の選択！天秤にかけられた友情！！	2017年4月から7月にシアターGロッソで開催された「宇宙戦隊キュウレンジャー（2017）」ショーを紹介	①
		8pp	ワシピンク　ラプター283	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ワシピンクを紹介	①
		9pp	カジキイエロー　スパーダ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、カジキイエローを紹介	①
		10pp	THEATER G-Rosso　闘いの記録　夏	2017年7月から8月にシアターGロッソで開催された「宇宙戦隊キュウレンジャー（2017）」ショーを紹介	①
		10pp	THEATER G-Rosso　闘いの記録　秋～正月	2017年9月から2018年1月にシアターGロッソで開催された「宇宙戦隊キュウレンジャー（2017）」ショーを紹介	①
		11,12pp	ホウオウソルジャー　鳳ツルギ	シアターGロッソで開催されるアトラクションショーに登場する、ホウオウソルジャーを紹介	①
		13,14pp	キミの声でキュウレンジャーは強くなる！！！	これまでシアターGロッソで開催された「宇宙戦隊キュウレンジャー（2017）」ショーの様子を写真で掲載	①
77	27th Tokyo International Film Festival Program 第27回東京国際映画祭公式プログラム	136-140pp	「庵野秀明の世界」	「第27回東京国際映画祭」にて、映画監督・庵野秀明が製作・監督を務めた特撮作品の上映を告知	⑯
		168pp	「ウルトラセブン」HDリマスター2.0～円谷特撮への誘い！～	2014年10月26日にTOHOシネマズ日本橋にて開催される同イベントでの上映作品や、製作・出演者等によるトークショーの開催を告知	①,⑯
		207,209,210,213pp	Schedule 第27回東京国際映画祭上映スケジュール	「第27回東京国際映画祭」の開催地となった都内各劇場にて、上映される特撮作品と上映スケジュールを掲載	⑯

78	29th Tokyo International Film Festival Program 第29回東京国際映画祭公式プログラム	140pp	シン・ゴジラ	「第29回東京国際映画祭」にて2016年に初公開された特撮作品「シン・ゴジラ」の上映を告知	①
		150pp	キングコング対ゴジラ（4Kデジタルリマスター版）	「第29回東京国際映画祭」にて1962年に初公開された特撮作品「キングコング対ゴジラ」の4Kデジタルリマスター版の上映を告知	①
		185pp	ウルトラマンシリーズ放送開始50年特別企画：脚本家　金城哲夫	2016年11月3日にTOHOシネマズ六本木ヒルズにて開催される同イベントでの上映作品や、クリエイター達によるトークショーの開催を告知	①,⑯
		233,235,237pp	Schedule 第29回東京国際映画祭上映スケジュール	「第29回東京国際映画祭」の開催地となった都内各劇場にて、上映される特撮作品と上映スケジュールを掲載	⑯
79	ゴジラ　全映画DVDコレクターズBOX　VOL.4　復刻パンフレット	13pp	怪獣「ゴジラ」池袋に現る！	1964年11月の連休中、俳優の中島春雄が着用した怪獣ゴジラの着ぐるみが、池袋のデパート屋上の子供遊園地に現れた記事を掲載	①
80	二子玉川園イベント回顧録～青空の下で見たヒーローたち～	1-9pp	怪獣ショーの歩みとともに	元・円谷プロダクション営業部所属の梅本正明氏に、二子玉川園で開催されていた円谷プロ作品のイベント等についてのインタビューを掲載	①-③
		10,11pp	二子玉川園イベント告知ポスター	二子玉川園で開催されたイベント「ウルトラ怪獣大行進」、「超獣大決戦」の告知ポスターを掲載	①
		12pp	屋内展示館は怪獣の巣だ！	1972年7月～11月に二子玉川園で開催されたイベント「超獣大決戦」開催期間中、ウルトラマンや怪獣の模型が展示されている様子を写真で掲載	②
		13pp	車両アトラクションパレード	二子玉川園駅前の商店街通りで開催された、円谷プロ作品のキャラクターによるパレードの様子を掲載	①
		14pp	学年誌が見た「怪獣供養祭」	小学館から発売された「小学二年生」昭和48年7月号にて掲載された、二子玉川園でのイベント「怪獣供養祭」のレポート記事を掲載	①

謝辞

本論文は、著者が東海大学大学院文学研究科文明研究専攻に在学中の 2016 年より、東海大学観光学部観光学科の田中伸彦教授のご指導の下で、執筆したものであります。本研究を完成させるにあたり、多くの方々にご指導、ご鞭撻を頂戴致しました。ここに深く感謝の意を表したく存じます。

はじめに、研究活動の全般に渡りまして、長年に渡って多大なご教授を頂いた東海大学観光学部観光学科の田中伸彦教授に、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

また、本論文の審査過程において、東海大学文学部ヨーロッパ文明学科の平野葉一教授、東海大学観光学部の立原繁教授、東海大学文化社会学部広報メディア学科の水島久光教授、西野仁教授には、学術研究としての意義や、論文の論理性等について多大なご教示をして頂き、心より感謝申し上げます。また、東海大学文学研究科事務室の皆様にも、研究活動に対する多大なるサポートをして頂き、感謝の意を示したく存じます。

学術交流の場においては、日本レジャー・レクリエーション学会、日本観光研究学会の皆様には、筆者の研究に対して、多彩な視点から数多くのご意見、ご指摘を頂戴し、研究の厚みが深まったと感じております。また、研究資料の収集や、施設内での業務活動にあたり、大変貴重なご教授を頂いた公益財団法人日本交通公社「旅の図書館」副館長の大隅一志氏をはじめとする館内スタッフの皆様にも心より感謝の意を申し上げます。

最後に、筆者の研究を完成まで支え続け、これまで散々迷惑をかけつつも寄り添ってくれた、愛する家族にも心より感謝したいと思います。